大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月一日(金)　第三二五七號

同盟通信　海外電報　(275)

編輯發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話銀座(57)四一〇〇番

世界の焦点

英國首相チヤーチルは國内における樂觀氣分の消し止め役に躍起となつてゐるが、特に今度の新議會における演説は特に念入りだ、ロイター電報によれば「戰爭が直ぐ終了するだらうといふ感じに耽けることがないやう下院と全國民とに警告せねばならない、數ケ月前歐洲の戰爭が來年一月、二月まで持越すかも知れないと述べて尚早な希望を消し止めようとした、かく述べて下院を見渡したところ各方面に失望の色を看取出來たので、來春の終りから夏の初めまでかかるかも知れないと早速付け加へた、現在のところでは以上の豫測を變へる氣がない、若し變へる必要があるとすれば夏といふ言葉の前の初めといふ言葉を取り去ることである」白書で發表された尨大な消耗を重ねた後、歐洲戰爭だけでももう一年かかるし、況んや太平洋の戰は何時果てるかわからぬと聞かされて英國民は少らず失望したに違ひない、白書のなかでも絶えずドイツ軍の攻撃に曝らされながら英國民が異常な戰爭努力を續けてきたと述べてゐるやうだが、ドイツ空軍の大爆撃と流星彈攻撃と更に最近ではV二號の落下で圖太いとか何とかいつても英國人の神經が可成り擦り減らされてゐるのではなからうか全文を見ないと判つきりしたことはいへないがチヤーチル首相は更に「競爭で勝敗を決定するのは最後の段階だ、しかもこの時には誰しも一番疲れてをり、嫌氣が皆んなの上に重くおしかかり、如何に素晴らしい事件が次ぎ次ぎに起つて來ても終局は段々遠のいて行くやうに見える、山登りでも何時でも前面に他の峯が現れて來るが、今こそ英國人は疲れを知らぬことを示さねばならない、戰爭の初期に當り自國が侵寇を受けようとしてゐる際に巨大な精力を出すのと戰爭六年目に力を示すのとは全く別だ」と力說して厭戰氣分の一掃に大童だ

【目　次】

重ねて戰局の前途樂觀を戒む……二九一〇
倫敦造船所罷業……〃
米英對與協定一部修正……〃
何、孔の辭職當局陳辯……〃
クワビンスキー遽に投げ出す……二九一一
「プラウダ」クワビンスキーを批難……〃
モラフスキー、亡命政權を攻撃……〃
ボノミに再組閣を委囑……〃
獨外務省ハルの責任を糾明……〃
米新議會劈頭一波瀾か……〃
加印相互援助協定締結……〃
【英帝國】
破産白書の詳報……二九一二
徴兵制に反對、カナダ兵暴動……〃
英帝國の陣營に躍起……二九一三
【反樞軸陣營】
米英兩司令官會見……〃
船舶喪失數……〃
米佛物資供給協定……〃
【歐洲】
ベルギー國内々亂の危機……二九一四
英國の横槍でボノミ組閣難……〃
反樞軸占領地の混亂……二九一五
チトー、來記者を國外追放……〃
【米洲】
海軍長官徴兵制支持……二九一六
增産運動に前線兵士を動員……〃
最も緊急を要する軍需品……〃
商船修理狀況……〃
眞珠灣調査延期法案……〃
【西亞】
イラン新内閣石油問題に觸れず……〃
【ドイツ】
駐瑞公使トムソン歸任……二九一七
【東亞】
ネルソン經濟顧問就任受諾……〃
生産補給戰完遂を强調……〃
軍需生産力を六ケ月で倍加……〃
重慶、新大使を歡迎……〃
【特輯】
比島侵攻作戰と米國の宣傳戰(中)……二九一八
霧月西班牙語……二九二二

重ねて戰局の前途樂觀を戒む

—チヤーチル、議會で言明—

（ストツクホルム二十九日發）英國議會は二十八日をもつて會期を了し二十九日新會期に入つたがロンドン來電によれば國王ジョージ六世は上下兩院合同の開院式に臨み

「日本軍に對する鬪爭の負擔を、英聯邦並びに英帝國、合衆國、支那、オランダ、フランス各國からの戰友と相分つてゐる、英本國の兵力を出來る限り迅速且つ有力に增强する方針である」

と述べたと傳へとれる、勞働黨の副首領アーサー・グリーンウツドも國王の演說に關する討論において東亞反攻作戰に同じく言及

「今回の戰爭は單一の戰爭である、政黨關係の如何を問はず、あくまで日本軍との戰ひを完遂することが英國下院の見解であることを、全世界至るところの敵も味方も十分諒承して貰ひ度い」

と見得を切つた、但し首相チヤーチルは重ねて戰局の樂觀を戒め次の通り述べたと傳へられる

「西部戰線においては反樞軸軍は遂次進擊を續けてをり、アントワープ港も大規模な船團の發着に利用出來ることとなつた、しかしフランス戰線が一段落してからオランダ、ドイツ兩國內に侵入するに當つて英軍並びにカナダ軍は約四萬の死傷を出してゐる、余は前回の演說で歐洲戰爭が來年の夏の初めに終りを告げるだらうと述べたが、初めといふ言葉をこの際取り除きたい、本當の所は歐洲戰爭が何時終了するか何人にも判らず、いはんや歐洲戰爭から日本軍との戰ひが終了するまでの期間は到底豫斷出來ない從つて英國民は依然として一切を擧げて戰爭遂行の最高の仕事に從屬させ、あくまで敵に目を注いで敵軍の抗戰力を打倒するために全力を傾倒しなければならない、反樞軸軍の侵入を受けてドイツ國民は、恰かも一九四〇年乃至一九四一年のあの極めて暗黑であつた當時英國人が示したと同じやうな至上の生活力を發揮してゐることを記憶しなければならない」

倫敦造船所罷業

（ストツクホルム二十八日發）英國では最近各地の造船所で罷業が續發、當局の頭痛の種となつてゐるが、ロンドンからのロイター電報によれば同市造船所の工員二千は賃金値上と勞働條件の改善を要求して二十七日午後から罷業に入り當局躍起の解決工作にも拘らず漸次擴大の兆候を示してゐるといはれる

米英貸與協定一部修正

（リスボン二十九日發）ロイター通信ワシントン電報は次の通り報じてゐる

英國經濟使節ケーンズ卿は過般來ワシントンにおいて米英武器貸與協定の更改に關し米國政府當局と折衝中であつたが、二十九日政府筋のもらすところによれば、貸與協定によつて英國の輸出貿易に加へられてゐた制限を一部緩和するに意見一致したといはれる、卽ち英國は從來武器貸與により米國から供給を受けた物資は勿論これと同種類の英國製品の輸出を差控へてゐたが、今回の米英協定更改により英國は今後この制限を免れることとなつた

何、孔の辭職を當局陳辯

（リスボン二十九日發）最近の重慶政權改組に當り軍政部長何應欽、財政部長孔祥熙兩亙頭の罷免が最も注目を惹いたが、政府當局代言人張平群は右に關し二十九日の記者團會見で次の通り陳辯した

何應欽、孔祥熙兩部長の更迭は辭表提出したのによるもので、余が代言人として何應欽の辭任理由についてただ一つ明かにし得る理由は、彼が過去十年間兼任してきた軍政部長と參謀總長の二つの職務が骨の折れる仕事であること及び一層の能率を計るため多分この兼職を分離したものであらうといふことだ、また孔祥熙は健康勝れないため辭職したものである、彼は財政部長の辭任と共に行政院副院長の地位も去る考へであつたが、後者については受理されなかつたものである

重慶政權が今回の改組を更に擴大するか否かが注目されてゐたが、右につき張平群は記者團との間に質疑應答を交すことを拒絕した

昭和十九年十二月一日(金)
第三二五七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

クワピンスキー遂に投げ出す

(ストツクホルム二十九日發)エキスチエンジ通信のロンドン電報によれば、亡命ポーランド政權首相ヤン・クワピンスキーは農民黨及び基督教民主黨の入閣拒否にあつて遂に組閣を斷念した模様でロイター外交記者の報道によれば大統領ラチキエヴイツチは二十九日副大統領アルツイジエフスキーに組閣を委囑、アルツイジエスキーは農民黨領袖と會見して入閣を懇請してゐると傳へられる

「プラウダ」クワピンスキーを非難

(ストツクホルム二十九日發)モスクワ來電=ソ聯共産黨機關紙プラウダは二十九日クワピンスキーを痛烈に攻撃して次の通り論じてゐる、亡命ポーランド政權の新首相クワピンスキーは反ソ派の旗頭で、彼が社會黨に關係してゐるのは、その反動的傾向を僞裝するためだ、ロンドンの亡命政權はソヴエト政府及びルブリン委員會との交渉を決裂に終らせたばかりでなく、米英ソ三國間の友好關係に楔を打ち込まふと努めてゐる、かかる人物を首班とするかかる政權と將來も交渉を續けて行くことが出來ぬのは明瞭であるミコライチクの桂冠はソ波紛爭を解決しようとする最後の希望を破壞した

モラフスキー亡命政權を攻撃

(ストツクホルム二十八日發)ルブリンからのタス電報が二十八日報ずるところによればポーランド國民解放委員會議長オスブカ=モラフスキーは第一回勞働組合大會の席上亡命ポーランド政權をこつ酷く攻撃次の通り述べたといはれるロンドンからの報道によればミコライチクが辭職し、ラチキエヴイツチはクワピンスキーに新內閣の組織を委囑したといはれるが、國土を遠く離れた紳士共がいくら大臣の印授を分け合ふのにすつた揉んだしてゐたところでわれわれの知つたところではない、ポーランド民衆は誰が亡命政權の名與を擔つ攫はうと全然興味を覺えるわけがない、國民解放委員會がミコライチクと妥協するといふ噂が盛んに流布されてゐるがかかる讓歩的態度はルブリン委員會の政治的地盤を危くするだけである

ボノミに再組閣を委囑

(リスボン二十九日)ローマ來電=イタリア統監ウンベルト殿下は二十九日共産黨の領袖パルミロ・トグリアツチと會談後、夜に入つて元首相バドリオ元帥と長時間に亘り協議を遂げたが、深更に至りボノミに對し正式に再閣を委囑した、一方スフオルツア伯は、英國政府の非難に鑑み二十九日遂に解放委員會委員長の職を辭し前無任所相クローチエ教授は政局の危機打開のため二十九日ナポリからローマに到着したが、六政黨の內行動派は飽くまでスフオルツア伯を支持して同人が首相乃至外相に就任しない以上新內閣に協力しないと稱してをり社會黨もまた同意見だからボノミの組閣工作は依然困難を豫想される

獨外務省、ハルの責任を糾明

(ベルリン二十八日發)米國務長官ハルの退陣については彼が米國の戰爭政策に重要な役割を演じた立役者だけにドイツ側でも相當な關心を示してゐるが、ドイツ外務省當局は二十八日午後の國際記者團會見において大要次のやうに言明、日本をして矛を取るのやむなきに至らしめた戰爭張本人としてのハルの責任を糾明したハルは過去十餘年にわたり米國の外交に決定的な役割を演じたが、その間に二つの大きな過誤を犯したことを認めなければならない、その一つは日本の利益とその生存權主張意志とを正當に理解し得なかつた點である、他の一つは南米を米國の經濟的及び政治的屬領たらしめようとした點である

米洲議會劈頭一波瀾か

(チューリツヒ二十八日發)ニューヨーク來電によれば改選後初の米國議會は來る一月三日開會されるが新議會に上程される豫定の十五歲から十八歲までの男子を一ケ年兵役に服させようといふ法案を繞つて恐らく、ルーズヴエルトと議會との間に最初の衝突が起るだらうといはれる

加印相互援助協定締結

(ストツクホルム二十八日發)オツタワ來電カナダ首相マツケンジー・キングはカナダ・印度兩國間の相互援助協定が締結された旨二十七日言明した

【英　帝　國】

破産白書の詳報

ロンドン二十八日UP電報＝英國政府は二十八日白書の形式で歐洲戰爭開始以來、五年間に亘る英國の戰爭負擔について發表したが、白書は全文六十頁、英本國が戰爭の初まりから全くの島嶼要塞と化した經過を統計に基いて詳述してゐる、今度の戰爭で英國が出した死傷者の數はおよそ七十五萬五年間の戰爭で「祖父時代からの財寶の大半」を蕩盡國内で三軒の建物のうち、一軒はドイツ軍の攻撃で壞されたといふ勘定だ、十四歳以上六十四歳までの男子の三分の一以上は武器をとつてをり、十四歳以上五十九歳までの女性の殆んど半分は或ひは輸送兵力に參加し或ひは軍需工業にフルタイムで働き或ひは民防空に入つてゐる、英國現在の輸送兵力は全人口四千七百萬のうち男子四百五十萬女子五十萬である、英國は大型艦艇七百二十二隻、飛行機九萬臺以上、戰車二萬五千臺、機關銃並びに輕機銃四百萬丁以上を生産し、英聯邦に供給された軍需品の七十パーセントを一手で生産してゐる、英國政府の歳出は一九三八年當時の十億ポンドから四三年には五十七億五千萬ポンドにとび上り、現在の戰費は一秒間に百五十八ポンド餘りである、武裝兵力だけで戰死傷は去る九月末で五十六萬三千に達しうち戰死は十七萬六千である英帝國のこりの構成各國の戰死傷は三十六萬三千でうち戰死が六萬七千人である、一般市民の死傷は去る八月末で死者五萬七千二百九十八名負傷者七萬八千八百十八名である、また英國は一九四三年末までに千百五十萬トンの商船を喪失してゐる、開戰當時の保有トン數のおよそ三分の二である、船員の戰死は二萬九千六百二十九名、他に四千百七十三名が抑留されてゐる、米國並びにカナダとの貸與協定で英國の男子並びに女子は輸出産業から或ひは軍務に或ひは軍需工業に轉用することが出來た、しかし國内においては極度の增稅を斷行し、且つ財政借入れをつづけて僅かに戰爭遂行に必要な資金をまかなつてきたが、戰費の捻出は英國の經濟機構に及ぼした影響は極めて深刻である

開戰當時と一九四三年との英國民の食糧割當量を比較すれば次の通り

バター	七・六三オンス	二・三四オンス
鮮肉	三〇・四〇オンス	二二・一八オンス
果實	二七・一七オンス	一二・〇六オンス

情報相ブレンダン・ブラツケンは記者團を引見し白書について次の通り説明した

英本國における人口の相對的な戰爭努力は他の何れの國の戰爭努力よりも大きい、われわれは決して各自治領を搾取しようとはしなかつた、各自治領の中で英國が逆貸與をしてもらつたのはカナダだけだ、他の自治領諸國との間には合衆國よりもずつと不利な條件で、それぞれ金融上の取極めを結んでゐる、英國はヴイクトリア王朝以來の遺産の大半を犧牲に供した、祖父の時代の寶物は全部なくなつてしまつた、ヴイクトリア王朝の英國人はショップキーパー（あきんど）と自ら稱するのを誇りとしてゐたが、戰ふために手持品を全部賣拂つてしまつたあきんどは英國人をもつて嚆矢とする

徵兵制に反對カナダ兵暴動

―三ケ聯隊が參加―

（リスボン二十八日發）カナダ首相マツケンジーキングは徵兵による國内防衛軍のうち一萬六千人を海外に派遣する緊急令を公布、下院の信任を問ふてゐるが野黨の猛烈な反對に遭つて内閣瓦壞の危機に當面してゐるばかりでなく、首都オツタワ並びに英領コロンビア州に防衛軍の兵士による暴動が持上り「無政府狀態」を誘致するやも知れぬ重大な事態に當面するに至つた、オツタワからのUP電報によれば防衛軍の兵士約百名は二十七日夜「打倒徵兵制」と大書した旗を持つて市内のランズダウン兵營から繰り出し議事堂のあるパーラメント・ヒルに向つて示威行進を開始したといはれる、恰度議事堂内では徵兵案を繞る討論が白熱してゐる最中であつたが、現役の陸海軍部隊に一般市民が出動して示威行進を四散させ、大事には至らなかつた

昭和十九年十二月一日(金)
第三二五七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

しかしヴアンクーヴアーからのロイター電報によれば英領コロンビア州スキーンヌ河畔のテラス町による暴動は參加人員千五百名といはれ、可成り大掛りな騒ぎの模様だ、參加してゐるのはフランス系カナダ人の三ケ聯隊だが、今回の緊急令により海外の戰線に派遣されるのを懸念、卽時除隊してケベツクへ歸りたいと主張、返事が來るまでと稱し「坐り込み」戰術に出てゐるといはれる

當局の對策

カナダ軍當局も以上の事件を公式に「暴動」として取扱つてゐるが、ロイター電報は當局の見解として次の通り報道してゐる

テラス町の徵募兵一千五百名は徵兵案に反對し武裝示威運動を起し、ブレンガンを携行して街上を數時間練り歩いた、市民を傷けず財産を毀損しない限り放任しておく方針だ、週末には迫擊砲彈その他を持ち出したが、その後かへしてきた、現在は小銃を持つてゐるだけだ

以上の深刻な情勢を前にカナダ首相キングは二十八日の下院において

徵兵案の推移如何ではカナダは無政府狀態に當面するかも知れない、機密漏洩を防ぐため下院の祕密會で徵兵案を審議することを要求すると述べ、結局二十九日の祕密會で國防相マクノートン大將が徵兵制實施のやむを得ない事情を說明首相が下院の信任を問ふこととなつた

英帝國の陳辯に躍起

(リスボン二十九日發)戰局の展開に伴ひ米英兩國の經濟的利害關係對立はあらゆる機會を通じて尖銳化してゐるがシカゴ來電によればワシントン駐劄英國大使ハリフアツクスは二十九日シカゴにおける演說で英帝國の立場を陳辯次の通り述べたといはれる

英帝國は金儲け許りを事とする我利々々國ではない、米國人はよく英帝國が搾取によつて生き英國に金を寄せ集めることのためにのみ存在し血も涙もないものの寄り合ひだといつてゐるのを聞くが、これは英國を誤まるも甚しい、英國大藏省は英聯邦乃至英帝國の如何なる部分からも鐚一文の利益さへ引き出してゐない

【反樞軸陣營】

米英兩司令會見

(リスボン二十八日發)反樞軸軍の西部戰線冬季攻勢はドイツ軍の全線に亘る猛反擊に遭遇して豫期通りの進捗を示してゐないが、戰線の停頓に焦慮したアイゼンハウアーは前線を訪問モントゴメリーと鳩首凝議してゐる樣子で英第二軍附ロイター記者ドウーン・キヤンベルの報道によればアイセンハウアーは二十八日夜オランダ國境に近いベルギー領のある一軒家に第二十一集團軍戰術司令部を置くモントゴメリーを訪問、會談を進めてゐるといはれる

反樞軸船舶喪失數

(リスボン二十八日發)ワシントン來電=戰時情報局は二十八日英國政府並びに米國戰時海運局の報告を基礎とした一九三九年九月今次大戰勃發以來一九四三年末に至る反樞軸並びに中立諸國が喪失した船舶の綜合數字を發表した、その要點次の通り

一、喪失船舶隻數は五千七百五十八隻、そのトン數は二千二百十六萬一千總トンに達し、一日平均七隻の割合にあたる

一、この喪失船舶は開戰前全世界の船舶の三十二パーセントに當る

一、このうち米國の喪失船舶數は七百五十三隻である

一、これに對し米國は一九三九年以來四千三百八隻、そのトン數四千四百八萬二千重量トンを建造した

UP通信社は右戰時情報局の發表を敷衍して反樞軸國が開戰以來その商船隊に最大の打擊を受けた年は一九四二年でこの年に反樞軸國は米國の四百二十二隻、英國の七百八十二隻を含み總計一千八百九十九隻、そのトン數八百三十三萬八千總トンを失つてゐると報じてゐる

米佛物資供給協定成立

(リスボン二十八日發)パリ來電=ド・ゴール政權は米國政府との間に總額一億六千萬磅に及ぶ原料物資供給協定を締結した旨二十八日發表した

ベルギー國内内亂の危機

—首相武力彈壓策をとる—

（ストツクホルム二十八日發）ピエルロー政權と抗戰集團との抗爭は武器浚收令の强行で一段落したが、ベルギー國内における共產黨並びに左翼分子は食糧並びに燃料不足に由來する全國民の不滿を奇貨とし大規模なクーデターを企圖、政情の不安は將に爆發點に近付かうとしてゐる、ブリユツセル來電によれば、ベルギー勞働組合總同盟は二十七日市内の各勞働團體に小冊子をバラ撒き二十八日午前十一時を期し總罷業を決行するやう指令し、農業勞働者電信電話從業員約三千名が右指令に基づき罷業に入つた、罷業はその後電車從業員その他交通各機關の從業員から特にブラバン縣の各種重要工場に波及し市民の生活は殆んど麻痺狀態に陷つて了つた

共產黨の機關紙「赤い旗」の報道によれば、ベルギー國内至るところ自然に罷業が起りモンス地方だけで軍需工業、炭坑業並びに鐵道の罷業人員は四萬に達するといはれる、罷業團數千名は「パンと石炭」とを求め「ピエルロー反動内閣を倒せ」と絶叫してブリユツセル市内を示進し議事堂の附近に殺到した、以上の不意な形勢を察知したピエルロー首相は反樞軸軍と打合せた後反樞軸軍の武力を背景としてあくまで彈壓政策に出ることとなり、上下兩院の周圍には鐵條網を張りめぐらし、トラツクで武裝警官隊を要所要所に配備、中心街のリユー・ヂユカール街から議事堂のあるリユー・ド・ラ・ロア街に至る一帶は裝甲車や鐵條網で全く物々しい情景を呈してゐる

以上の手配を了した後ピエルロー首相は二十八日午後先づ緊急閣議を開催、ついで下院に臨んで不逞分子彈壓の決意を表明、左の通り述べた

無責任な分子は國内に内亂の雰圍氣を醸成しようと策動し、殊にモンス地區からは叛徒が武裝し自動車で隊伍を組んでブリユツセルに乘り込まうとしたので政府は實力をもつて干涉するの止むなきに至つた、革命を企圖してゐる分子の卒伍には第五部隊が潛んでゐる、彼等の求めてゐるのはパンでも石炭でも仕事でも正義でもない、彼等は戰爭を用意してゐるに過ぎない、全國民は眞相を知る冷靜を持さねばならぬ

非常大權法可決さる

首相の演說に引き續き下院は二十一日上提された非常大權法案を表決に付した結果贊成百十六票反對十二票、棄權六票で同案を可決した、同法案の細目は判明しないがブリユツセルからのロイター電報は法の執行、治安の維持に關聯し現實には國内經濟の運營につき政府に殆んど獨裁的權限を賦與するにひとしいと報道してゐる、右法案の成立とともにピエルロー政權は先づ抗戰集團と共產黨との主催で廿八日夜ロワイヤル廣場で決行する豫定であつた一大示威運動を禁止し、さらに「赤い旗」紙が依然政府反對の論陣をつづける場合には發禁處分に付する旨豫告した、ピエルロー首相は下院に對し抗戰集團の武器四萬九千箇のうち二萬七千箇を浚收したと報告、近く「抗戰評議會」を組織して抗戰集團各分子の統合を期すると述べてゐるが、形勢が極度に緊迫してゐることは二十八日夜ベルギー政府當局も認めてゐるところで、事件の背景についてはロイター電報は

地下に潛行する「白軍」並びに共產黨が政府を顚覆して歐洲で最初の勞農政權を樹立しようと周到な革命を企圖したのに對しピエルロー政權は遂にこれを叩き潰したが、反樞軸軍もまたブリユツセルの街上において二十八日夜一切の警戒手段を講じてゐる

と述べてゐる

英國の横槍でボノミ組閣難

—スフオルツア伯の入閣に反對—

（リスボン二十九日發）ボノミ首相はいはゆる國民解放委員會を結成する六政黨の要請を入れ後繼内閣の組織につとめてゐるが、ローマ來電によればカルロ・スフオルツア伯の入閣に關聯し英國が横槍を入れてゐるため組閣工作は重大難關に逢着してゐると傳へられる

昭和十九年十二月一日(金)
第三二五七號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

スフオルツア伯はバドリオ政權の裏切りの前後亡命先の英國からローマに歸還、六政黨の委員長としてローマ政界に隱然たる勢力をもつてゐるが英國政府においては一九四三年九月當時スフオルツア伯の歸國に對してはバドリオ前首相と協力するといふ條件つきで同意を與へたのだが、同人は歸國と同時にバドリオ首相並びにサヴイオ家に對する反對の工作を開始したと非難し隱謀家であり個人的野望の達成に夢中で反樞軸各國の親善關係維持等は念頭になく從つて同人が外相に就任することには絕對反對だといふ立場を固執してゐる、ロイター電報によれば、英國大使サー・ノエル・チヤールスも二十八日六政黨の代表との會見ではつきり同人の外相就任に英國政府が反對なる旨言明したと傳へられるが、現にスフオルツア伯に對しては米國政府においてワシントン駐劄大使のアグレマンを出してゐる事實あり、イタリア後繼內閣の組織を繞つて米英ソ三國の關係は可成微妙な動きを示してゐる樣子だ、六政黨の領袖はマレスチアリー宮で連日會議を開催し對策を協議してゐるが、社會黨領袖ピエロ・レンニーは二十八日UP記者に對し

新內閣の組織が後れてゐるのは英國政府が副首相乃至外相としてスフオルツア伯が入閣するのに反對してゐるためだ

と言明したといはれ同じくUP電報によれば社會黨は反樞軸軍の內政干涉緩和を要求する旨の決議を採擇、六政黨は右具體策についても協議を重ねてゐるといはれる

反樞軸占領地の混亂

(リスボン二十八日發)反樞軸軍は民主々義の旗印の下にドイツ軍壓迫下の諸國民を解放するのだと稱して歐洲本土に、イタリアに、ギリシヤに乘り込んだがその結果はどうか、住民たちは「秩序」から「解放」されて混亂と窮乏のどん底に苦しんでゐる、これは米英兩國の新聞通信社も認めてゐるところで、以下各紙の報道によつて所謂「解放地」の情勢を概觀してみよう

イタリア＝南伊は共產黨の擡頭のためにボノミ政權も遂に權力を維持し得なくなつたが、今後は食料の不足、一般の經濟困難等に伴ひ國內混亂に陷る惧あり、既にハルレモ、グロセート、プラチアノ等では軍隊と民衆との間に衝突事件さへ起つてゐる

フランス＝最近まで戰場であつただけに交通機關が破壞されて食糧燃料の不足甚だしく、これに「マキ」匪團の武裝解除問題が絡んで物情騷然たるものがある、フランス抗戰團體會議は十月末ド・ゴールの「マキ」武裝解除に反對し、十一月八日のロイター電報もこの問題に關聯する共產黨の政府改組から國內が動搖してゐる旨報じてゐる、フランス國內の經濟的窮乏について「デーリー・メール」紙は今フランスの生活を救濟しなければ國民は悉く共產黨に走るだらうと論じ、フランス通信社電もド・ゴールには救濟の實力もないが、このまま放置すればフランスは共產主義を受諾するほかないと嘆じてゐる

ベルギー＝ここでも政府の「パルチザン」武裝解除に反對する共產黨を中心に混亂狀態が惹起され、首都ブラツセルの市內は共產黨のビラで一杯だ、十六日のBBC放送によるとこの問題に關聯して三人の共產黨系閣僚や警視總監が辭職する騷ぎで、引續き衝突事件に政府對「抗戰集團」の對立が表面化し、二十六日のロイター電報によればピエルロー內閣は政權の維持も困難視されるに至つてをり「ニユース・クロニクル」紙の如きはベルギーの現狀を評して「冬期到來前に食料並びに燃料の配給が不可能だとすれば、政治的に重大な危機を生ずることが豫想され、初めのうち英國に解放を感謝してゐた國民もこの調子ではドイツ軍占領下の方が却つて幸福だつたと思ふやうになるにちがひない」と論じてゐる

チトー、米記者を國外追放

(リスボン二十八日發)ベルグラード來電＝ユーゴ國民解放委員會新聞當局はUP記者パツカードを「好ましからざる人物」として二十八日國外退去を命じた、直接の動機はパツカードがユーゴ國內情勢を報じた際ベルグラードの新聞にはルーズヴエルトやチヤーチルの寫眞が「不思議なほど」みられず、眼につくものはチトーやスターリンの寫眞ばかりと打電したためで、電報は反樞軸當局の檢閱を通過したのだが、チトー政權新聞當局に睨まれたのである

【米　洲】

海軍長官　（リスボン二十八日發）シカゴ來電＝米國海軍長官フオレスタルは二十八日シカゴにおいて次の通り述べた

徴兵制支持　米國内に徴兵制を施行することに對し、早くもこれが民主々義と背馳するとか、全體主義的體制の始まりだとか、乃至は子弟の監督を兩親から國家の手に移すものだとか、種々不滿の聲を聞くが余は以上の如き見解には承服し難いかへつてかかる制度によつてのみ米國は民主々義を維持し、以て全體主義體制の發展を防止し米國が目下戰ひつつある安全保障と自由とを確保することができよう

フオレスタルはついで大海軍力保持の必要を力説し次の通り述べた

增産運動に前線兵士を動員　將來世界平和の維持、保障のために創設される機構がたとへいかなるものであつても、かかる機構は重要な一要素として米國海軍が現在保有するがごとき武力を必要としてをり、ひとり米國の安全のためのみならず、全世界の安全を保障するためにも、米國は强力且つ效果的な海軍力を維持しなくてはならない

（リスボン二十八日發）ワシントン來電＝陸軍省は二十八日次の通り發表した

アイゼンハウアーはその麾下の前線兵士二十七名からなる一團を今回特に本國に送還した、彼らは五組に分れ約六週間にわたつて全米の軍需工場を歷訪前線の米國軍が武器、彈藥の不足のため砲彈の發射さへ差控へなければならぬその實情を軍需勞働者に報告することとならう

最も緊急を要する軍需品　一方フオード自動車會社は二十八日同社のウイロー・ラン工場が過去二ケ年間にリベレーター四發重爆機六千八百五十臺を製作したと發表した

（リスボン二十八日發）ワシントン來電＝戰時人的資源委員長ポール・マクナツトは二十八日要旨左の如き人的資源狀態に關する報告を發表し十七種目に亘る「最緊急兵器」生産計畫に要する人的資源の必要を强調した

比較的緊急を要しない軍需工場を含む勞働者不足數は約二十萬、更に小火器用彈藥製造に六萬三千名を必要とするが最も緊急を要する軍需工場が必要としてゐる勞働者の數は九萬である、しかして最も緊急を要する軍需品は次の十七種である、飛行機、彈藥、大砲、砲車、電池、鑄造施設、海軍艦船修復施設、電波探知器、ロケツト造船所、戰車、テトラ・エチル、鉛、タイヤ、トラツク、電線、鐵索

商船修理狀況　（リスボン二十八日發）ニユーヨーク來電＝戰時海運局のジョン・バーネツトは二十八日下院の分科委員會に米國商船の修理狀況につき政府は現在商船修理に每週六百乃至七百萬弗を支出してゐると報告した

眞珠灣調査延期法案　（リスボン二十八日發）ワシントン來電＝上院は二十七日共和黨議員フアーカソン提案の眞珠灣事件に對する軍法會議の開催を十二月七日からさらに六ケ月延長する法案を可決、下院に回附した

【西　亞】

イラン新内閣石油問題に觸れず　（リスボン二十八日發）テヘラン來電＝イラン首相バヤートは二十八日國會に對し新政府の施政方針を盛り込んだ五ケ條の綱領を提出したが、問題の石油利權に關しては依然態度を明かにせず、關係各方面を痛く失望させた、綱領の骨子次の通り

一、あらゆる友好國との親善關係を維持する
一、聯合國との協力關係を持續する
一、國民の生活條件を改善し、勞働者階級の生活水準を向上せしめるため厚生計畫、義務教育制および新勞働法を立案實施する
一、選擧法を改訂し、行政機構を改善する
一、失業を清算する爲新經濟農業計畫を實現する

以上はバヤートが石油利權に關する前内閣の決定を既定方針として踏襲してゐる證左と解し、早くもソ聯の攻勢再開とバヤート内閣の短命を豫言してゐる向もある

昭和十九年十二月一日(金)
第三二五七號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【ドイツ】

駐瑞公使トムゼン歸任

(ベルリン二十八日發)ドイツ外務省は去る十六日歸國以來外務省と打合せを遂げてゐたストツクホルム駐剳公使ハンス・トムゼンが歸任した旨二十八日發表した、外務當局はトムゼン公使との打合せ内容に關しては沈默を守つてゐるが、ドイツ軍のバルト海作戰區編入に基くスエーデンの輸送問題も未だ獨瑞兩國間に討議されるに至らず、またスエーデン政府が北部ノルウエーからの避難民のスエーデン通過を拒否したことに對し、ドイツ外務當局が不滿の意を表明してゐる折柄、トムゼン公使歸任後の獨瑞關係は注目に値する

【東亞】

ネルソン經濟顧問就任受諾

(リスボン二十八日發)重慶來電=目下重慶において軍需生産の振興に當つてゐるルーズヴエルト特使ドナルド・ネルソンは重慶政府の經濟顧問就任を受諾した

生産補給戰完遂を強調

(リスボン二十八日發)重慶來電=米特使ドナルド・ネルソンは二十九日午前國民參政會總裁蔣介石以下各委員を前にして一場の演說を行ふがこれに先だち右内容を記者團に發表した、要旨次の通り

重慶當面の問題は日本軍の進擊を阻止する方法を發見することであり、他方では生産と補給の戰ひに勝つことである、この見地より重慶政權が軍需生産局を創設したことは前進への一巨歩でありわれわれの共同の敵擊滅に向つて重慶がとつた最大の經濟的措置と考へる、しかしわれわれは重慶が生産と補給の戰ひに勝つまでは重慶の軍事的地位が多大の改善をみるものと期待することは現實的に不可能である、戰爭が長引いてゐるため重慶の民衆は過重の負擔に壓迫されてをり惡性インフレの危險と戰つてゐる、しかして重慶は二億人の民衆に對して使用されてゐる自動車が六千臺以下といふ恐るべき輸送力の不足に直面し更に工業活動に必要な幾多の施設機械裝備を缺いてゐる、しかしこの生産補給戰への任務は完遂しなくてはならない

軍需生産力を六ケ月で倍加

(リスボン二十八日發)重慶のAP通信特派員は米特使ネルソン一行の重慶軍需生産狀態調査につき二十八日次の通り報道してゐる

ネルソンの目標は重慶の軍需生産を六ケ月以内に二倍にすることである、一行中の五名の鐵鋼專門家は最初の調査を終へて重慶に歸還したがこの調査で一行は重慶の製鐵工場が一週六日制で僅か一回の交替で操業してゐることを發見した、この結果一行は鐵鋼生産が實質的に增産可能であると言明した

重慶、新大使を歡迎

(リスボン二十八日發)重慶のAP特派員は大統領特使パトリツク・ハーレー少將の大使就任につき重慶が歡迎してゐる旨二十八日次の通り報道してゐる

重慶筋ではハーレーの大使就任は重慶の危機打開に對するワシントンの深い關心を反映するものとして歡迎してゐる、ルーズヴエルトの代表として重慶にきたハーレーはこれまできた先任の各特使よりも一層ホワイト・ハウスに親密な接觸を保つてゐるものと考へられてゐる、ハーレーは蔣介石との屢次の討議を通じて米人と否とを問はずこれまで重慶に駐在した他の如何なる大使よりも蔣と緊密な關係となつた、重慶筋ではAP記者に對し、ワシントンはネルソン、ウエデマイヤー、ハーレーの如き第一級の人物を派遣して重慶に對する友情と重慶の危機打開援助の希望とを實證したと述べてゐる、ハーレーは大統領の特使としてまた元陸軍長官として重慶では顏が廣いので、重慶側では彼が曖昧な肩書を持つ外交使臣となつてゐるよりも、大使に就任したことに滿足してゐる、重慶の今日の諸問題は政治軍事的性質を帶びてゐるので軍事的背景を持つ大使がこの頃では特に重要だと考へられてゐる、ハーレーは重慶到着以來國内の複雜な諸問題の内情に直接通じてゐる

特輯

比島侵攻作戰と米國の宣傳戰(中)

武井武夫

侵攻作戰が開始されて四日目の二十三日、日米兩海軍の主力は比島水域において恐らく海戰史上空前の大決戰を行つた、だがこれは大海戰であると同時に、太平洋の戰場においては爾後の更に苛烈なる戰鬪の序幕たるにすぎなかつたのだ、わが鶴翼の地上航空基地陣の內面に突入せる敵侵攻軍並びにその掩護艦隊としては、日本陸海軍航空部隊の出擊も水上部隊の襲擊も豫期せるところであり、或ひは日本軍戰力を一擧に奪ふべき機會として待望してゐたかもしれない、だが彼にして決戰を期するならば、同時にそれはわれにとつても千載一遇といふべき滅敵の神機である、兩軍の希望は一致した、しかして時機の選擇は日本軍に委ねられたのである

海戰の結末については語るまでもない、大本營の發表が雄辯に物語るやうに、日本海軍は大戰果を擧げて敵の第一線戰力の多くを奪つた、海戰が如何なる勢力により如何に戰はれたかの詳細は、戰爭の續けられてゐる現在では發表されないのが當然である、敵米國は海戰後直ちに彼我艦隊の動きその他に關し具體的な艦型、編成、日時などを並べて世界を相手に大宣傳を開始した、これも米國のごとき國民を有し米國從來の宣傳態度を續ける必要があるとすれば當然のことだらう、ニミツツ並びにマツカーサーが、或ひは第三艦隊、第七艦隊の司令部がどんな發表をし、どんな報告をしてゐるか、それはまだ作戰繼續中である現在採り上げて批判檢討すべき時期ではないが、彼我全く相反する勝利發表に對し世界が如何なる反響を示してゐるかは一應みておいてもよからうと思ふ

日本艦隊出動の反響

たとひ期待してゐたことではあつても、大事件は人をして多大の感動を催さしめる、米國大統領ルーズヴェルトは日米兩艦隊會戰に關する第一報を聞いた夕刻、直ちに白堊館の自室に新聞記者團を呼び集めた、かうした臨時記者會見は彼としては稀有の例だ

君たちを呼んだのは大ニュースをきかせたいからだ、わが米國太平洋艦隊は比島沖で日本海軍と戰つてこれを敗走せしめた、どうだ大ニュースだらう

これをルーズヴェルトの有頂天振りとのみみるなかれ、常識を誇る彼の胸中には旬日後の總選擧があつた、利用し得る宣傳材料はすべて利用しなければならない、そして彼の意圖を恐らくは十分に承知しながら、米國人である米國の新聞通信記者は彼の敵も彼の味方もこの大統領の劇的な發表を全世界に大々的に報道した、これに對し中立國スエーデンの「アフトン・ブラデツト」紙はもしこの報道が眞實だとすれば、日本の內閣更迭並びに海軍首腦部の異動が日本海軍の戰略に大變化を齎したにちがひない、ここにおいてアジアの戰局は大轉換に直面してゐることが感じられる

と論じ、同紙ロンドン電は

今まで南方諸基地に潛んでゐた日本艦隊は臺灣から南下する主力と合流して決戰に出たことだらう、日本は一切をこの一擧に投じて決戰を行ふ肚なのだ

とのロンドン筋の觀測を傳へてゐる、自他共に許す海軍國の傳統を誇る英國民が太平洋の海戰に特に大きな關心を示したことは勿論だが、彼らとしては當然數的優劣が最大の問題で、十月二十六日附「マンチエスター・ガーデアン」紙も

太平洋において米海軍が絕對優勢を持してゐることは疑ふべくもない、兩國艦隊勢力を推定するに、主力艦は米國二十三隻、日本十乃至十二隻、巡洋艦は米國五十乃至六十隻、日本三十五乃至四十隻、驅逐艦は米國三百乃至三百五十隻日本七十乃至百隻、潛水艦は米國百五十乃至二百隻、日本は七十乃至九十隻とみられる

などと比較に憂身をやつしてゐるが、その當不當は別として、若し戰爭が數の優劣で定るとすれば兩國が艦船を並べて比較するだけで彈丸一發射たずに話はつく筈だ

昭和十九年十二月一日(金)
第三二五七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ところが結果はどうか、數的に優勢な米國艦隊はあのやうに多數艦艇の犧牲を出した上に、すでに揚陸したマツカーサーの大軍に補給するといふ大きな負擔を殘されて、退くに退かれぬ絶對絶命の窮地に陷つたではないか

だがここに看過しえない重大な反面がある、臺灣沖、比島水域と連續的に叩かれながらも、なほ米國艦隊は比島侵攻軍補給の任務を放棄せず、依然戰場に踏み止つてゐるといふ事實だ、もし一定水域における制海權の爭奪が絶對の目標であるとすれば、いかに犧牲が大きくとも戰場を立ち去らない米國海軍が海戰に勝利を收めたことになる、だが、現在の比島戰局は事情が全く異る、米國海軍としては、戰爭全體を斷念しない限り比島水域を離れることは許されないのに反し、日本海軍にとつては、レイテ島の地上作戰に關する限り後方に無數の島嶼基地を有し、餘分な犧牲を拂つてまで比島東方海面の制海權に固執する必要は全くないのだ、否今後の戰局を有利に導くために敵海軍の擊滅が絶對條件であるとすれば、寧ろ敵艦隊勢力をわが攻擊圈内に引きつけておいて、漸次その出血を强ひることこそ必要なのだとみなければならない、かうした兩者の立場は敵味方の共に知るところであつて、しかも他の道を選び難いところに太平洋戰局の苛酷なる相貌が示されてをり、そこに現在を日本に與へられた無上の勝機と稱する所以も存する

それでは比島水域海戰の結果について米國の味方である英國はどう宣傳してゐるか、またソ聯を含む中立國は現在の複雜な諸情勢を背景にして如何に論じてゐるか、まづ英國新聞界の論調から拜見することにしよう

英國必らずしも安んぜず

「マンチエスター・ガーデイアン」紙社說=米國側の報道によると日本の戰艦はすべて二十三日比島水域で爆彈により擊破されてゐた筈だつたが、實際には退却出來なかつたのか、しなかつたのかとにかく翌二十四日には「全體的作戰」が行はれることになつた、これに關し必然的に推定されることは、一切が艦載機により決せられた多くの前例と全く異り、今や今次大戰で初めて巨大なる艦砲の物をいふ主力艦隊決戰が行はれたのだ、とすれば今回の戰鬪は海戰史上重大な意義を有するわけであり、長い間の宿題だつた若干の問題にも解答が與へられることになる、海戰決定者としての戰艦の地位は果して航空母艦に奪はれたか、今までの形勢では未だ判定は不可能だ、蓋し艦載機は海戰の初期においてこそ奇襲により大きな成功を得たかもしれないが、海戰が續行されるに從ひ航空母艦はその價値の若干を失つたやうに思はれるからである、艦載機は大がい戰鬪或ひは事故によつて忽ち大きな損失を出し、空母そのものは傷つき易い、この海戰は米海軍にとり烈しい試鍊となるだらう、日本軍は地上基地機の活用が自由で、「プリンストン」號も地上航空隊に擊沈されてゐるのだ、日本海軍は本土並びに朝鮮、滿洲等の富源の最後的防禦のために艦隊豫備を維持する道を選びこの兩土から長期に亘り抵抗を續けつつ、海戰の好機を摑んで攻擊軍を擊滅する可能性を常に保持することを望んでゐたのかもしれない、本土から東印度に至る地域は艦隊の煙幕の蔭にかなり相接して列り、商船は南支或ひは米國本土から出動する少數の潛水艦や時々の爆擊機に脅されるだけで由自に往復することが出來る、だがこの煙幕がどの點においてでも一度侵されたとなると、交通全體が停止しなければならない、たとへば比島基地から空襲されたのでは航路は保てないのだ

こんなわけで作戰は回避されてゐたが、地圖をみても分る通り、マリアナ諸島の上陸は心の苦しさを抑へても默視し得たのに反し、比島攻擊は遂に日本を救ひ得る唯一の大膽な作戰に出ることを要求したのだつた、現在の戰鬪はボルネオ、ジヤワ、マライなどがそつくり本土から遮斷されることを防止するために戰はれてゐる、結果如何によつては日本は戰爭を失ふことになりかねない、だが日本は手近に多くの陸上基地を有する、米軍はニユーギニアを基地としてレイテ島侵攻作戰を開始したが、ニユーギニア島が大型艦船を修理し得る船渠といふより大補給基地とみるべきであることを忘れてはなるまい

米軍にとつて近くに十分な航空基地網はなく、米軍機は空母に頼らなければならないが、その空母はまた消耗品となる可能性がある、運命は双方にとつて奈落の淵のごとくだ

戰艦か空母か

以上の論説にみる通り英國は米海軍の絶對優勢を信じてゐない、右論説の日附は比島水域海戰の殆んど終つた二十六日だが、既に米國が大勝利を宣傳してゐた時であり、米國の發表を額面通りに受けとれば日本海軍は潰滅し去つた筈なのだ、それをこんな懷疑的な調子で論じてゐるのは、結局英國さへ米國の宣傳を餘り信用してゐないことになるが、その根柢に海軍國としての米國に對する侮蔑感が隱され、米國の空母第一主義に對する反感が潛んでゐることは否めない、周知のごとく英國は歷史的な海軍國として傳統の海軍戰術に自信を抱き、延いては主力艦としての戰艦に恃む所もまた決して少くはない、近代の航空時代にも英國海軍は空母協力主義といふ保守的な見解を固く持して陸上基地の優位を信じてゐる、從つて米國のレイテ島侵攻作戰は彼らの眼には卵を累ねる危險な遊戲としか映らないのであらう

前揭「マンチエスター・ガーデアン」紙の記事が空母以外の艦艇勢力を比較してゐるやうに「ヨークシア・ポスト」紙の海軍記者も日本海軍の艦艇を米英兩國海軍の太平洋勢力と比較してゐるが特に日本海軍の新銳戰艦には恐れをなしてゐる樣子で、英國の「キング・ジョージ」級も、米國の「インデイアナ」「ワシントン」級も、排水量、火力共に及ばないと溜息を吐き、僅かに最近就役したといはれる米國の「アイオワ」級二隻に期待を繫いでゐる始末だ

中立國半信半疑

中立國は大部分が海軍らしい海軍を持たず、殆んど海戰の何たるかを理解しないといつて好い位だ、殊にスイスのやうな山國では米國の誠しやかなしかも執拗な宣傳が相當きいて、米海軍がレイテ島周邊に活動してゐる限り海戰には米國が勝利を占めたのだと考へる連中が多いらしい、しかし問題は山間の小中立國の喝采ではない、そんなものは最後の勝利に際しては數百倍になつて與へられよう、百論一勝に如かずとは已にいつてきかす言葉である、海軍國スエーデンでも日米海戰の軍配は米國海軍に傾き勝ちだといふが、決して米國の宣傳を信じ切つてゐるわけではなく、「ダグスポステン」紙のごときは「臺灣と比島の眞相を探る」と題し次のごとく論じてゐる

「兩者の公報がかくも甚だしい懸隔を示してゐるのは、いづれか一方が故意に事實を曲げてゐるとしか考へられない、米國側では、自分たちは敵に壓倒的打擊を與へ、今や支那大陸に上陸して大攻勢を展開することも意のままだと稱し、一方日本側は敵空母陣に大損害を與へた結果敵の制空權を破り、レイテ島の米軍を危地に陷れたと全く逆のことを主張してゐる、米國の發表は各方面に引用され、スエーデン各紙はその正確を信じて疑はないやうだが、眞相は果してさうだらうか、事實は否である、だが次のことは見逃せない、卽ち日本側發表は自軍の損害と敵軍の損害の間に大した不均衡を示さず、特に日本側の報道が米國より遙かに脈絡を有するといふ事實にその感が深い、また米海軍當局は、戰鬪經過の詳細はいまだ發表し得ないと繰返し言明してゐる、最後の選擧に對するルーズヴエルトの立場を考へると、現在米軍の調査事實がそのまま社會に發表されやうとは思へない、恐らくこの海空戰の正確な經過は長い間發表されないでゐるだらう、だが、いつの日か米國の比島上陸は力强く見事に續けられるだらうかとかあれは結局嘘だつたといひ得る時がくる、眞の結果もいづれも表面に現はれるにちがひない、この事情は數週間のうちに明かにならうが、確かに選擧の行はれる十一月七日より前といふことはあるまい」

ソ聯における論調

最後はソ聯における反響だが、十月二十七日のソ聯各紙はかなりの紙面を割いて比島水域海戰を報じ、二十五日のニミツツ公報と共にロンドン、ワシントン、ニユーヨークなどからの報道が揭げられ、その中には米國戰時情報局の

「日本海軍は今回戰爭中を通じて最大の損害を蒙つた、將來いかに努力するも日本海軍はもはや決定的な性質を有し得ないであらう」

との聲明も含まれてゐたといはれる、だが世界的な關心の的となつたのは、赤軍將校や各國記者團を前にして無遠慮な意見をぶちまけた軍事評論家トルチエノフの比島海戰論だつた、だがそれを紹介するに先き立つて、ここには先づ同じ頃「赤い星」に揭載された彼の「比島作戰論」を引用して彼の觀點を明かにして置きたい

「過去の上陸作戰に比すると今度の作戰は一層重要な目的がある、卽ちこれは比島戰の皮切りだ、米國は作戰開始に先立つて十分な準備をしたから日本軍司令部にとつてもこの作戰は決して意外ではなかつた、既に九月半頃からラジオ評論家は比島侵攻の切迫を言明してゐたほどだつた、ところが反樞軸軍は意外にもまたまた從來と同一の戰法に出た、つまり日本軍の防禦陣地を迂回して、少しさきの餘り强くない地點に第一擊を加へたわけだ、恐らく比島戰の今後は過去の戰鬪と樣相を全く異にするだらう、從來反樞軸軍は孤立せる小島嶼に戰ひ、艦砲の威力と大航空兵力とを效果的に利用した、しかもその島に對する日本軍の增援を妨げることも可能だつた、しかるに比島では各島嶼が相接してをり、地域が廣大で有力な日本陸軍が駐屯する上に日本軍航空基地も無數に在る、かかる條件の下にあつては、反樞軸軍が從來の如く海軍並びに空軍の掩護を受けることは期待されない、反樞軸軍はここでは一層複雜な條件の下に戰はなければならない、比島戰の結果は太平洋戰局に重大な影響を齎らすであらう、もしこの作戰が反樞軸軍に有利に展開するやうなことがあれば、日本は比島を失ふのみならず、日本にとつて致命的意義を有し、豐富な戰略的原料を包藏する南方諸國との交通線をも喪失することになるのである勿論、この作戰の結果は遠い將來に影響し、太平洋の一般情勢を根本的に變へるにちがひない、今後における作戰の性格並びに趨向に關し判斷を下すことは現在のところいまだ困難だが、最近の報道によれば、反樞軸軍は比島周邊の海戰に勝つたといふ、これは太平洋の戰ひに決定的な意義を有するものである」

第三者の見方

以上に明らかな通りトルチエノフは日本の味方でもなければ、米國の立場に身を置いて考へるわけでもない、彼の論調は甚だ冷淡である、當事者としての希望や危惧の要素は彼の場合には全く問題とされない、ただ彼は歐洲の中立國人と異り、太平洋の形勢に深い關心を有する、前揭の論文の末尾において、彼は反樞軸側の勝利報道を耳にし大きな衝動を受けたらしい文調を示した、それでは彼の比島海戰論は如何なる判定を下してゐるか

「日本はその長い間の膨脹政策の結果として、米英といふ二大强國と戰ふ冒險を敢へてした、だが太平洋の戰爭は準備完全なる日本軍の攻勢といふ第一段階を過ぎて、今や聯合軍の反攻といふ第二段階に入りつつある、日本艦隊はその活動を無力化するほどの打擊は蒙つてゐないが、その損失は抵抗能力に大いに影響するであらう、今や日本にとつて不利な狀況の下に大事件の時機が熟しつつある、戰鬪はいよいよ熾烈化して來た、しかも日本は益々劣勢にならうとしてゐる、卽ちたとへば航空勢力にしても、米國の工業生產力は日本のそれに數倍する、損失が同程度であれば反樞軸軍航空兵力は成長を續け、結局日本軍を凌駕するだらう、艦隊においても、現在米國艦隊は日本艦隊の二倍乃至三倍の勢力であり、更に英國の本國からは有力な艦隊が太平洋に廻航されようとしてゐるのだ」

要するに大佐は比島沖海戰に關する米國側の勝利報道を信じてはゐないが、一方生產力の點からみて日本軍が果して反樞軸軍に對抗し得るかどうかといふ點に危惧を抱いてゐるらしい、評價の問題は別として、生產力が戰局に極めて大きな役割を有するは大佐の指摘をまたずとも嚴然たる現實である

霜月西班牙話

井上勇

山は雪靜かに積る

スペインに關する情報は以後、相變らず區々として據りどころがない、十一月二日から三日南佛ツールーズで開かれたスペイン共和聯合——フランコ政權反對の各派の合同大會も、內容はどんなものだつたか、ただ六ケ條に亘る綱領採擇、その中にはドイツとの卽時斷交、大西洋憲章の容認等の項目が含まれてゐたといふだけで詳細はつたへられてゐない、國境方面も平穩らしく、十一月十五日のパリ臨時政府外務當局の發表によれば、スペイン共和軍の立入禁止區域は從來の國境線より二十粁が四十粁に擴大された、赤色マキ團によつて占領されてゐた南佛のスペイン領事館も、一應立退きが圓滿に終了して、暫くは閉鎖のままでおくといふ話で、越境事件も暫く耳にしない、却つてフランス一般民とスペイン・マキ團の衝突が傳へられてゐる位だ、ホセ・アントニオ・サングロニス大使もパリに着任したし、ド・ゴール政權とフランコ政府とに關する限りは一應國境事件は片付いたわけだ

フランス憲兵隊は「治安維持」の目的で十一月十四日の午後佛西國境の半獨立自治國アンドラを占領した、アンドラにはユルジエル僧正といふ加特力の坊さんが攝政の肩書で采配を振つてゐるのであるが、フランス政府首班は同時に、アンドラ攝政を兼ねることになつてをり、今回の措置は攝政權の發動といふわけで、別にスペイン側でも文句を付ける理由はないわけだ、殊にこの措置をとつたフランスの意圖は冬になつて雪が積ると十一月末には例年、フランス側からのアンドラへの路は閉塞されるので、その前に憲兵を入れておいてこの方面のマキ團の蠢動を封殺しようといふのであつて見れば、なほさらスペインとしては文句はない、憲兵百名ほどをアンドラに入れたとの通告を受けとつたスペイン政府當局が「今回の措置は純然たる警察措置で、何等政治的な意味はない」とフランスの代辯さながらの口吻で辯明したのもおかしくはない、山の方の話は十一月は以上で終りだつたが、終らないのは亡命スペイン政客の來往である

亡命政客踊る夜

いま一番擧措を注目されてゐるのは元スペイン內相ミグエル・マウラで、彼はパリ駐在のフランコ代表サングロニスを說いて、フランコ將軍に下野を勸告させ、自分を總理として、中央穩健派を主體とした過渡期內閣を組織し、この內閣で總選擧を行つて、スペインを共和制に復歸させる案を擔ぎ廻つてゐる

元來がフランスを初め、米英側から出る情報はフランコ將軍のスペインに著しく非同情的で、いまにもファランへの政治は土臺から崩壞する、崩れないなら崩してみせる式の調子なので、ドン・キホーテの活躍する餘地が極めて廣い、その好例として十月三十日の「デーリー・メール」パリ電を一つ紹介しよう

來るべき週においてスペインの內外の反フランコ運動は更に高潮に達すると期待される、ネグリン、キロガは近くロンドンを立つてペルピニヤンに赴き、それぞれの黨員と會見する豫定だマルチネス・バリオはスペイン共和政府の首班として大西洋を渡ることを待構へてゐる、先週來そのための下準備の會同が諸所に開かれてゐる、バスクの連中はパリの本部で會合し、共產黨を含めて全バスクの諸黨は反フランコの共同戰線を張る協定がバイヨンヌで成立したと發表した、スペインの他の七つの政黨もバスク本部で會合し聯盟を結成するに決し、樞軸離脫、フランコによつて斷罪された政治犯の特赦、バスク、カタラン等の少數派の自治承認等の綱領を定め一九三一年の共和憲法への復歸を決議したいま一つ、モスクワ十月二十八日電を見ると景氣はもつとよい、モスクワでの遠眼鏡に映るところによればレリダには二十萬のパルチザン部隊がゐてその數は日々增加しつつあり、スペイン國內各地には數千數萬の「愛國者」が時期の到來を待つてをり特にフランコ將軍の弱點はカタロオニヤで

昭和十九年十一月三十日（木）
第三二五六號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

あり、スペイン領モロツコからは既に二ケ師のフランコ軍がカタロオニヤに到着した筈で今後も續々モロツコ部隊が呼び寄せられることになつてゐるといふのである、これが事實とすれば、スペインは今頃は蜂の巢をつついたやうになつてゐなくてはならぬ筈だが、何のこともなくスペインの空は依然として靑いやうだ

探り度い英の肚

ストツクホルムからのスペイン風景は少々また違つて、モスクワほど赤くはない

フランコ政府と共和派との衝突は次第に擴大して、第二の內亂が近く起るのではないかとの豫想さへ行はれてゐる、英國政府は事態の推移を重大關心を持つて眺めつつもいまだ態度は決してゐない、今のところでは、英國は出來ることなら兩派を妥協させて、革命騷ぎなど起こさせず、英西關係を平穩にしておき度いとの希望のやうだ、ミグエル・マウラも共和派とフランコ將軍との間に交涉による妥協を劃策してゐるやうであるが、これも上記英國の態度を反映するものと解してよい、しかし、マウラは反フランコ勢力の全部を代表すると稱しながら、共產黨だけは除け者にしてゐるので、英國の共產黨方面では彼の運動にけちを付け「デーリー・ウオカア」などは「スペインの反フランコ諸團體は既にマドリードで共同委員會を結成してゐるので、交涉のため他の機關などを必要としない」と毒ついてゐる、しかし、英國の左翼分子の一擧一動でスペインに政變が來るなどとは想像のほかで、フランコ將軍の勢力はスペイン國內ではなほ十分に強力である

チヤーチルが前大戰休戰記念日パリ訪問の際、ド・ゴールと對スペイン政策を議したとの說が行はれてゐるが、英佛ともにスペイン問題については當分事勿れ主義に一致してゐるやうだ、その裏をいへば、フランスにゐるスペイン共和軍の勢力、または亡命スペイン政客の活動に、さして重大な影響力を認めず、フランコ將軍の現在の地位はまだまだ、彼らの蠢動では搖がないほど鞏固だとみてゐるといふこととになる

ロンドンに歸國中の駐西英大使テンプルウツド卿は近い內にマドリードに今一度暇乞ひに來ることになつてゐるが、その節、ロンドン政府の意向がフランコ將軍につたへられるだらうとみるのは妥當と思はれる、テンプルウツド卿の齎す玉手箱の內容が、或ひはフランコ將軍にとつては好ましからざる苦汁であるかも知れない惧れは十分あるとみておいてよいだらう、マウラは、サングロニスが彼の意見を取次ぐことを拒絕したのかどうかフランコ將軍が彼の意見を入れて下野しない限りそれによつて生ずる事態については自分は知らぬと聲明したやうだ、マウラ當りに緣切り狀を叩きつけられても何も痛痒を感ずる必要はないが、テンプルウツドの英國土產は相當愼重に考慮しなくてはなるまい、英國の望むところは必ずしもフランコ將軍の下野ではなく、現在以上の對英協力でスペインが赤化する位ならば、フランコ政府の方がまだしもと考へてゐるだらう、そこでマウラ當りで脅しておいて、恩を賣る手も考へ得るわけだが、この問題も急激な發展をみることは、英米佛の左翼紙には氣の毒であるが、まづ當分はあるまいと考へるのが妥當だらう

フランコ燐寸遊び

最近スペイン關係で波紋を生じた問題にはフランコ將軍が十一月初旬UP記者に與へた會見記がある、その內容の主要點は

一、フアランヘ・スペインは思想的にはフアシズムでもなく、國家社會主義でもない

一、來るべき平和會議には中立國も當然參加せしめらるべきであり、スペインの政治組織には、戰後平和の建設に當るべき諸國民との協力を妨げる何等の要素も含んでゐない

一、國際的原則はスペインの政治理念と相容れないものとなすのは誤解であり、スペイン政府は凡ゆる國家と調和的友交關係を維持することを希望してゐる

といふにあるが、最も論議の對象となつたのは平和會議への參加要望であつた、英國の左翼紙など最も激しく反撥したらしく中には「平和會議へ參加したいならば銀盤の上にフランコの頭を捧げて來い」とまで非禮の言葉を吐いたものもある

「デーリー・メール」は、フランコ將軍の態度を「暴戻不遜」であると斷定し「他の國が血を流して戰ひ惱んでゐる時金儲け以外の何事もしなかつた中立國が戰後の世界組織が論じられる席上で特別な配慮を拂つてもらふ權利があるなどと考へるのは笑止至極だ」ときめつけてゐる、英外務省顧問として戰鬪的であることを賣物にしてゐるヴァンシツタートはフランコ將軍の要求をもつて「妄想」であるとし、平和會議には「中立に疑問の餘地のなかつた中立國も參加する資格がないことは自明の理で、その點に疑問が生ずるやうな場合は自分が先登に立つて抗議する」と意氣捲き、下院でも相當贔屓かに反フランコ氣勢を擧げた

ソ聯は無論のことで「プラウダ」はスペインの要求は前代未聞の不遜だと攻擊し「一體フランコ政權の腐つた屋臺骨がいまから戰爭終結まで保てるどうかさへ怪しい」と捨白科を與へてゐる

米紙の遠吠え

ニューヨークの「ヘラルド・トリビユーン」も一說なかるべからずで六日からいつたフランコ將軍は何を考へたか急にヒツトラー總統との同盟が不可能であり、ムツソリーニ首相に誠意がなく、スペインが世にも稀れな寬容の國であることを世界の前に證明しようとした、しかしフランコ將軍は肝心な一つことを忘れてゐる、それは長い內亂の結果スペインは疲れ果てて、今では最も容易に最も利益のあることが判つてゐる冒險にも乘り出すことが不可能な地位にあることがそれだ、民主諸國はこのスペインの等閑りを高く評價するわけにはゆかない、フランコ將軍はチヤーチル英首相のロマンチツクな王黨主義に縋らうと試みるだらうが、われわれはフランコ將軍の過去とその政府のフアシスト的性格をおいそれと忘れ去ることは出來ないのだ、スペインは戰爭に參加せず、ヒツトラー總統を經濟的、軍事的、宣傳的分野で支持しつづけて來た、これがどうして中立なのだ、フランコ政權はドイツに對抗する聯合國の力を分散させる危險を代表してゐる、聯合國の感謝乃至は友情を期待し得る根據など何一つ持たないではないか

フランコ將軍がガソリンタンクに燐寸の灯をつけたやうなもので、一時に大爆發を起したかたちだつたが、一度爆發して燃えてしまつた彼は、これはまたさつぱりしたもので、UP事件もその後は何のこともない、殘るところは舊の如く、チヤーチルが果して英國とフランコのスペインとが戰後十分協力し得るとの確信を變更または修正するかどうかにかかつてゐる、ソ聯の對スペイン態度が實際的問題となるにはまだ時間があらう

北阿に燻るほだ

いま一つスペインの持つ國際問題にタンジエの國際地帶の問題がある、フランスの敗戰後スペインは國際地帶に、治安維持を名として兵を入れたが、これがドイツ機關の巢になつてゐると反樞軸國側は主張し、スペイン側は、タンジエにドイツの外交經濟代表はゐるが、これは英西協定の違反を構成しないと主張してゐる

元來スペイン領モロツコの治安を害してゐるのはフランスの間違つた植民政策とモスクワの金で買はれたフランスの陰謀家どもで、彼等のスペイン攻擊の意圖が奈邊にあるかはたれでも知つてをり、たれも信用しないだらう

と十一月十日の「エスパアニヤ」紙はいつてゐるが、ロンドン方面ではフランコ政府は早速、タンジエの國際地帶を舊態に復すべきであり、若しフランコ將軍が、この要求を容れぬ場合は、英國は獨力でもつても、軍事的、政治力國力をスペインに加へるべしとの强硬論が行はれてゐると新聞はつたへてゐる、この問題も近い將來の發展性はないやうで、スペインが依然、伏龍を內に祕めたまま深淵の靜けさと渦卷とをもつて、國際舞臺に謎を投げかけてゐる現狀には變りはない

最後に「ヘラルド・トリビユーン」が評してチヤーチルのロマンチツクな王黨主義となしてゐるブールボン王朝の復辟問題であるが、これはアルフオンゾ十三世の息ドン・フアンをスペイン王として復活せしめる案で、フランコ將軍も一つの解決策として考慮の內には置いてゐるらしいが、それはフアランへの政策を新王が支持するといふ條件つきらしいので、ドン・フアン殿下が二の足を踏んでゐるといふことだ

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月一日(土)　第三二五八號

同盟通信 海外電報 (276)

發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話銀座(57)一〇〇番

目下ドイツ軍がドイツ領内へ向つて組織的に撤收しつつある中南部地區を除き、ケルンの前面ではドイツ軍の不屈の頑張りにより戰線に殆ど變化は生じてゐない、ドイツ軍當局の言明に俟つまでもなくレール河畔の戰鬪は屍山血河の大消耗戰であるが、現在の戰況の重點が動きに乏しく地上戰よりむしろ空中戰におかれてゐる事實を注目しておくべきであらう、ロイター電報によれば二十八日午後九時から二十九日の夜まで僅か二十四時間のうちに反樞軸空軍は前後七回に亘つてドイツ本土に大爆撃を加へたといはれる、第一回目は英空軍のモスキトー爆撃機隊が南獨バヴアリアのニユルンベルグに對し一回の攻撃としては最大の爆撃を加へ次いで二十九日早朝ランカスター、ハリファツクス各爆撃隊は二回に亘つてエツセン、ノイスのルール工業地帶を攻撃、さらに右空襲にやや遲れて米軍航空隊の「空の要塞」一千機は戰鬪機一千の直衞の下にハノヴアー附近のミスブルグおよびハムを襲ひミスブルグでは石油工場、ハムでは停車場を狙つた模樣である、第五回目は二十九日午後モスキトー爆撃機隊が大編隊を以てデユイスブルグ上空に殺到、四千封度のブロツク・バスター爆彈を雨と降らせ、第六回目はランカスター機隊がドラルトムムンドを、第七回目は二十九日夜同じくンカスター機隊がハノヴアーを爆撃してゐるさらに三十日にも一千二百機の「空の要塞」は戰鬪機一千の護衞の下にライプチヒ地區の合成石油工場を襲つてをり、反樞軸空軍の對獨空襲は現在最高潮に達してゐるミスブルグ、ニユルンベルグを除くほか、以上の各地が殆どライン流域並びにルール後方のウエストフアリアにあるところからみて反樞軸空軍の狙ひが奈邊にあるかいふまでもなからう

世界の焦点

【目　次】

米英新借與協定……二九二六
米國政府も發表……〃
ジョンソン法の廢棄を提案……〃
米軍の死傷五十三萬七千……〃
徵兵反對の示威運動……〃
亡命ポーランド新內閣……二九二七
ベルギー食糧の危機……〃
中共問題の根本條件は不變……〃
【米　洲】
紙幣流通高激增……二九二八
輸送問題深刻……〃
パレスチナを開放せよ……〃
對獨爆撃を强化……〃
日本人排斥會……〃
「ノルマンデイー」對日戰に出動か……〃
伯もグワテマラ新政府を承認……〃
【英　帝　國】
彈藥庫爆發事件後報……二九二九
アンダーソン藏相訪佛……〃
エールは媾和會議に參加し得ず……〃
カナダ國情依然緊迫……〃
糧秣廠としての濠洲……〃
聯邦放送會議明春開催……〃
【歐　洲】
ユーゴ血の肅淸……〃
アルバニア情勢英に不利……二九三〇
芬の「戰爭犯罪者」……〃
ピエルロー彈壓政策を續く……〃
勃の休戰支出額……〃
洪特別攻撃隊編成……〃
佛、北部の炭坑を接收……〃
駐佛スイス公使任命……〃
【ソ　聯】
ソ瑞物資供給協定成立……〃
【友樞軸陣營】
航空會議に米最後案……二九三一
ハリマン羅馬に立寄る……〃
【東　亞】
グルー日本擊破を豪語……〃
宋美齡、蔣と別居說……〃
重慶カルカッタ間定期空路開設……〃
【西　亞】
シリア、レバノン兩國會談……〃
【特　輯】
ルーズヴエルト四選の意義(下)……二九三二
【資　料】
歐洲侵攻反樞軸地上軍の編成……二九三五
ルーズヴエルトの第十七次武器貸與報告……〃
米國市民航空哨戒隊の業績……二九三七
舊聯盟と反樞軸機構案……二九三九
アジアの戰……〃

米英新貸與協定

（ストツクホルム三十日發）ロンドン來電＝英國首相チヤーチルは三十日の下院で次通り發表したケーンズを首班とする英國經濟使節團は過般來ワシントンで米國政府當局と折衝中だつたが新な米英武器貸與取り極めが成立し、この結果米國からの對英武器貸與額は歐洲戰終了後は從來の約半分に削減されることとなつた、更に武器貸與品もその後の對日戰續行に必要な軍需品のみに限られることに決定した、卽ち一九四五年に入ると從來米國からも武器貸與協定に基づき英國に輸出されてゐた民需用製品、或ひは原料品乃至は鐵鋼非鐵金屬等の半製品の供給は停止される、從つて英國は一九四一年九月に發表された白書に基づいて以上の物資を含む頗る廣汎な範圍の品物を自由に輸出し得るわけである、今回の折衝では勿論、それ以前において英國が武器貸與で米國から供給を受けた物資を再輸出したといふやうなことは一度も問題にはならなかつた、今後も英國は武器貸與品と同種類の物資を輸出するやうなことは愼むべく武器貸與によつて供給された物資は確實に軍需品の製造乃至は戰時經濟の維持に必要なもののみに限定されすべてが英國內で消費されることとならう、勿論英國が輸出商品製造用の物資を米國から輸入する場合もあらうが、これはすべて現金拂ひで購入されることとならう米英兩國政府はさらに歐洲戰終了後の國內經濟の再建についても協議したが、英國は對日戰における應分の戰爭努力を弱めることなく、若干の人的資源を民需品生產再開にふり向けることが出來よう、されば將來は一般國民の入手しうる食糧品なども增加すべく、さらに軍需勞働者を收容する住宅建築その他についても米國からの援助を期待することが出來よう

米國政府も發表

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝國務長官ステチニアス、財務長官モーゲンソー外國經濟院長クローリー三者から成る特別武器貸與委員會は三十日次の通り發表した

英國經濟代表ケーンズと米國財務省顧問ハリー・ホワイトとの間に行はれた武器貸與協定更改交涉の結果、從來武器貸與の下に米國から英國に供給されてゐた鋼鐵をはじめその他多數の原料品並びに半製品の輸出は本年十二月三十一日以降一切停止されることとなつた、從つて英國は歐洲戰終了後戰爭努力の餘裕によつて生產された物資を武器貸與協定に束縛されることなく自由に海外市場に輸出し得るであらう

ジョンソン法の廢棄を提案

（リスボン二十九日發）ワシントン來電＝下院外交委員長ブルームは二十九日對米債務不履行國に對する融資を禁止したジョンソン法の廢棄法案を提出し提案理由を次の通り述べたジョンソン法は米國の外國貿易に對する大きな障碍である、フインランドを除いて對米債務を完全に履行してゐる外國は全くない、余はこれら諸國に對する融資は輸出入銀行を通じて行はれ得ると考へる

米軍の死傷五十三萬七千

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝米國陸軍長官スチムソンは開戰以來の米陸海軍兵員損害が十一月十五日現在で五十三萬六千九百五十人に達した旨三十日發表した

徵兵反對の示威運動

（リスボン三十日發）オツタワ來電＝前國防相ロールストン大佐は三十日カナダ下院における徵兵案の審議に當り意外にもマツケンジー・キングを首班とする現內閣を支持する旨を聲明次の通り述べた

海外に派遣するカナダ軍の步兵豫備兵力は殆ど枯渴し事態は極めて重大なので余は徵兵一萬六千を海外に派遣する現內閣の政策を支持する

下院內の空氣はいまだはつきりしないが在野の保守黨の間にはロールストン大佐を首班として聯立內閣が結成される場合には協力を惜しまないとの意向が强い、またキング首相は同じく下院において

西海岸における徵兵案反對の騷擾に對しては政府は嚴重監視を加へ完全に押へてゐる旨確言したがモントリールでは千名以上の學生團が二十九日夜「徵兵案を叩き潰ぶせ」と口々に叫びながら市街を練り步き官衙や住宅に煉瓦や石をぶつつけ被害甚大といふカナダとしてははじめての騷ぎを演じた

昭和十九年十二月二日(土)
第三二五八號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

亡命ポーランド新内閣

(ストツクホルム三十日發)亡命ポーランド政權は前首相ミコライチクの辭職以來後繼内閣の組織難に逢着してゐたが、お鉢は前副首相クワピンスキーからアルチシエフスキーに廻り三十日正午に至つて、漸く組閣をみるに至つた、ロンドン來電によれば新内閣の構成は社會黨三名、國家民主黨二名、キリスト教民主黨二名、政黨外二名となつてゐるが藏相、文相、厚生相は農民黨の入閣を期待していまだ任命されてをらず陸相も暫定的で弱體内閣の譏を免れない、しかも三十日夜新首相アルチシエフスキーが外交方針を闡明し

新内閣の目標はシコルスキー將軍並びにミコライチク前首相の内閣と同樣大西洋憲章の原則に準據しソヴエトロシヤとの恒久的諒解を達成するにあり

と述べたためロンドン外交界筋には少なからぬ衝撃を與へ、亡命政權とソヴエト政府との和解はほとんど絶望視されるに至つた

ロイター外交記者も新首相が大西洋憲章を特に援用したのを重視し

「大西洋憲章第二條には關係各國民の自由に表示された見解に合致しない領土的變更を全然認めないと述べてゐるがポーランドに右條項を適用すれば人民投票に附さぬ限りカーゾン線以東をソヴエト聯邦に割讓することを認めないとの意味だ、しかも人民投票は戰爭が濟まぬ限り施行出來ない、ミコライチク前首相は現實的な見地からスターリン議長とチヤーチル首相の提案を容れ大體カーゾン線をソヴエト聯邦との國境線と認め西方で代償を求める考へであつた、大西洋憲章に訴へることによつて亡命政權はふたたび遷延政策に立ちかへつた」

と論じてゐる

新内閣の顏觸れ次の通り

首　相　トマス・アルチシエフスキー
外　相　アダム・タルノフスキー
國防相　マリヤン・クキエル中將
内　相　ジグムント・ベレゾフスキー
情報相　アダム・プラジエル博士
法　相　ブロニスラフ・クズニエルツ
行政企畫相　スタニスラフ・ソビツキー
平和會議準備委員長、國務大臣
　ウラデイスラフ・フオルキエルスキー
商、工、船舶相　ヤン・クワピンスキー

ベルギー　(ストツクホルム三十日發)

食糧の危機　ブリユツセル來電＝左翼の指導に基づくブリユツセル市内の交通罷業は三十日朝に至りて解決に向ひ通信事業關係の從業員約千人が復業した、同時にバスも普通に運行するに至つた、但しベルギー國内の食糧事情は依然窮迫してをり首相ピエルロは三十日夜次の通り述べた

國内には脂肪類二週間分、肉類一ケ月分を殘してゐるが食糧事情は極めて重大でこの實情に比べれば、過去數日間の騷擾などは些事に過ぎない、この際至急食糧の輸入を圖ることが急務でアントワープ港が使へるやうになつにもかかはらず國内の食糧事情が改善されなければ山々しい事態を惹起しよう、目下米英兩國政府並びにベルギー駐屯反樞軸軍と協議を重ねてゐるところである

中共問題の根本條件は不變

(リスボン三十日發)最近の重慶政權改組により、中共問題に如何なる局面の展開がみられるか注目を惹いてゐたが、新宣傳部長に就任した王世杰(國共交涉重慶代表)は三十日就任後最初の記者團會見で中共問題に對する重慶政權の見解を次の通り說明した

中共問題解決への重慶側の主要條件は次の二點である、即ち第一は戰爭繼續中は統帥と行政の統一は維持されねばならないこと、第二は戰爭の終了後にはあらゆる政黨政派は法律によつて對等の特權を享有すると共に一切の軍隊は單一の國軍に變形統一すること、重慶政權と中共との和解交涉は繼續されてをり、重慶側としてはこの問題を早く解決することにあらゆる手を盡してゐるのである

右の說明で明らかなことはこれまでの和解交涉で重慶が主張して來た、二要點即ち共產軍は重慶の統帥下に入るべきこと及び中共の聯合政府樹立に對する拒否には何ら變更もないことを改めて闡明したことである

【米洲】

紙幣流通高激増

（リスボン二十九日發）最近紙幣の流通高が激増してゐるやうだがニユーヨーク來電によれば、經濟界は二十九日次の見解を發表したといはれる「米國内の紙幣流通高は一九三九年末七十六億弗であつたが、今年十一月に對する金準備高は二百四十九億弗に激増した、一方紙幣流通高には一九四二年二月には未だ九一%臺を保つてゐたが、今日では四九・七%に激減した、法律の規定によれば金準備高が紙幣流通高の四〇%以下になることは許されないが、現狀においては金準備高が更に減少するのを阻止し得ない有樣でインフレの危機が極めて濃厚だ」

輸送問題深刻

（リスボン二十九日發）他分に洩れず勞働力不足に基づく米國内の輸送問題は最近頓に深刻となつてゐる樣子で、フイラデルフイア來電によれば、フイラデルフイアの各停車場には何千トンといふ軍需資材が山積したまま放置されてゐるばかりでなく、ペンシルヴアニア州の一重要港でも三千五百臺の貨車が積卸人足の不足のため立往生をしてゐるといはれる

パレスチナを開放せよ

（リスボン二十九日發）ワシントン來電＝下院外交委員會は二十九日要旨左の決議案を採擇これを本會議に廻附した

パレスチナを開放してユダヤ人の自由入國を認め、更に彼等に植民の完全な機會をも惠んで、パレスチナをユダヤ人の自由にして民主主義的な國家とするやう米國は斡旋すべきである

米國政府當局も既にルーズヴエルト以下パレスチナのユダヤ人への開放を支持する態度を示してゐるが、これに對してはアラビヤ人は當然猛烈な反對の態度をとり、米國在住のアラビヤ人約二十萬の代表者百五十名はこの問題協議のためニユーヨークで大會を開催してゐたが、二十九日ルーズヴエルトに對して左の電報を發し、パレスチナへのユダヤ人入國に絶對反對を表明した

アラビア人地區たるパレスチナをユダヤ人に開放することは民主主義の根本原則に違反するものであり、全アラビア人は一致團結してこれに反對である、現在においてもパレスチナにあるユダヤ人はアラビア人に對して重大な脅威を與へてをり、同地にユダヤ人國家を建設する如きことが行はれるならばパレスチナばかりでなく世界平和が亂される禍根とならう

對獨爆撃を強化

（リスボン二十九日發）カンサス・シテイ來電＝米陸軍航空本部長ヘンリー・アーノルドは對獨爆撃について次の通り言明した

去る八月西歐戰線において、ロアール河南方にゐた約三萬のドイツ軍部隊がパツトン麾下米第三軍の右翼を衝かうとしたが、米軍は空軍力だけでこのドイツ軍部隊の企圖を阻止したことがある、われわれは今後も益々對獨爆撃を強化しなければならない、ドイツは多數の工場を地下に移し、且つ見せかけだけの森林をつくつて軍需品貯藏庫、兵營、彈藥庫を隱してゐる、またドイツの田舍には何百といふ飛行場が點在してゐる、聰明なドイツの科學者達が熱心に兵器の研究を行ひ、戰局の轉換を圖らうと努めてゐる、この戰爭に勝ち拔くためにはわれわれは努力を怠つてはならない

日本人排斥會

（リスボン二十八日發）サンフランシスコ來電＝オレゴン州グレシヤム居住の農民および商人達は今回「オレゴン日本人排斥會」なる團體を組織し各地に抑留されてゐる日系市民が再びオレゴン州に歸つて來ることを阻止するため全州を擧げて歸還反對運動を開始することとなつた

「ノルマンデー」對日戰に出動か

（リスボン二十八日發）ニユーヨーク來電によれば米國により空母に改裝されたフランス豪華船「ノルマンデー」號は近く太平洋戰域に出動することとなつたといはれる

伯もグワテマラ新政府を承認

（リスボン二十八日發）ブエノスアイレス來電＝ブラジル政府は米洲各國政府と協議した結果十一月七日に遡つてグワテマラ新政府を承認した旨二十八日發表した、米國政府は十一月七日同政府を承認してゐる

昭和十九年十二月二日(土)
第三二五八號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

彈藥庫爆發事件後報

(ストツクホルム二十九日發)バートン・オン・トレントの爆發事件のその後に關しロンドンからのロイター電報は次の通り報じてゐる

救護に馳せつけた醫師の言によると、英空軍地下彈藥庫の爆發現場における救出作業は、近く切り上げられるだらうとのことだ、彈藥庫諸共埋められた人々は數千トンの土の下敷になつてゐる、彈藥庫の構築物まで掘りすすむには數百人で一生懸命やつても數週間はかかるだらう、恐らく當局はその無駄を覺つて救出作業の中止を命ずるにちがひない、掘出しは一晩中續けられ更に若干の屍體が發見され、死者數は百六十名を越えるのではないかとみられてゐる、今後の救出作業についてどんな決定をみるにしろ、二十八日夜明の薄明りの中では酸素マスクを着けた作業者達が埋沒した人間を掘り當てようとガスで一杯の地下構築物目指して鑿掘を再開した、民間防護團の團員や二百五十人の兵士の外にダービーから來援した坑夫の一隊が防毒面をつけて地下に潛り込み、泥濘と餘燼の中を地下百呎の彈藥庫附屬工場に生き埋めとなつた人々を救ひ出すために汗水たらしてコツコツと掘り進んでゐるのである

アンダーソン藏相訪佛

(リスボン二十九日發)パリ來電=英國藏相サー・ジョン・アンダーソンは二十九日夫人同伴パリに到着した

エールは媾和會議に參加し得ず

(ストツクホルム二十八日發)エール政府が英國政府の「戰爭犯罪人」に對する避難拒否要求を一蹴したことは英國政界に多大の反響を捲き起し、英國のエール壓迫が漸次露骨化してゐるが、ロンドン來電によれば英自治領省次官エヴアンズは二十八日下院において次の通り言明したといはれる

戰爭遂行勢力に關與せぬ政府が媾和會議に代表を出席させることが出來ぬばかりでなく、休戰交渉にすら介入出來ぬことはいふまでもない、從つてエール首相ド・ヴアレラ氏が媾和會議に代表を出す意圖なしと言明したのは當然のことであつて、問題となる餘地は全くない

カナダ國情依然緊迫

(リスボン二十九日)オツタワ來電=カナダ下院は二十九日首相マツケンジー・キングの提案に基き前後二回六時間にわたる祕密會を開催、徵兵案について討議を重ねた、主として國防相マクノートン大將が徵兵案の止むを得ない所以を說明し、夜になつて漸く散會、三十日公開會議でいよいよ現內閣に對する信任動議を表決に付するが、現に野黨議員數名が祕密會出席を拒否した位で空氣は極度に險惡である、一方テラス兵營の暴動は未だ片付かず、小銃やブレン・ガンを持つた國內防衞軍の兵士はブリラツシユ・コロンビヤ州內各地の兵營から州內の一地點に集まり、徵兵案反對の示威運動を決行する氣勢を示してゐる

糧秣廠としての濠洲

(リスボン二十七日發)キヤンベラ來電=濠洲農商省スカーリイは二十七日濠洲の戰爭努力のうち食糧補給狀況につき次の通り發表した

濠洲は現在反樞軸諸國の糧秣廠の役割を演じてゐるが、主な食糧品は乾燥野菜でその生產高は罐詰類より遙かに大である、現在國內三十三の乾燥工場で每日七千トンの生鮮野菜から一千トンの乾燥野菜を生產してゐる

聯邦放送會議明春開催

(リスボン二十八日發)ロンドン來電=英國放送協會理事長ハーレイは二十八日次の通り發表した

明年二月ロンドンで英聯邦放送會議が開催されることになつた、同會議にはオール・インディア放送のボカリも印度を代表して出席する

【歐洲】

ユーゴ血の肅淸

(リスボン二十九日發)ベルグラード來電によれば、ユーゴ國民解散委員會はユーゴスラヴイア國民中對獨協力者百五名を軍法會議にかけ死刑に處した旨二十九日發表した、處刑された者のなかには元ユーゴ政府閣員三名が混つてゐるといはれるが、氏名は明らかにされてゐない

アルバニア情勢英に不利

（チューリツヒ二十九日發）英國はアルバニアを勢力圏内に收めるため、八月下旬アルバニアに兵力を上陸させ、同國「解放」に多大の援助を與へてゐるかの如き印象を深めようと努めてゐるが、アルバニアの諸遊撃團體は英國の援助などとるに足らず殆んど獨力でアルバニアを解放した事實を主張して讓らずここに遊撃團體と英國政府との覇權爭ひが表面化するに至つた、スイス紙「タート」のロンドン電報は混沌たるアルバニアの情勢を二十七日次の通り報じてゐる

現在アルバニアには二乃至三の遊撃團體が活動してゐるが、これらは相互に連絡を採らずに勝手に行動し、時には遊撃團體間で同志討をやつてゐる、最も勢の大きいのはギリシヤのEAM團やチトー軍と同じ型の左翼團體「國民解放戰線」首領エンウエルホーハは逸早くベラートに臨時政府を樹立したが、まだ反樞軸諸國の承認を受けてゐない

英國はアルバニアを自國の勢力圏に屬するものと頭から極めてかかつてゐるが、共産分子の遊撃隊はアルバニアの獨立を企圖してをり、英國の立場を著るしく困難にしてゐる實情だ

芬の「戰爭犯罪者」

（ストツクホルム二十九日發）ヘルシンキ來電＝フインランド共産黨員はヘルシンキに開催されたソ芬協會の會合において前大統領リツチ前藏相タンネル及び前ベルリン駐劄公使キヴイマエキの三名を「戰爭犯罪者」として起訴することを要求しこれを決議した

ピエルロー彈壓政策を續く

（ストツクホルム二十九日發）ブリユツセル來電＝ピエルロー政權は二十九日新法令を布告抗戰集團の武器沒收のため家宅捜索の權限を警察官に賦與する旨を發表したが、朝來武裝警察隊が自動車で國内至るところで武器狩りを開始したしかし左翼分子は依然罷業によつて「反動政權」との抗爭を繼續しブリユツセル市内の生活は麻痺狀態を續けてゐる、二十八日には市内に僅か八十臺のバスが走つてゐたに過ぎず夜に入つてピエルロー首相とロングヴオー運通相が罷業團の代表と會見したが物別れに終つた樣子である

勃の休戰

（チューリツヒ二十九日發）ソフイア來電＝ブルガリア藏相ステヤノフは二十八日次のやうに言明した

ブルガリアが休戰協定の結果今日までに支出した金額は三百五十萬レヴアに達する、今後の支拂に應じ得るためには公債を發行する必要があらう

洪特別攻撃隊編成

（ブダペスト二十八日發）ハンガリー軍當局は二十八日次の通り發表した

ハンガリー軍は特別攻撃隊を編成してゐるが、任務の詳細は發表出來ない、この部隊は志願制で三十五歳以下の男子に限られ、家族には多額の扶助料が下るほか特別徽章を交付して種々の特典を與へることになつてゐる

佛、北部の炭坑を接收

（マドリード二十九日發）パリ來電＝フランス政權は二十九日閣議において北部並びにパ・ド・カレ地區の炭坑を政府において接收するに決定した、同時に閣議においてアルジエー政權の情報委員アンリ・ボンネをワシントン駐劄大使に任命した

駐佛スイス公使任命

（チューリツヒ二十九日發）スイス政府は二十九日フランス政府のアグレマンを得てパリ駐劄スイス公使館書記官アンリ・ド・トラント氏をパリ駐劄スイス公使に任命した

【ソ　聯】

ソ瑞物資供給協定成立

（チューリツヒ二十九日發）ソ聯、スイス兩國關係は國交修復問題を繞つて險悪な空氣を孕んでゐるが、「ガゼツト・ド・ローザンヌ」紙が二十八日報ずるところによれば、ソヴエト政府は最近戰後スイス物資を購入するためスイス政府と重要な契約を締結したといはれる、ソ聯は以上の目的に使用するためチューリツヒ銀行に三千五百スイス法を預金、さらに戰後スイスの工場機械設備を使用出來るやうソ聯熟練勞働者をスイスの各工場に派遣して、ソヴエト政府の負擔で技術を習得させてゐると傳へられる

昭和十九年十二月二日(土)
第三二五八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

航空會議に米最後案

(リスボン二十九日發)シカゴ來電=シカゴに開催中の反樞軸航空會議は米國の主張する國際航空の「第五の自由」即ち國際航空に從事する民間飛行機があらゆる國で自由に旅客及び貨物の搭載を認める自由權をめぐり、米英兩國代表の正面衝突を來してゐたが、業を煮やした米國代表バールは二十九日「第五の自由」を認めた國際協定を締結、これが承認を認めない國家はこの協定に參加せず二國間の相互協定で將來の國際航空を運營すべきであるとの爆彈的提案を行つた、米國代表部はこの提案は米國としての最後案であり各國代表がこの提案を「受諾するなり拒否するなり勝手にせよ」との米國の最後的意志表示であると言明したが、その對象が英國にあることは明らかで、英國がこの米國案を受諾しない限り航空會議は決裂に終る他なしと見られる

ハリマン羅馬に立寄る

(リスボン二十九日發)モスクワ駐劄米國大使ハリマンは歸任の途次ロンドンに立寄り亡命ポーランド政權に最後通牒を突きつけてミコライチクを挂冠のやむなきに至らしめたが、ローマ來電によればロンドンからフランスに飛んで前線を視察した後、二十九日ローマに到着したといはれる

【東亞】

グルー日本擊破を豪語

(リスボン二十九日發)ニューヨーク來電によれば前駐日大使グルーは二十八日放送演說を行ひ次のごとく豪語してゐる

余は最近パール・ハーバーに赴いてニミツツを初め太平洋戰域陸海軍首腦と會見したが、彼等はいづれも對日戰で米軍が勝利を收めうるとの確乎たる自信を披瀝した、しかし同時に對日戰の前途が極めて困難であることを認識し、希望的觀測や誤つた樂觀論には耽つてゐない、B29による東京爆擊は今後も續行さるべく次第にその熾烈さを增すであらう、しかし日本の諸都市がたきつけのやうな家屋から成り簡單に破壞されてしまふだらうといふやうな樂觀論に耽ることは禁物だ、開戰の前後を通じて日本人は米國民が常に安易な生活に馴れ墮落してをり、戰爭の犧牲に耐へて全體戰をなしうる國民ではないと輕蔑したが、われわれは技術をもつて米國民が最後の勝利を得るまで斷乎として戰ひ拔く固い決意と精神力とを有することを示してやらねばならぬ

宋美齡、蔣と別居說

(リスボン二十九日發)宋美齡は九月初旬以來、ニューヨークにおいて病氣療養中で長期の靜養を要する病狀だと傳へられたが「デーリー・メール」紙のカルカツタ電は宋美齡の渡米は單なる病氣療養ではなく蔣との別居生活に入つたものだと次の通り傳へてゐる

蔣介石は宋美齡と別居生活に入つてをり、宋美齡は當分の間米國に滯留する豫定であるが、それは恐らく長期にわたる滯留で、その間支那に關する衝動的な講演を行ふ豫定であるこの報道に對し重慶中央社のワシントン電は在米中の前財政部長孔祥熙が否定してゐる旨次の通り報じてゐる

孔祥熙は宋美齡がフロリダ州のマイアミ・ビーチに「永遠の住ひ」を定めるつもりであることを否定し、宋美齡が重慶には歸りそうもないといふ「デーリー・メール」紙の報道を「全然虛構」だとしてゐる

重慶カルカツタ間定期空路開設

(リスボン二十五日發)重慶からのロイター電報によれば中國航空公司は來週から重慶カルカツタ間の定期空路を開始し週八回乃至十二回飛行する豫定といはれる

【西亞】

シリア、レバノン兩國會談

(リスボン二十九日發)ベイルートよりのロイター電によれば二十七日シリア及びレバノン兩國政府の首腦者がベイルート、ダマスカス間の一村落レユタウラで會合したといはれる、參會者の顏觸れが兩國の大統領、首相、外相、藏相と殆んど全首腦者を網羅してゐるところからみて相當重大な會談とみられる

特輯

ルーズヴエルト四選の意義(下)

木下秀夫

指導者の必要

十一月九日の「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は曰く

今度の選擧が共和黨に與へた最大の敎訓は、共和黨は追隨的態度を棄てて指導的態度をとらなければならぬといふことだ、このことは國内政策を含んでのあらゆる政治分野に適用し得るが特に外交政策の分野において強調さるべく、ルーズヴエルトの勝利の原因もこの邊に求められるべきだらう、世界政策についてデユウイは國務長官ハルと意見の交換を行つたのを始め、ルイスヴイルその他の演説で素晴らしい見解を發表したが、遺憾ながらこれはシカゴ黨大會における共和黨綱領起草者達の悲しむべき混亂の後になされたのであり、この結果デユウイは指導者としてでなく、追隨者の地位におかれた、たたデユウイは選擧には敗れたとはいへ、その選擧戰を通じて戰後機構問題は黨派的立場から相爭ふやうな小さな問題でないことを強調することにより米國のため至大の貢獻をなした、一方ルーズヴエルトは彼に與へられた國民の支持を無にすることなく、戰後問題には黨派の立場を離れた國家的見地から臨むべきであらう、彼が米國歷史の新しき頁に「議會との協調」及び「國家的團結」の二語を書き入れることが出來るならば、第四期の初めにあたり彼に對する反對の大部分は消滅し去るであらう

更に十一月八日の「プロヴイデンス・ジヤーナル」紙も同樣の趣旨を次の通り述べてゐる

一八六四年、リンカーン、マツクルランドの爭覇以來、初めての戰時中の大統領選擧においてルーズヴエルトは第四期に再選された、米國民は何故一人の人物に大統領の地位を四期にもわたつて認めるといふやうな異常な決定を敢てしたのであらうか、これに對する回答はただ一つ卽ち米國民は今度の戰爭に出來るだけ早く勝利を收め、しかる後今度のやうな悲劇の再發を出來るだけ防ぐため米國が積極的に他國と協力して恒久的平和を樹立せんことを第一且つ壓倒的に希望してゐるからである、ルーズヴエルトは反樞軸諸國との團結を愈々强化して戰爭完遂に邁進し、更にその後反樞軸諸國と共に平和樹立にあたる大事業を國民から委囑された、しかして勝利及びそれに續く平和を確保するためには反樞軸諸國の團結が必要であると同樣に國内的には國民の團結が必要である、この點でこそルーズヴエルトはその指導權を十分に發揮しなければならぬのであり、この指導權は國内的相剋によつて支障を受けてはならない、米國民はルーズヴエルトが今後四年間米國の利益のために米國民の眞の指導者たらんことを欲してゐる

選擧戰を通じて共和黨及びデユウイが頻りに强調したごとく、ルーズヴエルトが今度の選擧で再選されることは、米國の行政が實に十六年の長きにわたり一個人の掌中に握られ、米國人がその生命と稱する米國の民主主義制が事實上消滅し去る危險を伴ふことを意味する、このことは一般の米國民も十分認識してゐたに違ひない、しかるに米國民はこの危險を冒してまでルーズヴエルトを再選した

米國民の戰意

前回の大統領選擧、卽ち一九四〇年の選擧に際し、民主黨側は當時米國の直面しつつあつた國際危局を强調、この危局の最中にあつて「馬を中流に變へる」ことの危險を指摘し、遂にまんまとルーズヴエルトの三選を實現した、今度の選擧では米國は前回の選擧の時よりも更に重大な時局に際會してゐた、米國は既に中立國でなく交戰國である、しかも米國の介入した今次大戰は今や最後の決戰段階に突入し、米國は反樞軸國の大黑柱として飽くまで樞軸國を擊破すべく自ら陣頭に乘出してゐる、しかも更に一步を進めて、戰後の收拾問題においても、對外的には米國は反樞軸陣營の盟主と自覺れて全世界に命令せんとしつつあり

昭和十九年十二月二日(土)
第三二五八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

國内的には軍需産業再轉換問題をはじめとして米國將來の運命をも決定すべき數々の重大案件を抱へてゐる、米國にとつて「馬を中流に變へる」危險は前回の選擧の時以上に切實である、かくて民主黨側は今度の選擧においても再び最大の選擧標語をこれにおき、そして再び勝利を博したルーズヴエルト及びその一統の主張にまつまでもなく、戰爭の現段階において、對内的にも對外的にも米國がその戰爭指導者を更迭することはたしかに米國にとつて不利なことに違ひない、勿論デユウイは選擧による行政部の更迭が米國の戰爭施策にいささかも影響を與へるものに非ず、更に戰時、戰後の外交政策においても現政權の干渉主義外交を踏襲することを明らかにした、しかしデユウイのかかる保障にも拘らず、選擧の結果民主黨政權に代つて共和黨政權が登場する時は、純粹に軍事的な作戰計畫はいざ知らず、國内政策では勿論のこと、大きな意味における戰爭遂行方針或ひは外交政策の上に幾多の變化が隨伴することは必至である、しかもこの點においてデユウイの政治的才能は未知數であり、民主黨側の言葉を藉りれば全く「未經驗の青二才」である、米國民がデユウイの率ゐる共和黨政權の登場に非常な不安を抱いたのは當然である、この見地から今度の選擧をみる時は、米國民はたしかに常識的に動いたといふべきだらう

米國民がもしすでに戰爭に倦んでゐるとするならば彼等は必ずデユウイを當選せしめたであらう米國民がほどほどに物足ることを知つて、ルーズヴエルトの野望外交を支持しない場合にも、必ずデユウイを當選させただらう、換言すれば、米國民がルーズヴエルトを事實上の獨裁者的地位に祭りあげけてまで、彼に四期にわたる大統領の地位を與へたことは、彼等がいまだ戰爭にあきず依然として旺盛な戰意を有することを示し、一方世界制壓の野望に燃えてゐるのは單にルーズヴエルトのみでなく、米國民の大部分がこの野望を分つてゐることを物語るものだ

英國の反響

米國大統領選擧の結果が判明した十一月八日の英國新聞「イーヴニング・スタンダード」紙は要旨左の社説を掲げてル大統領の四選を歡迎した

米國大統領選擧の結果は正に英國民の思ひ通りとなつた、ルーズヴエルトは今やスターリン、チヤーチルと共に、その選擧民の意志に反するといふ心配なく、世界安全保障體制の確立に邁進し得る地位が與へられた

チヤーチル、ルーズヴエルト兩者との個人的關係を度外視しても、英國がルーズヴエルトの當選を大いに希望したことはたしかである、英國は今や米國の援助なくして單獨では戰爭をやつてゆけないやうな立場にまで追ひこまれてゐる、更に戰後の再建工作においても米國の經濟的援助を期待しなければならない、かかる場合に嘗て武器貸與法をはじめ米國のあまりに行き過ぎた對英援助に反對したことのある記錄をもつデユウイの當選を英國が喜ばないのは當然だ、勿論デユウイは彼が大統領に就任しても對英政策を含めての米國の戰時外交政策には變化のないことを保障したが、英國政府首腦と昵懇な間柄にあるルーズヴエルトをはじめ米國政府の閣僚が臺閣を去り、そのあとに殆んど個人的權能のなかつた人々が政府を構成することとなればそのことだけでも米英兩國關係が冷却することは免れまい

かくて英國は單にルーズヴエルトの四選を希望したばかりでなく、今度の選擧戰を通じては陰に陽にルーズヴエルト支援工作を行つた、この工作はある場合には極めて露骨な形をとり、遂に共和黨陣營をして英國のルーズヴエルト支援は、米國の内政干渉なりと憤らせるに至つたほどだつた

ソ聯の態度

ソ聯もまたルーズヴエルトの四選を希望する點では英國とほぼ同樣の立場におかれ、これまた陰に陽にルーズヴエルトに有利な工作を敢てしたがソ聯の工作は英國よりも更に積極的且つ露骨であつたとさへいへるであらう、ソヴエト政府機關新聞「イズヴエスチヤ」紙は選擧の前日たる六日に堂々社説をもつてルーズヴエルト支持を表明、デユウイを米國にある敗北主義者や孤立主義者の仲間に入れ、彼の「支持者、財政援助者遠がフアシストの同情者であることは隱れもない事實である」

ときめつけ、更に進んで共和黨が「卑劣な陰謀」を企んでゐるとさへ敢へて公言した、これと同じ日にスターリン議長が行つた例の日本を侵略國扱ひにし、米英兩國との提携強化を說いた演說は、スペイン新聞「アリバ」紙のニューヨーク特派員にいはせれば

米國大統領選擧戰における最後の決定的演說はルーズヴエルト、デユウイの兩者によつてなされず、却つてスターリン議長によつてなされたスターリンがルーズヴエルトの外交政策を賞揚し、更に日本をドイツと共に侵略國扱ひしたことは米國民を大いに喜ばせ、ルーズヴエルトの再選に至大の寄與をなしたのである

ソ聯の內政干涉

英國のルーズヴエルト支持運動を共和黨が米國の內政に對する干涉だといきまいたごとく、英國に輪をかけたかかるソ聯のルーズヴエルト支持が米國內で反響を起さぬ筈はない、左は十月初旬アレキサンダー・バーマインといふ人物が「リーダース・ダイジエスト」誌に寄稿した一文である

モスクワからの指令で米國の共產主義者達はルーズヴエルトの四選のために全力をあげてゐる米國共產黨の解黨によつてお芽度たい米國民達はやれやれこれで一安心と思つたかも知れないが、米國における恐るべき共產主義者の陰謀は將にこの時から始められたのだ、この陰謀は共產黨が堂々と存在してゐた當時の彼等の活動に比較すれば米國の社會組織にとつては遙かに危險であり、巧妙にして尖銳的なこの陰謀は最後には米國の政權を獲得し、米國を共產主義の獨裁國に變へる基礎工作を着々として押し進めてゐる

この陰謀の第一步として、共產主義者達はニューヨーク州において五十萬の投票を有するアメリカ勞働黨を乘取つた、第二の手段として彼等はシドニー・ヒルマンの率ゐるCIOの政治行動委員會を通じ、民主黨內で支配權を獲得せんとした、第三には彼等は米國內を分裂せしめ、民族的、社會的闘爭を激發することによつて、米國內の情勢を內亂の一步手前にまで導かんとしてゐる、この陰謀に支援を與へてゐるのは米國の自由主義者およびニューデイール派であり更に現政府も意識的にか或ひは無意識的にか、この陰謀を擁護してゐるのだ、米國內の共產主義者がモスクワからの命令によつて、ルーズヴエルトの當選に全力をあげてゐるのはこの理由による

バーマインは嘗て赤軍の將官だつた人物であり一九三七年にソ聯を亡命して米國に渡り、米國政府の一機關に勤めてゐたが、この論文が現はれて後政府によつて「長期缺勤」の理由で解雇されたといはれる

同樣の見解は米國內における親ソ派の一人に數へられてゐたかのW・H・チエンバレンによつても表明されてゐる、卽ち十月三十日の週刊誌「タイム」は曰く

チエンバレンは一九二二年から三四年まで「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙のモスクワ特派員として前後十二年にわたりソ聯に駐在した大のソ聯贔屓だが、最近遂に反ソ論者に轉向した、卽ち、彼は最近スクリツプス・ハツワード系の「ニューヨーク・ワールド・テレグラフ」紙に一文を寄稿し、今度の大統領選擧で米國共產主義政治教育聯盟のアール・ブラウダーとCIOのシドニー・ヒルマンとがルーズヴエルトの四選を支持したことを論じたが、これに關して彼は次の通り述べた、「米國の共產主義者達は米國が戰爭のためソ聯と手を握つてゐるのを好機とし、ソ聯の外交政策及び國內事情に對する批判的議論を一切封殺し去らんとしてゐる、彼等は米國が既にソ聯の一聯邦であるかの如く振舞ひ、スターリン及びその政權に對してはうやうやしい讃辭以外には如何なる議論も許すことが出來ぬとしてゐるのだ

覇道政策積極化せん

「デーリー・メール」紙のニューヨーク特派員ドン・イドンは、よく米國の國內情勢を皮肉的な筆致をもつて英國に紹介する記者だが、選擧の終つた直後に要旨左の電報をロンドンに打電してゐる

昭和十九年十二月二日(土)
第三二五七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ルーズヴェルトは一九四八年の大統領選擧に五選を狙ふやうなことはまづあるまい、彼の次の目標は米國大統領に非ずして「反樞軸大統領」換言すれば「世界大統領」の地位であるからだルーズヴェルト四期政權の前途が必ずしも坦々たるものでないといふのは、飽くまでも國內問題にのみ限られてゐる、一旦戰爭遂行政策乃至は外交問題となれば、ルーズヴェルトの地位は選擧前に比し遙かに安定したとの結論を下し得る、卽ち今後の大統領選擧は彼の干渉主義外交に對する米國民の信任投票なのであり、これは孤立主義の凋落、ルーズヴェルト外交反對派が政界の表面から葬り去られたことによつても示されてゐる、米國民は米國帝國主義の最も優れた指導者としてルーズヴェルトを選んだのである、かくて輿論の支持を受けた彼は、米國のいはゆる「戰爭の完遂」卽ち日獨兩國の無條件降服に向つて益々積極的な戰爭施策をおし進め來るべく、ドン・イドンのいはゆる「世界の大統領」を目指しての彼の覇道政策は愈々その野望の範圍を擴大してゆくであらう

資料

歐洲侵攻反樞軸地上軍の編成

AP十一月二十八日報道

第二十一集團軍 司令官元帥バーナード・モントゴメリー

△カナダ第一軍司令官大將H・D・G・クレアラー
カナダ第二、第三各步兵師團、同第四機甲師團
ポーランド第一機甲師團、ベルギー旅團、チエツコスロヴアキア旅團、オランダ旅團

△英第二軍司令官中將マイルス・C・デンプシー
英近衞機甲師團、同第七、第十一各機甲師團、同第三、第十五、第四十三、第四十九、第五十第五十一、第五十三、第五十九各步兵師團

第十二集團軍 司令官中將オマー・H・ブラツドレー

△米第九軍司令官中將ウイリアム・シンプソン
米第二機甲師團、同第二十九、第三十、第百二各步兵師團(以上第十九軍團)

△米第一軍司令官中將カートネー・H・ホツジ
米第三、第五各機甲師團、同第一、第二、第四第八、第九、第二十八、第三十八、第八十三、第百四各步兵師團(以上第五、第七、第八各軍團)

△米第三軍司令官中將ジョージ・S・パツトン
米第四、第六、第十各機甲師團、同第五、第二十六、第三十五、第八十、第九十、第九十五各步兵師團(以上第十二、二十各軍團)

第六集團軍 司令官中將ジヤコブ・L・デヴアース

△米第七軍司令官中將アレキサンダー・M・パツチ
フランス第二機甲師團、米第三、第三十六、第四十四、第四十五、第七十九、第百、第百三各步兵師團(以上第六、第十五各軍團)

△フランス第一軍司令官少將ジヤン・ド・ラトル・ド・タツシニー
フランス第一機甲師團、同第一機械化師團、モロツコ第二步兵師團、第九植民地兵師團、アルジエリー第三步兵師團

第一空挺軍 司令官中將ルイズ・H・ブレアートン
米第八十二、第百一各空挺師團、第六空挺師團
ポーランド空挺旅團
(その他米第七機甲、第九十四步兵各師團が作戰中だが、所屬は明らかにされてゐない)

ルーズヴェルトの第十七次武器貸與報告

英聯邦の對米逆貸與

英聯邦の米國政府に對する逆貸與額は本年六月三十日をもつて終る一ケ年間に飛躍的上昇を示し總額三十三億四千八百萬弗に達した、これをそれ以前の一ケ年における總額十一億七千五百萬弗に比すれば約三倍に近い增加である、六月三十日までの印度、濠洲、並びにニユージーランドの逆貸與額は九億二千九百六萬五千弗で、この內三億五千六萬二千弗は本年一月から六月までの間に提供された額である

印緬戰域の米軍は六月三十日までに、價格して二億三千二百六十一萬六千弗に上る補給物資勞務並びに諸施設の供與を受けた、本年一月から六月までに米軍が印度で受けた逆貸與額は一九四三年中の總額の五十%以上に相當するが、更に同戰域で受けた全逆貸與額の半分以上は米軍航空部隊に供與された、卽ち航空部隊は六月三十日までに一億一千三百萬三千ガロンの航空機用ガソリンと三千百萬ガロンの自動車用ガソリン及びその他何百萬ガロンといふ潤滑油とグリースの供給を受けたガソリンは主として西亞の英國石油資源から採油され、また印度及び支那の諸基地から出撃する米第二十航空隊所屬のB29を動かした航空機關用ガソリンは大部分ペルシヤ灣に臨むアバダンの英國精油所から供給された、印度駐屯の米軍に提供された兵舍その他の施設は本年六月三十日までに七千八百萬弗に及んだがさらにこれ以上の物が航空部隊に提供された、印度の米軍はまた約二億封度の食糧のほか、布地九十七萬四千ヤード、ズボン六十萬着、靴十三萬足以上及び何十萬の制服附屬品も支給された

一方フランス上陸作戰に逆貸與がなかつたなら何ケ月かの遲延を來したであらう、米軍が一九四二年、英本國に最初に到着して以來本年六月六日歐洲侵入作戰開始までにその數は二百萬を突破したが、この間英國各地の米軍が要した全補給物資並びに裝備の三分の一は逆貸與に基き供給された米軍が英國から受けただけの補給物資を米國から大西洋を越えて輸送したとしたら、優に一千隻以上の船舶を必要としたらう

太平洋戰域の米軍は既に濠洲及びニユージーランドからだけで十八億五千萬封度の食糧を供給されたが、この中には四億封度の牛肉その他の肉類が含まれてゐる、濠洲一國だけで九千五百隻以上の上陸用舟艇小型船舶並びに舟艇を建造米軍に引渡し、これらはすべて比島作戰に間に合ひ、現在更に一萬二千隻以上が建造されつつある、その他濠洲ニユージーランド兩國で何百隻の沿岸艇、艀船、曳船、ライター、小蒸汽船などを米軍に引渡した

米英兩軍は相協力して重大な缺陷を極めて巧妙に補足することが出來たため敵に對する米英兩軍の總力は數倍した、米軍にとつて絶對必要かつ唯一の計畫は港灣施設を事實上全部人工的に建設することであつたが、これらはフランスの諸海岸で使用された、米軍八月まではシエルブール港における米軍の補給物資揚陸は全く不可能だつた

歐洲戰成功の鍵「ジエリ罐」

パツトン將軍並びにホツヂ將軍麾下の戰車部隊がフランスを突破することが出來たのはその背後に次のやうな秘策があつたからだ、卽ち英軍は上陸作戰開始前數ケ月に亘り「ジエリ罐」と稱する鋼鐵製ガソリン容器の增産に努めてゐた、これは最初ドイツ軍が發明し英軍がこれに做つたもので英第八軍がロメル軍をエル・アラメーンからチユニジアに追ひつめた當時使用された、このジエリ罐が何百萬となく逆貸與として供給され、侵攻當日直ちに戰場に輸送されるばかりになつてゐた、これらは佛海岸に揚陸された最初の補給物資の一部を占め米第一軍第三軍がノルマンデイ平原を突破した際、戰車並びに貨物自動車の進行を續けるに必要なガソリンが前線に送られたのは實にこのジエリ罐によつたのである、これがなかつたら米軍團が一九四〇年のドイツ軍電擊作戰を凌ぐ速度でフランスの戰場を突つ切ることは不可能であつたらう、貨物輸送機は勿論戰鬪用飛行機までがジエリ罐を前線の飛行場に輸送しさらにあらゆる型の貨物自動車、ジープ、裝甲自動車、つまり車輪で走るすべての物がこれを滿載し前線へ前線へと運んだ、ジエリ罐は丈夫に出來てをり進行中の貨物自動車から轉げ落ちても割れずまた空中から河川に投下しても大丈夫で船側から海中に投げ出してもこはれない、これはジエリ罐の頭部に中空部分があるからで、ガソリンが一杯詰つてゐても水面に浮ぶ今日でもなほ何百萬といふジエリ罐が佛戰線に送られ、送油管や戰車、貨物自動車のまつたく役に立たないやうな前線で大いに利用されてゐる

最後に米軍工兵隊がシエルブール、パリ間に送油管を開設した際、時の英軍の協力も洵に貴重だつたといはなければならない

昭和十九年十二月二日(土)
第三二五八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米國市民航空哨戒隊の功績

ウキリアード・ウキーナー
米誌「フライイング」六月號

市民航空哨戒隊への讃辭

對潜水艦作戰から陸軍は手を引くといふ一般方針によつて沿岸哨戒は海軍の任務となつたので、市民航空哨戒隊の飛行機と人員は數箇月前に沿岸哨戒から引揚げられ、陸軍の航空機と飛行士を更に多く戰線に振向ける代りとして、他の同じ位重要な國内任務を與へられた、かくして市民航空哨戒隊の沿岸哨戒事業は米國航空史上に新しい里標を建てつつ立派に完了されたのである

市民航空哨戒隊は戰前一團の航空ファンの愛國心と戰力貢獻の熱意から生れたのだが、今では陸軍航空隊の補助部隊として米國の戰時航空計畫のそして恐らくはまた戰後航空計畫の重要且つ不可缺の一部をなすに至つた、開戰當初當局者の中には市民航空士は戰爭の終るまで地上に留めておいた方がよいと考へた者もあつたし、軍事當局でも市民航空士がどれ程眞劍な活動を行へるか若干疑つてゐたやうだ、しかし市民航空哨戒隊の働き振りでこれらの謬見や疑惑は雲散霧消したのである

沿岸哨戒は恐らく市民航空哨戒隊の業績中最も華々しいものであつたであらう、沿岸哨戒任務終了に際し市民航空哨戒隊は海軍當局から惜しみなく讃辭を與へられた、合衆國艦隊司令長官キングは、市民航空哨戒隊義勇飛行士の沿岸哨戒活動について、陸軍參謀總長マーシャルに書簡を送り、「余は貴官が市民航空哨戒隊に對し、對潜水艦作戰及び沿岸哨戒に熱心、忠實、不斷に協力し遭難者及び遭難船の救助を援助した功績顯著なる旨を申送られるやう希望する」と述べた、更に東部沿岸水域司令長官アンドリューズ海軍中將は「貴官の部隊は本司令部の船舶保護及び潜水艦の脅威除去の戰時任務遂行に絶大なる援助を與へられた、以上の任務遂行に際し貴下の部隊は米軍最高の傳統たる技術、精力、智謀、勇氣を發揮した」と稱讃した、市民航空哨戒隊は非常に物靜かにまた最少の費用をもつて、立派に任務を果して來たし、今も果してゐる、陸軍の統制下にあるが、組織自體としては義勇團の形を保つてゐる、現在同隊の行つてゐる活動は寔に多種多樣である

個人飛行家の創意

市民航空哨戒隊は米國個人飛行家の創意によつて日米開戰の丁度一週間前に出現した、當時民間航空氣社の國内空路に使用する飛行機は約三百五十機に過ぎなかつたが個人所有の飛行機は二萬五千に達してゐた、民間操縱士は學生を除いても十萬名を數へてゐたし民間飛行場數も二千を超えてゐた、全國到るところに義勇飛行隊が生れ、隊員は時間、飛行機、裝備、金を提供した、大西洋岸は獨潜水艦の脅威に曝され、全長二百四十五哩、四吋砲を備へた巨大な潜水艦が米國商船を一日一隻の割合で沈めてゐた、これに對抗する沿岸護送は未だ行はれず、米國海軍は太平洋に「マバラに存在する」有樣であつた、大西洋の深水區域の警戒には「前大戰の遺物」たる一握りの驅潜艇、舊式イーグル・ボート五隻、遠洋ヨツト三隻、優秀な沿岸警備船十二隻足らず、軟式小型飛行船三隻があるだけであつた、濱邊に立つてゐる人々が米船の撃沈されるのをみたのはこの頃である、一九四二年一月の船舶喪失數は十二隻だつたが、同年三月には三十二隻に激增しその後も喪失率は增加する一方なので、同年五月には護送船團を組むまで一時すべての船舶輸送を中止したほどであつたかくて市民非常航空沿岸哨戒の開始が喫緊の急務となつた、市民航空哨戒隊は最初一萬八千弗の支給を受け「大西洋岸における商船の最大の墓場」の附近で試驗的に哨戒を行ふこととなつた、アトランチツク・シチー及びデラウエアのリホベスに先づ基地が設定された

對潜水艦戰における活動

自己の基地と飛行士を持つ市民航空哨戒隊は對潜水艦戰において直ちに成功を收めた、一九四二年を通じ市民航空哨戒隊のためにメーン州からメキシコに至る米國沿岸に多くの新基地が設けられ義勇飛行士は自分の飛行機、ラジオ、修理資材等をこれらの急設基地に供出した

操縦士の外に義勇機關士、看護婦、無電通信士、觀測士、寫眞士、醫者などがやつてきた、市民航空隊各班は次々といはば自給自足の狀態を確立した、これらの「航空民兵」の使用する飛行機は最初武裝してなかつたが、敵潜水艦の乘員はこれを察知しなかつたので、敵潜水艦が浮上して油槽船に砲撃を加へようとする時でも偶々市民航空哨戒隊の「遊山飛行機」が姿を現すと慌てて潜沒した或時二臺の小型機が敵潜水艦を發見したところ、急いで潜沒しようとした敵潜水艦は淺瀬の泥中に首を突込んで了つた、武裝してゐない哨戒機は上空を旋回しながら夢中になつて無電を發したが、報告によつて爆撃機が驅けつけた時には潜水艦は最早遁走してゐた、これ以後陸軍航空隊司令官アーノールドは市民航空哨戒隊が獨力で敵潜水艦と交戰し得る事を認めるやうになつた、卽ちアーノルドはこの事件の報告に接するや否や市民航空哨戒隊の飛行機に爆彈を積ませろと命令したのである、爾來市民航空哨戒隊は必要とあらば獨力で敵潜水艦を撃滅するに足る裝備を有するやうになつた

市民航空哨戒隊の功績に關する數字を擧げただけでも相當なものだ、同隊の操縦士と觀測士は大洋上を二千四百哩以上を飛翔し、敵潜水艦百七十三隻を發見報告した、中五十七隻に對し爆彈若しくは爆雷による攻撃を加へ、正式發表によれば少くとも二隻の敵潜水艦を撃沈乃至撃破した、その外市民航空哨戒隊の報告により陸軍機或ひは海軍機が急行して敵潜水艦に止めを刺したこともあつた、對潜水艦哨戒作戰において同隊の擧げた功績のうちあまり知られてはゐないが、最も重要なものの一つは氣象の報告であつた、同隊の飛行士は海岸を去る百哩の沖合の氣象を報告するのを常としたがこの報告は陸海軍で非常によく利用された

哨戒隊の犧牲性

市民航空哨戒隊の飛行士は通常水上から約三百五十呎の低空を飛んだ、丁度その高さから一番よく水中が見えるからである、彼等の飛行機は一般に速度が遲い結果、却つて敵潜水艦の敷設した機雷の發見に便利であつた、速度の速い陸海軍機ではこの危險な商船妨害物を認めることが出來なかつた、市民航空哨戒隊の發見爆砕した機雷の數は十七個に上つたが、そのうち或るものは部隊輸送船の通路にあつたものだ、同隊の飛行士は更に大西洋岸で雷撃された商船及び海中に墜落した飛行機の生存者三百六十三名、並びに死體三十六を發見した、遭難中の飛行機及び商船を發見報告して乘員を救助したことも一再ではない、沿岸哨戒の任務によるだけで市民航空哨戒隊は隊員二十六名を失ひ七名は勤務中重傷を負つた、喪失或は大破した飛行機は約九十機に達した、哨戒任務のつらさもまた過少に評價されてはならない、自己所有の飛行機に乘つてゐる市民航空哨戒隊飛行士は戰鬪飛行士の必要とする慰安を殆んど與へられなかつた、市民航空哨戒隊が對潜水艦哨戒作戰中に出た死者二十六名中二十名は海上に不時着して凍死或は溺死を遂げたものであつた、以上の數字は同隊員の個人的英雄精神の發揮された無數の實例を反映するものだが、最も典型的な一例はシャープ少佐及びエドワーズ中尉の遂行した海上救助作業であらう、彼等がこれによつて一九四三年二月ホワイト・ハウスでルーズヴエルト大統領から航空章を授與されたのは人の記憶に新たなところだ、彼等はシコルスキー會社製作の水陸兩用機に搭乘して哨戒中海上を漂流する一人の男を發見した、發見されたのは、ハリー・T・クロス中尉で、搭乘してゐた小型陸上機は海中に不時着して旣に沈沒し、同乘者一名は死んでゐた、シヤープ少佐とエドワーズ中尉は激浪の上に水陸兩用機を着水させ、重傷の上に火傷までしてゐるクロス中尉を機上に引上げた、着水に際し十呎もある大波によつて水陸兩用機の左のフロートが破損し、顚覆の惧れがあつた、エドワーズ中尉は機體の均衡を保つため右の翼に匍ひ出し、飛行機が先づ十二哩彼方の海岸まで水上滑走を行ひ、更に同處から沿岸警備船によつて基地に曳行される十一時間足らずの間といふもの、ずつと翼上に止つたのであつた

沿岸哨戒はこれまで陸軍の指令によつて遂行され、報道は嚴重な檢閲を要したので、市民航空哨戒隊の活躍振りは國民に殆んど知られてゐなかつた、しかし今では軍機とする必要はなくなつたから、輝しい勇氣と犧牲によつて書き綴られた米國史上最初の市民航空義勇軍の記錄を發表し得るのだ

昭和十九年十二月二日(土)
第三二五八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

舊聯盟と反樞軸機構案

英國評論家バーム・ダツトは、十月十九日附の「デーリー・ワーカー」紙上に次のやうな論説を發表してゐる

ダンバートン・オークスの會議で採擇された戰後世界安全保障體制は國際聯盟の再現として廣く論議されてゐる、しかし兩者間の類似點よりむしろ差異の方が重要なのだ、國際聯盟はこれを非效果的ならしめた若干要素により價値を喪失したのである、集團的安全保障の原則それ自體には缺陷はなかつたが、聯盟を支配する主要諸國中の反動的政府が聯盟の運營を拒否したのであつた、國際聯盟と新安全保障機構との差異をあぐれば次の通り

一、聯盟はソ聯を除外し、また米國を終に加盟國となし得なかつた結果、世界的機構とはいひ難く、事實上英佛兩國並びに西歐諸國を主體とする機構であつた、これに反し新機構は大國を悉く網羅し、これら大國が協力を維持する限り、世界平和を完全に擁護して行けるのである

二、聯盟はそもそもの出發から極めて反ソ的色彩が濃厚で反革命的機關として歐洲諸國民の如何なる革命をも抑壓する目的を持つてゐたが、新機構は西歐民主々義國家とソ聯との協調を根幹としこの基礎の上に立脚してゐる

三、聯盟規約に規定された集團的安定保障の原則は形式的には、國力の如何を問はず、四十ケ國以上の加盟國に適用されたが、平和維持に關する大國の責任を明確ならしめるやうな解釋が下されたことはかつてなかつた、また聯盟には各國が共同で行使し得る軍機關がなかつた、しかるに新機構にあつては、大國が平和維持に直接責任を課せられ、さらに恒久的軍事委員會も設置されることとなつてゐる、聯盟の場合では經濟的社會的任務を營むといふ補助的任務のために主要任務たる平和維持が等閑に附されたのに鑑み、新機構においては、經濟的社會的機能は獨立した經濟社會評議會に一任し、平和維持の全責任を專ら安全保障理事會に課すこととなつてゐる

決定權を握る主要強國

批評家連はダンバートン・オークス案は大國に獨裁權を附與するに等しいと攻擊してゐるが、最近の世界情勢下にあつては、主要強國が各種の決定權を握つてゐることは爭へない事實だ、問題はこれら大國が世界平和の維持に協力して權力を行使するか乃至は相互に反撥して世界戰爭を挑發するかだ、批評家連はまた投票問題をもとり上げ、ソ聯の提案は安全保障理事會が大國の侵略行爲を處理することを不可能ならしめると非難してゐるとまれ米英ソ三國が協力を續けるならば、ダンバートン・オークス案は世界平和機關となり得るのであり、かかる協力を維持することによつて同機關を運營するのは一にこれら諸國の態度如何にかかつてゐる

アジアの戰

「タイム」誌十月九日號

慘敗で問題は解決しない

日中は潛伏し、專ら夜間のみ進擊して、日本軍は先週ついにその支那大陸攻勢における新たな、しかも無氣味な勝利を獲得した、——實に、この攻勢はかの小島帝國の軍隊によつて遂行された地上作戰中最大のものだ、この慘敗の結果、重慶では最も近い戰線ですらまだ三百五十哩ほども距つてゐるにも拘らず、非常に重苦しい空氣に包まれてゐる、今次の日本軍の進擊は、成都、重慶、貴陽昆明を頂點とする四邊形をなす地域つまり重慶政權治下の軍事的要地の心臟部に新たな恐るべき脅威を與へるものだ、この進擊において日本軍は電擊作戰はとらなかつた、いな、それはむしろじわじわと首をしめてかかる攻擊で、緩漫な、しかも重苦しいモントゴメリー攻勢の筆法をとるものだつた、即ち、愼重な計畫の下に豫め企圖した距離を凡ゆる努力を拂つてぐんぐん進擊すると、そこでひと息入れて次の進擊まで待機するのである

また、日本軍はその進撃に當つて幹線道路をとることは殆どなかつた、かういふ道路はなほシエンノート指揮下の在支航空部隊によつて寸斷されてゐるからだ、そこで、日本軍は切株だらけの水田の間を通つてゐる畦道やら、山間の驟馬路を蟻の這ふやうに進み、同時に、日中は木の繁つた堤沿ひに隱しておける舳板を使用して大いに水路を利用した、一方日本軍がその攻撃部隊と軍需資材を流し込んでゐる長沙、衡陽經由の漢口——岳州の主要廻廊さへ現在なほ重慶遊撃隊の妨害を受けてゐる、しかし、こんな遊撃隊の攻撃などは、いはば甲冑に身を固めた巨人の横腹にひと針チクリとやつた程度のものだつた

焦土と化した飛行場

日本軍は巧妙に聯繫をとつた鋏狀進撃によつて有力部隊を廣東から西江に沿つて北上せしめた、そして日本軍は〇〇の增援部隊を新に揚陸してその守備部隊を增強し、梧州攻略に費した時間の埋合せをつけ、衡陽—南寧線の東南地區に於る第十四航空隊の基地中最も重要な基地丹竹に向つて更に進撃を續けてゐる、數千の支那人勞働者の勞力によつてつくられた桂林の在支米空軍大基地と同樣、丹竹もまたシエンノート指揮下の米空軍部隊員の手によつて同地撤退前焦土と化せしめられてしまつた、一方鋏狀進撃軍の北方部隊は桂林そのものをも鷲摑みにせんとする三本の「指」を突き出した、重慶軍にとつては桂林の失陷は早や不可避のやうに思はれた、さらにこれ以上に由々しいのは第十四航空隊の他の基地に新な脅威が加はつてきたことだつた、日本軍は今や桂林の西南方百哩の柳州にその進撃を指向してゐるやうにみえるからだ、しかし、これらの脅威のうちで最も重大なのは、既に賓慶を抑へ、貴州高原の遙か彼方貴陽、昆明における第十四航空隊の中央大基地を指してゐる日本軍進撃の西の「指」の脅威であるよしんば、日本軍が賓慶から三百哩ただ貴陽まで西進を續けたとしても、日本軍はこれによつて、重慶及びその聯合軍が新レド公路から昆明經由高原地帶を通過して重慶へ軍需資材を搬入しようと企圖してゐる幹線道路を切斷することになるであらう、しかもこれらの道路は無數の支線道路、小徑と相交錯してゐるが、日本軍はすでにこれに沿つて進撃することを知つてゐるのだ

これらの道路を、窮乏のドン底にある幾百萬の支那人苦力、商人、工人が先週西へ西へと辿つて行つた、かれらは、永年かれらにとつては蜃氣樓でしかなかつた安全地帶を求めて流れて行つたのだ、疲れ切つた重慶の敗殘兵は日本軍斥候部隊の攻撃を恐れて、最後に殘つた一握り程の僅な彈藥を時々思ひ出したやうにいぢくつてゐた、在支米空軍地上整備兵は、眼を赤くし、憂鬱さうに機體の整備に追はれてゐた、日本軍の進撃は癌のやうに重慶の急所に食ひ込んできてゐるのだ、重慶の苦惱はその聯合國のすべてにとつてはさらに大きな苦痛だ、しかも、これらの諸國は自身その實力をもち且つ危機を意識しながら、何れもこの恐るべき癌を切りとる外科醫を提供することも出來なければ、苦痛を和げる一時的な鎭痛劑さへも與へることが出來ないのだ

滿洲爆撃

在滿關東軍並びに膨脹しつつある在支部隊に對する補給上、日本は滿洲における製鋼業に從來にもまして多く依存するやうになつてきた、滿洲の諸製鋼所は製鋼用石炭資源に近接してゐるのみならず、その製品は陸路現地部隊に輸送し得られるため、すでに負擔過重となつてゐる日本の船腹を緩和し得る得點をもつてゐる、在滿製鋼所中最大のものは鞍山製鋼所だ、この鞍山に對して百機以上のB29「超空の要塞」が先週攻撃を加へた更に少數機をもつて大連及び北支の洛陽、開封をも襲撃した、基地を飛び立つて行つた爆撃機隊は悉く無事歸還した、これでこの巨人機に對する兎や角の論議は最終的に無意義なことが立證されたわけだ、成功に雀躍したヘンリー・H・アーノルド（米陸軍航空部隊司令官）は第二十爆撃隊に打電していはく

貴隊の整備員その他工作隊員、補給隊員に對し余は特賞を用意しおくものなり

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月四日(月)　第三二六〇號

同盟通信 海外電報 (277)

編輯發行人　東京都麴町區日比谷公園二番　發賣元　同盟通信社

世界の焦点

レイテ島の戰況は暫く膠着狀態を續け、敵の所謂「山下ライン」は敵必死の砲爆撃にも拘らず微動だもしない、マツカーサー司令部は連日公報において豪雨と泥濘のため機動戰が不可能だと發表してゐるが、要塞戰でない以上自然的惡條件は五分々々だ、日本軍は續々新鋭部隊を上陸せしめて總反攻の時機を待つてゐる、勿論敵も「時」を利用しないわけではなく補給增援に力めてゐる模樣だが、その企圖を片つ端から虱潰しにしようといふのがわが特別攻撃隊の體當り攻撃である

この間の事情を示唆するものに米國陸軍長官スチムソン三十日の言明がある、曰く、比島の日本航空基地を叩き潰すのには時間がかかる、比島の米軍に對する日本機の頻繁な攻撃はまだ當分續くと考へなければなるまい、日本軍がレイテ島に增援する努力も目覺ましいし、比島で總力戰を行はうとする決意も物凄い、と宣傳上手の米國もその腕前を苦境辯解の伏線に利用するやうではお仕舞だ、最も比島作戰では米國の宣傳も大分ボロを出した、一番ひどかつたのは日本軍が最初のオルモク上陸に成功した時で敵は日本軍がレイテ島を撤收し始めたと信じて公報で「レイテ島作戰の終了は眼前にある」と述べ、翌日は急に日本軍の反撃に仰天してAPのマクダニエルのごとき、前日公報を傳へたその筆で日本軍はマツカーサーの信念に血眼い反駁を加へたと報じてゐる、しかも狼狽した米軍のP40やP51が輸送船を攻撃した時には新鋭機動部隊はカリガラ街道を驀進してゐたと敵の宣傳機關が嘆じてゐるのだから「お可哀さう」みたいなものだ、神機の到來は近い、特攻機の攻撃は正に電光影裡春風を剪る名刀の切味だ

【目次】

アーヘン地區で反撃に轉ず……二九四二
白熱的激鬪續く……〃
戰車五百臺以上撃破……〃
ワフド黨總選擧をボイコット……〃
ド・ゴール、モスクワ到着……〃
周恩來、蔣介石と會談……二九四三
ス伯反對をイーデン言明……〃
ソ聯とも貸與更改交涉……〃
對ソ武器供給狀況……〃
航空會議決裂の意義……〃

【米　洲】
「何のために戰つてゐるのか」……二九四四
米國務省大擴充案……〃
政界と新國務長官……二九四五
下院國務長官任命を承認……〃
生産能力の增大を誇示……〃
對外融資の必要を說く……〃
更に損害追加發表……〃
駐伊大使にカーク……〃
米檢事次長を免職……〃

【歐　洲】
イタリア政界の內情……二九四六
ルイニに組閣を委囑……〃
英の干涉は關知せず……〃
ベルギー內閣改造か……二九四七
スエーデン參戰は望み薄……〃

【友邦軸陣營】
反樞軸航空會議決裂……〃
國際聯盟を清算……二九四八
駐ソ英國軍事使節團……〃
獨占領地經濟長官……〃

【英　帝　國】
愛蘭北部の合併を主張……〃
爆發事件正式發表……〃

【西　亞】
土、對米爲替相場調整……〃

【ソ　聯】
ソ聯、イラク國交再開……〃
歐洲戰況概觀……二九四九

【特　輯】
重慶政權の改組(上)……二九五〇
【資　料】
國境紛爭に對するソ波兩國の立場……一
獨米軍用機の性能比較……二九五四
二九五五

アーヘン地區で反撃に轉ず

殲滅戰の火花散る

（ベルリン一日發）六年間百五十萬の大軍を擁しての反樞軸軍の一大攻勢に對し隱忍守勢を續けて來たドイツ軍は十二月一日を期し、アーヘン戰線において反撃に轉じた樣子で西部戰線軍司令部におけるDNB特派員は一日次の通り報道してゐる

「フオン・ルントシユテツト元帥は特にアーヘン戰線において一大反撃に轉じた、ユーリツヒの西北十粁のリニヒ、リンデルン並びにゲノの三角地帶においてドイツ軍の戰車集團は前日同方面に進出した反樞軸軍の側面に突き込み、ために反樞軸軍の數個縱隊は後方を遮斷されるに至つた、退路を絶たれた米軍は今日中に殲滅の見込みである、特にデユーレン付近、メローデ森林地帶の周邊においては過去二十四時間極めて苛烈な戰鬪が展開されてゐる、先づ米軍の第三戰軍師團並びに第九歩兵師團の二個師はデユーレンへの進撃を企圖して全兵力を集結したが、ドイツ軍は猛烈な準備砲火の後反撃に轉じ十五時間に亘る近接戰鬪の後米軍をメローデ地區から撃退し森林地帶に追ひ込んだ、戰鬪開始後數時間を出でずして僅か二百米の地區にドイツ軍は米兵の死體二百を數へた位である、ザール戰線においてもパツトン將軍麾下の米第三軍は殆んど何らの進出も示してゐない、米軍はメルツツヒ西方でザールに可成り近付いたがザールラウテンとメルツツヒの中間地區において、米軍はドイツ軍の特火點地雷源にひつかかり甚大な損害を蒙つた、米軍が多少進出した戰線でも進度は數呎に過ぎず進撃しては再三後退するといふ狀態である、フオルバツハ西南とザールラウテン南方地區においては米軍はマジノ要塞線の眞唯中で戰つてゐるが、深いドイツ軍の地雷源と猛烈な十字砲火を浴びて同戰線における米軍の攻勢は悉く崩壞した」

白熱的激鬪續く

（ベルリン一日發）ドイツ軍司令部代辯者は一日西部戰線の戰況につき次の通り言明した

「アーヘン地區における反樞軸軍の攻撃力はいまや減退した、しかし戰鬪はいまだ白熱的狀態を續けてをり、兩軍ともに「異常に莫大な」人員及び器材の損害を出してゐる、アーヘン地區におけるドイツ軍の砲撃は今次大戰中における最も激烈な砲撃といへよう

反樞軸軍の攻勢開始以來同地區のドイツ軍は米第九軍及び第一軍の連續的猛襲に耐へ、猛反撃によつてその突破企圖を粉碎した、米軍はウルゼレン東方の最も深くドイツ軍陣地に突入した地點においても約十五粁ほど突入しえたに過ぎない、他方、アルザス、ロレーヌ戰線では反樞軸軍はヴオージユ山脈のドイツ軍に對する側面攻撃に失敗したので現在では正面攻撃を行つてをり、ドイツ軍は頑強に抗戰しつつ徐々に東方のライン平原に向つて戰線を離脫中である」

戰車五百臺以上擊破

（ベルリン一日發）ドイツ軍當局發表によればアーヘン地區の米軍は攻勢開始以來既に五百臺以上の戰車を喪失したといはれる

ワフド黨總選擧をボイコット

（リスボン一日發）マヘール・パシヤを首班とするエヂプト政府は近く總選擧を執行するがカイロ來電によれば前首相、ナハス・パシヤはワフド黨幹部會で終日協議を遂げた結果

公正な選擧を期待出來ぬからワフド黨は來るべき總選擧に參加しない、第一ワフド黨員が立候補する場合は直に除名されよう

と言明したと傳へられる、ワフト黨が參加しない以上、聯立內閣を支持する各派は殆ど無競爭で地盤を擴大するとみられるが同時に總選擧は全く骨抜きはなるのでワフト黨今回の決定はエヂプト政界に深刻な影響を與へるとみられる

ド・ゴール モスクワ到着

（モスクワ一日發）パリ政權の首班ド・ゴールは一日モスクワに到着した

昭和十九年十二月四日(月)
第三二六〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

周恩來蔣介石と會談

―新提案を延安へ携行か―

(リスボン一日發)支那の抗日戰線統一といふ美名のもとに米國が躍起となつて合作を煽つた國共問題は依然暗礁に乘り上げてゐたが、スチルウエル事件を契機として米蔣關係及び國共關係が一層微妙となつた時期に當り延安は和解交涉の代表林祖涵を引揚げさせこれに代つて中共三巨頭の一人周恩來が十一月十日自ら米軍機に搭乘して重慶に乘込み、ここに國共合作交涉は新展開を豫想されるに至つた、その後注目されてゐた周恩來の動靜は三週間にわたり明らかにされなかつたが、各紙報道により周恩來は蔣介石と長時間にわたる要談を遂げ一旦延安に引返したことが明らかとなつた卽ち重慶の「シカゴ・デーリー・ニユース」紙特派員は

蔣介石の提言により蔣及び米國側と會談するため延安から重慶に來た中共の領袖周恩來は意見交換の結果を報告するため一日延安に歸還したと報じ、AP通信特派員も次の通り述べてゐる

重慶當局は中共代表が延安に歸還した旨發表した、同代表は恐らく中共と重慶政權の紛爭解決のための新らしい提案を携行したものとみられる、新提案の性質は祕密に付されてゐるが、重慶側が來るべき生存の鬪爭において抗日支那が全力を投入しうるやう國共和解の基礎を與へるに違ひないとの期待がある、重慶政權當局がこの問題につきある種の妥協に達したとの噂を否定も肯定もしなかつたのは意味深重だ、周恩來は十一月十日重慶に來訪中蔣介石と長時間の會談とげてゐる

かくて國共合作交涉はいよいよ本筋に入つたものとみられ、成行は頗る注目される

波國會議長も辭職

(ストツクホルム一日發)ロンドン來電=亡命ポーランド內閣の成立と相前後し國會議長スタニスラス・グラブスキーも辭任した、ミコライチク首相を首班とする農民黨は一日聲明を發表支持を公約したが入閣を拒否した

ス伯反對をイーデン言明

(ストツクホルム一日發)英國政府がローマ政權の內政に干涉しスフオルツア伯の任命に反對したことは一日英國下院で問題となつたがロンドン來電によれば外相イーデンは

ボノミ前首相が反樞軸國に對して忠實なのにも拘はらず、スフオルツア伯がボノミ反對の工作に從事してゐるため同人が外相に就任することに對し英國政府は好感を持つてゐない旨言明したと傳へられる

ソ聯とも貸與更改交涉

(リスボン一日發)ワシントン來電=米英武器貸與新協定の成立は三十日ワシントン、ロンドンの兩首都で發表されたが、外國經濟院長クローリーは一日米國政府がソ聯との間にも武器貸與協定の更改交涉を進めてゐる旨發表した

對ソ武器供給情況

(リスボン三十日發)テヘラン來電=イラン駐屯反樞軸軍のペルシヤ灣岸指揮官米軍少將ドナルド・コノリーは對ソ武器供給情況につき三十日次の通り發表した

米國は現在までに四百三十八萬四百三十トンの武器をイラン經由でソ聯に引渡した、この輸送は世界で地勢の最も困難な地方を通じトラック並びに汽車によつて行はれた、引渡し武器の中には十四萬三千臺の車輛が含まれてゐる

航空會議決裂の意義

(ベルリン一日發)シカゴで開催中だつた反樞軸國際航空會議は米英兩國の正面衝突によつて事實上決裂に終つたが、ドイツ外務省當局は一日右につき次の見解を發表した

航空會議の決裂は單に反樞軸諸國が航空問題で意見が一致しなかつたことを物語るだけでなく反樞軸陣營の內幕を暴露したといつてよからう卽ち反樞軸諸國は頻りにその團結の强固なことを宣傳してゐるが、一旦重大な問題になると忽ちにしてその寄合世帶ぶりを暴露する、かかる狀態で一致して世界を支配しようなどといふことは到底不可能だらう、既にダンバートン・オークス會談がこれに對して明確な回答を與へたが、今度の航空會議の決裂でこれが「再確認」されたわけである

【米　洲】

何の爲に戰つてゐるのか

「シカゴ・デーリー・ニユーズ」社說

（リスボン三十日發）米國政府は民主々義の假面を被つて祕かに太平洋諸地域の領有を狙つてゐるが「シカゴ・デーリー・ニユーズ」九月二日「われわれは太平洋で何の爲に戰つてゐるのか」と題する長文の社說を揭げ老獪にも米國政府が太平洋における戰爭目的を明かにせぬのを非難する形式で米國が太平洋戰の重荷のほとんど全部を負擔してゐることを理由に、反樞軸領土を領有する米國の「權利」を强硬に主張してゐる、要旨次の通り

アルジエー放送によればド・ゴール政權は「佛印の運命はフランス共和國政府と日本政府との間においてのみ決定されることにならう」と豪語したといはれるが、これが武器によつて決定されるといふならば、一體誰の武器でだといふことが問題となる、今日までの對日戰が主として米國の武器によつて戰はれてきたことは誰一人否定出來ぬ事實だ、またフランスでは米軍兵士がフランス領土を回復してフランス人に引渡すために血を流してゐる、更に米國の目的はウイルヘルミナ女王にオランダを回復してやり、ベルギー人にベルギーを回復してやるにあるやうだ、以上の目的は少くとも米國民一般に現解出來るし、また實現することも出來る、だが太平洋における米國の目的は一體何であらうか、米國民にも判らなければ指導者も說明してくれない

そもそも日米開戰直後における米國の目的はハワイ、アラスカ、米本土西岸及び比島を防衞するにあつた、比島失陷後米軍は日本軍を押し返し、ハワイ、アラスカ及び米本土西岸の脅威は去つたがここで問題となるのは米國は奪回した地域をどうするかといふことだ、支配層は米國の欲するところは唯一つ比島を奪回するだけで、他のどんな地域の領有をも望まないと稱してゐる、われわれは英、蘭、佛、ポルトガル各帝國の一部を奪回してゐるが、われわれがフランスをフランス人の手に返へしてゐるやうに、以上の地域を元來の所有者たる原住民には引渡してゐない、マツカーサー軍は蘭領ニユーギニアの數地點を占領したが、オランダの行政官が一緒に上陸して占領地域の引渡しを受けてゐる、ガダルカナルやタラワを奪回したのは專ら米國人の血と汗によるものだが、兩來兩島は英國の支配に歸してゐる、またアルジエー放送によれば米國が支那で戰つてゐるのはその一部分を重慶に返還するためでなくド・ゴール政權に引渡すために戰つてゐるといふことになる、英國がビルマで戰つてゐるのは英帝國領の回復のためだが恐らく英國は米國が香港を奪回して英國に返して呉れるものと勝手に期待してゐるであらう

戰爭目的闡明の權利あり

かく考へてくると時には米國政府は東亞全域を回復してそれぞれの持ち主に返すために十字軍を出してゐるといふ印象を受けることになる、たとへわれわれが大十字軍を出してゐると假定してもそれは徒らに東亞に將來の戰爭の種を播いてゐるだけだ、黃色人種や褐色人種は白人の政治的支配を好まず戰爭の間にわれわれから購ひ入れた恐るべき近代兵器の使用法を熱心に習得してゐるのだそれならばわれわれは何のために太平洋で戰つてゐるのか、日本を倒して西洋の帝國をして再び東洋を支配させるためか、かうした質問に對して米國の指導者階級は傲然たる沈默をもつて答へ、戰後太平洋にすくなくとも陸海空軍基地を手に入れる氣はないのかと訊ねると酷く曖昧な神がかつた回答を與へるだけだ、かかる祕密主義は銃後の士氣に惡影響を與へ、米國一般民衆を侮辱するものだ、戰爭に兵力を供給し戰費を負擔してゐる米國民は太平洋における米國の戰爭目的を單刀直入に闡明する權利がある筈だ

米國務省大擴充案

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝米國政界消息筋のもたらすところによれば新國務長官ステチニアスは長官就任を機會に國務省機構の徹底的改組を企圖既にその具體案をルーズヴエルトの手許に提出したといふ、この改組案は國務省の大擴充を狙つてゐる模樣で、これに伴ひ國務省以外の政府機關の統合改廢にも及び米洲通商文化調整委員會、外國經濟院、商務省等を總て國務省に編入せんとする野望的なものといはれる

昭和十九年十二月四日(月)
第三二六〇號

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

政界と新國務長官

(ストツクホルム二十九日發)米國からの諸情報によればステチニアスの國務長官任命に關する評判は樣々である、ステチニアスを國務長官に推薦したのはハル自身であるが彼がハルにとつて前國務次官ウエルズよりもよい協力者であつたことは事實であり、ステチニアスの大實業家的風格をもつて物事をテキパキ處理してゆく技倆に讃辭を呈する者も相當あるやうだ、しかし「ヘラルド・トリビユーン」紙などはステチニアスの外交經驗の短いことを指摘してをり、更にワシントン政界の一部では彼と上院との協力關係が未知數であり、議會としてはバーンズの方を希望してゐたと述べてゐる、しかしながらルーズヴエルトはバーンズが戰時動員局長官として缺くべからざる人物であることを認め、ステチニアスを指名したらしい、しかし結局現在のやうな國務省の機構の下では今まで通りルーズヴエルトが事實上の米國外交政策の指導者としての地位を續けることにならう

下院國務長官任命を承認

(リスボン三十日發)ワシントン來電=米國上院は三十日六十七票對一票でステチニアスの國務長官任命を承認し、同時にパトリツク・ハーレーを重慶駐劄米國大使に任命することを承認した

生産能力の増大を誇示

(リスボン三十日發)ワシントン來電=米國企畫協會國際政策委員長メイ・ステーシーは三十日下院の戰後經濟政策特別委員會において次の通り述べた

米國の生産能力は戰爭中に約五十%增加し、今や米國を除く全世界の生産能力の一倍半に達した戰後米國は世界最大の工業國となると同時に世界最大の債權國ともならう、以上を數字の面からみるに、歐洲戰爭が勃發した一九三九年と米國の軍需生産が頂點に達した一九四三年における生産能力は次の通り

	一九三九年	一九四三年
商船	四六二、一〇〇屯	一九、七八四、三〇〇屯
航空機	二億八千萬弗	二百五十億弗
マグネシウム	六、七〇〇、一二二封度	三九二、七〇一、〇〇〇封度
人造ゴム	二、二五〇屯	九〇〇、〇〇〇屯

若干の生産部門における生産能力は將來約二倍となることが豫想されるが、恐らくかかる增加は最大限の民需に應ずるため必要であらう

對外融資の必要を說く

(リスボン三十日發)ワシントン來電=下院外交委員長ブルームは二十八日對米債務不履行國に對する融資を禁止するジョンソン法の廢棄を提案したが、國務次官補デイーン・アチソンも三十日下院の外國貿易分科委員會においてジョンソン法に反對次の通り述べた

ジョンソン法が採擇された當時からは情勢が著しく變化してゐるにも拘らず、同法は依然米國が主要歐洲諸國に對し緊急を要する融資を行ふことを妨げ、米國が國際貿易の再建に盡力する上の障碍となつてゐる、米國自體の利益からいつても米國は他の諸國と協力しなくてはならぬ

更に損害追加發表

(リスボン三十日發)米國海軍省は比島沖海戰における損害を逐次小出し發表してゐるが、ワシントン來電によれば米國海軍省は三十日に至り十月二十四日の海戰で損害を受けた護送用空母として次の四隻を發表したといはれる

カリーニン・ベイ、フアンショウ・ベイ、ホワイト・プレーンス、キツトカン・ベイ

同時にさきに喪失を發表したセント・ロー及びギヤンビアー・ベイ二空母の生存者一千四百名が救助された事實を始めて明かにしたが、この種空母の定員總數はこれまで絶對に公表されなかつた

駐伊大使にカーク

(リスボン三十日發)ワシントン來電=米國務省は大統領ルーズヴエルトがイタリア諸問委員會米國代表アレキサンダー・C・カークをローマ駐劄米大使に任命した旨三十日發表した

米検事次長を免職

(リスボン三十日發)ワシントン來電=大統領ルーズヴエルトは三十日檢事次長ノーマン・リツテルを「上長に對する不服從」の理由で免職した、リツテルは過般來檢事總長ビツドルと猛烈な泥試合を演じビツドルは彼に對して辭職を要求したが、彼は檢事次長の地位が大統領によつて任命されたことを指摘しこれを拒否してゐた

イタリア政界の內情

（リスボン一日發）前國王の退位以來燻つてゐたイタリア政界の危機は、ボノミ首相の投げ出しで表面化するに至つた、統監ウンベルト殿下は元老格のバドリオ元帥、オルランド元首相等と連日協議を重ね一方いはゆる國民解放委員會を結成する六派の領袖が夜に日を次いで協議を重ねてゐるが左右兩翼の對立を背景とする政界の內情は極めて複雜で、ボノミは再組閣に失敗しお鉢は民主黨領袖のメウチオ・ルイニにまはつたらしい

左傾內閣を企圖

今度の政變の直接原因になつたのは、十一月十八日發表された社會黨並びに行動黨の宣言である、いづれも六政黨の協力を緊密にして裏切り政權を强化することを主張してゐるが、特に社會黨の宣言には「民主主義の前衞としての自黨の實力に比例した役割を內閣において果す用意がある」と語つてゐる、社會黨は勿論、行動黨並びに辣腕トグ・リアチを主班とする共產黨は內閣を改造して政治の中心を一層左傾させ彼等のいはゆる「舊支配階級」をローマ政界から抹殺しようといふ魂膽だ、舊支配階級といふのは大體サヴイオ王家を中心とする舊政治家乃至將軍達でいはばブルヂョウヂーの代表だがイタリア政界に隱然たる勢力を未だもつてゐるらしい、ボノミ前首相が投げ出したあとで六政黨は解救委員會の委員長で行動黨を率ゐるスフオルツア伯を首相にかつぎ出す積りであつた、ボノミ前首相は大部前から以上の空氣を察知してスフオルツア伯をワシントン駐劄大使に任命し、アグレマンまでとりつけてゐるが、胸に一物のスフオルツア伯は、就任を受諾しなかつた

ス伯に英大使難癖

從つて左翼の筋書き通りスフオルツア伯にお鉢がまはれば政局は一應落着いたのであらうが、背後にいかなる工作が行はれたかわからないが、突如英國大使サー・ノエル・チヤールスが英國政府としてはスフオルツア伯が首相になるのは勿論、副首相乃至外相に就任することにも絕對同意出來ない旨を聲明したので左翼の計畫は一頓挫を來すに到つた英國大使はスフオルツア伯が政治的節操がないとか陰謀家だといつて非難してゐるが、同人が米國に亡命してゐた當時には共和主義を唱へ、歸國直前に王黨派に轉じ、英國首相チヤーチルと會見した際にはサヴオイ王家を支持するやうな印象を與へたといふところが一たん歸國してからはパリ、ナポリ、ローマと裏切政權の政治中心が移るのと共に王黨派反對に變り、バドリオ政權の打倒に一役かつてゐる、その結果チヤーチルがすつかり怒つてしまつたといふのが眞相だそこでボノミが再組閣に乘出したが、今度は行動黨と社會黨とが絕對反對を表明して結局ルイニが乘出すに至つたわけだが、左右兩翼の對立は極めて深刻でエキスチエンヂ・テレグラフ社のローマ電報の如きも政局の危機は極めて深刻で、結局ウンベルト殿下は各政黨との協議を打切り、獨自の判斷で後繼首相を選定するよりほかはあるまいと傳へてゐる位だ

反樞軸軍としては治安維持の見地から强力な內閣の成立を希望してゐるが、ルイニが果して組閣に成功するかどうか、組閣出來ても以上の深刻な對立を巧みに乘り切つてゆけるかどうかは可成り疑問だ

ルイニに組閣を委囑

（リスボン一日發）ローマ來電＝前首相ボノミは行動黨並びに社會黨の反對で遂に再組閣を斷念、前內閣の無任所相メウチオ・ルイニが新內閣の組織に乘出した

英の干涉は關知せず

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝新任米國國務長官エドワード・ステチニアスは三十日就任最初の記者團會見を行つたが、その際カルロ・スフオルツア伯に關する質問に答へ次の通り言明した

英國政府はスフオルツア伯が副首相若しくは外相としてイタリア新內閣に入閣するのを拒否したが、右事件には米國政府は何等關知しないのみならず、余は新聞紙上において初めて右の英國政府の態度を知つたのである

昭和十九年十二月四日(月)
第三二六〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ベルギー内閣改造か

(リスボン三十日發)ピエルロー政權と抗戰集團との對立によりベルギー國内の情勢は極度に險惡化してゐるが、ブリユッセル來電によればピエルロー首相は現内閣に廣汎な基礎をおく爲内閣の改造を企圖してゐるといはれる、ピエルロー首相の意圖はいふまでもなく抗戰集團並びに左翼派との妥協による危機打開にあり目下同首相は反政府派代表の入閣に關し各派代表と頻りに折衝を續けてゐる模樣で廿九日には社會黨執行委員會委員長ラロクとも會見したといはれる、一方最近保健相を辭任した共産黨のデマエーの後任としては社會黨からマルトーが入閣することに決定、これによつてピエルロー内閣の構成は社會黨六名自由黨四名、カトリツク黨八名といふことになる

スエーデン參戰は望み薄

(チユーリツヒ三十日發)赤軍のノルウエー侵攻以來微妙な變化を示してきたドイツ、スエーデン兩國の關係は、ドイツ軍當局のバルト海を作戰區域に含めるとの宣言並びに續くスエーデン汽船「ハンサ」號の擊沈事件を繞つて一段と激化し、スエーデン各紙はノルウエーにおけるドイツ軍のいはゆる「破壞行動」を殊更に喋々してスエーデン義勇軍のノルウエー派遣すら提唱するに至つてゐる、ベルリン來電によればスエーデン政府は同國赤十字社の要請と稱してノルウエーにおけるドイツ軍のいはゆる「暴行事件」の調査を申し入れる覺書をドイツ政府に手交したといはれるが、ドイツ政府は勿論根據のないことなので、軍事地帶を除く地域の調査を承諾する覺書を交付した模樣だ、以上に加ふるに北部ノルウエー避難民の收容問題についても獨瑞兩國の意見は全く對立し、スエーデンの對獨態度は著しく彈力性を缺いてゐるが、スイス紙「ナチオナル・ツアイツング」のストツクホルム特派員は、スエーデンの參戰不可能を豫想して二十九日次の通り報じてゐるスエーデン政府の機關紙「モルゲン・チドニンゲン」はノルウエーに對するスエーデンの武力干渉は一般戰局に依存するばかりでなく、スエーデンの軍事行動がノルウエーにおけるドイツ軍の破壞行動を阻止出來るかどうかに懸つてゐると主張し、ドイツにとつてデンマークはノルエー以上に弱味だから、スエーデンは反樞軸軍のデンマーク侵攻作戰に有效な援助を與へることが出來るとほのめかしてゐる、事實ドイツ軍は、ジユツトランド西部および北海岸に强力な防衞施設を施してゐるが、バルト海岸は可成りに手薄で、ノルエーについてみても、もしもスエーデンが國境全線にわたる兵力をスエーデン南部に集結するならば、ドイツ軍はノルウエーから撤收せざるをえまい、ただしスエーデンの軍事行動は、反樞軸軍の軍事作戰の一環とならねば成功は覺束ない、たとへば、スエーデン軍は反樞軸海軍と空軍の協力をうるところでだけノルウエー國境を突破出來るが、それには反樞軸空軍にスエーデン南部の基地を借すばかりでなく、反樞軸海軍のスカゲラツク海峽突破を必要とする、しかるにデンマークの場合は、もしも十分な兵力をもつてスエーデン領から攻擊を開始すれば、山の多いノルウエーよりもデンマークの方が攻めるに易く守るに難い、しかしながら、反樞軸軍が現在の西部戰線における作戰を終へぬうちに、デンマーク作戰のために海空軍力を割く餘裕はあるまい

【反樞軸陣營】

反樞軸航空會議決裂

(リスボン三十日發)シカゴ來電=シカゴで開催中の反樞軸航空會議の米國代表部は三十日次の聲明を發表した

英國代表が航空自由に關するカナダの妥協案を拒否した結果今次會談で國際航空協定を締結する機會は遂になくなつた、會議參加の五十四ケ國代表は三十日夜全體委員會を開いて事實上無制限の航空自由を主張する米國の提案に各國の自由意志に基き參加するか否かを決定することとならう

英國はこの會議における米國の提案が實現するときは將來世界の航空が米國によつて支配されることを惧れ絶對反對を表明、カナダが米英兩國の間を取り持つて米國案に若干の修正を加へて提案したが英國代表はこれをも拒否した、かくて航空會議は米英兩國の正面衝突によつて事實上決裂したが多分二日夜をもつて散會とならう

國際聯盟を清算

（チューリツヒ一日發）歐洲戰爭の開始後一九三九年十二月聯盟總會はもとノルウエー國家議長ハンプロ博士を委員長として三十名から成る統制委員會を任命したが、同委員會は近くロンドンで會議を開催、國際聯盟處分案を審議決定する豫定と傳へられる

駐ソ英國軍事使節團

（ストツクホルム三十日發）ロンドン來電＝英國陸相グリツグは三十日下院で次の通り言明した

現在ソ聯に派遣されてゐる英國の軍事使節團は將校二十六名、下士兵卒三十二名からなつてゐる東部戰線の前線には英國の軍事代表はゐないが、折々前線を訪問することはゆるされてゐる

獨占領地經濟長官

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝前物價管理局長官ヘンダーソンは今回米國軍占領下のドイツ領土における經濟問題擔當の長官に任命された、彼は來週ロンドンに向け出發する筈である

【英帝國】

愛蘭北部の合併を主張

（ストツクホルム一日發）ダブリン來電によればエール首相デ・ヴアレラはアイルランド北部の合併を主張し、ゲーリツプ協會で次の通り演說したといはれる

わが國民の大半は自由なアイルランドの建設を望んでゐる、いかにして建設するかについては意見がわかれようが、目標については何人も意存がない、われわれは實現に努力した自由を現在享受してゐるが、同じ自由が北部にも與へられないかぎりアイルランド人は滿足しないであらう

爆發事件正式發表

（リスボン三十日發）英國空相サー・アーチボルド・シンクレアはバートン・オントレントの爆發事件に關し三十日下院において次の通り言明した

「爆發事件が起つたのは二十七日正午少し前であつた、地下彈藥庫の爆發部分は他の部分から遠く離れてゐたが、そこだけは非常な大損害であつた、だが主要部分に被害を蒙らず管理、關係の建築物にも大被害はなかつたので作戰上の必要に應ずるための爆彈の積出しは依然續けられてゐる、この事件によつて生じた隣接地區の被害に對しては種々救濟手段が講じられてをり、實情調査委員會も任命された、爆發事件を敵の行爲のためであると考へる理由は全くない、現在までに判明せる人的損害は死者十六名、行方不明にして死亡と信ぜられる者四十三名、行方不明九名、負傷者十三名、合計八十一名である

【西亞】

土、對米爲替相場調整

（リスボン三十日發）「タイムズ」紙のイスタンブール電報は三十日次の通り報道してゐる

トルコ商務省は十一月十五日以降、對米輸出品の全部に對し、四十%の奬勵金を附與し、米國からの輸入品に對しては四十%の附加稅を課する旨發表した、つまり米貨一弗に對し百三十ピアストルの爲替相場が今後貿易決濟用爲替においては百八十ピアストルとなる譯である

英國政府は目下トルコ政府との間に貿易決濟用の磅爲替相場設定に關する協定を締結すべく目下交涉を續けてゐるが、米國に對するトルコ政府今回の措置は米弗を英磅と同樣な地位におくものだ、なほ右英土會談においては世界市場におけるトルコ商品の價格調整問題も特に論議されるものとみられる

【ソ聯】

ソ聯、イラク國交再開

（モスクワ三十日發）ソヴエト政府當局はソ聯とイラクとの國交を再開するに決定し、初代バグダツド駐劄ソヴエト公使としてサイゼフ氏がイラク政府の信任を得、近く赴任する豫定である旨三十日發表した、モスクワ駐劄イラク公使はまだ任命されてゐない

昭和十九年十二月四日(月)
第三二六〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

歐洲戰局概觀

東部戰線

ドイツ西部要塞の大攻防戰が開始以來すでに二週餘を經過し、愈々激化の傾向を示してゐるのに反しドイツ東部要塞に對する赤軍の本格的攻勢はいまだ開始されてゐない、赤軍は目下スロヴアキア東部、ハンガリー東北部及び南部ユーゴースラヴイアの北部で攻勢作戰を展開してゐるが、これらの作戰は赤軍のいはゆる「ドイツに對する決定的攻勢」と見做すことは出來ない、ドイツ東部要塞の主軸は東プロイセンからワルシヤワ地區、ポーランド西南部、シレジア地方を經てカルパチア山脈に到る線であり、それ故赤軍の本格的攻勢は同方面に布陣する赤軍主力約二百五十萬が行動を起した日に始まると見るべきだ、本格的攻勢開始の時期は勿論明らかでないが、スターリン大本營とアイゼンハウアー司令部の間にこの點について諒解があるとみるのが妥當で、恐らく赤軍は反樞軸軍が西部要塞内に大規模な突破口を形成し、ドイツの戰略豫備軍の大部分をひきつけ得た時期を狙つて攻勢に轉ずるものとみられる、目下スロヴアキア以南の諸地區で展開されてゐる赤軍の作戰はバルカンにおける勢力圈の擴大を目指す局地的作戰の域を出ないが、これらの作戰は如何なる目標をもつて如何なる規模の下に進められてゐるか

スロヴアキア戰線＝ペトロフ麾下第四ウクライナ戰線軍は狙撃兵三十個師以上をもつてウングヴアル地區から西進し、目下カツシヤ近郊に迫つてゐるが、同軍はドクラ峠の友軍と呼應してスロヴアキア西部を制壓し、さらに南方のミスコルツ地區のマリノフスキー軍と協力してハンガリー東北部のドイツ軍大部隊の退路を遮斷しようと企圖續續兵力を增援して攻勢擴大中の模樣だ

ハンガリー戰線＝去る十月二十九日マリノフスキー麾下ウクライナ第二戰線軍は六十萬以上の兵力をもつてチツサ河岸からブダペスト攻略戰を開始、ソノルクから東北進した赤軍部隊はペストの南方郊外に突入すると共にドナウ河上のツエペル島に橋頭堡を設定するに成功したが、ドイツ軍の反撃に阻まれ未だブダペスト市内に突入するに成功してゐない、一方キスコレ地區から西北進した赤軍部隊はブダペスト――ミスコルツ鐵道を遮斷し、ハトヴアンを經てブダペストの北方へ進出せんとしたが、これまたドイツ軍の猛反撃によりハトヴアン西方で前進を阻止されてゐる、しかし同鐵道沿線の諸要衝エジエル、メゾコヴエスド、ミスコルツなどは赤軍の手中に歸した、マリノフスキー軍のブ市攻略が初期のごとく進捗しないのに焦慮した赤軍司令部はハンガリー最南部で新作戰を開始した、即ち十一月二十八日トルブーヒン麾下ウクライナ第三戰線軍はドナウ河岸のモハチ――バヤ地區で狙撃兵二十個師内外と戰車五乃至六旅團をもつて攻勢を開始し、モハチ、バタセリ、ベチの三要衝を拔き更に西北進の態勢を示してゐるが、同軍の目的はバラトン湖地區からブ市の背後を衝くこと及びユーゴー方面のドイツ軍がハンガリー西部に到着しないうちにハンガリー西部を制壓してしまふことにある模樣だ

ユーゴー戰線＝ユーゴーではブルガリア軍及びチトー軍が主として作戰に當り、赤軍は主としてモラヴア河流域で小規模な攻勢を行つてゐるに過ぎない、ドイツ軍はすでにスコプリエ、クラリエヴオなどを撤收、北方に向つて離脫作戰を行つてゐる

イタリア戰線

アドリア海方面から進擊した英第八軍は現在、リミニ、ボローニヤ間道路のほぼ中央に當るファエンツア附近に到達、ラモネ、モントーネ兩河中間を徐々に北上しファエンツア北方のドイツ軍陣地を制壓せんとしてゐるが、ドイツ軍の猛反擊に前進を阻止されてゐる、他方アペニン山脈中部から北上してボローニヤ奪取を企圖する米第五軍は目下ボローニヤ南方十一哩のリヴエルニヤノ附近にまで達してゐるが、ドイツ軍の過去二三週間における反擊は特に熾烈を極め、目下米軍の一部は若干の後退を餘儀なくされてゐる模樣だ

特輯

重慶政權の改組（上）

藤原文雄

米國が敗戰續きの重慶に軍事政治的改革と國共合作を強制して支那大陸における自己の戰略的頽勢を挽回しようとした企ては蔣介石の要求によつてスチルウエルの召還となり紛糾を世界に暴露したが、この原因が宋子文の說明してゐるやうに「ワシントンで體系化された廣汎な政策」に對するスチルウエルの解釋の仕方と實行の方式に就て蔣介石と正面衝突したためだとすれば、蔣介石はこの軍事政治改革と國共合作について獨自の立場から手を打つはずであり、スチルウエル召還の後に來るものがこの意味で注視されてゐたのだが、スチルウエル事件があつてからおよそ三週間後に蔣介石は遂に政府の改組斷行に出た

現在までのところでは十一月二十日の臨時中央政治會議の決定として發表した行政院の四部長と國民黨の三部長が更迭されてゐる、卽ち軍政部長何應欽、財政部長孔祥熙、敎育部長陳立夫、內政部長周鐘嶽、黨部では宣傳部長梁寒操が罷免されてそのあとに陳誠（前江北軍總司令官）兪鴻鈞（前財政部政務次長）朱家驊（前考試院副院長）張厲生（前行政院祕書長）王世杰（國共和解交涉重慶代表）がそれぞれ新任され、これに伴つて何應欽は軍事委員會と參謀總長、孔祥熙は行政院副院長の兼職に留り陳立夫は新たに黨部の組織部長として實兄の陳果夫の後におさまり、梁寒操は同じく海外部長として張道藩の後を襲つた

蔣介石が、この改組をさらに擴大し、今後他に波及して行くか、またあるとすればどの程度の規模に發展するのかは不明だが、今回發表の分だけでも重慶としては支那事變勃發以來の大異變である、蓋し「淸掃」された七つの部長の椅子が重慶政權の內閣たる行政院と與黨たる國民黨の中樞をなすものであり、同時に問題が更迭の範圍にあるのではなくて重慶のもつ根本問題及びこれに關係をもつ米國の政策を背景とする性質にあるからだ

蔣介石の政治的狙ひ

改組の目的について重慶のUP通信特派員は二十日の報道で

重慶政府の檢閱當局は改組の陰にある多種の理由を敷衍することを禁じ、ただ蔣介石が總裁となつてゐる國民參政會の反對抗議に對應するためとられたものだと報道することのみを新聞記者に許可した、この更迭は明らかに彼の政權に向けられてゐた最近の非難の礫を沈默させることを目的としたものだ

と述べてゐるが、蔣介石の改組斷行には次の三つの含みが認められる、第一は米國との軍事的協力及び重慶國內の軍事政治改革に障碍をなすもの第二は國共合作に障碍をなすものとして非難されてゐた人物を蔣の自主的立場に基づいて解任し、これに代つて局面の打開に當るものと少くも外部から期待し得る人物を据え、これが結果において米國と中共（延安政權）の要望に應へた形をとつてゐることであり、第三は國內の聲、特に少くも重慶自身にとつては民意代表機關の立場にある國民參政會より攻擊されてゐた人物を罷免することによつて「民意」にも應へ軍事、財政、內政の改革及び黨活動の振肅に一應の「誠意」を示し、かくして對米國、中共、國內といふ三つの角度の何れに對しても同時に政治的ゼスチユアが向けられてゐるところに蔣介石の苦心熟慮の跡がみえる、特に蔣介石が國內改革と中共問題について米國との外交交涉の紛糾に當つて最後の決裂を望まず、米國もまた重慶を捨てて中共に鞍替することが重慶の弱味につけ込んだ恫しはともかく實際問題として少くとも戰局の現段階では極めて困難な事情にあり、米國が果してそれを眞に望んでゐるかも疑問だ、また重慶にしても少くとも現實の緊迫した軍事危機が米蔣の協力對處に一刻を爭ふべきことを要請してゐる、しかも反樞軸陣營における重慶の政權としての資格そのものすら重大な批判の對象となり重慶としては將に浮沈の關頭に逢着してゐる、この點に蔣介石の對米意志表示の裏が認められ國內の軍制改革、財政內政の刷新も重慶自身がたれよりも必要を痛感してゐるだらう、干涉の急先鋒スチルウエルを追ひ返した今事態が急迫してゐるときそれを自主的立場から實行するに必要な一つの膳立てとみれば、今度の改組は單なるゼスチユアではなくて寧ろ必死の措置であらう

昭和十九年十二月四日(月)
第三二六〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

しかし以上の反面に二つの問題が殘つてゐる、その一つは考へやうでは現在の軍事危機よりも一層大きな影響を「中國の運命」に及ぼす國共合作について蔣介石は今度の改組をもつて一つの前提を用意したかにみえるだけで實際において今後中共に對して如何なる手を打つか、未だ十分の推測を許さないことであり、その二つは國内改革と國共合作の「直接の障碍」として米國と中共から非難された人物が前任の地位と同樣に重要な別の地位に留り乃至は新任されて米國と中共にとつてはなほ「間接の障碍」をなし、この角度からみると蔣介石は實を失はず、これらの人物が依然として重權政權に大きな勢力を構成し、これが新しい論議の的となつてゐることだ

米人記者團の解釋

この改組に對して米國側の見解は一方ではその意義を大いに買ひながら、他方では重慶の眞意を捕捉しかねて多大の疑惑を挾んでゐる

これまでの傾向として「反重慶」に一致してゐた重慶にある米國報道機關が今度の改組に對してどんな見方をしてゐるかをAP、UP兩通信「ニューヨーク・タイムズ」NYT「シカゴ・デーリー・ニューズ」CDN各特派員の二十日の報道を綜合してみると更迭の動機として、今度の更迭が第一にスチルウエルの召還に關聯したもので重慶の改組はワシントンの主張でもあつたこと、第二は米國のみならず中共と重慶の大衆が反動分子に加へてゐた非難に蔣が應へたもので、特に何應欽は米國式の戰略と訓練方式の採用に遲疑し、一方共產軍の封鎖を維持し中共との政治的和解の主要な障碍をなしてゐたことに非難が向けられ、孔祥熙は財政紊亂の責任者、貪官汚吏の筆頭として何應欽と共に國民參政會で決議をもつて不信任を表明されてゐたことを擧げ、第三に陳立夫は國粹排外的傾向あり、教育部長として在米留學生にファッショ的思想取締法規の適用を望んだ男として米國教育界から非難されてゐたこと、その他梁寒操は宣傳部長として檢閲を苛酷に實施し言論の自由を拘束した非民主々義行爲を難詰、その他各人各樣の棚卸しを列べこれらの理由から更迭を一應歡迎してゐる、次に改組の意義として

一、米蔣交涉の觀點からは、何應欽、孔祥熙の罷免を含む今回の改組は、重慶の瀕死の軍事的財政的運命から復活することを目的とする大掃除を要求した反樞軸の壓迫に對し、蔣介石が遂に讓歩したことを示すものだ(AP)として重慶の對米屈服を強調し

二、軍制改革と對米協力の觀點からは、新任の軍政部長陳誠が重慶で最も有能な司令官の一人であり、一般的によい戰歷をもち湖北省政府主席就任以來行政官としても名聲を博し、新しい思想を受容れ易く米國の各顧問との緊密な協力に贊成してゐるので米軍將校に好かれ全面的に戰爭を遂行する見込みのある人物として一般に推奬され、親日乃至は妥協の記錄を持つてゐない(CDN・AP)ことを指摘し、近代的方式を採用し效果的な戰鬪軍隊を訓練するため米軍と共同して工作する意志あるこの有能な司令官に對して蔣介石が重慶軍の再編成を托した(AP)ものとして今回の改組が米國式軍制改革と對米軍事協力への措置と見做し得る點を擧げ

三、政治的改革の觀點からは、無能と考へられてゐた顏觸れを罷免し、その代りに最近重慶の諸失敗には責任がないと考へられてゐた宋子文や陳誠を國民の前面に押出し、且つ推進力あり若手氣鋭の士として陳誠、俞鴻鈞を政府組織への輸血の役をもなし、王世杰が宣傳部長となつたことは檢閲の操作に決定的な改善が可能と信ぜられると共に、彼が蔣を取まく側近者中で最も自由主義的人物の一人であると(NYT)かくして國内態勢整備への發足と人心の一新に一應の期待をかけ

四、中共問題の觀點からは、何應欽に反して陳誠が過去において江西における共產軍討伐の戰歷はもつがその後中共とは協調的に活動出來たこと、王世杰は最近六ケ月に亘り中共との和解交涉を處理してきた人物である(AP・NYT)ことを擧げてこれにも一縷の望みをかけてゐる

疑惑と非難

しかしこれら米人記者の解釋の焦點は右のやうな期待よりも寧ろ反對に疑惑の方に多くが向けられてゐる、そしてこの疑惑の對象には二つあり、一つは改組そのもので、これが米國側からみて滿足なものでなく、他は改組の背後にある重慶の眞の意圖及び實行の能不能に對する疑惑である

改組そのものについて各特派員が一致して騒ぎ立てた點は四つあり

第一は米國、中共及び國内から非難されてゐた各部長はいづれも罷免はされたが權能は完全には剝奪されず、みなこれと同等の重要性ある責任の地位についてゐる、換言すれば米國側からみて「反動的排外的老朽分子」が完全に清掃されず依然として隱然たる勢力を維持してをり

第二は新任の各部長はすべて戰前または戰時中に部長乃至は政務次長の地位についてゐたことのある人物ばかりで新味がないとし、その色彩と能力にも難點を附し

第三は登場した人物が新舊何れも國民黨の中央執行委員常務委員または中央監察委員であり新政府は一黨專制ではない筈にも拘らず依然として國民黨を母體とする性質に變りがないと指摘し

第四はこの改組が重慶を「よかれと望む」多くの者が期待したやうな「清掃」は決して意味せず各部隷下の各局及び現在までのところ、全く波及してゐない多くの高官にまで更迭が行はれなければ完全な改組とは言へないと主張してゐる

これらの主な論據としては軍政部長を罷めた何應欽が軍事委員會參謀總長即ち米陸軍參謀總長マーシヤルと同一の地位に留まつてをり、これは彼が支那戰域において重慶の戰略と作戰を樹立實行する權能をもつ存在であることを意味し（UP）彼が參謀總長の職を續けないか否か何の發表もないが、その地位は實際の軍作戰統監に干與するのでこの點は極めて重大だ（CDN）としてゐる、次は財政部長を解かれた孔祥熙が内閣の副總理格に當る行政院副院長に留り、しかも貪官の烙印を捺される原因となつた官營の中國、中央、農民、交通四大銀行の支配を維持してゐる、彼が俞鴻鈞と替つたことは權力の大きな喪失とならないのは右の理由のほかに俞は從來政務次長として孔の部下であつた（NYT）、俞鴻鈞は健全で眞面目な役人として評判はよいが、内政的にはまだ雜魚級（Small Fray Class）で、消息筋では彼を「孔の弟子」だと呼んでゐる（AP）、さらに、教育部長を解かれた陳立夫の組織部長就任は、彼が國民黨組織の鞏固な掌握を維持し——この組織は陳果夫、陳立夫兩兄弟が指導する一派によつて長い間支配されてゐたものだ——地方支部の悉くを支配管理することとなつた、消息筋では右翼的傾向の黨指導者陳立夫が組織部長となつたのは黨規を引締め間接に全政府官廳に懲治的措置をとる努力として主要意義あることを指摘してゐる（NYT、UP）とし、ドイツで訓練された朱家驊博士が教育部長に任命されたことは教育制度を更に黨の支配と管理のもとにおく努力を意味するものと見做されてゐる（UP）内政部長に新任の張厲生は國内の各種行政單位を監督し、重慶警察の總指揮權を掌握するが陳立夫と大の仲よしだ（AP、NYT）等々を列擧してゐる、以上が大體の論據だがこれを綜合すれば米國の期待した軍事、政治財政的改革の方向に一歩も進んでゐないのみか、國民黨のファッショ的獨裁傾向を更に强化したといはんばかりの非難攻撃である

重慶の眞意を問ふ

次に改組の背後にある重慶の眞意に對する疑惑として「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員は

重要な問題はこの更迭自體にあるのではなく、これによつて何が出て來るかにある、重慶において回答の與へられない疑問のうちには次の如きものがある、第一は現在の更迭が中共との交涉と如何なる關係を持つか、この更迭が中共の非難に應へるものであらうか、第二は外交部長宋子文の地位には變りがないが、彼の役割はなにか、第三は新政府に對する立法院長孫科の態度はどうかといふことだ、換言すればこの更迭が中共との和解問題、重慶の戰力を昂揚しかつ一層大きな動員と全資源の協力に導く政治軍事的改革の根本的考慮へと進展することを意味するか、即ちすべてのものが滿足するやうな期待をつながせるものかどうか、これらの疑問はなほ今後の事實に徵すべき問題として殘つてゐると述べ、AP通信も多くの外國筋の重要な疑問とは第一に今回の更迭が次の更迭の先驅をなすものか第二は支那の最大の軍事力を對日戰の重大な闘爭に投入し得るやう重慶政權と中共との妥協の方向に何らかの影響を與へるものかといふ點にあると補足し、更に「シカゴ・デーリー・ニューズ」紙特派員は

昭和十九年十二月四日(月)
第三二六〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

若し新軍政部長が現下の危機を孕む情勢に對處する必要から重慶軍の徹底的改革を實施しようと意圖するなら、彼は自己の見解に對して幕僚の完全な協調を要求するであらう、これは今後見極めねばならない問題だ

と報道し、今回の改組で現下の重大な情勢に果して對處し得るか否かは事實に徴するほかはないとしてゐる

以上米人記者の觀測はいづれも結論を引出しあぐみ米記者が特別に抱いてゐる對蔣惡感情を混入して疑惑の羅列に終つてゐるが、事實この改組だけではいまだ問題の端緒に觸れてきただけで核心には遠い、これらの觀測中にただ一つ「シカゴ・デーリー・ニューズ」紙の特派員ステイールが次の一句を加へ、大統領特使パトリツク・ハーレーの對蔣外交の成果に期待をかけてゐるのが目立つてゐる

現在批評を加へるのは時期尚早だ、このまま前進する限り歡迎されることは疑ひないスタートが切られたのである、その結果が數週間後には支那の眞に根本的な問題である國共の紛爭解決に貢獻することが出來るであらう、國共交涉は繼續してをり未だ望みはある、そして現在の情勢に重要な背景をなし今後も恐らくさうであらうと思はれるのは、ルーズヴエルトの特使ハーレーの存在だ

米本國の反響

重慶政府改組の發表より凡そ二時間前に「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員テデイ・ホワイトは重慶から本社に向けて急報の事務電を打ち「重慶政府改組に關する至急報のため本日外電ニュースの組込みは保留された、恐らく午後遲く記事解禁の見込、極めて重要性ある開戰以來最大の更迭」と豫告してゐるが、各新聞通信社特派員が打電した改組の報道は二十日の米國最大ニュースの一つとして大々的に掲載され、米が支那の事態及び米蔣關係に對して持つ重大な關心を如實に反映したワシントン及びニューヨーク各有力紙は一應は改組を歡迎、例へば「ヘラルド・トリビューン」紙は蔣介石は仕事振りを非難された部下を罷免したほか建言者のうち極端な反動分子を除外し、最も重要な更迭は軍政部長で、重慶の軍事情勢が災厄に直面してゐる際、陳誠の如き優れた將領が軍政部長になつたことは意を强くする、と述べてゐる、各紙の論評を綜合すると改組の持つ意義として

一、今回の更迭は蔣介石が行政の改善を決意し政治的連累に過度の考慮を拂はぬ決意をしたことを示唆し(ヘラルド・トリビューン二十一日)

一、何應欽、陳立夫、梁寒操をより重要ならざる地位に轉じたことは彼らが最も反動的一派に屬してゐるだけに「正しい方向」への一措置である(ワシントン・ポスト二十三日)

一、更迭がどの程度の意味を持つかは蔣介石が續いて行ふことの程度によつて決らうが、少くとも行政院の自由化及び反樞軸との協力に資する方向に極めて決定的なゼスチユアを示した、更迭がかかる性質のものであれば遙かにゼスチユア以上のものであることを實證することが可能だ(クリスチヤン・サイエンス・モニター二十一日)

一、王世杰が宣傳部長に就任したことは檢閲と中共問題を緩和する意向とみられる、事實、更迭された者は全部樞要な行政任務から重要性の落ちる政治的または非軍事的任務に移されてゐる(ニューヨーク・ポスト二十一日)

等の諸點を擧げてゐる、しかし一方では重慶中央社ワシントン電が同地の新聞論評は「改革の效果」が政府更迭といふ外見以上のものであることを實證するまでは今度の改組に全幅の是認を差控へてゐると指摘してゐる通り各紙とも多分に疑問も表明してをり、例へば「ワシントン・ニューズ」紙は更迭が權勢における眞の變化を表はし、これまで何應欽、孔祥熙、陳立夫の一派に反對されてゐた妥協と改革に途を啓くか否かは今後に俟つほかはない、と述べまた「ヘラルド・トリビューン」紙は新政府に一人も自由派その他の政黨から代表が出てゐないことに失望してゐるが、同時に各紙

は今後の課題をとりあげて論じ

一、單なる更迭だけでは不十分で問題は續いて改革が實際に遂行されるか否かにある、その改革とは第一に重慶軍の改革は統帥の一元化を含むものでこれは蔣介石が古い軍閥の反對に遇ふの餘儀なきに至つて悶着を起すであらう、第二は現在單に論爭の團體にすぎない國民參政會の權能を增大する可能性と共に民主々義的軍隊に一層大きな活動の自由を與へるための行政の自由主義化、第三は中共との假協定の達成、第四は大統領特使ネルソンの援助による重慶軍需生産力の增大である、これらの改革のいづれも容易なことではないが、その達成される程度によつて初めて更迭が何らか本當の意義乃至は價値をもつことにならう(ワシントン・ポスト二十三日)

一、蔣介石は行政を改善し、政治的聯繫に過渡の考慮を拂はぬ決意をしたことを示唆してゐるがもし蔣が中共を取扱ふにこれと同樣の態度をとるならば中共は蔣と妥協するであらう、ともかく更迭は重慶を鼓舞し各新部長が新しい任務に最大の成功を收めるやう望む十分の理由がある(ヘラルド・トリビューン二十一日)

一、罷免組は別の地位を與へられたがこれは單に面子を守るだけに過ぎまい、もしさうだとすれば蔣は更に一歩を進めた諸措置によつて、彼が政權の自由主義化及び反樞軸との協力への立派な發足を最後まで續け拔く意志であることを間もなく示唆する筈だ

と期待をかけてゐる

資料

國境紛爭に對するソ波兩國の立場

ソ聯の立場

「バーズラーナハリヒテン」紙

十一月二十日

ソ聯は何故ポーランド東部を自國領に編入したいと欲してゐるのか、ソ聯は最初、ポーランド東部に在住するロシヤ人及びウクライナ人が人民投票によつて自發的にソ聯邦への參加を決定したのだと主張した、しかし、世界の人々はこのやうな人民投票がどんな價値を有するものだかを知つてゐる、その後になつてソ聯は自國の安全のためにポーランド東部が必要なのだと主張しはじめた、そこで問題が政治的であると同時に軍事的意味をもつやうになつた、ソ聯はポーランド東部が軍事的に必要だといふが、獨ソ開戰當時同地域がソ聯の支配下に置かれてゐたに拘はらず、ドイツ軍はこの事實を少しも妨げられることなく白ロシヤ及びウクライナの全部を占領したのである、英國首相チヤーチルは去る九月二十八日の下院の演說において、何故英國がソ聯の要求を支持せねばならぬかといふ理由を說明し、且つ英國はソ波紛爭の解決には僅かしか貢獻しえないと述べてゐる

ワルシヤワ市內で亡命ポーランド軍が蜂起した時ソ聯がこれを見殺しにしたことや、ルブリン政權がはつきりした(親ソ的)態度を示してゐる事はソ波問題を考へる上に看過出來ない事實だ、かくて亡命政權はソ聯の要求の前に屈服しなければならなくなつてゐる、しかし米英兩國がポーランド及び全歐洲に對して相當大きな責任を負ふてゐる事實を看過してはならない、若しソ聯が戰後その勢力を恃んであまりに西方に手を伸ばすとしたら、手のつけられなくなるやうな事態が生じてくるかもしれない、現在ではソ聯は自國のまはりに屬國の環を作らうとしてゐる、ソ聯內部の思慮分別ある健全な分子がソ聯の現在の純粹に帝國主義的な傾向を阻止するに十分な力を有してゐるかどうかはいづれ判明しよう

ミコライチクの言明

「ピクチユア・ポスト」誌

十月二十一日

一國が眞の主權國家であるためには、他國の勢力圈內にあつてはならない、われわれは諸外國と最も友好的な外交關係を維持したいと欲してゐるが世界を幾つかの勢力圈に分割するといふ考へたとひ——それが最善の意圖をもつて行はれようとも——を好まない

昭和十九年十二月四日(月)
第三二六〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

われわれとしては諸國家が相互間の協力を圖るために相互間に自發的に協定を締結した方がよいと考へてゐる、われわれは國家間の政治的拘束乃至經濟的拘束を欲しない、ポーランドは隣接國が自國と全く異つた經濟的及び社會的構造を有してゐる場合でもその隣接國との間に善隣關係を維持しうるであらう、嘗てモスクワを訪問した際余はスターリン首相とこの問題について討議した、その際スターリン首相は「ソ聯は獨自の國家組織をもつてゐる、ポーランドはポーランドとして獨自の國家組織を持たねばならない」と述べた、余もこれに贊成である、問題はこの二つの一致した意見を如何にして現實化するかといふことだ

獨立確保と五政黨問題＝ポーランドの將來の獨立を保證するためにはポーランドは國家間の協定に依存するよりも國際安全保障制度に依存した方が好ましい、しかし若し國際安全保障制度が「大國の支配」を基礎にすることになれば、戰前ポーランドの人口の九割を代表してゐた四つの政黨の内のどれか一つが大國の援助の下にポーランドの國政を壟斷する危險が生ずる譯だ

ルブリン政權派の人々は、今次大戰勃發以來ポーランド國内に「ポーランド勞働黨」といふ新政黨が誕生、發展したと述べてをり、それ故將來ワルシヤワに政府を樹立する場合には、これまでの四大政黨と新政黨を加へた五つの政黨が同等の權力をもつて政府に參加したらよいだらう、ポーランド政府がワルシヤワに歸還した場合、問題を解決するにはかうするよりほかない、この問題はポーランド人同志の間で解決すべき問題だ、ソ波兩國間には國境問題について根本的な意見の不一致がある、われわれは約五割の領土と約一千一百萬の市民を放棄するやう要求されてゐる、しかし如何なる政府といへどもかかる重大な決定を國民に相談せずに行ふ權利はない

ドイツ分割案＝戰後ドイツ領土の一部を削りとりこれをその隣接國のうちの若干の國家に與へねばならない、ヴエルサイユ協定は中歐領土問題を適當に解決し得なかつたが、この問題はいまや解放されねばならない、ポーランドについていへば北部シレジア地方には八十萬以上のポーランド人が在住し同地方住民の大多數を占めてゐる、また東プロイセンの南部地區にもポーランド人が多數居住してゐる、これらの地域はポーランドが回復しなければならない、チエツコスロヴアキアもドイツ領シレジア地方の一定の地域に對して權利を有してゐる、ドイツがオーデル河の東方地區を割讓すれば、ドイツの資源は著しく少くなり、ドイツ軍國主義の中核たるプロシヤの力が弱まるであらう、さらにまた、ドイツ領土のうちの或部分はドイツの戰爭能力を著しく增大してゐるから、これらの地域をドイツに近接した若干の國家に與へねばならない、東プロイセンはその適例であり、ソ波兩國がこの地域に關係がある、ポーランドが東プロイセン全部の割讓を要求してゐるのはかかる理由に基づいてゐる、ポーランドはさらに獨ソ兩國國境の西北部を西方へ移すことを要求する、英國はヘリゴランド及びシルトの諸島嶼の重要性を忘れてはならない、フランスはラインランド工業地帶がフランスに與へる脅威を除去したいと要求する正當な權利がある、さらにまたドイツがオランダ國内の廣大な地域を洪水戰術によつて水浸しにするやうな場合には、オランダは破壞された地域と同じ廣さの領土をドイツに要求するのが正當だ

「獨米軍用機の性能比較」

ハンソン・ボールドウイン

「紐育タイムズ」紙九月二十九日

米空軍機はドイツ空軍機に比較してあまり大きな質的優位を占めてゐないが、その僅かな質的優位も空中戰では米空軍機の量的優位に比較するとてんで無意味だ、この僅かな質的優位を取り立てていへば、重爆撃機における米空軍の優位は明瞭で、若干機種はドイツ空軍に比較すると武裝の點で優れてをり、長距離戰闘機特にノースアメリカンP51「ムスタング」はドイツ空軍の長距離戰闘機に比して航續距離の點で秀れてゐる、次に米空軍機とドイツ空軍機を比較考量してみよう

重爆撃機

ボーイングB17「空の要塞」は恐らく白晝爆撃機では依然として世界の王座を占めてゐると思はれるが、歐洲の空を支配してゐることだけは確かだ、コンソリデーテツトB24「リベレーター」は仲々役に立つ飛行機で、高度二萬二千呎以下では「空の要塞」よりも速いが、曩に失つた「空の要塞」に對する航續距離と搭載爆彈量上の利點を回復するため、最新型では火器の裝備數を減じてゐる、但し「リベレーター」は「空の要塞」よりも從舵性に乏しく、歐洲だけについていへば明らかに戰鬪力に缺けてゐる、ドイツ空軍は重爆撃機をあまり持つてゐない、この型では米國の技術的優位は明瞭だ

中型爆撃機

米空軍のマーチンB26「マローダー」は色々の批評もきかれるが、速度も速く役に立つ優秀機だ最新型は一〇・五吋機關銃十三挺の重裝備を有してゐるが、防衛力ではまた二、三の弱點が看取される、ドイツ空軍JUL88は「マローダー」に比較すると多少の利點があり、ダグラスB20「ボストン」輕爆撃機よりも優良である、しかしながらダグラスA26新型はJUL88に比して遜色がない筈だ

戰鬪機

ノースアメリカンP51「ウスタング」とリバブリツクP47「サンダーボルト」とロツクヒードP38「ライトニング」は米空軍の有する三優秀機である、戰略作戰では三機とも直協長距離戰鬪機だが「ムスタング」は地上部隊に對する緊密な協力交通線に對する爆撃、銃撃などの戰術作戰に優れ「サンダーボルト」も「ムスタング」に負けをとらない、「ムスタング」は、恐らく世界最大の航續距離を有するが、「サンダーボルト」の〇・五吋機關銃八挺は、「ムスタング」よりも二挺乃至四挺多く裝備し、爆彈搭載量は二千封度といはれる、同機の新型は從來の缺點を一掃して高度の上昇能力を有し、水平、急降下、跳躍爆撃も自由で最高度では「ムスタング」よりも速い、「ライトニング」は二十粍加農砲一門、〇・五吋機關銃四挺の裝備を有し、四千封度といふ爆彈搭載能力を持つ、同機は一定の高度では一般補助活動の邀撃用に適し、武裝を輕減して寫眞偵察用に盛んに利用されてゐる、同機の改良複座式は更に利用價値を大にしてゐる

ドイツ空軍の戰鬪機は米空軍機に比して遜色なく、ある點では優れてさへゐる、それは航續距離でもなければ火力でもなく、實に飛行性能において優れてゐる、ME410は四〇粍乃至五〇粍の對戰車砲を機首に裝備し、多數の機關銃を後尾に裝備してをり、機首の長いFW190とME109新型は液冷列型發動機を備へ、從舵性と融通性に富み速度も速い、ドイツ空軍夜間戰鬪機は恐らく米空軍新型ノースロツプP61「ブラツクウイドー」に比肩する程度であらう、ドイツ空軍の噴射推進式戰鬪機は恐らく設計の點ではどうかわからぬが、作戰能力では米空軍のそれよりも一日の長を示してゐるドイツ空軍は數種の噴射推進式戰鬪機を生産して過去數ケ月來戰鬪に使用してゐるが、主として短距離邀撃機だ、たとへばME163は約二十分間飛行出來るだけだが恐らく歐洲で最も速い飛行機であらう、HE280とME262はいづれも二重推進式で速度は非常に速い、ME219も噴射推進式だ

ドイツ空軍の噴射推進機は行動半徑が極めて制限されてをり、從舵性に乏しいが、もしも以上の類型的な噴射推進式戰鬪機を豐富に有するやうになり、維持上の諸困難を克服して經續して活躍させることが出來るやうになれば、米空軍は歐洲の空から追ひ出されてしまふことにならう、作戰上の結果乃至戰鬪能力の點に關する限り、ドイツ空軍の戰鬪機は米空軍のそれを拔く、またドイツは飛行爆彈またはロボツト爆彈乃至はロケツト爆彈でも明瞭に優位を占めてをり、恐らく米國よりも離陸にロケツトを應用する點でも一日の長を示してゐるやうだ、またドイツ空軍の電波暗視照準器（RADAR）は米空軍のそれに遜色なく、飛行機の裝甲も「英國の戰ひ」以來大いに改善されてゐるが、爆彈照準器は米空軍の方が優れてゐる

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月五日(火)　第三二六一號

同盟通信 海外電報

(278)

編輯發行人　兼岡伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話銀座(57)一番(代)　同盟通信社

抗戰重慶を背負ふ女外交官として天晴れ蔣介石に内助の功を積んでゐた宋美齡は、この夏病氣療養のためと稱して南米に飛び、九月からニューヨークで入院、健康體になるまでには長期の療養を要すと主治醫は發表したが病狀については「彼女の肉體は激務過勞ですつかり壞れてゐる」と表現しただけでお茶を濁してゐた、米國の旅客機がどんなに乘心地がよくとも重慶からリオへ、それからニューヨークへと長途の旅行をするからには名醫の手當に一日を爭ふ病狀だとも言へるし、そうではないとも言へる、それかといつて浮沈の關頭に立つ「重慶の運命」を擔つて米國で外交活動に狂奔してゐる樣子もない、これと前後してUP通信社の前極東支配人ウイルソンがビルデイングから飛降り自殺を遂げ、借金で首が廻らなかつたほかに宋美齡との交涉があつたことや、長文の遺書が内容極祕にされてゐることなど噂は噂を生んだが、その後この話題は立消えになつてゐた、ところが三ケ月後の二十九日になつて「ロンドン・デーリー・メール」紙のカルカツタ電が蔣夫妻は別居してをり、原因は最近兩人の氣が合はずこの夏重慶で催したあるお茶の會の公開席上で喧嘩別れをしたもので彼女は恐らくマイアミ・ビーチに永遠の居を定めるだらうと報道し、センセーションを起した、驚いたのは重慶で駐英大使館や孔祥熙は聲明や談話を發表して打消しに大童であるAP通信によるとこのお茶の會とは七月五日に開かれたもので、席上喧嘩したのではなく蔣が宋美齡との兎角の噂について自ら釋明し特に一番ひどい例として彼が十六歲の美少女を妾にしてゐるとの噂を自ら指摘し、「自分がたとへさうし度いと思つても地位がそれを許さない」と說明したといふ、兩人の「夫妻吵嘴分別」劇が噂か本當か時が答へてくれようが、宋美齡が去つてから蔣とスチルウエルの衝突となつたあたりに眞相がありさうだ



【目　次】

米軍需再轉換を停止……二九五八
アテネ騷擾の巷と化す……〃
ラデスコ將軍に組閣を委囑……〃
ド・ゴール、スターリンと會談……〃
米海兵隊太平洋司令官……〃
スターリン議長との會見記……二九五九
「イズヴエスチヤ」紙重慶を攻擊……二九六三

【米　洲】
ソマーヴイル、軍需增産を要求
下院外交委員會反樞軸協定に反對……二九六四
グリーン再選さる……〃
陸海軍兵員損害……〃
V三號の攻擊を恐怖……〃

【歐　洲】
希遊擊隊の武裝解除紛糾……二九六五
傀儡閣僚連袂辭職……〃
伊政局の危機愈々深刻……〃
スフオルツア伯泣きつく……〃
羅政權首相辭職……〃
ピエルロー、社會黨と妥協……〃

【東　亞】
東南アジア軍副參謀長着任……〃

【特　輯】
瀕死の西歐聯合……二九六六

變つた豫言

（リスボン二日發）ワシントン來電によれば素破抜き記者として有名なドルー・ピアーソンは月刊誌「コスモポリタン」の十二月號上において「一九四五年の豫言」と題する論文中で、一九四五年には蔣介石は支那の統治を止め、また宋美齡並びに有名な宋一家は米國に住まふであらうと述べてゐるといはれる

米軍需再轉換を停止

戰局は豫想の經過を辿らず

（リスボン三日發）ワシントン來電＝米國政府は今夏來一部の軍需産業に對して民需生産の再開を許可し、民間業者はこの許可に基づき爾來軍需生産の部分的轉換を實施してきたが、戰局は太平洋歐洲兩戰域において米國當局が豫想した如き經過を辿らず、陸海兩當局は最近に至り再び軍需品の不足を頻りに訴へるに至り、四日戰時生産局は遂に全米百三地區にわたり今後九十日間、軍需産業の再轉換を停止する旨發表した、再轉換停止地區は勞働力不足地區五十八區、その他の事情による地區四十五區だが、ピツツバーグ、ロサンジエルス、ニユーオリーンズ、ニユーヨーク、シカゴ等の主要軍需都市をはじめとして全米で百二十六都市を含んでゐる

アテネ騒擾の巷と化す

憲法廣場で流血の慘

（リスボン三日發）パパンドレオ政權と左翼EAM團との對立は遊擊軍の武裝解除を契機として表面化しEAM團出身の閣僚六名は二日連袂辭職したが、共産黨並にEAM團の中央委員會が三日午前十一時を期しアテネ市内で示威運動を決行する旨の指令を出したため三日アテネ市内で流血の慘事を演ずるに至つた、アテネからのロイター電報によれば三日午前十時頃からパパンドレオ政權の示威運動禁令を無視したEAM團員數千名は婦女子をも交つて市の中心街に集合「憲法廣場」に向つて行進を開始したと傳へられる、ギリシヤ駐屯英軍司令スコービス將軍は二日特に聲明を發表しパパンドレオ政權がEAM團に對して强硬政策をとることを要望「治安の維持と食糧配給のため」必要な場合には英軍が干渉する用意ある旨を述べ現政權の支持を確約したが、右聲明に對しては英國外務省が二日夜更に聲明を出して全的に確認したためパパンドレオ政權は武力彈壓の決意を固め三日午前十時頃には憲法廣場一帶には武裝警察隊が出動物々しい警備についた、定刻午前十一時に至り示威團は無名戰士の墓のある官衙街に向つて行進を開始數ケ所で警戒線を突破して憲法廣場に殺倒したがここに至つて正規軍は遂に非武裝の示威團に向つて機關銃の掃射を浴びせた正規軍の攻擊は約三十分間に亘りロイター電報も示威團の間からトラツクで死傷者が運び出されたと報道してゐるが、死傷者數については示威團の間から十五人、警官隊の間から死者一名と報道してゐるに過ぎない、しかし騒擾は午後に引續きアクロポリス附近でEAM團と警官隊とが衝突してゐるといはれる、アラネからの報道はロイター電報AP電報等反樞軸の情報に限られ眞相を捕捉することは困難だが、英軍司令官は午後七時より午前六時までアテネ市内に消燈令を布告してをり、アテネ行き列車は夜間運行を停止したと傳へられるからギリシヤ國内の情勢は殆んど内亂に近い樣相を呈してゐると解される、但しパパンドレオ首相は英軍の支援を恃みあくまで强氣で

EAM同出身閣僚の補充は着々進捗してをり飽くまでレバノン會議の決定を遂行する旨を述べてゐる

ラデスコ將軍に組閣を委囑

（リスボン三日發）ブカレスト來電によればルーマニア國王ミハイ一世はサナテスコ首相の後任として三日ニコラエ・ラデスコ將軍に組閣を委囑したといはれる

ド・ゴール スターリンと會談

（モスクワ二日發）フランス臨時政府主席ド・ゴールは外相ビドーを帶同して一日モスクワに到着したが二日夜ド・ゴールはヌタリン議長と、またビドーはモロトフ外務人民委員と共に會談した

米海兵隊 太平洋司令官

（リスボン一日發）ワシントン來電＝海軍省は一日海兵隊太平洋司令官ウエイガンが病氣のため辭職し新司令官として少將ジユリアン・スミスが來る五日附をもつて就任すると發表したスミスは昨年のタラワ上陸作戰に海兵隊第二師團を指揮した人物であり、またパラオ諸島作戰にも米國軍を指揮した

昭和十九年十二月六日(火)
第三二六一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

スターリン議長との會見記

—エリック・ジョンストン記—

《ストツクホルム一日發》「リーダース・ダイヂエスト」誌の九月號に米國商工會議所會頭、エリツク・ジョンストンの「ヨシフ・スターリンと余の會談」と題する論文が掲載されてゐるが、その全文は次の通りである

六週間にわたり自分は公式のお客としてソヴエトの地を一萬哩にわたりオデツセイ旅行した、お蔭でいろいろのことを知つたが、それよりも今までの考へを改めた點がもつと多い、モスクワにおける居留外人の間のいはゆる「專門家」達が極く單純な問題についてさへも意見が合はないことを見出した、しかし彼らのために一言するならば彼らは本當に觀察する機會が極めて少ないといふことを認めねばならない、モスクワの外部に旅行することを許されるのは稀だ、まづロシアを理解するために手引を得ようといふならば一人の人物を理解しなければならない、この人物はロシア人のために語り且つ行動してゐる、卽ちスターリンのことである、彼が外人と會見するのは珍しいが、會見しても內容の報道されるのは一層珍しい、噂と疑心と誇張の濃霧につつまれてスターリン議長は世界で一番の神祕の人となつてゐる、自分はクレムリン宮における彼のアパートでスターリンとほとんど三時間會談した、輿論を啓蒙する意味で從來の先例を破りこのうちであまり機密にわたらない要點の一部を報告するのが妥當だと思ふ

約束の時間は夜の九時だ、クレムリン宮では晝の間はほとんど仕事をしない、しかし電燈は終夜あかあかと灯されてゐる、ハリマン大使と輔佐役のエドワード・ページと自分とはスターリンのアパートのある建物の入口で陸軍の高官數名の出迎へをうけた、スターリンはロシア國內の事務所や工場や公の場所を飾るために揭げられてゐるどの寫眞に出てゐるよりもふけてゐる、づんぐりした角刈の頭の毛は銀色になり且つ薄くなつてゐる、黑い眉毛と濃い口ひげも霜がまじつてゐる、スターリンの右手にはモロトフが控へてゐる、自分の左手にはハリマンとページが着席した、ロシア外務省の公式通譯ハヴロフはテーブルの端に坐つてゐる、そこで自分はロシア國內でいろいろ鄭重にもてなした事に對しお禮をのべた上で今度ソヴエト聯邦の工業を視察し興味もあり且つ有益であつたと述べた、スターリンはテーブルを見つめ何か落書をしながら「さうですかね—米國の工業の方がもつと面白いに違ひない」と口をさしはさんだそこで自分は「多分ロシア人の眼からみたらさうでせう、しかしわれわれ米國人としては直接見聞してどこまでロシアが進歩したかを知りたがつてゐるわけです」と答へた

スターリン「米國は非常にソヴエト工業を助けてくれた、ソヴエト聯邦內の大きな工業施設の多數は或ひは米國人の技術的な進言である、米國のチエンストアから專門家を數人お招きになればよろしい」

スターリンは下を向いたまま「チエンストアだつて?」と尋ねた、そこで自分が說明するとうなづいた上で「しかし分配するためには分配するものがなくてはならないではないか」と反問したそこで自分は「戰後には分配するものが出來るでせう」と答へたところスターリンは「そんなことがどうして分るのか」とつつこんできた

「戰爭の後ではいつでも消費品目の生產が增加するのです、御承知の通りナポレオン戰爭のうちに多數の英國人はもう自分の國は轉んでしまつたと思つたところが、英國は實際には比較的に平和の擾亂されない一世紀を通じて比類のない繁昌時代の玄關にたつてゐたわけです、この戰爭の後に平和の期間が一層長ければロシアはどんどん增加してゆく生產力を消費品目の生產に振向けることが出來るでせう」

勞働力の無駄

ジョンストン「しかし、あなた方は依然として勞働力を無駄にしてゐる、お國の各都市では人々が食物を買ふために長い行列をつくつてゐる、これは人間の精力を無駄にしてゐるので、お國としても非常にもつたいないことと思ふ、あなたは英國の生產技師を招聘されたが今必要なのは分配についての米國人の技術的な進言である、米國のチエンストアから專門家を數人お招きになればよろしい」

からのべてゐる間にスターリンは二、三度椅子の位置を換へその上溜息をさへしたやうに感じられたので話題を轉じた

戰後は景氣か不景氣か

「ロシア人に對する米國人の同情は恐らく獨立戰爭當時に遡るでせう、當時歐洲の獨裁各國は米國と取引するのを好まなかつた、ロシアのツアーが新らしい自分達の國との貿易を申出でられた最初の人であつた」

ここでスターリンは「ツアーは貿易で儲けようと思つたからですよ」と言葉をさしはさんだが、その際口の邊りに微笑がだだよつてゐるやうに思はれた、つづいて

「何れにせよ、兩國民の間の久しきにわたる親善關係の結果、過去においてもいろいろお互ひ好都合だつたのでこの戰爭の後ではロシアと米國との貿易が一層擴張されると思ふ」

と述べたところ、スターリンは依然としてうつむいたままで

「不景氣がどの戰爭の後でも資本主義各國を見舞ふ、今度の戰爭の後であなた方の國は不景氣に陷るのだらう」

「さうとばかりも限らないでせう、少くとも數年間は不景氣にならないでせう、殊に勇氣を出し先見の明あり、いろいろ工夫し且つ今までの情報を活用すれば、今度は不景氣をさけることが出來るかもしれません」

「わしは不景氣がいつからはじまるなどと何もきかなかつたよ」

惱める女の落書

前にはスターリンが興味を持たないやうな場合には話を打切らねばならないときいてゐた、また會見は三十分といふことだつたが、壁の上にかかつてゐる時計をみるとまさに九時半だ、巧みに辭去すべきだらうか、スターリンのかいた最後の落書をみると丁度拷問にかけられてゐる若い女の影帽子のやうにみえる、そこで自分は

「元帥、私の坐つてゐるところからみるとその繪はまるで惱める處女のやうです、あなたがあくまで不景氣を主張されてゐますが、その繪がミス・アメリカを代表してゐるのではないでせうね」

と述べた、そこではじめてスターリンは自分をみて驚いたやうな眞意をたしかめるやうな樣子をみせた後急にほとんどはづかしさうにして微笑した

「いたづらしてゐただけで特別な繪を描かうといふつもりではないのですよ」

「多分さうでせう、しかしあなたは必らず不景氣がくるといふし、女の子は如何にもふしあはせのやうにみえたので何か關係があるのではないかと心配した譯です」

そこでスターリンは紙を押しやり鉛筆を置いて齒をむき出して

「全然關係はない、わしは非常に愉快な氣持のよい人間だつたが、だんだん年取つてきたし戰爭に關するすべての問題その他色々面倒なことを雙肩に負つてゐるわけだ、ソヴエト聯邦全體のために決定を下さねばならない、今でもモロトフは」といひ、眼をしばたたきながら右の方を指して

「モロトフは今でも愉快で氣持がいい、さうあり得ない理由はない、自分もいろいろ苦勞はあるが一層愉快になるやう努めなければならない」

この時ハリマンはポケツトに手を入れて煙草入れを取り出さうとしてゐた、元帥は非常なパイプ好きだときいてゐるが、紙卷を好きかどうかちよつと疑問になつた、それに眼の前にあるロシア煙草には手をつけてゐない、そこで自分は「元帥、米國の紙卷をあがりませんか」と尋ねたところ、スターリンは「スパシーホー(有難う)好きです」と答へて自分の出した煙草を何邊も深く吸ひこんだ上、話を續けた

米國の援助を謝す

「ソヴエト政府と國民とは今度の戰爭で米國からうけた援助を大いに多としてゐる、工作機械並びに飛行機は特に役にたつた、トラツクも非常に有難かつた、あんな速さで退却するドイツ軍を追及出來たのは全く米國のトラツクのお蔭だからねロシア國民は米國に對して最高の敬意を拂つてゐる、海軍力がなければ大規模な戰爭は出來ない、大海軍力がなければ商船隊も維持出來ない

昭和十九年十二月五日(火)
第三二六一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

それから海軍だけを單獨に發達させることも出來ない、兵員をひき出す商船隊が必要なわけだ」とのべた、そこで自分はかう答へた

戰後の米ソ貿易

「元帥全くその通りです、商船隊の話が出たので思ひ出したのですが、お互ひの貿易の問題について實行家としてお話ししたい、戰後貴下は消費品目を買ひ入れたいのか、それとも工業施設が入用なのか、一例をあげれば革類がお國では不足ださうですが、米國では安く靴が出來る、米國で出來た靴を輸入するか、それとも革類と機械が御入用なのか」

スターリン「靴も輸入するかもしれないが主として機械類を輸入し國内で靴を作りたい、この戰爭の後では非常に工場施設を必要とすると思ふ」

スターリンはもう熱心に自分をみつめてゐるが聲は低く調子は落着いてをり、文句は短い言葉を探し求めてゐる樣子もなく、返事はちつとも澁みがない

「金額にしたらどの位の施設が入用なのですか」

「クレヂツト條件の期間次第だ、しかも嚴重に契約の條件に從つて速かに支拂ふつもりだ」

「自分はロシアに對する長期クレヂツトを主唱してゐる一人だが、貿易といふものは一方通路ではないのだから米國品の見返りにお國の方ではどんなものを出せますか」

スターリンはちよつと天井をみつめて髭をなすつた上で答へた

「ロシアにはいろいろな原料資源がある、マンガン鑛はどうです、分量も多いのでクロム、プラチナ、銅、石油、タングステン等を出すことが出來る、他に木材、パルプ材、毛皮なども持つてゐるソヴエト政府は輸出向けの原料生産にあたつて米國の要求に合ふやうに工夫しよう、生産施設さへ手に入れることが出來ればどれだけの分量でも獲得することが出來る」

工業化計畫に終りなし

「もし米國が長期クレヂツトでいろいろな裝備を多量に送ればですね、工業化計畫を完了するのにはどれ位かかりますか」

そこでスターリンは兩手を振り、力をこめて「工業化計畫は決して終らない、自分の國は非常に大きいし必要とするところも非常に多いのでどんなものでも十分といふまでには時を限ることは出來ない、戰前には五年計畫を何遍もたてたが物をつくればつくるほど益々物が必要となつてくる戰爭が終つた際に第一の仕事は荒廢した地域の再建だ、町は全部壞されてゐる、現在働いてゐる各工場も以前の仕事振りでは貧弱なので建て直さねばならない」

「元帥、原料品だけでなく製造品まで輸出するやうになるには何年位かかるでせう」

「あまりすぐは出來ない、國内のいろいろな要求が非常に多く且つ大きいからだ、ソヴエト聯邦はいまだ嘗て外國市場のために戰つた事はない、直接輸入に關係ある品目だけを輸出しようといふ政策だ、例へば重機械類を輸入するための支拂ひに原料品を輸出するやうなものだ」

この頃から話は非常に熱がのつて早くなつてきた、スターリンは卽座に且つくはしく返事をしてくれる

製鋼業と復興計畫

「ソヴエト製鋼業はどうですか、戰前の生産は？現在の生産は？、將來は？　いつになつたら自給自足できますか」

「戰前は約二千二百萬トンであつたが、うち大部分はドイツ軍の爲に壞されてしまつた、今年は一千二百萬トンの見込みだ、戰後は六千萬トンに增加しなければならない」

「それだけ增加した鋼鐵をどうしようといふのですか、うちいくらか輸出するつもりですか？」

「いや、國内の鐵道を二倍に延長し橋をつくつたりその他再建復興に使ふつもりだ、國内における鐵道での鋼鐵の需要を充し得るまでには相當な期間を必要とするであらう」

それから電力生産のことについて話した、從來の發電量、現在の發電量等について話し合つたが復興計畫は全く信じられない位だ、それから生産數字について話し合つた上で

「この計畫のあらゆる部面に米國の技術的援助と重施設とを必要とするのですか」

「兩方とも必要だ、ロシアの技師連はいい工場を建てることを學んだが、依然として技術上の援助が必要だ」

生産擴充の機會

それから工業生産について話し合つた、特に經營並びに勞力管理の改善によつて米國では一年を通じ、一勞働時間について三パーセントの生産增加をみたこと、且つ生産が增加しても國民の生活標準が絕えず向上してゐれば充分收吸し得ることを述べ

「今日貴族の贅澤は明日になれば百姓の求める所とならう」

とのべたところスターリンは笑つて

「それはなかなか面白い格言だ、ロシア人は澤山の需要をもつてゐるがこれを充たす機會が非常に少ない、いろいろな物の生産は依然弱體だ」

と語つて頭を振つた

「旋盤や工作機械の生産は自分達の必要とするところに比べればとるに足らない位少ない、自動車工業はまだ幼稚だ、例へば戰前米國では一年に五百萬臺の自動車を生産してゐたがわれわれは三十五萬臺から四十萬臺にすぎなかつた」

「それではこの分野で擴張の機會が非常に大きいわけですね」

そこでスターリン議長はしばらく考へた上で

「さう、見透しは大きいけれども擴張の機會はまだないかもしれない、例へば第一にロシア全國にわたつて道路を作らねばならない、米國では戰前には約六千六百萬トンの鋼鐵を生産してゐたのに今では殆んど一億トンの鋼鐵を生産してゐる、三千數百萬トンのあまつた鋼鐵をどうするつもりか」

「市場がだんだん擴大するのを豫想してゐる、豫想せねばならない、ある自動車製造業者は自分に對して自動車の生産を一年に七百萬臺にふやすつもりだと語つたが、大體戰前の生産に比べて約四十パーセントの增産だ、住宅の建設も促進されるだらう、色々新らしい製品も必要とならうしすすめられよう、あらゆる種類の鋼鐵に對する輸出需要もずつと增大するかもしれない」

「しかし米國の輸出は全體で戰前生産額の十パーセントにすぎないではないか」

「いや僅か七パーセントにすぎなかつたと思ひます」

「それでは非常に少ないではないか」

「英國にくらべてですか、英國の場合は輸出が生産の四十パーセント以上に達してゐた、恐らくこれは正常ではなく危險だと思はれる、今度の戰爭の後で米國人の當面する一番大きな問題は失業をさけてもう一度不景氣が起らないやうにすることです」

「その通り、平和產業を擴張して仕事をもつとふやさなければならない、平和の期間が長くつづけば何よりも一番增產を剩戰し失業を阻止することにならう」

記者同伴を許容

「米ソ兩國がお互に了解し合へば、世界平和の保障に役立つことが少くないと信ずる、社會制度、經濟態勢はお互ひに非常に違つてゐるが解決の出來ない紛爭はお互ひの間にない、我々は我々の制度を好み、あなた方はあなた方の制度を好む兩國がお互ひの內政に干涉してはならない、あなた方の方でもつとよくわれわれのことを學んでくれなければならないが、われわれもまた一層よくあなた方のことを學ばなければならないわけです」

「同感だ、あなたのやうな人達が米國人によく教へてもらひたい」

「しかし自分は單なる一個人にすぎない、モスクワにゐる米國の特派員は數百萬の讀者をもつ數百の新聞を代表してゐる、もし適當な援助を與へてもらひ今より自由に旅行することを許されればもつとよく米國人に事情を傳へることが出來ませうたとへば米國人はウラル地方の新工業部門の事情を知りたがつてゐる、しかも特派員諸君は同地方へは行けない、自分がウラル地方に四人の特派員を同伴する許可をお願ひしたのもさういふ事情に基づくのです」

「何故いかんのか？」

「それでは連れて行てもいいといふわけですか」

「勿論さうだ」

昭和十九年十二月五日(火)
第三二六一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「元帥、どうも有難うございます、しかしモロトフさんが同意するかどうかは判りません、外務省はまだ私の要請を入れてくれないのですから」

モロトフは自分をみてゐたが、スターリンの方に眼を轉じて早口で、且つはつきり元帥の決定に對してはいつでも確認を與へるとのべた、ここで元帥は頭を片方にかたむけ笑ひ出しながら

「ジョンストンあなたもモロトフがわしと意見が違ふと考へたわけではないでせう」

と反問したので

「勿論さうではないのですが、いづれにしても伺つた方がいいと思つたわけです」

と答へた、スターリンは頭を後にひいて滿足さうに喉をならした、それから「少し質問したいのだが」と前提して

「米國の上院が戰後諸條約を確認しないやうなことがあるだらうか」

と尋ねた、前大戰後のことを思ひ出しての質問であらう

「いかなる大統領といへども和平交渉について上院に相談せずにウイルソン大統領の過失をくりかへすやうなことはないと信じます、實際にもハル國務長官は既に戰後の目的について上院と相談してゐる位です」

戰後外交をほのめかす

「大變面白い、勿論ロシア人は將來兩國の關係では商工業が一番大事だとしつてゐる、しかし政治上の關係も同樣大事でクレヂツト並びに經濟上の取極めは政府同士の關係と全く獨立と考へるわけにゆかない、從つて將來の計畫をたてる場合には永續性のあるやうな計畫をたてねばならない、戰時に際しては外交政策が一切を決定し戰爭が續いてゐる限り、國內の諸政策は戰爭に適用しなければならない」

もう時間をみると十一時十五分だ、二時間以上も經過してゐる

「今度の戰爭で米國人とロシア人とは一緒になつた、今後絕對にどんなことがあつても關係を阻害されず將來も一緒に働かねばならない」

ここでスターリンは再び輕い調子にかへつて

「米國人と商賣をするのは好きだ、米國人は一體何と何を欲してゐるか知つてゐる、約束は守る何よりいいことはソヴエト聯邦におけると同樣、同じ地位に長く踏み留まつてゐることだ、政治屋は今日ゐたと思ふと明日ゐなくなつてしまふからまた新しい手合と新規蒔直しの取極めをしなければならない」

イズヴエスチヤ紙 重慶を攻撃

(ストツクホルム二日發)ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」は二日の紙上で曾つてみられぬほど激越な調子で重慶政權を攻撃して次の通り論じてゐる

重慶政權並びに重慶軍最高司令部がいかに體裁を繕らはうとも、その反動的で敗戰主義的傾向は隱れもない事實だ、支那戰線における重慶軍の恥べき連戰連敗は內部統一が缺けてゐるためである、最近行はれた重慶政權の改組はいかにももつともらしい御繕立にも拘らず單なる「みせ掛け」に過ぎず、蔣介石が現在の破局的政策を維持する限り、その有效な戰爭遂行は絕對に期待出來ない、重慶軍の連戰連敗は重慶政權の辯解するやうに軍需品が缺乏してゐるためでなく、寧ろ國內の統一に失敗してゐるためだ、重慶軍の不調は今や反樞軸陣營の最大心痛の種となつてゐる

【米洲】

ソマーヴイル 軍需增産を要求

(リスボン二日發)ワシントン來電=米國陸軍補給本部長ソマーヴイルは一日夜ボストンにおいて軍需生産再轉換の非を指摘し次の通り述べた

「刻下の情勢に於ては最も緊急を要する軍需生産の成績如何によつて或ひは米國が敗北を喫しないとも限らない、現在益々多くの兵員が戰鬪に參加し戰線が擴大するにつれて、兵器の需要も增大する一方だが、目下重砲並びに彈藥、ズツク及びタイヤなどはそれぞれ三十五%、四十%、二十四%方所要量の生産から立ち遲れてゐる、從つてすべての勞働者が全需要量の生産を完了するまで職場を離れぬことが最も必要だ」

下院外交委員會石油協定に反對

（リスボン二日發）ワシントン來電＝下院外交委員長コナリイは二日英米石油協定の批准に反對次の通り述べた

下院外交委員會に提出された英米石油協定案は米國の石油業界に對し不公平であると思はれるから、本委員會は右協定の批准に反對する

グリーン再選さる

（リスボン一日發）ニューオリーンズ來電＝勞働總同盟はニューオリーンズで年次大會を開催中だつたが、一日新會長にグリーンを再選して閉會した、大會は多數の決議案を採擇したがそのうちには小鐵鋼様式の修正、國際勞働會議並びに西半球勞働會議の至急開催を要求した決議も含まれてゐる

陸海軍兵員損害

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝陸軍長官スチムソンは十一月十五日までの陸軍兵員損害を三十日次の通り發表した

戰死	八九、八四〇名
戰傷	二五八、一〇六名
行方不明	五七、五一四名
俘虜	五五、五九八名
合計	四六一、〇五八名

一方海軍の兵員損害は次の通り

戰死	二九、四八〇名
戰傷	三二、六〇〇名
行方不明	九、三二六名
俘虜	四、四八六名
合計	七五、八九二名

V三號の攻撃を恐怖

（ストツクホルム二日發）米陸海軍當局は最近ドイツ新兵器による米本土攻撃は決して不可能でないと警告を發して米國民を震へ上らせたが「デーリー・エキスプレス」紙のストツクホルム特派員は二日「ドイツ軍需相シュペーア博士は最近ドイツ戰時生産會議において本年末までにV三號をもつてニューヨークにいよいよ攻撃の火蓋を切るため準備萬端を整へてゐると發表した」と報道してV二號に散々惱まされてゐる英國に異常な衝動を捲き起した、それよりも驚いたのは本家本元の米國でニューヨーク來電によれば夕刊各紙はいづれも以上の報道を傳へるUPロンドン電を大きく掲載して米國民の恐怖をいやが上にもつのらせてゐると傳へられる、V三號の詳細は不明だが「デーリー・エキスプレス」紙の報道によればV二號よりも五十哩ほど長く破壞力はV二號の數倍に當る恐るべき威力を有してゐるといはれる

【歐　洲】

希遊擊隊の武裝解除紛糾

（リスボン二日發）ギリシヤ政權首相パパンドレオが國內武裝抗戰團體に對し十二月十日までに武器を引渡して解體すべしと命じたのに對し、左翼團體EAMが麾下遊擊隊ELASをそのままギリシヤ國民軍に編入して「神聖大隊」といふ名稱の下に獨自の存在を認めよと要求した結果、政權對EAMの對立は極度に緊迫した雰圍氣を孕んでゐるが、パパンドレオはあくまで既定方針に則つて武裝解除の一途を邁進する決意を固めた樣子で、アテネ來電によれば三十日記者團に對して聲明を發し

ギリシヤ遊擊隊の武裝解除は定めの日に斷乎實施する、共產黨は政府の方針に反對して、國內に不安の種を播いてゐるが、かかる行動はギリシヤを騙つて內亂に走らせるものだ

と述べると同時に、陸相の資格で國民に對し次の布告を發したといはれる

本年十一月二十四日に一部動員を行つたギリシヤ護國軍は、一日同軍の動員地域の秩序維持に當る、現存の「民兵」隊及び憲兵中隊は所持する武器彈藥を護國軍に引渡すべきことを命ずる

他方ギリシヤ派遣英軍司令スコビーは過般來ELAS、EDES兩遊擊隊司令と折衝を重ねて、武裝解除に同意させやうと努めてゐたが、一日次の布告を發して、パパンドレオの方針を支持する態度を再確認した

ギリシヤ派遣英軍司令官はギリシヤ政權の方針を支持し、クーデター乃至一切の非合法活動を阻止するため斷乎たる手段を採る

昭和十九年十二月五日(火)
第三二六一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

傀儡閣僚連袂辭職

(リスボン二日發)ギリシヤ派遣英軍司令官スコビーの聲明は、武裝解除に反對する左翼に深刻な衝動を與へたが、アテネ來電によれば左翼のEAM團に屬する藏相アレキサンデル・スヴオロス、同次官アルジエロス・テンジエロポウロス・チリモコス、公共事業相ニコラス・アスコウチス、農相ジョン・ゼヴゴス他一名の閣僚は二日未明スコビーの聲明に抗議して首相パパンドレオに辭表を叩きつけたといはれる、右EAM團の閣僚は去月八日同政權の遊擊隊解散令に署名を拒否、爾來パパンドレオの政策と眞つ向から對立してきたもので、パパンドレオを首相とするギリシヤ傀儡政權は未曾有の危機に逢着するに至つた

伊政局の危機愈々深刻

(リスボン二日發)統監ウンベルト殿下が前首相ボノミに對し再組閣を委囑したのに對し共産黨並びに社會黨が絕對反對を表明、六政黨が別個に前無任所相メウチオ・ルイニに新內閣の組織を委囑した結果ローマ政界は混沌たる情勢を呈するに至つた、共産黨並びに社會黨は前首相ボノミの右翼的色彩に不滿なことはいふまでもないが、表面の反對理由としてはボノミが內閣投出しに當り六政黨と協議せず、直接統監ウンベルト殿下に辭表を提出した點を咎め、民主主義の原則を無視したと敦圍いてをり、同時に統監が自由黨以外各政黨の全面的反對を受けてゐるにも拘らず、ボノミに再組閣を委囑したことにも少からず憤慨してゐる樣子だ、但しボノミは反樞軸軍の支援を恃み、あくまで再組閣を企圖してゐる樣子で、六政黨の擁立するルイニと正面衝突の有樣だ

ローマ來電によれば共産黨の首領ハルミーロのトグリアツチーは一日社會黨の領袖ピエトロ・ネレニーと會見した後共同で聲明を發表し、解放委員會一致の支持がない內閣に對しては絕對反對な旨確言したと傳へられる、ただしルイニの組閣にはウンベルト統監と反樞軸軍の同意とが必要なのでローマ政界は全く打開出來ない袋小路に入込んだ形勢だ

スフオルツア泣きつく

(リスボン二日發)英國政府に忌避されたスフオルツア伯は二日正午ヴイミナレ宮にボノミを訪問、執りなし方を泣きついた樣子で、ローマ來電によればスフオルツアはボノミとの會見後、余が親友ボノミに反對したといふ事實は全くない、ボノミは後に余のために聲明してくれるはづだ

陳辯努めたといふ、彼がいつからボノミの「親友」になつたかは判然としないが、彼の取り亂した態度は顰蹙の的となつてゐる、ボノミは二日夜ラジオを通じて次の通り聲明した

イーデン外相の言明は恐らく電報の間違ひでス伯はボノミ政府に反對したのではなくバドリオ政府に反對したと判讀すべきだらう、余とは極めて親密で二、三の點で意見が違つたこともあるが余を裏切つたと信ずる根據はない

羅政權首相辭職

(リスボン二日發)ルーマニア首相コンスタンチン・サナテスコは過般來ソ聯の强壓下に局面打解に必死となつてゐたが、ブガレスト來電によれば二日閣議を開き四時間に亘り國內政情につき論議した結果、遂に內閣を投出すの止むなきに至つたと傳へられる、但し閣僚の大多數は留任する見込みである

ピエルロー社會黨と妥協

(ストツクホルム一日發)ベルギー首相ピエルローは同政府の危機打開の爲各派との妥協に奔走してゐるが、社會黨との妥協は相當進捗してゐる樣子で、ブルユツセル來電によれば社會黨は政府が直ちに難民救濟に積極的に乘り出す限り政府を支持する旨一日公約したといはれる、また同黨は工業國有案を議會に提出したが、ピエルロー政權が同案を支持せぬ限り社會黨に離叛される危險が多分にあり前途は依然不安定を免れない

【東亞】

東南アジア軍副參謀長着任

(リスボン一日發)カンデイ來電＝東南アジア反樞軸軍副參謀長少將ホレス・フラーは重慶駐屯米軍司令官に轉出したウエデマイヤーの後任として一日總司令部に着任した

特輯

頻死の西歐聯合

—ソ佛會談を中心として—

井上勇

佛外交の基調

ド・ゴール、ビドオはパリ駐剳ソ聯大使アレキサンドル・ボゴモロフ、參謀總長アルフオンス・ジュアン帶同、この稿を草しつつある時、モスクワへの途上にある、カイロでフアルーク王に會見した一行は二十七日にはテヘランでイラン國王ザー・モハメツド・パラヴイと會つてゐる、大急ぎでモスクワ會談直前の歐洲の國際政局の動向を要約するゆえんである

ド・ゴールとビドオは二十二日、フランス諮問會議の外交討議の席上、フランスの外交政策につき極めて示唆に富む發言をした、その全貌は遺憾ながら、全文を入手してゐないので、ここに紹介するわけに行かぬが、大要は左の通りのものであつた、先づ、ド・ゴールの發言をきかう

一、ライン河の線はフランス、ベルギー、オランダ及び英國一部の安全保障國境として必要である、ドイツ國家を如何に形成するかは、またフランスにとつては生死の問題である、それはベルギー、オランダにとつては勿論、恐らく英國にとつてさへも同樣だ

一、國際的組織を作るのは戰勝國の任務であり、その中では最も有力な國々が指導權を有することが各國の利益である、しかして、フランスはその最有力國の一たる權利を持つてゐる、國家統一が再建された結果フランスは世界平和の保護に十分寄與し得る能力を持つに至つた

一、フランスは歐洲及び世界に關連ある諸決定について、フランスもまた、その決定をした國々と同一平等の條件の下にその決定に參與した場合以外、これに束縛されることを欲しない、フランスはドイツの運命が決せられた今日、モスクワ、ロンドン、パリによる共同の行動を通じて眞の歐洲の結合を實現することを期待する

一、フランスはイタリアとの關係が明確にされた場合これと眞摯な協力を希望してゐる

一、フランスは極東において盜まれたものはすべてこれを回復するまで戰ひを繼續する

ビドオ外相の演說は、これも斷片的であるが、大體「西歐諸國の現在までの外交政策は根本的に間違つてゐた、われわれは對ソ聯關係を改善しなくてはならない、フランス臨時政權とソ聯政府との協力一致はフランス外交政策の無條件的進步である」といふのがその重點だと解される

スマツツの蒔いた種

この兩演說が示唆するところが、いま問題の西歐聯合案とからみ合つて、佛ソ・モスクワ會談に如何に具現されるかが現在の話題なのであるが、「チユーリツヒア・ツワイツング」のロンドン特派員は二十三日次の見解を打電してゐる

「ビドオの諮問會議における演說の意味するところは、フランスは友交國の一にたいして指向されてゐるかの如き解釋が時としておこなはれてゐる西歐聯合案を支持することを欲しない旨を明白にしたものだ、南阿聯邦首相スマツツ將軍が、ソ聯米國の勢力と平衡をとるために、西歐諸國のブロツクを結成する必要をはじめて說いた不幸な演說以來、英國およびその他諸國の見解は時に應じてしばしば明確にされて今日にいたつた、所謂西歐ブロツクは他の二國に平衡をとらうとするものでなく、單に西歐地域に平和を確保するために地域的協力をはからうとするものだとの解釋がそれで米・ソ兩國もダンバートン・オークス案では、この解釋を受認し、その結果が右案で地域協定による安全保障組織に言及されたわけである、ソ聯はスマツツその他の人々が明白に、西歐聯合は米・ソ勢力に對抗する力を結成するものであると言明してゐる點にかんがみ、西歐諸國間の協力緊密化の交涉を猜疑の眼で見守つてゐる、ロンドンではビドオの演說を、モスクワ訪問に先立つて、フランスは反ソ聯的な如何なる行動をも企圖してゐないことを明白に宣言しておくことを得策とかんがへた結果だと解してゐる、英國としても西歐聯合の意圖について、ソ聯の信賴を得るためにはあら

ゆる手段を講じなくてはならぬと考へてゐるやうだ、そこで、若し傳へられる佛ソ同盟が實現するものならば、英國としては欣然これに贊意を表せんとしてゐる、この英國の意向はすでにソ聯に通達されてゐると見てもよい、しかし、ド・ゴールのただ一回の訪問によつて、かかる重大結果を生みうると期待するのは少しく行過ぎかも知れず、佛ソ間には速急の諒解に達しうるにはなほ未解決の問題が數多殘つてゐる

ロンドンからみたフランスは、この未解決の問題を出來るだけ早く解決したいと焦慮してゐるやうだ、強力な共産系義勇軍の問題が內在するからだ、フランスは佛ソ關係の改善によつてこの困難な國內問題を解決したいと考へてゐるソ聯としてはフランスの內政に干渉する權利のないことは自明の理であるが、このフランス共産黨の問題が佛ソ交涉の雰圍氣をある程度攪亂するだらうことは爭へない」

以上の見解は中立國の獨自の見解であるよりもより多くロンドン・シチー筋の見方を反映したものと判斷されるが、同じくスイスの「ターツ」紙ロンドン電はいふ

フランスの條件

「諮問會議の外交論議は、ソ聯を對象としたものであると同時に、强力なフランス共産黨および半共産系諸組織を說得することを目的としたものである、フランスは反ソ的でない範圍內においてのみ、西歐諸國との協力を欲してゐる、しかしながら、フランスが排他的西歐同盟を拒否するからには、ソ聯もまたフランスの傳統的對バルカン、對ポーランドに對する權益を尊重して、東歐からフランスを閉出さないやうにしてほしいといふ條件がついてゐる、ド・ゴールのモスクワでの會談內容が外交問題であることはきはめて自然で、チャーチルのパリ訪問の目的とは多くの關係はないと見るべきだ、ここで注目すべきは戰後のドイツ處理の問題について、フランス國內でも議論區々であることで、ソ聯では最近ビドオが「サンデー・タイムス」記者に與へた會見記をもつて、ドイツにたいする弱腰外交と解し不滿を有してをり、ソ聯としてはルールの國際監理等には反對で、寧ろルール地方のフランへの合併を希望してゐるとみるべき節がある」

「タイムズ」の所論

フランスの態度については前回「ド・ゴール赤都行」の中でやや詳細に解剖したので、今度は西歐聯合案の本家ロンドンの意向を叩いて見よう、十一月二十日の「ロンドン・タイムズ」の社說はその代表的なものであらう

「英國は十全にして且つ重大な二つの仕事を持つてゐる、その第一は英國の行動と世界的同盟內の友邦列强および英帝領各國の行動とを調整すること、第二はフランス、オランダ、スカンジナヴィア各國との間に共同して、相互防衛組織を再建することである、かかる防衛組織がなかつたことが一九四〇年の悲劇的な結果を招いたのである、これらの國々は、ソ聯を基底とする東歐安全保障の支柱に照應する西歐支柱を共々に形成しなくてはならない、英國はこの目的のために、參加各國が一定の作戰基地を共同使用し、同時に共同に武力干涉をなし得る協定を締結するに越したことはないと考へる、勿論ドイツの占領は永久に續けるわけには行かないが、ドイツに對する保障制度は、ドイツ內の共同基地、港灣、作戰的空港の監理維持を含めて相當長期間に涉つて維持されねばならない、ドイツに對しては軍事的措置のほか、ドイツの經濟を平和的な歐洲經濟の枠に合體せしめるやうな處理がとられねばならぬ」

この「ロンドン・タイムズ」社說を「チューリツヒア・ツワイツング」のロンドン電によりて補足すると次のやうになる

「ロンドン・タイムズ」は、歐洲の安全保障組織を論じて、この聯合は少くともドイツの一部分をもふくめた西歐を包含すべきであるとなし、東歐の組織と併立すべきものだと稱してゐる、「タイムズ」によれば、將來の「平和機構」は聯合國および現在なほ敵地にある陸海空の基地を加盟國のすべての用に供し得る組織から出發しなくてはならない、しかしこの普遍說—ユニヴアサリズムは次の現實的聲明によつて直ちに制約を受けてゐる卽ち安全保障制度が地域的に下部分立した場合はソ聯は東方を指導し、西歐諸國は西歐を指導するに至らうといふのである

「タイムズ」の信ずるところでは、この組織では作戰國境なるものは機能を發揮しえない故に無意味である

英國論の分裂

「タイムズ」「エコノミスト」一派の主張する歐洲兩ブロック案に對しては國内でも異論が大いにあるやうだ、十一月十六日付の「ニュー・ステーツマン」にはブレールスフオドが反對論をのべてゐる—

「西歐ブロック案は歐洲を二つのブロックに分割するものだ、ドイツはかくて永久に戰前の勢力を回復し得なくなる、若し、この推定が眞實であり日本また敗れ去つた日は、この同盟は他の目的に向つて使用されるであらう、かくて三つの巨大なる國家が相互に對立する結果となる、力と平和との問題を取上げる場合、われわれの倚頼すべき唯一の組織は聯合國によつて設立さるべき世界的組織であり、それ以外にないことを結論せざるを得ない、さらに直言すれば英國もフランスもともに如何なる同盟にも參加すべきでなく、ましてや、ドイツの殘存勢力に對抗するが如き國家ブロックを結成すべきではないといふことだ、彼等がソ聯ポーランド、またはチエコスロヴアキアとともになすべきことは、計畫されてゐる保障理事會に直ちに一定兵力を提供することのみだ」

概して英國左翼紙は擧げて「西歐聯合案」に反對でこの聯合が、ソ聯の東歐支配に對抗せんとするものである點を指摘し、歐洲を二分して抗爭に導くものだとしてゐるが十一月二十一日の「ニューズ・クロニクル」もその例に洩れず、英國政府がベルギーの國内軍解散問題に干渉してゐる事實を批難し「ベルギーの國内軍が極端に共產的であることは世に知られてゐる通りであり、その解散に駐白英軍司令部が干渉したのは、明らかにソ聯を對象とした西歐聯合結成の下工作といふことが出來る」と論じてゐる、「マンチエスター・ガーデアン」の攻擊はさらに直接的だ

「西歐ブロックの結成が招來するものは、歐洲を敵味方の二つの陣營に分裂せしめることだ、そして、その各々はドイツが復興した時その支持をうるに狂奔するだらうことは疑ふ餘地がない、ドイツの分割はまた同時にこの兩ブロックの對立を一層尖銳化するであらう」

かくて「マンチエスター・ガーデアン」は歐洲の相互依存政策が大西洋からソ聯に及び、更に太平洋に擴大されることを希望してゐるのであるが西歐ブロックの發案の本家英國の内部が、かくの如く異論對立してゐるのでは、チヤーチル、イーデン外交の難航はもとより、ソ聯から誠實を疑はれるのも當然であらう

ソ聯の見解

ソ聯の態度は「アフトン・チトニンゲン」の特派員が二十一日のモスクワ電で「ソ聯は西歐ブロックはソ聯を目標とするものであり、かかるブロックは聯合國間の分裂を招來するのみだと解してゐる」と報じたので意は盡されてゐるが「イスヴエスチヤ」「プラウダ」等の機關紙が筆を揃えてこの線による宣傳を開始してゐるほか、ド・ゴールのモスクワ訪問を前にしては「プラウダ」は二十一日ベルギーのピエルロ内閣、フランスのド・ゴール政權共に「僞裝フアシスト」政府であると攻擊した事實を指摘しておかう、勿論問題は國内軍の解散令にからむものであるが、これが兩歐聯合への間接射擊であることは直ちに推定し得るところであり、この攻擊によりてド・ゴールをモスクワ訪問に先立つて少しく「耕しておく」意味があることはいふまでもない、「デーリー・テレグラフ」の外交記者は二十四日、ソ聯の態度に關連して次の通り書いてゐる

「ソ聯は西歐の地域的集團について極めて明確な言葉でその見解を披瀝した、これはフランス政府が、その態度闇明について極めて愼重になつた事實に影響されたものと解される、ド・ゴールのモスクワ訪問によつて、ソ聯の態度が一層明白にされることを望んで止まない、フランスは、その利益が單に西歐にとどまらぬことを指摘し、同時にド・ゴールは、フランスはドイツの東西の國境については獨自の提案をするであらうと言明した、ビドオはダニューブ盆地におけるフランスの權益について物語つてゐる、これに對してソ聯が如何なる解答を有してゐるかが、ロンドンの知り度いところだ

昭和十九年十二月五日(火)
第三二六一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ソ聯は西歐には普遍主義を主張し、東歐には地域制度を固執するといふわけにはゆかない、ソ聯は今、普遍主義を全的に支持し、スターリンは最近ポーランド代表にたいしポーランドはただにその眼を東方にのみ轉ずることなく、同時に英國、フランス、米國の聯合國にも轉ずべきことを慫慂したといはれる、もし、モスクワの普遍主義が東歐には適用されぬとすれば、上記フランスの、ドイツ國境ダニューブ盆地等々に關する聲明はモスクワを刺戟するものとみざるを得ない」

しかし、スターリンがもし、ポーランドに西方淨土の空を眺めることを要求したとすれば、それはポーランドに東方國境の引導を渡すためであり、必ずしも普遍主義の彌陀の榮光を讃へるためでなかつたであらうとわれわれは解釋する、「サンデー・オブザーヴア」は同じ日、「スターリンは佛ソ同盟に再び活を入れることに極めて重大關心を有してゐる、クレムリンはフランスがどの程度に西歐地域聯合に對して義務を負擔するつもりであるかに興味を有してゐる、本件についての英、佛白、蘭間の交涉はモスクワが細心の注意をもつて監視してゐるところだ」となしてゐるが、佛ソ同盟に活を入れることはスターリンの希望であるよりも寧ろ、ド・ゴールの望むところだとの見解は既に述べた

白の焦燥・諾の躊躇

かかる英佛ソの動きに對して、西歐聯合に何時の間にか知らぬ間に加入せしめられてゐる小國の心中はどうであるか、ベルギーがフランスのルールに對する欲望に無關心たり得ないことは「ド・ゴール赤都行」の中で指摘したが、白外相スパークはド・ゴールのパリ出發直前の二十日、藏相グツトを帶同してパリを訪問した、この訪問はド・ゴールから延期方を申入れたに拘らず「通信連絡が悪く」そのままパリ乘込みになつたといはれるが、この行違ひの後に英國の糸がついてゐなかつたとすれば幸ひである、パリにおけるスパーク一行の行動は明細を缺くが、族行前のあはただしさの中で落付いて政治問題を論じてゐる暇もなかつたであらうし、フランス側で延期方を希望してゐたとすればなほさらのこととみるのが至當であらう、從つて一行の收穫はド・ゴールの出發前、ベルギーの焦燥を示威し得たことと、きたるべき佛白經濟協定の瀨踏みを新佛藏相プレヴアンとなし得た程度に止つたであらう

英白經濟協定に引續いて、英佛間、佛白間に爲替換算率の安定、淸算協定等の經濟協定が成立するであらうことは、ビドオ外相の言を俟たず政治的といふよりも寧ろ技術的必要の問題であり、これが西歐聯合の一つの裏付けたることは勿論であるが、直ちに政治的協定そのものに飛躍するとみるのは尙早論である、ベルギーが、フランスの歐洲覇權確立に怖れを抱いて、英國及び他の小國の屈押しのもとに一應フランスに申分を持出す意志のあるだらうことは既に指摘したところであるがこの問題の發展はド・ゴールのパリ歸還後、早くもルーズヴエルトのパリ訪問の際、スパークも相客として再びパリに招かれる時以後のこととなるだらう、西歐聯合に一と役買はされることになつてゐるオランダ、ノルウエーに至つては、本國そのものがドイツ軍占領下乃至は交戰地域にあつていまだにこれといふ具體的な動きは示してゐないが、兩國とも少々の不滿はあつても英國の庇護を生命維持の絕對條件と考へる亡命政權に關する限りにおいては多くの反對論はありえまい、ノルウエーの亡命政權は英國からの下相談に對して、何れ本問題は本國が解放された後、議會を開いて民意に計つた上でと回答したさうであるが、北歐にソ聯勢力が著しく伸びつつある現狀から見て、これまた英國とのみの聯合には二の足を踏むのではないかと思はれる

賛否對立する米國

さて、戰ひに勝つことを條件として、世界の最大なる安定勢力をもつて自信する米國は西歐ブロック案にどんな見解を持つてゐるか、嘗つて「ニューヨーク・タイムズ」の主張を紹介しつつ、米國は世界的安全保障體制の埒內に止まる限り、地域的聯合もまた不可とはしないが、地域ブロックが必然的に招來するであらうところのブロック間の對立を危惧してゐると結論しておいたが、次に二、三の米紙の論調を紹介する

「ニューヨーク・サン」十一月廿一日　歐洲が二つのブロックに分裂するとすればダンバートン・オークスの會議は不必要だつたといふことになる「ロンドン・タイムズ」の主張はアメリカの平和組織の理念を雷撃する權力政治理念から出發してゐるワシントンの官邊は歐洲に二個の權力ブロックを作らうといふ考へには反對で、若し權力ブロックの理念が勝ちを占めるやうな場合は米國は戰後の安全保障組織に參加を欲しないと稱してゐる」と眞向ふから、米國政府の公式見解を僭稱して西歐聯合に反對してゐるこれに對し

「ニューヨク・ヘランド・トリビューン」十一月廿三日　英國の見解を支持し次の如く論じてゐる

「ロンドン・タイムズ」はフランス、ベルギー、オランダ、スカンジネヴイア王國と共同して、共通國防組織を建設せんとする英國の見解を披瀝した、米國の言論の多くは直ちに、これを「權力政策」であると號泣し「勢力圈政治の前觸れ」だど斷定し、「ダンバートン・オークスの精神を雷撃し、闇黑時代への逆轉だ」と批難した、しかし、歐洲の如き危局を孕む地球の一角に平和を組織せんとする眞摯な企圖が、全地球を通じての平和組織といふより大なる目的に背馳するものだとはどうしていひ得るか、ソ聯がその週邊の地域に運營可能な平和的組織を作らうと試みて何故惡いか、英國がその隣邦諸國を糾合して、實際的な秩序と防衞を確保するために共同の企畫を樹てて何故惡いのか、米國はモンロー主義の名の下に米大陸に正しく同樣なことをしてゐるではないか、これに對して考へ得る回答はただ一つあるのみである、その回答は―かかる企圖は眞摯でなく假面を着けたものであり、ダンバートン・オーク案のより大なる枠の中に地域的安全保障體制を組織することは現實的にはダンバートン・オークス案に贊成した他の主なる保證人國に對して帝國主義的戰爭を組織せんとする企圖と變りがないといふことである、或る者は英國の唯一の目的はソ聯と戰ふことであり、ソ聯の唯一の目的は米國と戰ふことであると主張してゐるかの如くである、かかる推定が現存する條件のいづれによりて眞に正當化されることが出來るか、地域的諒解は或制約を置かない限り列强間の抗爭の具と化する惧れがあることは明らかであるが、同時に强國間の相互恐怖、抗爭を改善緩和するに必要な機能を發揮し得ることもまた明白である、より安定した世界を組織せんとする困難な努力をば、新らしい帝國主義戰爭への陰謀としか解し得ない人々は、その恐怖を正當化するために「權力政治」とか「勢力圈」とかの曖昧な商標以外の、何かも少し尤もらしい理由を持つて來る必要がある、米國の批評家たちは過去から何ものをも學びえなかつたのであらうか、米國は第一次世界大戰のあとフランスの安全保障に對する努力を空に歸せしめた、英米兩國はフランスをしていはゆるマジノ線心理に陷らしめ、その結果として今次の破局を招來したことについて何らの責任がないといひ切りうるのであらうか」

英の夢破れんとす

米國の見解がかく分裂する限り、そして米國政府のいまだ言明されない意向が强く反對でない限り、西歐聯合の成否の鍵は米國になく、歐洲自體の中に主として藏されてゐるであらうが、ロイター通信はいち早く、その成立可能を宣傳して

「英國政府は英帝國と、フランス、ベルギー及びオランダの植民帝國との間により大なる協力關係を設置するに當り、各屬領政府が、これに對して如何なる見解を有するかを旣に打診したと解される、濠洲、ニュージーランドは太平洋における蘭領植民地將來の經濟的、軍事的機構に直接關心を有してをり、南阿首相スマツツはロンドンにおいて、西歐諸國と英帝國とを更に密接に協力させるための、より廣汎な外交政策についての案を提出してゐる程だ、信ずべき筋の情報ではフランス、オランダ、ベルギー、デンマーク、ノルウエー各國は旣に英國政府にたいして、西歐ブロック結成のスマツツ案の精神には同感なる旨を通達し來つたといはれる、右案は戰後の世界に、英國の政治的、經濟的、軍事的地位を强化するために立案されたものであるが、同時に、參加各國の將來を多幸ならしめるものであり、單に英島嶼及び西歐洲の直接境界のみならず、それを越えて遙か彼方にまで重大な影響を有するであらう」

昭和十九年十二月五日(火)
第三二六一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

と述べたが、この英國の見透しは、足元から崩壊の危險に曝されてゐることが、日と共に明白になりつつあることは以上説明の通りである

そして、その運命の岐れ目がド・ゴールのモスクワ訪問であることは、各方面が一致して指摘してゐるところだ、いま歐洲政局の將來の鍵を握つてゐるのはド・ゴールであるとさへいひ切つて差支へはなからう、ケー・ドルセイのスポークスマンは二十八日の記者會見で一九三五年の佛ソ同盟條約に言及して、「この條約は餘りにも密接に、いまは亡き國際聯盟に結付いてをり、且つソ聯が聯盟から脫退した事實に鑑るとき、その有效性を今さら論議するまでもない、しかし一九三五年の條約は假令無效としても、佛ソ間の新協定の基礎として參考にする分には差支へない」と暗にフランスの希望が、佛ソ同盟の復活にあることを示してゐるが、フランスの意圖するところが、一九四二年の英ソ同盟を擴大して三國同盟と化するか乃至はこの條約と併立して佛ソ條約を締結し、三國を結びつけようとするにあることは各方面でいはれてゐる通りである、これが西歐聯合を提唱した英國の眞意と合致するかどうかを、英國に訊すのは少々お氣の毒みたいなものだ

ソ聯はソ聯でド・ゴール政府の對獨政策には極めて不滿で、フランス、ポーランドにドイツ領土の合併を強要し、これによつて將來の獨波、獨佛の協力の路を閉ざすことを目論んでゐるといはれこれまた英國政府としては舌に苦い藥に相違ない西歐聯合の將來は極めて悲觀的であるといふ中立國筋の見透しを、世界平和のために極めて結構だといひ切り得る吐が英國にありやなしやは、來るべきそして何時來るか判らぬスターリン、チヤーチル、ルーズヴエルトの會見を待たず、こと數週の內に判明するだらう

ドイツの關心の所在

西歐聯合をドイツは如何に解釋してゐるかをみるのは、この際興味がある、DNB通信は「ベルリンの政治通」の見解として次の如く二十四日報じた

「ド・ゴールのモスクワ訪問はまことに興味深い西歐聯合の問題がスターリン、ド・ゴール會談の主要課題となると豫想されるからだ、この際佛外相ビドオがフランスは西歐における片務的協定に束縛されることを欲せず、傳統的東方政策に復歸する意志を明らかにしたのは注目を要する、ド・ゴール政權はフランス軍隊の再建のために武器供與方を英國と交涉中だといはれるが、チヤーチルは本問題に觸れることを躊躇してゐると解される節あり、武器供與の問題もまたモスクワの話題となる可能性がある、しかしソ聯にフランスの希望を容れる餘裕の有無は極めて疑問だ、ただアメリカの武器貸與法の操作でスターリンが武器の幾分をフランスに割くかも知れぬことはいひ得よう、スターリンはソ聯周邊のその支配下にある諸國がフランスと同盟條約を結ぶことを敢へて反對しないと傳へられてゐることもベルリンの關心を唆つてゐるが、その目的とするところはポーランド、ユーゴースラヴイアが英國または米國と同盟するよりも、弱いフランスと同盟する方が、ソ聯にとつてはより好ましいといふのであらう、かかる同盟はソ聯の政策に何らの危險をも及ぼさないからだ、英國がかかるソ聯の態度に何ら反撥する力を有しないことは興味がある、英國はやがて西歐聯合組織の希望までも放棄するの止むなきに至るであらう

その直前二十二日ドイツ外務省情報部次長ブラウン・フオン・スツムは記者團會見席上で次の如く述べてゐるが、これもついでに付記しておかう「佛外相ビドオの聲明が、モスクワ訪問直前になされた事實は特に指摘しておかう、この聲明によれば、フランスは英國に對する傳統的協調政策を堅持すると共に、ソ聯に對しても傳統的親和策を强化せねばならぬといふのである、かかるフランスの外交方針の裏にはケー・ドルセイのかかる意見の代表者マシグリの力が强く働きかけてゐるのが看取される、ここで注意しなくてはならないのは、過去二十年間にフランスもソ聯も情勢が非常に變化したといふ事實だ、二十年前のフランスは完全な統一國家だつたのに反して、現在のフランスは四分五裂で軍事的、政治的、經濟的に極めて弱體化した國家である、しかもその相手であるソ聯はいはゆるロシア帝國でなくボルセヴイズム・ソ聯であり、特に現在のフランス國內には有力なボルセヴイズムの第五部隊が蠢動してゐる事實は誠に重大である

フランス共産黨の指揮者たちがマキ團の武裝解除を強硬に拒否してゐる事實は、その間の事情を明白に物語つてゐる」

ド・ゴールの弱味

スツム次長の談話の末節、フランス共産國内軍の問題はベルギー、イタリア、ユーゴースラヴイア、ギリシヤの國内軍の問題と關聯して、相互に連繫があり、ソ聯の椽大な歐洲政策の鋒芒の一端が現れたものであるが、これは今取上げない、しかしフランス國内軍に對するド・ゴール政權の政策が、モスクワで辛辣な批判の俎上にのぼることは確かであらう、同時にフランス國内にあるスペイン共和軍をド・ゴール政府がマドリード政府と合意の上彈壓しつつある事實も、スターリンの必ずしも快としない點であり、當然釘を刺されることを覺悟せねばなるまい

ド・ゴールもジヤンヌネー無任所相を首相代理に任命して、バクーからはよちよちと汽車でモスクワ入りをするほど急ぐ旅ではなささうだ、ゆつくり油を搾られる時間は十分ある、フランスが持ついろいろな弱味を如何に高價にソ聯に賣りつけうるかは、また別の興味でありうるが、何れにしても輝かしい反樞軸國の鐵の團結に半鈎の重みをも加へるものでないだらうことは、今から斷定しておいてよからう

この稿を終つたときチユーリツヒ同盟電は次の如く今一つ西歐聯合の上に不吉な影をなげかけた「スエーデンの政界では英國案の西歐聯合是非について盛に議論を戰はしてゐるが、大勢はスエーデンは大國の指導下の國家集團に參加すべからずただ普遍的性格を持つ世界的組織ならば加入してよろしいといふに傾いてゐる――と「ブンド」紙ストツクホルム電はつたへてゐる「アフトン・チドニンゲン」紙の報道によればノルウエー政府は西歐聯合小國側の斡旋役をつとめてゐる白外相スパークに對して、ノルウエーはスエーデンが參加し、ソ聯が同意を與へる限りにおいてのみ西歐聯合に參加するだらうと回答した

同紙はその論説で「武裝を解除されたドイツは英佛ソ三國の協調が續くかぎりは東西兩ブロツクの間に挾まれて、世界平和の脅威とはなり得ないであらう、しかし、この協調がひとたび破れた日あらゆる侵略國は再び行動の自由を回復し第三次世界戰爭に突入するであらう、この時東西の兩ブロツクの中間にあるスエーデンの地位は最大な危險に曝されることになる」といひ「スエーデンが何れかのブロツクに屬してゐる場合は戰爭の第一擊を被るのはスエーデンであり、何れが攻勢をとるにしても、次の殲滅戰爭の衝擊を最も多く受けなくてはならぬのもまたスエーデンである、元來かかるブロツク結成の話が出るのは世界的組織といふものに全的な信賴がおき得ない結果とみるほかはなく、加盟國に對する保證、誓約が眞面目に考慮され得ない證左である」と結論してゐる

【軍事情報】

ロールス・ロイスの噴射發動機

（リスボン三十日發）ロンドンからのロイター電報によれば、マーリン或ひはグリフオン等航空發動機の製作者として有名な英國のロールス・ロイス株式會社は現在噴射推進式航空機の生産に當つてゐる旨二十三日發表されたといはれる、長い間英國航空界最大の秘密とされてゐたこの事實が最初に明かにされたのはロールス・ロイス社の常務E・W・ハイヴが王立航空學協會で最近講演した時だといはれる

モスキート

（リスボン三十日發）十一月十日付「マンチエスター・ガーデアン」紙は次の通り報じてゐる

英空軍のモスキート編隊は英本國カラチ間を十六時間四十六分で翔破、女流飛行家アミー・ジヨンソンが一九四三年夫モリソンと共に樹立した記錄を五時間二十七分短縮した、途中の着陸時間を除けば正味航空時間は十四時間三十七分である

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月六日(水)　第三二六二號
印刷發行人　森岡伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話銀座(57)一八〇〇番
同盟通信　海外電報　(279)

米英ソ三國は共同戰爭の遂行――つまりドイツが折角建設しかけた歐洲の新秩序を破壞するといふ點において共通の基盤に立つてゐるに過ぎない、しかし破壞に着手して至るところで思ひ掛けぬ難關に逢着してゐるのが聯合各國の――特に英國政府の現狀だ、特にパルチザン部隊の武裝解除はフランスにおいてもベルギーはおいても近くはギリシヤにおいても深刻な左右兩翼の對立を誘致してゐる、ロイター電報によればベルギーにおいては所謂「抗戰集團」と左翼の共産黨、勞働組合とが歐洲最初の勞農政權の樹立を企圖したといふし、ギリシヤでも左翼のEAM團が武裝解除に不滿でアテネ市街は騷擾の巷と化し、ローマ政界は舊支配階級と行動派、共産黨の深刻な對立で全くの行詰り狀態に陷つてゐる、

「デア・タート」紙のロンドン特派員は「英國の政界筋では遊擊兵團の武裝解除に關聯し歐洲各國至るところで持上つてゐる困難に少からず憂慮してゐる、各國の政權としては武裝ギヤングを抑へるためにも武裝解除を斷行せねばならぬが、その都度駐屯軍司令官が干涉するのやむない狀態なのは、英國の立場からみて寔に迷惑千萬だ」と報道してゐるが、不思議に至るところ干涉して、不人氣を一手に引き受けてゐるのが英軍の司令官か、しからずんば英國政府だしかもソヴエト政府は高見の見物で「プラウダ」紙などを通じ英國の遣り口は一考の要があるなどと涼しい顏をしてゐる、英國政界筋でも例へばスフオルツア伯にたいする反對についての下院でイーデン外相が散々いぢめられた位だが、「オブザアヴアー」紙のごとき「ギリシヤ、イタリア兩國の危機で、歐洲各國にたいする內政干涉が軍事上の必要に基づきどの程度まで正當付けられるか險呑な外交問題が起るに至つた」と嘆息してゐる、チヤーチル先生以て奈何となす?

【目　次】

石油利權の交涉を禁止……二九七四
グルー國務次官に……〃
ネルソン歸國……〃
ギリシヤ內亂續報……〃
左翼分子總罷業……〃
反動政權と闘はん……二九七五
パパンドレオ政權動搖……〃
アテネ放送局も停止……〃
獨、遂に報復を決意……〃
ルブリン政權を假政府に……〃
英空軍第二航空隊司令……〃
【米　洲】
太平洋基地を確保せよ……二九七六
戰後繁榮六項目……〃
占領地の工場を動員……〃
對西航空協定締結……〃
ヴエネズエラ油田開發權獲得……〃
【英　帝　國】
カナダ示威運動彈壓に大童……二九七七
ガンヂー翁「斷業」を開始……〃
兵員不足で歸還不能……〃
南阿と航空取極……〃
勞働罷業近況……〃
【友邦軸陣營】
對獨爆撃狀況……二九七八
印度經濟の要求……〃
三國外相會談開催か……〃
佛、チエコ協定成立……〃
米勞働代表着英……〃
【歐　洲】
ローマ政界の危機解消せず……二九七九
波政權ルビコンを渡る……〃
舊聯盟員の身の振方……〃
【特　輯】
赤い星バルカンを蔽ふ（上）……二九八〇
フランス落葉籠……二九八五

石油利權の交涉を禁止

—イラン、ソ聯の壓迫に對處—

（リスボン四日發）モハメド・マヘール・パシヤを首班とするイラン內閣はソヴエト政府との間における石油利權に關する交涉を拒否したため遂に辭職するの止むなきに至り、新たにバイ・バヤツトを首相として新內閣が成立したがテヘランからの電報によれば、イラン國會は三日に至り利權交涉を禁止ずる旨の次の法案を急遽可決したと傳へられる

首相その他の閣僚がイラン石油資源の開發について考慮するのは差支へないが、これら資源に關し諸外國政府乃至石油會社と交涉することは許さない、違反する場合には三年乃至八年間の禁錮並びに公權の剝奪に處す

恐らくイラン國會としては新內閣がソヴエト政府に屈服乃至通牒するのを懸念、突如として以上の法案を可決するに至つたと解されるが、あくまで押しの一手で獨往の外交を推進してゐるソヴエト政府との關係は一段と重大化するのではないかとみられる

グルー國務次官に

—三國務次官補も更迭—

（リスボン四日發）ワシントン來電＝大統領ルーズヴエルトは四日ステチニアスの國務長官昇格に伴ふ新國務次官に前駐日大使ジョゼフ・グルーを任命した旨發表した、これと共にルーズヴエルトは國務省人事の大更迭を行ひアドルフ・バール、ブレツキンリツヂ・ロング、ハウランド・ショーの三國務次官補の辭職を發表、その後任にそれぞれ餘剩軍需資產處分局長官ウイリアム・クレイトン資料統制局長官アーチボルド・マクレイシユ、米洲通商文化關係調整委員長ネルソン・ロツクフエラーを任命した、新國務次官グルーは日米開戰まで東京駐剳の米國大使たり一九四二年八月交換船により歸米、現在まで國務省東亞局長の要職にあり、專ら米國の對日戰遂行の樞機に參畫、一方屢次にわたる演說及び著書により日本の戰力の强大なことを强調して米國民の對日戰意鼓立てに努力してゐた人物である

ネルソン歸國　（リスボン四日發）重慶來電＝米國使節兼重慶政府經濟顧問ドナルド・ネルソンは四日重慶を出發、歸國の途についたがワシントンに歸還の上、重慶の經濟狀態についてルーズヴエルトに報告する豫定といはれる

ギリシヤ內亂續報

戒嚴令布告さる　（リスボン四日發）パパンドレオ政權は四日に至り遂にギリシヤ國內に戒嚴令を布告、ギリシヤ駐屯英軍司令ロナルド・スコビー中將は同じく次の最後通牒をEAM團の民軍ELAS（エラス）に對し突きつけた

エラス民軍は六日夜半までにアテネ並びにマラトン堰堤を含むビレウス周邊の廣汎な地域から撤收すること、撤收しない場合には悉く敵軍と見做す

以上の通牒と相前後して英軍は愈々武力干涉を開始した樣子で四日夜英軍司令部では

アテネ、ビレウス地區に潛入したエラス軍團約八百名の武裝を解除した旨發表してゐる

左翼分子總罷業　（リスボン四日發）アテネ來電＝アテネ市內の衝突の件に引續きEAM團を中心とするギリシヤ左翼分子は總罷業を指令したが、勞働階層の大半は右指令に基き操業を停止し三日夜來水道を除くアテネ市內の公共事業は一切麻痺狀態に陷つた夜間電燈もなく店舖は悉く閉鎖され新聞も發行を停止した、更にアテネ港灣地區も四日朝來仲仕の罷業で一切機能を停止しアテネ市民への食糧供給は停頓の止むなきに至つた、供給省では

アテネ市內における食糧の貯藏は數日分に過ぎず、若し食糧の荷揚げが卽時復舊しなければ重大な事態が惹起されようと洩らしてゐる

昭和十九年十二月六日(水)
第三二六二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

反動政權と闘はん

(リスボン四日發)アテネ來電＝EAM團の事務總長デミトラ、パルテアリデスは四日夜AP特派員に對し次の通り言明した

英軍司令部は六日夜半までにエラス民軍團に撤收、武裝解除を命じたがアテネ市内の現狀でどうして武器を引き渡すことが出來ようか、必要とあればパパンドレオと彼の憲兵團に對し、自由のために戰ふ決心だ

パパンドレオ政權動搖

(リスボン四日發)アテネ來電＝パパンドレオ首相はEAM團出身閣僚六名の後任として三日次の新閣僚五名を任命した

農　相　ランブリアニデイス
經濟相　ゲオルグ・カルタリス
財政相　トマシオス・スタルニス
勞働相　アリストテレス・シデリス
公共事業相　ステフアース・ステフアノポロス

但し陸軍次官サリテニス將軍は三日の騷擾に鑑み辭職した

アテネ放送局も停止

(リスボン四日發)アテネ放送局は四日の夕刻に至り一切の放送を停止した

獨遂に報復を決意

(ベルリン四日發)ド・ゴール政權はドイツのフランス占領中獨佛兩國の協調に努めたフランス人約二十萬を「對獨通牒」の罪名で逮捕容赦なく處刑し、まさに流血の「恐怖時代」を再現してゐるが、ドイツ外務當局は四日外國記者團との會見席上次の聲明を發表、以上の非人道的惡業に對する斷乎報復の決意を表明した

フランスにおいては最近數週間無數のフランス人が共産黨産匪のため暗殺されるか乃至はド・ゴール政權によりいかさまな裁判に付せられて處刑されてゐるが、特にアルザス・ロレーヌ地方の住民の一部は反樞軸軍の占領後直接の脅威下に曝されてゐる實狀にあり、ドイツ政府は被占領地域住民及び獨佛諒解に盡瘁したフランス人に對するかかる暴戾な措置に對し報復を決意せざるをえず、直ちに對抗措置を講ずるに至り、まづジュネーヴのドイツ領事に國際赤十字委員會に對し次の覺書を提出せしめた

「フランスにおいてはドイツ占領軍當局と協力した人物を殺害乃至迫害してゐるとの報知が最近頻々と傳へられてゐるが、フランス國民は單に共産匪團によつて暗殺されてゐるばかりでなく、いはゆる法的手續をもつて死刑に處す目的で被告の罪狀を立證しようと努めてゐる實狀にある、特にアルザス・ロレーヌ地方においては從來行政機關に從事してゐた住民または政治通信上の職務に携つてゐた住民は、同地方の一部が占領された後迫害を蒙つてをり、同地方に踏み留まつて職務を遂行してゐるドイツ國民もまた同樣の措置を受けてゐるが、かかる行爲は暴虐野蠻な所業と稱せざるを得ず、ドイツ政府はドイツ國民たるとフランス國民たるとを問はずかかる所業の犧牲となるままに放置することが出來ない、ドイツにはドイツ占領軍の法令を侵犯し獨佛兩國に敵對行爲を働いた廉で逮捕された多數のド・ゴール派が拘禁されてゐるが、ドイツ政府は以上の迫害行爲が今後も續行される限りド・ゴール分子に對し適當な措置を講ずることを必要と認めるに至つた、從つてフランスの現存政權は以上の所業に對し責任の一切を負はねばならず、また本通告に基き機宜の處置をとらねばならぬ」

ルブリン政權を假政府に

(ストツクホルム三日發)亡命ポーランド政權新首相アルチチエフスキーが就任演說において、大西洋憲章を擔ぎ出したため、亡命政權とソヴエト政府間の和解は殆んど絶望視されるに至つたが、モスクワ來電によれば、三日朝のモスクワ各紙は「ポーランド民衆はルブリン政權をポーランド假政府に改組したいと欲してゐる」といふタス通信ルブリン電報を大々的に掲載してをりソヴエト政府が亡命政權を無視してルブリン政權を擁立しようとする傾向は愈々顯著になつてきた

英空軍第二航空隊司令

(リスボン三日發)ロンドン來電＝英國空軍省は三日、反樞軸空軍の指揮系統調整に伴ひ、空軍中將アーサー・カニンガムは英軍第二航空隊司令に就任、西北歐洲駐屯の英空軍全軍統率の責任を負ふこととなつた旨發表した

【米　洲】

太平洋基地を確保せよ

（リスボン一日發）サンフランシスコ來電＝太平洋水域司令官に新任したインガーソルは三十日商業會議所の會合で演說し、左の如く述べた

米國は世界平和を維持しまた米國の安全を確保するために今次の戰爭で日本軍の手から奪取した太平洋上の基地はこれを永久に領土としなければならぬ、これ等の基地を確保しておけば艦隊は萬一の場合に急速に行動を起し太平洋の如何なる地點にも攻擊を加へ得るだらう、米國は戰爭終了後も太平洋に十分な艦艇と飛行機とを集結して同水域の支配的勢力とならねばならぬ

戰後繁榮六項目

（リスボン二十九日發）ニューヨーク來電＝製造業者協會會長ウォルター・ワイゼンバーグは二十九日戰後における國民の就業を確保すると同時に生活標準を昂めるための案として次の六項目から成る提案を發表した

一、生産並びに配給機構を改善することにより、消費者に對する價格を是正し、從來よりも品質優良な商品を數多く入手出來るやうにし、これにより就業を促進する

二、完全な自由競爭を行はしめることにより價格を低廉ならしめ、新企業の開始を奬勵し、且つ就業人員を增加する

三、新企業を保護するため危險を顧みずに思ひ切つた投資を行ひ、生産を擴充して就業率をよくする

四、賃金政策を維持し、仕事の出來高に對する公平な報酬を勞働者に與へる

五、生産能率を上げるため、優秀な工作器具を提供して勞働條件を改善し個々の勞働者の賃金を增額する

六、個々の勞働者に對し報奬制をもつて創意を奬勵し、生産を增加する機關を與へる

製造業者協會は十二月六日から九日までニューヨークで戰爭遂行並びに再轉換問題に關する會議を開催することとなつてゐるが、右會議において以上六項目の實施方法その他が檢討される豫定といはれる

占領地の工場も動員

（リスボン一日發）ワシントン來電＝戰時動員再轉換長官バーンズは一日次の通り發表した

「陸軍次官パタソンをはじめ軍首腦と協議の結果反樞軸軍占領下のフランス、ベルギー、オランダ各地の軍需工場を反樞軸軍の武器製造に動員することとなつた、これによつて反樞軸軍の武器不足は大いに緩和さるべく、一方戰線のすぐ後方で武器が生産される結果、非常に深刻な補給問題も一部解決されよう」

對西航空協定締結

（リスボン三日發）ワシントン來電＝國務省は三日次の通り發表した

米西兩國政府は過去十八ケ月間にわたり米西商業航空協定締結につき商議を進めてゐたが今回協定成立、二日マドリードにおいて米國大使カールトン・ヘイスとスペイン外相ホセ・レケリカ氏との間に調印された協定により決定された空路次の通り

一、ニューヨーク、リスボン、マドリード、バルセローナ、マルセーユ及びその延長線

二、ニューヨーク、リスボン、マドリード、アルジエー及びその延長線

三、ニューヨーク、マイアミより南米、西阿を經てスペイン領リオ・デオロのヴイラ・シスネロスに至りついでフランス領モロツコを經由してセヴイラ、マドリード、バルセローナ、パリ及びその延長線

米西兩國は右航空路の往復において同一條件の下に旅客、貨物、郵便輸送等の民間航空を運營し得るが但し兩國共に相手國領土内の純粹な國内的航空には從事し得ない

ヴエネズエラ油田開發權獲得

（リスボン三十日發）ニューヨーク來電＝カリフオルニア・スタンダード石油會社は仔會社リチモンド開業會社を通じ今回ヴエネズエラ政府との間に油田開發協定を締結した、石油採掘地點はヴエネズエラ西部のマラカイボ湖西方で採油面積は一千七百五十エーカーである

昭和十九年十二月六日(水)
第三二六二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

カナダ示威運動彈壓に大童

反對の示威運動は愈々激化

(ストツクホルム一日發)カナダにおける海外派遣軍徴兵反對の示威運動は愈々激化してゐるが、特にテラス及びヴアーノンにおける運動は愈々熾烈化し、兩市の當局は遂に二十九日、示威運動を行ふ兵士に對し、叛亂令を適用し彼等を終身禁錮に處すべきこと、並びに當局は彼等に對し發砲の權利を有することの二項を發表するの止むなきに至つた

ガンヂー翁「斷業」を開始

(リスボン三日發)囘印兩教徒の妥協工作に失敗して以來ガンヂー翁は再び斷食を開始する意向を洩らしてゐたがボンベーからのAP電報によれば翁は少くとも一時斷食の計畫を斷念し「斷業」(ワーク・フアスト)を行ふに決定したと傳へられる、ガンヂー翁の聲明要旨次の通り

疲勞のため緊急非常の場合以外一切精神的活動を停止せねばならぬ、よつて十二月四日から三十一日まで一切の公共活動會見音信を取止める

兵員不足で歸還不能

(リスボン一日發)英軍の信號兵は最近特に不足を告げ、一度海外に派遣されると、本國歸還の機會が極めて少く、特に印緬戰域の信號兵のごときは四年五ケ月といふもの同戰域に釘付けにされてゐるため、不安と焦慮が增大してゐる樣子で、印度駐屯の信號兵は東南アジア軍司令部に「ビルマその他の前線から信號兵が歸れない內は印度駐屯の信號兵は歸還を許されないのか」と訊ねてきた程だ

カンデイ來電によれば、以上の情勢に鑑み、東南アジア反樞軸軍司令官マウントバツテンは一日印度駐屯の信號兵に對し次の布告を發したといはれる

本年九月、海外派遣將兵の本國歸還計畫が發表され、四ケ年の服務期間を終了した將兵は年內には本國歸還の途上にあるか、乃至は乘船を待つ狀態にあらうといはれたが、熟練信號兵が不足してゐるため、信號兵は右歸還計畫から除外されることとなつた

現在歐洲西北部並びにイタリアにおいては最も重要な作戰が展開されてをり、英陸軍省には熟練信號兵の申込みが殺到してゐるため、目下のところ、印度戰域に十分の信號兵が派遣されることは不可能であり、從つて本國歸還の資格ある信號兵を交替させることも出來ない、ビルマにおいても現在作戰が續けられてゐるが、英軍信號兵によつて遂行される最も重要な通信活動がなければ、將來の作戰計畫を繼續することが出來ず、また交替の者がないのに信號兵を歸還させれば、かかる通信活動を維持することが出來ない

最近に至り第十一集團軍司令官リース將軍は余に對し東南アジア戰域から歸還すべき信號兵と交替する人員は明年四月までの間に到着する豫定だと報告してきた、從つて余は各信號兵に對し、たとひ歸還の時期がやむなく遲延することがあつても、それは最小限度の期間であり、四月には交替のものが到着するのだから必ず歸れるといふことを保證する

余はこの書簡の寫しが、東南アジア戰域における全信號兵に提示されることを指令する

南阿と航空取極

(リスボン三日發)ロンドン來電=「タイムズ」紙十一月二日號は次の通り報じてゐる

先に海外航空會社總支配人クリテイツシユレイは南阿聯邦を訪問したが、その結果英國、南阿聯邦間の旅客航路に關する具體的取極めが決定した、同會社の空路の一部は南阿聯邦空路に接續され、將來英本國から四十五時間で南阿聯邦に到達し得ることとなる見込である

勞働罷業近況

(リスボン三日發)ロンドン來電=英國政府は三日次の通りの統計を發表した

十月中に罷業のため失はれた延勞働日數は九月中の十八萬六千日に對し十三萬三千日となつてゐる本年一月以降十月末までに失はれた勞働日數總數は三百二十九萬一千日、罷業を行つた勞働者總數は七十六萬二千名で、大部分は炭坑の罷業であつたが十月の罷業は特に造船所及び航空機製作所關係のものが多い

【反樞軸陣營】

對獨爆撃情況　（リスボン三日發）ロンドン來電＝米軍第八航空部隊司令部並びに英軍爆撃隊司令部は三日次の通り共同發表を行つた

反樞軸爆撃隊が十一月中にドイツ本土に投下した爆彈總トン數は九萬六千八百八十トンに達したが、右數字は前月に樹立された開戰以來の最高記錄に比し二千七百二十トンの減少である、米軍第八航空隊の重爆撃機の投下した爆彈總トン數は四萬五百トン、延機數一萬六千五百機でうち三萬七千トンはドイツ本土内の精油所鐵道を主とする諸目標に對し、その他は地上部隊支援のため、ドイツ軍占領地域に對して投下された、一方英空軍は同月中に五萬九千トンの爆彈を投下、英空軍としての新記錄を樹立したが、その他の英軍機はオランダのV二號發射基地に三十回出撃してゐる

印度經濟の要求　（ストツクホルム三十日發）英國の「フイナンシヤル・ニユーズ」紙は十一月十四日の紙上で十一月十日からニユーヨーク州ライ市で開催された反樞軸國際商業會議における印度代表の言明を次の如く論じてゐる

米國の輸出政策はすでに印度貿易團體の代表者によつて非難攻撃された、ロイターのニユーヨーク電によれば、印度代表團は目下開催中の國際商業會議の席上で米國の輸出助成金政策をもつと明瞭にせよと迫り、米國政府は米國が賣らうとする世界市場の棉花價格とは全く調和のとれぬ水準に米國棉花の平衡價格を釘づけにしようとしてゐると抗議した、印度財界人は、米國政府が他國に對しては輸出助成金の撤廢を慫慂しながら自國では助成金政策をとつてゐるのを米國の産業界が果して支持するや否やを知りたがつてゐる、印度代表は棉花の世界價格の引上げ若しくは米國内價格の水準引下げに關してはその解決は米國の一存にかかつてゐるとの見解を抱いてゐる

またポール・アインチツヒによると印度代表は英國はその所有してゐる弗資金の内容を公表すべきであり、英帝國の爲替資金プール制度は廢止すべきだと要求してゐるといはれるが、この要求は印度の對米輸出によつて生じた餘剩爲替を印度が米國商品を購入する資金に充當せんとする取極めを策しつつあつた米國輸出業者の間に當然共鳴されるであらう、しかしながらかかる取極めがハルの猛烈に反對してゐた二國間通商協定主義の原理に基づくことは明らかだ、印度が米國からの輸入を希望してゐることは非難すべきではない、しかし印度は、戰爭が短期に終るどころか長期化するにつれ且つ民需品が如何に必要であらうと軍需品が絶對的要求であるから、この共同戰爭において要求される經濟的財政的資金に對して印度が寄與しなければならぬことをも悟らねばならぬ、印度の剩餘弗資金は武器貸與の埒外にある重要な物資の輸入を賄ふ助けとなつてきた、われわれは印度が共同戰爭目的の爲にどの程度の資金的寄與を行つたかについては何等の情報も持ち合はせてゐないが、それは印度が得た巨大な英貨資金のほんの小量に過ぎなからう

三國外相會談開催か　（ストツクホルム三日發）三日の「ダーゲンスニヘタ」紙ニユーヨーク特電は次の通り傳へてゐる

三國會談は遂に取やめとなる模樣だが、これに代り三國外相會談が開かれることとなるやうだ外相會談の場所及び日時はまだきまつてゐないやうだが遲くもクリスマス前に決定されよう

佛チエコ協足成立　（リスボン三十日發）ロンドン來電＝フランス臨時政府並びに亡命チエコスロヴアキア政權は三十日、フランスに在住するチエツコスロヴアキア人並びにチエコ領内のフランス人をそれぞれ本國に歸還せしめる旨の協定に調印した

米國勞働代表着英　（ストツクホルム四日發）ロンドン來電＝米國産業別組織會議のシドニー・ヒルマンは反樞軸國際勞働組合會議に出席のため三日ロンドンに到着した、彼と共にCIO系の自動車勞働者組合長R・トーマス、婦人衣裳勞働者組合長エミール・リーヴも同行してゐる、なほ勞働總同盟は今回の會議に不參加を表明した

昭和十九年十二月六日(水)
第三二六二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【歐洲】

ローマ政界の危機解消せず

(リスボン三日發)統監の指名したボノミと六政派の支持するルイニとが新内閣の組織を續つで完全に對立しローマ政權の危機は愈々深刻化するに至つたが、ローマからのロイター電報によれば共産黨分子が三日ローマ市内で開催された王黨派の示威大會が散會するのを待ち伏せして遂に衝突を演じ、遂に警官隊の出動をみるに至つたと傳へられる、英國の支持を賴りにする王黨派乃至いはゆる「支配階級」派はボノミを首班にバドリオ、オルランド兩元首相の支持で、「中央團結」(コンサントラシオン)政權を組織する方針で元下院議長エンリコ・デ・ニコラもローマに到着したと傳へられる、スフォルツア伯も同政權に一役當てがはれるわけなのだが、英國外相イーデンが下院において公式に同伯を非難したため右翼の企圖は一頓挫をきたした樣子だ、スフォルツア伯は從來亡政派の委員長として後繼首相に押されてゐた位で左翼各派も英國政府の内政干渉には少からず不滿だがローマからのAP電報によれば當のスフォルラア伯も三日に至り

自分は政治上の聲明を差控へよう、しかし一個人として余が舊友ボノミ前首相に反對したとのイーデンの聲明を否認する

と述べたと傳へられる、また「アヴアンテ」紙の如きも社説において英國政府今回の遣口を非難し英國はイタリア國内の新な民主主義を信賴しない、ローマ政界の危機は英伊兩國の保守主義の會議に由來する

と論じ「イタリア・リベラ」紙もまた

一九四〇年當時英國は歐洲における自由の象徴であつたが今日においてはさうでない英國は如何なる根據に基づいて歐洲各國に獨立と自由とを拒否しようといふのか

と英國政府をきめおろしてゐる

波政權ルビコンを渡る

(チューリツヒ一日發)米英兩國の言論界はアルチシエフスキーを首班とする亡命ポーランド政權の誕生によつてもはやソ波紛爭の解決は不可能と絶望視し、一部には早くも同政權の短命すら豫言してゐるが、「ノイエ・チューリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン特派員はアルチシエフスキー政權を批評してその大衆から遊離した性格を強調、次の通り論じてゐる

アルチシエフスキー政權の誕生はシコールスキーとミコライチクの創造した傳統からの決定的な離脫を意味するものだ、新政權にはシコールスキーの自由主義的政策に終始一貫反對を唱へてきた國民民主黨が參加し、一九四〇年以降ポーランドの政治と抗戰の中核をなしてきた農民黨が退陣してゐることは以上の事實を完全に裏書するものだ、アルチシエフスキーは社會民主黨の領袖で、最近ポーランドからロンドンに到着した男だが、彼は同黨の切札ともいふべき存在だ、社會民主黨は從來の政策を一擲して新らしい線に沿つて亡命政權を盛り立てて行かうと考へてゐるやうだが、英國政界は亡命政權が既にルビコンを渡り、ソヴエト政府乃至ルブリン政權との和協は最早不可能だと絶望してゐる、もつとも英國政府はまだ立場を明瞭にしてゐないが、脈がないとみてゐることは確實だ、英國新聞界は新政權に農民黨が參加してゐないことを理由に、同政權が大衆から全く遊離し、大衆の代表たる性格を喪失したと稱して、英國政府は承認をとり消すだらうとみてゐるが、事態がそこまで發展するとは今のところ考へられない

他方「バーズラー・ナハリヒテン」紙のストツクホルム電報はアルチシエフスキー政權をポーランド民衆の眞の代表とみて一日次の通り述べてゐる

新政權は米英兩國の歡迎しない人物で組織されてをり、ポーランド自體からいつても亡命民主主義政黨の一部を代表してゐる點で不利といへるが、ドイツ軍占領下のポーランド民衆や西歐洲及び南歐洲で戰ふポーランド軍將兵から眞の愛國者であり民主々義者と認められてゐる人達によつて組織されてゐる點では有利とみることが出來やう、アルチシエフスキーは長い間ポーランドで地下運動を續け、ロンドンに招れた時には大統領ラキエヴイツチの後繼者と目されてゐた、從つて米英兩國は前線で戰ふポーランド軍により眞正の代表であり且つ代辯者とみられてゐる新政權を拒否することは出來ない

舊聯盟員の身の振方

(ストツクホルム一日發)ロンドン來電=舊國際聯盟職員の一行が一日ジュネーヴからロンドンに到着した、彼等は舊聯盟が解消され、新國際機構が設立される場合彼等の身分はどうなるかについて米英兩國政府にかけ合ふ筈である

特輯

赤い星バルカンを蔽ふ (上)

原子林二郎

向背常なき衛星の群

去る八月二十日を期して突如火蓋を切つた赤軍のバルカン攻勢は、ルーマニアの降伏、ソ聯の對勃宣戰布告とブルガリアの崩壞、赤軍のユーゴ、チエツコ、ハンガリー進擊と英軍のギリシヤ上陸等幾多の軍事政治上の重大事件を目眩しく繼起せしめ、バルガン全土は騒然たる紛亂の巷と化するに至り、誠に歐洲の火藥庫たる名を辱しめぬ混亂狀態を現出してゐるが、ハンガリーを含めて大勢が大體において明らかとなつた今日バルカン情勢を眺めるならば、同じ火藥庫でも戰前のそれと戰後のそれとは大いに性格を異にしてゐることを知る、周知のやうにバルカンは獨立して自己の主權を維持出來ぬ小國群からなつてをり、戰前は獨英ソ三國勢力の爭覇場と化し、先づハンガリーがドイツの庇護の下に領土擴大に成功するや、ルーマニア、ブルガリアもそれぞれ英ソ兩國の勢力から離れてドイツの傘下に落ち着かねばならぬ羽目となり、さらに一九四一年春のドイツ軍のバルカン攻勢によつてユーゴ、ギリシヤもまたドイツの勢力圏に收められるに至つたのである

しかしながら向背常なきバルカン諸國が戰局の發展と利益の赴くままにドイツを裏切るのは蓋し自然の勢で、ドイツも恐らく以上の事實を計算に入れてバルカン政策を遂行してきたのであらうがハンガリーを除いてバルカン全土が決定的にドイツの支配圏から離れた現在、まづわれわれの眼を奪ふものは新たな勢力と新たな力關係が發生してゐることだ

「赤い火藥庫」

第一次歐洲大戰後ソ聯に亡命したハンガリーの作家ベーラ・イルレシユの「チツサは燃ゆる」といふ作品が詳しく說いてゐるやうに、バルカンにおける共產運動の熾烈さは世人を瞠目せしめる程のものがある、ハンガリーにおけるベーラ・クーン殘黨の活動、ブルガリアにおけるデイミトロフコラロフ派の策謀、チエツコにおけるゴートワルド勢力の暗躍は、バルカン全土がドイツの傘下に投じた後も地を縫ふて執拗に展開され、ユーゴにおけるチトー軍、ギリシヤにおけるエラス團の遊擊活動はいふに及ばず、ハンガリー、ルーマニアブルガリアなどの「衛星」國においてすら熾烈に展開されてきたのである

從つてバルカンが反樞軸に寢返りを打つた今日表面上問題視されてゐる米英特に英國勢力對ソ聯勢力の拮抗の背後に、民主々義の表看板をぶら下げた從來の支配階級と新事態の發生に勢を盛り返した共產勢力との間の火花を散らす決闘が底流をなし、スエーデンなどの中立新聞がしばしばバルカンにおける英ソ兩國の對立を第三次歐洲大戰の種子を胚胎するものとして大向ふを唸らせてゐるが、寧ろバルカンの「赤い火藥庫」が問題視されねばならぬ實情だ、勿論前者の對立は後者の戰ひを背景としてゐると一應はいふことも出來ようが事態はしかく單純に割り切れる性質のものではない、特にバルカン諸國間には困難極まる國境問題が介在してゐるため、情勢は一段と複雜となつてゐる

一、ルーマニア

ルーマニアがソ聯の軍門に降つたのは直接には戰局のしからしむるところだが、モロトフ聲明が間接に大きな影響を與へたことは否定出來ない

牛を馬に乘り換へただけ

ルーマニアがドイツの傘下に投じてソ聯に宣戰を布告したのは、ドイツの力を藉りてベツサラビア、北ブコヴイナの失地を回復し、あはよくばオデツサ、クリミヤ半島を含むウクライナの地域をソ聯から奪取し、ルーマニアの傳統的な野望を實現するためであつたが、赤軍の反攻を眞正面からうけて蛇蜂取らずに終るばかりか、ルーマニアの國土すら赤軍の脅威下に曝されるに至つた

同盟通信　海外電報（第三種郵便物認可）

ルーマニアの社會制度を變更する意圖なく、領土回復の要求を支援するといふ好餌を示したモロトフ聲明に、ルーマニアの支配階級が縋りつき、牛を馬に乘り換へてハンガリーの犧牲においてトランシルヴアニアの回復を意圖したことは蓋し當然と言ふべきであらう、從つてアントネスコ政權の顚覆とサナテスコ政權の出現は、ドイツ外務當局が鋭くも指摘したやうにルーマニア・ブルジョワジーのクーデターであり、國王ミハイが祖國をソ聯に賣り渡した單純な背信行爲とみるには、まだ多少の考慮の餘地が殘されてゐる、つまりルーマニア支配階級は戰局の重壓に押されてベツサラビア、北ブコヴイナを斷念した代りに、ソ聯の力でトランシルヴアニアをハンガリーから奪取しようと圖つたのである

以上の考慮から出發したルーマニアの裏切り行爲は必然的にその政策と行動に反映し、サナテスコ政權は休戰條件をサボるばかりではなく、支配機構すら能ふ限り舊態を維持しようと圖つてゐる譯だ、かかる態度にソ聯が激昂しない筈はない、ブカレストからのAP電報によれば反樞軸管理委員會のソ聯代表は十一月四日管理委員會の名においてブカレストの各新聞に次の覺書を發表せしめルーマニア政府の背信的行爲を痛烈に非難したといふことだ

ルーマニア政府の休戰條件履行に關しては不滿とすべき點が多々ある、サナテスコ首相はルーマニアに居住するドイツおよびハンガリー市民を抑留しないばかりでなく、ドイツ、ハンガリー市民の財產沒收すら殊に實行してゐない、またソヴエト聯邦に對して與へた損害の補償措置も十分でない、かかる事態にあつて反樞軸管理委員會はルーマニア政府にたいして休戰條件の迅速且つ徹底的な履行を强硬に要求せざるを得ない

翌五日ソヴエト政府はタス通信を通じて次の聲明を發表した

ルーマニア政府は休戰協定第十四條および十五條の規定に基づき去る十月四日國家機關の肅清令を發布したが、實際には以上を實行するため具體的には何らの措置も講じてゐない、ルーマニア政府は單に二、三の官廳の頭株をすげ更へただけで、實質的には國家機構はアントネスコ政權時代と全く變りがない、軍の首腦部も極少數の例外を除いて、アントネスコの一味が依然として占めてゐる實情である

「血の檢事總長」のお手入

以上のことはルーマニア・ブルジョワジーがドイツとアントネスコ將軍の犧牲において自己の支配的地位を維持しようと圖つたことを明確に裏書するものだが、ソ聯はそれだけで足れりとせず外務人民委員部首席次長ヴイシンスキーを直接ブカレストに乘り込ませて、ルーマニア政府の尻を叩かせた、ヴイシンスキーはシナイヤ城に國王ミハイを訪問して、まづ第一にルーマニア支配階級の支柱マニューが反動勢力を結集して反ソ策動に努めてゐるといふ理由で、彼を政治舞臺から退場させようと迫つた、その結果サナテスコ首相は再三內閣を改造してその反動的性格を隱蔽しようと圖つたにも拘らず、再び危機に遭遇してゐる樣子でスイスの「タート」紙ロンドン電報は十一月十一日次の通り報じてゐる

ルーマニアは英國の勢力圈からソ聯のそれに百八十度の轉回をしてゐる、ルーマニア支配階級の政黨たる農民黨左派の指導者ペーテル・グローザが新たに副首相の椅子に坐つたことからみても、左翼の優勢は明瞭な事實だ、もつとも農民自由黨が多くの椅子を占めてゐるが、國王の支持を得てアントネスコ將軍を失脚させた統一戰線は四分五裂の運命に陷つてゐる、その結果政府は農民自由黨と共產黨を先頭とする左翼のいはゆる國民民主主義戰線の二派にはつきりと分裂し共產黨はこの新人民戰線を利用して古くからの政黨を驅逐しようとかかつてゐる、かかる事態の發展がソ聯の影響によるものかどうかは遽かに斷定することは出來ないが、新政府がソ聯の要求を滿足せしめることが出來ぬならばいづれは純粹の左翼政權が出現することにならう

「タート」紙の報道は大體において正鵠を射てゐると思はれるが、ルーマニア現下の政情を一言にしていふならば、上からのソ聯の壓迫と下から盛り上る左翼の攻撃に挾まれて、支配階級が四苦八苦の態で「現狀維持」に狂奔してゐるといふことが出來よう、モスクワ放送によればルーマニア政府はまづ十一月十九日休戰條件履行委員長のクリスツを罷免して、自由主義者の外相ラヂレスコをもつて代へ、更に二十一日には現政府出現前即ち十一月一日以前から椅子を占めてゐた地方長官を一人殘らず馘首することに決定、ソ聯の意を迎へるに汲々たるものがあるが、反動勢力の支柱マニユー、ブラチアヌを無任所相に留めて置く限り、ルーマニア政府の危機は解消されまい

逆流する石油

ルーマニアを軍事的に破産させたのは赤軍だから、ルーマニアを處理するのにソ聯が米英兩國の干渉を嫌ふのは當然といへばいへるが、治らないのは米英だ、戰前米英兩國はプロエスチ油田に石油利權を有してゐたが、ルーマニアが降伏して後彼等が何を一番に希望したかといへば、プロエスチ油田、つまり自國の石油利權がどうなつてゐるか視察することであつた、ところがルーマニア駐屯赤軍當局は石油技師と自稱する手合の油田視察を拒否したばかりか、ソ聯のルーマニア政策をとやかくいつた米英記者數名をソフイアから撮み出してしまつた、ソ聯の肚はルーマニアに對する軍事作戰を主として遂行したのはソ聯であり、ルーマニア軍によつて損害を受けたのも專らソ聯だから、當然プロエスチの油田を獨り占めにする權利があるといふのだが、米英兩國としてはたとひルーマニアの反樞軸宣戰で一時無效になつたにしろ利權を持つてゐるのだから、ソ聯に獨占されては堪つたものではないといふのだ、たとへば、英紙「タイムズ」は十一月五日次の通り述べてゐる

「ソ聯はルーマニアの油田に對して露骨に強い關心を示してゐる、ソ聯がイランに石油利權を要求したり、ガリシアの石油を手に入れるために飽くまでもカーゾン線を主張してゐるところからみても、ソ聯が世界の石油支配を策してゐることは明瞭だ、ルーマニア油田の場合はソ聯は米英兩國に石油利權の讓渡を要求してゐるといはれるが、米英兩國ははつきりした言質を與へるのを避けてゐるにしても、今のところは拒絶するものと思はれる」

しかしながらソ聯にとつては米英兩國がどう思はうと一向に構はない、早くもバクー、バツーム地方から多數の石油技師を乘り込ませて、プロエスチ油田地帶の復興に努めてゐるのは、ソ聯の意圖を明瞭に說明するものであらう、米英兩國がソ聯のルーマニア支配をどう思つてゐるかといふ問題に對する回答として、赤軍當局によつてブカレストから撮み出された米週刊誌「タイム」の特派員バーシヴアル・ノースの報道を紹介しよう、ノースは「タイム」誌十月二十三日號の「バルカン欄」にルーマニアの現實の事態に關する次のやうな報告記事を寄せてゐる

撮み出された米記者の報告

恐怖の巷＝今日のルーマニアを二つの大問題が支配してゐる、第一の問題はソ聯の政策は何かといふことであり、第二の問題はどの程度まで聯合國はバルカン問題に影響力をもつてゐるかといふことだ、第一の問題についてはルーマニア市民は吃驚するほど悲觀論で、最惡の場合はルーマニアがソヴエトの一共和國となり、最善の場合でもソヴエト政府が革命を勃發させてまで共產政府を押し付けまいと考へてゐる、第二の問題についてはルーマニア市民は敏腕家揃ひのソ聯大使館員達のほかに聯合國の使節團がルーマニアで羽振りを利かせて呉れるのを今か今かと待ちあぐんでゐる狀態だ、ソ聯に對するルーマニア市民の感情は惡化するばかりだ、赤軍がブカレストに入城する前は民衆はびくびくものだつた、赤軍は市に入城すると、少數の駐屯部隊を殘して靜かに通過して行つた、だがその後に赤軍兵士が續々と乘り込んできた、それもベツサラビアからスターリングラードまで、そしてその逆の道程をドイツ軍やルーマニア軍と戰ひ續けてきた赤軍兵士達だ

昭和十九年十二月六日(水)
第三二六二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

彼らは過去數年間お目にかかつたこともない色んなものに富む國へやつてきたのだ、それも最少限の食糧を携へてゐるばかりだから堪らない、忽ち徴發を始める、醉拂つて女に惡戲をする、まるで亂痴氣騒ぎだ、將校は自動車が要れば、手當り次第にものにする、時には往來に乘り棄てた自動車を攫つて行つてしまふ、宿舍が要れば徴發する、また赤軍の兵士達は酷く簡單に時計を手に入れる方法を案出した、まづ往來で誰かに近付いて時間を訊ね、その隙に時計にちらと一瞥を呉れるもしも氣に入れば有無をいはさずとり上げるといつた遣り口だ

影を襲つ＝赤軍はブカレストに嚴重な夜間禁足令と燈火管制を實施してゐる、午後九時になると誰も外出を許されない、赤軍の歩哨が夜中市内を巡羅してゐる、彼らは平和な市街に慣れてゐない知つてゐるのは廢墟と化した市街だけだ、そこではあらゆる人影が敵であるかも知れない、彼らは人影を目撃すると、矢庭に銃砲をぶつ放す、同志討の場合さへある、ブカレストの眞面目な市民や中立國の人達は赤軍の政策がクレムリンの政策を代表するものでないことを承知してゐるが、彼らは酷く心配してゐる、それは盲目的な悲觀論よりも遙かに深刻だ

經濟的恐怖＝第一にルーマニア市民は、經濟上の恐怖に囚へられてゐる、現在三十五億レイに相當するルーブル紙幣が流通してゐるが、それが全然裏付けされてゐないのだ、ルーマニア市民は國立銀行でだけルーブル紙幣をレイに代へて貰へるが二十パーセントだけが現金で、後は債券だ、それも所得税を納付する時だけとあるから堪つたものではない、またルーマニア國立銀行もレイ貨をどうしてよいかわからぬのだ

第二に九十億レイに相當する家畜、食糧、燃料が徴發されてゐる、その内には大量の農耕器具や穀物も含まれてゐる、酷いことには播種用種子まで取り上げられてゐる、明年の收穫の見透しは暗いばかりだ

第三に輸送機關が滅茶滅茶にされてゐる、若干の幹線はソ聯の汽車を走らせるため廣軌に取り替へられ、ルーマニアの鐵道輸送は無用の長物と化してゐる

第四に冬の近づくにつれて住宅と燃料の缺乏が深刻に感じられてきた、プロエスチとかカンピナのやうな若干の都市は爆撃によつて完全に破壞され、赤軍部隊の增加は住宅問題を一段と激化させてゐる、その結果ルーマニア政府は民衆のため住宅の徴用を始めてゐる

政治的恐怖＝以上の經濟的事實から政治的恐怖が發生してゐる、元來ルーマニアは社會的不平等の酷い國で、その社會制度の基礎はぐらぐら狀態だ、現在の政府は農民自由、社會、民主、共産の四政黨による聯立内閣だ、共産勢力は現在のところあまり强くない、共産黨員は約二千名を算するだけだ、だが共産黨員は赤軍の駐屯に力を得て政府を引き摺り廻してゐる、なぜならば彼らは何時でも政府に反動の烙印を押して支持を差し控へることが出來るからだ、共産黨に對するソ聯の態度は明確を缺くが、公然と支持してゐるやうでもない、民主々義者は現政府がもつと軍事を忘れて政治に專心することを希望してゐるが、さればといつて政府の更迭を早めることも惧れてゐる、そんなことをすれば共産政府が出現して、飢ゑと寒さが支配することになるからだ、ここでソ聯の政策が眞實味を帶びた問題となつてくる、大抵のルーマニア人は本年春のモロトフ聲明を忘れてしまつたか疑を差し挟んで聯合國の介入を希望してゐると思はずにはゐられない、彼等は聯合國の戰爭目的とソ聯のそれとは根本的に相違し、ソ聯は小さくいへばバルカンで、大きくいへばライン東方の歐洲で米英兩國との「政略結婚」から出來るだけのものを摑み取つてゐると考へてゐる

二、ブルガリア

ブルガリアがドイツの同盟國として米英兩國と交戰狀態にありながら、ソ聯と外交關係を維持してきたことは、降伏した後にもあらゆる方面に影響を波及してゐる

後まで崇る二股政策

今日のブルガリアはドイツから裏切者扱ひにされ、米英兩國からは唾へぬ奴と睨まれ、ソ聯からはルーマニアよりも酷い待遇を受け、身から出た錆とはいへまるで立つ瀬がない形だ、元來ブルガリアはドイツと結んでトランシルヴアニアをウイーン協定によつてハンガリーへ割讓した代償としてマケドニア、トラキア兩地方の併合を約束されたが、バルカン軍事情勢の急轉に伴ひルーマニアが樞軸陣營から脫落すると、逸早く殊更にソ聯への中立關係を再確認するかと思ふと、クリミヤから海路撤收したドイツ軍に避難所を提供したり、黑海に作戰するドイツ海軍艦艇を收容してドイツとの關係維持を圖つたり兎角なすことが二股膏藥染みた小細工が多かつた、それに降伏前のブルガリアの獨、ソ、米英に對する三樣の政策も保身術の現れにほかならぬ事はいふまでもない、特にブルガリアが併合野心を露骨に示してゐるトラキアマケドニア兩地方は英國がバルカンにおいて最も強い關心を示してゐるギリシヤ、ユーゴ兩國に關聯するだけに、英國言論界のブルガリア攻擊も仲々もつて手嚴しい、たとへばロイター外交記者ランダル・ニールは十月九日ブルガリアのみえ透いた遣口を非難して次の通り述べてゐる

「ブルガリアは今日まで「恭順」な態度を示してきたが、この頃では酷く露骨になつた、聯合國はブルガリアに休戰を許す以前にブルガリア軍をギリシヤとユーゴスラヴイアから撤收させることに決定したが、ギリシヤ領マケドニア及び西部トラキアからの報道が乏しく且つ相互に矛盾してゐるが、それでもブルガリア軍が撤收したと見做す材料は一向に見當らない、ブルガリア陸相スタイノフは十月三日聲明を發して、ブルガリアは軍隊をトルブーヒン將軍の統帥下におき、「共同交戰國」となつたと述べてゐるが、かかる聲明が休戰條件の提示すらも受けてゐない國家から發せられたことは奇怪至極な話だ、ブルガリアは政治的驅引に憂身を窶してゐる、同國は「全マケドニア民族を一國家に大同團結させる」ことを目的としていふところのマケドニア解放運動なるものを宣傳してをり、宣傳相カザコフのごときは全マケドニア民族は自己の運命を決定する完全な自由を有してゐると聲明してゐる位だ、しかしながら一體マケドニア民族といふものが現實に存在するのか、ブルガリア政府はチトーが以上の計畫を支持してゐると稱してゐるが、ユーゴ側は頭から否定してゐるではないか、ブルガリアの意圖するところは明瞭だ、かかる不合理極まる手段によつてユーゴ及びギリシヤ領マケドニアと西部トラキアを手に入れようと圖つてゐるのだ、ブルガリアの侵略主義者共がまづマケドニアを獨立せしめて後、濡手に粟で支配しようと考へてゐるのは明白だ」

共同交戰國の資格なし

ブルガリアは共同交戰國の資格なしと斷ずるのが英國新聞界の一致した見解だ「オブザーヴア」紙も十月八日の紙上でブルガリアの領土野心を剔抉して、戰敗國に領土を云々する權利はないと極めつけてゐる、要旨を紹介すれば次の通り

バルカンにおける苛烈な戰ひの終末にオーヴアラツプする政治外交上の混亂から、次の事實の連鎖がくつきりと浮き上つてゐる

一、米英ソ三國政府が休戰條件の細目について審議を重ねてゐる間に、ブルガリア政府は老獪な術策を弄して休戰條件決定の遲滯を巧妙に利用してゐること

二、しかるに休戰條件が暫く前に決定をみたこと

三、ソヴエト政府は更にブルガリア軍のギリシヤユーゴ撤收を規定した英國政府の休戰前提條件に二週間前に同意したこと、トルコの一部はためにする積りか、ソ聯はブルガリアが地中海に出口を持つこと、卽ちトラキアの一部を領有することに承認を與へたといふ噂をばらまいてゐるが、これは全然事實無根だ

四、ソヴエト政府はギリシヤに干涉する意圖を有しない旨明らかにしたこと、他方ギリシヤの共產主義勢力は政府に協力を誓ひ、共產黨書記長サンメスもマンダカス將軍はEAMがブルガリアとの間にトラキアの支配につき話し合ひをつけたといふ根も葉もない流說を否定してゐる

昭和十九年十二月 六 日(水)
第 三 二 六 二 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ブルガリアの鯰戰術はここ數日間盛に閃きをみせてゐる、ブルガリアは共同交戰國としての地位を認められてしかるべきだと主張してゐるが、共通の敵に對して共同の陣營で戰つてゐるものが共同交戰國でない筈はない、しかるにブルガリアはかかる地位を享受するためには殆んど何等の寄與もしてゐないことは明白だ、英國政府は戰爭におけるブルガリアの記錄を調べた結果卽座にその資格なしと斷定し、その旨ソヴエト政府に通告したブルガリアは更に巧妙な陰謀を企んでゐる、それはギリシヤ、ユーゴ、ブルガリア領のマケドニアを打つて一丸とするマケドニアの獨立といふ道具立である、この計畫はチトーの支持を受けてゐるかの如き印象を與へてゐるが、ソ聯から政治上の智慧を拜借してゐるチトーはユーゴ領マケドニアを彼の新聯邦の一部に含めようと努めてゐるだけなのである、英國政府は以上のやうなチトーの計畫に反對を唱へはしないが、ブルガリアがギリシヤ乃至ユーゴの領土を狙つてゐるのを許しておくわけには行かない」

共産黨勃の運命を左右

さらに國內情勢はどうかといへば、赤軍による食糧徵發と一切の交通機關の徵用のため物資は殆んど出廻らず、惡性インフレの猖獗はルーマニアと同樣だ、チューリツヒ情報によれば紙幣流通高は一九三四年の四十五億レワに對して現在では三四百億レワに增加してゐるといはれ、物價指數も政府の公報では一九三九年より二十パーセント上昇したことになつてゐるが、實際には二十倍から二十五倍になつてゐる、一例を擧げるならば靴一足の値段は以前は三百レワであつたのが現在では八千レワに暴騰し、一弗に對するレワの比率は八十一レワから八百レワ乃至一千レワになつてゐるかうした惡性インフレにも拘らず、實質賃金はおろか、各自賃金すら釘付にされてゐるため、勞働者の生活難に比例して不滿が激化するのは當然でこれがまた共產勢力增大の恰好の溫床となつてゐる實情だ、共產黨の勢力を知る絕好の例として內相ユーゴフ、祖國戰線國民委員會書記長チエルヴエンコフ、ソフイア放送局支配人ワシリエフの三名の共產黨領袖と會見した「バーズラー・ナハリヒテン」紙ソフイア特派員が十月十三日

「ブルガリアの運命は共產黨の態度に全く左右されてゐる、ブルガリアが共產主義國とならうとなるまいと、共產黨が現在の反ファシスト諸力と協力しようとしまいと、そしてブルガリアが現在の民主々義の道を步み續けやうと國際的混亂のうちに沒しようと、ブルガリアの運命が共產黨の動きによつて決定されることには何らの變りもない」

と報じてゐる事實を擧げることが出來よう

ブルガリア共產黨の現實の動きについては情報が乏しいが、元コミンテルン書記長デイミトロフの指導の下に表面上は米英兩國と協調的態度をとりつつも、嚴格な規律に基いて着々赤化工作を進めてゐる樣子で「サンデー・タイムズ」紙外交記者は十月十三日次の通り報じてゐる

「デイミトロフはブルガリア共產黨に宛てた書面で、米英兩國に對する協調的態度を採りソ聯の支持を露骨に誇示せぬよう嚴重に訓令を發したといはれるが、ブルガリア軍は完全に赤化して將校連をおつぽり出し兵營毎に兵士委員會を設置したといふことだ、しかるに赤軍司令官トルブーヒン元帥はブルガリア赤衛軍に嚴格な規律を要求、一時的な無政府狀態は今では完全に淸算されてゐる」

フランス落葉籠

—十一月中の社會雜報—

井上勇

翰林院へ外國人 フランス翰林院といへば「不死」の文人、政治家、軍人など國家に不滅の功勞のあつた人物に「綠の衣」を着せて飾立てるところであるが、ウインストン・チヤーチルとフランクリン・デラノ・ルーズヴエルトをこの會員に選ぶべしとの說が行はれてゐる、二十一日はすでに選ばれたとの說がマドリードから傳つた、同時にペタン元帥は會員を除名されるだらうといふ

ルペルク暗殺説　十一月初旬、どこかの橋の上から自動車が轉落して慘死したルペルク藏相は、暗殺説が濃厚になつてゐる、左翼全盛のフランスで、彼は財閥出だつたので睨まれてゐた上、死の前しばしば脅迫狀を受けとつてゐたといはれる、彼の急死に對して共産黨側では公然と滿足の意を表してゐることなどが、彼の暗殺説を一層高からしめてゐる、政府の財閥壓迫と歩調を合はせて、財界人の夜襲、畫襲がフランスの流行になつてゐるが、パリは夜九時以後外出禁止で、その以後は誰何に應じないものはどしどし射殺すべしとの命令が出てゐる、この法律のお蔭でピストル騒ぎは一層流行してゐるさう

マリオン將軍射殺　三日スイス國境アネツシイの軍法會議で死刑を宣告されたオート・サヴオアの元知事マリオンと保安警察隊長ルロン大佐は、ド・ゴール政府の死刑執行許可を待つて收監中、十七日監獄から盜み出されて路傍で射殺體になつて發見された、オート・サヴオアは共産マキの天下で、殺された二人はヴイシー政府の末期、マキ討伐に精出したのを恨まれたのである

東部二縣通信禁止　瑞西寄りフランス東部の二縣ドウブとオート・ソーヌ二縣ではランブルからヴゾオルを經て、ブザンソン、ポンタルリエに至る線以東の地域が、十四日のノイシヤテル電によれば、電信電話はもとより一切の通信を禁止された、理由は各地でサボタージュが頻發し、汽車は顚覆する、彈藥集積所は爆破される、治安全くTiens, tiens の狀態になつたからといふのである、この方面は米第七軍と佛第一軍の作戰區域の直ぐ背後になるが、ペタン派のマキの作戰區域でもある

ジロオの足取り　ジロオ將軍は十一月初旬スイスに姿を現したが、十一月半ばには再びフランスに歸つたらしい形跡がある、ドイツ海外通信の元パリ支局長カルル・シユミツトの見解では、ルーズヴエルトが最近パリを訪問するので、その前にフランスの産業界、金融界の指導者と會つて十分議を練り、ルーズヴエルトの支持を得て、ド・ゴール政權にひと泡ふかせる計畫をジロオは持つてゐるといふ、一時ド・ゴール支持だつたフランス資本家が、ド・ゴール政府の産業國有化政策の强行に怖れをなして、ロンドンのシチー筋を通じて英國政府を動かし、これにアメリカの聲援を得てド・ゴールの左翼產業政策に反對の氣勢をあげようと計畫してゐるのは事實で、これにジロオ將軍がひと役買はうといふのである、「ソシエテ・ジエネラル」の社長アンリ・アルダンに逮捕令が出たり、獄死した後のルノオの工場が政府に沒收されたり、フランス銀行のボオドアンが收監されたり、プルウヴオが免職されたり、シユナイダーが喚問されたり、肅清の嵐はフランス資本家の黃金の城壁を遠慮會釋もなく吹き荒してゐる、こちこちの右翼で、カトリツク王黨派のジロオ將軍は擔ぐには丁度よい神輿といふわけだ

ジロオ將軍はスイスに出掛ける前ド・ゴールにも會つてゐるが、その節、このアルジエ時代以來の仇敵はどんな話をしたか明らかでない、いまのところド・ゴールがジロオに手を付けないのはアメリカに對する遠慮だけであるが、もし、ジロオ將軍が南佛方面に勢力を持ち初めた白色マキ團と何らかの關係が、噂通り有るとすれば、ド・ゴールもアメリカへの遠慮ばかりしてゐるわけにも行かなくなるであらう

ジロオのスイス入りには、スイス駐在フランス代表になるためだとの説もあつたが、これは一應誤傳だつたとみるほかはない、彼はスイスで、瑞典の新聞記者に會つて「ド・ゴールにはフランスの共産勢力を制御するだけの力はない」などと語つたと傳へられるが、これも餘り信用出來ないやうだ、何しろ、たつたこの春まではド・ゴールと並んでアルジエ政權の代表者であり、ド・ゴールにとつては追出したのはよいが、相手は虎だつたことを忘れてゐた嫌ひがなしとしないので、ここ暫くはジロオの動きは相當興味がある

フランスと通信自由　宣傳相のピエール・アンリ・テイトジヤンは三日、新聞記者を招待して、「新聞通信の自由」問題で一席打つてゐる

昭和十九年十二月六日(水)
第三二六二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

新聞通信はたとへ、法律的に自由を認められたにしても、財政的な背景がない以上は自由ではあり得ない、また、廣告業、通信業が大資本の獨專力に支配されてゐても自由ではあり得ないそれかといつて、政府の支配もまた好ましからぬ結果を生じ勝ちだ、そこで、新聞通信業の新らしい組織様式を創り出さねばならぬが、廣い意味の國家利益を代表すると共に、それに協力する新聞及び新聞記者の利益をも代表するやう間接的國家支配の形式が必要と思ふ

これを換言すれば、「新聞通信の自由」を看板にして世界の通信界をアメリカ資本力によつて席捲しようといふ、ヒユー・ベイリーUP社長を選手とする米國の攻勢に對して、フランスは政府の尻押しで一合戰試みるといふのである、ロイターが長い間のニュース取次業の甘い鞘稼ぎを止めて、野戰の辛きに堪える勇氣があるか、タスがソ聯の廣茫を外國通信社に解放して、中原の鹿を卒伍となつて角逐する雅量を示すかどうか、反樞軸陣營の通信自由論議も同床異夢の例に洩れないやうだ

ペタン政府の所在 ペタン政府の所在地については南ドイツとだけで何もわかつてゐないが、どうやらそれはジグマリンゲンであるらしい、ホーフエンツオルレルン家の由緒の地、スツツトガルトの南およそ五十哩、スイス國境へ二十五哩の小邑であり、ドイツ王家の古城の上に、三色旗が淋しく飜つてゐるといはれる、同時に十二日、千八百名の元ヴイシー政府下の義勇軍が、改編されて突撃隊と名を變へピユシウ將軍の指揮下に入つたことが報じられた

バレオローグの死 フランス外交界の長老モーリス・ジヨルジユ・パレオローグが二十一日パリで死んだ、享年八十五、第一次世界大戰のはじまる六週間前ペテルスブルグに赴任して、ポアンカレの露都訪問の下工作をし一九一七年ロシア革命勃發までフランスの駐露大使だつた、のちケードルセーの官房長として長い間フランスの戰後外交を指導したが晩年は著述に專念してゐた

何代目かの青髯 青髯の祖國だけにフランスにはとんでもない獵奇犯罪が時時現れる最近ではマルセル・プチオといふ醫者が、婦人を自分の實驗室につれ込んでは、これを殺害し、屍體を硫酸の浴槽に投込んで溶かしてゐた事件が裁判になつてゐる、公判廷での陳述によれば「自分は對獨抗戰派で愛國者などは殺した覺えはない、アメリカに與へるため秘密兵器の研究をしてゐたのだ」さうである、どんな秘密兵器かと問はれると「自慢の死の洗滌液」と答へた

カイヨオ死す 前大戰當時、その夫人が夫の寃罪を雪ぐため「フイガロ」主筆を射殺したことによつてより名を謳はれたフランスの老政客ジヨゼフ・カイヨオは二十二日、ル・マンで八十一歳でもつて死んだ、前大戰末期、祖國へ叛逆の罪を得て以來の晩年はただ一度、一九二五年藏相になつて以後世間にも出ず、全く籠居の生活だつたが、殺人の罪を犯すまで夫を愛した夫人の消息は外電もつたへてゐない

ウオドハウス捕はる 英國のユーモア作家として、日本にもあまたの讀者を持つてゐたはずのピー・ジー・ウオドハウス夫妻は、永い間英國を捨てて、ル・トウケ附近に居を構へてゐたが、一九四〇年ドイツ軍の捕虜となつてベルリンに運れて行かれ、英國向け放送をやつたりしてゐた、その後許されてパリに歸つてゐたところ二十日フランス官憲に捕へられた、早速、英國政府が干渉して三日の臭い飯の後身柄は保釋されたが、パリから百粁以外の地に退去を命じられた

シユヴアリエ許さる ドイツ軍の慰問與行をした廉で捕はれてゐた映畫歌手モーリス・シユヴアリエは二十二日釋放された、ドイツ軍を慰問には出掛けたが、たつた一回切りで、しかも報酬は受取らず、代りに十名のフランス兵捕虜を釋放して貰つた點を情狀酌量されたのである

マタン社長も收監　「マタン」紙の主筆のステファン・ローザンヌの處斷と時を同じくして逮捕令が出てゐた社長のギ・ギビュノオ・ヴアリラはいち早く姿をくらましてゐたが、二十二日捕縛された、罪狀は相變らず對獨協力罪である、逮捕された時、彼の鞄からは十九瓩の金塊が發見された

ギトリ引退聲明　アカデミー・ゴンクールの會員で、舞臺の名優として以外に作家としてもフランス文壇の一流に位置するサシヤ・ギトリは、これもドイツ軍がパリ占領中、芝居に出てゐたといふので捕縛されドランシイの監獄につながれてゐたが最近病氣で保釋され二十五日、もう舞臺はこりこりしたので引退し、今後は專ら作家生活に入る旨を發表したが茨は果してどちらの道に生茂るものか

パリ瓦斯會社沒收　パリ瓦斯會社はパリ解放委員會とセーヌ縣の合同決議によつて國家に沒收されることになつたと二十五日解放委員會副議長アモンが發表した、ドイツの占領期間、占領軍と協力して十分ガスを出してゐた癖に、解放後は朝晩二十分か三十分しかガスを出さぬのは怪しからぬといふのである

ビユジヨー將軍捕縛　フランスの國策航空會社「エール・フランス」の社長として、ヴイシー時代羽振りのよかつた（といつても翼は餘りなかつたやうだが）ビユジヨー將軍は　十四日捕縛された、罪名は繰返すのも面倒臭い

キヤバレー閉鎖要求　パリの新聞組合は十五日一齊に共同決議を發表して戰爭繼續中、ダンスホール、キヤバレ、ナイト・クラブを悉く閉鎖することを政府に勸告した「フランス國民が戰場に祖國の自由を血を以つて戰ひとりつつある時、一部特權階級の享樂機關の存在は許されない」といふのである、そればかりを樂しみにフランス三界まで出て來たヤンキー・トミーが承知するかどうか

惜みなく奪ふ米英　フランスの飢饉もいよいよ深刻化する形勢だがその原因が反樞軸軍の飽くなき無制限徵發に大部分の原因が存することは屢々指摘された通りだ、ドイツ軍の占領當時は、あれほど豐かだつた食糧が——とフランス人は今は昔の物語をなつかしんでゐる、二十四日のドイツ通信は、ドイツ軍占領當時のフランス人一人當りの獨軍維持負擔食糧を發表してゐるが、それによると次の通りだ

パン一日五十グラム、バター一週六グラム、葡萄酒二週四分一立、ポテト年四瓩

ドイツ軍が求めたところ如何に少量であり、如何に計畫的だつたかを明證するものだ、ドイツ側の統計によれば一九四四年の家畜數は、一九三三年の二割增で、反樞軸國軍がフランス國民をいたはる氣持ちと、計畫的な合理措置を採るかぎりフランスもベルギーも飢える必要はなかつたといふのが、その結論だ

南佛の爆彈騷ぎ　二十四日の晩は南佛ヴオクリウズの共和防衞軍セキユリテ・レピユブリケンの本部が時限爆彈で爆破され、二十九名の死者を出した、共和防衞軍といふのは抗戰團體の一つであるが、何しろ鬪牛の本場のことで、早速これに對抗する團體が生れ喧嘩最中だつたので、犯人は反對派の連中だらうといふことになつてゐる

ルクレルクの正體　「ストラスブールの英雄」として今フランスの人氣を一人占めにしてゐる佛第二機甲師團の司令官ジヤック・ルクレルク代將の正體がUP通信で暴露された彼の本名はフイリツプ・ド・オート・クロツクで一九四〇年フランス敗れる日は未だ大尉だつたが傷ついて病院にゐるところをドイツ軍に襲はれ變裝してドイツ軍の中にはいつて色々と軍の世話を燒いた上、隊を見て自轉車で逃亡、また捕はれてまた逃亡し英國に辿りついてド・ゴール軍に投じた、一九四一年にはド・ゴールの命をうけて北阿のカメルーンに渡り二十四名の兵と二人の土人を指揮して、チヤツドに進擊ボールレミイを占領して、ここに北阿軍を組織し、サハラ砂漠橫斷の冒險をやつて、チユニスで英第八軍に合流何時の間にか代將に鰻上つて師團長となつた——といふのが、その經歷だださうである

大正十五年十月廿八日第三種郵便物認可　昭和廿年三月廿八日第二種郵便物認可　昭和廿年三月廿八日　東京都麹町區日比谷公園二番　發行人　淡野伊八　發行所　同盟通信社

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號

同盟通信

海外電報

(280)

世界の焦点

猫の眼のやうに變るといふが、米國の軍需生産計畫にも相當朝令暮改のあとが甚しい、戰時生産局は今年の夏、一部の猛烈な反對を押しきつて米國民待望の民需生産の部分的再開を斷行したが、今度は再び全米の主要軍需都市にわたつて軍需再轉換の暫定的停止を指令した、その指令の範圍から推すと折角の民需再開もほぼ全面的に停止されてしまつたらしい、最近の米國軍需生産にはたしかに異變ともいふべき現象が認められる、それは重要軍需品の不足が頻に强調されはじめたことだアイゼンハウアーなどはその麾下の將兵をわざわざ歐洲の前線から米本國に派遣して全米の軍需工場を歷訪させ、最前線の米國兵が彈藥不足のために砲彈の發射にも手心を加へなければならぬやうな狀態におかれてゐることを說きまはらせてゐるが、一方國內でもルーズヴェルトをはじめ陸海首腦及び軍需生産關係者が再び聲をからして兵器の不足を叫び、軍需增産の必要を力說してゐる、今年の夏頃には軍需品の生産過剩が騷がれ、いはゆるReconvensionが米國最大の國內問題になつてゐたことを考へるとこれはたしかに異變でありまた逆行である

米國の軍需生産に何故かかる逆行的異變が起つたのであらうか、戰局が彼等の豫想通りの展開を示さなかつたこともその一原因であらう、ルーズヴェルトが選擧を控へて選擧民を喜ばすために無理をしてまで民需の再開を斷行したとも考へられよう、それが戰局の前途に對する米國當局の誤斷に基づくにせよ、或ひは國內的な政治上の事情にあるにせよ、これを貫いてはつきりと流れてゐるものは米國が戰爭の早期終結に思ひの他焦つてゐるといふことである

【目　次】

ギリシヤ反動政權遂に退陣……二九九〇
バパンドレオ辭表提出……〃
新內閣組織の形勢……〃
英國海軍司令部を襲撃……〃
英軍の戰車出動……〃
EAM圍要衝を占據か……〃
犧牲者の葬儀を執行……〃
ソヴエト軍事使節に發砲……〃
米國は干涉に反對……〃
チャーチル陳辯に努む……二九九一
英國の內政干涉を暴露……〃
條約批准憲法修正案可決……〃
スイス下院議長更迭……〃

【米　洲】
國務省改革を發表……二九九二
眞珠灣事件に軍法會議不要……〃
世界食糧事情……〃
世界ユダヤ人協會總裁……〃
ボリヴイア革命の眞相……〃

【歐　洲】
西媾和會議參加を要求……二九九三
反樞軸のデマを否定……〃
米對瑞謝罪……〃
スイス、モスクワ放送を否定……〃
勃、チトー政權へ代表派遣……〃
伊紙、敵のデマを反駁……二九九四
波居住ウクライナ人移住開始……〃
ベルギーの復興狀況……〃

【反樞軸陣營】
海運實行委員會設置……〃

【英　帝　國】
伊の地中海港奪取を圖る……〃
セイロン島新總督着任……〃

【ソ　聯】
重慶の國共和解失敗を攻撃……二九九五
石油工業人民委員罷免……〃

【ドイツ】
米軍の損害甚大……〃
海軍の戰果……〃
九百七機撃墜……〃

【東　亞】
米特使重慶の協力を要望……〃
レド公路打通後も困難絶えず……〃

【特　輯】
チャーチルの皮算用……二九九六
ギリシヤ內亂の狀態……三〇〇一

【資　料】
V二號封鎖新戰術……三〇〇三
ロケット・グライダーの實用性……三〇〇四

ギリシヤ反動政權遂に退陣

パパンドレオ辭表提出

（リスボン五日發）エラス國の武裝解除に關聯し、ギリシヤ國內は三日以來殆んど內亂狀態に陷るに至つたが、反樞軸軍の支援を賴み共產黨並びにEAM團の彈壓を續けてゐた首相パパンドレオも五日に至り遂に時局の收拾に失敗し、亡命國王ゲオルギオス二世に對し辭表を提出した

新內閣組織の形勢

（リスボン六日發）アテネ來電＝パパンドレオ首相はEAM團出身閣僚の後任決定したが、實際には左翼の總罷業により政治上の機能は全く麻痺狀態に陷り、本部「ホテル・グランド・ブレタニユー」において殘留閣僚と協議の結果、五日に至り遂に辭意を表明するに至つた、國王ゲオルギオス二世は一應辭表を却下したとも傳へられるが、國內の情勢は反動政權の存續を許さず、自由黨首領テミストクレス・ソフオリスがヴエネゼロス派進步黨並びにEAM團との聯立內閣を組織するだらうとの觀測が有力である

英國海軍司令部を襲撃

（リスボン五日發）アテネ來電＝パパンドレオ政權の彈壓と英軍の干涉に激昂したELAS兵團並びに左翼分子は遂にピレウスにおける英國海軍司令部を占據するに至つた樣子で英國艦隊司令部は五日朝次の通り發表した

暴徒は三日ピレウスにおけるギリシア艦隊並びに英國艦隊を襲撃し英人水兵三名は負傷し、通譯一名は卽死を遂げた、英國艦隊司令部はEAM團のために包圍され完全に占據された

英軍の戰車出動

（リスボン五日發）アテネからのロイター電報は次の通り報道してゐる

四日午前プレウス港における英軍、ギリシヤ軍の艦隊司令部を攻撃したエラス兵團數百名は英軍戰車が出動四時間に亘る戰爭の後擊退された他のエラス兵團は海軍兵學校附屬病院を襲擊依然として占據してゐる

EAM團要衝を占據か

（リスボン五日發）エクスチエンジ・テレグラフ社の報道によれば四日午後十一時以後アテネとの電話聯絡が遮斷されるに至つたため、ギリシヤ國內の情勢は混沌として判明しないといはれるが、ロイター、AP、UP各通信の報道を綜合すればパパンドレオ政權の彈壓政策にも拘らずEAM團並びに左翼の武裝示威は益々奏功しピレウス港並びにアテネ市內の要衝は示威團の掌中に歸してゐると解される、ロイター電報によれば四日夜來約一個師と推定されるエラス兵團がアテネ市內に進出し特に中央刑務所並びにテシウム地區で激烈な市街戰を演じた後要所要所を悉く占據したといはれる、B・B・Cの報道によれば、ギリシヤ軍のアルプス山岳隊は誓く形勢を傍觀してゐたが、エラス兵團が旅團司令部を襲擊したため戰鬪に參加、裝甲車でアテネ市街を巡邏し、武裝示威隊の鎭壓に努めてゐるとも傳へられる、英軍は司令部附近を嚴重警戒してゐるが、刑務所附近の衝突に際してはギリシヤ憲兵に協力し、多少の死傷者を出した樣子だ、パパンドレオ政權は戒嚴令布告とともに、アテネ警備司令カタオタス大佐に全權を委任、同大佐は五日午後四時までにアテネ市街から撤退しない場合エラス兵團を悉く敵軍と看做す旨布告を發表したが、エラス兵團は新內閣の成立まで飽くまで抗爭を繼續する旨宣言、强硬な決意を表明してゐる

犧牲者の葬儀を執行

（リスボン五日發）アテネ來電＝EAM團中央委員會はパパンドレオ政權の禁令を無視し三日の騷擾で卽死を遂げた同志二十三名の葬儀を執行したが、市民約一萬五千人が憲法廣場に參集墓地に示威行進した

ソヴエト軍事使節に發砲

（リスボン五日發）アテネ來電＝ギリシヤ正規軍は五日アテネ街上を通行中、ソヴエト軍事使節ポポフ大佐の自動車に揭げられた赤旗をEAM團旗と見誤り發砲したが、同大佐は直ちにアテネ警備司令に抗議を提出した

米國は干涉に反對

（リスボン五日發）アテネからのUP電報によれば米國公使リンカーン・マクヴイーは五日「ギリシヤ內政に對する干涉には米國政府は反對なる」旨を言明したと傳へられる

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

チヤーチル陳辯に努む

(ストツクホルム五日發)ベルギー國内の騒擾に引續きギリシヤ國内の擾亂に關し英軍司令官が現存政權を支援して民意を抑壓する政策に出てゐることに對しては英國政界筋にも漸く反對意見が擡頭するに至つたが、ロンドン來電によれば、首相チヤーチルは五日英國下院においてギリシヤ國内の狀況につき次の通り陳辯したと傳へられる

「四ケ年に亘る戰爭の後ギリシヤ國民生活と經濟を再建するには先づ國内の安定を維持し公正な條件のもとに總選擧を執行せねばならないが、先づ憲法に基く政權の權威を全國に亘つて承認することが前提要件である、若し國内に特殊の政派に忠誠を誓ふ私兵が存續する限り如何なる政權といへども確固たる基礎に立つことが出來ない、以上の事實は自明の理であるにも拘らずギリシヤ左翼政派の閣僚は一旦同意したEAM國民軍の解散令施行に反對して辭任し總罷業を指令するに至つた、英國政府の立場は極めて明瞭である、王政をとるか共和制を布くかはギリシヤ國民自身の決定するところである、左翼の政權を組織するか右翼の内閣を結成するかも亦彼等の決定に俟つ、しかしながらドイツ軍に對し使用するために英國政府が供給したトミー銃が國民に意思を表明する機會も與へず暴力によつて共産主義の獨裁を布かうとする企圖のために濫用される場合には英國政府としてはギリシヤ國民に援助を與へることは出來ない」

以上の釋明に對し勞働黨のピーシツクローレンスは「騒擾鎭壓の名のもとに英國政府が一方の派閥を支援してゐるのではないか」と痛いところを突いたがチヤーチルは

「英國政府がギリシヤ國内の治安維持に關する責任を負擔してゐることは事實であるが、ギリシヤ政權が派閥的統治をギリシヤ國民に押し付けようと配慮するであらう」

と答辯した、特にパパンドレオ政權が三日アテネ市街の騒擾鎭壓に當り約二百名の婦女子に一時間に亘り射撃を加へたことが「タイムズ」紙のアテネ特電で傳へられ重大問題化してゐる樣子だが、勞働黨ではギリシヤ内亂につき本格的討議を要求してゐるので首相チヤーチルは近く再び英國政府の立場を説くこととなつた

英國の内政干渉を暴露

(リスボン五日發)英國首相チヤーチルは下院においてギリシヤ内政に干渉する意思がない旨を陳辯したが、アテネからのロイター電報によれば自由黨の首領八十歳の老政家ソフオーリスは五日夜次の聲明と發表したと傳へられる

「パパンドレオ首相が四日夜後繼内閣の組織を要請した左翼並びに極左各派も余のもとに聯立内閣に協力する旨同意を表した、しかるに英國大使は五日午前に至り首相チヤーチルの所令として現下の情勢でギリシヤ政權の更迭は出來ない旨余に通告してきた、午餐に當り英軍司令スコビー少將が余を訪問し、パパンドレオ首相が歸任するから支持を與へるやう要求した、余は現政權を支持することは獨裁政治を支持することになるから到底出來ない旨回答した、米英國論に兩國の訴へるため以上の事實を敢て發表する」

條約批准憲法修正案可決

(リスボン五日發)ワシントン來電=下院法制委員會は五日十四票對四票をもつて議會の條約批准權に關する憲法修正案を可決本會議に廻附した、現在の憲法の規定によれば米國政府が外國と締結する國際條約は上院が三分の二以上の多數をもつてこれを批准するを要すとなつてゐるが、今回の憲法修正案はこの規定を廢し上下兩院の多數決をもつて批准せんとするもので國際條約に對する下院の發言權を要求したものである、この法案は上下兩院を通過した上更に各州議會四分の三以上の承認を必要とするが、下院はともかく上院では猛烈な反對にあふと豫想される

スイス下院議長更迭

(チユーリツヒ五日發)スイス下院議長パウル・ギスラー博士は五日辭職、後任に副議長パウル・アルトウエク博士が任命された、また副議長の後任にはヨゼフ・ピラー博士が選ばれたギスラー博士の辭職原因は明かにされてゐないが恐らくソ聯との國交修復に失敗した責任を負ひ前外相ピレ=ゴラズ博士の後を追つて退陣を決意したものと解される

【米　洲】

國務省改革を發表

（リスボン四日發）ワシントン來電＝大統領ルーズヴエルトは四日新國務次官グルーの任命を初め國務省の廣汎な人事異動を發表したがこれに關する大統領聲明次の通り

「余はジョゼフ・グルーを國務次官に任命しその承認を求めるためこれを上院に回附した、余はさらにアドルフ・バール、ブレツケンリツヂ・ロング、ハウランド・ショーの三國務次官補の辭職によつて生じた空席を補填するためウイリアム・クレイトン、アーチボルド・マクレイシュ、ネルソン・ロツクフエラーを新國務次官補に任命、これまた上院に回付した、クレイトンはシカゴにおける航空會議終了後民間航空に關する事情を余に直接報告することとならう、ロツクフエラーは米洲諸國事項を管掌すべく彼は米洲通商文化調整委員長を辭職するが當分はその後任を任命せず、彼が引續き同委員會の政策を指導することとならう、マクレイシュは公共、文化關係事項を擔當する、一方前國務次官補バールは目下開催中の反樞軸國際航空會議が終了するまで依然その議長をつとめるであらう、またデイーン・アチソンは依然國務次官補として國務省と議會との關係並びに米國の參加する國際會議に關係事項を擔當することとならう、國務省の機構を强化するその他の任命は近い中に行はれる筈である、特に余はノーマン・アーマーを海外における或る重要な外交任務に就かせる意向である」

眞珠灣事件に軍法會議不要

（リスボン一日發）ワシントン來電＝陸海軍兩長官、スチムソン、フオレスタルは一日次の通り發表した

陸海軍はそれぞれ特別委員會を任命して眞珠灣空襲事件の眞相調査にあたらせ、その報告は最近陸海兩長官の手許に屆けられたが、報告內容を檢討した結果軍法會議を開く必要はないとの結論に達した

事件の眞相調査は議會の要求によつてなされたものだが今回の發表によつて陸海軍はあくまで頰被りをきめこむ方針が明らかとなつたがこれに對する議會の反響が注目される

世界食糧事情

（リスボン四日發）ワシントン來電＝農務省は世界食糧事情に關し四日次の通り發表した

世界人口の六十パーセントを表はす三十箇國についての調査は食糧生產が戰前の水準より七パーセント增加してゐることを示してゐる、この調査は一九四二年及び一九四三年における生產狀況に基づいたものである、この食糧增產率は北米では三十パーセント、南米では十七パーセントそれぞれ增加してゐる、しかし生產高は西歐洲、北アフリカ、中アジアでは減少してゐる、しかし正常な農耕作業の回復と同時に、これらの地方の大增產は必然である

世界ユダヤ人協會總裁

（リスボン四日發）ニユーヨーク來電＝去る十一月二十六日から三十日までニユージヤーシー州のアトランチツク・シテイで世界ユダヤ人協會大會が開催されたが、席上同協會總裁として米國シオニスト協會の創立者ステイーフン、ワイスが任命された

ボリヴイア革命の眞相

（リスボン二十九日發）「タイムズ」紙ブエノスアイレス特派員は二十一日、ボリヴイアの叛亂に關する詳報を次の通り傳へてゐる

「十一月十九日夜ヴイヤロエル大統領を首班とするボリヴイア政府を武力によつて打倒せんとする陰謀が企てられたが失敗に終つた、叛亂軍はメリート・ブリト、オヴイデイオ・キロート兩大佐指揮の下に當初成功を收め、オルロ市の兵舍を占領したが後刻ボリヴイア政府は叛亂は鎭定され、首謀者は國軍の追擊を受けて悉く國外に遁走したと發表した、しかしてボリヴイア全國を通じて戒嚴令が布かれ、夜間九時以後は市民の外出が禁止された、同日ヴイヤロエルはラジオを通じ國民に

政府は、昨年十二月二十一日瓦解した前大統領ペニヤランダ將軍を首班とする「反動的寡頭政治」支持の一味によつて革命的な大陰謀が企てられてゐることを探知した

と報告した

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ボリヴイア革命は鑛山主に對して行はれ國家主義的革命運動ならびに左翼の革命團體によつて支持されたものであり、反樞軸諸國は革命政府が親樞軸的であり、アルゼンチン政府によつて使嗾されたとの理由で數ケ月間これを承認することを拒否した、國家主義的革命運動は今なほヴイヤロエル政府の支柱となつてゐるが、革命團體の若干團員は脫退し今回の叛亂に加擔したと傳へられる」

また「タイムズ」紙のラパス特派員は次の通り報道してゐる

「ボリヴイア革命の首謀者技師ブリト(メリト・ブリト大佐の兄弟)ガロン大佐、パシエリ大佐、並びにロアイサ・ベルトランの四名は死刑に處せられた、政府の機敏な措置により、叛亂を指揮した將校團は解散せしめられ、ブリト大佐始め首謀者若干は逃亡した、ブリト大佐は逃亡前ボリヴイア中央銀行支配人から三百萬ボリヴイアノを强奪した」

【歐洲】

西、媾和會議參加を要求

(マドリード四日發)スペイン統領フランコ將軍が過般スペイン代表の媾和會議參加を要望したのに對し、米英ソ三國はスペインの「非交戰國」としての地位を楯に反對したがスペイン外相レケリカ氏は四日「ニューヨーク・タイムズ」紙マドリード特派員ボール・ケネデイと會見眞の恒久平和の確保を希望する限りスペインが將來媾和會議に參加することは絶對に必要である

と言明した

反樞軸のデマを否定

(マドリード一日發)反樞軸各國はスペインを樞軸から離反させようと圖つてさまざまなデマ宣傳を行つてゐるが今回またも流布されたスペイン放送局がドイツの管理下にあるとの報道に關しスペイン政府は一日次の通り公式に否定した

政府はスペインについて流布されるさまざまのデマ報道を一々否定するのに倦き倦きしてゐる最近流布されたスペインの一放送局が今年七月ドイツとフアランヘ黨との密約によつて設立されたものであるとの報道もその一つだが政府はスペインの放送局が全くスペイン政府自身によつて管理されてゐることを主張するまれ「ABC」紙は現政權に對する反樞軸國の誹謗について一日次の通り鋭い論評を揭げてゐる國民は自國の指導者を支持してをり、海外の左翼分子が國民の支持を受けることは決してない文明國の市民は自己の好む政府を選ぶ權利を持つてゐるが、スペイン國民もまた大いなる犧牲を拂つて地位を獲得し、スペインを繁榮に導いた現在の政權を支持するであらう、過般の西佛國境地帶における亡命赤色分子のゲリラ戰の失敗はスペインが彼等の入國を欲してゐないといふことを全世界に示したものだ

米、對瑞謝罪

(チユーリツヒ三日發)ベルン來電=スイス政府は三日次の通り發表した

米國政府は九月五、八、九、十、十一の五日間に亘る米軍機のスイス領空侵犯に對し正式に遺憾の意を表明、右行爲によつて生じた損害については賠償をなす旨誓約した

スイス、モスクワ放送を否定

(リスボン四日發)ソ聯、スイス兩國關係は國交修復問題を繞つて惡化の一途を辿り、モスクワ報送はドイツがアルゼンチン向けのスイス外交便を諜報活動に利用してゐると稱してスイス政府を攻擊したが、ワシントン來電によれば米國駐在スイス公使館は四日聲明を發表してモスクワ放送を否定したといはれる、スイス政府が特に米國駐在の公館をして否定させたことはソ瑞紛爭に米國の介入を希望したもの解せられ、各方面の關心を集めてゐる

勃、チトー政權へ代表派遣

(ストツクホルム二日發)ソフイア來電=ブルガリア政府は元藏相ペーテル・トデロフをユーゴー國民解放委員會に對するブルガリア政府代表に任命、同人は一日ソフイアを出發任地ベルグラードへ向つた

伊紙、敵のデマを反駁

（チューリツヒ二日發）イタリア國防相グラチアーニ元帥は「陸海空三軍を改編する」旨二十一日言明したが、スイス通信社のキアツソー電はファシスト黨機關紙はグラチアーニ元帥の言明に關聯し流布されてゐる噂を否定し次のやうに報じてゐると傳へてゐる

グラチアーニ元帥が軍編成替について言明したところから、元帥は國防相を辭職したとか陸海空三軍は解散されるだらうといふ噂が起つてゐるがそのやうなことは事實無根である、卽ち元帥は今週ミラノでファシスト軍を閲兵した、またイタリア空軍は作戰を繼續してをり一方陸軍のモンテローザ大隊もアペニン山中でドイツ軍と共に反樞軸軍と戰つてゐる

波居住ウクライナ人移住開始

（ストツクホルム二日發）モスクワ放送によればウクライナ共和國政府とポーランド國民解放委員會との間に成立した協定に基づき、ポーランド在住ウクライナ人のウクライナ移住が開始され第一隊がルウオフに到着した

ベルギーの復興狀況

（リスボン二日發）ブリユツセル來電＝ベルギー駐屯反樞軸軍司令官ジョージ・エアスキン大將は二日次の八項の事實を擧げて、ベルギー國内の復興狀況につき報告した

一、ベルギー政府が保護を加へてゐる避難民のうちにはドイツ人一萬名、ロシア人六千名が含まれてゐる

二、東部國境の新作戰地域を除き、國内の通信機關はすべて復活した

三、國内の發電所の約七十％は發電開始の準備をすすめてをり、六十％は既に活動を開始した

四、英米兩國の機關車が國内の鐵道線に使用されてをり、民間貨物用のトラツクの數は九月中旬に比し倍加してゐる

五、鐵道は二十五哩に亘つて敷設され、大多數の高架橋は修理を完了した

六、國内の水路の大部分は活動を開始し、多くの橋も修理された

七、國内で封切された映畫は、特作が米國物四十六、ロシア物十、英國物二十六、合計八十二本短篇百本、ニユース七百餘本である

八、國内の經濟再建問題を處理するため、英米兩國公使、ベルギー政府及び反樞軸軍最高司令部使節を代表とする四頭會議が設立された

さらに同大將は

われわれは協力一致再建計畫遂行のため必要物資の獲得に努めてをり、既にベルギー政府は原料物資の輸入交涉のため、ロンドン及びワシントンへ經濟使節團を派遣したと述べてゐる

【反樞軸陣營】

海運實行委員會支部設置

（リスボン四日發）ワシントン來電＝米國戰時海運局は四日夜次の報告書を發表した

「反樞軸諸國は歐洲戰終了後から對日戰終了までの期間その海運を統合調整するための機關として今回ロンドンとワシントンの二ケ所に海運實行委員會支部を設置することとなつた、右機關の運營は米國戰時海運局並びに英國戰時交通省の支援の下に主として米英蘭諾の四海運國によつて行はれその他ベルギー、カナダ、ギリシヤ、ポーランドの四ケ國も代表を派遣することとならう」

【英　帝　國】

伊の地中海港奪取を圖る

（ストツクホルム四日發）外相イーデンは過般イタリアに植民地を返還する意圖がない旨を失言してボノミ政權から强硬に捻ぢ込まれたが、ロンドン來電によれば英保守黨下院議員コンヂフは最近政府に對し「地中海における新海空軍基地としてはイタリア領リビアのトリポリ、ベンガジ兩港が最適當と思はれるから英國は戰後も以上の兩港を領有すべきである」と提案、またまたイタリア傀儡派間に物議を釀してゐるといはれる

セイロン島新總督着任

（リスボン四日發）ロンドン來電＝印度セイロンの新總督サー・ヘンリー・ムアは夫人同伴で空路コロンボに到着した

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【ソ　聯】

重慶の國共和解失敗を攻撃

(リスボン三日發)國共(重慶延安兩政權)の和解交渉が中共代表周恩來の重慶乘り込みと蔣介石及び米國側との會談によつて一進展を豫想され、これに對するソ聯の態度が注目されてゐる折柄、三日のUP通信モスクワ電及びニューヨーク放送によればソ聯の言論機關は蔣介石が中共との和解に失敗してゐたことを一齊に攻撃し、妥結を要求してゐるといはれる、卽ち共産黨機關誌「プラウダ」は「蔣介石は支那の國家的統一結束を確立し得なかつた」との論評を掲げ政府機關紙「イズヴエスチヤ」は蔣政權の性格を反動的で降服の意志を持つ政權だときめつけて強硬に抗議し重慶政權が中共の協力を拒否したことを特に非難して

かかる協力の拒否こそ最近日本軍が支那においてあのやうな作戰の大進展をみた原因だ、蔣政權が同じ政策を繼續する限り戰爭は效果的に指導出來まい

と結んでゐるといはれる

石油工業人民委員罷免

(モスクワ一日發)最高會議幹部會は一日の公報で石油工業人民委員セーヂン氏を罷免しその後任にニコライ・コンスタンチノヴイチ・バイバーコフ氏を任命した旨正式に發表した、但し罷免の理由は詳かでない

【ドイツ】

米軍の損害甚大

(ベルリン三日發)總統大本營三日公表＝西部戰線において反樞軸特に米軍の兵員並びに器材の損害は戰鬪の苛烈さにつれて增大しつつある、十一月中に反樞軸軍捕虜五千二百以上を得たが、戰死傷の數はこれに數倍する、更に敵戰車並びに裝甲車輛千五百十五輛を破壞乃至鹵獲した

海軍の戰果

(ベルリン一日發)總統大本營公表＝海軍は十一月中に商船七隻計三萬五千五百トン、驅逐艦八隻、潛水艦一隻、快速艇四隻、哨戒艇四隻、上陸用舟艇十七隻を撃沈し、商船八隻、快速艇五隻を撃破した

九百七機撃墜

(ベルリン二日發)ドイツ軍當局は二日次の通り發表した

「ドイツ制空部隊は十一月中に反樞軸空軍機九百七機を撃墜、うち四百六十六機は四發重爆であつた、この戰果は戰鬪機隊の活動が天候不良のため制肘を受けたので大部分高射砲隊の活躍によるものである」

【東　亞】

米特使重慶の協力を要望

(リスボン三日發)重慶來電＝米大統領特使としてさきに重慶に到着したミカエル・マンスフイールドは三日次の通り言明した

重慶における余の使命は重慶現下の經濟的財政的狀態を明確に把握することである、米國は重慶を援助する意志があるだけでなく、重慶の助力を必要としてゐる、すべては重慶政府の努力にかかつてゐる、余は蔣介石を初め各要人を訪れ重慶には二週間滯留する豫定だが、その後は成都及び廸化を訪問するつもりである

レド路打通後も困難絶えず

(リスボン三日發)重慶來電＝ウエデマイヤーのもとに重慶軍戰鬪訓練部隊司令官に就任したフランク・ドーン代將は去る三十日次の通り言明した

レド公路が啓開された場合でも、重慶の一切の困難が解決されることを決して意味するものではない、米軍は重慶軍に訓練と裝備を施す計畫を持つてゐるが、たとへわれわれが無制限に補給物資を注ぎ込める輸送路を開いても、この物資をどうやつて北支或ひは東支に持つて行けるか、重慶は輸送條件に制約を受けてをり、支那の道路狀態は大規模な自動貨車輸送隊の活動を許さないばかりか、重慶には燃料の困難がある重慶は餘りに種々雜多な事情に制肘を受けてゐるので、支那全域にうまく行渡らせることは不可能である

特輯

チヤーチル皮算用

長谷川　才次

歐洲戰爭は何時片付くか、片付いたら國防非常大權法に基く各般の制約がどうなるか、これが英國人最大の關心事だ、滔々たる國内の樂觀論を抑へるためチヤーチル首相は十月二十七日モスクワ會談の經過報告、十月三十一日議會延長法案の說明、十一月七日ロンドン市長の午餐會と三回に亘り演說してゐるが、結論は要するに歐洲戰爭は來年の夏までかかるし、現行の統制は東亞反攻作戰が濟むまで原則として維持するといふことだ

以上の演說の他に十月二十六日の下院で、海外出征期間短縮案に關聯し、チヤーチル首相は嚴重に下院に警告してゐるが「デーリー・メール」紙は翌二十七日の社說でことの眞相を次の通り傳へてゐる

チヤーチル首相は二十六日下院で陸軍兵士の海外出征期間に關する討議を拒否した、キンテン・ホツグは他に二百五十名の議員の支持を受けてゐると稱して「海外出征兵士の服務期間短縮」を政府に要求する動議を提出した、チヤーチル首相は以上の討議要求を拒否した上、現在かかる動議を提出することが如何に失當であるかについて可成り嚴しく議員連に說教した、しかし東亞戰線に出征してゐる兵士の妻が公然抗議してゐるあの感情の發露を見れば、これは決して無視出來る譯きでないことが明かだ「デーリー・メール」社には每日投書が舞込んでゐるが問題は仲々深刻だ、殊に同じ戰線で米軍の服務期間は大體二ケ年に限定されてゐるし、各自治領の兵士達も大體同じ位だのに英國兵だけは期間がずつと長くかつきまつてゐない、當局としてはぐづぐづせずに、これらの兵士に對して決して「忘れられた軍隊」でないことを實證してやらねばならぬ

戰局樂觀は禁物

要するにチヤーチル首相の意見は、歐洲戰局の前途を樂觀するのは禁物だといふにあり、モスクワ會談の經緯についての報告演說でも特にこの點を强調してゐる、演說の要旨は旣に紹介したから次にロンドン各紙の論評を傳へよう

「ニユーズ・クロニクル」紙十月二十八日附＝首相は二十七日下院でスターリン議長との會談の經過を要約した、當初チヤーチル首相は一つ二つ大事な言葉を洩らしてゐる、「われわれは今最後の段階に入つたと信じてゐるが、戰爭を終らせるのに全面的な努力を傾倒しなければ終局を殆んど堪へ難いぐらひ長びかすこととならう」これこそ深刻な警告で絕對に無視出來ない、フランス、ベルギー兩國が比較的容易に解放されたので、ドイツ本土においても同じ進度を維持出來るのではないかと思ふやうになつた、しかしアルンヘムにおけるドイツ軍の反擊、シエルト河口の激戰、アーヘン地區でのドイツ軍の長期抗戰等々はすべて情勢が變つた徵候だ、恐らくもうひと冬戰爭を覺悟せねばならず、若し直接の任務達成のため全力を傾倒しなければ、早く勝利を收めることすら出來なくなるかも知れない國民の努力を分散させる餘地がない所以だ、「もう萬事濟んだ」と思込むことは計り知れぬ害毒を及ぼすこととならう、或る議員は二十六日海外出征期間の短縮を提案して首相から痛く叱られた、われわれのあるものは疲れてゐるし、早く樂したいといふ氣持が强い、しかし今位一オンスの精力をもあます所なく抗爭に注ぎ込まねばならぬ時はかつてない」

「われわれは疲れた」と社說で泣き言を並べてゐるところに英國現在の社會相を把握すべきであらう

米英ソ協力の必要性

次に「タイムズ」紙は同じく十月二十八日の紙上に「統一戰線」と題する社說を揭げ、特に米英ソ三國間の政治上の懸案に重點を置いて次の通り論じてゐる

「チヤーチル首相はモスクワ會談の經過について議會に報告するに當り、聯合各國に依然要求されてゐる兩要件につき改めて力說した

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

即ち勝利は迅速且つ完全でなければならないといふことである、人類の苦難を長びかせないために勝利は迅速でなければならず、勝利國が世界再建に乘出す場合に明確に情勢を押へることが出來る意味で勝利は完全でなければならない、終局がみえ出したといふので一般國民の間に氣がゆるむやうなことがあつてはならず、特に努力を強化し且つ聯合國が最後の戰場まで否更にその後まで相互の信賴を維持するといふのが必要な條件だ、ドイツ軍は以上の條件の何れかが缺けるのを望んで目下棄て身の抗戰に出てゐる、しかし包圍されたドイツ本國の周邊到る所から來る戰況報道に徵すれば聯合軍と聯合各國民の決意はかつて見なかつた位嚴正であり、モスクワから持つて來たチヤーチル首相の報告によれば、聯合國の「奥の院」でも萬事が旨く運んでゐることは確かだといつても全然意見の相違がないといふわけではない、しかしお互に隱忍して意見の對立を緩和し、即時打開の方策がない場合にも、そのために行動の統一を阻害することがないやう配慮することだ、以上の原則を實施する意味でモスクワ會談はケベツク會談への補足である、しかしチヤーチル首相のいふ通り、米英ソ三國間における同時商議に代る對策はなく年末までに三國政府の首班がまた會議するかも知れない、意見が一致した領域に比べれば、見解の相違は政策の狹い範圍について存在するだけだ、久しきに亘る曖昧と躊躇の後、フランスと聯合各國の關係が主要三國の共同動作によつてはつきりしたので、下院としてもほつとしたに違ひない、チヤーチル首相はまたバルカンの「荊棘多い」領域全般に亘つても米英ソ三國の意見が完全に合致した旨證明してゐる、傳統的に國際葛藤の地域として知られる地域について以上の結論を得たのは素晴らしい外交上の業績である、ポーランド國境紛爭は首相の提示した「重大爭點二件のうちの一つである、もう一件は一面廣くポーランド人を代表しながら、他面ロシアとの緊密な協力を確約するポーランド政府の樹立である、チヤーチル首相が指摘した通り亡命ポーランド政權がもつと前の段階において英國政府の忠言に聽從してゐたらルブリンに對立政權を樹立する必要が抑々起らなかつたかも知れない、今日の現狀においても兩政權がミコライチク首相の指導のもとに合流して新しいポーランド政府を樹てる途が依然拓いてゐることは明かだ、しかし貴重な時間をもう一度空費すれば途はもう拓いてゐなくなつてしまふかも知れない、次の對策に關する責任は第一に且つ誰よりもミコライチク首相とその一黨とにあり、將來のポーランドの本當の利益のために讓歩して死活的な寄與をするやう要望されてゐるわけだ」

ロンドン來電によればミコライチク首相は速かに拄冠して副首相が新內閣を組織するといふが、ソ波兩國の紛爭はチヤーチル首相と「タイムズ」紙との警告にも拘らず依然として片付かない

國民の厭戰氣分

モスクワ會談に關する報告の後僅に三日、チヤーチル首相は議會延長法案に關聯し歐洲戰局論を一席辯じ上げてゐるが、反樞軸陣營の代表的な見方として全文を譯出しよう、しかしその前に評論家A・J・カミングスが十月三十一日の「ニューズ・クロニクル」紙で述べてゐることが面白い

「チヤーチル首相は今日下院で、歐洲戰爭がすむまで聯立內閣を維持するやう要請する豫定だ、しかし來年に入つてなほ數ケ月を要するといふ以外首相は歐洲戰爭の終りについて豫言はしないだらう、首相はモスクワ會談の際スターリン議長との問題を愼重細目にわたり檢討したといふのが專らの噂だ首相自身の見當は來春でスターリン議長の見透しは夏のなかばだといふ、西部戰線における反樞軸軍の司令官達が、もつと樂觀的な意見を抱いてゐることは疑ひない、しかしワシントンでもロンドンでもドイツが近く崩壞するといふ一般の希望を押へるのに躍起となつてゐる、英國人が一層すつかり、戰爭が長びくといふ諦めをつけて了へば、聯立內閣の要人連が相互にがつちり組み合ひ、政界に漲る焦燥氣分を押へることが容易とならう、しかし英國民に對しては戰時內閣が考へてゐる通り現實的に戰爭終了の見透しを傳へるのが至當だ、五ケ年以上も戰爭でゐるのだから國民が相當疲れてをり、もう最後の段階だといふこと

を當局から話して貰ふことを望んでゐることは勿論だ、しかし自家陶醉の危險について御說教を承る氣持は全然ない」

ニューズ・クロニクル紙は再び英國人の戰氣分を示唆してゐるが、かかる民心の動向を背景としてチヤーチル首相の演說を檢討しよう

チヤーチルの戰局論

先づ歐洲戰局が片付くまで聯立內閣を持續すること、戰爭は來年夏まで續くといふのが英國首相の提言だ

「今回議會をさらに一ケ年延長することを要請するが、果して議會がそんなに長く續くかどうか余自身大いに疑問を抱いてゐる、反對の方向に働き乃至違つた角度から働く有力な未知の諸要因あり、先づ聯立內閣を構成してゐる各政派の大會が降誕祭直前乃至直後開催されるが、これら會議で政黨政治に復歸することが强く要望される公算を決して無視出來ない、他方ナチ・ドイツに對する戰爭が果して何時すつかり終つて了ふか、乃至遊擊戰の段階に入るか豫言することは出來ない、各組織政黨が仕事を最後まで仕終らせる決心だと確信する、勞働組合の一大運動の間では、ナチ主義を片付けて了はうといふ決心が强く徹底してゐるので、勞働組合運動が以上の意見だといふことには先づ疑問の餘地がない、余自身もまたナチ王國が崩壞するに先立つて、政黨聯立が崩壞してはならないといふ强い考へを持つてゐる、これわれらが現政府に參畫した當時の目的であり依然として英國民と英帝國の安危がかかるところの至上の目標である、先日も述べた通りドイツとの戰ひが正式に終了したと宣言出來る日を測定しようと、いくら企圖しても單なる臆測を一步も出ることは出來ない、ドイツ國內における政治的變動で、忽ちにして歐洲戰爭が終了を告げるかも知れないがこれに對し突擊隊並びに特別警察隊が確立したドイツ國民生活の全般に亘る鐵の統制をあげねばならない、したがつてドイツの國論が普通なら反應を示す場合もこれを全然期待することが出來ず、ドイツ國內における政治上の蹶起に依存出來ない軍事上の根據からは降誕祭以前に、否復活祭以前に戰爭を終らせることは出來さうもない、尤も正しい判斷を下だす手段を色々持つてゐる最高軍當局は既に述べた通り、一層好望的な見解を表明してをり、ドイツ軍に對しては一切の努力を從來同樣今後も續けることはいふまでもないが、ドイツ軍に幾多の地點で遮斷されても、また明かに見込みのない陣地をすら防衞して飽くまで强靱に戰つてゐる、オランダ戰線並びにモーゼル河畔においては猛烈な勢で反擊に出てゐる、港灣の修復兵站補給の建設と前線への兵力集結とに、いまだなすべきことが非常に多い、イタリア戰線においては戰鬪は最も頑强な性格を示し天候もまた崩れた、東部戰線では特に北翼と南翼とが活潑な動きを示してゐる、ロシヤ軍の力戰とロシヤ並びに聯合各國の巧妙な外交が多大の成果を收めたのである、しかし距離が非常に大きく、今後さらに幾多ドイツ軍の陣地を襲擊し覆へさねばならない、以上の情勢をすべて考慮すればドイツ軍との戰ひが春の終までに片付くとか、初夏の候に先立つて濟むとか、保障は勿論豫斷することも出來ない、もつと早く片付くかも知れず、その場合には誰れよりも余自身が喜ぶに違ひない、何れにせよ、英國がナチ・ドイツに對して如何なる地位に立つてゐるかを知る前に、現在の政府機構を解體するのは、われ等の國の聲望に信じない間違つた行動であることをここに斷言してはばからない、假りに無考へでかかる災厄を强要する人々は自ら測り知れない責任を負ふだらうし、その行動は國民一般の指彈するところとならう、責任ある筋には何處にもかかる望みのしるしが全然みえないのは感謝に堪えない、しかし假りに歐洲戰爭が來年三月四月または五月に終了し、聯立內閣のうちの或る政黨乃至すべての政黨が內閣から出身閣僚を引き上げ、或ひは右日取をもつて聯立內閣を打切ることを要望すると假定しよう、かかることは極めて多數の人々にとつて、公けの立場からも個人的な見地からも、まことに殘念なことに違ひないが、一度ドイツが敗れる以上、かかる措置法はこの政府乃至この下院におけるお互の間で非難すべきことでもなければ根に持つべきことでもない

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

蟲のいい總選擧論

次いでチヤーチル首相は歐洲戰爭が片付くといふ皮算用に基き、總選擧施行の場合の手順を述べてゐるが、先づ聯立内閣を解體し保守黨内閣の手で總選擧を取り行ふ肚らしい、要するに皮算用に基いた砂上の樓閣だが、英國政界の雲行きを打診する資料として以下に譯述しよう

「如何なる理由があらうともいはゆるクーポン選擧をやつてはならないとよくいふが、クーポン選擧とは惟ふに大半の選擧區において各公式政黨がお互に對立する候補を立てず、批判し反對する人々に對し確固たる共同戰線を布くことを意味するのであらう、換言すれば現在の聯立内閣が全國に出かけて行つて選擧民から信任の更新を得ねばならぬとの意味であらう、勿論聯立内閣が全國民の信任を得ると確信するが、かかる造り方が國論を打診する妥當の仕方ではない、否かかる造り方に對しては各政黨の同意を求めることが全然出來ないと考へる人が少くないことを認めざるを得ないかかる仕方では選擧民が自由な選擇を表現するのを阻害すると感じてゐる人々が多い、一旦議會が解散になると同時に、閣僚連がお互の政見や業績に非常な不滿を表明して全國を遊説し、しかも同じ内閣に踏み止つて時局の最も重大な事柄を同僚として論議することは到底實行出來さうもない、さうかといつて逆に各黨の領袖たる閣僚が沈默を守つて自黨乃至自黨の候補者の命運に表面無關心を裝ふことも妥當ではなからう、以上の議論の重みと力とをどうしたら簡單に避けることが出來るか自分には分らない、したがつて議會の解散は必然的に現内閣の終焉を畫する、現在保守黨が下院の各派並びに無所屬議員を加へたよりも百名以上の過半數を擁してゐるから、結局總選擧を執行する場合、手配をする仕事はわれわれの擔當するところとならう、しかし慌てふためいて總選擧をやらうといふ人々はをるまいから、必ずそこに幕間がなければならない、その上選擧權を行使出來る立場にある有權者が選擧權行使の機會を逸しないよう注意せねばならない、本國から非常に遠隔な地點で服務してゐる多數の兵士については特にしかりである、陸海空三軍の非常に大勢の兵士に投票する十分の機會を與へないくらゐ恥づべく且つ不見識なことはないと思ふ自分の考へでは英國中で兵士は誰れよりも選擧權を行使する權利を持つてゐると思ふし、われわれがすべてを負ふてゐるこれらの人々が自國の直接の將來を決定するのに十分な役割を演ずるのを阻害するやうではわれわれとしては、全く恥ぢ入らねばならない、非常に遠隔な部署についてゐる一人々々の兵士が、全部投票出來るやうにせねばならないといふわけではないが、出征兵士に選擧權を行使するやう出來る限り十分な機會を與へるため、人力の及ぶ限りの手段を盡さねばならぬといふ趣旨である、しかし十二月一日から實施される新選擧制度によれば、議會の解散後少くとも八週間を經なければ總選擧を執行することは出來ない、解散と候補者の指名との間には最少限度六週間經過しなければならないから、大體國王が解散に同意してから總選擧までは二ケ月乃至三ケ月必要だと思ふ、したがつて大まかにいつて、今から七ケ月乃至九ケ月間總選擧が行はれさうにもない、したがつて議會の延長期間を十二ケ月から六ケ月に短縮しようといふ提案には同意せず、あくまで一ケ年延長を主張する次第である」

大東亞戰爭と議會

ここでチヤーチル首相は東亞反攻作戰に言及してゐるが、故意か不見識か大東亞戰爭の正しい性格を無視し日本國民が軍閥のために侵略行動に惹き込まれたといふ舊態依然たる囈言を並べてゐる「同時に日本戰爭はナチ政權の破碎後何時までも遂行されるだらうし且つ遂行されねばならない、勿論この場合にも日本國内に何等か政治上の擾亂が起る公算があるかも知れないが、陸海軍の序列によつて一切の構成が支配され、侵略行動に惹き込まれた捨て身かつ野蠻な性格の人種について、かかることを當てにするのは愚の骨頂だ、したがつて專ら軍事上の見地から日本問題を全的に檢討すれば、歐洲戰爭の後日本人の戰意乃至戰ふ能力を終局的に破壞するのに十八ケ月以下の期間を想定することは決して賢明ではない

右期間は數ケ月毎に統合參謀本部で不斷に改訂して行かねばならないが、議會をさらに二年乃至三年延長することは極めて重大な憲法無視とならう、現在においてさへ三十歳以下の國民は、總選擧では勿論補缺選擧ですら選擧權を行使してゐないのだから、各政黨が日本との戰爭が片付くまで現在の聯立內閣を維持して行く決心でない限り、ナチズムとの戰爭終了を、總選擧の日取を極める示標とせねばならないと思ふ」

聯立內閣の業績を自讃

最後にチヤーチル首相は聯立內閣の業績を自讃し次の通り結んでゐる

「一面空前の成功裡に戰爭を遂行しながら、過去二ケ年間に平和の狀態下に議會の全會期を悠に占めるやうな改革と社會進運の計畫を樹立し遂しか行した高度に有能な現內閣の解體を殘念に思ふ、し一度ドイツ軍の脅威が取除かれるとともに國民の總意を問はねばならないと主張する人々を非難することも出來ない、ドイツ戰爭の續いてゐる期間を越えて現在の議會を繼續することは間違ひだと余自らはつきりした考へを持つてゐる、すべて民主主義の根柢は國民が選擧權を持つてゐることにあり、さもなければしばしば援用される高遠な理想は索然として空しい、民主主義に對して拂はれるすべての讃辭の底には平凡人が小さな選擧場に入り小さな鉛筆を以て小さな紙片に小さなXを書くことが控えてゐる、如何に雄辯宏辭を弄し縱橫の議論を上下しようとも、この點が壓倒的に大切なことをごまかすことは出來ない、國民は自ら望み自ら感ずるところに從つて代表を選定する權利あり、首相がこんなに年老いた議會とともに戰爭と平和、戰爭から平和への過渡期の複雜多岐且つ尨大な諸問題を、國民との接觸によつて心氣の一新を圖らずに處理しようと努める位奇妙な事態を考へることはできない、ドイツ戰爭が效果的に且つ正式に終了を告げるとともに、余は國王に議會の解散を奏請することをここに誓ふ、事態は幾多の點で先例を見ないが彈力性ある英國の體制によつて處理出來ぬわけはなく、しかも以上の措置がこの事態に對處する眞直で公正且つ立憲的な方途だと信ずる、同時に情勢が逐次容易になるとは考へられぬことを認めざるを得ない、解散の機運が漲れば下院においても各政黨はお互疑念を抱いて相對することとならう、しかし事情かくの如くなれば、特に戰爭の强力な遂行を絕對に阻害しないよう配慮しなければならず、これこそすべての政黨の決心であり、特に聯立內閣を終らせることに關心を抱く個人の大半の決意だと確信する」

以上の演說に對する「タイムズ」紙や「デーリー・テレグラフ」紙の議會記者の批評をみても、要するに過渡期間にはチヤーチルが保守黨を中心に新內閣を組織し、且つ總選擧後も東亞反攻作戰の終了までチヤーチルが政界を退く意志がないといふに觀測が一致してゐる、總選擧後再び聯立內閣が出來るかどうかは現實の推移に徵する他はないが、歐洲戰爭の終了を前提とする假定を、英國首相に追隨してそこまで押し進めて行くことは無用だらう

「歐洲戰爭が一段落すれば」

チヤーチル首相は十一月九日マンション・ハウスにおけるロンドン市長の午餐會でもう一度演說してゐるが、ルーズヴエルトの當選で三頭會談の開催が好望となつたこと、歐洲戰爭が兵站補給の關係上簡單には片付かぬ點を指摘してゐる以外別段新味はない、それよりも十一月十四日下院における次の答辯が英國の內政上からは一層重要だと思ふ

「日本戰爭の終了した先のことまで見透して答辯することは出來ないから、余の答辯は歐洲戰爭の終了から日本戰爭が終るまでの期間に適用されるわけである、日本軍との戰爭が片並くまでは依然としてわれわれは一切の努力を優先的に戰爭に向けなければならない、しかし歐洲戰爭が一段落すれば、國力の一部を民需生產に振向け逐次右部分を增大してゆくことが出來るだらうし、且つ必要とならう、その場合にわれわれとしては輸出貿易を復興し英國の工業を再施設するために努力しなければならない

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

住宅の不足――永久的な見地からも應急の措置としても住宅の不足に對しては、恰も戰爭施策に對するやうにわれわれとしては一生懸命に對策を講じなければならない、民需物資の不足を緩和するためにも必要である、今日發表される白書にのべてゐる通り、軍隊その他各種産業部門に對する人的資源の配置に關する現行の制度は維持されるであらう、しかし勞働力に關する現在の窮屈な統制は出來る限り緩和する方針である、原料資源、生産力、農業、食糧、輸送その他に關する戰時統制の多數も今日と同樣上述の期間においても必要であらうが、これらの分野においても統制の緩和が出來るだらうし、事情の許す限り且つ秩序整然と統制の緩和が實行されよう、苟くも以上の方法以外の道をとるならば猛烈な攪亂が起つて、國内の經濟生活は甚大な障害を受け國の資源を大事な情勢に振向け、且つ公正に分配することが出來ぬ結果とならう、統制緩和の段階を豫想することは今のところが出來ないが、個々の事柄を唯右の事柄だけから判斷せず組織的な企畫の一部として、しかも實際的な方法で處理するであらうことをここに下院に對して約束する」

ギリシヤ内亂の狀態

――米英ソ三國の關係も微妙――

アテネ市内の騒擾に關聯し、四日ドイツ外務省の記者團會見において「ギリシヤ國内の危機についてどう思ふか」との質問が出たところ、當局は次の通り述べてゐる

「危機ではなくて無政府狀態であり革命である數千名の示威團に對し機銃掃射や高射砲で攻撃を加へたといふのだから、危機などといふ生易しい言葉は當てはまらない、いはゆる反樞軸軍が解放したといふ各國の現狀は概ねこの通りだ」

左翼共産系のEAM團とパパンドレオ政權との對立抗爭は由來する所遠く、いはゆるレバノン會議で亡命ギリシヤ諸政權が大同團結を決議した後においてもEAM團だけは抗爭を止めず、最近に至つて藏相以下六名の閣僚を出してパパンドレオ政權に協力することになつたが、EAM團の武裝兵力ELASの解散令に關聯し遂に兩翼の抗爭は市街戰に轉じ内亂の樣相を呈するに至つた

通貨安定策を斷行

勿論政情惡化の根底には深刻な經濟的危機が潜んでゐることはいふまでもない「タイムズ」紙のアテネ特派員は十一月十日次の通り報道してゐる

「ギリシヤ國内のインフレーションは益々昂進し十一月八日の市場においては一金磅が一萬八千京ドラクマといふ相場を示すにいたつたので、パパンドレオ政權も遂に通貨安定策を講ずるの止むなきに至つた、藏相は終日米英兩國の專門家と會談した後十一月十一日から通貨安定策を斷行する旨發表したが、右安定策によれば、ドラクマ貨の爲替相場を一紙幣磅に對し六百ドラクマとする―紙幣磅四磅が金の一ソヴアリンである、インフレーションに基くドラクマは五百億ドラクマを新しい一ドラクマとして交換する、パパンドレオ政權はギリシヤ國内で大急ぎで半ドラクマ、一ドラクマ五ドラクマ、十、二十、五十各ドラクマの小額紙幣を印刷して十一月十一日から流通させるが、巨額紙幣はロンドンで印刷しアテネに空輸してゐるこの通貨安定策により苦難のどん底に陷つてゐるギリシヤ人は救濟され、再び商工業が動き出すこととならう、しかしながら「深刻な財政上の危機は一片の通貨安定策によつて解決されるわけはない、今回EAM團の示威運動に際して多數の女子供が參加してゐる」といふロイター電報の報道に徵してもアテネ市内の騒擾が單なる政爭の範圍を越えてゐることは明らかだ

塹壕を掘り鐵條網を張る

しかし今度の騒擾の發端となつたのは來る十二月十日までに一切の武裝抗戰團體に武器の引渡し並びに解散を命じたパパンドレオ政權の布告である、EAM團はエラス兵團をそのまま正規軍に編入し神聖大隊として獨自の存在を要求したが容れられず、スヴオロス藏相ら六名の閣僚は十二月二日未明連袂辭職した、同時にEAM團の中央委員會は共産黨と合作して三日午前十一時アテネ市内でパパンドレオ政權打倒の示威運動を斷行した、勿論同政權は示威運動を禁止したが、エラス兵團の本部では周圍にバリケードを築き塹壕を掘り鐵條網を張り繞らして抗戰の決意を示し、同時に國内にはエラス兵團の解散に絶對反對する旨の小冊子が至る所にバラ撒かれた、三日拂曉には勞働者街の教會の鐘が鳴り響き空襲のサインも共に鳴り出したが左翼の示威團は近郊から續々アテネに集り警視廳の情報によればアテネ北方九十粁のテ1ペにはエラス兵團が集結したとさへ傳へられた

先づEAM團の代表は英國代表に會見して武裝解除令に飽くまで反對しかつ英軍が內政に干渉するのを痛烈に糾彈した覺書を手交するに至つた、しかし英軍司令スコビー中將が飽くまで頑強な態度をとつたために三日午前十一時頃から武裝警官隊と示威團との間に市街の中心憲法の廣場附近において衝突し、流血の慘事を出すに至つた、騷擾は午後に至つても片付かずロイター特派員も四日「アテネの中央では治安が回復したが、近郊においてはまだ射合ひが續いてゐる」と報道してゐる位だ、パパンドレオ政權は英軍司令官の支援を賴んで飽くまで彈壓政策を强行し二日先づアテネ市內における消燈令を公布、三日の衝突事件後にはアテネ、ピレウス兩地區に亘り戒嚴令を公布した勿論左翼も總罷業戰術をもつて應酬し、アテネ市內一切の公共事業は僅かに水道を除いて一切停止の狀態に陷つた

現狀打開に必死の工作

パパンドレオ首相は殘留した閣僚と共に本據をホテル・グランド・ブレターニュに移しEAM團出身閣僚の退陣で穴の開いた閣僚を補充したが、四日に至り陸軍次官トレメオス・サリギアニスが辭職し內閣の危機は依然として去らない、三日午後六時からパパンドレオ首相はラヂオを通じて全國民に呼びかけたが現に總罷業がはじまつた後で電燈もつかないので、蠟燭の光で原稿をよみあげるといふ狀態であつたといふ、ロイター電報によつて同首相の演說內容を傳へれば次の通り

「今回の悲劇的發展は誠に遺憾にたへず、國內の統一は重大な脅威をうけるに至つた、責任は全く極左翼分子にあり、武裝示威と總罷業と並びにエラス中央委員會の再建によつて國內は正に內亂狀態に陷らうとしてゐる、現內閣がファシズムへの道を準備し人民の自由を裏切り、反動的傾向を示すに至つたといふ非難は全然根據を缺いてゐる、ギリシヤ軍の改編案については閣議が全員一致同意した、エラス兵團の將兵、EAM團の民軍並びに團員は現在の事態が改善されぬ場合には祖國が甚大な打擊を受けることを覺悟しなければならない、國內の青年諸君は決して祖國に對して武器を振向けてはならない、英國政府並びに反樞軸各代表がギリシヤ國內における自由と治安の確立に協力されてゐることに對しては誠に感謝に堪へないが國民もまた一致協力してこの極端に重大な危機を乘り切るやう要請して止まない」

首相の演說に續いて英軍司令スコビー中將は六日夜半までにアテネならびにピレウス兩地區からエラス兵團並びに民軍が退去することを命令し、さらにエラス部隊が占領してゐる警察署は直ちに撤去するやう要求した、總罷業の結果アテネ放送局も遂に機能を停止するに至り、英軍司令部においては非常用に設置した發電所を利用して司令部內に電燈を付けてゐる位だが、スコビー中將は更にアテネの市內各所に四日次のやうな揭示を出した、「少數の一定分子が國家の利益を犧牲に供して內亂を企圖するに至つたためにパパンドレオ政權は憲法の條章に基きアテネ、ピレウス兩地區に戒嚴令を布くのやむなきに至つた、ギリシヤ國民の大多數と共に余は立憲的な現內閣を支持し出來る限りの援助を與へる決心である」

英軍武力干渉に乘出す

既に三日以來英軍は武力をもつて干渉しだした樣子で四日後「ギリシヤ國內駐屯反樞軸陸上部隊司令部」は次の公報を發表してゐる

「十二月三日から四日の夜にかけてエラス兵團約三百名がテーベ地區からアテネ市內並びにピレウス港に潛入した、以上の行動はアテネ、ピレウス兩地區內において武器の携行を禁止する命令並びに消燈令違反である、英軍は右エラス兵團を包圍し武裝解除した、これらの分子は近く當該地區に送り歸す豫定である、但し相方とも交戰しなかつた」

EAM團を中心とする左翼は總罷業戰術と並行して宣傳工作に努め英軍の將兵に小冊子をバラ撒き「ギリシヤ國民をして自ら好む內閣を撰擇せしめよ」と呼びかけてゐる、またアテネからのAP電報によれば民衆は米國公使館の周圍に集りルーズヴェルト萬歲を絕叫したと傳へられる、勿論眞僞は分らないが英軍の武力干渉は米ソ兩國との關係にも微妙な影響を與へることは明らかだ

昭和十九年十二月七日(木)
第三二六三號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

V二號封鎖新戰術

「ニューヨーク・タイムズ」紙十一月三十日

首相ウインストン・チヤーチルが下院で發表を行つて以來ドイツ軍のロケツト兵器による對英攻撃に關し官邊の言明は全くないがロンドン各紙は依然最近の「V兵器」攻撃に關する報道や物語や寫眞を滿載してゐる、しかしながら種々の情報から見てドイツ軍はこの頃では殆んど流星彈を使用せず、V二號に精力を集中してゐることは大體疑ふ餘地がない、この攻撃に對抗するためにはいろいろと新しい方法が示されてゐるが、專門家筋ではロケツト發射基地その他諸施設に對する虱潰しの爆撃(勿論熟練した兵員も殺傷する目的で)は他のどんな種類の攻撃よりもこの脅威を輕減する上に力となるであらう、この反撃は日々その烈しさを加へつつある、天候が良好なために虱潰し爆撃の特殊訓練を受けた操縱士によるスピットファイー並びにムスタングの出撃機數は益々多くなりV二號の基地ではないかと思はれるやうなものは片つぱしから捜し出す、さうした基地が見付かれば直ぐにこれを爆撃し、その周圍の道路や水路に出動して基地への補給に從事してゐるやうな輸送機關は悉く銃撃の的とする

戰略爆撃效果なし

かうした戰術的な攻撃の他に最近では米第八航空隊並びに英空軍の重爆撃機隊がドイツ本土深く鐵道要衝や合成油工場を爆撃してV二號の部分品とか裝備の補給を無力化しつつある、ガソリンとアルコールはロケツトにとつて絶對に必要な推進源である、戰鬪機の哨戒とか連續的な對空砲火の幕といつたやうなV一號當時の手段ではロケツト彈に對して何の役にも立たない、ドイツ軍はロケツトの增産に努めた結果今では英本國に對して流星彈と殆んど同程度の攻撃を行ひ得るのみか、白蘭地方をじりじりと進出する反樞軸軍に對しても攻撃を加へ得る程度になつた

地下の工場でも或ひは反樞軸空軍重爆撃機の攻撃範圍外の地點でも、恐らくドイツは凡ゆる工場をV二號部分品の製造に動員してゐるに違ひないこの事實——並びに發射基地を爆撃してみた所で大した效果はなく、基地の如きは容易に建設され直ちに交替し得るといふ事實——は英國の防空專門家をして道路並びに水路に對する虱潰し攻撃を決意せしめるに至つたのである、この種の攻撃は英空軍第二戰術航空隊の戰鬪機及び中型爆撃機による攻撃を補足するものである

特製貨車で發射基地へ

LRR(長距離ロケツトに對し英國政府筋の使用してゐる呼稱)は長さ四十六呎、直徑は基部で約六呎、先端に行くに從つてだんだん細くなり最後は四呎であるが長さが四十六呎もある結果その運送には六十呎のレールを運ぶ鐵道貨車と同じやうな特製貨車が必要である、重量は約十五噸で、ロケツト彈の積卸しには起重機を使用しなければならない、鐵道驛に到着すると車輪を八個つけた臺に載せ自動貨車または馬で引張つて發射基地まで轉して行く、發射基地ではコンクリート製の發射施設の端に垂直に立てられる、これには全然外部からの支持物は必要でない、約一噸の爆藥は基地で一々ロケツトに充塡されるものと信じられるV二號のデビューに選ばれた最初の三ケ所の發射地點はヘーグ西南方のオランダ海岸とショウエン並びにワルヘレン沖の蘭領島嶼だつた、ヘーグ西南方の基地は當時は勿論現在でも最も重要な基地とされてゐる、だがデンプシー麾下第二軍の進撃速度に不安を感じたドイツ軍はこの三ケ所のうち二ケ所を撤收してドイツ國境後方の安全な地域に基地を移した

中立國筋の情報によると英本土に對して攻撃の火蓋を切つたのはライン西方地區の某地でミユンスターかデユイスブルグ邊りらしい、これに對する新反撃戰術がどの程度の效果を發揮したかは戰術航空隊の報告に示されてゐる、最近一週間に戰鬪機隊は自動貨車、解舟、曳船、鐵道車輛集結點とを總て直接V二號に關係があると思はれるものを攻撃した

その結果陸上車輛半ば以上と水上舟艇の殆んど半分が破壊されたのである、自動貨車の一部はV二號基地の設備を輸送中で特にその要員として訓練された兵士をも積載してゐた、また何臺かの將校自動車がロケット作戰に關係ある將校を載せてゐたといはれる、さらに少くともV二號の彈頭爆藥、の積荷を道路上で捕捉擊碎したことも少くとも一回はある、加ふるに勇敢な準備偵察は戰鬪爆擊機による最近の虱潰し攻擊を可能ならしめると同時に極めて效果的にした

だが基地をだんだんドイツの奥深く押し返されるにつれて、ドイツ軍はロケットの射距離を增すといふことは依然可能である、但し既知の基地に對するロケット彈の補給を阻害する目的で開始された新戰術は敵の發射彈數を減じてゐることは事實であらう、しかしながら英國の輿論は大戰終了の日までドイツ軍の報復攻擊が繼續されるだらうことを信じてゐる

ロケット・グライダーの實用性

「エンジニア」誌八月二十五日

大型ロケットの使用によつてとにかくロケットの射程は理論的には著しく延長されるわけだが、これに相當正確な照準を伴はせるのは、ロケットの彈道の測定が正確に行ひ得ないため困難なやうである、その結果この種の武器は極めて廣汎にわたる目標に對してしか用ゐられぬことになる、ロケット發射の方法は、先づ大氣の層を突き拔けて高さ十哩位のところまでロケットを打上げるのだが、その後ロケットが一秒何哩の速度で前進するかが問題なのである、彈道の傾斜を上向き四十五度とし秒速一哩を出し得たとすれば、彈道頂點が約五十哩で、射程は約百五十哩に達するわけだ、よくいはれることだが、もしロケットが十哩の高さに打上げられた後、ロケットから自動的に小型の翼が出るやうになれば、ロケットは地上まで滑空によつて達するから、問題は確かに簡單になるであらう、滑空の傾斜を十五分の一とすれば、百五十哩の射程が得られる、純ロケットは十哩の高さ——これは大氣の十分の九の高さだが——まで打上げられるばかりでなく、その後も秒速一哩を出すための運動エネルギーを要するのに反し、ロケット・グライダーならばこの運動エネルギーが全然要らないのであるから、見たところ大變都合のよい思付のやうに考へられる

速力の遲いのが缺點

だがロケット・グライダーの缺點は速力の遲いことにある、勿論ロケット・グライダーの彈道因數の正確な測定は至難だが、兎に角一定の制限のあることは確實で、非常に有利な假定に基いて計算しても、滑空速度は時速二、三百哩を出でないさうだとすると、新考案のロケットも邀擊、擊墜し得る點では現在の飛行機と變らず新考案としての意味がないことにならう

從つてロケットが現在豫見されるよりもずつと速力を增すことが出來ぬ限り、射程の點で流星彈より優れた力を發揮するかどうか疑問である、今日既に流星彈に大西洋を越えて米洲に到る射程を與へることも不可能ではないのであるからなほ更である、もつとも大西洋を越えてといつても北米或ひは南米のいづれが狙はれるかは疑問だ

しかし、ロケットの發射點を高山の上に持つて行くことによつて射程を增すことは出來る、假令へば發射點を一萬二千呎に高めれば、大氣の四分の一は既に下に在るのだから、それだけロケットを打上げる必要はなくなり、それがアルプスからヒマラヤになれば一層條件がよくなる、但し今後各國の地理的條件が世界の勢力均衡の上にどんな影響を及ぼすかは、將來の戰略家の論議に任せてよい問題であらう

マックス・ハルベ氏逝去

（ベルリン二日發）ドイツの有名な詩人マックス・ハルベ氏は二日バヴアリアのノエッテインで逝去した、享年七十九、同氏はハイデルベルヒ、ミユンヘン、ベルリン各大學で敎育を受けプロシア文藝協會の會員で劇作家としても著名であつた、代表作としては「若者」戲曲「嵐」「デイートリツヒ・シエトーバワスの業績」などがある

大正十五年十月廿八日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月八日(金)　第三二六四號

同盟通信

海外電報

(281)

東京都麹町區日比谷公園二番　株式會社同盟通信社

發行人　伊藤正德

【目　次】

ヒ總統ハンガリー首班と會見……三〇〇六
防衛戰爭推進の決意……〃
希首相辭表撤回か……〃
英軍遂に出動……〃
米、超巨人機製作……三〇〇七
ロケット兵器の使用を示唆……〃
對日戰に流星彈を用意……〃
獨紙の米國務省改組評……〃
【英　帝　國】
對日戰損害の發表を避く……三〇〇八
戰後では間に合はぬ……〃
護國軍解體……〃
共產黨議員印度領袖釋放を勸告……〃
印度王侯、總督と對立……〃
豪華船三隻沈沒發表……〃
【米　洲】
夏に國務次官補を新設……三〇〇九
世界善隣政策……〃
大統領アンラ報告……〃
社會保險增額案否決さる……〃
海軍戰時報告……三〇一〇
【友邦軸陣營】
東南アジア軍人事……〃
英國の干涉政策を非難……〃
【歐　洲】
希擾亂漸く鎭定に向ふ……三〇一一
伊の治安益々紊る……〃
羅、露語を必修課目に……〃
佛の戰爭損害……三〇一二
波回復地域の農業改革……〃
フインランド國防相更迭……〃
【ソ　聯】
「戰爭と勞働階級」誌重慶攻擊……〃
【ド　イ　ツ】
洪、ス兩國公使信任狀捧呈……〃
【特　輯】
赤い星バルカンを蔽ふ(下)……三〇一三
【資　料】
ポーランドの代價……三〇一八
物量特むは米國最大の缺點……三〇一九



EAM團といふのはギリシヤ語で Ethnikon Apeleutherotikon Metopon の略稱で、國民解放戰線といふ程の意味である、左翼の最も有力な組織で所屬の武裝兵力をELASといふ Elliknkyos Laikos Apeleutheratikos Stratos 卽ちギリシヤ人民解放軍を意味するドイツ軍の占領當時ロンドンに亡命してゐたギリシヤ政權の指導下にドイツ軍の後方攪亂を策したのだが、亡命政權がカイロに乘出してからも、EAM團は容易にパパンドレオ政權に合流を肯んぜず、レバノン會議の前後を通じ何遍交涉を重ねたか知れない、しかし曾つてイーデン外相がヴアノン・バートレツトの質問に對し答辯してゐる通り、英國政府は最後までエラス兵團に武器を供給してゐたのだから、英軍がいよいよ同兵團に攻擊を加へたといふのでは全く自らの武器を相手に戰爭してゐるに等しい、ギリシヤは、モスクワ會談でチヤーチル首相が僅かに確保出來たバルカン半島における英國の唯一の橋頭堡である、しかもギリシヤ國民からはパパンドレオ反動政權を支援する外敵として蛇蝎視されてゐるのだから英國政界がチヤーチル首相の遣り口を非難するのも當然だ、一旦辭意を表明したパパンドレオ首相が英國政府の尻押しで居直つた樣子だが、自由黨首領テミストクレス、ソフオーリスが內政干涉の事實を暴露したのだから情勢の推移如何では英國の野黨や米國政府が默つて看過するかどうかは疑問だ、スフオルツア伯否認に關するステチニアス國務長官の聲明は、外交の爆彈としてホワイト・ホールに衝擊を與へたに違ひないが、アテネからのAP、UP電報をみてゐると米人特派員が內心エラス兵團に同情してゐることは明かだ、ギリシヤの內亂は正に米英ソ三國關係の試金石である

ヒ總統、ハンガリー首班と會見

兩國協力一體化に拍車

（ベルリン六日發）ヒトラー總統は四日ハンガリー國首班セラツシー氏と會見したが總統大本營は六日次の公報を發表した

「十二月四日ヒトラー總統はドイツを訪問したハンガリー國民指導者フランツ・セラツシー氏を引見し、ドイツとハンガリー革命運動のもとに團結したハンガリー國民との政治上軍事上經濟上の協力に關する一切の諸問題について長時間に亘り會談を遂げた、右會見は再び兩國民間の舊來の傳統的かつ試煉を經た戰友並びに親善の精神のもとに行はれたが、會見においては獨洪兩國民が一切の手段を盡して防衞戰爭を遂行し且つ防衞戰爭遂行に必要な一切の前提要件を確立する確固たる決意が支配的であつた、ドイツ外相フオン・リツベントロツプ氏、幕僚長カイテル元帥、參謀總長グデーリアン上級大將並びにハンガリー外相ケメネー男、國防相ベレグフイ上級大將が右會談に參加した、四日夜ハンガリー國指導者、外相、國防相その他はフオン・リツベントロツプ外相の招宴に列席した」

防衞戰爭推進の決定

（ベルリン六日發）ハンガリー首班とヒトラー總統との會見についてドイツ外務省當局は六日正午次の通り述べた

「赤軍がブダペストを奪取し、ハンガリー西部を席捲しようと企圖してゐる際、獨洪兩國の首班は總統大本營で會見したが、會談は遠い將來の問題についてではなく、現下の喫緊の對策に集注されたことはいふまでもない、ハンガリー現政府が前內閣の極めて困難な遺産を繼承してゐることはドイツ政府當局の十分諒承してゐる所であり、ハンガリー軍一切の士氣沮喪も承知してゐる、したがつて多數の義勇軍を組織化することが必要であり更にブダペストとウイーンの連絡を維持せねばならない、ハンガリー政府は開戰六ケ年、いまだ戰爭遂行のための諸必要條件を諒解しない市民に對しては斷乎たる處置を講じよう」

ベルリン各紙は六日の夕刊紙上において會談の公報と併せて新任スロヴアキア公使ボーダン・ガルヴアネク氏が親任狀を捧呈した際のヒトラー總統の寫眞を掲載してゐる、總統は相變らず元氣で七・二〇事件の「後患」は少しもない、最近米英兩國の宣傳機關はヒトラー總統が軍政の國務多端で公開演說をしないのを利用し總統の健康、身邊について色々デマを飛ばしてゐるが、右寫眞と今回の會談で、これら一切のデマは粉碎されてしまつた

希首相辭表撤回か

（リスボン六日發）六日アテネからのUP電によればギリシヤ首相パパンドレオは五日辭表を提出したが、英國政府からの支持保證により辭表を撤回したといはれる旨報じてゐる、更にアテネ市內では五日夜に至るもなほ擾亂はおさまらず閣僚は何れも英軍並びにギリシヤ正規軍の嚴重な護衞をうけてをり、一方少將スコピーの指揮する英軍も五日市內の各所に出動、特にエラス團が占據してゐたエデス團本部には遂に英軍が突入、エラス團は後退したといはれる、アテネからのロイター電報によれば五日夜エラス團とエデス團との間に激烈な戰鬪が續けられ、英軍戰鬪隊も右の衝突に介入發砲するに至つたといはれる

英軍遂に出動

（リスボン六日發）英國政府はギリシヤ內亂に對し飽くまで彈壓政策をもつて臨む方針で既に首相パパンドレオの辭意を飜へさせたと解されるが、アテネ市その他においては愈々武力干涉を開始した、アテネからのロイター電報によれば英軍司令ロナルド・スコピー少將は六日正午次の公報を發表したといはれる

英軍はギリシヤ陸軍の正規部隊とともに、アテネ市の中心に侵入したエラス兵團に對し行動を開始した、英軍司令並びにパパンドレオ政權がエラス兵團に對し戰鬪停止を要求したにも拘らず同兵團は進擊を續け、各警察署並びに警備隊を壓倒し、英軍に對し發砲するに至つたため英軍は遂に行動を起すに至つたのである

昭和十九年十二月八日(金)
第三二六四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米、超巨人機製作
——B36とB42——

(リスボン六日發)B29による東京爆撃が依然距離に制約されて十分に戰略爆撃の效果を擧げてゐないのは世界の認める所だが、米國においてもこの不滿は漸次昂まつてゐる模樣で、ワシントンからのロイター電報によれば米國政府は下院歲出委員會の祕密會において最近超巨人機並びにロケット戰略兵器の製作に關し報告したことが六日公表されたといはれる、ロイター電の傳へる右發表內容は次の通り

B29の性能をも倭人のやうに感じさせるほどの空の巨人が近く米國の研究所から産み出される筈だ、新巨人機のうちでもB36は米國で從來企畫された航空機として形狀において最大である現在右B36並びにB42の試驗が行はれてゐる、またロケット彈並びに噴射推進式航空兵器についても專門家の間で研究が進められてゐる、かくのごとく航空兵器の實驗的製作は極めて急速に進展、專門技術家の手不足の問題さへ起つてゐるほどである

ロケット兵器の使用を示唆

(リスボン六日發)米國戰時情報局は六日新ロケット祕密兵器を近く使用する可能性ある旨を示唆、次の通り言明した

陸海軍科學研究部よりの報告によれば、米國の專門家は從來火砲式のロケット彈に精力を集中してゐたとはいへ、長距離大ロケット彈並びに噴射推進式航空機の可能性にも眼を閉じてゐたわけではない、ただし米國最近におけるロケットの發達について公表することは出來ない

對日戰に流星彈を用意

(リスボン六日發)十一月二十三日附「デーリー・テレグラフ」紙は陸軍航空技術本部次長D・メイヤーズのオハイオ州ライトフイールドにおける發表として次の通り報じてゐる

ナチのV一號に基いた立派な流星彈が米陸軍航空隊においても製造され、十月十一日以來飛行試驗を行つてゐる、新兵器の發射裝置はV一號の發射裝置より優れてをり、ドイツ軍が二週間を要するに反し、四日間で築造し得る、製作のはじめは七月の四日に陸軍航空隊の專門家達から出來るだけ早くV一號の正確な模型を作つてもらひたいと要求された時である、七月の九日にはかなり傷んだ不發流星彈の各部分が英本國から空輸され、特に隱蔽された工場で作業が開始された、かつきり七日後には最初の發動機が運轉され、十月一日が處女飛行の日と定められた、專門家は空氣作動式のジヤイロスコープとか氣壓高度計とか精密コンパスとかから成る複雜な操縱裝置を創り出した發動機が普通のガソリンで動くことも發見され、辨の中に一平方吋當り一千封度の壓力で空氣を吹き込むことにより始動の困難も克服された、處女飛行は豫定より十日後れただけだつた、われわれは決して流星彈を必要としないであらう、陸軍航空隊には無差別爆撃を行ふ意志はないからである、だが必要とあればわれわれには立派な流星彈が用意されてゐるのである

獨紙の米國務省改組評

(ベルリン六日發)六日附の「フェルキツシヤー・ベオバハター」紙は今回の米國務省の大改組につき次の評論を揭げた

「米國務省の新陣容をみるに國務省の新首腦部はいづれもルーズヴェルトの傀儡的人物であり、國務省は今後完全に彼の手先となり、ルーズヴェルト外交が益々積極的に推し進められてゆくこととならう、更に注目すべき點は新長官ステチニアスをはじめ新首腦の多くが財界と關係の深い人物であることだ、既に國務省の內部ではステチニアスによつて創設された米國の對外投資統制機關が活動を開始してをり、ステチニアスは外國における米國の經濟的利權の擁護擴張に向つて米國の外交政策を指導してゆくこととならう、新次官グルーは外交事務の指導者として腕を振ふだらうが、彼の主力が東亞地域におかれることは疑問の餘地がない、この點グルーが日本の完全撃滅を頻りに强調してきたことが想起さるべきだ

【英帝國】

對日戰損害の發表を避く

（ストツクホルム五日發）ロンドン來電＝首相チヤーチルは五日下院において英帝國並びに米國兩軍が對日戰爭で受けた損害はどれ程かといふ質問に對し次の通り答へた

死傷者の數字は今直ちに入手出來ない、その上この問題には他の二、三の政府が關係してをり各政府と打ち合はせなければならず、更に利敵行爲に亘らぬ範圍でこの情報が發表出來るかどうかといふこともまた大いに考慮を要する、對日戰はいふまでもなく、米國が主要な戰ひを戰つてゐるが余の知る限りにおいて米國はかかる數字の發表を行つてゐない

戰後では間に合はぬ

（ストツクホルム五日發）ドイツ軍新兵器Ⅴ二號の攻撃を浴びて連日地獄の生活を續けるロンドン市民はまたまたⅤ三號の脅威に戰く破目に陷つてゐるが、ロンドン來電によればチヤーチルは五日下院においてなんとかならぬものかと一議員に迫られ

反樞軸は戰後ドイツが長距離兵器を發明するために祕密の實驗が出來ぬやう萬全の計畫をたててゐる

と苦しい泥繩式の答辯を行つたといはれる

護國軍解體

（リスボン四日發）ロンドン來電＝護國軍二百萬は既に勤務の必要がなくなり解體するに決定、三日各地で閱兵式の後正式に解體した

共産黨議員印度領袖釋放を勸告

（リスボン五日發）ロンドン來電＝共產黨のガラチヤー議員は四日下院において目下拘禁されてゐる印度政界の領袖の釋放を勸告して次の通り述べたといはれる

對日戰の眼目並びに對日戰を短縮する要素は印度政界の領袖の釋放にありこれによつて英國と印度大衆との結合が齎らされることにならう、印度政界の行き詰りを終了せしめ得ずまた印度領袖並びに印度民衆の要求を認めなかつたがためにわれわれは對日戰において勝利を早く獲得する可能性を抑止しなければならないやうな情勢に直面してゐるのである

印度王侯總督と對立

（リスボン五日發）ニユーデリー來電によれば五日から開會される筈の印度王侯會議冬期會期は突如延期され同時に同會議の常設委員會も辭任したといはれる、王侯會議延期の理由については何ら公式の發表がなく明らかでないがニユーデリーからのロイター電報は印度王侯國の權利に關する總督と王侯との異見によるものと解される旨報じさらに次の通り傳へてゐる

消息筋の見解によれば總督と王侯達との間で意見の相異を來たしてゐる主要な點は王侯國の合併問題にありまた印度において憲法上の變化が生じた場合、王侯國の地位がどうなるか、或ひは條約の解釋、王侯國における英國人に對する公判の三點についても異見を生じてゐるといはれる、王侯國の合併問題が實際に影響を及ぼすのは中小王侯國に過ぎないが全王侯はこの問題について結束してをり政廳側では解決點を見出さうとして努力をしてゐるが目下のところ王侯會議は年內に開かれさうにもない

王侯會議が延期されたのは同會議始つて以來のことといはれ、また合併問題については本年四月すでに小王侯國が地理的經濟的並びに政治的に親近性を有する隣接國と合併するといふ計畫を總督ウエーヴエルが承認してゐる事實が想起される

豪華船三隻沈沒發表

（リスボン四日發）ロンドン來電＝ユニオン・キヤスル航路に屬する豪華船二隻が二年前ドイツ潛水艦の攻撃を受けて擊沈されたとの事實が四日初めて發表されたが、その一つは二萬トンの「ウオーウイツク・キヤスル」號で、一九四二年の秋大西洋上で擊沈、他は一萬トンの「イランダフ・キヤスル」號で同年十一月沈沒してゐる同時に、同會社所有の一萬九千トンの「ウインザー・キヤスル」號も一九四三年三月ドイツ軍機の魚雷攻撃を受けて沈沒したこともあはせて發表された

昭和十九年十二月八日(金)
第三二六四號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米洲】

更に國務次官補を新設

(リスボン五日發)ワシントン來電=上院外交委員會は五日新國務次官グルー並びに國務次官補クレイトン、ロツクフエラー、マクレイシュの任命をそれぞれ承認した、委員會は更に國務省に二名の國務次官補の職を新設する件も承認した、この結果國務次官補は全部で六名となりアチソン一名を除き全部が新顔で占められることとなるが未だ任命されてない國務次官補の候補者としては國務省歐洲局長ジエームス・ダン、アイゼンハウアー司令部民事部長ジユリアス・ホームズの名前があげられてゐる、一方今回辭職した三名の國務次官補はいづれも再び外交畑乃至その他の重要部署に返り咲くものと豫想されてゐるが、特にバールは早くもブラジル大使となるのではないかと噂されてゐる、國務省今回の人事はその範圍が豫想以上に廣く外交消息筋もその思ひきつた人事の刷新に若干驚いた形だが、グルーの次官任命は大體歡迎されてゐるもののなほ一部では彼が對日宥和論者だつたとしてこれに反對してゐる

世界善隣政策

(リスボン五日發)國務省陣容の大刷新につき五日ロイター通信ワシントン特派員スコツト・ランキンは次の通り報じてゐる

今回の國務省大改組はあらゆるワシントン情報の豫想よりも遙かに思ひ切つたものであつた、今回の改組によつて國務省は外交政策を運營する上において米國史上空前の大きな權限を與へられたといふことが出來よう、卽ち米國はこれによつて戰後において演ずべき國際的役割に十分對應し得る機構を整備した、ルーズヴエルトが國務省に注入した新らしい血液によつて米國は今後積極的に國際問題に乘り出し、同時に戰後米國が負擔すべき文化上の責任をも果すべくこの見地からすれば米國のいはゆる善隣政策は從來米洲內に限定されてゐたものが、今度は「世界善隣政策」にその規模を擴大することとならう、アドルフ・バールは今回の大移動によつて國務次官補を辭することとなつたが、彼は米國でも最も有能な外交官といはれてゐる人物であり、彼が外交界から足を洗ふとは思はれない、ただ彼が主役を演じた米英石油協定締結問題が難關に逢着していまだにらちがあかず、更にシカゴの航空會議も彼が議長となつて大いに斡旋に努めたにも拘らずこれまた行詰り狀態に陷つたことは彼の名聲に大きな支障を與へたことは事實だ

大統領アンラ報告

(リスボン五日發)ワシントン來電=ルーズヴエルトは五日議會にアンラ(反樞軸救濟復興會議)救濟事業の報告を送り次の通り述べた

歐洲における一部地區及び一部の民衆は目下特種の物資について非常な窮乏狀態にありアンラはこれに對して食糧その他緊急救濟物資を供給せんとしてゐる、かかる事業が行はれないならば歐洲の廣汎な地域に亘り飢餓と疫病とが見舞ふべく數百萬民衆の生命が犧牲となり、反樞軸軍の折角の勝利も水泡に歸するであらう、アンラ當局の推定によれば歐洲において戰禍のため故鄕を捨てて避難した老若男女の數は二千萬を越えるとされ、これら避難民を再び元の住家へ送り返す時には近代史上において例を見ないやうな大規模の民族移動が行はれるであらう、これら難民に對するアンラの救濟補給事業はまだ現實には開始されてゐないが、この事業が極めて最近のうちに行はれることは特に重要である、既にギリシヤ、ユーゴー、アルバニア地區に對しては六百名のアンラ救濟職員が訓練され、さらに西歐及び東歐においても救濟事業開始のためアンラの職員が配置されつつある反樞軸軍占領地域における狀態は最近の各種情報が示した如く全く危機の段階にあり、アンラの本格的活動の速時開始が必要である

社會保險增額案否決さる

(リスボン五日發)ワシントン來電=下院は五日、一九四五年度の社會保險稅率を從來通り一%に維持する法案を可決、上院に廻附した政府は社會保險稅率を二%に增額し、これを明年一月一日から實施せんとしてゐたもので、これまでも議會は社會保險の準備金が潤澤なため增額の必要を認めぬとの理由で前後三回に亘り政府の稅率增加案を握り潰してゐる

海軍戰時報告

（リスボン五日發）ワシントン來電＝海軍省は十一月十九日「海軍戰時報告」と題する文書を發行して次の事實を明らかにした

米國海軍は一九四〇年七月一日以來その勢力を兵員において三百六十萬、艦船トン數において一千三十萬トン、航空機においては六萬二千機を增強した、さらに同期間に三百ケ所の前線基地が建設され整備された、以上に要した費用は六百八十八億八千萬弗である

海軍長官フオレスタルは右の序文においてこれまでに米海軍が受けた兵員の損害は戰死二萬九千、行方不明九千以上、捕虜四千五百、戰傷三萬五百であると發表し、さらに次の通り述べた

アイオワ級戰艦の建造費は一億弗以上で、エセックス級空母は五千五百萬弗以上である、現在われわれが最も必要としてゐるのは攻撃部隊輸送用船舶であるが、尨大な量の砲彈、火砲及びロケツト彈をもまた必要としてゐる

【反樞軸陣營】

東南アジア軍人事

（ストツクホルム四日發）ロンドン來電＝空軍省は四日次の通り發表した

陸軍少將　レスリー・ノートマン・モリングハースト
任東南アジア反樞軸空軍基地司令官

空軍代將　アルフレツド・チヤールズ・ヘンリー・シヤープ
任東南アジア反樞軸空軍基地行政官

なほモリングハーストは中將代理に、シヤープは少將代理にそれぞれ進級した

英國の干渉政策を非難

（ストツクホルム五日發）英國政府は所謂抗戰集團の解散に關聯してピエルロ政權を全的に支援し勞働組合その他の左翼を彈壓し、ローマ政權の危機に際しては六政派の支持するスフオルツア伯を否認して政局を行詰りに陷れ、更にパパンドレオ政權を武力によつて應援しギリシヤ國内を半内亂狀態に陷れたが以上の干渉政策に對しては英國政界筋は勿論米國政府においても不滿少からず、チヤーチルを首班とする英國政府は重大難局に立つにいたつた、ロイター電報によれば英聯邦黨は四日聲明を發表し

ベルギー國内の不人氣な内閣は英國の武力によつて存續し、イタリア、ギリシヤ兩國内においても英軍は政治的反動を支持してゐる、各政派の代表が責任を分擔する人民政權の結成を認めることが正しい政策であるとチヤーチル、イーデン外交に一矢を酬いたと傳へられる

足並の不調を暴露

スフオルツア伯否認に關しては既に英國下院において外相イーデンが勞働黨のベヴアンその他に散々油を絞られたが、ワシントン來電によれば國務長官ステチニアスは五日記者團との會見で明確に英國の干渉政策を非難し次の通り述べたと傳へられる

米國政府はイタリア國民が外部からの影響を受けずに自らの政權を發展させることを期待し以上の方針を英國政府並びにローマ政權に通告した、殊に米國自身としてはスフオルツア伯に對して何ら反對してをらず反對だなどとローマ政權に通告したことは絶對にない、米國政府の立場は終始一貫イタリア政權の組織は軍事上の諸要因が關聯してゐる任命の場合以外純粹にイタリア人の仕事であるとの見解を堅持して渝らない、以上の政策は解放された領域における反樞軸各國政府については一層顯著な度合ひで適用されようステチニアスは特に用意した草稿によつて以上の方針を闡明したと傳へられるが、UP電報はさらに

解放された領域の内政に關し國務省は公式に方針を闡明したが右聲明で米國はローマ、アテネ兩政權に勢力を及ぼさうといふ英國と眞向から反對の立場を示すに至つたとみえると註釋してゐる、このステチニアスの聲明はワシントンの英人特派員を驚かした樣子でロイター通信社のボール・スコツトも

昭和十九年十二月八日(金)
第三二六四號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

國務省の聲明はワシントン外交界を驚かした、最近の諸發展において英國が演じた役割は米國政府の裏書きしないところだといふことを示唆したに他ならない、但しスフォルツア伯はワシントン駐剳大使に任命されさうなので米國政府としては同人の外相就任に反對する譯には參らぬといふ複雜な事情も潛んでゐる

と吃驚しながら氣安めを並べてゐる、ギリシア國内の情勢については米國政府はまた直接見解を表明してゐないがアテネ駐剳米國大使リンカーン・マリヴェーは同じく不介入政策を說き

米國政府としてはギリシヤ人の希望する如何なる政權に對しても惜しみない支持を與へよう、しかし内亂の危機を前に米國からの援助は一際停止しアテネ、ピレウス港内の米國船は港外に退去しなければなるまい、したがつていよいよ内亂となればギリシヤ國民は更に數ケ月飢餓に瀕することとならう

と述べ、英軍司令官の言明とは著しい對照を示してゐる、殊にパパンドレオ首相が投げ出しを決意したのにチヤーチルが内閣の更迭に反對した事實が自由黨首領スフォーリヌの聲明で暴露されるに至つたため英國政府に對する非難の聲は一段と昂まるに至らう

團結の試金石

ロンドン來電によれば五日、下院でチヤーチルが

治安維持のためには現在ギリシヤ國内に駐屯する有力な英軍を動員するだけでなく、更に增援軍を派遣する用意あり、ここまで乘り出したのだから逆戻りしたり鋤から手を放すことは出來ない

と述べたのに對しては英國内に批評が少からず、下院の空氣も可成り險惡で勞働黨その他より相當野次が飛び出したといふ「マンチエスター・ガーデアン」紙「ニューズ・クロニクル」紙並びに「デーリー・ワーカー」紙等は各々社說において干涉政策に反對してゐるが「ダーゲンス・ニヘター」紙は五日の紙上に次のやうなUP電報を揭載して情勢の推移を重視してゐる

米國政界筋ではギリシヤ國内の情勢を注視し反樞軸の團結の試金石と解してゐる、最近のモスクワ會談でスターリン議長はギリシヤを英國の勢力圈として認めたがギリシヤ共產黨に對する强壓政策はモスクワに好ましからぬ反響を與へよう

【歐洲】

希擾亂漸く鎭定に向ふ

(リスボン五日發)ギリシヤ國内の擾亂は五日午後に至り最高潮に達しロイター電報もアテネ驛前の廣場でエラス兵團(ギリシヤ人民解放軍)とエデス團(ギリシヤ國家民主黨)とが衝突を演じた際には英軍の戰車隊も遂に發砲するに至り英軍司令部付近には戰車が警戒に當つてゐる旨を報道してゐるが、パパンドレオ首相が辭意を表明したとの報道でEAM團もアテネ市中央の警視廳に對する包圍を解き情勢は幾分緩和するに至つた樣子だ、しかしパパンドレオ政權と同政權を支援する英軍はギリシヤ國内で極度に不人氣でSSCの報道によれば群衆は小銃や手榴彈で同首相の私邸を襲擊し「パパンドレオを殺せ」と口々に絕叫した位だと傳へられる、アテネからのUP電報によれば三日の騷擾以來死者百七十名、負傷者三百九十三名を出したといはれる

伊の治安益々紊る

(リスボン五日發)ボノミ政權の崩壞以來イタリアの國内情勢は益々逼迫、惡質の犯罪が頻發し、殊に冬季が到來し、食糧燃料の不足が深刻化すると共にこの傾向は愈々惡化してゐる模樣だが、ローマ來電によれば、元ロンドン警視廳警部C・P・フランシス中佐が四日ローマ警察部長に任命され、肅正運動に乘り出すこととなつたといはれる

羅、露語を必修課目に

(ベルリン五日發)ブカレスト來電=ルーマニア文部省は今後國内の全學校は必修課目としてロシア語科を設けるべき旨の省令を五日發布した、教授はソ羅友の會により定められる筈である

佛の戰爭損害

（リスボン五日發）パリ來電＝ド・ゴール政權情報相テートジヤンは五日リールにおける演說でフランスの戰爭による損害について次の通り發表した

家屋六十萬戶は破壞乃至損害を受け橋梁二千三百は半壞し鐵道は三十粁に亘つて破壞された、破壞された橋梁のうち一千二百五十ケ所および鐵道二千粁は應急修理を施されたが、フランス國營鐵道はその有する鐵道車輛の三分の二を失ひ、三十五萬臺の自動車および貨物自動車を喪失した、八月末日現在のフランス戰債は一千四百五十億スイス・フランである

波同復地域の農業改革

（モスクワ二十七日發）「プラウダ」紙は二十七日ルブリン政權の農業改革實施狀況に關するコヴアーリスキーの論說を揭載して次の通り述べてゐる

ポーランドには五十ヘクター以上の土地を有する地主が一萬五千をり、全所有土地を合すれば二千七百萬八千ヘクターに上るが、百三萬五千の農民は總計二百萬八千ヘクターを有するだけで、そのいづれもの土地所有面積は五ヘクター以內、一戶當り平均二ヘクターに過ぎない、しかるに地主の土地所有面積の平均は百八十七ヘクターで、大地主の如きは十萬ヘクターを有してゐる者もある一九二〇年の憲法は農業改革を約束したが、實現に至らなかつた、ポーランド國民解放委員會は、本年七月二十二日の宣言で農業改革を約し、九月六日法令を發布して小土地所有農民の農場を五ヘクターに增加し、土地を持たぬ農民、農業勞働者および小作人に五ヘクターの土地を與へることとした、更に委員會は十月十一日十ヘクター以下の土地を有する中農にも土地を與へる旨の指令を發し、かくて農業改革は農民各階層に遍く行き亘ることとなつたのである、その結果ドイツ人、ドイツ軍を援助したポーランド人および五十ヘクター以上の地主の土地は沒收されて、一應國家の土地豫備となつたが、カトリツク敎會その他の宗敎團體の土地は沒收されない、また土地を貰つた農民は十二月二十日までに所有權を享受することになる筈だ、十一月十日までの一ケ月間に大地主五百六十五名の所有地が分配され、更に二百七十三名の土地が分配されることになつてをり、既に四千名の農民が土地を貰つてゐる、たとへばビエロストークでは大地主八十三名の土地八千六百三十五ヘクターが分配されたが、うち四千百八十七ヘクターは土地を持たぬ農民に一戶當り三・九ヘクターづつ分配されてゐる、また三千八百七十五ヘクターは小農に一戶當り二・二ヘクターづつ分配され、五百七十五ヘクターは中農に一戶平均一・九ヘクターづつ與へられてゐる

フインランド國防相更迭

（ストツクホルム二日發）ヘルシンキ來電＝フインランド大統領マンネルハイム元帥はワルデン國防相が卒中にかかり重態に陷つたためその任を解き二日後任にヴアイノ・ヴアルヴエ中將を任命した

【ソ　聯】

「戰爭と勞働階級」誌重慶攻擊

（リスボン四日發）モスクワ來電＝「戰爭と勞働階級」誌は重慶を攻擊、次の通り論じてゐる

蔣介石の權力は獨裁的である、重慶は戰爭指導を怠り、經濟問題は混亂し、政府の觀念は反民主的だ、重慶の政策は支那のみでなく同盟諸國にも有害である、蔣の政府改組は反動的反國家的傾向に新しい力を與へた、重慶の敗戰的戰略は日本軍をして重慶軍百個師を殲滅するとともに大陸の態勢を改善させた、國民黨內部の反動分子、地主、戰時利得者、貸官汚吏が勢力を增大したのは明らかだ

【ド　イ　ツ】

洪、ス兩國公使信任狀捧呈

（ベルリン五日發）外務省はドイツ駐劄スロヴアキア新公使ボグダン・ガルヴアネツク博士並びにハンガリア新公使ヴイテズ・アンドラス・メクセルの兩氏が四日ヒトラー總統に信任狀を捧呈した旨五日發表した

昭和十九年十二月八日(金)
第三二六四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

赤い星バルカンを蔽ふ(下)

原子林二郎

三、ギリシヤ

モスクワ會談ではバルカン問題が主要議題として俎上に載せられたことは想像に難くない、由來英國の傳統的バルカン政策はロシアの地中海進出を阻止するにあつた、英國が地中海を mare Nostrum とするためには、黒海の浮囚から脱しようと努めるロシアの進出を飽くまで喰ひ止めねばならない、ロシアの地中海進出とはとりも直さずバルカン進出だ、併しながら赤軍のバルカン作戰はルーマニア、ブルガリアに對するソ聯の進出を決定的なものとした、英國も以上の既成事實を認めねばならぬ破目となつたが、地中海の支配を飽くまでも維持するためにはギリシヤを確保しなければならぬのだ、中立筋の情報によればモスクワ會談ではルーマニア、ブルガリア、ハンガリーはソ聯の勢力圏に、ギリシヤ、アルバニアは英國の勢力圏に、ユーゴは英ソ共同の支配下に置くことに意見の一致をみたといはれる、以上が「確實な筋」の情報か或ひは單なる噂に過ぎぬかは知る由もないが、英國のギリシヤ觀を間接に傳へるものとして、米紙「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」の十月八日附社説を紹介しよう

「英ソ兩國政府が公式に否定してゐるにも拘らずバルカンに關して英ソ兩國間に一種の紳士協約が成立してゐることは疑問の餘地がない、赤軍がバルカンに到達するまで英國はバルカンに戰線を開設しないことに約束したといはれるが、この約束は一見嚴密に軍事上の考慮から出發してゐるやうにみえるにも拘らず、英ソ兩國のバルカン戰略は政治的な背景を持つてゐるやうだ、バルカンは公式には英ソ兩國間の二勢力圏に分割されてゐないし、米國政府はその外交政策に背馳するものとしてかかる分割を極力阻止しようと努めてゐるが、實際には既に活體解剖がすんでゐることは明白だ英國の考へ方をもつてすれば、ユーゴスラヴィアはソ聯の利害關係にとつて「蔭影地帶」となるべき性質のものだが、現實によりも寧ろ政治地圖において蔭影地帶を作る方が遙かに容易だ、英國としてはソ聯の影響力が現在以上に擴大することは面白くないだらうが、ユーゴスラヴィアに關しては ソ聯に有利な修正を承認せざるを得まい、しかしながらギリシヤとなると話が違ふ、ギリシヤに關する限り英國は一歩も讓歩することが出來まいもしもギリシヤの諸海峽やエーゲ海の諸島に對する傳統的な利害を放棄するならば、地中海における連絡線の基礎が震撼され、帝國の存在が危殆に瀕することを英國は熟知してゐる、英國の主張によればギリシヤに對するその利害は決して「他外的」な性質のものでないが、防禦的意味からギリシヤに對する他の大國の進出を許すことが出來ぬといふのだ」

武器よ、さよなら

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙のいふやうにギリシヤに關して紳士協約が成立してゐるかどうかは別問題として、またモスクワ會談でバルカン勢力圏分割が行はれたかどうかは論外としても、ブルガリアに進駐した赤軍が希勃國境に達するや否や、英軍が慌ててギリシヤに上陸したことは、ギリシヤに對する英國の關心を窺はしめるに足るものだ、またソ聯がギリシヤを英國の勢力圏と認めたことは暫く措くとしても、ギリシヤにおける共産勢力にその影響力扶植の支柱を見出してゐることは否定出來ない、その結果英國をしてまづ共産勢力の武裝解除を斷行して、共産勢力による市民戰を阻止せしめるに至つた、これがギリシヤ首相パパンドレオの國民抗戰團體解散令だ、「タイムズ」紙十月二十八日附の報道によればパパンドレオ首相はアテネ歸還後の十月十八日第一聲を發し共産勢力武裝解除への伏線として次の通り言明したといはれる

過去において黨派主義乃至ファシズムは國家の基礎を危くした、かかることは政治に對する武力の容喙と同樣一切跡を絶たねばならない

ギリシヤ武裝兵力は以上の根本原則に基いて再組織されねばならず、非正規軍は再編正規軍にその正當の地位を見出さねばならない

以上のお膳立を作つた後にパパンドレオは十二月十日までに國民抗戰團體は武器を政府に引渡して解散し、望むものはギリシヤ正規軍に入隊すべき旨の法令を發布した、この解散令が右翼王黨派の抗戰團體EDES隊よりも左翼のELAS隊を狙ひとしたのはいふまでもなく、從つてELAS隊の政治本據EAM團が猛烈に反對したのはいふまでもない、エキスチェンヂ通信のアテネ電報は十月十七日以上の消息を

左翼急進派のEAM團はパパンドレオと會見し遊擊隊ELASの解散に先立ちまづギリシヤ國王の復辟を決定するため國民投票に訴へるべきことを要求した、パパンドレオの肚はELAS隊を解散してしかる後國民投票を行ふにあるがELAS隊はさらにパパンドレオ政府に對して共和政府を確認するため明確な決定を行ふべきことを迫つたと傳へてゐる

パパンドレオはEAM團の反對を押し切つて有無をいはさずELAS隊を解散させるため、まづ既定事實を作らうと圖り、十一月十五日ELAS隊の司令官サラフイス將軍をギリシヤ正規軍の參謀總長に任命したが、EAM團はかかる飴をしやぶる氣は一向になく、依然解散の氣配すら示さずソ聯に訴へて介入を要望してゐると傳へられる、アテネからのロイター電報によれば英國は事態の紛糾に豫期したことながら痛く狼狽して干渉を決意した樣子で、ギリシヤ派遣英軍司令官スコビーは本部にELAS隊司令サラフイス將軍とEDES隊司令ゼルヴアス將軍を招致して「懇談」した結果、兩派共に解散を不承々々同意したといはれるが、ベルギーの例にもみられるやうに十二月十日の蓋をあけてみなければ何ともいへない

王政の悲劇

遠くはイタリアのエマヌエルの例にもみられる通り、今次大戰が歐洲に齎したものは王政の凋落だ、ルーマニアにおいては政治の實權は既にミハイの手中になく、ブルガリアにおいてもシメオンは王宮でなすこともなく日を送り、ユーゴスラヴイアではペタールは亡命地からの歸還すらも許されてゐない、ギリシヤにおいてもまたしかりだ、一九四一年春ドイツのバルカン作戰當時アテネからクレタ島に蒙塵したゲオルギオスのギリシヤ國民に與へた悲壯なメツセーヂを記憶するものは、まだ「權威」の響に高鳴つてゐたことを知るであらうが、いまではカイロからナポリへの流滴の身を喞つのみで權威のケの字すら感ずることが出來ない

ゲオルギオスの唯一の支柱たる王黨派の遊擊隊EDESはELAS隊との抗爭に疲れ果てて昔日の俤はなく、英國の支持を恃む一人のスカーレツト・ピンパーネルすらない、國王の復辟を最も强力に反對してゐるのはEAM團で、それは既に民の聲とすらなつてゐる實情だ、パパンドレオ政權もレバノン憲章に縛られてゐる限りゲオルギオスの歸國を許すことは出來ず、英國もギリシヤ國民に色眼を使ふためには、國王を敢へて無視する態度を採らねばならぬのだ「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は國王の悲劇的地位を說明して十月八日の紙上で

ギリシヤ政府は各政派の統一の上に危く立つてゐるが、いつ何時勃發するかも知れぬ市民戰爭を防止しなければならぬ立場にある、ゲオルギオスを支持する英國はすくなくとも彼のために復辟の「理論的機會」を都合してやりたいのだが、王政問題は嚴密にギリシヤの內政問題だとして介入を避けてゐる實情だ

と報じ、英紙「オブザーヴア」は同じく十月八日の紙上で

英國の利害には王制ギリシヤの回復までは含まれてゐない、ギリシヤ政府の立場は國王の歸還を必要としないし希望もしてゐないやうだ、結局問題は國民投票によつて決定されるであらうと露骨にゲオルギオスを見放してゐる有樣だ

十六桁の惡性インフレ

ギリシヤの共產勢力が强大な根を張つてゐるのは、一九四一年春以來祖國に踏み留まつて地下に潛り、執拗に對獨工作を續けてゐたため國民の支

昭和十九年十二月八日(金)
第三二六四號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

持を固く摑んでゐることに起因するが、最近著しく勢力を擴大したのは國内經濟狀態の極端な惡化が與つて大いに力がある、そこでギリシヤの經濟狀態を紹介しなければならぬわけだが「オヴザーヴア」紙は十月八日の紙上で次の通り傳へてゐる

「反樞軸遠征軍が進擊するにつれて、ギリシヤの經濟問題が大寫しに民政部門に直面するに至つてゐるが、將來ギリシヤ當局と共同で解放地域に對する食糧供給の責任を負擔しなければならなくなるであらう、ギリシヤは平時ですら主要食糧を海外からの輸入に仰いでゐたが、恐らくポートランドを除いてギリシヤほど飢餓と窮乏に苦しんでゐる被占領國はほかにあるまい、ギリシヤに供給する食糧の量については目下ワシントンで交涉が進められてゐるが、ギリシヤ國民は今日まで配給された食糧の量を雀の涙ほどにも考へてゐない、事態を最も困難とするものは食糧を輸送し配給する機關だ、戰前ギリシヤの諸島嶼と本土との間の海上連絡は食糧配分上大きな役割を演じてゐたが、以上の目的に使用されてゐたエーゲ海商船隊は總計十萬トンであつたが、今日ではその殆んど全部が擊沈されてゐる、内地輸送に振り向けられてゐる木造船は僅かに二百五十三トンに過ぎない

次の重大問題は通貨だ、ギリシヤのインフレは未曾有の惡性振りを發揮してゐる、戰前の流通額は百億ドラクマであつたが、昨年八月には五百兆ドラクマであつた、しかるに八月から九月までの僅か一ケ月間に八倍に增加し、五百兆ドラクマから四千兆ドラクマに跳ね上つた、金貨一磅にたいする割合は戰前には一千ドラクマであつたが、八月には三十億ドラクマとなり、九月には十倍の三百億ドラクマに暴騰した、かうした急調子のインフレの理由は、ドイツ軍がギリシヤを引き揚げる際ギリシヤ國立銀行に出來るだけの紙幣を印刷させて引き取ると、それで手に入る限りの物資を買ひ漁つたためだ、かかる狀態では磅とドラクマの爲替相場を定めることすら出來ない、止むなく英軍は爲替相場を定めずに軍隊のために特別の軍票を發行した、目下ギリシヤ財務當局との間にロンドンで交涉が進められてゐるが、ギリシヤ側の代表は元ギリシヤ國立銀行總裁のヴアルヴアレリスと本年八月までEAM團の一人として山中に潛伏現在財務次官に就任してゐる元アテネ大學經濟學教授のアンゲロポポロスである

どうせ死ぬなら墓地で

經濟復興工作もまた直接の救濟策として審議されてゐる、焦眉の要は電力生產の確保だ、ギリシヤ農業の復興にも根本的對策が要請されてゐるが、役畜の六十パーセントが斃死してゐるため、ギリシヤ當局はトラクターの使用に切換へて農業を再建することを考慮してゐる、それには他の農具のほかに二、三千臺のトラクターを必要とする最後にギリシヤの國民實所得は現在戰前の僅か四十パーセントに減じてゐることも忘れてはならない」

また「タイムズ」紙のパリ特派員も十月五日つぎの通り報じてゐる

「ギリシヤを訪れた萬國赤十字社のテオドル・カラクの最新情報によれば、ギリシヤの饑饉は些かも衰へをみせず、ドイツ軍占領後の初めの十八ケ月間に百萬のギリシヤ國民が飢死したといはれるアテネの市街では毎日三千の人が一杯の水以外に食物もなく死に瀕してをり、市廳の「死人の車」に拾ひ上げられるよりは墓地で死なうといふので押し掛けるため、毎朝墓地を埋めるほどの屍體が發見されるといふことだ、亡命ギリシヤ政權の奔走によつて、毎月一萬四千屯の小麥粉がカナダから船で運ばれるが、更に狀態を惡化させてゐるのは二十萬のドイツ軍守備隊とギリシヤに踏み留まる十二萬のイタリア勞働者で、彼等は補給線を斷たれてゐるばかりでなく、鐵道も動かなければ道路輸送機關もなく石炭もない、アテネに運ばれてくる僅かの食糧は皆駄馬の背を借りてだ」

「大ギリシヤ」の再建

マケドニア、トラキア兩地方はバルカンの癌といつてもよいほど古くからギリシヤ、ユーゴ、ブルガリア三國の係爭の對象となつてきた、ブルガリアが樞軸に加盟して米英兩國に宣戰を布告したのも、ユーゴ、ギリシアの犧牲においてマケドニアと西部トラキアを捲き上げる心算であつたのだしまたトルコ、ユーゴ、ギリシヤをふくむバルカン

聯邦を提唱してゐるのも、狙ひは兩地方の領有にあつたのである、從つてブルガリアに對する反樞軸の休戰條件の中核をなしたのが、以上兩地方からのブルガリア占領軍の撤收にあつたことは別に不思議でない、またイーデンがモスクワ會談後チヤーチルと袖を別つてアテネに飛んだのも、ギリシヤの經濟問題解決と同じやうに重大問題であるギリシヤ國境問題を協議するためであつた

ギリシアが正式にブルガリア領土を要求したのは十月十日に行はれたパパンドレオの聲明だ「タイムズ」紙アテネ特派員が十月二十日報するところによれば、パパンドレオはイタリア領ドデカネーゼ諸島のみならず廣大なブルガリア領土をギリシヤに引渡すべしと要求したといはれるが、領土要求に對してEAM團の共產勢力が支持を與へてゐないことは注目に價する、たとへば、「タイムズ」紙のアテネ特派員は十一月一日次の通り報じてゐる

十月二十九日はギリシヤの參戰記念日だが、この日市中を示威行進した民衆は巨大なバルカンの地圖を掲げて、將來のギリシヤ國土を誇示して歩いた、その地圖によるとギリシヤの國土は緯度四十三度まで押し擴げられ、ヴアルナを含みソフイアのすぐ南まで擴大されてゐる、ギリシヤ民衆はこの地圖を指して「大ギリシヤ萬歲」と叫んでゐるが、かかる領土要求は國家主義者だけの政策で、EAM團の支持を得るにいたつてゐない」

EAM團といつても民主々義勢力の統一戰線であり、共產黨以外に民主々義的乃至はブルジョワ諸政派も含まれてゐるから、必ずしもEAM全體がギリシヤの領土要求に反對してゐるとみることは出來ないが、以上の要求がソ聯勢力の滲透するブルガリア、ユーゴのみならずボノミ政權のイタリアに關聯するため、英國がパパンドレオ政權の要求を手輕に承認する譯に行かぬのは當然のことで、イーデンが媾和會議後まで國境問題の解決延期を提案したことは痛くギリシヤの國家主義派を失望させてゐる樣だ

希の對勃宿怨

更に問題を複雜化してゐるのは、ギリシヤにマケドニア獨立運動が擡頭してゐることと、マケドニア獨立運動の一派がチトーの提唱する南スラヴ聯盟に加盟する希望を表明してゐることである、「ノイエ・チユーリツヒアー・ツアイツング」紙ロンドン特派員が十一月二日報するところによれば、イーデンのアテネ滯在中、マケドニア反ファシスト解放同盟が宣言を發表して、マケドニアが主權國家としてチトーの南スラヴ聯盟に參加する旨の意思表示をしたといはれるが、かかる動きはEDES一派の帝國主義的野望に對する楔の役割を果すものといへよう

西トラキア、マケドニア問題は別として、ギリシヤのブルガリアに對する宿怨は相當深刻なものがあり、更にブルガリア占領軍の非常識な行動が以上の敵意に更に拍車をかけたことは爭へない、スイス紙「タート」のロンドン電報は以上の事實を裏書して十二月十五日次の通り報じてゐる

ギリシヤがブルガリアにたいする休戰條件に不滿であることは豫想されてゐたところだが、ギリシヤの要求を無視してゐると稱して抗議の意味でパパンドレオ政權の閣僚六名が辭表を叩き付けた、パパンドレオは辭表を摑り潰して結局うやむやに終つたが、イーデンはアテネ訪問に際して、反樞軸がギリシヤに明確な賠償の保障を與へることが出來なかつた理由を說明するのに苦しんだ樣子で、イーデンのギリシヤ訪問は失敗に終つたとみるべき十分の根據がある、ギリシヤは不信の眼でソ聯のバルカン工作を見守つてゐるが、それはブルガリアがソ聯でなくギリシヤだけに損害を與へたのだから、ルーマニアやフインランドと違つて戰爭損害を補償せずとも濟むのではないかと危惧してゐるためだ、ギリシヤはまた休戰條件に領土問題の解決を示唆すべき何らの規定がないことにも不滿を覺えてゐる

四、ユーゴスラヴイア

ポーランドと同樣ユーゴスラヴイアにも二つの政權がある、ロンドンの亡命政權とチトーのユーゴ國民解放委員會だ、そしてポーランドと同樣スバシツチ政權を英國が支持しチトー政權をソ聯が支持してそれぞれ勢力扶植の道具と化してゐるが

昭和十九年十二月八日(金)
第三二六四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

兩政權が最近合同の氣運を示し、チトーとスバシツチがあひ前後してモスクワを訪問、スターリンと會見してゐることは注目に値する、英國言論界はユーゴに關しては既にモスクワ會談で決定したとみて希望的に觀測してゐるやうだ

英軍の幽靈上陸

しかしながら一九四一年春の敗戰以來ロンドンに亡命してゐるスバシツチ政權と爾來一貫して遊擊戰を遂行してきたチトー政權とのいづれが國民の支持をえてゐるかは、くだくだしくいふ要がない、赤軍がブルガリアを平定してユーゴ國境に迫り、チトー軍との合流が實現しさうになつた當時地中海方面の英軍司令部は英軍が海空兩面からダルマチア海岸に大上陸作戰を遂行してユーゴ領内でチトー軍と協力、作戰を展開してゐるといふ根も葉もない虛報を麗々しく戰況公報で發表して物笑ひの對象となつたが、これなどはユーゴに發言權を要求する英國一流の謀略だ

かうした例は一再ならず繰り返へされてゐる、地中海方面の英軍司令部は十一月十九日公報をもつてギリシヤに侵攻した英軍がモンテネグロ、ヘルツエゴヴイナでチトー軍と協力して作戰を遂行してゐると再び發表して、英國が如何にもユーゴの解放に全力を盡してゐるかの如き印象を與へやうと努めたが、ユーゴ國民解放委員會側のタン・ユーグ通信社は十一月二十四日特別發表の形式で本通信社は國民解放軍及び遊擊隊の最高司令部よりの許可を得て、ダルマチア海岸には如何なる反樞軸軍の上陸作戰も一切行はれず、僅かにドウブロヴニクに英軍三個大隊が上陸してチトー軍に協力してゐるのみであることをここに正式に發表する

と猛烈な竹篦返しを喰はせ、英國を手酷く狼狽させたといふ面白い事件もある

英國がミハイロヴイチのチエートニク派からチトー軍に乘り返へたのはミハイロヴイツチ勢力が急速にユーゴ國民の支持を喪つたためにもよるが共產勢力に橋頭堡を確保しておかぬ限りソ聯にユーゴを攫はれてしまふと悟つたせいであらう、しかしながら事態は英國の思惑通りに動いてゐないやうだ、米國週刊誌「ニューズ・ウイーク」の十一月上旬號はこの間の消息を素破抜いて次のやうな興味ある報道を行つてゐる

ユーゴに進攻する赤軍とチトー軍との間の軍政協定成立、UNRRAの物資供給にたいする非歡迎的態度、チトー軍占領地域からの米英軍事使節團の追ひ出し等の一聯の事件は、チトー陣營内の共產勢力を減殺しようといふ英國の工作が完全に失敗に歸したことを示すものだ、もしも英國が亡命ユーゴ政權とチトーとの間に協定を成立せしめるため何等かの方式を發見しようと努めてゐるならば、それは面子を救ひ一般の眼から失敗を蔽ひ隱さうといふ絶望的な努力にほかならない

マケドニアの歸趨

ユーゴスラヴイアはバルカンきつての多民族國家だ、一九二一年の國勢調査によれば、セルビア人五百五十萬、クロアート人三百五十萬、マケドニア人六十萬、スロヴエーン人百萬、マジヤール人四十六萬、アルバ・ニア人四十四萬で、セルヴイアが最も多くを占め、從つて戰前のユーゴスラヴイアはセルビア人の支配國家であつた、このことが現在セルビア人を除く他のユーゴ國民に國王ペタールの亡命政權が人氣のない所以で、たとへスバシツチとチトーの兩政權間に合同の氣運が促進されても國王の復辟は不可能に近い、これがまた英國をしてチトーの國民解放委員會を支持するかの如き體裁をとらせてゐる理由で、チトー自身セルビア人だが、所謂「セルビアのヘゲモニー」を痛烈に攻擊してゐることも國民の支持を得てゐる一半の理由となつてゐる「マンチエスター・ガーデイアン」紙のロンドン特派員は十一月三日ユーゴ兩政權の動きについて次の通り報じてゐる

チトーとスバシツチは最近會談したが、その結果、ユーゴスラヴイア統一國民政府を樹立することに決定をみたといふことだ、理論的にはユーゴ政府と解放運動との統合に關し若干の進歩がみられてゐるやうである、ソ聯と英國はモスクワ會談において完全な意見の一致をみたと公表してゐる、發表ではどの程度まで話し合がついたのか殆んど明かにされてゐないが、新政府の樹立と國民の統一を實現する一切の要因が檢討されたことは明瞭だ、時は重要な契機だ

従つて新政府が卽刻實現するかどうかが大いに問題となる、目下のところ新政府の構成とその內外政策に關心が集中されてゐる、國民解放委員會指導部はかつてユーゴスラヴィアは舊秩序に復歸することはないと言明したが、これは中央集權國家としてのユーゴを指すもので、國民解放委員會の意圖するところは分權國家群か聯邦制であらう、聯邦案は主としてクロアチア人と一部のスロヴァニア人の間で支拂を得てゐるが、最近のマケドニア問題で一段と拍車を驅けられてゐる、マケドニア反ファシスト國民會議はソフイアから放送してマケドニア國家が新民主々義ユーゴースヴイアの一員となることを提案し、「大セルヴイア主義」を排擊して、最後にブルガリアおよびギリシヤのマケドニア人に對して大同團結を要請した、もつとも將來のマケドニア自治國がユーゴ＝スロバキア聯邦內でどんな國境線を確保するかについては明かにされてゐないが、恐らくユーゴ、ブルガリア、ギリシヤのマケドニア地方のほかにアルバニアの一部を要求するものとみられてゐる」

チトーの聯邦案

ユーゴが將來如何なる國家形態を採るかに關するチトーの見解は、今後スバシツチ政權と合流した際彼の地位を決定するばかりでなく、延いては共產主義の勢力を決する點で重大な意義を有する外電を綜合すればチトーの案はユーゴスラヴイア聯邦の結成にあるやうだ、元來ユーゴースラヴイアといふ國の名は南スラヴ聯盟といふ意味だが、APモスクワ特派員ダニエル・ド・ルースが十一月二十六日報道するところによると、チトーはブルガリア新聞「勞働者の味方」のベルグラード特派員と會見した際、次のやうな見解を述べたといふことである、卽ち新ユーゴスラヴイア（南スラヴ聯盟）はセルビア、クロアチア、マケドニア、ボスニア、モンテネグロ、ヘルツエゴヴイナの新國家群と若干の自治州よりなり、聯邦內の各國はそれぞれ政府を有し、中央政府によつて統轄され聯邦議會と聯邦共和國議會の双方が設置されるといふのである、この場合マケドニアがブルガリア乃至ギリシヤ領のそれをも含むものかどうかについては明かにされてゐないが、以上が米國の如き民主々義政體に範を採つたといふよりもソ聯の國家形態を模範としたことは明瞭で、AP記者は、「チートの聯邦案はソ聯の支持を得ることはいふまでもないが英國も文句のつけやうがあるまい」といひ放つてゐる

英國はユーゴ政權がチトーの國民解放委員會と合流した際、新政府の首班にはスバシツチが坐るものと樂觀してゐるが、UPベルグラード電報が十一月二十二日傳へるところによれば、國民の氣分から判斷すればチトーの新政府首班は動かぬところといはれ、恐らく彼が實權を握つて、スバシツチを聯邦最高會議議長の閑職に祭り上げるのではないかとみられてゐる

資料

ポーランドの代價

「タイム」誌十一月六日號

チヤーチルは先週モスクワからロンドンに歸つて來た、彼のポケツトには世界平和の約束が秘められてゐた、歸還後二日を經てチヤーチルはモスクワにおけるスターリンとの會談の結果を、首尾如何にと待ち構へてゐた議會に報告した、しかしその報告演說はいつになく簡單なもので、チヤーチル流の美辭佳句も殆どなく、しかも、これといふ目星しい點も餘り見當らなかつた、大體ものごとに代價は附き物だが、平和にもまたそれ相應の代價があるものだ、議員諸君がチヤーチルの口から聞きたがつたのは、彼がモスクワにおいてポーランド問題の解決に成功したか、また成功したとすればどのやうな條件だつたか、といふ點にあつた、そしてまた、バルカン問題は一體どうなつたか、といふことだつた、報告者チヤーチルは先づバルカン問題を取り上て曰く

英國とソ聯は「これらの諸國すべてに關して、各個別的にも、また綜合的にも、極めて有效な實際的協定」をもつてゐる

が、しかし、この協定が如何なる性質のものかについては、ただユーゴースラヴイアに關してのみ說明されるに止まつた、いはく

スバシツチを首班とするユーゴ政府並びにチトーとの關係においては、英ソ兩國は事實上共同の動作をとつてゐる、英ソ兩國はスバシツチ、チトー兩者に對し共同の通告を送り、兩者がナポリにおいて會談するやう要請した

チヤーチルのこの言明は、モスクワにおいて發表された「ユーゴースラヴイア國民が戰後かれら自身將來の國家的構成を決定する權利は勿論割讓し得ぬものとして承認されるものである」とのチヤーチル・スターリン共同聲明とは別個に考へ得られぬものである

この「割讓し得ない權利」に關しては必ずやチトーが決定的な手を打つに相違ない、しかもチトーは英國よりはむしろモスクワのいふことをきく立場にある、それにしても、ソ聯としてはペタール王政府が「赤い元帥」の頭上に王室の「後光」を投げかける以上のことを要求することはちと難しからう

ミコライチクの復歸を慫慂

チヤーチルはその議會報告演說中でポーランド問題に言及したが、彼の言明は明かにソ聯のポーランド問題解決策を事實上裏書きしたものに他ならなかつた、チヤーチルは首相ミコライチクに對してポーランドへ、つまり亡命ポーランド政權へ復歸することを極力慫慂し、またロンドン在住のポーランド要人達に對しては、かれらがこれ以前にすでにソ聯と妥結してゐなかつたことに對して言葉鋭く叱責した、われわれはここでチヤーチルはミコライチクの「ポーランド復歸」が分裂に瀕してゐる亡命ポーランド政權に相當の影響を與へ得るといふことを承知してゐるのだ、といふ點を指摘しておかう、一方報道によれば、ソ聯のポーランド支配を容認し難しとするソスンコフスキーその他のロンドン在住のポーランド要人連はすでにブラジルで土地家屋等を購入して同國で恒久的な亡命生活を送る計畫をたててゐるといはれる、亡命生活といへば、ボールとその一味は目下ドイツの俘虜收容所にあつて更に恒久的な亡命生活を送つてゐるのである

それにしても、スターリンとしては、チヤーチルがミコライチクの復歸を慫慂するといふ以上のことは要求出來なかつたのであらう、ソ聯のポーランド問題解決策においては、ミコライチクはクレムリンにとつてまづ容認してやつてもいい人間といふことになつてゐたからである

他方、共產黨色極めて濃厚なルブリン政權は、スターリンが歐洲におけるソ聯の隣接諸國に打ち建てようとしてゐるやうな人民戰線政權ではなかつた、その上このルブリン政權は世界的には全く何等の地位もない、ポーランド內においてすら殆んど名前さへ知られてゐない小物ばかりで構成されてゐたのだ、しかもまたルブリン政權の面々は最近その農業人民委員アンドレイ・ヴイトスがルブリン政權の過激な土地所有制度改革失敗の結果辭職するに至つて、一層その地位が低下してしまつた

してみれば、次に打つべき手は亡命ポーランド政權首相に殘されてゐることは明かだ、そしてもしかれがポーランドに對して、さらにまた平和のために忠實ならんとするならば、かれの打つべき手はただ一つしかあるまい、卽ち、ソ聯に歩み寄ることがそれだ

物量恃むは米軍最大の缺點

ハンソン・ボールドウイン

「ライフ」誌十二月號

「ニューヨーク・タイムズ」紙軍事記者ハンソン・ボールドウインは最近西部戰線を視察してきた資料に基いて「ライフ」誌十二月一日號に長文の論說を寄稿し、米軍の缺陷を一々列擧して痛烈に非難してゐるが、米國一流の軍事記者の批判だけに早くも各方面に多大の反響を捲き起してゐる、同論說の要旨を紹介すれば次の通り

歩兵の缺點

西部戰線における米軍の作戰は一般的にいつて申し分がないが、若干の重大缺陷と二三のとり返しのつかぬ短所が存在することは蔽ひ得ぬ事實だ

米軍の補給と裝備の質と量は非難の餘地がないが米軍將兵は物量の優位に賴り過ぎて、積極性も戰術上の主導性も殆んど示してゐない、以上は十分な訓練に缺けてゐるためと戰爭目的を理解してゐないためと思はれる、米軍歩兵の弱點はノルマンデイ作戰當時ドイツ軍を狐穴や急設塹壕から狩り出すため、火砲、飛行機の大群の援助を當にし過ぎた事實でも明瞭である、以上の缺點は訓練期に戰鬪教練を實施せず、戰車、航空兵力との適當な協力法を教へず、訓育を通じて士氣の昂揚を圖らなかつたためだ、米軍は一般に勇敢で知的で教養もあるが、政治的世界觀に缺けてをり、英軍乃至赤軍に比肩する戰鬪精神を有する者は極く稀で大部分は歸鄕をのみ望んでゐる

指揮部の劣惡

北阿、イタリア作戰當時に比較すれば、現在米軍兵士の士氣は一段と改善されてゐるが戰鬪精神があまり強烈でないのは、一般に指導部に優秀な將校がゐないためである、大多數の指揮官は優秀で、師團長、聯隊長、中隊長などで作戰に失敗した者は直ちに更迭されてゐるが、下級指揮官のなかには責任を自覺しない者が多く、部下の進言を忌避し、作戰の主導性をとつて指揮系統を混亂させることを嫌つてゐる、幕僚の仕事は鈍臭いが、それは司令官が要りもしない屬官を身邊に集めて威信を昂めやうと圖つてゐるためだ、たとへば一軍團は六個の戰鬪師團を編成出來るほどの要りもしない屬官や後方勤務員を抱へ込んでゐる實情である、ノルマンデイ侵攻作戰は計畫も立派で兵力の運營も非の打ちどころがなく、戰術も堅實であつたが、物量における壓倒的優位に倚り過ぎて大膽さに缺けるところがあつた

物量を恃むな

ノルマンデイ侵攻作戰開始後の二ケ月間に、歩兵は熾烈な空爆と砲撃の掩護を受けずには前進しようともせず、戰車集團の果敢な突撃を利用出來なかつたことは顯著な例だが、砲兵の戰術は目標を明確に定めもせずに屢々集中砲撃に待つて不經濟な射撃を行ひ、多量の彈藥特に百五十五粍や八十一粍砲彈を湯水の如く浪費してゐる、しかしながら空陸協力活動は從來よりも著しく改善され、觀測機は砲兵の射撃を有效に指揮し、低空戰鬪爆撃機は戰車、歩兵に測り知れぬほどの援助を與へてゐる、高空爆撃機は地上作業と協力する際屢々友軍を爆撃するといふ不祥事を發生せしめたが、米軍の經驗からすれば地上部隊との協力に當り低空戰鬪爆撃機の方が遙かに優れてゐることが明かにされた

米軍は近代兵器によつて可能となつた奇襲戰法を屢々無視し、戰車兵は愼重過ぎて力を浪費し、徒らに攻撃を反復するといふ過誤に陷つてゐる、要するに米軍兵士は優秀な指導部とより廣範圍の政治意識を有し、機械力に過度に依存しなくなれば、英軍乃至赤軍兵に負をとらぬやうになれるであらう、次の戰爭では恐らく機械力に對する依存度は增大するであらうが、その時には米國が再び機械力の優位を確保出來るとは考へられないし、工業力の强大な同盟國を有する機會もまづあるまい、從つて米國が將來努めなければならぬ任務は機械力の優位に士氣の昂揚をプラスすることでなければならない

英の超弩級戰艦進水

（リスボン二日發）ロンドン來電によれば英本土北部の某造船所で二日世界最大の戰艦が進水したといはれる、右戰艦の名稱、裝甲、性能など一切發表されてゐないが、ロイター電報によれば英海軍省では「世界最大」の戰艦と稱してをり、本年一月進水した米戰艦ミズリー（四、五〇〇〇噸）が從來「世界最大」であつたところから見て英國の新鋭戰艦がミズリー以上であることは間違ひないといはれ、また同艦には濃霧と暗闇の中でも敵艦隊の行動を探知し得る「電氣眼」その他あらゆる最新式裝備が施されてゐると傳へられる、さらに新鋭戰艦は對日戰に使用される模樣で、二日海相アレキサンダーも「新鋭戰艦は熱帶水域で作戰することにならう」と言明したといはれる

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　國際發行人　兵庫縣伊丹　東京都麴町區日比谷公園二番　發行兼編輯人　同盟通信社

昭和十九年十二月九日(土)　第三一二六五號

同盟通信

海外電報

(282)

【目次】

英國政界に旋風……三〇二二
國務省に捻じこむ……〃
見解の相違は根本的……〃
カナダ下院愈々信任投票……三〇二三
ルーマニア新内閣誕生……〃
國務次官補任命を拒否……〃
【ドイツ】
クレムリンの外交攻勢……三〇二四
女子の動員强化……〃
【歐洲】
希内亂に戰車、裝甲車で應戰……三〇二五
騷擾全國に擴大か……〃
芬軍の武裝解除完了……〃
【英帝國】
スフオルツア伯事件の波紋……三〇二六
イーデン外相に質問蝟集……〃
タイナマンの殺害犯人は米國兵……三〇二七
米軍の俸給消えてなくなる……〃
【友枢軸陣營】
佛ソ會談好並捗か……〃
會談の內容と佛今後の地位……〃
國際勞働代表初顏合せ……〃
獨病院船不法擊沈を認む……〃
伊戰線米軍司令決定……〃
【米洲】
國務省首腦任命もめる……三〇二八
新國務長官と國內の反響……〃
外國貿易省新設か……〃
十一月中造船高……〃
ユダヤ人の權利を主張……〃
【特輯】
重臣政權の改組(下)……三〇二九
【資料】
貸與協定方針の體系……三〇三五

世界の焦点

米國の日米開戰記念日は十二月七日にあたる、との開戰三周年目にUP通信のマイラー記者は長文の論文を發表して、過去三ケ年の戰爭を回顧すると共に、將來の戰局の推移を展望してゐる、彼はその冒頭において「米國は今や進行中乃至準備中の大攻擊が必ず勝利を收めることを確信して疑はない、ただ問題は勝利の日が何時訪れるかだ」と述べ、戰局の大勢が決定的に反樞軸陣營に有利に展開してゐることを强調してゐる

しかし彼は同時に反樞軸軍の前途に橫はる大きな困難を指摘することも忘れてゐない、マイラーの指摘するその困難は次の三點である(一)日本軍の東南支における突破作戰は重慶、昆明のみならず、ヒマラヤ以北の米第十四航空隊の全基地を危殆に瀕せしめてゐる(二)反樞軸軍の補給の困難、特にこの困難は廣大な太平洋戰域で甚しいが、一方國內的には人的資源の缺乏、生產の遲滯、軍需再轉換等の困難な問題がある(三)重慶をはじめ歐洲反樞軸小國の內部的抗爭は思想戰的要素をも含み大國間の軋轢にまで發展する可能性を藏してゐる、マイラーの論旨を要約すれば結局反樞軸軍は今後更に困難な戰ひを經なければならぬが、反樞軸の壓倒的な物量によつてその勝利はゆめゆめ疑ひなしといふにある、彼のあげた三つの困難はたしかに反樞軸陣營の行手に立塞がる大きな障碍であるに相違ない、しかし我をしていはしめればこれ等の困難はただ枝葉末節的なものに過ぎない、敵最大の弱點は、マイラーが最大の力とあげた物量の點にこそ潛んでゐる、物量を萬能と信じこれに賴る心、これが彼等の最大の弱點であるのだ

敵戰車七千有餘を擊破

(ベルリン五日發)ドイツ軍當局五日發表＝西部戰線のドイツ軍は歐洲侵攻戰開始以來十一月三十日までに反樞軸軍戰車、裝甲車總計七千百八十一輛を擊破乃至鹵獲した

英國政界に旋風

—干涉政策を糾彈—

（ストツクホルム七日發）英國下院は八日開院式における國王の聲明に對する討議の形式で外交政策に檢討を加へるに決定したが、スフオルツア伯否認に關する米國政府の聲明、並びにギリシヤ内亂に對する武力干涉は英國政界に深刻な衝撃を與へ、チヤーチルを首班とする聯立内閣は恐らく成立以來の重大局面に逢着してゐると解される、討論の動議を提出したのは勞働黨の外交通シーモア・コツクスだが他に無所屬のクレメント・デーヴイス、ドライバーグ、聯邦黨のサー・リチヤード・アクランドなどの各十名の下院議員がすでに質問を通告してをり、政府からは首相チヤーチル、外相イーデンが答辯に當つて白熱的論戰を展開すると見られる、恐らく討論終結とともにチヤーチルは下院に信任を問ふと豫想され、結局下院の信任投票を確保するだらうが、米國務長官ステチニアスの聲明に對しては七日に至り英國言論界も一齊に論陣を張り

「輕率不謹愼」とか

「無用の警告」とか

「一大失態」

等々の見出しで不滿を爆發させてゐるので、討論の推移は米英兩國間の關係にもかなり大きな影響を與へよう

ロイター電報は七日英國政界の空氣を傳へ次の通り述べてゐる

ギリシヤ内亂に對し英國政府が戰車空挺部隊、更に空軍を動かして武力干涉するのやむなきに到つたことは英國政界に政治的旋風を捲き起す形勢だ、特に國務長官ステチニアスの不介入宣言の含意で英國政界は一段と情勢を重視してゐる政府が大急ぎで八日下院における本格的討議に同意したのに徹しても事態を懸念重視してゐることが窺へるが政界並びに言論界の空氣から察してチヤーチルの「ギリシヤ政策」並びに「非公開外交」に對しては輿論が決して全面的支持を與へてゐないことが明らかだ、當局がステチニアス聲明に對して依然沈默を守つてゐるのは英國政府が「最近の推移」を懸念してゐないためではなく、米英兩國が公然喧嘩することは反樞軸軍の戰爭努力を著しく阻害し、日獨兩國の宣傳に好餌を提供するに過ぎないことを憂慮してゐるからに他ならない、明日の討議では恐らくチヤーチルまたはイーデンが獨りスフオルツア伯否認問題についてだけでなく、歐洲各國に對する英國政府の全般的政策を闡明するであらう、野黨の攻撃は

第一に歐洲各國に對する施策について何故事前に米國政府と協議しなかつたか

第二にパパンドレオ首相が辭意を表明して自由黨首領ソフオーリスに時局の收拾を委囑したのにチヤーチルが何故ソフオーリスを忌避したかとの二點に集注されよう

國務省に捻じ込む

（ストツクホルム七日發）「ヨークシヤ・ポスト」紙の報道によれば英國政府はワシントン駐劄大使ハリファツクス卿に訓令し、内政干涉反對に關する國務長官ステチニアスの聲明は英國内で「好ましからぬ反響」を起してゐることを國務省に通告するやう指令したと傳へられる

見解の相違は根本的

（リスボン七日發）米國政府の外交爆彈により歐洲政策に關する米英ソ三國の對立は白日の下に暴露されるに至つたが、急速にスターリン議長とルーズヴエルト、チヤーチルの三頭會談を實現し彌縫策を講ずることが反樞軸陣營における喫緊の急務とみられるに至つた、ロイター電報によれば「ニユーヨーク・サン」紙は

權謀外交（パワー・ポリテツクス）の戰ひは今や歐洲において酣である、大統領選擧後三頭會談が開催されなかつたことはワシントン政界を失望させたが、さらに重大な懸念の因となつてゐる

昭和十九年十二月九日(土)
第三二六五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

と述べてゐるといはれる、またUPのワシントン電報は大統領ルーズヴェルトの見解は本質的に餘りにも根本的なので兩國政府の首腦が會見する以外解決の道はない、龜裂を彌縫する對象について既にワシントンとロンドンとの間に交渉が進められてゐるが、米英ソ三國間において尖鋭的に衝突する見解が次の三頭會談における議題の筆頭におかれよう、バルカン半島特に舊ユーゴースラヴィヤ領ではソヴエト政府の政策は米國自身が今回の爆彈宣言を發表する豫定であつたことを傳へ次の通り報道してゐる

歐洲各國の内政干渉についての米英兩國よりも英國の政策に近いやうだが、國務省筋では英ソ兩國がお互ひに併行的な政策をとつてゐる限り片方だけが右政策を斷念するのを期待出來ぬとみてゐる、確聞するに今度米國政府の政策を闡明するに當つてはルーズヴエルト自身記者團會見で發表する豫定であつたが、愼重考慮の後國務省から發表されることになつたのだといふ

カナダ下院 愈々信任投票

(リスボン七日發)徴兵案を繞るカナダ政界の動向はロイター特派員によれば

カナダ史上最も尖鋭化した政治的危機として大西洋岸から太平洋岸に至る全國民の深刻な人種的感情を惹起したといはれるが前後二週間カナダ下院における白熱的討議の後愈々七日夜マツケンジー・キングを首班とする内閣信任案が表決に付されることとなつた、決定權を握つてゐるのはケベツク州選出四十五名の自由黨議員だが内十五名は現内閣を支持するに決したから結局三十票乃至六十五票の多數で現内閣が一應危機を切り抜ける形勢である

ルーマニア新内閣誕生

(ストツクホルム七日發)ブカレスト來電=サナテスコ辭任の後をうけて國王ミハイ一世から後繼内閣組織の委囑をうけたニコライ・ラデスコ將軍は七日組閣を完了した、閣僚の顔觸れ次の通り

首相兼内相　ニコライ・ラデスコ
副首相　ペトロ・グローフ
外相　コンスタンチン・ヴイソヤヌ
陸相　イオン・ネグレスコ將軍
軍需生産相　コンスタンチン・ブラチアヌ
藏相　ミハイ・ラミンカヌ
法相　パトラスカヌ
經濟相　オーレル・リユークチア
農相　イオン・デイモ
勞働相　ルクレ・ツラドチアヌ
交通相　ゲオルグ・デイ
保險相　ゲオルグ・ニコラウ教授
公共事業相　ヴイルジル・ソロモン博士
組合相　フオチノ教授
少數民族相　ラコヴイカ教授
保健相　ダナイル・オボル教授
文相　ステフアン・ヴオイタ

國務次官補任命を拒否

(リスボン七日發)ワシントン來電=上院外交委員會は去る五日國務次官グルー、國務次官補クレイトン、ロツクフエラー、マクレイシユの任命を承認し、これを本會議に廻附したが、本會議は六日「さらに調査を必要とする」との理由で外交委員會に再廻附した、上院議員のうちグルーの任命に反對の意向を表明してゐる者はないが、三國務次官補に對する人氣は良好ならず、その任命に反對してゐる上院議員連はマクレイシユは「革新派」でありロツクフエラー及びクレイトンはこれに反し「反動派」だと稱してゐる、上院の意向は外交委員會で右三名から彼等の外交政策に對する見解を聽取した後、任命承認を拒否するか否かを決定せんとしてゐる模樣だが、政界の一部では上院本會議今次の措置をもつて事實上の承認拒否と見てゐる向さへあり、任命問題の成行きは注目さる

【ドイツ】

クレムリンの外交攻勢

—シュミット博士談話—

（ベルリン六日發）外務省の情報部長シュミツト博士は記者團の質問に答へ、六日次のやうに說明した

「ギリシヤ國内の騷擾事件についてソヴエト言論界は五日以來、子分格のEAM團共産分子を盛に持ちあげてゐる、ソヴエト政府はその勢力範圍に關する限り、米英兩國の各種使節はもとより新聞特派員をすら退去させ、これらの國々で仕事する資格があるのにソヴエト市民に限るとの立場を固執してゐるが、英國の勢力範圍では、自國の代辯たるEAM團を通じてその政策を遂行し、英國の利害についてはなんら意に介しない、今日アテネの事態は明日のフランス及びオランダ兩國に起る事態である、英國政府が從來の陳腐な外交手段をもつて、かうした事態に處することができるものとは到底考へられない、クレムリンは徹頭徹尾レーニンの處方に從つて、何處かの國に政治革命乃至社會革命或ひは騷擾が勃發した場合には、必ず共産主義のスローガンを街頭に揭げてゐる

チトーがミハイロヴイツチ將軍の身柄引渡しを要求したといふのは、まだ確認されぬ新聞報道だニユルンベルク人は何人でも捕へない先に絞刑に處することはしないが、現在ミハイロヴイツチが何處にゐるかは判らず、英軍が彼をイタリア國内に連れて行つたといふ說もあり、同地に引留めておきたがつてゐるといふ噂も傳へられてゐる、その背後に如何なる意圖が匿されてゐるかは、ベルリンでも判明しない

ド・ゴールと同盟條約締結か

モスクワではド・ゴールに敬意を表するためにレセプシヨンとか觀劇會とか數多くの催が行はれてゐるらしい、更に一箇大隊ばかりのフランス共産黨員等が前線から呼び戻されて、ド・ゴール歡迎のために分列式を行つたともいはれる、スターリン自身の狙ひはどうやら、ド・ゴールに愉快な氣持を起させるにあるらしい、その結果としてなにか特別の效果が現はれるかどうかは、今のところ見當がつかない、ただソヴエト政府がド・ゴールとの間に、英國との條約と類似の二十ケ年に亘る條約を締結しようとしてゐるとの報道がある、フランス國内には色々解決を要する複雜な問題が山積してゐるから、條約の締結はド・ゴールにとつても生易しいことではあるまい

サムナー・ウエルズの論說

最後にシュミツト博士はポーランド問題に關するサムナー・ウエルズの論說を引用したが右論說の要旨は次の通り

「成程ソヴエト政府は國境の安全を要求するあらゆる權利をもつてゐるかも知れない、だが若しもポーランドが屈服する以外に選擇の道をもたないならば、國際正義に對する諸小國の一切の希望はどうなるだらうか、しかもかかる原則の採用を唱へる人々は今日全世界を通じて跡を絶つに至つた、この原則はソヴエト政府よりも重要であり、地上の如何なる國よりも更に大きい」

シュミツト博士は右論說につき次の通り附言した「ウエルズが元の米國國務次官だつたことを考へるならば、右論旨は頗るセンセーショナルな主張である、ところがこの論說には何等の反響もなかつた、英國の新聞界もソヴエト新聞界も沈默を守つてゐる、何が故に今日英ソ兩國の新聞界がかくも沈默を守つてゐるのであらうか」

女子の動員強化

（ベルリン五日友枝特派員發）スターリングラードの悲劇以來、戰爭がドイツにとつて漸次重大化するとともに人的資源動員もその度を增し、したがつて婦人の動員も次第に强化されて來たが、去る七月二十五日ゲツベルス博士が總力動員總監に任命されて以來、その處置は頓に積極化し、新しい動員が續々行はれて來た、また九月に反樞軸軍がドイツ國境を越えて侵入して來て以來十八歲から二十五歲までの若い娘達が多數召集されて軍隊に入り「高射砲補助部隊」を組織してここに始めてドイツの女子が軍隊の戰鬪員として參加することになつた

昭和十九年十二月九日(土)
第三二六五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

そのために多數の男子兵隊が第一線に送れることになりこの處置は極めて大きな效果を擧げてゐるので、ドイツ軍當局においてもこの新しい動員はさらに强化して行くことに決し、そのために義勇志願者を大々的に募ることとなつた、この志願者募集にたいしてはヒトラー・ユーゲント女子青年部とナチ婦人部でも積極的に協力することとなり、五日ヒトラー女子青年團總指揮者ユツター・ルーデイカー博士が豫備ナチ婦人總指導者ゲルトルート・ショルツリンク女史と連名で女子動員の聲明を發し烈々たる言葉でドイツの全女性に訴へた、この聲明の中で兩者はドイツの女性も進んで祖國の防衛に挺身すべきことを說き「ドイツの女子は老も若きも進んで戰ふ第一線のために力を藉せ」と叫んだが戰局がぎりぎりの決戰段階に到達し國民の戰意如何がその歸趨を決する鍵をなしてゐる今日、ドイツ女性の戰鬪力動員は戰局に極めて大きな影響を與へずにはおくまい

【歐　洲】

希內閣に戰車裝甲車で應戰

(リスボン六日發)アテネ來電=英軍司令スコビー少將は六日夜次の公報を發表した

「アテネ、ピレウス地區におけるエラス兵團の活動は五日夜規模を縮小したが六日拂曉エラス兵團は英軍が警備の任に當つてゐるアテネ市內の官衙街に進擊を開始、英軍が應戰して戰鬪はなほ繼續してゐる、更に六日午前英軍はアクロポリスの警備に當つてゐる友軍支援のため出動した、トラックで出動した同部隊は輕自働火器並びに手榴彈をもつて攻擊を受けたので戰車並びに裝甲車が現場に出動戰鬪は今なほ續いてゐる、他の地區においては局地的行動が進展してゐるが英軍に損害あり數名の戰死者を出した、ギリシヤ正規軍は市內一定地區からエラス部隊を掃蕩する任務に從事してゐる、ピレウス港では事態は安定し、ペロポンネサス半島のカラマタでは六百名の沖仲仕が復業した、その他ギリシヤ國內には大きな發展がない、アテネ市內に投下した當局のビラにより六日午前十一時までに三千人の俘虜が出た」

騷擾全國に擴大か

(リスボン六日發)ギリシヤ駐屯英軍は六日朝來戰車隊並びにスピツトフアイヤー戰鬪機隊をもつて本格的にギリシヤ內亂に武力をもつて干涉するに至り從來アテネ市並びにピレウス外港に局限されてゐた擾亂は全國に波及するに至つた、アテネからのUP電報によれば英軍はギリシヤ正規軍とともにシヤーマン戰車を先頭に遂にEAM團の本據を占領しスピツトフアイヤー編隊はアルデトルの丘に立籠るエラス兵團に對し前後六回にわたり掃射を加へたといはれる、六日午後二時半現在アテネ市內六ケ所で戰鬪が續けられてゐるが一番激しいのはアクロポリス丘の麓でエラス兵團は逐次パルテノン神殿の方向に壓迫されてゐる樣子だ、またロイター電報はギリシヤ國內の情報について次の通り報道してゐる

英軍戰車隊並びに空挺隊は六日朝來エラス兵團に對し行動を起し、EAM團本據を占據したがピレウス街上の戰鬪で英人將校一名は戰死、兵一名は重傷を負つた、戰鬪は廣汎な地域に擴がり殊にハドリアスの凱旋門とゼウス神殿の附近が激戰の中心となつてゐる、また暴動はパトラス港に波及、同地でエラス兵團は國民義勇軍數百名を武裝解除しサロニカ地區の情勢も惡化したと傳へられる

芬軍の武裝解除完了

(チユーリツヒ五日發)「ノイエ・チユーリツヒアー・ツアイツング」紙ヘルシンキ來電=フインランド軍の動員解除は五日完了、ソ芬休戰條件の最重要項の一が履行された、フインランド軍部筋の最新情報によればドイツ軍をフインランド領から驅逐する作戰も大半完了し、ドイツ軍は目下ノルウエー國境附近のキルピスヤルヴイ廻廊に要塞陣地線を構築しようと圖つてゐるだけといはれる、歐洲全土では武裝解除問題を繞つて不穩な形勢を呈し、戰爭は旣に革命的局面に突入したとさへみられるときに、フインランド軍の武裝解除が殆んど注意を率かすに平穩な雰圍氣裡に進められたことは、同軍の嚴格な規律を實證するものとして注目に價する

【英　帝　國】

スフオルツア伯事件の波紋

（ストツクホルム六日發）スフオルツア伯否認に關する米國務省の聲明について英國政府はまづ言論機關に對し一切の批判を差控へるやう要請するとともに愼重對策を練つてゐるが、ロイター電報は政界筋の空氣を傳へ六日次の通り述べてゐる

ローマ政局に對する英國の「干渉政策」を痛烈に非難した米國務省の聲明は、英國政府筋に少からぬ不安を捲き起してゐるが、不快な感情は見られない、不安の原因はローマ政局について米英兩國の見解が對立してゐるためでなく、歐洲各國の政權に對する反樞軸今後の政策全般に關聯してゐるためだ、、英國政府は目下極めて愼重に國務省聲明のより廣汎な含意について檢討を加へてをり、差當り當局の見解は表明されさうもないが、近く英國下院で十分討議されよう

英國各紙はワシントン特電で國務省聲明の全文を大々的に揭載してゐるのみだが、「マンチエスター・ガーデアン」紙だけはステチニアスに應酬し六日の社說で次の通り論じてゐるといはれる

國務省の聲明は無遠慮だ、初めから無遠慮にいひ切るつもりに違ひない、米國人は記憶が惡いアルジエー政權に關聯しダルラン提督を支持しジロー將軍を支援してド・ゴールを忌避した恥づべき記錄はすつかり忘れてしまつたらしい、しかし米英兩國の意見が相違すれば微妙な事態が持上るのだから英國政府にしても國際政治上の重大過失を犯さないやうあくまで周到な用意が必要だ

英國下院における討議では外相イーデンは國務省の聲明に直接觸れることを避けながら

現下の情勢下において英國政府が他の政府の閣僚について所見を開陳する完全な權利を持つてゐる

と述べたが、英國政界筋でも當初からスフオルツア伯忌避については反對すくなからず、野黨の各議員はイーデンの說明に不滿で國務省の聲明につき英國政府の明確な見解を求める權利を留保したと傳へられる、英國各紙はスフオルツア伯事件と同時にギリシア內亂に對する英軍の武力干渉を重視し六日の紙上では各紙それぞれ論評を加へてゐるが、特に首相パパンドレオの辭意を飜へさせた英國政府の遣り口が問題視されてをり、共產黨は十日の日曜日を期してギリシア左翼分子支援の一大示威運動を決行することになつた

イーデン外相に質問蝟集

（ストツクホルム六日發）歐洲各小國の內政不干渉を標榜した米國務長官ステチニアスの聲明は外交爆彈として英國政界に深刻な衝擊を與へたが、果然六日英國下院で重大問題化し勞働黨のイヴオル・トーマス、聯邦黨のリチヤード・アクランド並びに無所屬のダニエル・リプソン等が外相イーデンに對し矢繼早の質問を浴びせた、ロイター電報によれば質問應答次の通り

一議員の質問に對し

イーデン　ボノミ首相はスフオルツア伯が自身の內閣に反對の工作をやつたことはないと述べてゐるが、英國政府としては依然として同伯がローマ政權の外相に就任することには反對である、但し單に入閣するだけなら異議はない

トーマス　ステチニアスが極めて重大な聲明を發表し、米國政府としてはスフオルツア伯の否認に與しない旨を述べてゐるのだから英國政府の見解を修正しては如何、否米英兩國關係が重要なことを思つて寧ろ重大な過失を認めた方が賢明ではないか

ノー、ノーと呼ぶものあり、但しイーデンは答辯せず

リプソン　スフオルツア伯の否認について事前に米ソ兩國と協議したか

イーデン　米國政府に對しては事後に通告したリプソン　何故ソヴエト政府には通告しないのか

イーデン　イタリア國內には米英兩國の委員で管理委員會が出來てゐるから英國政府としては普通の手續として同委員會に通告した、歐洲諮問委員會には通告しない

昭和十九年十二月九日(土)
第三二六五號

同盟通信

海外電報(第三種郵便物認可)

ブースビー(保守黨)英國政府がピエルロー政權支援のためにとつた措置は專ら軍事上の考慮に基づくか

イーデン ベルギー國内で反樞軸軍がとる一切の行動は反樞軸最高司令部の命令に基く、軍司令官は戰線の直ぐ背後にあり、兵站線の走つてゐる地域においては自ら必要と思惟する如何なる行動でもとれる自由裁量の權限を享受せねばならない

タイナマンの殺害犯人は米國兵

タイナマンは去る四日自宅附近で銃撃による變死を遂げたが、ロンドン來電によればこの事件に關聯して英國に駐屯米軍の一兵員が六日逮捕された、その姓名は公表されないが、當局では彼の罪科は「重大な性質」を持つと言明した

米軍の俸給消えて無くなる

(ストツクホルム六日發)ロンドン來電によれば西部戰線の米軍將兵に支給すべき俸給額二十一萬弗が英國内を輸送中突如煙のごとく消えてなくなつた珍事件が發生、米軍當局は勿論當の責任者たる英國當局は周章狼狽稀代の大泥棒の捜査に百方手を盡してゐるといはれる

英紙「デーリー・ヘラルド」六日の報道によれば同事件は英國開闢以來の大盜難事件であると同時に當局が必死で事件の外部に洩れるのを防いでゐる點でも英國犯罪史上未曾有といはれ、米軍當局は事件に關し牡蠣のやうに押し默つてゐる樣子だ

【反樞軸陣營】

佛ソ會談好進捗か

(リスボン七日發)UPパリ電によればモスクワにおける佛ソ會談は豫想以上の好進捗を示し、ド・ゴールはモスクワから軍事的政治的佛ソ同盟成立の土産を持つてパリに歸還するだらうとフランス官邊では稱してゐる、同時に英佛會談も外交機關を通じて順調に進んでをり、來る數週間のうちに佛ソ同盟と併行的に英佛同盟が成立するだらうといはれる、以上のUP電は西歐ブロツク案はどうなるかについては言及してゐない

會談の内容と佛今後の地位

(ストツクホルム七日發)UP電によれば佛ソ會談につきワシントン筋の見解はつぎの通り

一、スターリンはフランスの國境がラインに達すること及びドイツの占領にフランスが參加することに反對しない

二、西歐ブロツク問題は詳細に檢討されたが、本問題は戰後まで解決を持越す

三、スターリンは、佛ソ同盟の締結に同意したと解される

以上によつてフランスは英國と同樣な強力な地位を歐洲に獲得し、同時に國内ではド・ゴール政權の共産黨に對する地位を强化するに至るだらうがその結果として歐洲に再び戰前の權謀外交が復活するのではないかと米國では惧れてゐる

國際勞働代表初顔合せ

(ストツクホルム四日發)ロンドン來電=米英ソ三國勞働組合代表は明年二月ロンドンで開催される國際勞働會議の打合せのため、四日初會合を行つた、英國側代表は英勞働組合會議書記長シトライン、同評議會議長アイザークス、評議會員ホルズワース、ソ聯代表は全聯邦勞働組合中央評議會のシドレンコ、クズネツオフ、ズージン各氏、米國は産業別組織會議のトーマスその他である

獨病院船不法擊沈を認む

(リスボン五日發)去る十一月十八日ドイツ病院船「トウーピンゲン」號はヴエネチヤ灣で英空軍の不法攻撃を受けて沈沒したが、これに關しローマからのエー・ピー電は反樞軸軍司令部が五日公表をもつてこの事實を認めドイツ軍當局に遺憾の意を傳へた旨報じてゐる

伊戰線米軍司令決定

(リスボン六日發)ローマ來電=反樞軸地中海方面最高司令部は前イタリア派遣米第五軍司令官中將マーク・クラークが十月二十六日イタリア派遣反樞軸第十五集團軍司令官に就任したため後任に中將ルシアン・K・トラスコツトを任命した旨六日發表した

國務省首腦任命もめる

（リスボン六日發）ワシントン來電＝上院外交委員會は五日國務次官グルー、國務次官補クレイトン、ロツクフエラー、マクレイシユ三名の任命を承認して上院本會議に廻付したが、本會議は「更に愼重な審議を行ふ必要がある」との理由でこれを外交委員會につき返した、グルーの任命には問題はないやうだが、次官補三名に對しては相當有力な反對がある

新國務長官と國內の反響

（ストツクホルム五日發）ワシントン來電＝スエーデンの「スエンスカ・ダグブラデツト」紙ニユーヨーク特派員は國務長官任命に關する國內の反響を二十八日次の通り傳へてゐる

「ステチニアスが國務長官に任命されたことに對し、ワシントン各方面では意外の感に打たれたやうだが、今までのところ別に大した不滿を表明してゐない、前國務長官ハルの親友の話によるとハルはステチニアスを第一候補に擧げてゐなかつたといふことだがいづれにしてもステチニアスの就任によつてハルの確立した體制と方針が存續することは確實とみられる、軍需再轉換局長官バーンズは議會方面並びに大統領ルーズヴエルトを中心とする一派の間に最も大きな信頼と人氣がありハルはバーンズを推薦したともいはれるが、數日前に至りルーズヴエルトは歐洲戰爭終了までバーンズを現地位に留任させることに決した

ステチニアスは武器貸與局長官時代から對議會關係は常に良好であり、彼の就任によつて米國の外交政策が變化することはあるまいといふことに一般の意見は一致してゐる」

また「ヘラルド・トリビユーン」紙はつぎの通り報道してゐる

「ステチニアスの國務長官任命はルーズヴルトが外交政策を自ら指導する決意を固めたとの印象を與へる、大統領が外交政策に自ら當ることはどの大統領も同樣で別に珍しくないが國務長官がしつかりしてゐれば、たとひ大統領が如何に强力でも長官が依然として重大役割を果すことは、これまで一再ならず實證された、しかしながらステチニアスがルーズヴエルトの强力な協力者として選ばれたことを示唆するものは何もなく、結局ルーズヴエルトは對外交涉に當ること並びにこれに對する議會と國民との承認を得ることの重大責任を自らとるものとみられる」

外國貿易省新設か

（リスボン六日發）ワシントン來電＝政界消息筋の洩らすところによれば、政府首腦は大統領ルーズヴエルトにたいし外國貿易省の新設を勸告、右に關する法案を明年早々の議會に提出するやう慫慂してゐるといはれる、右の案によれば新省は現在の外國經濟院の機能を殆んど全部繼承し、更に商務省の機能の一部をも引繼ぐだらうといはれる

十一月中造船高

（リスボン六日發）ワシントン來電＝海事委員會は六日つぎの通り發表した

「十一月の商船建造隻數は百五十四隻、百四十三萬六百六十重量トンに達した、右は月別建造高として本年に入つて第二の記錄であるがこれにより本年の造船隻數は千五百三十二隻、千四百九十八萬六千五百三十八重量トンとなつた、十一月引渡しの百五十四隻の中五十六隻は軍用船である」

ユダヤ人の權利を主張

（ストツクホルム五日發）ニユージヤーシー州アトランチツク・シテイからのロイター電報によれば二十五日から三十日まで同地で開催された世界ユダヤ人協會會議には四十ケ國以上の國々から三百人近くの代表が參集したといはれる席上シオニスト協會總裁の行つた演說要旨つぎの通り

ユダヤ人は何時までも大亡命集團として止つてゐてはならない、平和が到來した時われわれユダヤ人にも他の民族と同樣人間としての權利があること及び世界中に一國でもユダヤ人にたいする戰爭を認める國があれば絕對に世界平和はあり得ないといふことを主張しなければならない

昭和十九年十二月九日(土)
第三二六五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

重慶政權の改組(下)

藤原文雄

米國政府の態度

重慶政權の改組に對するワシントンの態度は表面靜觀的沈默を守つてをり、ルーズヴェルトは重慶の改組發表の翌日に當る二十一日午後の記者團會見で更迭に言及せずその後も公式發表はない、何故ワシントンが靜觀の態度をとつてゐるかといへば解決途上に横はる重慶の困難と障碍の重大さを現實的に知つてゐるからだと「ワシントン・ポスト」は説明してゐるが、ただこの靜觀的態度には警戒乃至懷疑的なものと善意の解釋と期待をかけたもので二樣があり、前者については次の報道がある

一、米國政府のある筋では靜觀の方針をとつてゐるがその理由は彼らが重慶の更迭は對日戰における重慶の役割の强化に向つてのゼスチュアともまたは眞の動きとも受けとることが出來るからだとしてゐる、かかる態度をとるのは何應欽が軍政部長の地位を失ひながら參謀總長の職に留まつてゐる事實によるものだ、行政院の改組はしたものの政策のあらゆる問題は最後の決定を下す蔣介石に歸するので更迭に評價を加へることは困難である、しかも單なる更迭では十分でなく問題は續いて改革が實際に行なはれるか否かにある(ワシントン・ポスト二十一日)

これに對し後者には次の各報道がある

一、ワシントンにおける假定の重點は蔣介石が國內の非難に對するゼスチュアをしたのではなくて行政及び國內一般の狀態改善を實現しようとする眞の努力をしたのであるが、この時に當り蔣はたとひそれを望んだにしても彼の政府郎黨の有力メンバーを完全に罷免することが出來なかつたのだといふにある、若し蔣が新閣僚に全幅の支持を與へるなら改組をした彼の眞意について疑ひは殆んど殘らぬであらう、ワシントンで表明されてゐる確信によれば改組は大掃除の努力を表徵するもので、それから生れる一つの確信として或る程度の改革が出る筈だとしてゐる(ニューヨーク・タイムズ特派員ヒューレン)

一、ワシントンの本當の確實な消息筋では行政院の改組を重慶が內外の地步を强化する方向への眞劍な且つ重大な動きとみなしてゐる、ワシントンにおける見方ですべて一致してゐることは改組に對して大いに意を强くしてゐる樣にみえることだ(ニューヨーク・ポスト二十二日)

一、ワシントンの當局筋では今度の改組をもつて重慶が中共との諒解成立の方向に向つて、またスターリンが對日戰に動いた場合に重慶がソ聯と協力するのにこれまでよりも都合のよい立場に立つやうな情勢に向つての或る程度の勵みを示してゐるものと認めてゐる(ワシントン・ポスト二十一日)

一、重慶に友好的な筋では蔣介石が彼の改組がゼスチュア以上のものであることを示し、間もなく對日戰に支那を統一することによつて非難を解くことを希望してゐる、この筋では蔣と新行政院がこの方向をとる要は中共との交涉再開にあるとし、何應欽の罷免と王世杰の任命及び周恩來の重慶歸還は中共に中央政府への代表權を與へ、共產地區への封鎖を撤去する問題について蔣政權と中共が完全な妥協をする見込みを數年前よりもましにするものだとしてゐる(UP通信)

中央と現地報道の差違

以上の各報道を通じて間接に現はれた米國の公式または非公式の反響と前號で紹介した米國報道機關の重慶からの各報道が示した反響との間には大筋として明確な相違が認められる、それは後者が解釋の重點を惡い方におき今度の改組はみせかけで徹底を缺き根本問題には一步も進まずこれで重慶の直面する重大困難を乘切り且つ米國の要望に應へ得るか否かは疑はしいといふ完全に疑ひ切つた解釋と反感に滿ちた表現を用ひてゐるに對し前者は蔣介石の誠意と眞意を或る程度認める態度を表し、重慶がこの改組を契機として米國の要望する政治、軍事財政の改革、中共問題、對ソ關係の改善に一步前進したことを認め乃至は認めたいと努めてゐる印象を與へてゐることだ

この相違は責任のない米國の現地報道機關の態度と苟くも米國の對外政策の重要な部分を占める支那問題に對し責任ある政府當局が直接間接に表す態度との相違を意味することはいふまでもなく米本國政府が支那問題に深い抱負を持ち從つて現地と異つて重慶政權の今度の改組を大きな政策的見地から眺めやうとしてゐる努力が窺はれる、この點について特に注目に値ひするのは「支那の將來」と題する次の社說で、これを重慶に紹介した電報は「この社說は米國の公式及び非公式見解を反映してゐると當局は言明してゐるので最も重要である」と註釋を附してゐる

ワシントンポスト紙十一月二十四日＝重慶滯留中の大統領特使ネルソンが閣僚の資格を與へられたことはルーズヴエルトが重慶におけるネルソン特使の活動を重大視してゐることを實證するものだ（筆者註、その後特使ハーレーも同樣の資格を賦與された）東亞は米國が利權を持つ地域であり、この利權は時と共に必ず增大するものである、東亞の水域では敵日本との最後の決濟をつけねばならないが、日本がアジア大陸におけるその征服地域と勢力を失つた後の東亞の地圖を決定することは國際的紛糾の種を藏する大問題だ、卽ち大統領は特使ネルソンがもつ使命の沽券を高めるに當り戰後時代を考へてゐたのである、東亞平和の假定の上に强國の地位を與へられたその國に存在する主要な不安定はその國自身卽ち重慶にかかつてゐるのだ、しかし蔣介石が中共との紛爭を和らげ且つ軍閥を統御出來なければ一般平和に寄與する支那の力は强調する必要がない、支那といふ大きさを持つ眞空狀態は侵略者に對してこの眞實を充たすやうに手招きしてゐるやうなものだ、從つて支那は少くとも支那自身を統御するだけの備へを持たねばならず、米國の政策は蔣介石の領導下におけるかかる方向に向けられてゐるやうだ、この國は自國だけでは支那における戰後の安定を保障することは勿論不可能だ、ソ聯の存在が考慮されねばならない、ワシントンで專らな懸念はソ聯が蔣介石に對抗して西北支那の中共と結んでゐるといふことにあるが、かかる懸念は根據を缺いてゐる、中共はモスクワが「模造」の共產主義者と呼ぶだらうと思はれるやうな代物だ、米國がソ聯との關係において立てねばならない假定の一つはモスクワが數世紀にわたつて少くとも國境の平靜と安定とを要求するだらうといふことである、西においてはソ聯はこの國境の平靜と安定とを自力で保障しさうであり、東にあつてはソ聯は支那を近代化すといふ共同事業の計畫については米國と同じ目的のために協力する示唆を與へた、しかも蔣介石は過去における態度にも拘らず現在までに推斷し得るところでは米國に對すると同程度にソ聯にも受容れられてゐる

米國の安全を保障するもの

蔣介石が列强の一員に加はることに對する共同の承認に基礎をおく共同の計畫こそ支那問題と取組む本當の始りである、しかし最後のところは獨り支那のみが自國の平和と進步とを保障することが可能である、この點で蔣介石が行政的改革に着手し、且つネルソン特使と共に仕事をする意志を示したことは大いに欣快だ、米國はソ聯支配下のアジアも植民地化したアジアのいづれも望まない目的は一切の國民に獨立の達成とその享有とを可能にさせることで、この計畫において支那は樞要な地位を占めてゐる、この實力政治の時代にあつて支那を强國とみなすことは偏則ではあるが歸するところはこれが米國の安全が保障される條件として認められねばならない一つの最終目標をなすものである

以上の論文は米國對支政策の基調を衝いたものとみてよからう、米國政府がこのやうな根本政策をもつて對重慶關係を處理する限り今度の改組が重慶政權の建直し强化、續いて統一支那實現への前提をなし、從つて米國の對支根本政策の線に合致するものであることを希望するのは當然であらう重慶政權改組の報に對して米國政府が示した直接間接の反響に大きな政策的見地から改組を眺めようと努めてゐる樣子が見受けられたのはこのやうな事情によるものとみられる

昭和十九年十二月九日(土)
第三二六五號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米國軍部の見解

ところがこれに對して米國軍部の見方はもつと支那大陸における現實の事態特に日本軍の作戰進展に伴つて重慶が軍事的重大危機に陷り支那大陸における反樞軸の戰略的苦境が刻々加はつて行く實情を直視し、この見地から改組は急激に變轉する戰局に影響なしとして實質的效果を買つてゐないやうである、卽ちこの點につき「ワシントン・ポスト」紙記者コンスタンチン・ブラウンは二十二日次の通り報道してゐる

「ワシントンの一部外交筋及び政界方面では今回の改組が「重慶の政策における徹底的變更の幸先よい初りで、この政策の變化は中共との一層緊密な協力及びソ聯との間接の協力に導くかもしれない」とみてゐるが、軍當局筋ではこの改組にそれほど熱狂してはゐない、米國の軍部では重慶の紛糾を現實的に考察してをり、この問題は政治的といふより寧ろ一層軍事的だといつてゐる、支那向けの補給が全く空輸だけならとるに足らぬ數量しか入手出來ない、必要な裝備なくしては重慶の情勢は行政院の構成などには關係なく必然的に危い狀態を續けるばかりだ、飢えた軍隊に戰ひを續け得させるには反樞軸(米國)が蔣介石に數萬トンの武器彈藥を送ることが出來るか否かに一切がかかつてゐる、たとひ重慶が中共と完全な諒解に達しようとも國共の聯合軍隊は道具がなくては日本と效果的に戰ふことは不可能であらう、米國が何かの奇蹟で軍用補給品を重慶軍に手渡すことが出來れば蔣介石は日本軍の進擊を喰止めることが可能となり、行政院の更迭は將來何かの助けとならうが、この奇蹟が出て來ない限り米國は重慶政權の崩壞を目擊するかもしれない」

英國の反響

一方、英國報道機關のなかには重慶政權の改組が重慶の「民主的輿論」が希望したほど徹底的でないこと(グラスゴー・ヘラルド)反動派の密謀と軍事的無能力と國共紛爭がどの程度まで處理されるか見極め得ず、また罷免組は面子を守るため他の地位についてをり國民黨の中央執行委員會及び少數の部長が依然として最高機關を構成してゐるので警戒しなくてはならない(サンデー・オブザーヴア)として懷疑と不滿を表明するものがあるが、これは一部にすぎず一般的には改組の意義と影響を高く評價し特に陳誠の軍政部長就任と王世杰の宣傳部長再任を歡迎してをり、米國報道機關の示した一般的反響と明らかに對蹠的であるのは注目に値する、この改組が米國の壓迫に讓歩したもの(マンチエスター・ガーデイアン及びデーリー・エキスプレス)だとする論と、蔣介石が國內大衆の輿論に從つて永らく改組を計畫してゐた(デーリー・ヘラルド)となすものと相違はあるが、英國各紙が論ずる意義と影響の諸點は次の通りである

一、反動分子の失脚=反動分子が地歩を失ひつつあることは明かだ、重慶において中共に對し最も頑强な反對者であつた何應欽は遂に軍政部長を罷免された(ニューズ・クロニクル)何應欽孔祥熙兩部長の能力が問題ではなく、兩人が國民黨の反動派の指導者として非難の對象となつてゐたことだ(ロイター)反動分子に對して國民の權利と民主々義的要求がこれ以上に侮辱されるべきではないといふ明白な警告が與へられたといふも過言ではない(サンデー・オブザーヴア)

二、自由主義化及び反樞軸との協調=今回の改組が廣く自由主義的な外見をもつ代表分子を包含することにより蔣政權を强化することは明確なやうだ、陳誠は米英の戰友と協調的に活動する偉大な妙諦をもつ最も優れた司令官である、王世杰は親善使節團長としてさきに渡英中重慶と反樞軸とのよき諒解に盡す異常な能力を示した宋子文の外交部長留任も歡迎される、蓋し彼は國民のみならず反樞軸外交界とも敦睦を加へてゐたからである(ロンドン・タイムズ)新政府はその構成からみて前政府よりも自由主義的傾向をもつてゐる、兪鴻鈞は英米に多數の知友をもち泰西の思想を最もよく把握してゐる人物だ(ロイター)

三、政權の若返りと改善=重慶政權の再建は蔣介石が彼に開かれた廣い分野に人材を求めて若い血液を注入することにより指導の基礎を擴大する希望を示すものだ(ロンドン・タイムズ)今回の改組は重慶の軍事、財政的地位を改善し對日抗戰を激化に導くであらう(グラスゴー・ヘラルド)

四、國共合作への一進展＝新政府は中共の參加による國家統一を實現せよとする中共の要求に對して以前より一層心を傾けるかも知れない（左翼系デーリー・ワーカー）新重慶政權は國共和解に稗益するだらうかといふ疑問に對して必ずしも回答を用意する必要はないが、ただ陳誠が一九三八年から四〇年まで軍事委員會の政治部長をつとめた當時、現に中共の重慶駐在代表となつてゐる周恩來を次長としてゐたことを記錄する價値があらう

英國の報道機關が表明した以上の見解は歸するところ英國が東亞における反樞軸軍の對日戰遂行上最大の癌をなしてゐる重慶問題が關係國間特に重慶の努力と讓歩において圓滿に解決することを切望してゐる現はれであり、この態度はスチルウエル事件によつて米蔣關係が危殆に瀕した際米國の報道機關が重慶に猛烈な非難惡罵を浴びせたに對し英國側は調停的論調が主流をなしたのと軌を一にするものである

瑞西紙の一見解

ここで添へておきたいのはスイス紙「タート」が二十五日揭載した次の論評で、今回の改組を重慶內部における國粹排外派と自由主義乃至對外協調派の妥協とみてゐることだ

「重慶の內閣改組に對する英米の意見は二つに分れ、英國新聞界はこの改組を重慶政權の自由主義化の兆候として歡迎してゐるに對し米國の報道機關特に左翼系各紙はこの改組が根本的には何の變りもなくただ看板の意匠が變つたに過ぎないとみてゐる、實相はこの兩者の間に介在するやうで、この改組は國民黨內部の兩派卽ち一は官憲主義を標榜し他は支那の救國を民主々義的發展に見出してゐる兩派間に妥協があつた結果のやうにみえるしかし双方とも重慶の結束を維持することが大切だと考へてゐる、右翼派は民主々義化が崩壞を齎らすものとのみ考へて、この結束を蔣介石と彼の側近者に權力を集中することによつて達成したいと望み、左翼派は獨裁的政權卽ち一黨專制の繼續によつては行政を纏めて行くことが不可能と信じまた國共及び各種の政黨政派間の自主的協力のみが重慶を崩壞から守るものだと考へてゐる

改組後の新行政院は明らかに左傾的である、何應欽、梁寒操、孔祥熙、陳立夫ら依然として權能の地位を占めてゐるので芟除されたわけではなく陳立夫は國民黨の組織を統御する要とされてゐる重要な組織部に入つてゐる、それにも拘らず彼らの後任者陳誠、王世杰らは赤色及び西方の同盟諸國との協力へ遙かに傾いてゐるのである」

重慶の態度

重慶政府は二十九日の外人記者團會見で代言人張平群が、更迭理由の一部として「何應欽と孔祥熙の更迭は辭表を提出したことによるものだ」と言明し、自發的辭任であつて罷免ではないと間接に主張した以外一切の說明を避け、今回の改組を更に擴大するか否かについても質疑應答することを拒絕した、その後四日に至り蔣は外交部長宋子文を行政院長代理に任命しこれに重要政務を委ね自らは軍事に專念することとなつたほか軍政、財政、教育、經濟各部の政務、常務各次長を更迭し新設兵器部の政務、常務次長を新任した、興味あるのはこれより先に國民黨機關紙中央日報が二十日に揭げた論評で今度の改組は何ら政策に變化を及ぼしたものではなく行政改革の根本改革はすでに採用ずみで、今度の改組もその線に沿つたものだと次の通り强調してゐる

「今回の徹底改組は蔣介石が遂行してきた行政改善の決意を表示したものである、蔣は行政院改組前の三ケ月に亙り一聯の改善を實施した、卽ち徵兵、部隊取扱ひの改善、國民の國家に對する金錢食料獻納に對する調整措置、知識人部隊十萬名の登錄、國民の個人の自由保護に關する新法規の嚴重な實行、特殊戰時犯罪事件處理の普通裁判所の公認等でこれら改善のすべては重慶の公益問題に非常な效果を齎らした、行政院の改組は單にこれと同じ方向に沿つたものに過ぎない、今後參謀總長何應欽は作戰の計畫樹立に精力を集中する一方陳誠は新しい軍隊の建設と古い軍隊との調整に力を集中し得ることとなつた、これら一聯の改善は現下の緊急事態に對處するため過去三ケ月にわたり終始一貫遂行されて來たものだ

われわれは新任者らがすべて蔣介石の期待に副ふべきことを要望すると共に危機を克服し得るものと確信する」

ここで三ケ月といふのは明らかに九月の國民參政會議以後を指し從つてこれらの「行政改善」が同會議の要望に應へたものであることを明瞭にしてゐる、これを前記の政府言明と併せれば重慶が今回の改組を外國からの壓迫乃至要求によつたものではなく飽くまでも國内の要望に應へ自主的立場において「民主々義的」に遂行してゐる政策の一端をなすものだとの建前を堅持してゐるものと受取れる、ただ中共問題には全く觸れてゐない、これに對し政學系の大公報は改組の不徹底を衝き黨外有力者の行政院入りを實現して國内統一を要望して

「行政院改組の發表は改善の始まりであり、更に國民黨の黨員が無任所部長として行政院に入閣するであらう、われわれの考へは政府組織を調整すると共に少數内閣を組織して民主々義的國内統一を遂行するため國民黨外部の指導者を無任所部長に就任させるにある、われわれは政府の改組に滿足するものではなく、改組を改善の始まりと解し不斷の改良を要望するものだ」

と主張してゐる、この「黨外」とは中共を指すことはいふまでもなく、換言すれば中共が要求する「國共聯合政府」に近いものを要望してゐるわけだ、中共がこの程度の入閣に滿足しないことは明瞭だが重慶がこれまでの所ころ斷乎拒否して來た中共の聯合政府樹立要求に對し重慶の有力紙がこのやうな讓歩を說くにいたつたのは注目すべき傾向だ

改組後の動き

重慶改組後の問題として米蔣の協力關係特に軍事協力と重慶の軍政改革財政經濟の建直し、國共和解問題があるが、何れも一つの進展をみせてゐるのは注意すべきだ、新任の支那戰域米軍司令官ウエデマイヤーは二十三日の記者團會見で

一、島嶼傳ひの飛石戰略で日本を撃破することは出來ない、日本は大陸戰略に突入した、この日本軍と相對し且つ空軍を使用するためには大陸軍(Continental Force)を必要とする、と述べて米國の對日戰略に於る支那大陸の重要性と重慶の持つ役割の依然として貴重なことを再確認し

二、日本軍の脅威に對處するため重慶軍の特定の部隊を配置替へ(Redisposition)する必要につき蔣介石に建言したが承認され目下計畫を實行中であること

三、陳誠とすでに二回極めて滿足な會談を行つたが彼の印象は最も好ましいものであつた、しかし人間の能力の測定は會談ではなくて結果によつて測られるものだ、陳は極めて責任のある地位につき反樞軸の戰爭努力に一層よい協力を齎らすに違ひない

と言明した、右の部隊配置替への性質と範圍が怒江や北緬の重慶軍或ひは問題の共產地區對封鎖部隊などにも關聯するものかどうかは不明だが蔣介石がその新任參謀長たるウエデマイヤーの建言を認め、またウエデマイヤーは陳誠の軍政改革能力を認めることを留保はしてゐるが好感を以て期待を表明してゐるのは何れも米蔣が軍事危機に直面して互ひに協力に努めざるを得ない破目にあることを物語つてゐる「ニューヨーク・タイムズ」紙は二十三日「重慶の軍統帥における最近の改組とこの點とを關聯して考察すれば重慶が共同の敵に對して一層重要な役割をつとめるであらうとの期待を與へる」と述べ、「ロンドン・タイムズ」紙も二十四日「ウエデマイヤーの聲明は最近蔣介石が完成した重慶政府再建の最初の成果と考へられる、對日戰の現段階で極めて緊急に要求されてゐる重慶と反樞軸間の協力の根源を確保するための着實な一歩が踏み出された、島嶼作戰だけでは不十分だといふ彼の聲明は特に重慶に歡迎されたであらう、反樞軸がもし日本軍の現在採用してゐる大陸戰略に效果的に對處するとすれば支那に足場を獲得せねばならぬといふ認識に達したのは早過ぎはしなかつた」と論じいづれも米國戰略が大陸を重視し、これに基く米蔣軍事協力の上に重慶の改組が齎らす效果を認めてゐる、スチルウエル事件の直後米國報道機關の一部が戰略的見地にたつて「重慶無用論」を唱へたのと比較すれば右のやうな論調は重慶の役割再確認の表れとみられよう

米蔣外交と經濟協力

次に米國の對蔣空輸物資援助の不足と重慶の戰時經濟の逼迫を緩和するため軍需工業の振興につき蔣介石は米特使ドナルド・ネルソンの建言を容れて軍需生産局を設置し、米國は彼を再度派遣してこれに援助を與へネルソンの目標「六ケ月以内に生産量を二倍にする」計畫に着手した、ネルソンは十二月一日國民參政會で特に生産補給戰の完遂を强調すると共に國内統一の實現を要望してゐる、一方ルーズヴェルトは「米國の外交官として最も困難な地位」と稱される重慶大使にガウスの後任として重慶滯留中の特使少將パトリツク・ハーレーを指名し蔣介石のアグレマンを求めてゐたが蔣はこれを承認した、これと前後してルーズヴエルトがネルソン、ハーレーの兩名に特に閣僚の資格を與へたことは米國にとつて對蔣外交の重大性を表はしてゐるが二十九日の米國各紙は新大使ハーレーが軍事、實業、政治、外交の經歷を持ち重慶と「うまく行く」に違ひないと期待してゐるルーズヴエルトは更に「米蔣の一層緊密な協力を實現する見地より重慶の政治經濟狀態を檢討するため」第三の特使ジョセフ・マンスフイールドを派遣彼は重慶で米國は對蔣援助の意志あるのみでなく、重慶からの助力を必要としてゐる、一切は重慶の努力にかかる」と述べ協力を要望してゐるが米蔣の協力關係はスチルウエル事件と重慶の改組を經て新たな局面に入つたとみるべきであらう

國共和解交涉に一轉機

最後に最も重要な問題として國共の和解交涉がある、今度の改組には中共に對する含みが認められたことは前述の通りであるが、これまで和解交涉の重慶代表をつとめた王世杰が三十日新宣傳部長に就任後最初の記者團會見で和解の主要條件として第一に「戰爭繼續中は統帥と行政の統一が維持されねばならない」こと、即ち共產軍は重慶の統帥下に入り、共產地區は行政院の統轄下に入るべしとする從來の主張を改めて强調し第二は「戰爭の終了後に一切の政黨政派が法律によつて對等の特權を享有すると共に一切の軍隊は單一の國軍に變形統一する」こと、即ち即時聯合政府を樹立せよといふ中共の要求を拒否し共產軍との合流も戰後に廻すといふ態度に變りない點を改めて闡明した、これは王世杰の登場を中共問題へのゼスチユアとして期待した米英には意外な第一聲であつたらう

ところがその翌日になつて去月十日から交涉代表林祖涵を引揚げさせて代りに重慶に乘込んでゐた中共領袖周恩來が重慶滯留中に蔣介石と長時間の要談を遂げ一日延安へ一旦歸還したことが明かにされた、これについてAP通信は國共和解の基礎を與へるやうな重慶の新提案を周恩來が延安へ携行したらしいと報じ「シカゴ・デーリー・ニユーズ」は周が蔣介石の提言により「蔣及び米國側と會談する」ため重慶に來たものだと傳へ、彼がハーレー特使とも會談したことをほのめかしてゐる、以上二つの報道だけでは國共間にどんな應酬があり、まだ重慶がどの程度の讓歩をする肚か明かではないが、停滯してゐた交涉が蔣と周の直接會見で再開され重要な意見交換があつたことは確かであらう

ソ聯、重慶を痛擊

ここで最も注目すべきはソ聯が先週に入つてから强硬な重慶攻擊を開始したことだ、モスクワの報道機關は一齊に筆陣を張つて國共和解失敗の責任を重慶に歸し、國内改革の不徹底、獨裁的政策の遂行、戰爭處理の怠漫、國内經濟の運營失敗などとおはせて痛烈な攻擊を浴びせてゐる、即ちニユーヨーク放送によれば共產黨機關紙「プラウダ」は二日の紙上に蔣介石が中共と和解して支那の「統一結束」を實現することに失敗したのを非難する論評を掲げ、またUPモスクワ電によれば政府機關紙「イズヴエスチヤ」も二日アレキサンダー・アヴアリンの長文の論說を掲載してゐる、右論說は蔣政權に反動的で降伏の意志ある政權だとの烙印をおして嚴重な抗議を述べ、同政權が「中共との協力」を拒否したことを特に非難したのち次の通り論じてゐる

「日本軍が最近支那で大いに進出したのはかくの如く重慶が中共に對する協力を拒否したのが原因だ、蔣政權がかかる政策を繼續する限り戰爭を效果的に指導することは不可能である

昭和十九年十二月九日(土)
第三二六五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

戰局の現段階において支那の軍隊を統合し建設的な民主主義政策を採用することはもはや遷延を許さない、このことは支那のみならず、その同盟諸國の關心事だ、最近の行政院改組は十分な應急手段とは考へられぬ、多數の憎むべき人物、特にその反動と政策から不信任を受けた者共を罷免しただけでは危險を解消させるものではない」

UP通信のモスクワ電によればこれに續いて更に「戰爭と勞働階級」誌も次の通り重慶を一喝してゐる

「蔣介石の權力は獨裁的だ、重慶は戰爭指導を怠たり經濟問題は收拾のつかぬものとなり、政府の觀念は反民主主義的である、重慶政權が遂行する政策は支那のみならず同盟諸國にも有害だ、蔣介石が最近實行した政府更迭は當初は重慶とその同盟國間の對立を除去する適宜の措置と考へられたが、實際は反動的反國家的傾向に新しい拍車を加へてゐる、この改組は親資本主義的であると同時に、親獨的、親日的方向を意味するものだ、一九四四年における重慶の敗戰的戰略は日本軍をして重慶軍百個師を殲滅し、かつ大陸におけるその態勢をかなり改善することを可能ならしめた、國民黨内の反動分子、地主、戰爭利得者及び財政の貪官汚吏どもの支配力が激化したことは明瞭だ」

かくの如くソ聯が重慶の内政問題に露骨强硬な攻撃と容喙に出で、改組には效果よりも却つて弊害があつたと難題を吹かけ、國共合作の成立を强要する積極的な意志表示をしたことは、重慶の戰爭努力改善と國共今後の交渉にソ聯が巨大な壓力の一部をいよいよ發揮し始めたことを意味する、その鋒先は米國の對蔣外交の鋒先と一致してゐるのだ

資料

貸與協定方針の體系

イングランド銀行理事ケーンズがワシントンに乘り込み約三ケ月にわたつて交渉を遂げた結果、米英兩國政府は貸與協定の方針について新たな取極を締結したが右交渉の體系を示すためロンドン各紙の報道をつぎに掲げよう

「デーリー・メール」紙十一月九日 米英兩國において最近同時に戰後にたいする產業界の準備狀況について調査を遂げた結果、英國の產業界が非常に立ち遲れてゐることが判明した、先づ英國の場合においては二十の產業部門にわたり、一九六商社に包括的な質問書を出したところがうち僅か六%だけがかかりきりの社員で戰後の計畫をたててゐるにすぎず、十二%は全然戰後の企畫をたててゐない、輸出にたいする企畫が一番すすんでゐるのは社員五千人以上の大商社の間にみられるだけだが、これらの間でも唯一人の責任者がある譯でなく集團または委員會が定期に會議を開き、しかも非常に廣い分野に亘つて調査してゐる實情だ、戰前英國における工業生產の殆んど七十五%を占めてゐた小規模の商社群においては戰後の企畫は片手間の仕事として一部社員がやつてゐるにすぎない、化學工業、機械工業等において戰後の復興に關する重要諸問題につき何ら明確な結論に到達してゐない率が一番多い、「戰後の貿易計畫にたいする最大の障碍は何か」との質問にたいし「全然障碍はない」と答へてゐるのは僅か二%にすぎない、主な障碍として擧げられてゐるのは次の通り

一、戰後の經濟政策について政府の指導が全然ないこと

一、戰後政府の統制がいつまで續くか、期間並びに範圍がはつきりしないこと

一、原料資源の入手難

化學工業部門が戰後英國市場における米國の競爭を一番懸念してゐるが、電氣機械工業部門では八十六%までが米國の競爭を恐れてゐない、しかし輸出市場に於ては重機械工業、電氣機械工業に亘り百%まで米國の競爭を豫想してゐる、各分野における米國の競爭に對抗するため重機械工業、石炭、製鐵、製鋼業の各部門は米國との間における何等かの地域協定を要望してゐる、但し化學工業、電氣工業、機械工業の各部門では大半の商社が地域協定に反對してゐる

「フイナンシヤル・ニユーズ」紙 ポール・アインツヒ十一月十三日 ワシントンにおけるケーンズの交渉の重要目的が歐洲戰爭後、東亞反攻作戰の遂行に際しての貸與協定の繼續にあることは周知の通りだ

この事實は現に米國で發表されたが一番大事なことは買手が本當にほしがつてゐる製品についての個人の賣手と買手との關係である、外國爲替を入手するとか、差當つての需要に應ずるといふやうな直接の問題は先づ二の次だ、輸出市場における統制の緩和には先づワシントンからの報告が入らなければならないが、右報告も遠からず入ることと思ふ、輸出貿易界が希望してゐることは海外の顧客が希望するいかなる製品でも自由に製作し且つ永久的な價値のある顧客を選擇する自由を認められる本當に自由な商業である、最近英國内至るところで産業活動が低下し失業が少しながらはつきり增加してゐるとの報道で、實業界には多少不安の色がある、特に懸念させたことは次の二點だ

一、實際上の失業が或る程度起り出したのと同時に會社から給料は貰つてゐるが實際には仕事がない、所謂かくされた失業が一層多くおこつてゐること

一、從來は或る軍需工業部門から他の工業部門に振り變ることはあつたが最近では産業界の經過が全般的と見られること、注文量の低下は航空機工業で一番目立つてゐるが幾多機械工業の部門でも同樣であり特に製鋼、製鐵業において著しい

「デーリー・テレグラフ」紙 ワシントン特電 十一月十四日　米英兩國代表は目下ワシントンで貸與協定に基き、米國政府が英國に提供した工作機械に對する支拂ひについて交涉してゐるが、右交涉の結果如何が貸與協定の全般的管理に關する先例となるう、過去一年間英國は平和産業に使用出來るすべての工作機械並びに西亞に輸送された精油機械に對しては現金で支拂つたが、現在交涉してゐるのはその前に新しい時の値段で米國が七千五十萬磅と評價した工作機械類の値段についてだ、米國では賃金が高いので軍需品並びに機械類は英國におけるよりもずつと生産費が高いから、新品を造る生産費を規準にして支拂ふこととなれば、實際において英國が戰時生活基準が低いにも拘らず米國民が現に享受してゐる高い生活標準の一班を賄ふといふ結果にならう

「マンチエスター・ガーデイアン」紙十一月十六日　英國が貸與協定に基いて受取つてゐる食糧ならびに原料品の極く少しの部分の助けを借りて輸出貿易を復興することが米國の輿論としては承認出來ない樣子だから民需産業の復興に必要な米國からの輸入原料品に對して支拂ふための弗貨が手に入らないこととならう、一品目を例にとるならば、假りに英國が全然米棉なしに紡績業を營むとすればどんな結果になるかはランカシヤ地方並びにルイジヤナ州の人々が十分承知してゐるところだ、米英兩國民が貿易を命がけの戰爭と見做す場合においてはじめて考へられるところだ、最近いろいろ激論が出てゐるが注文とりのために戰つてゐる商賣敵の思ひきつた言動に對しては、あまり重要視しない方がよささうだ、果して米國から英國に對する借款が問題となつてゐるかどうかは正直なところ分らない

「デーリー・ヘラルド」紙十一月十八日　英國産業界と貸與協定の繼續に非常な影響を及ぼす協定が近く發表されよう、右協定はワシントンにおけるケーンズと米國代表との會談の結果で、米英兩國において戰時經濟から民需經濟に逐次互に調整し合つて轉換して行き、且つ轉換の際に脫臼を起さないやうにするのが協定の目的だ、日本軍との戰爭を遂行するために最大限の生産を實現すると同時に例へば英國内で爆撃をうけた住宅の再建といふやうな緊急な民需の要求を充し、米英兩國の輸出貿易を復活しなければならない、ケーンズは一九四五年における情勢が變るのを豫想し、貸與協定並びに逆貸與の全機構に再檢討を加へた

「デーリー・スケッチ」紙十一月十八日　英國の製造業者は十一月十八日から許可なしに一定の商品をアフリカ大陸並びに太平洋の領域に輸出して自由に市場を開拓出來ることとなつた、マスメテイツク、毛皮、ワックス、塗料、藥品並びに化學製品は許可なしに南アフリカ、南北ロデシヤ、ニアザランド、ポルトガル領東西アフリカ、フランス領ギアナ、リベリア、象牙海岸、マダガスカル島、英領ソロモン群島、ニューヘヴリデスなど約三十四個國に許可なしで輸出出來るといふことが新らしい商務省令で公布された、以上輸出に關する政府の讓歩に關聯して一番大事な要因は船腹だ

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月十一日(月)　第三二六七號

發行人　高橋俊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話銀座(57)一八〇〇番　同盟通信社

同盟通信 海外電報

世界の動き

反樞軸は陽春四月黄河の一角から行動を起した皇軍の大陸作戦の目標が東南支那全域の米空軍基地を悉く奪取し、太平洋攻勢の大陸接岸計畫に先制を加へる一方、南方地域との陸上ルートを打通するにあるとみて、對日戰略におよぼす影響を專ら自己本位の立場からのみ危惧し、反樞軸の楯たる重慶にどのくらゐ大きな犧牲を生じそれが結局自らの由々しい問題に發展するかには餘り頓着しなかつたその後八ケ月、反樞軸の觀測は遂に全面的に實現し、大陸のわが優位な戰略態勢は確立するに至つた、敵がこの現實に失望沮喪したのは勿論だが、今さらの如く狼狽したのは重慶が甚大な深傷を負つて開戰以來最大の危機に逢着し、これがさらに今後の戰略破綻に導く可能性であつたかくて反樞軸は「重慶が潰滅するか否かはこ二六十日で決まらう、その間に外部からこれ以上救ひの手をのべることは不可能だ」と匙を投げ、敗戰責任は悉く重慶の無能に歸しボールドウインが「太平洋戰における重慶の役割は再檢討の要あり、對日直接攻撃こそ最善の戰略だ」と唱へたのを初め重慶無用論が再燃、米軍支那引揚げの噂すら飛んだ、しかしこれらは對日戰略に大陸を必要としないやうな根本的變化の起きぬ限り重慶の立直りを要望する侮辱的惘喝にすぎない、現にウエデマイヤーは去月二十三日島嶼作戰を否定して對日戰略における支那大陸と重慶の役割を再確認すると共に、七日特に聲明して米軍引揚の噂を打消し「米國に重慶を見捨てる意志はない」と釋明した、しかし頽勢を挽回する唯一の途は英本土やスターリングラード防衛の團結を、重慶の軍民と國共兩黨が實現する以外にないと要求する點に變りはない、蔣の賴みとする太平洋攻勢が比島で足踏みしてゐる時重慶は更に血の犧牲を强制されてゐるのだ

【目　次】

チヤーチル信任を確保……三〇三八
米英兩國に諒解成立……〃
米は英國のために戰はず……三〇三九
カナダ內閣一應危機を脫す……〃
對日戰費年七百十億弗……〃
【歐　洲】
ローマ政局の危機解消せず……三〇四〇
ギリシヤ全土に擾亂擴大……三〇四一
羅首相第一聲……〃
白非常大權法上院を通過……〃
【米　洲】
海軍の現勢力……三〇四二
開戰以來の兵員損害……〃
追加豫算案提出……〃
軍需勞働者を更に增員……〃
【英　帝　國】
住宅復興費三千五百萬磅……〃
準備管制に入る……三〇四三
米新國務長官の前途……〃
カナダ保守黨の修正案否決……〃
【ソ　聯】
英國大使急遽歸國……〃
【友邦軸陣營】
航空協定骨子……〃
佛ソ會談終る……〃
歐洲戰局概觀……三〇四四
【特　輯】
印度當面の問題……三〇四六
【資　料】
歐洲復興用物資供給計畫……三〇四九
西歐ブロック案の戰略的根據……三〇五一
米紙と西歐聯合……三〇五二

米、十一月中飛行機生産高

（リスボン七日發）戰時生産局長官クルーグ六日公表＝十一月の航空機生産數は六千七百四十七機であつたが、計畫通りに生産された十月の七千四百二十九機に比し相當の減少である、十一月の生産數は全體として計畫よりも三百機少なかつたがB29の生産は僅かばかり計畫數量を上廻つた

チヤーチル信任を確保

二七九票對三〇票で勝つ

（ストツクホルム八日發）ロンドン來電＝勞働黨議員シーモア・コツクスは八日英國下院において「ギリシヤその他歐洲の各部分に於る民主主義の友人を武裝解除し乃至ドイツ軍との戰爭に勇敢に協力した民衆運動を强壓するために」英國の兵力を使用しないとの保障を開院式における國王ジョージ六世の演說が明示してゐないのを遺憾とする旨の動議を提出した、コツクスを初め野黨議員が以上の動議を基礎にバドリオ、ピエルロー各政權並びにギリシヤ內亂に對する英國政府の外交政策を相次いで論難したのに對し、首相チヤーチルは痛烈極まる語調を以て應酬し、歐洲各國に對する干涉政策について下院の信任を問ふた、チヤーチルは先づ國王演說に對する修正動議をときおろしこの修正案に所謂民主主義の友人の行動が、全國民の投票をもかち得すに權力の座に降り立たうとする、暗殺團の周到に用意されたクーデターと不逞の徒輩による鐵鎖の統治を意味するならば、もしかくの如きに民主主義の假面を被らせようといふのであれば、惟ふに下院は一致してかかる主張を茶番と斷ずるであらう

政府の方針を闡明

更にチヤーチルは歐洲各國に對する英國政府の方針を闡明し

歐洲各國において英國の希望するところは要するに兵站補給源の安全を確保する政權を樹立するに他ならない、勿論英國政府は各國民が自由な選擧によつて各自の政權を選ぶ權利をみとめるが、不逞の徒輩が山岳地帶から降りてきて血腥い恐怖と暴力とをもつて政權を掌握することを認めることは出來ない、ローマ政權に關し英國政府が米國との公約を破つたといふ事實は全然ない、スフオルツア伯忌避に關する英國政府の立場は簡單明瞭である、要するに英國政府は同伯を信賴もせず乃至同伯が主要な一員となる如何なる政權に對しても些も信用を置かぬといふに止まる、余は獨りギリシヤ內亂に關してだけでなく、他の諸國についても苟も英國政府が干涉することを必要とする場合における歐洲に對する干涉政策を全般的に取扱ひ、一切の政策に就て余は全的な責任を負ふ、余は五日午前スコビー將軍に對しアテネ並びに周邊地區を完全に占據し首都に入り込んだエラス兵團を追ひ出すに必要ならば如何なる武力でも行使するよう訓令した同時にアテネ駐劄大使に對しても首相パパンドレオを說得し辭意を飜へさせるやう指令した、パパンドレオ首相の宿舍の周邊に猛烈な市街戰が展開されてゐる際、同首相が他の領袖に政權を委讓する位愚劣、無用且つ危險なことはあり得ないが故に、余は敢て以上の措置に出たのである、若し余の措置が過つてゐたとすれば余は罷免を受諾しよう、若し過つてゐなかつたとすれば立憲的なギリシヤ政權に對する叛徒をアテネ市並びに周邊から掃蕩する現在の政策を堅持しようと痛論した、最後に外相イーデンが所見を開陳、表決の結果下院は二百七十九票對三十票を以て修正案を否決、チヤーチルは下院の信任を確保した

米英兩國間に諒解成立

（リスボン八日發）英國大使ハリフアツクス卿は、八日國務長官ステチニアスを訪問、本國政府の訓令に基きスフオルツア伯忌避事件について協議を遂げたが、ワシントンからの電報によれば、同大使は國務省を退出するに當り記者團に對し次の通り語つたと傳へられる

ギリシヤ、イタリア兩國の政治的爭點については米英兩國は諒解を達成した、今度兩國の意見が衝突した結果、双方とも今後共同の利害關係ある一々の問題について十分打ち合せを遂げることとなり、かへつて米英兩國の團結は强化されよう

但しハリフアツクス卿はいはゆる「諒解」の具體的內容については言明を避け、ギリシヤ、イタリア兩國將來の政治的諸懸案處理について兩國間に取極めができたかどうかは語らなかつた

昭和十九年十二月十一日(月)
第三二六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米は英國の爲に戰はず
——ロビンソン野望を曝け出す——

(リスボン八日發)サンフランシスコ來電＝米國太平洋第三艦隊司令長官ハルゼーの前參謀レイ・ロビンソンは八日カリフオルニア州マーセツトにおける演説で次の通り述べた

「米國政府は太平洋で戰つてゐる米國軍將兵に對し彼等は英國の經濟的權益を擁護するために日本軍と死鬪を演じてゐるのではないことをはつきり保障してやる必要がある、政府は更に米國軍が太平洋戰域で獲得した領土、施設はそれがたとへ英國領であつても米國は戰後永久にこれ等の全部を確保して手放さない方針であることをも明らかにしておくべきだ、英國は狡猾にも將來の太平洋を政治的には勿論經濟的にも英國の支配下におかんとする計畫を樹立してゐる、米國は英國に對してこの際次の諸點をはつきりとさせておくべきだ

一、米國は英國の領土を守るために尨大な兵員や船舶を犧牲にしてゐるのではない

一、米國の將兵が死鬪を演じてゐる際に英國の勞働者は土曜日、日曜日に休業して米國軍の兵站輸送に多大の支障を與へてゐるが、英國勞働者のかかる「協力」に對して米國は決して感謝の意を表さないであらう

一、英國が戰爭のため椰子の樹とかその他類似の所有物が損害を受けたといつて米國にその支拂を要求してきても米國はこれに唯々諾々として應ずるやうな人好しではない

カナダ內閣一應危機を脫す

(リスボン八日發)マツケンジー・キングを首班とするカナダ內閣が十一月二十二日緊急令をもつて徵兵制による國內防衞軍一萬六千名を西部戰線並びに地中海戰線に派遣する旨を布告した結果、ケベツク市內に騷擾が持上りブリテイツシユ・コロンビア州においては數ケ聯隊のフランス系兵士が暴動を起すといふ過去二十年間かつてみなかつた重大な事態を惹起するに至つたが、オツタワ來電によれば、前後二週間に亘る白熱的討議の結果カナダ下院は七、八兩日に亘り、前後三回に亘る表決で現內閣を信任したと傳へらる

まづケベツク出身のフランス系議員團は七日の下院に於て志願兵だけを海外に派遣するといふ議案を提出したが同案は百六十對八票四十三票をもつて否決、次いで在野の進步的保守黨は徵兵制によると志願兵制によるとを問はず一切の兵士を海外に派遣する旨の動議を提出したが、右動議も百九十票對四十四票をもつて否決された、翌八日に至り聯邦聯盟は「下院は活潑な戰爭努力を維持する政府の政策を支持する」旨の政府の原案を修正し「下院は活潑な戰爭努力を持續することにつき政府を支持する」との動議を提出、首相マツケンジー・キングもまた右修正案を受諾して表決に附した結果、贊成百四十三票、反對七十票でカナダ內閣はここに下院の信任を確保した、右表決をもつて數時間に亘る下院の討議は終了し、一九四五年一月三十一日まで休會に入つたが、以上の經過に關し、オツタワからのロイター電報は次の通り報道してゐる

カナダ下院では、野黨議員は七十五名にすぎず與黨の自由黨は、百七十五の議席を占めてゐるので今回の表決に際しては與黨議員數十名が棄權したことは明かだ、マツケンジー・キングを首班とする現內閣は今回の表決によつて、一應技術的に危機を切拔けることが出來たが極左並びに右翼の反對は徵兵案を繞つて一段と激化し西部戰線並びにイタリア戰線におけるカナダ軍の損害が增大すると共に國內の不安はいよいよ深刻化する形勢にあり、政局の安定を期待することは出來ない

對日戰費 年七百十億弗

(リスボン七日發)ニユーヨーク來電＝米國陸軍補給本部長ソマヴイルは六日夜ニユーヨークで次の通り述べた

「歐洲戰爭終了後、日本を打ち破るまでには米國は年に七百十億弗の巨費を必要とすべく對日戰それ自體米國乃至全世界にとつて史上最大の戰爭である、かかる際軍需生產は一段と强化されねばならないが現在最重要部門において三十萬名の勞働者が至急必要とされてゐる」

ローマ政局の危機解消せず

―リスボン八日佐藤特派員發―

統監の權限を認めず　ボノミ前首相が解放委員會を構成する六政黨の强硬な要求に內閣を投出してから殆んど二週間を經過するが、後繼內閣はいまだに成立せずローマ政局の危機は極めて深刻だ

ロイター特派員は六日ボノミが社會黨以外五政黨支持のもとに新內閣を組織することになつたと報道し、ＡＦＩ通信社もローマからの電報で六日漸く第二次ボノミ內閣が成立したと報道してゐるが未だ確報なく電報は逆に社會黨が共產黨をボノミ反對の陣營に引づりこんだと報道してゐる位だ、當のボノミは六日自由黨の代表と會見したほか、英國大使サー・ノエル・チヤールスとも會見してゐるが社會黨の主領ピエトロ・ネンニーは共產黨の首領パルミーロ・トグリアテイと會見し、結局共產黨と社會黨とは統監ウンベルト殿下の權限を認めずあくまで六政黨がイタリア國民の代表として後繼內閣の組織を決定するといふ立場を固執するに決つたらしい

キリスト教民主黨は左右兩黨のうち何れか一つが入閣することをボノミに對する協力の條件としてゐるのだから、共產黨が入閣を拒否する結果、同黨もまた不參加の結果とならう、もう一つ左翼の政黨としては行動派があるが、同黨の首領スフオルツア伯を英國政府が忌避した結果、絕對ボノミの組閣には協力しない方針だから、結局ボノミの賴りとするところは勞働民主黨と自由黨だけだしかし事態ここに至つて以上の兩黨と雖もボノミを支持するかどうかは甚だしく疑問だ

スフ伯忌避は老人の我儘　スフオルツア伯の忌避事件ははしなくも米英兩國間の紛爭の原因となるに至つたが、スフオルツア伯を忌避する英國政府の論據は極めて薄弱だ、伯は當年七十一歲、一九二十年から二十一年にかけて外相の職にあり、ムツソリニ統帥がローマに進入した當時にはパリ駐劄大使であつたが、直ちに辭職、ローマに歸つて上院議員としてファシスト黨と抗爭した、結局國外に亡命し反樞軸軍がイタリア本土に上陸すると共に二十年振りではじめて歸國したのだが、エマヌエレ三世が拜謁を仰せつけたが、ファシスト政權を容認したのは國王の責任だといふので拜謁を辭退、はつきりサヴオイ王家に對して敵意を表明した、更に去る二月英國首相チヤーチルが反樞軸軍のローマ占領までエマヌエレ三世が王位を保ちバドリオ元帥が首相の地位に留任することを提唱した際には、痛烈にチヤーチルの遣口を非難した英國政府が今回同伯を非難したのは要するに頑固な老人チヤーチルの我儘にすぎないとみるのが至當のやうだ

諮問委員會の矛盾　英國政府は英軍が占領してゐる歐洲各國の內政に干涉するのは當然だといふ立前をとつてをり、米國政府は反對に今回の國務省の聲明にも明らかなやうに作戰の遂行に直接關係のある任命以外、「手を觸れない」（ハンヅ・オフ）方針だ、米國の外交政策協會が六日グローヴ・ヴアインズのイタリア占領地政策に關する報告を發表してゐるが

「反樞軸陣營のイタリア政策をはつきりさせるためには、イタリア國民はファシスト政權の犯罪について責任を負はねばならず、從つて嚴重監視を加へねばならないといふ立場をとるかどうかを決めることが先決要件だ」

と述べてゐるのは恐らく米英兩國の紛爭の核心をついてゐるといへよう、同報告書は更にアムゴツトはイタリア各紙でファシスト團體を解散し或る程度ファシスト黨員を肅清したが、行政機構の運營を維持するためだと稱して舊ファシスト官僚制度を依然流用してゐる所にイタリア諮問委員會の根本的な誤謬がひそんでゐると指摘してゐる

貴族階級の崩壞　以上ローマ政界の不安は要するにイタリア占領地帶における國民生活不安定の反映に他ならないが、「サンデー・タイムズ」紙は十一月十九日の紙上でイタリア國內の情況について次の通り報道してゐる

昭和十九年十二月十一日(月)
第三二六七號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「ローマも街頭は平時と同樣に喧々しい、映畫館も酒場もすべて歡樂の巷は夜となく晝となく雜踏を呈してゐる、しかし大通りの氣樂な繁昌記は眞相を去ること遠い、闇の市場で儲ける人達を除けば曾て豐かに暮してゐた中產階級は資產を蕩盡して每日貧乏人の仲間に入つてゆく、生活費が高いので次から次へと持物を賣つて僅かに生活をたて今までの有閑階級もつまらぬ給與の少ない仕事を求め力仕事で僅かに口を糊してゐる有樣だ、世界中でも一番古い由緒あるローマの貴族階級はまさに崩壞しようとしてゐる、オペラや劇場に貴族の姿を認めるのも珍らしい、一流の料理店では簡單な食事でも五十志といふ高い値段だ、假に自動車をもつてゐてもタイヤの値段がべらぼうに高いので使ふことが出來ず、大ていの市民はどこへ行くのにも徒步だ、タキシーはなかなかないし、あつても高價であり、馬車は多いがのろくて高い、劇場はいつもいつぱいだがだし物は一向に感心しない、昔の劇通は高い入場料を拂へないし俳優達も標準を下げてレビューに出た方が身入りがいいわけだ、オペラハウスが開いてゐるのは英軍や米軍の將校達が休暇でローマへ息拔きにくる爲だ、有名なテナー歌手ギグリーは政治上の理由でローマの劇場には現はれない、バドリオ政權がファシスト黨員の肅正工作を完遂もせず、厚生施設も一向にはかどらぬので冬を控へて人心は一段と動搖してゐる、暖房の手配もなく食糧と衣料とは不足で高價だし電燈は嚴重に配給されてゐるので表面は朗らかのやうだが、實際は占領地下のイタリヤ國內は憂鬱だ」

ギリシヤ全土に擾亂波及

(リスボン七日發)英軍司令スコビー少將は七日の公報において「アテネ市內並びにピレウス外港地區の掃蕩工作は進捗しあり」と發表したが、アテネからのAP電報によればエラス兵團二千は依然アテネ市內にありさらに七千は近郊地區に蟠居してをりさらに「タイムズ」紙の報道によればエラス兵團はマケドニヤ地方の實權を掌握しサロニカの官廳を占據したと傳へられる、さらにAP電報は七日

英軍の空挺部隊並びに步兵部隊は空軍、戰車隊裝甲車隊及び砲兵隊の協力のもとに進擊を續け野砲も初めて砲門を開いたが、戰鬪はトラキヤ地方にも波及しエラス兵團とギリシヤ正規軍との間には激戰が展開されてゐると報じてゐるまたUP電報は

英軍とギリシア正規軍とはアテネ市內約三平方哩の地區からエラス兵團を擊退したが英國艦隊も七日に至り戰鬪に參加しエラス兵團の立て籠る警察署に對し砲擊を加へた、またアクロポリス丘附近の戰鬪には英軍のウエリントン爆擊機隊も參加數時間餘に亘る戰鬪の後六日夜半漸くエラス兵團の抗戰を粉碎したと報道してゐる、以上內亂の狀況を前に首相パパンドレオは七日記者團を引見し

左翼分子はギリシヤ國內を內亂の巷と化した、もしギリシヤ軍が健在ならば援助を必要としないがギリシヤ軍は自由の祭壇に犧牲に供された現狀は戰爭の結果なのだから英國政府の役割は獨り友好的な奉仕たるばかりでなく、英國の戰功であると述べ英軍の干涉を辯護した、しかし「エキスヂオンヂ・テレグラフ」社の報道によればギリシヤ國內の食糧不足は愈々甚だしくインフレーションは更に惡化し過去三日間に磅貨とドラクマ貨との交換比率は三倍に增加したといはれる

羅首相聲明

(リスボン八日發)ブカレスト來電=ルーマニア國王ミハイ一世は七日ラデスコ新內閣成立直後、外相コンスタンチン・ヴイソヤヌ立會の下にソ聯外務人民委員部次長ヴイシンスキー氏と會見を遂げた、同日ラデスコ首相は就任に際し記者團に對して次の樣な聲明を發表した

新政府はルーマニアにとり悲劇的な時期に際して政權を引繼いだ、政府は勞働者との關係を改善するため努力するつもりだが、勞働者もまた政府と協調することを要望する

白非常大權法上院を通過

(リスボン八日發)ピエルロー政權は抗戰集團彈壓の爲同政權に廣汎な權限を附與する非常大權法案を議會に提出旣に下院を通過してゐたが、ブリユツセル來電によれば更に九十一票對六票棄權六票をもつて八日上院を通過したと

【米　洲】

海軍の現勢力

（リスボン六日發）ワシントン來電＝海軍長官フオレスタルは「アーミー・アンド・ネーヴイー」誌の最新號に「戰ふ米國」と題する一文を發表、次の通り述べてゐる

一九四三年米國軍艦の新規建艦數はこれまでのあらゆる記錄を打ち破つたが、一九四四年にはさらにこの記錄が突破されよう、卽ち本年十二月末までには新たに百四十四萬トン以上の軍艦が出來上る豫定である、しかして米國海軍は現在すでに軍艦一千百十五隻に加へさらに尨大な數の上陸用舟艇も含めて全部で五萬隻の補助艦艇を保有してゐる、一方軍艦の數が增すと共にこれに伴ふ兵員の擴充が行はれ過去一年間に一日平均二千八百名の割合で兵員が徵集されたが、このことは戰前の全艦隊に配乘し得るだけの兵員が二ケ月毎に集るといふことだ、かくして今や米國は海軍に三百十萬餘、海兵隊に四十七萬五千餘、沿岸警備隊に十六萬九千餘といふ空前の兵員を擁するに至つた

フオレスタルは更に對日戰に言及、次の通り述べてゐる

日本は今やその內線防砦を形成する日本本土、臺灣、北支、滿洲國並びに日本海、黃海、東支那海の水域にまで後退しつつあるが、米軍がこの內線突入に成功するには長期且つ愼重な準備を必要としよう、將來日本はたとひ南方占領地域から遮斷されようとも、今日までに旣に國內や大陸地方で工業施設を擴張した結果日本が必要とする多くのものはこの地方から持込まれ得るのであり、しかもその上、日本は多量の貯藏物資をも蓄積してゐる、かかる現狀においてわれわれは日本の抗戰力が經濟的に崩壞するなどと希望することは許されない

開戰以來の兵員の損害

（リスボン七日發）ワシントン來電＝陸軍長官スチムソンは開戰以來の陸海軍兵員の損害が五十五萬二千十八名に達した旨七日發表した內譯左の通り

△陸軍（十一月二十二日現在）

戰死	九一、六二三名
戰傷	二六八、〇九九名
行方不明	五八、九二六名
俘虜	五六、二四八名
合計	四七四、八九八名

△海軍（十二月六日現在）

戰死	二九、七三八名
戰傷	三三、四六九名
行方不明	九、四二七名
俘虜	四、四八六名
合計	七七、一二〇名

追加豫算案提出

（リスボン七日發）ワシントン來電＝下院歲出委員會は七日總額四億一千五百三十二萬四千弗の現會計年度追加豫算案を本會議に提出した、右金額の四分の三以上、卽ち三億三千九百十二萬六千弗は海軍のロケツト砲彈生產費である

軍需勞働者を更に增員

（リスボン七日發）ワシントン來電＝戰時人的資源委員長ボール・マクナツトは七日次の通り發表した

「政府は各種彈藥の增產強化のため新たに軍需勞働者十三萬名を募集するに決した、この內八萬四千名は火砲と迫擊砲の砲彈生產に、殘り四萬六千名は輕火器用彈藥の生產に振り向けられ雇傭期間は數ケ月に及ぶ豫定である」

【英　帝　國】

住宅復興費三千五百萬磅

（ストツクホルム八日發）ドイツ軍の攻擊によつて破壞されたロンドンその他イングランド各地の住宅再建問題は、目下英國內政上の重大問題と化するに至つたが、ロンドン來電によれば公共事業相ダンカン・サンデイスは七日下院において次の通り言明したと傳へられる

「歐洲上陸作戰に際し所謂「マルベリー」人工埠頭を建設した建築請負業者達に對し、假住宅の建設を注文してゐるが、反樞軸軍司令アイゼンハウアーもまた三千人の工兵隊をロンドン市の修理に手傳はせることを申出てゐる、現在市民は七千戶のこはれた住宅に住んでゐる有樣だが、全體の修理費は三千五百萬磅以上に上る見込である」

昭和十九年十二月十一日(月)
第三二六七號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

準備管制に入る

(リスボン七日發)ロンドン來電＝政府は獨爆撃機隊の脅威は一應終つたものと認め、九日から全國的に完全燈火管制を準備管制に切り換へる旨七日發表した、但し空襲警報發令の場合は速かに完全燈火管制に入る事を要求してゐる

米新國務長官の前途

(チューリツヒ五日堀口特派員發)「チューリツヒアー・ツアイツング」紙ロンドン電報はステチニアスの國務長官就任に對する英國の反響を次のやうに傳へてゐる

「前國務長官ハルは今後も老練な政治家として目付役を續けるし、ステチニアス自身も就任に際し前任者が爲し殘した課題を續行する旨言明してゐるから、米國の外交政策には重大な變化は起らないであらう

ステチニアスが立向はねばならぬ外交問題の主なものは、平和會議、世界安全保障問題、海外貿易、西半球問題の四つである

なほ今次大戰の終了とその後にきたる平和機構に關する問題としてドイツの武裝解除並びにドイツの將來、オーストリヤその他嘗て樞軸側が支配してゐた諸國に對する米國の政策、歐洲諸國の將來の國境確定問題への米國の參加等があげられる

一方またダンバートン・オークスの世界安全保障案は未だ實驗的段階を出ずす倒へば、理事會の構成、フランスの役割、拒否權發動等の諸問題が未決のまま將來に殘されてゐるのである

カナダ保守黨の修正案否決

(リスボン八日發)オツタワ來電＝カナダ下院は十日間にわたり徴兵案について白熱的討議を重ねた後七日先づ「徴兵による國內防衛軍を悉く海外に派遣する」といふ保守黨の修正案を表決に付したが百八十票對四十四票で否決された

【ソ　聯】

英國大使急遽歸國

(ストツクホルム七日發)モスクワ來電によればモスクワ駐劄英國大使カーは六日夜モロトフ外務人民委員と重要協議を遂げた後、七日ロンドンに向つて急遽歸國の途についたといはれる、モロトフ、カー會談の內容は未だ判然としないが、恐らくギリシヤ問題も俎上にのせられたとみられる

【反樞軸陣營】

航空協定骨子

(リスボン六日發)シカゴ來電によれば反樞軸國際航空會議は六日全體會議で國際民間航空協定を承認、會議は事實上終了したといはれる、協定の骨子次の通り

一、國際航空事業を規定する取極め＝協定參加國の領空飛行及び領土着陸の二つの自由を含む

一、國際航空機關設置に關する取極め＝航空機關は總會及び理事會の一部から成り總會は協定參加國全代表により、理事は左の二十一ケ國代表により構成される、米國、英國、フランス、オランダ、ブラジル、メキシコ、ベルギー、カナダ、キユーバ、ノルウエー、イラク、ペルー、重慶、濠洲、エジプト、チエツコ、トルコ、サルヴアドル、チリー、コロンビア、ソ聯(但し同國が協定に參加した場合)

一、航空事業に關する資料及び統計の交換に關する取極め

一、航空協定違反國處分に關する取極め

會議は七日各國代表の右協定への調印を待つて正式に閉會するが、同會議は一應決裂をまぬがれて協定の成立にこぎつけたものの協定の內容が示す如く重大な案件は殆んど未解決のまま殘され、ソ聯の不參加をはじめ、國際航空機關も小國の主張が通つて强制力なき諮問機關となり、また米國の主張した國際航空の自由競爭も英國の反對によつて協定の附屬文書にその形骸をとどめることとなつた

佛ソ會談終る

(ストツクホルム七日發)フランス臨時政府主席ド・ゴールはモスクワ到着以來數回にわたりスターリン議長、モロトフ外務人民委員と會見を遂げた樣子だが、モスクワ來電によれば七日スターリン、ド・ゴール會談は終了したといはれる、會談內容は明らかでないが英國の意圖する西歐聯合案に對抗するソヴエト、フランス同盟問題が主要議題となつたことは略々確實であると見られる

歐洲戰局概觀

アーヘンからザールへ

中將ジョージ・パットンの指揮する米第三軍が十一月八日ロレーヌ戰線で開始した攻勢が反樞軸軍の西部要塞に對する總攻撃の切つかけをなしたことは周知の通りであるが、爾來一ケ月で西部戰況の重點は再び米第三軍の作戰地域へ移つて來た過去三週間に亘つて息詰るやうな激戰が續けられたアーヘンの前面では米第九軍のレール河西岸への全面的進出、米第一軍のヒュルトゲン森林地區突破によつて戰鬪は一段落の形となつた、尤もアーヘンケルン公路上の要衝デュレンの西側では依然米第一軍の攻撃が展開されてゐるが作戰の規模は小さく、ドイツ軍當局の指摘してゐる如く同方面の米軍二個軍團が目下新攻勢への準備期にあることは爭へない、一方南翼のアルザス戰線ではコルマール周邊地區を除きドイツ軍の大半はライン東岸乃至ストラスブール北方へ轉進し、同方面における反樞軸軍の主要作戰目標もアルザス北部からザールへの突入におかれてゐる樣子である、かくてこれまで中南部地區の反樞軸軍が企圖してゐたフランス領の奪還作戰は一應終了し米第三、第七、フランス第一軍の鋒先はザール工業地帶の心臟部へ向けられることになつた、現在西部戰線における反樞軸軍の攻勢重點がザールへおかれてゐることは連日のSHEAFの戰況公報にも如實に反映されてゐるが、その一例として七日の戰況公報を左に掲げる

ヒュルトゲン地區のわが軍はドイツ軍歩兵並びに機甲部隊によるベルゲンシュタイン村奪還企圖を撃破しまた六日戰鬪爆撃機の編隊はベルゲンシュタイン東方のドイツ軍戰車隊に銃爆撃を加へた、同地東方二哩の距離にあるニデゲンも中型爆撃機並びに戰鬪爆撃機隊の攻撃をうけたザール溪谷ではわが軍はザール河の第三次渡河を行ひデイリンゲンで目下ドイツ軍と交戰中である、ザールラウテンではドイツ軍の據點に攻撃を加へてをり、同地の南方ではヴエールデン附近でザール河に到達した、更にわが軍はロスブリュツケン、ヴオルフエルデインゲンに突入ザールゲミユンドではドイツ軍の頑强な抵抗に對し軒傳ひの戰鬪を交へた、同方面の東南方ではザールゲミユンドから五哩の距離にある森林地區に突入また機甲部隊はビンニンゲンに到達した、ザールユニオン東方のヴオージュ山脈の西側ではドイツ軍の散發的抵抗を排して三哩以上前進し八村落を占領した、ハーゲナウ西北方ではドイツ軍はわが軍の進撃に對して頑强に抵抗してをり、アルザス高原では更に地域を獲得コルマール北方五哩のオストハイムを解放した六日夜わが重爆撃機隊は極めて有力な編隊をもつてオスナブリュック、ギーセンの兩鐵道中心地及びメルゼブルグの人造石油工場を攻撃、同時にベルリンをも爆撃した

メルチツヒとザールゲミユンド

さてザール戰線の現狀はどうであらうか、目下米第三軍が狙つてゐる最大の目標はザールブリュツケンで七日同軍の主力は西方及び西南方からザールブリュツケンの外郭防禦線に突入、特に第五歩兵師團はザールブリュケン西方三哩半のフルステンハウゼンを占領するに至り、既に米軍はザールブリュツケンに猛砲撃を加へてゐるといはれるザールブリュツケンから北方メルチツヒへ至る線では米軍は七日午後までに四ケ所でザール河を渡り、ザールラウテンで市街戰を展開すると共に同地北方でザール河東岸を二哩半進出、ザール戰線で初めて西部要塞線に突入するに至つた、AP電報によれば右地區に進出してゐるのは第九十歩兵師團で同部隊の最進出地點は國境から八哩でザール戰線では最も深い突出部であるといはれる、一方ザールブリュツケン南方のザールゲミユンドでも米第三十五歩兵師團とドイツ軍との間に市街戰が展開され、さらに同地東南方ではザールアルベンからロールバツハにかけて一進一退の機甲戰が行はれてゐる

昭和十九年十二月十一日(月)
第三二六七號
同盟通信
海外電報(第三種郵便物認可)

同方面は米第三軍と第七軍との接續地區であるばかりでなく、アルザス北部で反樞軸軍の北進を阻止してゐるドイツ軍の側面に當り、戰線の如何ではストラスブール北方のハーゲナウから西北方へイングワイラーにかけて防禦線を布くブラスコヴイツチ軍は全面的にザールへ撤收するの餘儀なきに至るであらう

レール河東岸を確保

ケルン平原の中央部進出を狙ふアーヘン東方戰區の米二個軍團はリンニツヒ、ユーリツヒ、デユレンの三要衝奪取を作戰第一期の目標としてゐた樣子であるが、現在までのところリンニツヒを占領したに過ぎない、しかしながら米第九軍が廣汎な線でレール河西岸に到達目下東岸進出の機會を窺つてゐることは見逃せない、米第九、第一兩軍の進出線からケルンまで二十二哩程度といはれるが未だ反樞軸軍の一兵もレール河東岸へは進出してをらず、しかもドイツ軍はレール、ライン兩河間にある他の自然的防禦線であるエルフト河の兩側にも强固な陣地を布いてゐるといはれ、ケルン平原の突破は容易な業ではない

赤軍バラトン湖岸へ

東部戰線では現在ハンガリアを除くほか大規模な作戰は展開されてゐないが、ハンガリア中南部で繼續されてゐるマリノフスキー、トルブーヒン兩軍の攻勢はその作戰の規模から見て重要視する必要がある、特にドナウ、ドラヴア兩河合流點北方でドナウを渡河したトルブーヒン軍は十二月上旬以來ハンガリア西南部をバラトン湖へ向つて南進すると同時に、トヴアン地區で攻勢展開中のマリノフスキー軍と呼應し南方からブダペストを挾撃せんとしてをり、情勢は過去數日來可成り緊迫化してゐる、七日トルブーヒン軍はシゲトヴアル西南方のバルクスを拔いてバラトン湖南岸に進出既に舊オーストリアの國境まで三十五哩の地點に迫つてゐるといはれる、一方ブダペストは目下北東南の三方向から遠卷きながら包圍攻撃をうけてゐるが、ドイツ軍はバラトン湖北岸からブダペストへ至る線をもつて赤軍の進出をあくまで阻止しようと企圖してゐる樣子で、今後ブダペスト兩側における戰鬪は白熱化の一途を辿るであらう、なほスイス紙「バーズラー・ナハリヒテン」のベルリン特派員がトルブーヒン軍の攻勢について次の通り述べてゐるのが一應注目される

トルブーヒン元帥は目下二個軍團を攻勢に參加させ西方、西北方、並びに北方へ向つて扇狀に攻勢作戰を展開してゐる、ドイツ軍がハンガリア西南部ドラヴア河に近いシゲトヴアルを喪失した事實は以上トルブーヒン軍の攻勢が西方へ擴大されてゐることを示すものであり、更に同軍の進擊方向はブダペスト、バラトン湖及びバラトン湖西岸に位しオーストリア東南部國境の防壁をなしてゐるバコニー森林にある、トルブーヒン軍の新攻勢がドイツ東南部への侵入と同時にバルカンから轉進のドイツ軍の退路を絶つにあることは疑問の餘地がないが、ベルリンの軍事消息筋では目下バルカンから後退中のフオン・ワイクス集團軍が强大な戰力を保持してゐる點からみてトルブーヒン軍攻勢の前途は危險であると樂觀的見解を持してゐる

米の盲爆ケルン大伽藍を破壞

(ベルリン四日發)米空軍爆撃機隊は去る二十七日午後ドイツ西部の古都ケルンに大舉恐怖爆撃を加へ、病院、養老院、公共建築物はいふに及ばず多數の記念物を容赦なく破壞してその獸性を暴露したが、特にドイツが世界に誇る歷史的建築物たるケルン大伽藍に盲彈を雨と降らせて大破したことが明らかにされ、ドイツ國民を憤激させてゐるドイツ軍當局の發表によれば爆彈はケルン大伽藍の屋根をぶち拔いて內部で爆發聖壇や聖器室を木葉微塵に毀したばかりでなく、各所がみるも無慘に破壞されたといはれるが、伽藍は一二四八年ホツホシユタインの大主教コンラツド教父によつて着工され、一八〇年に漸く竣工したゴシツク樣式の美を極限まで發揮した世界的建築物で、特に今回破壞された內部の壯麗なことは見る者の魂を奪ふ程であつた

特輯

印度當面の問題

奥畑稔

印度が現在當面してゐる重要問題は政治經濟の兩分野に亘り枚擧に遑ないが十一月二日から二十二日まで開かれた印度議會の討議を通じて特に重要と見られる二、三の問題について檢討しよう、印度聯邦議會の秋季會期は中央立法會議（下院）においては十一月二日からまた國家評議會（上院）においては同九日から夫々始り二十二日には早くも閉會されてゐるが、最も活潑な討議が繰り返されたのは先づ食糧問題次いで南阿聯邦との紛爭である

食糧事情と政廳の對策

中央立法會議では八日から三日間食糧政策を繞つて質疑應答が重ねられたが、八日一議員の質問に答へ當時ラホールに赴いて不在であつた食糧長官サー・J・P・スリヴアスタヴアに代つて民需供給長官サー・アジズル・ハクは

「現會計年度内に海外から總計如何程の食糧を獲得出來るか現在明かにすることは出來ない、既に英國政府は印度に對し本年九月末までに八十萬噸更に本年度の第四四半期に三十萬噸の小麥並びに小麥製品を輸送する旨の公約を與へてゐるが、明年度の第一四半期にどの位輸送されるかは未だ判らない、一方印度政廳はグレゴリー委員會の勸告に基づいて食糧貯藏計畫を樹立してゐるが現在までのところ政廳が保有してゐる食糧は刻下の必要に應ずるのがせい一杯であり州乃至王侯國政府に對してもそれぞれの割當計畫に應じ必要な豫備食糧を貯へさせることとしてゐる

と述べてゐるが、一昨年から昨年にかけ未曾有の飢饉に見舞はれた印度として當局の食糧政策がこの程度では到底安心出來まい、昨年の飢饉の重要な原因が生產量の減少のほか政廳の食糧價格統制策の不備或ひは集荷配給の適切でなかつた點などにあつたことはすでに檢討濟みのことであり、九日國民會議派所屬の一議員が（一）食糧統制價格の改訂、（二）中間商人の不正防止措置、（三）新灌漑計畫、肥料增產計畫の採用、（四）生產、配給、消費者間における協同組合設置を提案してゐるところからみても印度政廳が未だ問題解決について根本的對策を樹立してゐないことが窺はれる

「ニユー・リーダー」誌のカルカツタ特派員の報道によればベンゴール州特に同州の東部に於ては飢饉再現の狀態にあり、食糧不足に伴ふ價格の暴騰により中產階級の生活は極度に苦しくなつてゐると傳へられる、十月五日から十二日までの一週間に生產州であるパンジヤブから他の州乃至侯國に輸出された食糧は四千二百九十四噸に上つてゐるが、そのうち二千六百九十八噸はニユーデリーへ、殘りはボンベイ、ベルチスタン並びにコチントラヴアンコール、ラジプタナ、各侯國へ送られたといはれてをり、また遲蒔きながらも印度政廳が設置した飢饉調査委員會が今秋來漸く活動を開始し、同委員會の委員であるサー・ジョン・ウツドヘツド、アイクロイド博士らの一行がボンベイカルカツタ等でそれぞれ各地の食糧諮問會議常設委員會あるひは州食糧會議等の證言をきき、昨年度における食糧不足の原因を調査するとともに集荷配給組織の改善策をやつと探求し出してゐる

中央立法會議の採決

さて三日間に亘る中央立法會議の食糧政策討議の結末をみよう、最終日の十日立法會議で二つの採決が行はれたが、その一は食糧過剩地域と不足地域間の調整、輸送施設の改善、價格の低減並びに效果的食糧行政を内容とする動議で投票の結果六十一票對四十五票で採擇されてをり、また中間商人の不當利得の排除及び主要生產者との正當な取引を内容とする他の修正動議も五十八票對四十六票で可決されてゐる、この日回教徒聯盟總裁ジンナーも開會以來始めて顏を見せ右の投票に加はつてをり、以上二動議の採決後食糧長官スリヴアスタヴアは次の通り言明してゐる

「食糧政策に關する多數の提案については共感を禁じ得ぬが遺憾ながら何れも實際案として受け入れることは出來ない

昭和十九年十二月十一日(月)
第三二六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

また反對派議員から提示された食糧行政機構改善に關する數多の提案はこれを歡迎するが協力して解決に當らねばならない食糧問題に政治を持ち込んでゐる點遺憾とするほかない、印度政廳が食糧問題について拱手傍觀し居眠り狀態にあつたといふ非難も當らない、政廳は最初から價格統制を行はうと努めて來たのであるが州政府の關係閣僚—この中には會議派所屬の閣僚も含まれてゐる—が價格統制に反對したのである、而もこれら閣僚に對しては今次大戰が勃發するや政廳は直ちに必要な權限を委任してゐるのである、カルカツタにおいて如何ほどの食糧を必要としてゐるか現在までのところは明かでなく食糧不足の最も甚だしいベンゴール州を含めての政廳の根本的對策が樹立されるのは食糧過剩並びに不足地域の一切が解つてからのことで、單にベンゴール州のみならずトラヴアンコール、コチンの各侯國においても食糧の不足が痛感されてゐる」

南阿との係爭

食糧問題について討議の重要項目として揭げられたのは印度人に對する南阿聯邦の差別待遇問題であるが、先づ問題の發端を明かにしなくてはならない、印度と南阿聯邦との紛爭は何も始めてのことではないが、今回の事件の切つかけをなしたのは去る十月末南阿聯邦政府がナタール州會議に同州在住印度人に對する住居制限法案を上程したことである、從來南阿印度間にはプレトリア協定なるものが存在し同協定によれば人種的摩擦を起す惧れのある場合に限り印度人の住宅占有權を規正することになつてをり、しかもこれはダーバンにおいてのみ適用されることになつてゐた、しかるに新制限令はナタール全州に適用されるばかりでなく、內容も占有並びに所得權の規正にまで擴充されることになつてゐる、これがためナタール州に在住する國民會議派所屬の印度人は早速十月二十四日南阿聯邦首相ジヤン・スマツツ將軍に對して新制限令がプレトリア協定と牴觸することを指摘したメツセージを送ると共に、ナタール州在住の印度人は財產の所有並びに占有權といふ固有の權利を絕對に拋棄しないとの强硬な申入れをしたほどであつた

右制限令のナタール州會議通過が確定的となるや、印度政廳は昨年中央立法會議を通過した Reciprocity Act の第三節に基づき報復措置をとるに決し、十一月四日「印度政廳は南阿において印度人がうけてゐると同樣の措置を印度に在住する印度人の血を引いてゐない南阿人に課することになつた、卽ち南阿人に對して住居占有、土地の取得、財產の處分、選擧權等を制限する」旨發表するに至つた、尤も印度政廳の說明によれば土地の取得並びに財產處分の制限はナタール、トランスヴアール兩州（この二州において在住印度人が同樣の制限をうけてゐる）を原籍とする南阿人に對して課し、選擧權に關する措置はケープ州を除くほか南阿聯邦のすべての州においてとられてゐるが故に、ケープ州を原籍とする南阿人に對してのみは制限を加へないことになつてをり、また軍人として印度に在住してゐる南阿人に對しては以上の規定を戰後まで適用しないことになつてゐる

斷乎たる態度を要望

さて十一月七日の中央立法會議に於ては對南阿問題が討議の主題となつてゐるが同日回教徒聯盟所屬の議員アリ・カーンは「今こそ本國政府が問題干涉に乘り出すべき好機であることを、印度政廳から知らせるべきである、若し本國政府が南阿政廳に對して何らの壓迫も加へなければ印度政廳は本國政府に對し戰爭遂行上印度は今後些かの援助も與へる事は出來ない旨通告すべきである」として斷乎たる態度をとるべきである旨要望してをり更に他の數議員は南阿に對する經濟的制裁の卽時實施並びに南阿駐劄印度高等辨務官の召還を要求するといふ有樣で、何れも十一月四日に發表された印度政廳の報復措置を手緩しとしてゐる、これに對し政廳側を代表して英聯邦と印度間の一切の問題を司るN・B・カール博士は「高等辯務官の召還並びに經濟制裁についての決定を政廳が不當に遲延さすことはない」と答へ同時に「印度政廳は英國政府から東アフリカのタンガニカ、ケニア ウガンダ各政廳に對して戰時の諸制限を印度人に適用しないやう要請して貰ふやうに英國政府に要求してゐる」と述べてゐる、南阿印度間の紛爭は人種問題を根抵とするだけに極めて深刻であり

十一月十六日の中央立法會議では南阿首相のスマツツ將軍と親交のあるガンジー翁を南阿に派遣してはどうかとの提案まで出されてゐるが、カール博士はガンジー翁が政廳と協力するならば翁を使節とする件について考慮してもよいと體よく一蹴してゐる

十六日ロンドンにおいては英本國、エール、カナダ、濠洲、新西蘭の各代表から成る英帝國委員會はこの問題についての覺書をロンドン駐劄南阿高等辨務官代理を通じてスマツツ將軍に提出し、問題の解決を企圖してゐるが何らの效果もなく、僅かに右の覺書において今回印度政廳がとつた態度が是認され、南阿在住の印度人が英本國或ひはエールにおけると同樣の權利を保有すべきであると指摘されてゐるのが印度人にとつてせめてものことであらう

英本國の態度

しからば英本國ではこの問題についてどういふ見解をとつてゐるだらうか、十一月中旬印度相アメリーは下院において「現在南阿印度紛爭問題について英國政府の見解を公表することは問題解決に何ら資するところはないと思ふ」と述べ、英本國政府が印度において要望されてゐる如く厄介な問題に介入する意圖のないことを示してゐる、十一月十四日附の「ロンドン・タイムズ」紙は社說で南阿問題をとりあげてゐるが同紙の論說によつて英國の輿論の一端を窺はう、卽ち同紙は曰く

「英聯邦內における印度の地位が變化しつつあることを認めようとしない意見があることは事實である、ナタール州令が影響を及ぼすのは印度人のうちの極く一部に過ぎないが、この法令は印度人が特に神經質となつてゐる人種上の差別といふ例を示すものである、印度の政界がこれに對して示した劇しさは南阿を驚愕せしめたやうに見受けられる、デリーの立法會議に於て聞かれたやうな荒荒しい言葉をもつて印度人はその憤りを表現し印度政廳は報復措置の第一回目の手段として印度に在住する南阿人に對しある種の能力を剝奪するに至つてゐる、かくして紛爭はスマツツ將軍が最初に紛爭を除去しようとしたその同じ面へ再び移されることになつたわけである

恐らく南阿政廳と印度政廳との間で相當に問題が困難であることを認めることが望ましいのではないか、その土地の環境から皮膚の色を意識する自治領においてはまた生活水準が種々の人種の間で著るしく異つてゐる自治領においては、印度がその政治的重要性を、また尨大な經濟的潛在力を絕えず增大してゐることを認めないやうな意見がみられるのである、一方また印度人は假令どのやうな地域においてであらうと人種上の差別を示唆するが如きことがあれば、それに對してあまりにも敏感であり、却つて屢々南阿に在住する印度人が彼らの保持してゐる經濟的地步に比較してその能力に對する限定を考へないといふことを忘れてゐる、かくて和解のためのあらゆる手段を探し求めるためには双方にとつてステーツマンシップが必要となつて來る、いづれにしろ內部の紛爭が、共通の戰爭努力に對して死活的重要性を有してゐる南阿印度間の經濟分野における緊密な協力を阻害するやうなことがあつてはならない」

印度省次官の更迭について

問題は全然別だが印度省次官の更迭についてみよう、十一月二日ミュンスター卿の內務次官への轉任に伴ひリストウエル伯が印度相アメリーの下で次官を勤めることとなつたが、英國勞働黨の闘士エマヌエル・シンウエルはこの人事を評して、「余はリストウエル卿の印度省次官任命を歡迎するが、しかし今回の異動が英國政府の對印政策或ひは印度における行政上の何らかの變化を示唆するものであるかどうかについては疑問なきを得ない、印度問題について薄々でも知つてゐるものなら誰しも、新次官にとつて今後の仕事が決して樂でないことを認めるであらう、だが余の如く印度民衆の解放と印度民衆のための進步的將來を豫期するものは、今回の異動が表面に現はれたもの以上の意味を有することを希望する」と述べ新次官への餞けとしてゐる、未だ一度も印度へ行つたことがなく、僅かに飢饉救濟基金調達のため設置された委員會に關係し、またケンブリツジ卒業後間もなく出版した「生命の價値」といふ自作の書物がヒンドスタン語に飜譯されたことがあるといふ

昭和十九年十二月十一日(月)
第三二六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

以外これまで印度とは何らの接觸も持たない新次官にとつてはシンウエル議員ならずとも前途は極めて多難であるといはねばなるまい

リストウエル卿は次官就任の翌三日ロイター記者のフレーザー・ワイトンと會見してゐるが、會見においてリストウエル卿は開口一番「印度に關係した任務に就くものが希望するのは、何よりも先づ對日戰を出來るだけ早く終らせるために出來るだけのことをするといふことである、何故ならば對日戰の終了こそ、われわれが印度に公約してゐる獨立と自治政府樹立に對する準備の最も效果的な方法だから」と述べてゐるがこの言葉を聞けば彼の次官就任によつて英國の對印政策に些かの變化も期待し得ないことが判明しよう

資料

歐洲復興用物資供給計畫

「ウオールストリート・ジヤーナル」紙九月六日

歐洲復興のため大量收買の時代が始るにつれて反樞軸救濟復興委員會は米國內外の政府購買機關を通じて市場に乘り出した、また共同生產資源局は十月から十二月までの三ケ月間に同委員會に供給すべき生產物として、產婆用品四千五百袋を米國に、千二百袋を英國に、一袋當り生產費三十四弗の割合で割當てた、救濟用物資購入の相當部分は現金で支拂はれる、僅か一組の醫療器具資材、百萬人の人間の基本的必要を三箇月間滿すいはゆる標準單位ですら十五萬弗の經費が掛る、本年第四四半期において反樞軸救濟復興委員會は以上の標準單位百七十を米國から、三十を英國から調達する計畫だ、かういふわけで單なる一項目の購買だけでも五千萬弗にも及ぶことがあるのだ

復興委員會と歐洲諸國

反樞軸救濟復興委員會の發するすべての注文に對して、米國陸軍もまた更に進んだ購買計畫の下に平行的購入を行つてゐる、從來の經驗に基き、或る地域が解放されて後六箇月間は軍當局が救濟及び復興に當り、その後は反樞軸救濟復興委員會の手に移るやうになつてゐる、但し例外として東南歐では反樞軸軍がバルカンに進入すると同時に現在カイロに待機中の同委員會派遣團も乘込むはずだ

反樞軸救濟復興委員會には一つの規定があつてそれがためにあらゆる時に最も安い値段で物資を購入することは出來ない、即ち同委員會を構成する四十四箇國はいづれも自己の出資金の九割までは自國商品の購入に使用するやう要求出來るのだすでに米國議會は米國の出資金二十億弗のうち八億弗の支出を可決してゐるから、米國內での物資購入が巨額に上るのは請合だ、カナダからの纖維品その他の供給は順調に進んでゐるが、もつと遠隔の諸國の「現物出資」はいまだ交涉の域を出てゐない、西歐諸國の大半、例へばフランス、ノールウエー、オランダなどの諸國は、自國の再建の費用を支辨するだけの現金を所有してゐるけれども、反樞軸救濟復興委員會を通じて物資を購入する途を選ぶであらう、ポーランド、ユーゴー、アルバニア、チエツコ、ギリシアは外貨を持たぬであらうから直接援助を必要としよう

修理工場の開設

先づ第一の仕事は「修理工場」の開設であらうこれがためには百キロワット以上の移動電力單位及び千キロワット以上の準移動單位の多數購入が必要となるらう、移動修理工場は熔接裝置、旋盤、鑽孔器、壓搾空氣器などを備へ、工場、橋梁の修理に使用される、比較的移動の困難な大型工場は中心地點に定置され、農業用具、貨物自動車、その他の器具機械の修理に當る、一番大きな修理裝置は鐵道圓型機關車において使用されよう、各工業は次のやうな重要性の順序によつて修理される豫定だ

鐵道、內國水路、公路航空輸送等を含む運輸通信業、製粉所、製靴、纖維工場、製藥工場等を含む消費工業、鑛山、製油施設を含む燃料資源製材業、建築業、木細工業、硝子製造工場、セメント工場

これは結局共同生産資源局は機關車からシャベルに至るあらゆる物資の割當を要求してゐるといふ意味である、以上の事業遂行に際し敵國の貯藏物資の徴發が行はれるものと豫想されるが、更に歐洲戰爭終了後は反樞軸軍の貨物自動車、牽引車その他の裝備もあまるから使用出來よう

食糧問題の解決策

歐洲の食糧問題解決に際しては反樞軸救濟復興委員會は歐洲農民の農作援助に要する物資の供給に全力を傾注する方針である、これらの物資が歐洲に到着した後は、同委員會は各國政府と協力してこれらの物資に最大の效果を發揮せしめるであらう

すでにフランス、ポーランド、チエツコ、アルバニア、ユーゴ、ギリシア、ノールウエー、ベルギー、リユクサンブール、デンマーク、オランダの各國が最初の十二箇月間に要する農業物資について、暫定的に計算が行はれてゐる、最大の項目たる種子は一一六・四（百萬弗）を要するが、その他の農業復興物資の推定所要額はつぎの通りである

	米噸	弗
農業用具	一五五、〇〇〇	六一、〇〇〇、〇〇〇
修理用品	九、九三〇	四、九六五、〇〇〇
手工業用具	三、三三〇	三、三三〇、〇〇〇
括り紐	四三、八九一	二、五八七、〇〇〇
加里	二〇八、五〇〇	六、一六三、〇〇〇
窒素肥料	一八五、〇〇〇	五、四〇三、〇〇〇
燐灰岩	一、一〇一、〇〇〇	九、八九八、〇〇〇
黄鐵鑛	八六七、六〇〇	四、八四一、〇〇〇
殺蟲劑	一六四、〇〇〇	七、三二、〇〇〇
獸醫用品	二、一六〇	一、三三八、〇〇〇
農業輸送具	六九、三〇〇	二、五五六、〇〇〇
農業燃料及び潤滑油	二三七、五四九	八、一七五、〇〇〇
纖維製農産品入袋	三三、〇九一	一四、七〇四、〇〇〇
紙袋	二一〇、八〇三	四、七〇〇、〇〇〇
漁業用具	二五九、七一九	三〇、五九〇、〇〇〇
罐詰用具（家庭用及び部落用）錫板及び黒鉛板（部落罐詰用）	三、六〇七	四、七八五、〇〇〇
	三〇、四一五	三、二九、〇〇〇
製粉設備	二、一三	一三、七〇、〇〇〇
製パン設備	九、三九六	八、六〇三、〇〇〇

食糧の供給と入手先

現在米軍兵士の食糧は一日一人三千七百カロリーであるが、歐洲への直接食糧輸出によつて歐洲各國々民の食事を一日一人二千カロリーに達せしめる豫定である、とはいふもののこれは理論上のことであつて、實際には入手し得る食糧の種類とその値段によつてカロリーは左右されよう、製粉所が動き出すことが確實となれば、直ちに穀物が輸出される筈だ、その際には小麥が最も多量で燕麥を補助食糧とし、さらに米、大麥が添へられよう、ラードは米國が豐富に供給出來るが、脂肉と食料油は十分な量だけない、もし入手出來れば亞麻仁、向日葵種子、棉實、落花生、コプラも使用されよう、大豆もまた需要があるであらう、動物性蛋白質の供給は最も窮乏であらうが、米國國民の食欲と牧入が現在の膨脹狀態に止るとすれば、歐洲各國が豚肉以外の肉を米國から手に入れることを期待出來るやうになるのは何年も後のことであらう、砂糖は歐洲各國が甜菜糖で遠からず自給出來るやうにならう、ノールウエーだけが大量の輸入を必要とするが、チエツコ、ポーランドの兩國は輸出を再開するであらうし、フランスは植民地から供給を得るであらう、乳製品は先づ脫脂粉乳が、次いで蒸發濃縮全乳が大量に需要されるであらう、コーヒー、茶、ココアは中南米と英帝國が供出し得る、また米國からは若干の高價な乾燥果實、ならびに大量の乾杏、乾葡萄が送られよう果物や野菜の罐詰は、處分に困つた低級品のストツクでもない限り、購入は難しい、ヴイタミン劑特に肝油はカナダとアイスランドから大量入手出來る豫定だ、ヴイタミン劑は食用並びに醫療用の二つの目的で使用されよう

醫療品の供給

醫療用品部は流行病、特に現在猖獗してゐる發疹チブスとの闘爭を覺悟してゐる、發疹チブス以外にも赤痢、マラリア、腸チブス、天然痘、ヂフ

昭和十九年十二月十一日(月)
第三二六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

テリア、猩紅熱、更に恐らくはコレラの發生も豫想される、從つて醫療用品部は百萬人毎に一防疫單位を供給する豫定だ、防疫單位は藥品、血清、ワクチン、應急鹽素淨水器、その他衞生用品および簡易寢臺一千臺を含む、しかし先づ最初に送られる醫療用品は「應急單位」で、この一單位は約千七百種類の藥品器具から成り、如何なる治療を要するか全然わかつてゐない十萬人の人間に對し一箇月間手當を行ふため設計された鐵道函車の約八分の一を占める量だ、應急單位は一單位毎に三千弗の經費を要するが、一九四四年第四四半期における反樞軸救濟復興委員會の生產割當は米國から二千百單位、英國から九百單位である、生物學的用品はガロン單位で藥品は千封度單位ではかられる

移動齒科單位は米國から四百八十、英國から百二十本年第四四半期に供給される豫定だ、非戰鬪員の負傷及び榮養不良から來る皮膚病に對する手當のためには莫大量の繃帶が必要であらう更に建物さへあれば直ぐ活動出來るやうな病院單位も二種類供給されよう、一種は寢臺約四十を有し、經費三千五百弗、今一種は寢臺二百で經費一萬六千弗である、兩種とも手術臺、外科器具、X光線を備へてゐる、この外更に六種類の實驗單位も派遣され、各種の組合せをもつて病院並びに一般民衆の衞生上の需要を滿すことにならう、麻醉劑は特に他の藥品とは別に危險物單位のうちに入れ、前大戰後のやうな恐るべき麻醉劑常用病の蔓延を防止することとならう、歐洲の闇市場ではすでにモルヒネは同じ重量の金位の値段を呼んでゐる

西歐ブロック案の戰略的根據

「タイムズ」紙十一月二十二日

世界平和の防衞が單なる一國、或ひは英語を話す國々だけの力で出來た時代はとつくに過ぎた、今ではこれは平和を希求するすべての大國共同の責任だ、けれども戰略上の原則は昔と少しも變らない、いづれの國にせよ將來平和の管理者となる國は壓倒的な武力を有するばかりでなく、その武力を共同防衞領域のいかなる部分にも速かに運び今後現れる侵略者の通路を塞ぐ手段も持つてゐなければならぬ、海陸のいかなる點にも直接接近出來る空軍といふ要素が戰略に入つて來て以來、この原則の及ぶ範圍は更に擴大され、實に完成の域に達したとすらいへる、故に聯合勢力の作戰に要する陸海空軍基地網の設置こそ、世界平和戰略の根柢であるとみるのが論理的であらう、軍事的必要の發生するに從つて聯合國のあらゆる國が利用出來るやうな陸海空軍基地は、これまでも戰爭遂行に不可缺であつたが、將來平和の保障者としての聯合國の共同行動においても同じ位重要であらう、作戰距離の變化を含む近代戰の技術的發達並びに近代兵器の威力によつて、兵力分擔の義務に根據をおく在來の同盟の觀念は舊式で役に立たなくなつて了つた、今後は恒久的軍事施設が安全保障の基本條件だ

地域的取極めの必要

以上の一般的假定はすでに多くの人々の認めるところとなつてゐる、だが、普遍的規模を有する廣い原則の闡明だけでは最早足りない、今は個々の地域の特定の條件に從つて具體的共同措置を講ずべき時だ、といふのは安全保障そのものは世界的なものであつても、個々の大洋、個々の大陸によつて具體的要求が異る結果、ダンバートン・オークス會議の國際平和機構案も豫見してゐるやうに、最高安全保障會議の監督下に地域的取極めを結ぶ必要が起るからだ、太平洋の安全保障も遠からずその特殊性を露呈するに相違ないが、戰局の現狀に鑑みれば歐洲の安全保障を優先的に考慮するのが至當だ、しかして歐洲の安全保障の正確な形式は恒久的共同基地の機構によつて定められよう、この機構は單一のものであり、これを構成する異つた分子の間の紐帶としては、世界安全保障會議並びにその代表機關の一般的權限ばかりでなく、一九四〇年締結された英ソ同盟及び近く豫定されてゐるド・ゴールのモスクワ訪問から生れる協定などが役に立たう

とまれ以上の歐洲安全保障制度内に在つては、英國及び西歐諸國が西の主役であり、ソ聯とその東隣の諸國が東の花形になると考へてもよからう東にせよ西にせよ安全保障の基本的條件は實力と團結だからだ

二つの緊急任務

かくて英國は二つの緊急任務を帶びるに至つた卽ち英國は世界的同盟における諸大國並びに英帝國内の諸國と歩調を合せる一方、フランスの協力とオランダ、ベルギー、デンマークおよびスカンヂナヴイア諸國の援助の下に共同防衛組織を建設しなければならない、一九四〇年の大悲劇はかかる共同防衛組織缺如の結果であつた、以上の西歐諸國が一體となれば西歐に單一の防壁が現れ一方東歐でもこれに相應する防壁がロシアを主體として生れよう、この二つの結合の紐帶は戰爭といふ非常事態によつて固められ、今後は解きほごし難いものとならう、しかしてこれらの紐帶を一層固めるには、一定の戰略的基地を共同で使用する協定を結び、これに共同軍事行動の規約を添へるのが一番だ、しかも現在位以上の諸國の國民の氣持がかうして條約の締結に有利に傾いてゐる時はない、一旦安全保障の問題をこの水準に引上げ、消極的な警戒措置としてではなく、平和のための共同組織の方法として取り上げるならば、これまで添きまとつてゐた諸々の困難は新らしい見透しの内に消え去り解決し易いものとならう、これらの難關の中には戰略的國境といふ因緣付の問題があるが、これとて安全保障の手段として共同基地が設置され、その位置は關係地域がいかなる國家に所屬するかによつてではなく、國際的に權威ある機關によつて戰略上の必要に基き決定されることになれば忽ち解消するであらう

米紙と西歐聯合

「フイラデルフイア・インクワイアラー」紙 十二月五日

ド・ゴール將軍のモスクワ訪問は米國民の間に單なるアカデミツクな興味以上の關心を捲き起してゐる、今回の訪問は、チヤーチルが恐らくは西歐ブロツク結成の意圖を抱いてパリへ乘り込んだ直後にスターリン首相の招きに應じてなされたもので、ソ聯が西歐ブロツクなる理念に乘り氣でない事實があらゆる點から推斷されてゐる折から、この訪問で歐洲政界の複雜した眞相が明るみへ投げ出された形である、ソ聯の西歐ブロツク不承認はその東歐における政策と相容れないものである卽ちソ聯は時を失せずしてバルト諸國を併呑し、ポーランド分割を強化して親ソ政權を樹立せしめチエツコスロヴアキアと提携を強化し、ルーマニア並びにブルガリアに强力な壓力を加へつつある現在までのところではソ聯支配下の東歐ブロツクと英國を盟主として生れ出でんとしてゐる

西歐ブロツクとの間に何らの衝突もなかつた歐洲における地域ブロツクは西半球の汎米集團と同樣、平和確立目的に或ひは寄與するものかも知れないが既に米英ソ三國は平和維持を目的とする戰後の世界的機構設立について設定してをり、その機構の概略は最近のダンバートン・オークス會議で起案されたばかりである、ゆゑに歐洲の地域ブロツクの結成がダンバートン・オークスで立案された世界機構の運用にいかなる影響を與へるかは米國人にとつて少からぬ關心の的たらざるを得ない、米國人は歐洲ばかりでなく世界到るところ、將來の戰爭勃發を阻止する決意を有し、そのためには世界的平和機構が必要だと考へてゐる、米國人が歐洲の地域ブロツクの有效性について疑問を有するとせば、それは過去においてブロツク制度や勢力均衡制度が平和維持に常に失敗した悲劇の實例を知つてゐるからだ

歐洲の地域ブロツクとダンバートン・オークス流の世界機構との關係をいかに調整するかの諒解を明らかにするためにはルーズヴエルト、チヤーチル、スターリン三者會見が可及性速かに行はれるべきだ、それにはド・ゴールを參加させるのもよからう、平和のための世界協力こそ全人類の希望であり、それはブロツク政治によつて複雜化されたり弱體化されたりしてはならない

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月十二日(火)　第三二六八號

同盟通信

海外電報

(284)

編輯發行人　長時伊八　東京都劇町區日比谷公園二番　編輯印刷人　同盟通信部

【目　次】

ソ佛兩國同盟に調印……三〇五四
ボノミ新内閣漸く成立……〃
英國太平洋艦隊司令長官……〃
【反樞軸陣營】
チヤーチル聲明の反響……三〇五五
武器貸與更改の背後……〃
反樞軸の四つの缺點……三〇五六
【米　洲】
國務次官補二名增員……〃
陸軍に元帥創設……〃
大統領拒否權發動か……〃
對ソ輸送にダ海峽を通過せん……三〇五七
農業勞働者數……〃
ベルー新首相任命……〃
【歐　洲】
エラス兵團抗戰を繼續……三〇五八
パパンドレオ依然强硬……〃
ロー、アテネ乘込みか……三〇五九
エラス司令裏切る……〃
ボノミ四政黨で組閣か……〃
組閣難航を續く……〃
法王謁ド・ゴールを承認……〃
ベルギー騷動小康か……〃
共產黨は飽くまで闘爭……〃
フランコ辭職說は眞赤な嘘……〃
羅の抑留所超滿員……〃
波政權の本國歸還許さず……三〇六〇
諾にテロ行動頻發……〃
【ドイツ】
米英の不法攻撃に抗議……〃
【ソ　聯】
瀋洲駐在公使新任……〃
【東　亞】
米紙重慶の破局を論ず……三〇六一
宋の行政院長代理就任反響……〃
メリル印緬米軍副司令に……〃
【西　亞】
シリアに集會禁止令……〃
【アフリカ】
西紙、タンジール占領を辯護……〃
【英　帝　國】
英濠定期空輸開設……三〇六二
テイチマン殺害の米兵を起訴……〃
【軍事情報】
V二號は時速三千哩……〃
【特　輯】
英國海運界對策に腐心……三〇六三
【資　料】
V二號の正體……三〇六六
產業再轉換期の勞働政策……三〇六七
フランスの戰後運輸對策……〃
米英石油協定問題……三〇六八



英國人は muddle through といふ言葉を好んで使ふ、一見しどろもどろのやうだが、結局行きつくところにちやんと到達するのが理論に拘らぬアングロサクソンの本領だといふのである、ところが最近の外交施策は餘りにもしどろもどろだ、ピエルロー政權支持からスフオルツア伯忌避、ギリシヤ内亂に對する武力干渉等一聯の推移を辿れば、いくら最負目にみても水際立つたお手際とはいへないクレムリンがフインランドからルーマニア、ブルガリア各國をがつちり押へて微動だもさせない獨往自主の外交振りに比べれば到底同日の談ではない、殊にド・ゴール政權との交涉においてはチヤーチル首相は見事スターリン元帥に出し拔かれて了つた、態々休戰記念日に七十歳の老軀を挺してパリに乘込みお世辭の百萬陀羅を並べたにも拘らず當のド・ゴールはビドー外相をつれてさつさとモスクワに乘込み、滯在僅か十日間でソ佛兩國間の同盟相互援助條約を締結して了つた、共同公報のなかで「ドイツ問題との關聯において」歐洲の安定策について協議したといつてゐるのは米英兩國にとつては極めて無氣味な文句に違ひない、UPのモスクワ電報は英ソ兩國大使には交涉の經緯が逐一報告されてゐると頻りに米英ソ三國の足並みを揃へようと氣を遣つてゐるが、モスクワ會談が纏りかけたところで英國大使サー・アーチボルド・クラーク・カーが突然ロンドンに向つて出發し、相前後してパリから大使ダフクーパーがロンドンに歸つたのを見ても、英國政府の慌ててゐる樣子が目に見えるやうだ、英國内においても社會保險法案の審議を繞つて保守黨と勞働黨その他の左翼の對立が漸く表面化する形勢だが、外交政策上の難關をチヤーチル首相一流の帝國主義で打開出來るであらうか

ソ佛兩國同盟に調印

（モスクワ十日發）パリ政權首班ド・ゴールは外相ビドー、參謀總長ジュアン將軍を帶同モスクワに乘込みソヴエト人民委員會議々長スターリン元帥、モロトフ外務人民委員とソ佛兩國の關係について交涉を重ねてゐたが、九日に至り交涉成立し十日午前四時四十分クレムリン宮において兩國代表は同盟並びに相互援助條約に調印を了した、調印に先立ち九日夜スターリン元帥はクレムリン宮において盛大な晩餐會を催し、主賓の他に米國大使ハリマン、英國代理大使ジョン・バルフオフ等も出席したが、新條約の調印についてはソ佛兩國代表の共同公報で次の通り發表された

フランス臨時政權首班ド・ゴール、外相ビドーのモスクワ滯在は今回の戰爭において體驗された幾多の試煉により强化された、兩國民を結ぶ幾多共感の表示によつて特記された會談はソヴエト聯邦人民委員會々議長スターリン元帥並びにモロトフ外務人民委員との間に行はれたが、ソ佛兩國間の會談は戰爭の繼續並びに平和の組織特にドイツ問題との關聯を取扱つたが、會談によつて兩國政府間には廣汎な見解の調整と緊密な協力に對する眞摯な願望とが存在することが示された、兩國政府は軍事行動を繼續する決意と歐洲の安全を保障するため相携へて必要な一切の措置を講ずる希望を再附言した、以上の諸決定の精神に基づき兩國政府は一九四四年十二月十日同盟並びに相互援助協定に調印した、右正文は別途發表されよう

調印終へてド・ゴールらはクルスク停車場から一路歸國の途についたが、驛頭にはモロトフ外務人民委員その他が見送つた

ボノミ新內閣漸く成立

（リスボン十日發）前首相ボノミが內閣を投げ出して以來ローマ政界は前後二週間に亘つて危機を續けてきたが十日に至りボノミはいはゆる解放並びに力を構成する六政派のうち共產黨、自由黨民主勞働黨、キリスト敎民主黨の支持を受けて漸く新內閣を組織するに至つた、新內閣には共產黨と民主黨とがそれぞれ副首相を出し自由黨首領、バオシオ無任所相、勞働黨のルイニ供與委員長の四名が事實上最高會議を結成する組織だが、スフオルツア伯の行動黨並びに社會黨は依然非協力の立場を堅持してゐる、新內閣の顏觸れ次の通り

首相兼內相　イヴノエ・ボノミ
副首相　パルミロ・トリアツチ（共產黨）
副首相　ギユリオ・ロデイノ（キリスト敎民主黨）
無任所相　マンリオ・バオシオ（自由黨）
復興調整委員長　メウチオ・ルイニ（民主勞働黨）
外相　アロイデ・ド・ガスパリ（キリスト敎民主黨）
農相　フオスト・キユロ（共產黨）
被占領地區事務相　モーロ・セツチナーレ（共產黨）
藏相　マルセロ・ソレリー（自由黨）
陸相　ヴイレセンツオ・アランツイオ・ルイン（自由黨）
法相　ウンベルト・ベツチニ（キリスト敎民主黨）
商相　ギユラノ・グランデイ（キリスト敎民主黨）
交通相　フランシスコ・セラボネ（民主勞働黨）
遞相　チエルヴオレツト（民主勞働黨）
空相　カルロ・ソライオ（民主勞働黨）
海相　ラフアエロ・ド・クルテン（ストツクホルム十日發）ロンドン來電＝英國海軍省は十日午後十一時次の通り發表した

英國太平洋艦隊司令長官

海軍大將　サー・ブルース・オースチン・フレーザー
補太平洋艦隊司令長官
海軍中將　サー・アーサー・T・パウアー
補東印度艦隊司令長官、特に大將の地位を與ふ
海軍少將　C・S・ダニエル
補太平洋艦隊行政長官、特に中將の地位を與ふ

昭和十九年十二月十二日(火)
第三二六八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

チヤーチル聲明の反響
―米英輿論沸騰―

(ストツクホルム九日發)英國首相チヤーチルは八日下院において信任を確保したが、ギリシヤ、イタリアに對する政府の干渉政策を辯護した演說は英國言論界に大きな渦紋を捲き起し、九日の英主要紙は一齊に筆陣を張つて干渉政策の齎らす危險を强調してゐる、主なるものの論調次の通り

「タイムズ」紙　英軍が共同の敵ドイツと戰つた人人に對して武力を行使してゐるといふ嚴たる事實は下院における論爭を暗い影で蔽つてゐた、ギリシヤ民衆は總選擧によつて自己の意思を表明出來る位置におかれねばならぬといふチヤーチル、イーデン聲明に反對する者はないだらうが、英國政府はギリシヤ聯立政府を廣い地盤の上に安定させるため、左翼政派や抗戰團體の代表を參加せしめるやう全力を傾注すべきだ

「マンチエスター・ガーデイアン」紙　チヤーチルの演說は既に濃厚となつてゐる英國輿論の分裂に一段と拍車をかけるものだ、特にスフオルツア伯に關するチヤーチルの判斷に誰か慄然とせぬものがあらうか、恐らくチヤーチルは英國を歐洲の大渦の眞只中へ導いてゐる危險を自覺してゐないやうだが、ただ難破させぬことを祈るばかりだ

「ニユーズ・クロニクル」紙　八日の下院における信任投票は「信任」を問ふだけで、政府の施策を表決したのではないから、チヤーチルの言明と政府の實際にとつた措置とが一致しないのではないかといふ疑惑は依然として濃化せざるを得ない

「デーリー・ヘラルド」紙　英軍はEAMの隊伍に砲彈と手榴彈を投げ込んでゐるが、チヤーチルの聲明は修辭の外被で蔽はれた誹謗中傷のロケツト彈を叩き込んだに等しい

米紙もチヤーチルを攻撃

他方米國でも英國のギリシヤ政策は多大の反感を買つてをり、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙は輿論を代表してチヤーチルを攻撃した末に米國政府の曖昧な態度を次の通り非難してゐる

チヤーチル、イーデンの聲明は如何に尤ももらしいが、どうしてギリシヤの山嶽や郡部から出た不逞の徒輩が今日のやうな悲劇的事態を發生せしめたかについては一向に說明してゐない、米國務長官ステチニアスは解放された諸國の民衆が外部から壓迫を受けずに自由に自己の政府を選ぶやうにすべきだと聲明したが、チヤーチルの言葉で判斷すれば、現下の破局を釀成した責任の一端は米國政府にある、從つて過去の決定によつて齎された困難が現在の紛爭の禍因となつてゐるとき、いい加減は聲明でお茶を濁すことは絕對に許されない、チヤーチルは既に所信を披瀝した、今度はステチニアスかルーズヴエルトが明確に所信を發表すべきだ

武器貸與協定更改の背後

(ストツクホルム七日發)七日のロイター通信は今回の米英武器貸與協定の更改と米國における軍需再轉換停止との關係につき次の通り報じてゐる

今回の武器貸與協定の更改に當り米國政府は、「米國はその有利な立場を利用して英國の輸出貿易を壓迫し、乃至は英國が民需品の生產を開始するための軍需再轉換にも妨害を加へないだらう」と發表したが、これによつても貸與協定の更改が英國の經濟狀態改善の目的をもつてなされたことは明らかだ、卽ち米國が對英武器貸與額が將來半減されることは英國が殘り半分を現金で支拂はなければならぬことを意味するといふよりは、寧ろ英國の經濟的負擔を輕くするためと解すべきだらう、これは既に具體的措置をとつて現はれ、米國政府が最近實施した軍需再轉換の一部停止がこれである、將來米英兩國は大體同一水準に立つて產業その他の動員解除を實施すべく、歐洲戰終了後英國は米國とほぼ同樣國內經濟の六十五乃至五十パーセントの動員解除を行ふこととならう、これは英國の戰爭努力は殆んど四分の一近く削減されることを意味するが、これにより英國はその輸出能力を增大し國際收支を改善、終局的には對米債務の支拂能力を增すこととならう

反樞軸の四つの弱點

（リスボン八日發）ニューヨーク來電＝「ワールド・テレグラム」紙は十二月七日日米開戰記念日に當り反樞軸軍の最後的勝利を強調する一方現在反樞軸國が有する四つの弱點を指摘し次の通り述べた

反樞軸國の弱點の第一は歐洲列強の帝國主義的外交政策に伴ふもので、これは反樞軸軍戰線背後の歐洲諸國間に政治的不和を增大してゐるばかりでなく、東亞諸民族を反樞軸陣營から離脫させてゐる、第二は歐洲諸國の內部的崩壞と英國の疲弊の結果歐洲戰終了後の對日戰にあたり得るのは主として米國のみとなる點にある、第三に最大の弱點は重慶政權である、同政權の直面してゐる現在の困難の一部は日本軍の戰略によつても招來されたが、その他に長年の戰鬪による重慶軍の疲弊、重慶政權の內政問題に對する可能及び米英軍の補給路建設失敗等もその重大な原因をなしてゐる、反樞軸軍は日本軍に最後的打擊を加へるため支那基地を奪回せぬ限り對日戰は益々長引くであらう、最後に最も憂慮すべき弱點は米國人の戰局樂觀である、米國民の多くが戰爭にはもう勝つたものと思ひこみ、この結果は端的に軍需生產の遲滯となつて現はれた、反樞軸軍の戰力が主として米國の生產に依存してゐる際、この米國民の戰局樂觀による軍需生產の減退は最も憂慮すべき問題であらう

駐佛英大使も歸國

（ストツクホルム八日發）英國政府はド・ゴールのモスクワ會談を「西歐洲聯盟案」の運命を決するものとして重視、七日の會談終了と同時にモスクワ駐劄英國大使カーを呼んで情勢を聽取することとなつたが、パリ來電によればパリ駐劄英國大使ダフ・クーパーも八日早朝報告のためロンドンへ出發したと傳へられる

日本の地震に大騷ぎ

（リスボン八日發）七日午後日本の東海道一帶を襲つた地震は米英兩國の各研究所の地震計にも記錄された模樣で、日本戰力の破壞に躍起となつてゐる米英兩國ではこの地震が日本の軍需生產に相當の影響を與へたのではないかと大騷ぎしてゐる

（リスボン八日發）ニューヨーク來電＝「ワールド・テレグラム」紙は十二月七日日米開戰記念日に當り反樞軸軍の最後的勝利を强調する一方現在反樞軸國が有する四つの弱點を指摘し次の通り述べた

反樞軸國の弱點の第一は歐洲列强

昭和十九年十二月十二日(火)
第三二六八號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

對ソ輸送にダ海峽を通過せん

(リスボン七日發)ワシントン來電＝陸軍次官パターソンは七日の新聞記者會見において次の通り發表した

一、陸軍は兵員に對する緊急の必要に應ずるため從來の政策を變更して十九歳以下の兵士をも前線の歩兵並びに機甲部隊員として海外に派遣してゐる、今後これをどれだけ續けるかは全く戰局の發展如何にかかつてゐる

一、十一月は重火器並びに砲彈の生産がこゝ何ケ月以來初めて豫定量に達した月だが、全般からいへば生産は遲れてゐる、重火器、砲彈の增産は今春イタリア作戰當時決定されたもので、この增産計畫が今や實を結びつつある、罷業が頻發したにも拘らず彈藥の不足を來すやうな實質的影響はなかつた、ただフランス作戰において彈藥不足が感じられたが、これは輸送困難の結果である

一、米國からの對ソ聯補給物資輸送はダーダネルス海峽方面のドイツ軍機雷原が一掃され、且つ黒海沿岸のソ聯港灣が復舊次第同海峽を經由して開始するであらう

一、陸軍は依然國民徵兵制の實施を支持してゐる

鄉愁につかれた米兵

(リスボン九日發)マイアミ來電によれば米陸軍長官ヘンリー・スチムソンはフロリダ州マイアミにおいて九日記者團と會見、次の通り言明したといはれる

「何處の國も戰後米軍が駐屯することを恐れる必要はない、海外で戰ふ場合一番鄉愁につかれるのが米軍の特徵であり、彼らは歸國を待ち焦れてゐる、アイゼンハウアーが指摘した彈藥の不足問題について一言するならば、彈藥が不足してゐるかもといつて誰も非難さるべきではない、戰時においては彈藥の需要量は一定してゐるわけではなく相當廣範圍に亘つて變化するのが常で、これまでにおいても或る場合には米國は餘分の彈藥を有してゐたことがあり、また他の場合には入手し得る最後の彈丸まで費消してゐるのである、現在余が心配してゐる問題の一つは兵役解除者を失望させることなく市民生活へ復歸させる問題である、この點について余は兵役解除者をして米國が罷業者と搾取者とばかりから成つてゐるのではないといふことを認識させねばならないと思ふ」

農業勞働者數

(リスボン七日發)ワシントン來電＝米國商務省は七日次の通り發表した

「米國の農場は現在大部分徵兵年齡を超過した老人か女乃至徵兵適齡に達しない少年によつて耕作されてゐる、人口調査局が本年七月行つた調査によればこの月の農業勞働者總數は九百六十七萬で本年中の最高記錄を示したが、うち女は二百十五萬と見積られる」

UP東亞支配人決定

(リスボン八日發)ニューヨーク來電＝UP本社はマイルス・ヴオーンを同社極東支配人に任命した旨八日發表した、ヴオーンは一九二四年から三四年まで東亞を擔任、東京特派員もしてゐたこともある

ドミニカ亡命派を支持

(リスボン五日發)ドミニカ大統領レオニダス・トルヒリヨに追はれ、目下キューバに亡命中のドミニカ人はトルヒリヨ追放運動を畫策してゐるが、ハヴアナ來電によれば、キューバ勞働組合は五日同地で開催された全國大會において右運動を支持する旨決議し、手初めにキューバ、ドミニカ兩國間を航行する全船舶に對する勞務提供を拒否するに決定した、なほコロンビアで近く開催される豫定の中南米勞働組合大會にも同樣の決議を提出する旨發表した

サルヴアドル再び不穩

(リスボン八日發)サン・サルヴアドル來電によれば同市の北方郊外で八日武裝市民と警官隊との間に衝突事件が發生、警官隊側に數名の死者を出したといはれるが、政府當局は「衝突事件は鎭壓された」旨の聲明を發した

ペルー新首相任命

(リスボン九日發)リマ來電ペルー政府は今回首相の地位を新設、元內相ジユリオ・ベストを首相に任命、外相アルフレド・ソルフ・イ・ムロを更迭し後任にマヌエル・ガラハーを任命した旨九日發表した

【歐　洲】

エラス兵團抗戰を繼續

（リスボン八日發）ギリシヤ國内の擾亂は既に六日目に入つたがアテネ市内並びにピレウス外港におけるエラス兵團の抵抗は依然として衰へず、アテネ來電によれば英軍司令官スコビーは八日夜次の公報を發表したと傳へられる

アテネ市内におけるエラス兵團の抵抗は依然弱化する樣子なく新たな部隊は目下首都に向つて進擊してゐる、サロニカ地方にも總罷業が起るに至つた、擾亂による死者並びに重傷者は比較的少いが負傷者は相當多數に上つてゐる、ピレウス外港においてはエラス兵團がロフオス・カステロ要塞を占據してゐるため英軍の驅逐艦一隻並びに快速艇二隻は砲擊を加へた、八日午前までにエラス兵團から約千人の投降者を出した

七日夜以來アテネ市並びに附近一帶は猛烈な降雨で戰鬪は小康狀態を呈してゐるが、アテネ市内の病院に立籠るエラス兵團に對し英軍は二十五サンチ野砲をもつて砲擊を加へた、アテネ市内においてはエラス兵團は遊擊戰法に移り主として狙擊作戰によつて英軍を惱ましてゐるが、特に市内の住宅地區では至る處狙擊事件が持上り、憲法廣場でも舊王宮の上を時々彈がとぶ有樣だ、パパンドレオ政權は依然として彈壓政策を續け、八日には特別法廷を設置して逮捕した左翼分子の審議を開始したが、エラス兵團では「自由ギリシヤ」と題する壁新聞を發行、第一號では次の通り述べてゐるエラス兵團は人民を虐殺する現政權が占據してゐる地域の掃蕩に從事してゐるが、アテネ市内の大半は依然としてエラス兵團の掌中にあり、EAM中央委員會は英軍の干渉について反樞軸各國大公使館に嚴重抗議を提出した

一方アテネからのUP電報によればEAM團はパパンドレオ政權との間に休戰交涉を開始したといはれるが確報はなく、右電報も「交涉は豫備的段階にあり、多少の進展を示してゐるにすぎない」と報道してゐる程度だ、國内の擾亂と共に食糧事情は益々惡化し總罷業で去る七日からパン屋は悉く店を閉めてしまつたため全然パンが手に入らず飢餓に惱む數百名のアテネ市民は何時彈がとんでくるかもしれないアテネ市の街上に食を求めて彷徨してゐる慘狀だ、市内の一病院には双方の負傷者二百五十名が收容されてゐるが、同じく食糧が缺乏してゐるため米英兩國の救濟團體がパンを配給してゐるといはれ、英軍司令スコビーも軍隊の食糧を民需用に流用することを考慮してゐると傳へられる

内亂劇化

俄然激

（リスボン九日發）ギリシヤ駐屯英軍司令官スコビーは九日の公報で「さらに叛亂軍がアテネ市外に到達した」と傳へてゐるやうに、アテネ市内外におけるエラス兵團の活動は九日に入つて俄然熾烈化するに至つた模樣で、アテネからのロイター電報は「英軍はアテネ市内の五分の一を掃蕩した」と稱してゐるが、隨所で依然白熱的市街戰が續行されてゐるやうだ、ギリシヤ内亂の戰況報道は殆んどロイター電報が獨占してゐる形で眞相把握に困難を感ずるが、BBCによればアテネ郊外のエラス兵團は重機關銃と迫擊砲火をもつて英軍戰車隊と激戰を展開、特にピレウスのラオンテス港南部地區では英軍歩兵隊と英海軍輕艦隊の協同攻擊を果敢に遂擊して、特火點と化した建築物や丘陵陣地を死守してゐると傳へられ、英軍の希望する如く早急の内亂鎭壓は不可能とみられてゐる

パパンドレオ依然強硬

（リスボン九日發）アテネ來電によればギリシヤ政權情報相ガロウフアリアスは、ギリシヤ内亂を解決するためパパンドレオとエラス兵團代表との間に交涉が進められてゐるとの噂を九日夜殊更に否定する聲明を發表した、ロイター電報によれば過去一週間來EAMに屬する前閣僚六名は數回に亘つてパパンドレオを訪問、更にグマスコノス大主教も調停役を買つて出で内亂解決に努力を續けてゐると傳へられる、但しパパンドレオはチヤーチルの支持を得て強腰になり、エラス兵團がアテネから完全に撤去するまで解決は勿論交涉に入ることすら不可能だと飽くまで強硬な態度に出てゐる

昭和十九年十二月十二日(火)
第三二六八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ロー、アテネ乘込みか

(リスボン九日發)「デーリー・ヘラルド」紙が九日報ずるところによれば英國政府は國務相リチヤード・ローをイーデンの代理としてアテネに派遣するに決定したといはれる

エラス司令裏切る

(リスボン九日發)アテネからのロイター電報によればギリシヤ國民軍參謀次長エラス兵團司令セラフオスは九日ギリシヤ駐屯英軍司令官スコビーに對し彼の命令に服する旨誓約したといはれる、九日朝までのところ英軍事使節團は依然ラミアのエラス兵團本部に踏み留まつてゐる

ボノミ四政黨で組閣か

(リスボン八日發)ローマ來電=前首相ボノミは一週間に亘り各派領袖と交渉を重ねた結果、八日に至り統監ウンベルト殿下に對し正式に新內閣組織の委囑を受諾する旨通告した、共產黨が遂にボノミ支持の方針を決定したため共產黨民主黨、キリスト教民主黨並びに自由黨の四政黨をもつて新內閣を組織し、他に政黨外の專門家を入閣させる方針と解される、但し社會黨並びに行動派は依然入閣を拒否してゐる

組閣難航を續く

(リスボン九日發)ローマ來電によればボノミの組閣工作は依然として難航を續けてゐる樣子で、九日キリスト教民主黨主アルチーデ・デ・ガスパリと會見、漸く外相就任の承諾を得たといはれるが、その他の閣僚の椅子はまだ決定をみてをらず、共產黨首領トリアツチの再入閣も決まつてゐない

法王廳ド・ゴールを承認

(リスボン九日發)ヴアチカン來電=ローマ法王廳はド・ゴール政權をフランス臨時政府として正式に承認する旨九日發表した、近くパリ駐劄法王特使を任命する筈である

ベルギー騷動小康か

(チユーリツヒ八日發)ブリユツセル來電によればベルギーのピエルロー政權は一應危機を切抜けたものの如く、八日政權當局は前ロンドン駐劄大使館附武官ボール・クレナツケル大佐の無任所相就任を發表、內閣の全面的改組には至らずに落着く模樣である、クレナツケルは自由黨上院議員で近く米英訪問の途に上る豫定といはれるが、今回のベルギー騷動に關し「チユーリツヒ アイ・ツアイツング」紙はロンドン政界の觀測として次のやうに傳へてゐる

ベルギーの危機は一應克服出來た形だが、根本的な對立がなほ存在する限りベルギー內政問題が最終的に解決出來たとは考へられない、現在反樞軸軍にとつてベルギーの鐵道、道路並びに港灣が非常に重大な意味を持つてゐる以上、反樞軸軍當局がベルギーの內政問題に干涉するのは當然の措置である

共產黨は飽くまで鬪爭

(リスボン九日發)ロンドン來電によればベルギー共產黨は九日ブリユツセルで黨大會を開催、反樞軸軍司令部の內政干涉に抗議してピエルロー政權に對する鬪爭を續ける旨の決議を行つたと傳へられる

フランコ辭職說は眞赤な嘘

(リスボン九日發)パリの「リベラシオン」紙は九日マドリード特電としてフランコ統領がフアランヘ黨會議に八日午後四時辭表を提出したと誠しやかに報道して多大の衝動を捲き起したが、ロイター通信パリ特派員ハロルド・キングは九日次の通り傳へてゐる

パリ駐劄スペイン大使サングロンスはフランコ統領の辭任說は根も葉もない虛報だと聲明したが、パリ駐劄スペイン大使館は定時本國政府と連絡をとつてをり、現に七日夜の公電にも異變を思はせるものは何もなかつたといふことだ

羅の抑留所超滿員

(ベルリン九日發)ブカレスト來電によればルーマニア國內の各抑留所は多數の抑留者で既に滿員となつてゐるが、その後抑留者の數は益々增加する一方なので抑留所を增設する必要に迫られてをり、タルグ=ジウ及びスロボジアの抑留所等は超滿員の狀態といはれるが、九日のブカレスト放送は以上の事實を麗々しく傳へて「休戰條件中最重要なものが履行されてゐる證左だ」と殊更に報じてゐる

波政權の本國歸還許さず

（ストツクホルム九日發）モスクワ放送によればルブリンのポーランド國民解放委員會はロンドン亡命政權のポーランド歸還を拒否する旨の決議を九日行つたといはれるが、ソヴエト政府がこゝ一、二週間中にルブリン政權をポーランドの臨時政府として認めるとの噂と相俟つてアルチシエフスキー政權の完全孤立はもはや免れ得ぬ形勢となつた

諾にテロ行動頻發

（ストツクホルム九日發）オスロー來電＝ノルウエー警察隊隊長ライダル・ヴオイクトは九日オスロー市内の自宅で暴力團の襲撃を受け射殺された、犯人は逃走したが、英國製の自動拳銃を使用してをり、現場には英國製の落下傘綱が殘つてゐた、同日スタヴアンゲル市でも暴力團によつて警官一名が殺害された

瑞典の各國避難民

（ストツクホルム三日發）スエーデン當局の發表によれば目下スエーデン國内居住の外國人は約十八萬人で大部分は戰爭避難民であるといはれる、國籍別にみれば大體左の通り

フインランド人	八萬七千人
ノルエー人	三萬人
デンマーク人	一萬六千人
バルト諸國人	三萬一千人
その他	一萬六千人

勃共産黨閣僚中將に

（ストツクホルム九日發）ソフイア來電＝共産黨代表として入閣したブルガリア無任所相カルテシエフは陸相ヴエルテチエフ中將の推薦で九日中將に昇進した

和蘭向け救恤品輸送中止

（ベルリン六日發）ヘーグ來電＝ヘーグ市當局は六日左の通り發表した

さきに赤十字社國際委員會はアムステルダム、ロツテルダム、ヘーグ等オランダ諸都市の小兒並びに病人救恤のため三百五トンに上る食糧品を贈るに決し安全送達方を交戰軍當局に申し入れたところ、ドイツ軍官當局は卽座に承諾したにも拘らず反樞軸軍側の拒絶により右計畫は中止になつた

佛西鐵道開通

（マドリード八日發）十五日からスペイン、パリ間に直通鐵道二本が開通されることになつた、一は西部西佛國境の佛領アンデーからボルドー、アングレーム、ツール、ヴイエルゾンを經由し、一は東部西佛國境の西領ポート・ボウからパリに至る線である

駐米葡大使歸任

（リスボン五日發）米國駐劄ボルトガル大使フオアン・ビアチ氏は四日リスボンを出發クリツパー機でワシントンへ歸任の途についた

【ドイツ】

米英の不法攻撃に抗議

（ベルリン八日發）ドイツ外務省は八日スイス政府を通じドイツ軍醫療諸施設にたいする米英軍の意識的な攻撃十二件を列記した覺書を米英兩國政府に提出し、特に最近イタリア戰域で頻々と繰返される米英軍による戰時國際法の蹂躙行爲について嚴重な調査並びに責任者の處罰を要求した

洪將星に勳章贈與

（ベルリン九日發）ヒトラー總統は九日ハンガリー軍總司令官ヴイテス・ヨセス・ヘスレニイ元帥及びハンガリー騎兵師團長ミハリ・ヴイブラニイ元帥に對し鐵十字騎士勳章を贈呈した

【ソ聯】

歐洲駐在公使新任

（リスボン六日發）メルボルン來電＝濠洲外相エヴアツトは最近モスクワに招還されたメルボルン駐劄ソ聯公使ヴラソフ氏の後任にリフアノフ氏が任命された旨發表した

ニコライ・ミハイロヴイツチ・リフアノフ氏はソ聯外務人民委員部極東部長、嘗てソ聯通商代表として支那に駐在したこともあり、本年夏重慶への派遣說が傳へられてゐた

イズヴエスチヤ編輯長を任命

（モスクワ一日發）ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」長らく合議編輯制をとつてゐたが、同紙一日附の報道によれば今回編輯長イリチエフ氏が任命されたいはれる

昭和十九年十二月十二日(火)
第三二六八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【東　亞】

米紙重慶の破局を論ず

(ストックホルム八日發)「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙のニューヨーク特派員は六日支那戰局に關する各種の報道論評を次の通り傳へてゐる

重慶の嚴重な檢閲を通過して米國に傳へられる報道は「重慶が壞滅するか否かはここ六十日で決定しよう」と述べてゐる、この報道は東亞の大陸における實情が如何に絶望的なものであるかといふことを米國民に初めて悟らせた、過去八年にわたつて支那の出來事に無頓着であつた米國民は、いはゆる四大國の一國が近い將來潰滅的打撃を受けるに違ひないといふやうな考へは未だ持つてゐなかつたのである、この點につき「ニューヨーク・タイムズ」紙の軍事記者ハンソン・ボールドウインは、日本軍の最近の成功は極めて重大である上に重慶の政治經濟、軍事の情勢は混亂し切つてゐるので、太平洋戰爭における重慶の役割をもう一度檢討する必要がある」と述べ、日本本土にたいして直接の攻撃を加へるのが最善の戰略だと論じてゐる

宋の行政院長代理就任反響

(リスボン五日發)ワシントン中央社電＝宋子文が行政院長代理に就任したとの報道はワシントンに相當の關心を起した、現在までのところ公式の批評はないが米國では宋子文が新しい兼職についた事を歡迎してゐる、ワシントンの極東消息筋では一般に宋子文の院長代理新任は支那の國內統一强化と支那をして一層有效な交戰同盟國とする方向への最初の具體的措置を表はすものだとしてゐる、重慶軍が共產邊境地區から貴陽の防衛に南下してゐるとの重慶電報はワシントンでは國共間に到達した和解措置を示す最初の明白な兆候とみなされてゐる「ワシントン・スター」紙は社說で宋子文の任命を論評し「宋が行政院長代理に就任して蔣介石をして軍事問題に專念することを可能にした人事は重慶政府に嘗てなかつた最も重要な更迭であり、共產軍と重慶との長い間の行詰りが間もなく克服されるかも知れないといふ報道に可なりの力を添へるものだ」と述べ、さらに「かかる發展は支那におけるこれ以上の惡化を阻ぎ、宋子文は指導者として統一を復活するかも知れない、情勢に對して非難があり、重慶軍と共產軍が互ひに動員不能となつてゐる限り、これが支那を害し直接日本に利益を與へ反樞軸の目的を阻害することは疑ひない、これ卽ち重慶が中共との和合を實現すべきことを希望し祈る所以である」と述べてゐる

メリル印緬米軍副司令に

(リスボン九日發)ニューデリー來電＝印緬戰域米軍司令部は少將フランク・メリルを副司令官に、大佐デイーン・ラスクを副參謀長に任命した旨九日發表したメリルは、北緬戰域で密林作戰の指揮に當つてゐた

【西　亞】

シリアに集會禁止令

(リスボン九日發)ダマスカス來電によれば、シリア政府は九日示威運動並びに二十名以上の集會を一切禁止する旨布告したと傳へられるが、同時に同國議會は配給規則を犯した役人及び商人に對する處罰を規定する法案を可決したといはれる

新駐佛土大使赴任

(リスボン五日發)アンカラ來電＝新任パリ駐劄トルコ大使ニューマン・メネメンジョグルは五日パリに向け空路出發した

【アフリカ】

西紙、タンジール占領を辯護

(マドリード九日發)英國各紙は最近二、三週間來スペインの占領下にあるタンジールを國際管理下に置くべきである、と論じてゐるが「スペイン紙ラ・ヴアングアルデイア・エスパニヨーラ」は九日の紙上で右要求を論駁し次の通り述べてゐる

タンジールを西領モロツコの行政圈內から切り離すことは絶對に不可能であり、また不合理だタンジールは地理的に西領モロツコに屬してをり、同地をスペインの指導下から切り離すことは同地區から安全と秩序を奪ひ混亂を招くに等しい

【英帝國】

英濠定期空輸開設　（リスボン九日發）サンデイゴ來電＝カリフオルニア州駐屯英空軍輸送機隊司令部は九日次の通り發表した

英空軍は米太平洋岸經由でロンドン濠洲間に定期輸送便を開設してゐるが、右空路には武器貸與法に基いて讓渡されたリベレーター快速機を使用、本月に入つてから既に週二回づつの飛行を行つてをり、モントリール、ワシントン、サンフランシスコ、ホノルル、フイジー島を經由し一周には八日を要する

テイチマン殺害の米兵を起訴　（リスボン八日發）ロンドン來電＝元英國外交官エリツク・テイチマンの殺害犯人として二名の米國兵がノーフオークの兵舍で逮捕されたが英國駐屯の米陸軍當局は七日その姓名を公表し

兵卒ジョージ・スミスはエリツク、テイチマン殺害の廉で起訴され、兵卒レオナルド・ウイジーカは同じくテイチマンに致命的銃撃を加へた共犯者として起訴された

旨發表した

駐西大使更迭せん　（リスボン八日發）マドリードからのロイター電報によれば、マドリード駐劄英國大使テンプルウツドは過去四年間にわたる駐西大使の職を辭して近日中に歸英の豫定と傳へられる、彼の後任は明らかでない

加コルヴエツト艦喪失　（ストツクホルム七日發）オツタワ來電＝カナダ海相マクドナルドは北大西洋水域で作戰に參加中のコルヴエツト艦が沈沒、乘組員は全部戰死した旨六日發表した

【軍事情報】

V二號は時速三千哩　（リスボン八日發）ロンドン來電＝英國空軍省は八日ドイツ軍のV二號に關し次の通り發表した

「現在南イングランド攻撃に使用されてゐるV二號長距離兵器は時速三千哩、彈頭には重量二千封度の炸藥を有する」

なほ七日の發表によれば、空軍はヘーグの舊王宮を距る三百碼の地點にV二號の發射基地を發見したといはれるが、オランダの首都からV二號が發射されてゐるとの公式發表はこれが最初である

新燃料自動車發明　（リスボン六日發）ロサンゼルス來電＝ロサンゼルスの發明家フランク・ペリイは瓦斯體燃料の代りに壓縮空氣と綠色液體の蒸氣を燃料とした自動車を發明した、この燃料の成分は市場で一ガロン四十仙で求めることが出來、ペリイの計算によればこれで優に六十哩は走れるといふ、この燃料を用ひた最初の試作車は既に二、三ケ月前に完成し、それ以來數千哩を走行してをり製作費は四百弗で將來多量生產に移れば更に二百五十弗まで引下げられる見込みといはれる

ムスタングの性能　（リスボン一日發）イングルウツド（カリフオルニア）來電＝ノース・アメリカン航空機會社は陸軍省許可の下にプロペラ推進機として世界最高の速度を誇るP51「ムスタング」機の性能に關し次の通り發表した

一、水平速度　四五〇哩時
一、上昇限度　四〇、〇〇〇呎以上
一、航續距離　二千哩

可逆節プロペラ出現　（リスボン三十日發）デイトン（オハイオ）來電＝ライト・フイールドの陸軍航空隊技術部は推進方向を逆にしてブレーキの作用をする航空機プロペラを完成した、これに關し當局は次の通り言明してゐる

試驗飛行において新式プロペラとブレーキを併用した、大型機はフラツプ翼とブレーキだけでは着陸滑走距離千五百呎を要するところをわずか九百呎の滑走で停止した、この可逆節プロペラと離陸用ロケツトとを利用すれば比較的小さな空港でも巨人旅客機を發着せしめ得ることにならう

昭和十九年十二月十二日(火)
第三二六八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

英國海運界對策に腐心

長谷川才次

海運界の將來

シカゴにおける國際航路會議は決裂に終つた、交通機關は經濟帝國主義の前衞だけに「打算の結婚」で結ばれてゐるに過ぎない聯合各國が、一度海運と空路の問題となれば忽ち咥み合ふのも當然であらう、特に弗帝國主義との關聯において、今英國で最も喧しい論議の焦點となつてゐるのが矢張り海運と空路だ

先づ海運については十一月一日英國下院における討議を「タイムズ」紙の報道によつて傳へよう「下院は英國海運界の將來に深い關心を示し各議員は政府に對し政策の闡明を求めた、海相アレキサンダーは各種の船舶相互間における造船上の優先並びに英國、聯合各國並びに中立國の船主に對する割當に關聯する一切の事項について進言する委員會を任命するに決定した旨を發表した、海軍省、戰時運輸省、造船業、海運業等から夫々代表が出る豫定だ、保守黨議員T・G・グリーンウエルが討議の先鞭をつけたが特に遠大な政策を要望し、最低運賃を國際協定で取極めて運賃を安定させること並びに造船許可に關する運營を船主と造船業からなる共同委員會に移管することを提唱した、戰爭の終了に先立ち最も價値多い船舶だけが出來るやうとの考へからだが、更に米國が自由型船一千隻を英國に引渡すといふ噂が事實ならば右申出を拒否するやうグリーンウエルは政府に要請した、この點については勞働黨のエマヌエル・シンウエルも全く同感で抑々英國は船舶の輸出業者で輸入業者ではないのだからかかる艦艇の買入は全的に排撃せねばならぬと述べた、シンウエルは海運助成金には反對したが、政府が海運界を支援する何等か財政上の取極めが必要で恐く低利のクレデツトを賦與し、その代りに政策について政府が或る程度監視の權限を行使出來るといふやうなことではどうかと示唆した」

軍艦建造と損害

「タイムズ」紙によればこの討議で海相アレキサンダーは開戰以來の英國の造船業について色々數字を上げて評述してゐるが、先づ軍艦の建造に關する數字を揭げよう

一九三九年九月以降一九四三年十二月までに竣工した軍艦

大型軍艦(戰艦、巡洋艦、モニター艦、艦隊護送艦、空母、驅逐艦、潛水艦、フリゲート艦、スループ艦、コルヴエツト艦、艦隊掃海艇、快速掃海艇、各種母艦)

六三四隻 一、一八三、五〇一S・Dトン

小型軍艦(モーター砲艦、水雷艇、各種汽艇、モーター掃海艇)

一、二六〇隻 一二〇、三五八S・Dトン

その他の軍艦(各種上陸用舟艇トロール船等)

二、七二九隻 三三四、九一九S・Dトン

海相は次ぎに軍艦の建造について前大戰當時との比較を試みてゐるが、今度の戰爭では造船所も減つてをり、その上燈火管制と爆撃に阻害されるのに成績がいいのは素晴しいといふわけだ

(トン數は單位千トン)

	第一年	第二年	第三年	第四年
前大戰 隻數	一一四	五四八	五〇二	四九〇
前大戰 トン數	三一六	五一四	三九九	三六六
現大戰 隻數	一四四	九一四	九〇〇	一、九八四
現大戰 トン數	一四四	四五二	五〇九	五九〇

海相は次ぎに修理工事について述べてゐる

「以上大規模な建船工事と併行して現に就役してゐる軍艦の修理維持の仕事があり、しかも各船種を通じ灣内に碇泊出來るのは極めて短期間に過ぎないから損耗が甚しい、作戰に基く損害は頻繁で多年に亘り曾つて見なかつた位の大西洋の颶風で軍艦が非常な損害を受けた、加ふるに北海を通じロシヤ向けに次ぎ次ぎと船團を護送しなければならず他に磁氣魚雷と聽音水雷並びに爆撃などの新しい攻撃樣式に基く損害も考へねばならない

快速船の建造に着手

商船の新造についても戰爭の一番危險な段階に際してさへ、造船所における勞働力の五五%までを建船修理に振り向け殘りが一般の造船に廻るに過ぎなかつた、そこで最大限の輸入能力を達成するため重量も約一萬噸の標準貨物船を建造したが後になつてさらに戰車とか飛行機その他の重い特別貨物を輸送出來るやう改裝した」

商船の建造については海相は次の數字をあげてゐる（トン數は單位千トン、一九三九年は九月より十二月までの數字）

三九年（隻數	五六	四〇年（隻數	一八二
噸數	一四三	噸數	八一〇
四一年（隻數	二三六	四二年（隻數	二五九
噸數	一、二五八	噸數	一、三〇二
四三年（隻數	二三七		
噸數	一、二〇四		

前大戰の四ケ年間に進水した商船のトン數は三百七十七萬百七十トン、一九四〇年以降四ケ年間の進水トン數は四百四十一萬五千六百六十八トンである、海相は英國の海運界が早くも戰後の競爭を豫想し快速船の建造に着手したことを認め左の通り述べてゐる

「戰爭の推移とともに商船の建造計畫において漸次快速船の割合を增加出來るやうになり、特に時速十五節の標準貨物船の建造計畫に乘り出したが滿足な結果を示してゐる、更に戰局が變つて東亞反攻作戰に重點を移すとともに標準型の建造計畫を止めて、今後の作戰に必要な多少違つた任務に一層よく適應した船舶の建造に着手することとならう、一例をあげれば地中海その他歐洲大陸の港灣では小型の貨物船を必要としたが、東亞反攻作戰では貨物定期船（Cargo-liner）型の快速船を必要としよう、以上の貨物船が出來れば商船隊の均勢は一層よくとれるだらうし戰後における特殊貿易にも更によく適合しよう、しかし差し當つては造船並びに修理に關する海軍省の統制は依然存續の必要あり、英國商船隊の再建には造船業界が相當期間努力せねばならない」

海相アレキサンダーはまた開戰以來、造船所の近代化に五百萬磅の助成金を出したことを明らかにし關係の機械工業等に關する改裝費を入れれば一千萬磅を凌駕するだらうと述べた

造船統制の緩和を要求

海相が一寸言及してゐる造船に關する統制の緩和が差し當り英國海運界の切實な要求だ、要するに他の產業部門におけると同樣いはゆる過渡期の問題なのだが、「タイムズ」紙の報道によれば戰時運輸相レザース卿は十月四日上院における海運討議で次の通り述べてゐる

「海相の全面的支持のもとに戰時に當り英國の造船所が建造を許されてゐる船舶の型に關する嚴格な制限を緩和するため海運界と接觸を保つてゐる緩和されれば戰後の所要に適應した船舶の建造が許されることとならう、しかし振りかはりは進步的としても漸進的たらざるをえず、自辦の造船は少くとも戰爭の終るまで許されない、要するに戰爭の直接的所要に對しては先づ優先權を與へるが戰後の情勢について政府は愼重考慮を加へてゐるわけである、英國としては少くとも戰爭前と同じ位の大きな有能な商船隊をもつて引續き世界に奉仕しなければならない、政府は他の各國と協力し海運界における公正な競爭の條件を確保する方針だが、海運界に對する助成金交付といふ不正且つ破壞的な慣行は將來取除かれよう、戰後における過剩船腹の問題は尨大且つ極めて困難である、また戰時保險に基く支拂ひと代船建造費との不釣合ひについても考慮を加へよう」

以上レザース卿の聲明は英國海運界でも非常な歡迎をうけた樣子で「フアイナンシヤル・タイムズ」紙は十一月六日の紙上で次の通り述べてゐる

「各船會社は平時の必要に適した造船に各造船等が間もなく乘移ることが出來るだらうといふレザース卿の上院における聲明を歡迎してゐる、海運會議所の會頭サー・レイトン・シーザーも六日評議委員會の席上、建造する船舶の型について政府が戰時の制限を緩和する傾向を示してゐることに對して滿足を表明する旨を述べた、さらに當局は船主に對してもバルチツク諸國並びにスカンヂナビヤ各國との木材取引に特に適する船舶の建造についてさらに便宜を提供するといふことを通告してゐる」

昭和十九年十二月十二日(火)
第三二六八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

海運會議所の戰前における報告に徴してもまた最近の年次報告や演說に徴しても大陸との間における木材取引その他同樣の取引に適當な船腹が足りないといふことが、英國海運界の弱點だといふことが指摘されてゐる

巨人連絡船を計畫

現在英國海運界にはいろいろな計畫が早くも論議されてゐる樣子だ、グラスゴーからのロイター電報によればフライト・サイドの造船業界ではクキーン・メリー號やクキーン・エリザベス號に匹敵するやうな大西洋の巨人連絡船を建造してはどうかといふ議論が持上つてゐるといふ、米英兩國間の空路が將來大いに發達することを豫想せねばならないが、空路の競爭に對抗するための論理的解答は巨人連絡船の建造であり、安い料金で大西洋の定期航路を開けば金のない連中も何千となく米國訪問の船旅に上るだらうといふ皮算用だ、所が一方には商船を見切つて空路時代を豫想し對策を講じてゐる船會社もあるらしい、「デーリー・メール」紙は十一月二十日の紙上で次の通り報道してゐる

「少くとも英國の船會社の中、一社は將來大西洋の旅客でかつて一等の船賃を拂つた連中は空の旅に乘りかえるだらうといふ見透しの下に、將來建造する自社の船舶については全部ℱ等船室を廢止しようとの計畫を進めてゐる、かはりに旅客機を建造するといふ方針だ、船は專ら貨物用に向け船室は極く少くしてしかも料金は安くし本當に海の旅を樂しむ人だけを目當にしようといふ譯だ」同社の有名な或る重役はかういつてゐる

海運界はまるで爆擊をうけたやうなものだ、或る船會社はドイツ軍のために戰前にもつてゐた客船の全部乃至殆んど全部を喪失してしまつた爆擊をうけた町の市會と同樣戰後どれだけの人間がお客さんとなつて歸つてくるか、どんな種類の人達が歸つてきてくれるか、いかなる趣味を目標にして計畫をたててよいのか一切わからない、しかし海運界の一部では今度の戰爭で失つた特別設計の豪華船をもう一度建造するつもりはない、空路との關係に於て海運界は一體どうなるか分らない以上、二十年先の要求に應ずるやうな船舶について計畫をたてることは現在のところ出來ない

對米競爭に腐心

勿論英國海運界が當面してゐる當面の問題はいかにして米國の海運界と競爭するか、いかにして空路との競爭に對處するかの問題で曾て七つの海を支配した英國の海運界が一大革命に當面してゐることは疑ひない、白書の發表によれば英國は開戰以來一千一百五十萬トンの船腹を喪失してゐるが、果して海運界に新船建造の資力があるかどうかがさしあたつての問題だ「ファイナンシャル・ニューズ」紙の海運記者はこの點について十一月十六日次の通り報道してゐる

「果して英國の海運界が戰後の再建に必要な資金をもつてゐるかどうかについては、いろいろ違つた意見が出てゐるので、本社では最近海運界の實情について特別の調査をとげた、その結果、戰時危險の保險制度並びに英國政府の代換建造計畫で戰爭のために喪失した船腹の再建に必要な資金は十分だといふことがわかつた、一九四〇年八月に發表された白書の第四條には次の通り明記されてゐる

「代換建造計畫の全般的目標は戰時に於て船舶の値段が增加する場合においては、戰時の危險乃至政府が負擔の責任を引受けたその他の危險によつて船舶を喪失する場合には、船主に對して支拂ふ全額は喪失したトン數の代換を賄ふに足るやうにするにあり、以上の目的を實現するために保險を目的とする船舶の評價を兩部分に分つ、第一に保險目的のための船舶の戰前における價格をしめす「基本評價格」、第二に開戰以來船舶の保險價格增加を代表する「增加評價格」である、增加價格か規格について海運省との間に意見が合はない場合には特別委員會を設置する、當該危險のために船舶を喪失した船主は以上の基本評價格を現金で受取る、增加評價格は年三分の利率で海運省の帳簿に當該船主の債權として記入し、右船主が代船を建造するために基本評價格を支出する場合に拂ひ渡す代船建造の期間は戰後七ケ年である」

この條項は時々看過されてゐるが、右項で代船建造の資金は賄ひ得るが、戰時勤務で老朽となつた船舶の代換建造については十分な規定がないといふのが定説だ、老朽船の減價準備金と代船建造費との差額は可成大きいに違ひない

資料

V二號の正體

「タイム」誌六月二十七日號

現在においてもV二號は依然V三號に劣らず大きな謎だ、もし英國當局が少しでも不發彈を手に入れて調査してゐるとすれば、それについて故意に沈默を守つてゐるのだといふことになる、オランダ人の中には、地上基地からV二號が發射されるのを見たといふ者もあるし、いや發射するのは長さ八十呎のコンクリート製の管坑からだと主張する者もある、專門家の或る者は、オランダ海岸沖の艀舟から發射されるのかもしれないといつてゐる、V二號の操縱についてはラジオ、ジヤイロコンパス、尾翼、回轉等諸説紛々として一定しない、ただ專門家の間で見解が一致してゐるのは次の諸點だ

一、V二號は燃料燃燒用の酸素を有するロケット彈で一千哩時乃至三千五百哩時の高速で飛ぶ
一、普通の防空手段では何にもならない
一、V二號は恐らくアルコールまたはガソリンと液體酸素とによつて推進される
一、彈頭には約一トンの炸藥を有し、壓搾ガス、（おそらく窒素）の供給により燃料を內燃室に送り込み、彈道は尾翼で安定する

英國設計家の想像圖

燃料は少くとも炸藥の重量の七倍に達すると信ぜられる、噴射口はおそらく幾列かあり、それが連續的に作用して長途の飛翔を維持すると同時に縱操にも役立つてゐるらしい、マンハツタンの工業設計家たるマーシヤルならびにスカルが描いたいかにももつともらしい想像圖によると、操縱裝置は尾部にある、V二號をラジオ操縱だと考へ難い理由としては、V一號がさうでなかつたといふ事實もあるし、V二號の上昇する高度（六十哩以上）を考へると、正確に觀測して所定の彈道から逸脫させないといふことは困難であらう、長距離砲と同じやうな彈道を描いて彈道頂點から急角度で落下するV二號は、二百五十哩乃至三百哩の射距離では約三十度の射角をもつて發射されるとみられる

月世界の寫眞撮影

英國の有名な萬能科學者J・B・S・ハルデーンはV二號の戰後の見透しを哲學的に豫言して次の通り述べてゐる

V二號は垂直に發射すれば二百哩上昇することも可能だから、太陽その他の天體の撮影に利用し得るだらう、戰爭時代に拂つた代償のお蔭で月の周圍に連續的にロケツトを送り、反對側から寫眞を撮るやうなことも可能になるにちがひない

V三號は原子爆彈か

「タイム」誌十一月二十七日號

V二號の恐るべき斬新性は未だ決して失はれたわけではないのに、先週のロンドンは既にV三號（原子爆彈とみられる）の臆測で喧々囂々たる有樣だ、反樞軸空軍の注意は再びノルウエーの大重水工場所在地ルジユカンに向けられた、この重水工場は昨年英空軍並びにノルウエー反獨分子によつて破壞されたが、最近ドイツ軍の手によつて修復されてゐる、英國の檢閲がやかましいにも拘らず、ロンドン筋は原子爆彈の可能性について最新の狀況判斷的解釋を傳へてゐる

この解釋によると、ドイツ軍は原子破壞彈を得るために全く新しい方法を發見したとみられる、戰時檢閲制度のために原子實驗に關する論議が一切封じられるやうになるまでに知られてゐたところでは、大部分の科學者が原子破壞の希望をデユーテロン（重水より得られる重水素核）による原子のサイクロトロン破壞にかけてゐた

昭和十九年十二月十二日(火)
第三二六八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

これで個々の原子は破壊されてゐるが、爆彈においては原子は各崩壞原子が他の原子の破壞を誘發するに足る量で爆發しなければならない、ドイツ軍の新實驗は最も密度の濃い星として知られるシリアスの友星「ホワイト・ドウオーフ」の組成にヒントを得た過程を追つてゐるといはれる「ホワイト・ドウオーフ」の比重は六一〇〇〇即ち一立方時の重量が約一トンになる位だ、物理學者は普通の原子がそんな密度に壓縮されることは不可能だと信じてをり「ホワイト・ドウオーフ」の場合には物凄い壓力と高熱のためにその原子が破壞され、間隙にある電子を放出して原子核の結合は一層緊密になつたのだと想像してゐる、ロンドン筋ではドイツ軍がこれと同じ加壓原理を應用して原子を破壞してゐるのだとみてゐるのである

ノイマン爆藥

原子破壞物質たる「ノイマン」爆藥は外部に向つてでなく内部に向つて爆發する球の内部におけるノイマン爆藥は中心では一平方吋當り數萬トンの壓力を生ずるとみられるが、これはウラニウムの如き原子を破壞してその原子エネルギーを放出せしめるに十分だ、英國の科學者たちはさうした爆發により面積的には大したものではなくとも局部的には空前の激しい爆發が生ずるだらうと信じてゐる

産業再轉換期の勞働政策

「エコノミスト」誌九月二十三日號

「小鐵鋼樣式」の修正は最早必至のやうだ、先週戰時勞働委員會が生計費は勞働省の指數が示すよりも遙かに急激に騰貴したと發表したのもこの意味だ、この點は勞働組合側が過去數ケ月にわたり實證しようと努めてきたもので、當面の影響は、「小鐵鋼樣式」における賃金の修正であらうが、勿論これは一産業に限定し得べき性質のものではない

産業再轉換の期間には賃金收縮の措置を執らぬことはすでに政府の政策の一部となつてゐる、最近食糧局長官チエスター・ボールズは一週四十時間制に復歸すれば時間外勞働に對する支拂ひ約百二十億弗が不必要になると述べた、適切な失業保險の實施される見込みはあまりないが假りに實施された場合でも、産業再轉換期間には勞働者の購買力が急激に低下すること疑ひない、國民購買力の急激な低下は政府が萬難を排して阻止しようとしてゐるが、さればといつて賃金增加を要求する力を觀迎するかどうかは確實でない、物價當局が公然と言明してゐるところは、物價特に生計費の騰貴を嚴しく抑へて物價の奔騰を避けるといふにある

産業再轉換期においては賃金の增額は、時間外勞働手當の減少、技術的改良および高生産水準の維持によつて相殺されるといふ主張も、論理的には成立つけれども、政治的には不可能だ、産業再轉換强行の主要な負擔が實業界に課されるとすれば實業界が勞賃を安定させようとするのは當然だ同時に勞働者側でも不況の到來を豫期して基本賃金を出來るだけ高水準に引上げようとするからかかる妥協案には滿足しまい、既に戰時において難航を續けて來た物價政策が非常事態は過去つたと感じられる時期になつて、資本と勞働の双方からの壓力に堪へられるとすれば殆んど奇蹟に等しい大統領は恐らくこれらの壓力を峻拒するよりは、むしろ讓歩の時期と方法を考へて、選擧を有利に展開させようとするであらう

フランスの戰後運輸對策

「デーリー・メール」紙十一月二十一日付

フランス運輸、公共事業相ルネ・メイエは運輸部門に關する對獨休戰要求につき二十日次の通り言明した

「最近ロンドンで開催された運輸會議でフランス代表の提案要旨は次の四點に歸する

一、ドイツ並びにドイツ領海に在るフランスの貨車、客車、機關車、艀舟、曳船、商船等はフランスに返還すること

二、ドイツはフランスが戰前有した鐵道、內國水路運輸資材等その總額以上を物資をもつて償還すること

三、ドイツが將來生産し得る新輸送器材はフランス及びドイツの廢品と交換的にフランスに提供さるべきものとする、それにより一九一八年における如く、ドイツが聯合軍の工場には廢品を提供し新しい運輸器材は自國で保有したが如き手段を回避し得る

四、ライン河域の艀舟並びに曳船は歐洲安全保障上の必須措置として聯合軍の支配下におくこと以上の協定にはドイツ軍のフランス占領期間中ドイツがフランス輸送機關を使用したに對する債務の處理問題は含まれてゐない、本問題の一部は既に解決ずみである、ドイツをしてその債務を即時償却せしめることは不可能であらう、聯合軍のドイツに對する要求の割當は國際的に立案されねばならぬ、フランスの鐵道は甚大な損害を蒙つたが最もひどいのは港灣設備の破壞である、ドイツ軍は現在なほ聯合軍が攻勢補給基地として港灣を使用することを妨害する作戰的見地から、フランスの港灣を占領してゐる、フランスは現在、經濟運輸の回復に最大の隘路となつてゐるこれら港灣の復舊を優先的に行ふつもりである

フランスは現在二つの緊急輸入對策を有してゐる、一は佛領植民地から、一は既に決められた協定によつて米國からするものだ、この輸入に充當するためのフランス船舶解放策につき余は最近聯合國の要人と會談した、フランスに殘つてゐる商船百萬トンの中、八十萬トンは戰時優先割當制により、聯合軍の船舶管理委員會に屬してをり殘餘の二十萬トンは佛領植民地から貯藏原料品を本國へ輸入するために充當されてゐる

米英石油協定問題

「ジヤーナル・オヴ・コマース」紙十一月十八日

國務省は米英石油協定の更改を行ふ用意がありこれにより提案の石油委員會が純然たる諮問的機關以上のものとなるのではないかとの疑念を一掃せんとしてゐる、國務省がかかる措置を講ずるに至つたのは石油業者の一部の者が、米國政府は右協定により國際カルテルに飛び込んだのであり、石油工業は結局官僚的統制下におかれることとならうとうるさくいひまとつた爲である、政府當局はかかる懸念はないとたかをくくつてゐたのだが非難の聲があまり大きいので、協定の修正に同意した、修正案は新議會開會後開かれる上院外交委員會の公聽會で運命が決するが、もし同委員會が石油協定中多數の條項に對する解釋が漠然としてゐるとの見解をとれば、國務省は同協定修正の必要如何を英國政府と議することとならう、しかし公聽會の結果が判明するまでは、政府は、他の石油生産國並びに消費國を協定に參加させるため國際會議を召集することはあるまい

「ファイナンシヤル・タイムズ」紙十一月二十一日ニユーヨーク特電

ワシントンからの諸報道を綜合するに、米英石油協定案はあるひは上院外交委員會によつて握り潰されるかも知れず現に同委員會の一部では協定案は上院本會議には持ち出されないだらうとみてゐる、しかし石油調整局長官イツキーズは本會議に提出される可能性もあるとなし、同案のために一肌ぬぐ決意を示してゐる、イツキーズは最近石油業者に意見の提出を求め、業者は二三週間以內に準備を整へ、十二月初旬、イツキーズの手許に意見をまとめて提出する豫定である

砂糖から血清代用物資

（ストツクホルム六日發）腦貧血、出血あるひは火傷などの重症患者に對する輸血に際し血液に代る血清代用物質が發見された、これは砂糖からとるもので發見者はアンデルス・グロエンワル及びビヨルン・インゲルマンといふウプサラ大學の二助敎授で、兩氏は曾つてアルネ・チイセリウス敎授指導の下に研究を進めて代用物質「デキシトラン」（デキシトリ類似物質か）を創製したことがある、この代用血清の最大利益は如何なる血液型の人にも使用されるため血液型の檢査などといふ手數が省けるといふ點である

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月十三日(水)　第三二六九號

同盟通信 海外電報 (285)

東京都麴町區日比谷公園二番　同盟通信社

佛ソ同盟が成立した、内容はまだ發表されないが、これだけのことはいひ得る、即ちダンバートン・オークス理念の完全抹殺によつて歐洲が戰前の合從連衡に復歸する第一步が踏み出されたことと、スマツツ線に沿ふ西歐ブロツクが骨拔きになつて、歐洲にはフランスを分銅とする英ソ兩國のバランス・オブ・パワーが急速に實現されるだらうことである、米國が世界的機構による安全保障だなどと、遠大な制覇政策をいぢくつてゐる間に、歐洲では東西の兩ブロツクがぬき差しならぬほどの地固めをして、やがて對立しようとしてゐる、英國は全歐洲的機構内における地理的、文化的、經濟的ブロツクなどと逃口上を考へてゐるやうであるが、眼目は軍事協定にあることは明白で、その肝心かなめの點でフランスに逃げられたかたちである、フランスは勿論、英國とも同盟を締結するだらうが、それはすでに英國の安全を保全するものではないであらう、ただ單にフランスの安全を保障するだけのものだ、フランスはこれをもつて重大な外交上の勝利と稱するだらうが、これは三國協商が重要なる外交上の勝利だつたと同じ意味の値打ちしかない、歐洲は權謀外交の土俵に投げこまれたわけだ、フランスの生きる路はドイツとの善隣政策以外にはないことは、過去の歷史の敎訓であるが、これを傳統とかに引曳られて再び古い誤ちを繰返してゐるところフランスのみでなく歐洲には救ひなしといはざるを得ない、ドイツの將來が如何にもあれ、この八千萬の安定勢力を無視して歐洲の平和などはおよそ無意味なのだソ佛同盟であれ英佛同盟であれ、恐獨病にとりかかられてゐる限りは絶對に歐洲の安全保障にはならないのだ

世界の焦点

【目次】

英國政界の危機……三〇七〇
空母三十隻を建造計畫……〃
太平洋艦隊司令漆洲へ……〃
ネルソン濠首相と會談……〃
米英の焦慮歷然……三〇七一
米軍の彪大な戰費……〃
西部戰線異常あり……〃
呼吸器附獨潛水艦……〃

【歐洲】

ギリシヤ内亂最高潮に達す……三〇七二
スコピーの戰況公報……〃
エラス兵團サロニカ占領……〃
空軍並びに海軍も參加か……〃
アテネの要衝を占據……〃
九日夜來再び激戰……〃
豫備の壯丁を召集……三〇七三
英空軍本格的攻擊……〃
アテネ全市に絨氈爆擊……〃
死傷一千五百人……〃
妥協工作を企圖か……〃

【東亞】

太平洋戰略航空隊創設……三〇七四
英太平洋艦隊を分割して編成……〃

【米洲】

壯丁を更に動員……〃
軍需生產遲滯……〃
新豫算九百億弗か……三〇七五
イツキーズの新案……〃

【ドイツ】

新兵器で冬季攻勢か……〃

【特輯】

武器貸與更改と米英經濟關係……三〇七六
イラン石油問題と米英の反響……三〇七九

【資料】

米國務省新陣容……三〇八三

英國政界の危機

—勞働黨ギリシヤ政策を彈劾—

（ストツクホルム十一日發）英國勞働黨の年次大會は十一日からロンドンで開會されたがギリシヤ內亂に對する英國の武力干涉に關しては黨內に隱然たる勢力を擁する鐵道運輸勞働組合が先づ痛烈な反對決議案を提出してをり、その他の各勞働組合も右決議案を支持する形勢にあり、チヤーチルを首班とする聯立內閣は八日下院において壓倒的多數をもつて信任を確保したにも拘らず成立以來の重大な危機に逢着するに至つた

ロンドン來電によれば黨大會の開會に當り議長ハロルド・ラスキー教授は從來の慣例を破つて外交政策に言及し保守黨の印度政策を論難次の通り述べたと傳へられる

「世界戰爭は今や理念の戰ひたる樣相を增すに至つたが勞働黨は、アジア、アフリカ兩大陸における牢獄の門戶を開放することを要求する、支那と印度との窮乏は卽ち英國の貧困を意味する、印度は依然として尨大な牢獄となつてゐるが鍵を守るのはダウニング街の十番である、ギリシヤ內亂に對する武力干涉については十一日夜黨執行委員會において檢討を加へ、十三日の大會に上程する豫定である、勞働黨は戰爭の終了まで現內閣を支持するが、速に總選擧を施行し英國の民主化を實施せねばならない」

次で黨の領袖アーサー・グリーンウツドは「現段階において勞働黨が閣僚を聯立內閣から引き揚げることは重大な過誤である、しかし勞働黨としては依然として總選擧の準備を進めるであらう」と述べたが、下院議員ハーデン・ゲスト博士は修正動議を提出

「勞働黨としては情勢に應じ聯立內閣から立ち去る旨明確な意見を表明せねばならない、首相チヤーチルが歐洲各國の抗戰集團に暴言を加へてゐるのは言語道斷である」

と論じ、下院における在野の鬪將アヌーリン・ベヴアンもまた、ゲスト博士を支持

「黨にとつては不名譽千萬であり、英國の福祉にとつては有害な政策だ、勞働黨の領袖が參畫するといふ屈辱を甘受することが出來ようか」

と痛論した、黨大會第一日は主として住宅問題の討議で終つたが夜に入り黨執行委員會が開催されるや運輸次官で英國切つてのギリシヤ通といはれる論客ノエル・ベーカーは次の決議案を提出した

「ギリシヤ內亂に對する英國政府の政策については重大な懸念を禁じ得ない、勞働黨は戰鬪行爲の卽時停止並びに歐洲各國に對する內政干涉の取止めを要求する」

ロイター電報は「第一日の討議からみて勞働黨出身の閣僚を卽時引上げよとの要求が大會の各方面から出てゐるとは考へられないが、もし以上の決議案が採擇されれば勞働黨出身の閣僚は苦しい立場に陷るだらう」と報道してゐる

空母三十隻を建造計畫

（ストツクホルム十日發）ロンドン來電＝戰時生産委員長ウオーカー・メーソンは九日次の通り言明した

「英國海軍は明年中に新型飛行機三千機を搭載しうる空母三十隻の建造を計畫してゐるが右は最近ワシントンで開催された米英海軍首腦會議で決定を見たものである」

太平洋艦隊司令濠洲へ

（リスボン十一日發）メルボルン來電＝英國太平洋艦隊司令長官、大將サー・ブルース・フレーザーは十一日メルボルンに到着した、近く米國太平洋艦隊司令ニミツツ大將と會見する豫定である

ネルソン濠首相と會談

（リスボン十一日發）メルボン來電＝重慶より歸米の途次カンデイを經て濠洲に廻つた米特使ドナルド・ネルソンは十日メルボンで病氣治療中の濠首相ジョン・カーチンと會談した

昭和十九年十二月十三日(水)
第三二六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米英の焦慮歴然

(リスボン十一日發)ソ佛同盟・相互援助條約の成立は西歐聯盟案に對する緩衝器の役割を果すものであるだけに英國に多大の反響を捲き起し、十一日の英國主要紙はいづれもソ佛同盟を口先で謳歌してゐるが、内心西歐聯盟の危機を自覺してゐることは、ソ佛同盟と同じ形の英佛同盟の再成立を希望してゐることでも明瞭だ「タイムズ」紙はソ佛同盟は英ソ同盟を擴大强化するもので、以上により英佛兩國は西歐聯合案を一段と强固な地盤で檢討出來るやうになつたと述べ、「マンチエスター・ガーデアン」紙は英佛同盟を希望して

英國の勢力はフランスの援助がない限り十全の效果を發揮することが出來ない

と告白してゐるが、以上は竊にフランスを攫はれながら、なほド・ゴールの好意で西歐聯盟の實現を期待してゐるものとみることが出來る、米國もソ聯が先手を打つたことを米國外交の失敗と認めながらなほフランスに對する勢力を維持する希望を斷念してゐない樣子でパリからのUP電報はみえ透いた誘ひの水をかけて次のやうに述べてゐるフランスの消息筋はド・ゴールの次の使命は出來るだけ早くルーズヴエルトと會見することだと解してをり、ド・ゴールはルーズヴエルトにパリ訪問を求めたのに對し、まだ公式には回答に接してゐないが、フランスが戰前の地位を回復するのに有效な援助を與へることが出來るのは米國だけだから、ド・ゴールもソ佛同盟と同じやうな條約を米國との間に締結することを最も希望してゐる筈だ

米軍の尨大な消費

(リスボン十日發)ワシントン來電=陸軍次官パターソンは十日夜全米にラジオ放送を行ひ、次の通り述べた

「反樞軸軍がノルマンデイに上陸作戰を開始して以來三ケ月間に費消した武器彈藥の量は小火器三億萬發、百五粍砲彈藥四百五十萬發、百五十五粍砲彈藥百二十五萬發に上り、一方トラックの五分の四、曰砲の二分の一を消粍した、このほか數千數萬の戰車、戰鬪機、爆撃機、ジープ等を失つたことは勿論で、西部戰線における武器彈藥の消費量が如何に激しいかは曰砲の彈藥だけでも一ケ月に百三十萬發を發射したことのみによつても想像が出來よう、しかもこれは戰局の一部面における消費を示してゐるに過ぎず、このほかにもわれわれはイタリヤ、サイパン、フイリピン、ビルマ、支那各戰線で尨大な消費を行つてゐることを忘れてはならぬ、この尨大な消費のお蔭で米國軍はその兵員の損害を最少限度に止め、一方戰局を豫定以上に早く進展させることが出來たのであるが、今や前線においては漸く武器彈藥の缺乏が顯著となり、たとへば西部戰線においては十分な兵站補給が前線に集結されるまでは反樞軸軍はその大規模攻勢作戰を延期するのやむなきに至つてゐる」

西部戰線異狀あり

(リスボン十一日發)ワシントン來電=共和黨下院議員パーネル・トーマスは西部戰線を視察して最近ワシントンに歸還したが、右視察の結果を次の通り述べた

「西部戰線における現實の戰局は米國新聞が讀者に傳へるのとは全く相違してゐる、同戰線の全般的戰局は最近たしかに驚くべく變化し、變調を呈してゐる、素晴らしい報道ばかりを眼にし、耳にしてゐる一般の米國民は西部戰線の反樞軸軍が殆んどあらゆる物資の不足に如何に惱んでゐるか想像もつくまい、一方米國内においても軍需勞働者が根據なき戰局樂觀論に惑はされて頻りに工場を離れる原因も右の戰局の事實を否曲した報道の責任である」

呼吸器附獨潜水艦

(リスボン十日一發)ワシントン來電=ルーズヴエルト、チヤーチルは十一日反樞軸軍の對獨潜水艦戰に關する月例共同聲明を發表したがそのうちで最近のドイツ潜水艦が裝備してゐる新兵器につき次の通り發表してゐる

「ドイツ潜水艦は最近「呼吸管」ともいふべき裝置を裝備するやうになつた、これにより潜航中も海面上から新鮮な空氣を艦内に取入れると同時に排氣も可能であり、この結果從來以上に長時間潜水可能となり、また今までドイツ潜水艦が到達出來なかつた遠隔の海域にも潜入することが出來るやうになつた」

【歐　洲】

ギリシヤ内亂最高潮に達す

スコビーの戰況公報

（リスボン十日發）アテネ來電＝英軍司令スコビー少將は十日午後次の戰況公報を發表した

アテネ市街並びにピレウス外港における情勢には大きな變化がなくアラネ市の東郊外における掃蕩工作は殆んど進捗してゐない、同地區においてエラス兵團は攻勢を增大した、英國艦隊司令部は迫擊砲の砲擊に曝されるに至つた、アテネ市の中心に近い憲兵隊の兵舍に對しては斷乎たる攻擊が加へられた、九日夜並びに十日午前英軍の空挺部隊は近代競技場からのエラス兵團の砲擊を擊退するために出動した、サロニカ地區並びにハトラス地區においては遊擊隊の活動がかなり激しい、ピレウス外港においては東岸地區の掃蕩が進捗してゐるが、エラス兵團は依然頑强に抵抗してゐる

エラス兵團サロニカ占領

（リスボン十一日發）EAM團はサロニカ地方における總罷業を取消す旨宣言したと傳へられるが、アテネからのAP電報はサロニカから空路アテネに到着した英軍のガーディナー少佐が「サロニカ地方ではエラス兵團が完全に押へてゐるので何ら騷擾が起る樣子がない」と語つたと報道してゐる、EAM團が總罷業を中止したのは右事情に基くと解される

空軍並びに海軍も參加か

（リスボン十一日）ギリシヤ空軍並びに海軍がエラス兵團に參加したとの噂がギリシヤ本國内で頻りに流布されてゐるが、ローマ來電によれば反樞軸地中海艦隊司令カニンガム並びに英空軍司令スレツサーは十日共同聲明を發表し右報道を否定したと傳へられる

アテネの要衝を占據

（リスボン十一日發）BBCは十日夜に至り、アテネからの報道として「エラス兵團は今やピレウス外港の大半並びにアテネ市内警察署の大部分を支配するに至つた」と報道してゐる

エラス兵團が十日拂曉からアテネ市の中心部に對して總攻擊を加へたのに對しては英軍が正午までに反擊を加へ大體擊退したことになつてゐるが、十日夜APのアテネ特派員ステーフン・バーバーは「過去二十四時間にエラス兵團は一層よく調整のとれた作戰に出るに至つた」と報道してゐる

九日夜來再び激戰

（リスボン十日發）ロイター電報によれば英軍は九日午前までにアテネ市の約五分の一の地域からエラス兵團を掃蕩したと傳へられる、アテネ市内だけでエラス兵團は依然一萬の兵力を擁し、更にピレウス外港の西方地區においては二ケ師團が依然待機してをり、陸海空三方面からの英軍必死の攻勢にも拘らずエラス兵團は頑强な抵抗を續けてゐる、九日午前アテネ市内の食糧が極度に不足を告げたため、エラス兵團と英軍との間に一時間の休戰が締結され、エラス兵團が占據してゐる地域内の病院に牛乳その食衣糧品が屆けられたが、九日夜と共にエラス兵團は月明を期してアテネ市街に攻擊を加へ、英軍山嶽部隊の司令部並びに市の西南郊外における勞働者街で激戰を展開した、英軍は遂に二十五封度砲の砲門を開いて數時間に亘り、應戰したと傳へられるが、更に十日拂曉以來エラス兵團約一萬はアテネ市の東郊外から總攻勢に轉じ、七十五耗砲並びに對戰重砲の掩護の下に進擊を企圖した、AP電報の傳へるところによればエラス兵團は十日正午までにアテネ市の中心を占據する豫定であつたが、英軍がスピツトフアイアー戰鬪機隊をもつて掃射を加へ、二十五封度砲並びに戰車をもつて應戰したため午前十一時半に至りアラス兵團は遂に擊退されるに至つた、ただし一時はアラス兵團の一部が舊王宮の近くまで潜入し、パパンドレオ政體が本據とするグランド・ブルタニユー・ホテルを距る僅か六百碼に肉薄した位で、今回の騷擾が始つてから初めての激戰であり、エラス兵團が野砲を用ひたのは初めてのこととといはれる、アテネ市内におけるエラス兵團の本據は近代競技場でエラス兵團は地下道路を構築し、英軍戰鬪機隊の掃射にも拘らず依然として抗戰を續けてをり、ピレウス外港、サロニカ地區にありても依然頑强に抵抗してゐるので政治的な解決による以外急速に擾亂が片付きさうな樣子は見えない

豫備の壯丁を召集

（リスボン十一日發）アテネ來電＝パパンドレオ政權は十日に至り同政權の支配下にあるアテネ市内五區に亘り一九一四年、一五年、一六年生れの各級豫備兵員を悉く動員し十二日までに出頭するやう命令した

英空軍本格的攻撃

（リスボン十一日發）アテネ來電＝エラス兵團が十日以來全面的攻勢に轉じたのに對し英空軍は十日以來本格的に戰闘に參加し、十日午前スピツトフアイヤー戰闘機隊はアテネ市の東郊外カイサリンに至る道路に爆撃を加へたと傳へられるが、さらにウエリントン爆撃隊も戰闘に參加するに至つた、地中海方面英空軍司令部においては十日以來「叛徒に對し斷乎空からの攻勢に乘出した」旨言明、バルカン駐屯のスピツトフアイヤー戰闘機隊もまた戰闘に參加してゐる

アテネ全市に絨氈爆撃

（リスボン十一日發）「エキチエンジ・テレグラフ」紙のアテネ電報によればウエリントン爆撃機隊並びにスピツトフアイヤー戰闘機隊は十一日拂曉以來アテネ市の上空に出撃猛爆撃を開始、特に東郊外イミテス丘陵に據るエラス兵團に攻撃を加へたと傳へられる、折からの強風にアテネ全市は炎々たる黒煙に蔽はれエラス兵團の牙城近代競技場もまた猛爆撃を浴びてゐるといはれる

死傷一千五百人

（リスボン十一日發）ギリシヤ内亂の勃發以來既に一週間を經過したが、ロイター電報によれば十日までに死傷一千五百人を出しエラス兵團の俘虜は二千五百人に達したと傳へられる

妥協工作を企圖か

（リスボン十一日發）イタリア諮問委員會の英國代表ハロルド・マクミランは近くワシントンに赴く豫定であつたが、十日に至り突如豫定を變更し地中海における反樞軸軍司令部に赴いた、右發表に關聯し、ロイター通信社の外交記者は英國下院における外交討議の經緯に鑑み首相チヤーチルが閣僚級の要人をアテネに派遣、妥協工作に乘り出したのではないかと報道してゐる、下院において現内閣が歐洲各國に對する干渉政策について壓倒的支持をうけたにも拘らず、武力干渉政策に對する英國朝野の不滿は極めて深刻でロンドン來電によれば、英國内における航空機工場の勞働者は代表を下院に派遣して、かかる目的に濫用されるのでは飛行機の製作に從事出來ないと議員團に捻じこみ、運輸勞働組合の總評議會もまた以上の抗議運動に參加してゐると傳へられる位だから英國政府としては何とかして兩派の間に先づ休戰を取極めさせたい意向と解される、現に自由黨の領袖ソフォーリスがEAM團の前閣僚四名と協議、先づエラス兵團をアテネ市から撤收させるやう斡旋してゐるとか、首相パパンドレオ並びにアテネの大主教等が休戰交涉に乘出したとか、種々の噂が流布されてゐるが、英軍司令スコビーが休戰協定の前提としてエラス兵團が先づアテネ市内から撤收することを固執してゐるため、一切の交涉は悉く水泡に歸した樣子である、アテネからのロイター電報は當局筋の情報としてスコビーが和平の申出でをうけたことはなく、パパンドレオもまたエラス兵團の代表と交涉したことはない旨を特に報道してゐる、種々の流言にも拘らずEAM團もあくまで強硬な態度を堅持してゐる樣子でアテネからのAP電報によればEAM團のスポークスマンは十日英首相チヤーチルの下院における放言に對し次の通り反駁したと傳へられる

エラス兵團のアテネ市周邊における活動はパパンドレオ首相が辭職するまで繼續されるであらう、チヤーチルはエラス兵團を革命恐喝團體と非難してゐるがもし武力をもつて政權を奪取する方針であつたならばアテネ市が解放された直後反樞軸軍もをらず、警察力乃至傀儡的兵力が出來上らない先に政權を掌握してゐるであらうエラス兵團が久しい間クーデターを企圖したといふチヤーチルの非難は全然見當違ひだ、エラス兵團は二ケ年半に亘つて終始一貫ドイツ軍、イタリア軍、ブルガリア軍と抗戰をつづけてきたのである、アテネ市が解放された後五十日に及んでもパパンドレオは十月十八日の演説において公約したところを實行する樣子がない、却つて英國政府の態度に勢づいてギリシヤ國内の反動分子が王制の回復を企圖するに至つた

證據が必要とあればいくらも出してみせるが、以上の理由に鑑みてEAM團はギリシヤ國内における一切の兵力の武裝解除、新正規軍の編成を要求したのである、パパンドレオは今回の流血の慘事を引起した責任者であり、ギリシヤ國民はあくまで政治的自由の確立を要求してゐるが故にパパンドレオが辭職するまでエラス兵團は絶對に戰鬪を停止しない

【東　亞】

太平洋戰略航空隊創設

（リスボン十一日發）ワシントン來電＝米國陸海軍は今回太平洋戰域における陸海航空部隊の指揮命令系統するため新たに「太平洋戰略航空隊」を創設し、その司令官に太平洋戰域陸軍航空隊司令官ミラード・ハーモンを任命した、この大改組は太平洋戰域において航空戰が決定的役割を果しつつある現戰局に對應するため斷行されたものと見られるが、十一日發表された新航空隊の陣容次の通り

△太平洋戰域戰略航空隊司令官中將ミラード・ハーモン　△副司令官代理少將ロバート・W・ダグラス（陸軍第七航空隊司令官）△參謀長海軍大佐ウイリアム・デーヴイス

一方太平洋地域にある陸軍第七航空隊所屬第七爆撃隊司令官も更迭し代將トルーマン・ランドンに代り大佐ローレンス・カールが新司令官となつた

英東洋艦隊を分割して編成

（リスボン十日發）英國政府は東亞反攻作戰に乘出す第一歩として十日太平洋艦隊の新設と同司令長官の任命とを發表したが右發表に關聯しロイター電報は

ドイツ主力艦テルピツツ號が戰鬪能力を喪失したのと全般的な戰局の變化に伴ひ從來單一の東洋艦隊だけであつたのを今回兩艦隊を編成出來ることとなつた、東印度艦隊も新たに編成されたが今まで東洋艦隊として印度洋水域に出動してゐた相當有力な海軍力がそのまま東印度艦隊に入ることとならう

と傳へてゐる、もつともニミツツ麾下の米國艦隊との關係は、ケベツク會談でチヤーチルとルーズヴエルトとが咡み合つた重大懸案だけで依然として明瞭を缺くがロイター電報はこの點について更に次の通り報道してゐる

英國の太平洋艦隊は苟も情勢の命ずるところに從ひ太平洋の如何なる水域にでも出動するであらう、司令長官フレーザーは太平洋艦隊の運營行政について直接英國海軍省は責任を負ふが中部太平洋においてはニミツツのもとに南太平洋においてはマツカーサーのもとに作戰するであらう、卽ち太平洋作戰の責任の所在については何等變更なく依然米軍の擔當するところに屬するが、統合參謀本部に對して責任を負ふ反樞軸軍の最高司令官は任命されない

【米　洲】

壯丁を更に動員

（リスボン十日發）ワシントン來電＝國戰時動員局長官バーンズは九日次の通り發表した

軍需生産における勞働力不足補充のため、目下陸海軍人の召集解除が必要とされてゐるが、これら復員兵士の補充として戰時動員局は今回選拔徵兵局に對し二十六歳から三十七歳までの男子で現在戰爭努力に寄與してゐない者を再び召集するやう要請した

軍需生産遲滯

（リスボン十一日發）ワシントン來電＝戰時生産局は十一日、十月中の軍需生産情況につき次の通り發表した

十月中の軍需生産總額は九月より六パーセント方增加したが、生産豫定額には到達しなかつた、戰局の急展開に伴ひ武器、彈藥に對する需要は益々增加し、陸海軍の必要を滿たすためには今後一層の增産が必要である、主なる軍需品の生産情況次の通り

一、彈藥は緊急軍需品のうち生産豫定額に最も接近したが、なほ且つ豫定額に達しないこと二パーセントだつた、彈藥のうち最も不足してゐるのは重火器用彈藥であり、この種彈藥は陸海軍の要求に基づく一九四四年の生産豫定額を達成するためには十一、十二の兩月に十月中の生産高より五十五パーセントの增産が必要である

一、十月中の飛行機生産豫定額は九月に比して二パーセント削減されたにも拘らず現實には四パーセントの減産となり、結局生産豫定額に達しないこと三パーセントだつた、飛行機の生産遲滯の最大原因は最近「生産の困難な機構」にその重點がおかれてゐるためで、現在生産の重力がおかれてゐるのはB29超空の要塞機、B32ドミネーター、A26インウエーダー、C54スカイマスター等である

一、海軍艦艇は豫定額二十五萬排水トンに對し建造實績は二十四萬三千トンだつた、このうち戰闘用艦艇は六萬二千トン、また戰車輸送用船は十月中の全建造高の四分の一にも達した

一、海事委員會關係の造船引渡し高は百四十五隻百三十一萬重量トンだつた、各種船舶のうち最も緊急必要とされてゐるのは油槽船だがこの引渡し高は十八隻だつた

一、その他兵器生産の九月中生産高との比較左の通り

△通信用ワイヤー十%增△大型トラック及びコツトンダツク十三%增△爆彈十一%增△戰車二十%增△火砲及び發射安定裝置四%增△戰闘用車輛四%增△通信電氣器具五%增

新豫算九百億弗か

(リスボン九日發)ワシントン來電＝米國政府は明年七月から初る來年度豫算として九百億弗を計上したといはれる、これは明年七月まで歐洲戰爭が終了すると假定した上での豫算であるが、しかもなほ歐洲、太平洋兩戰域で戰爭してゐる今年度の改訂豫算九百九十億二千六百萬弗と大差なく、うち八百億弗は對日戰費に振り向けられる筈である、新豫算は現在の國庫歲入四百六十億弗のほぼ二倍であり、一九四六年の明會計年度末には公債發行額は三千億弗に達するものと推定されてゐる

イツキーズの新案

(リスボン九日發)ワシントン來電＝米國石油調整局長官イツキーズは九日シカゴにおいて次の通り述べた

將來戰爭の再發を防止する最善の保障は、反樞軸諸國が協力して日獨兩國が再び戰爭を始めることが出來ない程度にまで石油の補給を切り詰めることだ、かかる措置は世界平和を維持する上において、陸海軍の手を藉りるよりも遙かにお手輕で且つ效果的でもある

【ドイツ】

新兵器で冬季攻勢か

(リスボン九日發)ドイツ軍の依然たる長距離新兵器による英本土攻擊は英國民に不安と恐怖の念を起させてゐるがロンドン來電によれば「デイリー・メール」紙のストツクホルム特派員は九日の同紙上にドイツ軍が新兵器による冬季攻勢を準備してゐる旨次の通り報じてゐるといはれる

「ストツクホルムの軍事消息筋ではノルウエーの山嶽地帶及びオランダの島嶼からロケツト爆彈をもつて大規模な冬季攻勢を行ふため目下ドイツ軍は準備を進めてをり、この攻勢においては恐らくV三號によるニユーヨーク攻擊も企圖されるのではないかとの觀測を下してゐる、ノルウエー各地の有名なスキーの滑走場は長距離兵器の基地となり、現在既にベルゲン北方の標高五千二百呎の高地にある二基地は使用されてをり、トロントハイム北方にも基地が存在するといはれてゐる、更にドツト工作隊員が極秘裡に數十平方哩の基地建設に當つてゐるとも傳へられてゐる、ドイツ軍が發射基地として高地を選んでゐるのはV一號のためか乃至はV二號のためか明かでないが、恐らくかかる高地に設けられた基地はV三號用として使用され、ドイツ軍はこれによつて本年末までにニユーヨーク並びに米國の東海岸を攻擊する意圖ではないかと見られる、以上の報道は八日米國空軍省が時速三千哩、射程距離二百哩に及ぶV二號の性能について詳細な發表を行つた直後に傳へられたものだけに米英國民に少からず衝動を與へてゐる樣子であり、特に去る二日ストツクホルムからの一情報がシユペアー軍需相の言明としてドイツ軍は十二月末までにV三號をもつてニユーヨークを攻擊する用意を整へてゐる旨傳へてゐる事實からして、英國民のV三號に對する恐怖心は今回の報道によつて一段と深刻化するものとみられる

特輯

武器貸與更改と米英經濟關係

木下秀夫

貸與新協定成立

ケーンズを首班とする英國經濟使節團はワシントンで米國政府當局との間に、米英兩國の戰時經濟關係調整につき交渉を重ねてゐたが、この交渉の結果は去る十一月三十日米英武器貸與協定の更改となつて現はれ、新協定の內容は英國首相チヤーチル及び米國武器貸與特別委員會によつてロンドン、ワシントン兩首都で夫々同時に發表された

今回の米英經濟交渉が、遙か以前卽ち去る九月のケベツク會談にその端を發してゐることは米英兩國の發表で明らかにされてゐるが、この會談のときチヤーチルはルーズヴエルトにたいして率直に英國の直面してゐる經濟的困難を訴へ、武器貸與以外に、戰時、戰後を通じての英國の經濟再建のため巨額の借款（その額は五十億弗ともいはれる）を申込んだらしい、武器貸與以外に英國が何故かかる特別借款を必要としてゐるかについては十分の理由がある、それは米英武器貸與協定においては、米國から英國に供給される物資は、嚴密に軍需品ないしは戰時下の英國が國內經濟維持のために絕對に必要とする物資のみに限られ、英國は武器貸與品は勿論、たとひ英國內で生產される品物でも武器貸與品と同一範疇に屬する物は海外輸出その他には流用し得ない取極めとなつてゐるしかるに英國經濟はその性格からして海外市場を度外視しては絕對に成りたたない、これは戰後は勿論のこと、米國から大きな經濟援助を受けてゐる現在においても多かれ少かれ適用し得るところで、これ米英兩國の間に屢々英國の武器貸與再輸出が問題となる所以だ、今回の武器貸與協定更改の重大因子の一つがこの點にある

對英借款問題

英國消息筋の觀測によるとケベツク會談でチヤーチルの借款申込みを受けたルーズヴエルトは大體これを承諾したらしい、現にケーンズのワシントンにおける經濟交渉も、その第一段階では武器貸與協定の更改よりも、重點が借款交渉におかれたことは明らかだ、これを最初にかぎつけたのが「ウオール・ストリート・ジヤーナル」紙で、同紙は米英兩國代表によつて約五十億弗の借款交渉が進められてゐると素破抜いて米英兩國の政財界に大きな反響を與へた、左に揭げるのは十一月十六日の英國新聞「ファイナンシヤル・タイムズ」紙が轉載した「ウオール・ストリート・ジヤーナル」紙の記事だが、この記事は右の素破抜き記事のあとで書かれたもののやうだ

「米英兩國代表は五十億弗の對英戰後借款を協議中だが、これは英國の國際貸借の均衡維持を助ける目的のものである、米國當局は米國の對英武器貸與が打切りとなる直後こそ英國經濟の危機であり、英國の國際貸借の均衡を維持してやることが絕對に必要だと痛感してゐるやうだ、交涉中の戰後借款はブレトン・ウツヅで提案された世界銀行の活動の範圍外におかれるものである、また米國輸出入銀行の融資限度も現在の七億弗から五十億弗への擴大が考慮されてゐるやうだが、この輸出入銀行の融資とも別口だ、米國政府當局の見解ではたとひ輸出入銀行の融資限度が思ひ切り擴大されたにしても、一般的な國際操作改善のためにはただの一國にたいする融資にも充分でないとされてゐる、ルーズヴエルトは多分この對英借款の承認を議會に要請することとならうが、この他さらにソ聯、フランスその他の反樞軸諸國に對する借款も議會に付議されるかも知れない、當局の語るところによれば、今度の對英借款交涉において、米國代表はこの借款の元利支拂ひは英國のあらゆる負債に優先すべきだと主張してゐるやうだ」

危險なる借款

「ウオール・ストリート・ジーヤナル」紙は更に曰く

「しかしながら、英國の對外負債の現狀をみる時かかる對英出借款はたしかに冒險的な措置と見做

昭和十九年十二月十三日（水）
第三二六九號
同盟通信
海外電報
（第三種郵便物認可）

さなければならない、融資の相手としての英國は安全な對象であるかも知れないが、英國は既に債權國としての地位を喪失したばかりか、その對外市場の大部分をも失ひ、破産したとさへいひ得るたとへていふならば、英國は今一時的ながら非常な窮境に陷つた會社であり、米國はこれに多額の融資を行つた銀行である、そしてこの銀行はその投資を救ふために今また新たに五十億弗の融資を行はんとしてゐるのだ

米國自身の不況を避けるためには、米國はその商品の購買國としての英國を確保しなければならぬ、さらに世界の平和を維持する如何なる世界機構にとつても、强力にして繁榮する英國の存在が絶對に必要だ、ただ五十億弗といふ巨額の借款を行ふ場合は、第一次大戰における英國の對米債務がどうなつたかといふ思ひ出を清算しなければなるまい、英國のこの戰債は最初は四十二億七千七百萬弗だつたものが、今では六十二億六千三百萬弗にもなつてゐる

ふかみにはまつた米國

「ウオール・ストリート・ジヤーナル」紙が指摘するまでもなく、普通の商取引の原則を適用するならば、この際英國に對する巨額の融資はたしかに冒險的な投資である、英國自身が現に破産に瀕してゐることを告白してゐる、十一月二十八日に發表された英國政府のいはゆる破産白書がこれだが英國は米國の警戒心を增させるために、かかる思ひきつた白書を發表したわけでは決してないむしろ逆に、米國の弱味につけこんで、放つておくと英國は破産するぞ、破産するぞとおどかしつけ、これによつて米國が嫌でも應でも英國救援に乘出さずにはゐられないやうに仕向けるのがその眞の目的であらう

しからば、米國の弱味とは何か、卽ち米國が英國との經濟關係では全くのふかみにはまりこみ、二進も三進もゆかなくなつたことである、例へば不良商社に焦付債權を有する銀行が、その商社の破産によつて共倒れとなることを恐れ、危險とは知りつつも、さらに不良貸付を重ねると同樣、米國も「ウオール・ストリート・ジヤーナル」紙の言葉を藉りれば「その投資を救ふため」或ひはまた「米國自身の不況を避けるため」この際どうしても英國の窮境を救つてやらねばならぬ立場におかれてゐる、米國政府當局が米國自身の利益のためにも英國救濟の必要を認めてゐることは明らかだ、ルーズヴエルトが最近議會に送つた第十七次武器貸與報告において、米國が英聯邦諸國から受けてゐる逆貸與にその重點をおいたのもこの表はれである、更に議會には、政府系議員によつて對米戰債支拂不履行國に對する融資を禁止したジョンソン法廢棄法案が提出されてゐるし、財務省當局は既に公然と同法の廢棄を主張してゐる位だ

武器貸與改更で妥協

かかる事情の下に、ルーズヴエルトはチヤーチルの要請を承諾したのであらうし、また米英經濟交涉では米國の對英五十億弗借款が具體的に協議されたのであらう、しかるに米國政府の前には恐るべき强敵が現れた、議會及び産業界の反對がこれである、對英借款交涉が米國新聞によつて素破抜かれるや、議會は直ちに明確な反應を示してこれに絕對反對の態度をとつた、米國の産業界、就中英國産業と競爭的立場にあり、從來も英國の再輸出問題を取りあげて武器貸與にさへ反對してゐた米國の貿易業者がこの借款に反對したことは勿論である、この形勢を見てとつた米國政府は對英借款は遂に斷念すべきであるとの結論に到達したやうだ、この間の事情を十一月十七日の英國新聞「ファイナンシヤル・タイムズ」紙が次の通り報じてゐる

財務長官モーゲンソーは新聞記者團會見で次の通り言明した、「米國政府の代表者は英國經濟使節との間に、歐洲戰終了後の對英武器貸與に關し交涉を進めてゐる、交涉の中心點は武器貸與の「第二段階」であり、卽ち英國が對日戰に積極的に參加するための軍需品の供給である、しかし對英借款の如きは交涉の埒外である、何故なら議會の承認を經ずしてかかる借款を行ふ權限は政府に與へられてゐないからだ」

モーゲンソーのかかる言明にも拘らず、他の政府當局者は政府が現實に對英借款を考慮してゐることは事實であり、但しかかる借款を行ふ場合には立法行爲が必要であると述べてゐる

卽ち、モーゲンソーの否定にも拘らず米英兩國間に借款交涉が行はれたことは事實であり、米國政府も對英借款供與を希望したが、新借款は立法行爲を必要とする關係上、結局議會の承認を必要としない武器貸與協定の更改で妥協したのであらう

武器貸與特別委員會の發表

今回の米英武器貸與協定更改に關する兩國政府の發表はロンドンでは首相チヤーチルがこれを下院に報告し（海外電報十二月二日號參照）米國では武器貸與特別委員會の聲明となつてゐるが、左に右委員會の聲明內容を紹介しよう

「今次戰爭の全期間を通じ反樞軸諸國間の武器貸與並びに逆貸與は、日獨兩國に對する戰ひの作戰に順應して時に應じ檢討が加へられてきた、今回米英兩國陸海空軍その他關係機關の代表者間に行はれた交涉においても、武器貸與の運營について檢討が加へられ、ケベツク會談で決定された作戰を遂行するために必要とされる武器貸與及び逆貸與が協議された

大統領ルーズヴエルトは「日獨兩國の無條件降伏を實現するまで、われわれは反樞軸諸國の綜合的攻擊力が敵に對して最も壓倒的且つ最も效果的に發揮されるよう武器貸與を續けなければならない」と述べたが、武器貸與及び逆貸與がこの原則に從つて續行さるべきことは斷るまでもない

一九四一年三月武器貸與法成立以來、これの目的はたつた一つであつた、米國の國防及び反樞軸諸國をしてその人的、物的資源の全部を共同の敵との戰ひに注ぎこましめることとこれである、この方針には今後何等の變更も加へられないであらうかくの如く、武器貸與はそもそもの始めから戰爭に直接關係ある事項にのみ限定されてゐる以上、武器貸與品が商業的な再輸出に供されたことは一度もなかつた、しかしてこの方針もまた今後何等變化なく繼續されるだらう、英國政府は既に一九四一年九月に發表した白書において、米國から武器貸與品として受取つた物資は商業的な再輸出には流用しないことを明らかにしてゐるが、この原則には何等の變更も加へられないだらう

再輸出制限撤廢

しかしながら、一度び歐洲戰が終了した曉には英國はその後の戰爭事情が許す限り、武器貸與品以外の物資並びに英國において生產される物或ひは米國から現金支拂ひをもつて購入した物を輸出することは何等差支へない筈である

英國に對する武器貸與は歐洲戰終了以前においてもある程度削減されることとならう、卽ち一九四五年一月一日以後は、鐵及び鋼鐵の如き物資を含み從來武器貸與によつて米國から英國に供給されて來た一定の原料物資及び半製品はその供給が停止されることとなつた、この結果英國は當然一九四一年の白書によつて規定された再輸出禁止の制限を免れるわけである

米英兩國政府は出來得る限り、兩國の輸出業者が戰爭の事態を利用して不當に有利な立場を獲得することを防止すべく努力するであらう、今回の交涉を通じて明らかだつたことは、歐洲戰終了の直後のある期間、現在の武器貸與額を直ちに半減することは英國を大いに苦しい狀態に追ひこむだらうといふことであつた

歐洲戰終了後、米英兩國は日本の可及的速やかな擊破を實現するに必要なあらゆる戰力を動員するであらう、しかしながら、これと同時に米英兩國は、歐洲戰終了から太平洋戰終了までの期間、妥當な基礎に立ち緊急民需品の生產のため、その國力の一部を軍需から民需に轉換し得るであらうかかる部分的且つ妥當な再轉換の結果、米英兩國民は勝利の日の近づくと共に、戰時中の困難な生活を幾分でも緩和することが出來よう

武器貸與ならびに逆貸與が純粹に軍需の範圍內にとどまる以上、全世界を通じての戰後貿易問題は今次交涉の範圍には入らなかつた、貿易問題をはじめ、その他の戰後問題を解決するためには、あらゆる反樞軸諸國の經濟的、財政的協力が必要である

昭和十九年十二月十三日(水)
第三二六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

イラン石油問題と米英の反響

原子林二郎

重なる縺れ

ポーランド問題と並んでソ聯の外交政策で米英言論界の最も大きな話題となつてゐるのは、イラン石油問題だ、イラン國會は十二月三日政府が外國と石油利權を交渉することを禁止する法案を一瀉千里で可決したが、これはサエド內閣に代つて登場したバヤート內閣がソ聯の强壓に屈服しないやうにといふ豫防策でもあり、傍らバヤート內閣がソ聯の要求に對抗する口實ともなる一石二鳥の妙案であることはいふまでもなく、これでイラン石油利權問題を繞る結び目の縺れが新たに一つ增えたことになる、ソ聯がイラン北部における石油利權を要求する際、前外務人民委員部の中東局長で現外務人民委員部次長であり、且つイラン左翼分子の間に隱然たる勢力を有するグルジヤ出身のカフタラーゼ（スターリンと同鄉だ）を派遣した點からみても如何にイラン政策に愼重を期してゐたかが窺ひ知られるが、今日交涉の結果とその後の成行から判斷すると、ソ聯のイラン政策が失策といへぬまでも幾つかの誤算を犯してゐたことをさとることが出來る

第一にソ聯はイランのソ聯に對する依存度を過大評價して、イラン支配階級の支柱をなす米英金融資本の影響力を過少評價したことだ、周知の如くイランには米英石油資本が深く根を張り、おまけに米英兩國の財政技術顧問と稱する手合がイランの內政に事々に干涉してゐる、特にソ聯が利權を要求したイラン北部は米國スタンダート石油會社が一九二一年以來繩張りと自他ともに許してゐたところである、從つてソ聯がイランに石油利權を要求したことは、とりもなほさず米英兩國に石油利權を要求したことになるわけである

妬刄を合す

第二にソ聯のイランに對する要求は一見經濟上の問題に限定されてゐるが、實際には政治上の底意が含まれてゐる、十一月四日附の「イズヴエスチヤ」紙に揭載されたスヴエトロフの論說（「海外電報版」二六三、資料欄參照）でも明かなやうにソ聯のイラン政策はカフカズ國境特にバクー、バツームの安全保障を足場としてゐるのだ、他方ソ聯のイラン進出はイラン、イラクにおける英國の石油支配を脅威するばかりでなく、半世紀に亘つて地盤を固めてきた英國中東の牙城に楔を打ち込み、更に英國のインペリアル・ルートに匕首を擬すに等しい、また米國にしてみれば世界石油支配の跳躍臺を爲に攫はれるやうなもので、戰後市場の植民地に强敵の影をみたことになる、從つてたとへイランがソ聯の要求に膝を屈しようとしても米英兩國がうんといはないのは當然過ぎる程當然であり、またそのためにこそソ聯も米英兩國には事前に圖らずに强引なイラン政府攻擊の電擊戰に出たのであらうが、イランの兵器庫の反擊力を計量することを過つた

約言すれば石油利權を繞るソ聯とイランの係爭は、現象面では以上の兩國のみに關係する事件で米英兩國言論界が傍からわいわい騷ぎ立ててゐることになつてゐるが、實際にはソ聯對米英兩國の爭ひであり、且つソ聯と對抗する限り米英兩國は共同戰線を張つてゐるが、蔭ではお互に妬刄をあはせてゐるといふのが實相といふことにならう

小國の主權

ソ聯のイラン政策に對する米國輿論を最もよく代表するものとみられるのが、元國務次官のサムナー・ウエルズのそれだ、ウエルズは十一月十五日の週間ラジオ評論でソ聯のイラン政策を語勢鋭く攻擊してゐるが、ウエルズの反ソ傾向を割引して考へても關心に價する、左に要旨を紹介しよう

「ソ聯のサエド內閣更迭要求は常識で考へても不當といふほかはないが、イラン問題は國際組織におけるソ聯の將來の役割を示唆する點で極めて重大問題と化す惧れがある、イランがいままで米英兩國の利權要求を許可したのは、兩國の提示した條件をイラン政府が有利と考へたためとみられるが、ソ聯の要求を拒否したのはソ聯の條件が遙かに苛酷なためだ

ソ聯の條件には支拂方法乃至支拂額を暗示する條項すら含まれてゐなかつたといはれるが、ソ聯が卽時承認を嵩にかかつて要求するのに對して、サエドが戰後まで利權を云々することを拒絶して、板挟みの窮境から逃れようと圖つたのも無理がない、イラン石油問題は反樞軸陣營内の大國間の關係を危殆に瀕せしめるていの紛爭を惹起させてはならない、各國は自治自決の權利を有してゐる筈だから、イランも外國に石油利權を許與するとせぬと、或ひは戰後まで利權の審議を延期する當然の權利がある、ソ聯もまた隣邦政府に友好協力關係の維持を要求する權利があるが、さればといつてソ聯の求める利益の一切に讓歩せよとまで要求する權利はない筈だ、またソ聯は利權を許與しないからといつてサエド首相の放逐を強硬に要求する權利はなほさらない、米國はこの際あらゆる國家の主權上の對等といふ原則をあくまでも支持する必要がある」

中間の解決

ウエルズの主張を貫く根本思想はソ聯がイランに進出する權利がないといふことだ、つまりイランから手を引いて、米國の既得權益を侵すなといふ蟲のいい要求である、ウエルズはソ聯が小國の主權を侵害してゐるのは一應當るが「イズヴエスチヤ」紙が剔抉したやうに米軍のイラン不法駐屯は棚にあげてソ聯の强壓策を攻撃してゐるのは、米國石油資本主義の露骨な代辯とみるべきだ、特に元國務次官ともいふべき人物が「イランは米英兩國の條件を有利と認めながら、利權を供與したのだ」と公言するに至つてはまさに噴飯ものだ

ウエルズのソ聯攻撃はあまりにも露骨で、米國の内懐を簡單に見透かされるほど「素朴」なものであつたため、慌てたのは米國支配階級の代辯機關だ、たとへば「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は十一月十九日の社説でウエルズの意見をとり上げて、次の通り批評してゐる

「イラン問題に關するウエルズの論調は、彼としては珍らしいほど激越なものだが、實際の事態を碌に知りもしないでウエルズの尻馬に乘る手合の多いのは全く困る、ウエルズはソ聯の遣り口が國家の主權と對等の權利を侵害してゐるといつてゐるが、無責任な連中は極端な言辭を弄してをり、事件そのものはポーランド、バルカンに對するソ聯の政策が既に醸成した疑惑を一段と深めてゐるのだ、ウエルズの批判が正しいかどうかを遽かに斷定することは出來ないが、すくなくとも彼は本質的な問題に關するソ聯外交政策の一面に對する米國の不安を焼きつけたとみることが出來よう、本質的な問題とはほかならぬ將來の世界における小國の占めるべき眞の地位だ、しかもこの問題は漠然とした感情の赴くままでなく現實主義的な態で冷靜に採り上げられねばならない

今日ダンバートン・オークス會談に關して二つの異つた見解がみられる、一はウエルズが代表するもので同會談は諸大國が共同で、平和を確保し諸小國は對等の主權國家として世界の經濟、社會問題の平和な解決に參與出來るやうな組織を求めるにあつたとするのがそれだ、もう一つの見方はダンバートン・オークス會談は大國が隣接諸小國に對する勢力圏を擴大するための外被に過ぎないといふ皮肉なものだ、皮肉屋達はソ聯が强力で獨立したポーランドの存在を希望すると宣言した時にソ聯の肚をいろいろに忖度する、ところが理想家達は小國の「主權」が侵害されるのを默視することが出來ない、しかるに兩者共われわれの直面する實際上の必要に合致しないことを御存知ないソ聯は人一倍多くの小國問題に直面してゐるため自然實際的な態度をとらざるを得ないのだ、ソ聯のいふ强力で獨立したポーランドは、同時にチエツコスロヴアキアのやうに友好的なポーランドでなければならないのである、後者は必然的に前者を制約する、從つて實際的な解決はポーランドの完全な服從と完全で何等の拘束も受けぬ主權の維持と中間になければならない、しかるに誰もかかる解決を提案しないので、ソ聯は獨自の立場で解決しようとしてゐるのだ

話せば判る

イランの地位は甚だ明確を缺くが、既に外國の保護下にある脆弱で腐敗した無智な政府が偶々莫大な石油資源を有してゐる場合、單なる理屈張つた主權の主張の他に解決の途がなければならない

昭和十九年十二月十三日（水）
第三二六九號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

或ひはソ聯のイラン政策は正當でもなければ健全とはいひ難いものかも知れない、だからといつて民主々義政府や評論家が漠然と雜音を立てて時折モスクワの肘を叩いたところで、ソ聯の政策を指導するがつちり屋の紳士達はびくともしまい、難關はソ聯が隣接諸小國に關しては何等かの行動を必要とされてゐるのに反して、民主々義諸國特に米國は何等かの行動に出ようとする氣配をてんで示さぬことにある、ソ聯は隣接諸國との間に政治上の眞空地帶を殘して置くことを望まないが、それは米國も同じことだ、ソ聯は自らの希望をよく知つてゐる友好國とはいつでも話し合ふに吝でないのだが、米國民は勿論政府もイランをどうしたらよいか全然わかつてゐないのだ、米國民はボーランド問題に關するソ聯の解決方式に不安を感ずるが、さればといつて對案を出す譯でもない、しかし解決の途は立派にある

ウエルズの見方は米國の利害のありかを示した點で大いに貴重とすることが出來る、もしも米國はソ聯があまりにも小國の統一を攪亂した結果所期する自國の安全を確保出來ないと考へたならばソヴエト政府に率直にさういつてよい筈だ、またソ聯は自分の遣り方が洋々たる前途を拓くものだと考へるならば、米國政府にむきつけにそういつて差支へない、ここに現在の疑惑と不安を一掃する解決の鍵がある」

以上ヴエルズの見解と「ニューヨーク・ヘラルド・ドリビユーン」紙の見解は米國のイラン政策をそのまま代表するものだ、前者は小國に對する不干渉政策を唱へ、後者は大國間の關係を危殆に瀕せしめぬため小國に干渉する必要を說いてをり一見兩者の見解は根本的に相違するかの如くみえるが、必ずしもさうでない、ウエルズはイランにおける米國の利益を保護し確保するために不干渉政策を提唱し「ヘラルド・トリビユーン」紙もイランにおける米帝國主義の橋頭堡を維持するためイランに對する干渉において米ソ兩國間で話し合ひをつけようといふので、方法論においては相違するが目的は一つだ、しかも「ヘラルド・トリビユーン」紙がイランにおける米ソ兩國の關係にのみ力點を置き、英國との關係については一切觸れてゐないし、また觸れるのを避けてゐることは注意してしかるべきことと思はれる

攻城砲の的

半世紀にわたつてイランにおける帝國主義的支配の惰眠を貪つてきた英國が、イランに對するソ聯の「經濟」攻勢に直面して極度に狼狽したことは想像に難くない、英國政府は米國のやうに利權供與問題の決定を戰後まで延期するとしたイラン政府の態度を公式には支持してゐないが、言論界の論調から判斷する限り、この點では米國と共同步調を採つてゐることは明瞭であり、前イラン首相サエドがソ聯に對する回答を發するにさきだちテヘラン駐劄英國大使を通じて英國政府の意向を打診したと解すべき十分の根據がある

いづれにしてもソ聯の石油利權要求は大袈裟にいへば英國中東の牙城に攻城砲の砲先を向けたことになるが、英國保守派を代表する「オブザーヴア」紙はイラン問題に關聯して十一月十二日次の通り論じてゐる

「モハメド・サエドの退陣はソ聯、イラン兩國間の石油紛爭に終止符を打つものではなく、後繼內閣が既定の方針を變更するとは考へられない、ソ聯とイランの紛爭は單に兩國だけの關係に限定されるものではなく、英ソ兩國のみならず或程度米ソ兩國の關係にも多大の影響を及ぼさずにはおかない、ソ聯はイラン政府が戰爭中外國に石油利權を供與しないといつた舌の乾かぬうちに、ソ聯の最も關心を寄せてゐるイラン北部で米國商社へ利權を供與してゐるといつて攻擊してゐるが、米國政府は否定も肯定もせずに曖昧な態度を採つてゐるやうだ、ソ聯外務人民委員部は以上の事實に基づきイラン政府に一九二一年のソ聯・イラン條約の侵犯を指摘する覺書を手交したが、同條約の第十三條によれば、確かにイランは舊ロシアの勢力圈であつたイラン北部において外國商社に利權を供與しないことを誓約してゐる、ソ聯はこの諒解に基づいて一九〇七年以來の勢力圈を放棄して、報償も要求せずにイラン北部における帝制ロシア時代の遺產の一切をイランに引渡したのだ、そこでソ聯はイランが一九二一年の條約を侵犯するならば、ソ聯もまた嘗ての地步を回復し、イラン北部をソ聯の勢力圈と見做す當然の權利があると主張してゐるのである

これに對しイラン政府はソ聯がテヘラン宣言を無視して、イランの内政に積極的に干渉し、テヘランの外に駐屯する赤軍がソ聯の要求を支持するイラン人民黨の示威運動を保護するためテヘラン市内に闖入したと不平をいつてゐる」

米が種播き

「オブザーヴア」紙が今回の石油紛爭の種を播いたのが米國だと泣言を並べてゐるのはある意味で面白いが、「タイムズ」「マンチエスター・ガーデアン」の兩主要紙はイラン石油紛爭の重要性を率直に認めて、米英ソ三國間の「商議」による和協を提唱してゐるのは英國政府の意向をそのまま反映したのとみるべきであらう、兩紙の論調を紹介すれば次の通りだ

「タイムズ」紙十一月三日附社說「イラン石油問題」＝多年に亘る英國の政策や最近における米國の例に倣つてソヴエト政府が中東の石油資源に積極的な關心を示したことは別に驚くに當らない、米國と同樣ソ聯も大石油生産國だが、最近ソ聯全土で實現されてゐる工業化の規模から判斷すれば自國の石油資源だけでは不十分で、他に供給の途を求めるのは恐らく當然であらう、從つてソヴエト政府がイランに對して石油利權の供與を求めたのは理解出來るし、利權交涉を戰後まで延期する特別の理由は全然ない、ただ遺憾とすべきことはソ聯があまりにも利權獲得を急ぎ過ぎてソ聯、イラン兩國關係を破局に導いたことと、ソ聯の盟邦であり且つ戰時下にイラン領土を共同で占領してゐる國家に對し事前に何等相談を持ち掛けなかつたことだ、ソ聯、イラン兩國政府間に持ち上つた事態の詳細は明らかにされてをらず、また信賴するに足る論評もまだ見受けられないが、いままで再三繰り返されてきた意見を重ねて强調する必要が十分にある、もしも將來の重大困難をあらかじめ回避しようと望むならば、米英ソ三國は直接間接に關心を持つ問題乃至國家に關聯することでは一國單獨か兩國だけの話し合ひで行動を起さぬことが肝要である、三國間で話し合ふといふ不文律が無視されたのはイラン石油問題が最初のことではない、最近米英兩國間で行はれた石油會談は主として中東に關聯するものでつあたにも拘らずソ聯に參加を招請してゐないが、これが今回の極めて不自然且つ不合理な紛爭の禍根となつてゐることを率直に認めねばなるまい、かかる失策は反樞軸陣營の團結を弱めるばかりだ、イラン問題の危機を解決するためにはどうしても米英ソ三國政府間で腹藏なく意見を交換する必要がある

石油の海峽

「マンチエスター・ガーデアン」紙十一月十一日附社說＝二十世紀においては英ソ兩國はもはやダーダネルス海峽問題で啀み合ふ必要がない、五年ばかり前にはソ聯の輸出に對して海峽を封鎖し、東地中海から英國の海運を閉め出すことは、兩國にとつて最大の打擊であつたが、今日においてはかかる不都合なことは行はれる氣づかひがない、英ソ兩國とも依然としてトルコの友好的態度を歡迎し希望してゐるが、海峽問題はもはや存在しないにひとしい、しかるに二十世紀の海峽問題はイランだ、イランは兩大國の急所であり、イランを繞る誤解と紛爭は英ソ協力關係を破產させる危險がある、曾ての英露協商は兩國間でイランを分割する事態を招來したが、その結果不斷に紛爭が惹起され、時には協商を危殆に瀕せしめる危險すら生じた、今日イランは兩國にとつて重大問題と化すに至つてゐる、英國はペルシヤ灣の海軍基地を確保し、英帝國復興の自由行動を保障しなければならない、他方イランはソ聯の大工業地帶と大油田地帶の裏口となつてゐる、さらにイランの鐵道を發達させるならば、イランはソ聯にとつて海洋への重要な出口となるであらう、かくの如くソ聯はイラン北部における軍事上の安全を確保するばかりでなく、イラン鐵道を無制限に利用する必要がある、勿論英國もソ聯もイランを支配する氣はなく、併合する希望なぞ毛頭ない、兩國にとつて必要なことは一切の脅威から解放された消極的な安全保障を得るにある、イランを繞る消極的な協定は現在の英ソ提携の最初の果實だ、この協定に基づき英國はイラン北部に軍隊を送らず、ソ聯もペルシヤ灣に近付かぬことになつてゐるが隣接する二大國間に挾まれた緩衝國はとかく紛爭の種となり易いものだ

昭和十九年十二月十三日(水)
第三二六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

經濟上の助言や援助なしにはイラン政府は遲かれ早かれ倒壞し暴力と無政府狀態を現出するのは必然であり、兩國のいづれか一方が他の嫉妬から出た疎隔工作に干渉しなければならなくならう、從つてイランの安定と繁榮は英ソ兩國の共同目的でなければならない、これは別にイランの獨占的支配を意味するものでもなければ分割を意味するものでもなく、イランの經濟生活を向上させるのが英ソ兩國の共同の責任であるといふことだ、兩國ともイランから手を引きたいのだがイランが獨り立ち出來るまではさうする譯に行かない、英國はテヘランを英國外交の最重要前哨と見做し、同地の英國外交代表は不斷に英ソ協定の强化に努めなければならない、蓋し英ソ協力關係は歐洲平和の鍵であり、イランは英ソ協力の鍵だからだ

石油の曖氣

英國言論界の主流がイラン問題に關する米英ソ三國の話し合ひを要望してゐることは以上兩紙の論調で明らかだが奇怪なことには過般のモスクワ會談でイラン問題が俎上にのせられなかつたことだ、スイス通信社のロンドン電報が十一月十七日報ずるところによれば、スターリンもチヤーチルにも石油のことは曖氣にも出さなかつたといはれるが、石油の曖氣は臭いからでは濟まされない、もつともモスクワ會談には米國が參加してゐなかつたからといへばそれでも通るが、英國輿論が盛に三國會談の開催を要望してゐるにも拘らず、一向にその動きがみられない、とすれば如何に話し合ひを要望しても英國が依然としてイランの現狀維持を希望してゐることは明瞭だ、またソ聯にしても專らイラン人民黨に働きかけて、政府の方針に反對させてゐるが、積極的に問題を解決しようといふ氣組を示してゐない

他方イランもソ聯の內政干涉を云々して小國の主權尊重を要求してゐるが、米英資本主義に倚りかかる支配階級のイランに主權がある筈はない、イラン問題の今後の動きを豫想することは不可能だが現狀維持を望む米英兩國と「現狀打破」を望むソ聯とが、將來最も露骨な形で衝突するまでイラン問題の最終的解決は不可能であらう

資料

米國務省新陣容

米國大統領ルーズヴェルトは四日前駐日大使ジヨゼフ・グルーを國務次官に、ネルソン・ロツクフエラー、アーチボルド・マツクリーシユ、ウイリアム・クレイトンをそれぞれ國務次官補に任命したが、右四名の橫顏を紹介すれば次の通り

ジヨゼフ・グルー 本年六十四歲、ボストンの富裕な家庭に生れハーヴアード大學卒業と同時に外交畑に飛び込み、一九〇四年カイロ駐在領事代理を振り出しに二年間同地で勤め上げ、一九〇六年三等書記官としてメキシコ・シテイーに轉任、翌年セントピータースブルグ、卽ち現在のレニングラード駐在となつたが、在任一ケ年で二等書記官となりその後ベルリン、ウイーンなどの大使館付となり、第一次大戰後本省詰めとなつて西歐洲局長代理に就任した、ヴエルサイユの平和會議には隨員として參加、後パリ駐劄米國大使館參事官からブリユツセル、ベルンの公使を歷任し一九二七年から三二年までトルコ駐劄大使、同年から大東亞戰爭勃發まで駐日大使の任にあつた、グルーが九ケ年の長きに亘り日本に在任したことは、それ以前の十一ケ年間に六回も駐日大使が更迭したことと照し合はせて面白い對照をなしてゐる、グルーは歸國後全米各地で講演を行ふ一方、歐洲、支那、濠洲等に對しても放途を行ひ、對日戰意のかり立てと、こぢつけた米國の戰爭目的のおしつけに努力してゐるが、一九四二年十月二十七日にはニューヨークで演說を行つていはく

われわれは戰鬪で敵を悉く擊滅し、無條件降伏を獲得するまで安んじてはならない、なまじつかな和平は、たとへ一時的には如何に魅力的であつても、所詮はわれわれの重大な任務を中途で挫折せしめることとなるのだ、萬一われわれが戰爭に疲れて最後の目的貫徹に失敗すれば、われわれの子々孫々までも苦難が續くことを覺悟しなければならない

グルー夫人は嘉永五年「黑船」を率ゐて日本に開港を迫つた例のペルリ提督の孫娘である

ネルソン・オールドリツチ・ロツクフエラー　財界の巨頭ジョン・ロツクフエラーを父とし、一九〇八年七月八日メーン州バーハーバーで生れた本年いまだ三十六歳の若さだ、一九三〇年ニユーハンプシヤー州ハノヴアーのダートマス大學を優等で卒業した後、外國に留學し、音樂、詩、彫刻建築などを學んだ、一九四〇年八月以來米洲通商文化調整委員長として中南米諸國に對する經濟關係並びに情報關係の仕事を擔當したが、特に文化部門に力を入れた、ニューヨーク博物館の近代美術部長をも兼ねてゐたが、對米洲關係の仕事に沒頭すること二十ケ月これがあまり多忙なため美術部長の方は辭職せざるを得なくなつた、一九四四年五月十四日號の「ニューヨーク・タイムズ・マガジン」に「善隣政策の成果」と題する論文を發表したが、彼の提唱した汎米機構は米洲關係の危機に際し米國が對中南米政策推進の足がかりともなり、漸次米國民一般の間に強力な支持をかち得るに至つた、彼の主張は米洲諸國の主張を尊重し各國の國内問題に對しては不干涉の原則を守り、米洲諸國が共同行動をとるか否かを決する場合は相互に諮るとの原則に從ふといふのである、しかし表面かかる立派な題目をかかげながらその實中南米諸國に侵略的政策を遂行してゐることは周知の通りだ、今後も彼は中南米諸國の仕事を擔當することとなつてゐる

アーチボルド・マツクリーシユ　本年五十二歳ハーヴアード大學の法學部卒業後、第一次世界大戰に砲兵大尉としてフランスに出征した、歸國後一九二三年まで辯護士を開業してゐたが後轉向して詩作に專念する決心を固め、一家を擧げてパリに移住し數ケ年間同地に住つた、彼の著作は批評家の間にも極めて好評で、社會問題を鋭く分析することを得意とする、スペインのコルテツが一五二五年メキシコを制覇した經緯を叙した叙事詩、「征服者」によつて彼はピユーリツツアー賞を貰つてゐる、一九三九年ルーズヴエルトから議會圖書館長に任命され、當時既に世界最大を誇つた同圖書館を更に擴張し、文化的並びに歷史的資料を蒐めた、一九四一年十月には資料統計局長官をも兼任し、更に一九四二年六月政府の全情報機關が戰時情報局に統合されるや同局次長に就任した、しかし一九四三年一月、圖書館の仕事に專念するため戰時情報局を去つた、現在彼は各所で講演もすれば雜誌にも寄稿してゐる、國務次官補として公共關係並びに文化部門を擔當する豫定である

ウイリアム・クレイトン　テネシー州ジヤツクソンの生れ、本年六十四歳、十四歳で裁判所の速記係りとなつたが、後ニューヨークの棉花會社に入社、一九〇四年オクラホマシテイーで二人の仲間と共同出資で「アンダソン・クレイトン商會」といふ棉花會社を創設したが、これが當つて同商會は終に米國最大のものとなるに至つた、現在は本店をテキサス州ヒユーストンにおき支店は全世界に散在してゐる、一九四〇年政界に入りいろいろの地位についたが、一九四二年ジエシー・ジョーンズの商務長官時代に次官補となつた時が最も華々しかつた、米國の軍需生産が最高度に達して餘剩物資が出るにおよび、政府はこれの處理監督を行ふこととなり本年二月彼を餘剩物資調整局長官に任命したが、クレイトンは前國務長官ハルの提唱した互惠貿易案を支持し關稅障壁の全般的引き下げを主張してゐるが最近次のやうな體裁のいい言明を行つてゐる

もしわれわれが民主的機關を維持せんとするならば戰後の世界は、外からの攻撃を受けることがないやうに組織さるべきであり、また全世界の國民が世界を市場とみなし得るやう經濟障壁を引き下げなければならない、かくのごとく組織された世界においてはすべての者に就職の機會が與へられ、また生活水準の高揚と自由の達成維持を希望するすべての者がこの希望を充すことが出來よう

クレイトンは次官補就任後對外經濟問題を擔當することとなつてゐる

くとと五年十月廿七第三種郵便物認可　　東京都麹町區日比谷公園二番　　國際報人　同盟通信社

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號

同盟通信
海外電報

(286)



「フイラデルフイヤ・インクワイヤラー」紙は社説において不干渉政策に關するステチニアス國務長官の聲明を取上げ「米國政府は英國の干渉を非難してゐるが、東歐洲におけるソヴエト政府の施策に言及しないのは何故か國務長官は英國だけでなくソヴエト聯邦をも問題にしてゐたに違ひないが、もつと思ひ切つてソヴエト政府に言及しなかつたのは遺憾である」と痛いところを突いてゐる「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン支局長クリフトン・ダニエルスによれば、ソヴエト政府は一切沈默を守つてゐるが、ステチニアス國務長官の聲明には内心全幅贊成で、ただ米英ソ三國の足並を亂すのを懸念して英國の勢力範圍については傍觀してゐるのだといふ、第三國が不干渉政策を强調するのは大贊成だがソ波兩國の紛爭に不干渉政策が適用されるのかどうかを固唾をのんで見守つてゐるとダニエルス君は報道してゐるわけだ、ルーズヴエルト大統領が脫兎の如き勢ひでスフオルツア伯忌避事件について强硬な聲明を出させながら、もつとひどいギリシヤ内亂に對する英軍の武力干渉に一言の挨拶もしないのはクレムリンに對する氣兼ねからではなからうか、「デーリー・メール」紙の外交記者ブロードベントが早くも米英ソ三國外相の會談を豫報してゐるのは仲々見當はいいし英國政府としても米ソ兩國の諒解を求めたいところだらうが、まづ手際よくギリシヤ内亂を片着けるのが英國政府としては先決問題だ、エラス兵團の總攻撃で英軍はだぢだぢの有樣だが、武力干渉と併行して早くも和協工作に乘出したところに理論と體面とに拘らぬ英國外交の本領があるのだらう、勞働黨も結局腰挫けで、英國政界は一應落着くだらうが、ギリシヤ内亂を繞るマハトポリテークの動向は世界戰爭の現段階において色々な意味で面白い

【目　次】

英軍苦戰和協を企圖す……三〇八六
英國政府辛うじて危機を免る……三〇八七
V二號を續る下院の應酬……〃
二十數時間の報復攻撃……〃
米國外交五原則を闡明……三〇八八
ネルソン、新西蘭首腦と會談……〃
ソ聯ブラジルと國交修復……〃
アーヘン地區で米軍再び大攻勢……〃
デユーレン半里に迫る……〃
ビールでも市街戰……〃
ケンプ橋頭堡を撤收……〃
【東　亞】
日本々土を直接攻撃せよ……三〇八九
英朝野、太平洋艦隊に期待……〃
フレーザー豪語……〃
大陸の米軍勢力は弱少……三〇九〇
米紙延安を攻撃……〃
重慶軍需生産の困難……〃
【歐　洲】
芬軍平時編成への切換完了……三〇九一
スフオルツア痛烈に反撃……〃
オランダの食糧缺乏……〃
波巡洋艦沈沒……〃
リトワニア外相……〃
【米　洲】
パレスチナ法案審議延期……〃
布系市民調停を要望……〃
ソ・智國交關係樹立……〃
ペルー新内閣成立……三〇九二
海軍損害發表……〃
【英帝國】
流星彈による損害……〃
濠、英艦隊に補給……〃
【友邦軸陣營】
潜水艦戰に關する共同聲明……〃
【ソ　聯】
外務次官テヘランを出發……〃
【ドイツ】
英の歐洲外交を評す……〃
歐洲戰況概觀……三〇九三
【特　輯】
飽くまで干渉政策固執……三〇九四
【資　料】
西歐聯合の危機……三〇九九

英軍苦戰和協を企圖す
緊急閣議に休戰條件を提示

（ストツクホルム十二日發）ロンドン來電＝英國政府は十二日午後首相チヤーチル司會のもとに緊急閣議を開催、ギリシヤ内亂に關する對策につき協議したが、夜に入つて外務省はギリシヤ駐屯英軍司令スコビー少將の次の公報を發表した

「エラス兵團の代表前ギリシヤ勞働相は第三者を通じて英軍司令スコビー少將に會見を申込み、ギリシヤ國内における戰爭停止の可能な諸條件について討議を要請したが、スコビー少將の提出した條件は次の通り

一、エラス兵團はスコビー少將の麾下として少將の軍命令を履行すること、右軍命令のうちにはアテネ市並びにピレウス外港その他アテカ地方からのエラス兵團の撤收を含む

二、アテネ市並びにピレウス外港地區のエラス團支持者に對し戰鬪を停止し武器を引渡すよう指令すること

三、以上の條件が履行され次第、スコビー少將は地中海方面軍最高司令サー・ハロルド・アレキサンダー元帥に報告し、同元帥はギリシヤの内亂を終結させ、すべてのギリシヤ人に對し自由民權を回復する措置を講ずるであらう

代表アテネに乘込む

（リスボン十二日發）アテネ來電＝地中海方面軍司令サー・ハロルド・アレキサンダー元帥は同方面常駐相ハロルド・マクミランとともに十二日アテネに到着直に英軍司令部にスコビー少將を訪問して協議を遂げた

至る所で苦戰

（リスボン十二日發）アテネ來電＝英軍司令スコビー少將は十二日次の公報を發表した

「ピレウス外港並びにアテネ市の中央部において英軍の作戰は多少進展したが、エラス兵團の抗戰はいささかも衰へず全般的情勢は殆ど改善されてゐない、エラス兵團は十一日から七五粍砲をもつて砲擊を開始したが、十二日拂曉に至つて砲火は一段と猛烈を加へ英軍の間に戰死傷を出した、アテネ市内の戰線においてはエラス兵團は廣範圍に亙つて潜入し多くの場合便衣を纏つて狙撃戰術に出てゐる、さらに十日夜から十一日にかけてエラス兵團が市内の主要道路に地雷を敷設したため英軍の行動は阻害され、兵員の間に死傷を出し車輛に損害を蒙つた、ピレウス外港の英國艦隊司令部は十一日以來再び迫擊砲による攻擊を受けた、過去二十四時間内に增援軍が上陸し、頑强な抵抗を排して英軍は多少進出した、その他ギリシヤ國内の情勢は一般に不安である」

アテネ市街で後退

（リスボン十二日發）B・BCのアテネ特派員は十二日次の通り報道してゐる

「エラス兵團は現在ピレウス半島の南端を除きギリシヤ全國を押へてゐるが英軍の援軍が到着するに先立ち、決戰を挑む方針のもとにエラス兵團最高司令部では全國から續々兵力を集結し戰鬪は刻々苛烈凄狀を加へてゐる、エラス兵團は英軍の占據する建物を爆破する新戰術に出てゐるがためにスコビー將軍麾下の英軍は十二日アテネ市内の中心地區で多少退却するの止むなきに至つた」

三時間に亙る激戰

（リスボン十二日發）ロイター通信社は十一日午後五時以後初めてアテネ特派員から入つた報道として次の通り傳へてゐる

「十一日夜アテネ市内の郵便局に據る英軍と市廳舍に據るエラス兵團との間に三時間に亙つて激戰が展開されたが英軍の戰車隊も出動してエラス兵團の據る建物の下層部に砲擊を加へ炎上させた、市廳舍の左翼は十一日夜半から火焰に包まれて了つたが十二日拂曉に至り、エラス兵團は再び市廳舍並びに附近の一部を占據した」

戰鬪最高潮に達す

（リスボン十二日發）アテネからの電報は十二日次の通り報道してゐる

「エラス兵團二萬五千は十一日夜來一大攻勢に轉じアテネ市内の英軍を包圍、各道路を閉塞して援軍の到着を阻止してゐる、内亂が初つて以來見なかつた位情勢は急迫してゐる

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

英軍はエラス兵團の如何なる攻撃をも撃退出來ると稱してゐるが、戰鬪は時々刻々高潮に達しつつあり赤十字のしるしをつけた貨物自働車が攻撃を受け、アンラ職員二名赤十字代表一名が負傷したため英國赤十字社は十二日に至り兩軍の病院に對する物資の供給を取止める旨發表した

「記者は今英軍司令部のあるグランド・ブルタニーニュ・ホテルの廊下でこの電報を叩いてゐるがエラス兵團の砲火彈迫撃砲彈が唸りを生じてこの「英軍の孤島」に命中、兵士一名は戰死數名は負傷した、司令部を去る僅か六百ヤードの舊王宮の廣場において目下激戰が展開されてをり英軍の戰車隊が二十五封度砲でエラス兵團を撃退してゐるホテルの東北約一千ヤードのリカヴエトス丘にはエラス兵團が七十五粍砲の砲座を構へてゐるといはれるが、英軍のスピツトフアイヤ戰鬪機隊が右高地に砲爆撃を加へてゐるのが手にとるやうに聞えて來る、エラス兵團は十一日白晝近代競技場を地點として攻勢を開始、西方に進出し機銃を備へた障碍物でピレウス外地との幹線道路をおさへて了ひ、さらに北方でも補助道路をおさへ突破を企圖した英軍の車軸四臺を破摧してしまつた、現在外界との唯一の聯絡機關たるケーブル・エンド・ワイヤレス社の事務所もエラス兵團の包圍を受け彈丸は扉といはず窓といはず至るところに穴をあけてゐる、英軍は急遽增援部隊を出して包圍線を突破、同社の社員を伴れ出し英軍の戰線内に機械その他を移したが、この電報は新らしい事務所から打電する」

英國政府辛うじて危機を免る

(ストツクホルム十二日發)
英國勞働黨の執行委員會は十二日夜ギリシヤ政策に關する決議案について協議を遂げたが閣僚を中心とする幹部派が「ギリシヤ國内に惹起された事件を遺憾とし紛爭を終結させ新たな代表政權を選出し得る狀態を確保するため即時機宜の措置を講ずるやう英國政界に要求する」旨の決議案を提出したところ勞働黨内に一大勢力を擁する機械工勞働組合並びに鐵道從業員組合代表が果然強硬論を主張「遺憾とする」といふ字句を「慨嘆に堪へず」と修正する動議を提出した

修正動議は要するに現内閣に對する彈劾決議に他ならず、副首相アトリーを初め勞働黨出身の閣僚は連袂して聯立内閣から退陣する他はないこととなるので、十二日夜半組合代表と閣僚との間に數次にわたり私的交渉が重ねられたが、ロイター電報によれば十二日夜半に至り原案通り「遺憾とする」といふ字句に落着いたと傳へられる

V二號を續る下院の應酬

(ストツクホルム十二日發)
ロンドンを含む南イングランド一帶に對するドイツ軍の報復攻撃は益々熾烈となり、十一日から十二日にかけての攻撃のごときは二十數時間にわたり續けられたといはれるが、發射基地から目標地區まで約二百哩を僅か五分間で到達するといふV二號に對して、英軍としては流星彈の時のやうに撃墜することも出來ず、ただ「タイフーン」機並びに「スピツトフアイア」機をもつて「基地と覺しき地點」に急降下爆撃を加へてゐるだけで、ロンドン地區の生活不安は漸く深刻になりつつあるといふ、ロンドンからのロイター電報によればこの情勢を反映して十二日の下院で

政府はドイツに對しもしドイツ軍が對市民戰爭を繼續するならば英空軍もまたドイツ諸都市を攻撃すべき旨通告する意思はないか

との質問が出たのに對し、外相イーデンはドイツにおける目標物の選擇はドイツの戰力を破壞する目的に應じてのみなされてゐる

と答へたといはれるが、過去自ら誇つてゐた英空軍並びに、米第八航空隊の無差別絨毯爆撃を棚に上げた質問も質問なら、戰力破壞といふ言葉にテロ空襲の辯明を匂はせたイーデンの老獪な答辯も答辯で、この應酬は通告云々よりも寧ろ政治的な宣傳を主眼とする狎れ合ひ討論だとみられる

二十數時間の報復攻撃

(ストツクホルム十二日發)
ロンドンからのロイター電報によれば十一日未明より十二日午前七時にかけて南イングランドに對しドイツ軍の空中攻勢がつづけられ、死傷並びに損害を生じたといはれる

米國外交五原則を闡明

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝上院外交委員會は十二日から國務次官グルー以下五名の次官補任命承認に關する公聽會を開始したが、國務長官ステチニアスは同日の公聽會に臨んで米國外交の五原則なるものを明らかにした、ステチニアスの言明要旨次の通り

「國務省は戰線の永續性ある平和建設のために努力するが、この大事業は議會との完全な協力及び米國民の積極的理解並びに支持があつて初めて可能とならう、國務省は米國の利益のために遠大な計畫の下に自由主義的な外交政策を能率的に押し進めんと企圖してゐるが、これがためには國務省首腦の人員入れ替へをはじめその機構の改革が至急實現されなければならない、國務省の企圖してゐる米國外交政策は次の五原則のうちに包含されよう

一、戰爭を最も短期間に終了せしめるため陸海軍の作戰行動と完全に一致した外交政策の推進

二、日獨兩國が將來再び戰爭をなし得るごとき力を剝奪するに必要な有效なる措置

三、將來長期にわたつて平和を建設し、これを維持する能力ある反樞軸國際機構の樹立、しかして平和維持のためには武力の使用をも辭しない

四、米國の外國貿易を伸張せしめ一方全世界にわたり生産及び通商を促進する措置に關する協定の締結、これにより米國內においては完全雇傭狀態を維持すると共に、その他の反樞軸諸國と共に間斷なき生産及び消費の擴大、生活水準の向上が行はれる時代の實現を期す

五、世界のあらゆる地域における男女民衆がそれぞれの慣習に從ひ、民主主義的生活樣式を營み得る如き國際生活の促進

ネルソン新西蘭首腦とも會談

（リスボン十二日發）ウエリントン來電＝カーチン首相以下濠洲政府首腦部と會談した重慶派遣米大統領特使兼經濟顧問ドナルド・ネルソンはウエリントンに到着、十一日ニユージーランド首相フレーザーおよび財務相ナツシユと會談した

ソ聯ブラジル と國交修復

（リスボン十一日發）リオ・デ・ジヤネイロ來電＝ブラジル政府はソ聯との外交關係を十一日から再開するに決した

アーヘン地區で米軍再び大攻勢

（ベルリン十二日發）總統大本營十二日正午發表＝米軍は巨大な物量を繰り出して十一日アーヘン東方地區で再びドイツ軍陣地の突破攻勢を開始、十五粁の戰線幅員に歩兵戰車の大軍を續々投じて殺到し來つたが、ドイツ軍は防衞兵力の一切を動員して斷乎邀擊した結果、米軍は僅かに數地點でドイツ軍主力陣地に輕微突破口を形成することが出來ただけで、ドイツ軍南北兩翼の火砲群はすでに展開段階において米軍の攻擊を破碎した、目下極めて激烈な戰鬪が續行されてゐる

デューレン半里に迫る

（リスボン十二日發）前線報道によればアーヘン東方地區の米第一軍は十二日早朝突如行動を起し、荒れ狂ふ吹雪と泥濘を冒してホーヴエン附近でレール河を渡河、ホーヴエン、マリアワイラーの兩前哨據點の郊外に突入、邀擊するドイツ軍と熾烈な市街戰を展開中と傳へられるが、以上の結果米軍はケルン街道の要衝デューレンを去る一粁半の地點に迫つたこととなり、アーヘン地區のジークフリート攻防戰は異常に緊迫した樣相を呈するに至つた

ピールで も市街戰

（リスボン十二日發）十二日の前線報道によれば、米第一軍のデューレン攻勢に呼應してユーリツヒ南方で行動を起した一部隊は同市南方十五粁のピールに突入、市街戰の火蓋を切つたと傳へられる

ケンプ橋頭堡を撤收

（ベルリン十二日發）ドイツ前線報道によればアルザス戰線のドイツ軍はバーゼル北方十六粁のケンプ橋頭堡を撤收、ライン東岸地區に新陣地を占めたといはれる

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【東　亞】

日本々土を直接攻撃せよ
ボールドウインの重慶無用論

(ストツクホルム十一日發)敗戰重慶の深刻な危機に直面して米國の消息筋は大陸經由の攻勢に代つて日本々土を直接攻撃せよと提唱する傾向がある、卽ち「ニユーヨーク・タイムス」紙軍事記者ハンソン・ボールドウインは五日の紙上で

最近の日本軍の成功は極めて重大であり、重慶の政治、經濟、軍事情勢は極めて混亂してゐるので、太平洋における支那の役割を再檢討する必要がある

と論じてゐる、ボールドウインの說によれば日本本土に對する直接攻撃が今では最良の戰略であるとしてをり、この意見については彼がワシントンの或る筋から情報を得てゐる兆候がある、ボールドウインはかかる日本本土直接攻撃案に對する數多くの軍事的理由を擧げてをり

反樞軸が確保してゐる諸島嶼及びこれから占領するに違ひない各島嶼から日本本土に直接攻撃を加へることは敵の心臟部を叩くことになり、さうすれば支那を横切つて遠廻りする長大な大陸進攻略を必要としない、日本諸島に對し海上封鎖を加へた上、反樞軸の島嶼基地から海空より攻撃すれば日本の軍事的潛在力を甚だしく弱化せしめるであらうし、また大規模な上陸侵攻を行はずして日本の降伏を促進するだらう、もつともこれは前項より確實性が少ない、しかしたとへ日本侵攻が可能だとしても、この重要諸島嶼の攻略によつて支那その他に頑張る日本軍が降服する結果とはならぬかも知れない、また假令このやうな結果を招來せず、戰史上かつてみない長期の大規模な戰定作戰の遂行を必至とするやうな狀態に直面しようとも、日本々土を占領した場合には滿洲國と支那に駐屯する日本軍の態勢は相當弱化するだらう

と述べて日本々土直接攻撃の勝手な利點を强調し更に次の通り結んでゐる

日本軍がたとへアジア大陸に巨大な補給源を確保してゐるにせよ從來の諸情報を對照すると本土以外の工業能力は現在大陸に駐屯する軍隊に補給するためには不十分である、從つて先づ第一に日本帝國の中樞部を攻撃することが正しい戰略である

英朝野、太平洋艦隊に期待

(リスボン十一日發)ロンドン來電によれば英國朝野は今回の太平洋、東印度兩艦隊編成の發表をもつて英國海軍力の主力並びに重要基地が印度洋及びセイロン島から太平洋地域に移つたものと見て今後對日戰において太平洋艦隊が演ずる役割に非常な期待を寄せてゐるといはれる、殊に消息筋では太平洋戰域が依然米軍の責任地域であることに變りはないとはいへ、太平洋艦隊の編成は「英國は日本を撃破するために可能な限り最大の艦隊を東亞へ派遣する」とのチヤーチルの公約を實踐する上において重要な段階を有するものであり、英國が太平洋に回航してゐる戰鬪艦隊は日本の全艦隊と決戰し得るほど有力であると述べてゐるといはれる、さらにロイター電報によれば英國の海軍力は今や米海軍と別個にマライ並びにマライ地域における島嶼群を挾撃する態勢にあり、最早昭南からダーウインに至る間の東印度並びに支那海の全水域を防禦するだけがその任務ではなく、ニミツツ、マツカーサー、マウントバツテンを支援してラングーンからラバウルに至る全水域の何處においても日本軍の防禦線を切斷するために作戰することにならうといはれ、また右電報は新たに編成されたアーサー・パワー麾下の東印度艦隊は從來と同樣に、印度洋から前支那方面艦隊の擔當地區までをその作戰水域とする旨報じてゐる

フレーザー豪語

(リスボン十一日發)メルボルン來電＝英國太平洋艦隊司令長官フレーザーは十一日メルボルンに到着した後、記者團と會見次の通り豪語した

濠洲を基地とする太平洋艦隊は太平洋水域における海軍力の均衡を破るに十分な戰艦空母を包含し、數等級の濠洲艦艇並びに濠洲空軍の操縱士も順次太平洋艦隊に參加することにならう

余の指揮下にはいる濠洲艦隊には級四隻G級並びに二掃海艇隊が含まれるが、既に比島水域で作戦中の濠洲巡洋艦は依然としてマツカーサーの指揮下に留まる、また太平洋艦隊の旗艦は戦艦ハウ二、五〇〇〇トンである、モントゴメリー元帥は嘗て余に對して二十歳から二十五歳までのドイツ人はナチ精神に固まつてをり考へを變へさせることは出來ず、彼らを殺すほか方法がないと語つたことがあるが、日本艦隊の將兵も明かに同樣の考へを有してをり、艦隊を擊沈する以外策の施しやうはない、しかしてわれわれは必ずや日本艦隊を擊沈するであらう、しかしながら日本艦隊が後退すればわれわれの任務は困難となり結局において島傳ひ作戰によらざるを得なくなるかも知れない

大陸の米軍勢力は弱小

（リスボン十一日發）ワシントン來電＝昨年支那を含む世界各地を旅行した民主黨上院議員チヤンドラー及び共和黨上院議員ブリユースターは十日共同で支那大陸の米軍勢力は到底日本軍に抵抗出來ないと警告次の通り言明した

アジア大陸の戰局は絶望的だ、われわれは日本軍の昆明進攻をどうして措置出來るのか方法を知らない、昆明にはシエンノートの米空軍が駐屯し重慶へ移駐しつつある、米國は奇蹟の生じない限り支那の基地を悉く喪失するのは必然である、支那における米國の努力は米國民にとつて高價な失敗と大きな悲劇であつた、萬一米軍が支那沿岸に侵攻した場合には豫期したより遙かに長期にわたり、しかも遙かに高價な戰ひをしなくてはなるまい、かくて重慶は支那沿岸でその同盟國軍と相會する代りに戰爭から脫落するであらう、われわれは支那沿岸で充分要塞化した日本軍の抵抗に遭遇し、大陸の戰鬪では日本軍が最後の一兵まで死鬪したタラワの戰ひと同じ苦鬪に直面するに違ひない、スチルウエルはわれわれに對し「自分は間に合ふもの一切を擧げて日本軍と戰ふつもりだ」と述べたが、これに對しシエンノートは「自分は小兵力で日本軍の進擊を粉碎出來る」といつた、するとスチルウエルは「君が日本軍を小突いただけでは日本軍は君を驅逐するだらう」と答へた、われわれが最近の事態から引出す結果によれば米國は支那で日本軍を「小突く」だけの兵力しか備へたに過ぎないといふことだ

米紙延安を攻擊

（リスボン十日發）ニユーヨーク來電＝「デーリー・ミラー」紙は九日の社說で延安政權を攻擊次の通り論じてゐる

「重慶政權が軍事的危機に直面してゐるのは蔣介石が對日攻勢に極めて必要な部隊を延安軍に對する備へに廻さなくてはならないからだ、米國は蔣介石に延安と和解するやう要請したことはあるが延安軍に蔣介石との和解を賴んだことはない、重慶を弱體化し、ひいては反樞軸陣營を弱化してゐる親ソ的軍隊をわれわれはチヤホヤする必要はないからだ」

重慶軍需生産の困難

（ストツクホルム十一日發）ニューヨーク來電＝「タイム」誌十一月二十七日號は米特使ネルソンの指導による重慶の軍需生産振興につき「生産の改革」と題し左の通り述べてゐる

蔣介石は政府の改革と殆んど時を同じくして重慶の軍需生産改革に乘出し翁文灝を局長とする軍需生産局を新設し、同局は生産を取扱ふ一切の機關との協力の責を負つた、米國からはネルソンを首班とする經濟使節團が到着しその任務は翁文灝に助力を與へることである、これらの米國專門家は恐らく製鐵の最大限度生産の確保に主力を傾注するであらう、重慶で出來ない合金鑄鐵その他の極めて重要缺くべからざる物資はいまだにヒマラヤ越えで空輸されてゐる、彼らはまた米國のトラツクが再び滇緬公路を還行する日に備へて液體燃料の增產にも努めよう、この改革の重點は翁文灝の双肩にかかつてゐる彼の最も複雜困難な問題は第一に原料資材を各工場に運搬し、成製品を前線に送る輸送であり第二はインフレーションが軍需生産に制肘を加へることを防止することである

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【歐洲】

芬軍平時編成への切換完了

(ストツクホルム十一日發)ヘルシンキ來電=フインランドは同國軍を三萬三千の平時兵力に縮減し、民兵十萬を維持すべしとする休戰條件の規定の履行を完了、國防相ヴアルヴエは十一日この旨反樞軸管理委員會に正式に通告した

スフオルツア痛烈に反駁

(リスボン十一日發)イタリア行動黨首領スフオルツアは英國政府に忌避された擧句、下院における演説でチヤーチルからこつ酷くこき卸されたが、ローマ來電によれば、スフオルツアは十一日次の通り聲明、スフオルツアに對する英國政府の干渉の經緯を初めて明らかにしてチヤーチルに一矢酬いたといはれる

チヤーチルは昨年十月十一日二時間に亘る會談で余に對し國王エマヌエーレ三世を承認するやう强要した、余はチヤーチルに對して國王に對する余の眞の態度をかくしてゐたとはいへ、余が國王に對する忠誠を言明したのはチヤーチルに無理强ひされたためにほかならない、余がかうした聲明を發表するのは本意ではなく英國下院で連續三日間に亘つて余に加へられた不當な非難に應へるためであり、またこのまま沈默を守ることは米英兩國民に對し禮を缺くと思はれたからだ、余は現在のところ駐米大使を初め一切の公職につくことを受諾しない

オランダの食糧缺亡

(リスボン十日發)ロンドン來電=オランダ亡命政權首相ヘルブランデイは過般來反樞軸軍占領地域となつた南部オランダを視察中であつたが十日ロンドンに歸來、記者團に對し次のやうに語つた

オランダの食糧事情は余が豫想してゐた以上に慘憺たるものがある、例へばリンブルグ地方における住民一日一人當りの榮養價攝取量は嘗ての九百八十カロリーが現在は漸く千四百カロリーとなり、ニメーゲンでは千百五十カロリーであるが何れも英國人日々の量から見れば半分以下に過ぎない

波巡洋艦沈沒

(リスボン十日發)ロンドン來電によれば一九四三年英國がポーランド亡命政權に讓歩した四千八百五十トン級巡洋艦「ドラゴン」號は反樞軸軍の歐洲侵攻作戰に際し、多大の損傷を蒙り遂に沈沒したと傳へられる

リトワニア外相決定

(モスクワ六日發)ヴイルノ來電=リトワニア共和國最高會議幹部會は同共和國外務人民委員にロトムキス氏を任命した旨六日發表した

【米洲】

パレスチナ法案審議延期

(リスボン十一日發)ワシントン來電=上院外交委員會は十一日、パレスチナをユダヤ國とする決議案の審議を次期議會に延期するに決した、以上は「現下の國際情勢に鑑み同案に關する如何なる審議も望ましくない」との國務省の要請に基くものである、右は同案に對するアラビア人の猛烈な反對運動を國務省が考慮した結果とみられる

希系市民調停を要望

(リスボン十二日發)ワシントン來電=ギリシヤ系米國市民の代表は十一日國務省を訪問し、英軍とギリシヤ抗戰團體との戰鬪について米國政府が居中調停するやう要請した、右代表團はさらに英國大使館を訪問し「ギリシヤ國民に獨裁政治の桎梏を負はせようとする」血腥い企圖を卽時停止するやう要請した

ソ智國交關係樹立

(リスボン十一日發)ワシントン來電=ワシントン駐劄チリー大使館はチリー及びソヴエト聯邦兩國間に外交關係が成立した旨十一日發表した、交涉は過般來ワシントンにおいてチリー大使マーシヤル・モラ及びソヴエト大使アンドレイ・グロムイコの間に進められてゐたもので、兩國は相互に大使の資格で使節を交換することになつた、この他既にソ聯と外交關係を結んでゐる米洲諸國はメキシコ、キユーバ、コロンビアを始め數ケ國に及んでゐる

ペルー新入閣成る

（リスボン十日發）リマ來電＝ペルー政府は九日新内閣の成立を發表した、閣僚は次の通りである

首相兼藏相　ユリオ・エアスト（前内相）
外相兼文相　マヌエル・ガラヘル大將
法相兼勞働相　マヌエル・エイスネロス
陸　相　アントニオ・シルヴア大將
海　相　フエデリコ・テイアス海軍少將
公共事業相　ロベルト・ヨカモヴイツ
内　相　リカルド・ド・ラ・モンテ
保健相　コンスタンチノ・カルヴアロ
農　相　ゴドフエロ・ラバルテ
空　相　フエルナンド・ネルガ大將

海軍損害發表

（リスボン九日發）ワシントン來電＝米國海軍省は九日開戰以來の海軍海兵隊、沿岸警備隊の損害が七萬七千五百三十六名に達した旨發表した

【英帝國】

流星彈による損害

（ストツクホルム十一日發）ロンドン來電＝英國内務治安省は十一月中の流星彈攻撃による英國内の損害につき十一日次の通り發表した

死　者　七百十六名
内男子　二百六十九名
　女子　三百四十五名
　十六歳以下の子供　百二名
重傷者　一千五百十一名

また十日夜南部イングランド地區はまたも流星彈の攻撃をうけ損害並びに死傷者を生じた

濠、英艦隊に補給

（リスボン十一日發）キヤンベラ來電＝濠洲首相代理フランシス・フオードは十一日次の通り發表した

濠洲政廳は今回英國政府の要請に基き、一九四五年六月までに、濠洲を基地とする英國艦隊に對し最小限濠貨二千百十五萬六千磅の食糧を供給する旨約定した、右は西南太平洋駐屯の米軍に對し、本會計年度内に二十一億一千萬磅の食糧を供給するのと同趣旨であり、先般首相カーチンがロンドン訪問に際し、英首相チヤーチルに對し、濠洲は英國艦隊を太平洋反攻作戰に出動せしめるため總ゆる協力を惜しまぬと言明したことに從つての措置である

【反樞軸陣營】

潜水艦戰に關する共同聲明

（リスボン十日發）ロンドン來電＝チヤーチル、ルーズヴエルトは十日反樞軸軍の對獨潜水艦戰に關し左の共同聲明を發表した

「ドイツ潜水艦による反樞軸側船舶の損失は今回も極めて僅少でこれに比し反樞軸軍が擊沈したドイツ潜水艦數はまた滿足すべき數に上つた、しかしドイツは決して戰鬪を停止したわけではなく、却つてドイツの新型潜水艦が何時出現するやも圖り知れぬ狀況である、反樞軸國は現在の制海權維持のため嚴重な警戒と苦鬪を續けねばならぬ」

【ソ聯】

外務次官テヘランを出發

（リスボン十一日發）イラン國會は戰爭中石油利權の交渉を禁止する法案を可決すると同時にバヤート新内閣の施策を支持する旨の決議を行つて露骨にソ聯と對立してゐるが、テヘラン來電によれば利權交渉に乘り込んでゐたソ聯外務人民委員部次長カフタラーゼはテヘラン駐剳公使アクシーモフを帶同してバヤートを訪問要談を遂げた後、報告のため十一日空路モスクワへ歸還したといはれる

【ドイツ】

英の歐洲外交を評す

（ベルリン十一日發）ドイツ新聞長官パウル・シユミツト博士は十一日正午の記者團會見においてソ佛同盟に關し次の通り言明した

チヤーチルがパリを訪問してド・ゴールの御氣嫌をとり結び、フランスを西歐聯盟に引き入れやうと努めてからわづか三週間後にソ佛同盟が成立したことは、英國の賴みの綱とする西歐聯盟案が泥土に踏み躙られたことを意味するもので、チヤーチルの歐洲外交が一敗地に塗れたことは明瞭だ

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

歐洲戰況概觀

西部戰線の現狀は依然ドイツ軍にとつて樂觀を許さないがさりとて憂慮すべきほどでもない、ロレーヌ東南部及びアルザス北部では米軍フランス第一軍が過去一週間來可成り進出してゐるがいまだ戰火は直接ジーグフリード線には及んでゐないアーヘン前面でも情勢に大した變化はなく、十一日のロイター前線特派員マーシヤル・ヤローの報道によれば米第一軍の最進出地點においては晴天の日ケルンを望見することが出來るといはれるが有名なケルン大伽藍の尖塔はアーヘンからでも見える有樣だが、ヤローの報道にそれほど驚く必要もあるまい

米第一軍の新攻勢

米第九軍の南方に布陣するホツジス中將麾下の米第一軍は十一日拂曉を期してデユレン西方十哩の線で新攻勢を開始した、デユレン附近は目下積雪六吋に達してゐるといはれるが、米第一軍の主力は後方陣地からうち出す數百門の砲火と九百機に上る戰鬪機並びに戰鬪爆撃機の掩護の下に攻撃前進中で、戰鬪はデユレンの兩方を流れるレール河左岸で白熱化してゐる模樣だ、ユーリツヒが米第九軍當面の攻撃目標である如く、米第一軍にとつてはデユレン攻略がケルン平原進出への前提條件をなす今回の攻勢は、デユレン攻略の第一歩としてレール左岸を確保することを目的としてゐるやうだ、米軍攻勢の北端をなすのはデユレン西北方五哩のピール及びショツプホーヴエンで、ピールに突入した米軍の歩兵部隊は戰車を有するドイツ軍と市街戰を展開、またショツプホーヴエンに對しては米軍は同地を距たる約五百碼の地點まで迫つてゐるが、ドイツ軍機甲部隊は同地西郊で米軍の進出を阻止してゐる

さらにランゲルヴエ東方から進出した米軍はデユレン西北方三哩半のメルケン郊外に到達、デユレンの直ぐ南にあるガイヒおよび西南方五哩のシヤフベルグでも米軍は郊外まで達し、既にシヤフベルグは米軍の手中に歸したともいはれる、かう書けばドイツ軍にとり戰況は甚だ具合が悪いやうだが、現在までのところ米第一軍は全線で平均一哩半進出したに過ぎず、加ふるにデユレン南方では特にドイツ軍の反撃が強いといはれるからレール左岸を米軍が確保するのは容易なことではない十一月のDNB報道によればオランダ東部ライン下流及びマース下流地域に於てモントゴメリー麾下の第二十一集團軍が攻勢開始の氣配を見せてゐるといはれるが、(反樞軸側の諸情報はいまだ右部隊の動きについては全然觸れてゐない)西部要塞に對する決定的攻撃の鍵は第二十一集團軍が握つてゐるときへいはれてゐるところからして同方面における反樞軸軍の動きは今後注目に値する

ザールのドイツ軍勇戰

ザール戰線の米第三軍は作戰地區の北部でザール河を越えジーグフリード線の一角にとりついたが、ザールラウテン北方三哩のデイリンゲン、パヒテルンでドイツ軍の強力な反撃に遭遇、現在右兩地區にうち込んだ楔を維持するのに懸命となつてゐる模樣だ、ザールの中心地ザールデリユツケンに對しては西方及び西南方から前進を企圖してゐるがフオルバツハに到達して以來米軍は全く足踏み狀態に陷つてをり、ザールゲミユンド、ローデン、フラウラウテンでは過去五日間來軒傳ひの激戰が展開されてをり、米軍はいまだに右三地點を占領するに至つてゐない、米第三軍の右翼は目下ザールゲミユンド東南方のピツチ附近にあり、これに對して米第七軍の左翼はアルザス北部のライヒスホーヘン、グレスバツハ地區で西北進を企圖してゐるが兩軍いまだ合流するには至つてゐない、アルプス北部の戰線においては十一日ストラスブール北方の要衝ハーゲナウが米第七軍に改屬する歩兵第七十九師團の手中に歸したことが注目される、ハーゲナウの陷落によつてアルザス北部の戰鬪は愈々ジーグフリード線の前哨陣地に對する攻撃へと變化したわけだ、十一日の報道によれば米第七軍はハーゲナウ西北方のニーデルブロン及びその西方のライヒスホーヘンに突入したといはれ、右部隊が南方からザール攻防戰の參加するのも目睫の間と見られる

特輯

あくまで干渉政策を固執

——英國下院における外交討議——

長谷川　才次

チャーチル英國首相は帝國主義の本領を遺憾なく發揮して歐洲のいはゆる解放される國々に對し武力干渉政策に乘出した、ピエルロ政權を支持してベルギー國内の左翼運動を彈壓し、ボノミ政權の改組についてはいはゆる國民解散委員會を結成する六政黨の全面的支持を受けてゐるスフオルツア伯を忌避し、ギリシヤ内亂については戰車と空軍と艦隊とを動員してEAM團の抗戰を粉碎し去らうとしてゐる、しかしスフオルツア伯の忌避については米國政府が外交爆彈を叩きつけて歐洲各國の内政干渉に絶對反對を表明し、ギリシヤ、イタリア兩國内において英國政府は反動政權を支持して各國の民意を抑壓するといふ非難囂々たる有樣だ、英國内に於ても不手際な干渉政策については不滿が少からず、勞働黨議員シーモア・コツクス等は國王の開院式演說に對する修正案の形式で外交政策に關する討議を要求し、八日の英國下院は久しぶりで異常な緊張を呈した、結局チヤーチル首相の恫喝で下院は二百七十九票對三十票をもつて九度現内閣を信任し、ワシントンにおいては英國大使ハリフアツクス卿がステチニアス國務長官と會見して事件は一應落着した形だが、根本的な政策の點については依然として米英兩國の對立は著しく、結局ルーズヴエルト大統領とチヤーチルとの會見に俟つ以外全面的な解決を期待することは出來ない

今回の事件で不氣味な沈默を守つてゐるのがクレムリン宮のスフインクスである、AP電報は八日「ロシアはギリシヤ國内の情勢についていまだ批判を加へてゐない唯一の國である、ソヴエト言論界はアテネ市内で戰鬪が起つて以來、一切批評を差控へてゐる」と述べてゐるが、英國政府が歐洲の諸小國において共産黨乃至その他の左翼分子を彈壓してゐるのであり、殊にギリシヤはバルカン半島における英ソ兩國の緩衝地帶だけにクレムリンの沈默はホワイトハウスの外交爆彈よりも一層不氣味に違ひない、モスクワ駐劄英國大使サー・アーチボルト・クラーク・カーが急遽歸國の途についたのも以上微妙な兩國の關係を示唆してゐるのではなからうか

挑戰の無效を知悉

今回の表決に際して勞働黨下院議員が多數棄權したのも英國政界の動向を示す指標だが、討議の當日「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電は次の通り報道してゐる

「英國下院における討議はインチキだ、勞働黨は聯立内閣の同志である保守黨並びに自由黨に對し挑戰せざるを得ない立場に陷つたが依然として政局の現狀を攪亂することを欲しない、勿論英國政府最近の施策に對しては少からず不滿であり、公然不滿を表明してゐるが、現内閣に挑戰して聯立内閣を破壞することを好まない、換言すれば英國政界の各層に反對意見が強いがチヤーチル首相が決戰を求めれば、結局首相が壓倒的勝利を收めることを知つてゐるから何れの集團も敢へて挑戰しないやうだ、戰局の現段階において何人もボートを顚覆される責任を負ふことを望まない、しかし何れにせよ討議の結果ギリシヤ内亂を續ける不可思議が明らかにされるだらうといふのが勞働黨の希望である、過般の下院での討議でチヤーチルはあまりに事態を單純化させて報告をしたといふのが一般の印象だ、一例を擧げればパパンドレオ政權の閣僚六名が何故辭職するにいたつたのか、チヤーチル首相の說明では彼等は一應正規軍以外の各民軍の解體に同意した後、公約の實施を遲つて辭職したといふことになつてゐる、首相が分裂投票に問へば全國民は戰爭に勝つほど大きな問題はないと考へてゐるのだから、政府は壓倒的な多數を確保するに違ひない、しかし如何に政府が壓倒的な多數を制しようともそれによつて干渉政策に對し英國人が反對してゐるといふ事實を蔽ひかくすことは出來ない」

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

遜色あまりある英國外交

また「マンチエスターガーデン」紙は八日の紙上で外交の貧困を指摘し次の通り論じてゐる

「英國外交の名聲がミユンヘン會議當時以來の最低水準に墮したことは遺憾ながら事實だ、イタリア人がスフオルツア伯を支持しようが、パパンドレオ首相が留任しようが、英國の關知するところではない、しかしイタリア人並びにギリシヤ人が自らの政權を確立して自尊心を取り戻すやう支援することが英國の任務である、その途上においてこれらの國民が喉を切るならば、彼らの喉を切らせるのが本當でわれわれの喉を切つてはならない體面を保つことも必要だが、米國内における英國の名聲を回復することが必要なのだから、アテネにおける英軍を援助する一番よい方法は假に一時體面を損ずる危險があらうとも英軍をアテネから撤收することだ、ステチニアス國務長官が新任にあたつてとつた今回の奇妙な遣り口に對しては英國人としていろいろ意見もあらう、恐らく同國務長官はアメリカ會社が新しい重役を專任してダルラン、ジロー、バドリオ支持を止めたといふことを全世界に廣告したいのかもしれない、英國人は自國政府の最近における過失に憂鬱を禁じ得ないが、同時にスペイン、フランス、イタリア各國における米國外交の動向を見守つてゐることをステチニアス長官に告げたい」

波亂を卷起した野黨の攻撃

ロイター電報は八日下院における討議について報道するに當り「ミユンヘン會議當時以來、いはゆるギリシヤの悲劇位英國内に物議を釀した事件はない」と述べてゐるが、下院においては先づ勞働黨のシーマー・コックスは質問の先陣を承はり次の通り述べた

「今日アクロポリスの麓アテネの聖地において英軍はギリシヤの愛國者と並んで聯合國の彈丸を心臟にうけて倒れてゐる、國王の開院式演說にギリシヤをはじめ歐洲各國における民主主義の友人の武裝を解除し乃至ドイツ軍を打破るために勇敢に協力した民衆運動を彈壓するために、英軍の兵力を使用しないといふことが明記されてゐないことは誠に遺憾である、下院は速かに兄弟互に殺戮する慘狀をやめるやうにしてもらひたい、パパンドレオ首相が内閣の改造を企圖したのにたいし、英國大使は首相の訓令に基き現狀において政變を許すことは出來ないと言明したといふが、全く驚き入つた事態である、チヤーチル首相はいかなる事情に基いて恰かも英國の次官連を任命するが如く反樞軸各國の首相を任命しなければならないやうな氣持になつたのか、かかる遣り口は全く英國の傳統と相容れない、各友邦の財政に干渉することは絶對反對であり、イーデン外相乃至その他の閣僚が大急ぎでアテネにとんで行き、ギリシヤ各派の代表と會議を開催して速かに紛爭を處理することを要望してやまない」

コックスにひきつづき聯邦黨のサー・リチヤード・アクランド、勞働黨のバーカー、保守黨のサー・ランバート・ウオードラがそれぞれ所見を開陳したが、特にバーカーが「英國政府においてもつと十分な且つ派閥的な傾向の少ない大使をアテネに派遣すること」を主張したが議長は失言を取消すか、さもなければ直ちに着席することを要求して一波瀾をまきおこした、バーカーは失言取消しを肯ぜず結局着席をしてしまつた

チヤーチル首相の辯明

そこで一應野黨の攻撃が終ると共にチヤーチル首相は約一時間二十分に亘り、干渉政策を辯明し次の通り述べた

看板だけの民主主義＝解放された各國において英國政府の要望するところは兵站補給線の安全を保障する政權の確立である、今回の修正案にいはゆる民主主義の友人といつてゐるのが、全國民の投票も獲得を得ずに權力の座に降り立たうとする暗殺團の周到に用意されたクーデターと、不逞の徒輩による鐵鎖の統治を意味するならば、またもしかくのごとき現狀に民主主義を假想させようといふのであれば、恐らく下院は一致してかかる主張を茶番と斷定するであらう

勿論英國政府は各國民が自由な選擧によつて各自國の政權を選ぶ權利を認めるが、不逞の徒輩が山嶽地帶から下りて血なまぐさい恐怖と暴力とをもつて政權を掌握することを認めることは出來ない、問題はいかにして民主主義の友人を見出すか民主主義といふ言葉をどう解釋するかである、ギリシヤ國内の抗戰集團は暴徒にすぎず、到底民主主義を代表するとは考へられない、各大都市に押し寄せ警察署その他政府の要衝を占據した抗戰運動は、全體主義統治を布かうといふ魂膽である、歐洲各國において英國は誠に割の悪い任務を雙肩に擔ひ侮蔑と批評とを蒙つてゐるにすぎない、これらの各國において余の期待するところは正常狀態の回復次第總選擧を執行することである、ピエルロ政權はベルギー國内に現存する過去との唯一の憲法上の連鎖である、英軍がベルギー内政に干渉したのはベルギー駐屯英軍史令アースキン將軍の指令に基き同將軍は反樞軸最高司令アイゼンハウアー將軍の命令をうけたのである、アイゼンハウアー將軍の目的は絶對に正しかつたと確信する英國政府は單に右指令に從つたばかりでなく右指令を誠にもつともな措置と考へてゐる、アントワープ港を强行啓開した際には英軍は四萬乃至五萬の兵員を喪失してゐる、英國政府がベルギーの内政に干渉したと云々する場合にはこの事實を考へて貰はねばならない

ス伯の陰謀にバドリオ失脚＝ローマ政權に關しては英國政府はスフォルツア伯が首相乃至外相に就任することに反對した、政府としてはスフォルツア伯を信用せず、同人が主要な役割を占める政權に對してはいささかも信賴を置くことが出來ない、英國政府はイタリアに關して米國との間に共同の取極めを締結したが、今回の措置によつて決して右取極めに違反してはゐない、ローマ政局の混亂に際しても六政黨が何人を選任しようとも全く自由なのであるが、突如スフォルツア伯が外相に任命されると聞いて英國大使は同伯が決して適任でない旨を述べた、その理由は如何、イタリアの崩壞後スフォルツア伯がパール前國務次官に出した書簡を引用する許可をルーズヴェルト大統領からうけとつたが、右書簡においてスフォルツア伯はバドリオ元帥が反樞軸各國の承認するところであり、イタリア國内の戰力を擧げてドイツ軍と戰つてゐる限りいやしくも同將軍の地位を弱化せしめるやうな處置に出ることは犯罪的行動であるバドリオ將軍が以上の任務を遂行する限り余は全面的支持を惜しまず、余の名譽にかけて余自身同將軍を支持すると同時に余の友人に對しても同樣の方針をとるやう勸告するであらう、余はロンドンにおいてイーデン外相並びに外務次官サー・アレキサンダー・カドガン立會のもとにスフォルツア伯と會見し、殆ど一行一行に上述の書簡を檢討した、スフォルツア伯は右書簡に述べてゐることは自分の不動の信念であると言明した、しかしながらスフォルツア伯はローマに歸るや否や相次いで陰謀を事とし遂にバドリオ將軍が柱冠するのやむなきに至つた

議員の間から首相はかつてムツソリニー統帥を支持したではないかといふ彌次がとんだが、首相は直ちに應酬し

成程、余は一九二八年當時イタリア國内のボルシヴイキ内亂の渦中に投ぜられないことは結構なことだと述べ、その限度においてムツソリニー統帥を支持した

と斷じた後さらに演說を續け次の通り述べた

新政權支援に全力＝余は必ずしもバドリオ將軍を擁護する必要はないが、同人は首相の地位にある間、反樞軸各國との公約を履行するために、全力をつくしたところが、突如としてバドリオ將軍はスフォルツア伯の陰謀の犧牲となつて失脚しボノミの下に六政黨から成る政權が樹立された、これらの政黨はいささかも選擧に基づく基礎をもつてゐない、しかしわれわれはこの新政權を支援するために全力を盡したのである

余はイタリアを訪問した際にボノミ首相と會見し休戰條項の修正案を起案し電報をもつて右草案をルーズヴェルト大統領に提示した、更にケベツクにおいてはイタリア人にその役割を果す機會を與へようとの趣旨に基いて共同宣言案を起草したのである、ボノミ首相は四政黨をもつて新内閣を組織したが、前途の多幸を希望してやまないチヤーチル首相は再びギリシヤ問題に言及し次の通り述べた

騷擾の國ギリシヤ＝曾てドイツ軍がギリシヤ國内に進擊した當時英軍はギリシヤの苦難を分たう

といふ騎士的な決意とでもいふべき氣持で抗戰し三百の死傷を出した、ケベツク會談においては統合參謀本部が計畫をたて英軍がアテネを占領して救濟と治安の確立並びにギリシヤ政權樹立への道を拓くこととなつた、大量の食糧、船舶が集結された、一九四四年を通じ英國政府は絶えずギリシヤ政權との間にゴタゴタあり、深刻な對立に惱むこの國とは切つても切れないやうに思はれる騷擾エヂプト駐屯軍の暴動、再三の閣僚の辭任などに對處しなければならなかつた、この混亂の間から一人の人物が現はれた、パパンドレオ首相即ちこれである、同首相は久しくギリシヤ國内に踏み止まつてゐたがいささかもドイツ軍に屈服せずカイロに到着すると共に、ギリシヤ政權の秩序を回復したのである、一九四四年五月レバノンにおいて將來アテネに乘りこんだ場合、政權を引繼ぐことの出來る共同の内閣が組織され、英軍が空輸したEAMの領袖も右内閣に參加した、同時に英軍は極祕裡に遠征軍を計畫した、ギリシヤ政權に對してすらこの事實を告げずすべての準備なると共に英軍はギリシヤ本土に上陸しアテネ市民の熱狂的歡迎をうけた、以前に暴動を起したギリシヤ旅團も同樣歡迎をうけたが余は同旅團に名聲を回復する機會を與へるために非常に骨を折つたが、反樞軸軍の先頭にたつてリミニイに入城し名聲を回復したのである、しかしながらこの頃既にパパンドレオ首相はEAM團並びに共産黨の代表が餘りにも多數權力の地位に坐つてゐると不平をもらしてゐたが、パパンドレオ首相は民主社會主義者でEAM團出身の六名の閣僚を信賴してゐる、一方エラス兵團は武力によつてアテネの奪回を企圖してゐたのである

エラス兵團はいろいろな分子から成る混合團體だが、ドイツ軍がギリシヤ本土を占據してゐた當時にはドイツ軍と戰ふよりもむしろエデス兵團と戰ひ打倒することに主力をそそいでゐた、エデス兵團といふのはチエルヴアス大佐の指揮下にある民軍だが、同大佐は英國の標準からすれば左翼の人物だが、EAM團ほど左傾してはゐない、過去二ケ年間エラス兵團は主として政權奪取の準備をすすめてゐたのであるが、われわれの一部はこの準備と各村落に對する殘虐行爲を過少評價してゐる、エラス兵團はアテネに進軍してドイツ軍との協力者を處斷するといふ口實の下に恐怖政治の確立を企圖してゐたのである、以上の見透しに當面しEAMの閣僚六名を含むパパンドレオ政權は全面的武裝解除を斷行し四百の國民軍結成を企圖した、全國各地から應募者も少くなかつたが國民軍は組織的な破壞分子に對し、效果的に抗戰するだけの用意は出來てゐなかつた、さらにドイツ軍の麾下にあつたアテネの警察もまた治安維持の保障とはなり得ない、事態は刻々切迫してゐるにも拘らず差當り治安は維持され、四萬五千噸の貯藏品が、主として米國品だが一週間内に揚陸された、英軍は米ソ兩國の同意の下に各政派から成る政權の招請をうけてギリシヤ國内に入り、よい賜物と同時に安寧が確立され次第ギリシヤ國民が自らの將來を決定する權利をもつてゐるとの保障を與へた

非難には罷免をも考慮＝以上政府の施策に對しては余は全面的に責任を負ふ、或ひは英國が何故にギリシヤについて思ひ患ふが、アテネ市は自ら好むところにしたがつて動けばよいではないかといふ議論も出てゐるが、ドイツ軍がギリシヤ國内に進擊した當時の英國の犧牲を思ひ、英國民もギリシヤ國民との間における多年の愛情を考慮し、且つ反樞軸各國の決定に基き、この不幸な民に苦難から脫出する適當な機會を與へるために出來るだけのことを英國政府は約束したのである、英國の希望する所は全く他意がない、しかしながら豫想は動きはじめエラス兵團は周到な用意の後にアテネ市内に潛入を開始し、EAM團出身の閣僚六名はこの絶好の機會に辭職したのである、閣僚の一名は辭職を躊躇した所電話で急がなければ殺すぞといはれたと承知してゐる、ウイルソン將軍は現在ギリシヤ國内に十分な兵力をもつてゐるが、アテネ市を無政府と暴政とに委して船に乘り移ることは英軍の名譽乃至義務と相容れない、ここにおいて余は五日朝スコビー將軍に對し、アテネ市ならびに周邊の地區を完全に占據し市部に入りこんでゐるエラス兵團を驅逐するために、必要ならば如何なる兵力でも動かすやう指令した

同時に英國大使に訓令しパパンドレオ首相に對し辭職を思ひ留まるやう說得方を命じたのである同首相の宿舍の周圍に激烈な市街戰が展開されてゐる際に、他の領袖に政權を讓り渡さうとつとめる位愚劣無用乃至危險なことはないからである、內閣更迭に先だち先づアテネ市內に治安を確立することが賢明だと考へたのである、もし余が非難されるのであれば、罷免を受諾しよう、しかし余が罷免されるのでなければこの點しかときおいて貫ひたい、英國政府としてはアテネ市とその周邊から立憲的なギリシヤ政權に對する反徒を掃蕩する政策をあくまで遂行しなければならない、一切の遊擊隊は地中海方面最高司令の下に奉仕することを誓つたのであり、彼らは最高司令の命令に對する反徒に他ならない、以上で事態を明らかにしたと思ふ、ベルギー、オランダ、イタリア、ギリシヤ各國における英國の施策についていかに立入つて穿鑿しようとも英國政府は民意の自由な表現を抑壓する反動政策をとつてゐると非難することは出來ない、これら各國民に對し正常且つ自由な民主主義的生活を再び開始することが出來るやう今後も努力するであらう

イーデン、英軍は卷添と嘯く

以上チヤーチル首相の演說に對しては無所屬のトム・ドライベルグが

「首相が下院に對して敢へて挑戰するのはいやしむべき威嚇である、首相は全世界の輿論と抗爭することとならう」

と述べさらに保守黨のキンテン・ホツグ、勞働黨領袖アーサー・グリーンウツド、ウインタートン卿、自由黨のハロルド・ニコルソンらが所見を開陳し、最後にイーデン外相が次の通り述べた

「ギリシヤ國民が自由にその意志を表明出來るやうにするのが英國政府の目的である、しかも見解の表明は投票函を通じてなさるべきで爆彈によるべきではない、パパンドレオ政權が反動的だといふ如きは事實を歪曲するも甚だしい、同政權の閣僚二十四名は余の知れる限りにおいては悉く共和主義者であるEAM團出身の閣僚はギリシヤ正規軍の武裝解除を主張しながら、自身の旅團だけは維持しようとしたのである、かくして分裂が起つたので決して英國政府の訓令乃至は勸告が原因で今回の事態が誘致されたのではない、ギリシヤ國民大衆はEAM團、エラス兵團乃至エデス兵團については何等の關心も持つてをらず、非常に欲がつてゐるのは何等かの食物である、ギリシヤ國民を援助しようとして英軍は自らの意志に反して同胞相殺戮する紛爭に捲き込まれるに至つた、爭鬪を續けてゐる人達が武器を橫たへて祖國の更生に協力することを要望して止まない」

最大の困難は米英ソの對立

以上で英國下院の討論は終結しチヤーチル首相は下院の信任を博したのであるが、AP電によれば下院の討議の最中に英國內の各地ではギリシヤ內亂に對する反對の示威運動があつたといふ位で「ニューヨーク・タイムズ」紙特電が指摘してゐる通り、下院の信任投票によつて英國民がチヤーチル首相の干涉政策を是認してゐると見做すことは出來ない、米英間の誤解はハリファツクス卿がステチニアス國務長官と會見した結果一應解けたといふことになつてゐるが、米國政府筋の意向を傳へるため、重慶の中央社特派員がニューヨークから打つてゐる電報を傳へよう

「ワシントンの官邊筋はベルギー、イタリア、ギリシヤ各國の政治的進展を深く憂慮し、このことは歐洲戰爭が一段落した後聯合各國が當面すべき複雜困難な諸問題の前兆だと見做してゐる、政界筋では重慶政權と共產政權との對立抗爭を頻りに指摘してゐたが、意外にも歐洲各國に對する政策について米英兩國政府は對立するに至つた軍事以外の問題で兩國間に公然意見の對立が表面化した最初の例だといふのが一般の觀測だ、更にポーランドを初めバルト三國、バルカン各國等クレムリンが利害關係を持つてゐる國々の內政にソ聯が勢力を及ぼし、乃至干涉を企圖する場合は米國政府は一層大きな困難に當面することとならう、勿論來年早々三頭會談が開催される場合には歐洲の政治上の諸問題が檢討されるだらうが、英國政府が現在の政策を續ける限り今後果して如何なる措置をとることが出來るか豫想することは困難だ

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ス伯忌避の眞相

AP電報によればチヤーチル首相の非難に對しスフオルツア伯は次の通り洩らしたといふ

「チヤーチル首相の述べたところは眞相の全部ではない、バドリオ政權を支持するに當り、余は將軍がドイツ軍と戰ひかつイタリア國内の公生活からファシスト黨員を掃蕩するといふ條件をハツキリ付けてゐる、ところが本國に歸つてみるとバドリオ將軍はファシズムを打倒せず却つて新しいファシズム乃至ムツソリーニ統帥と同じことを假面の下に逆行してゐるに過ぎないことを見出した」

同伯忌避に就ては「ニヨーヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電は興味ある觀測を下してゐる

「ギリシヤ、イタリア兩國はロシアとアングロサクソンとの勢力が互に角逐する權謀外交上の無人の地(ノーマンス・ランド)である、從つて英國政府としては信賴の出來る政權の樹立を必要としてゐるのだが、スフオルツア伯は實際的な政治家で自國の利益を英國の利益よりも第一に考へ、アフリカ大陸における失地回復を提唱しイタリア國民の再起を圖るかも知れない、話は前大戰直後に遡るが、スフオルツア伯はイタリア外相としてドデカネーゼ諸島の確保に一役買つてゐる、これらの諸島は一九一二年、イタリア政府がトルコから奪取したのだが、一九一九年聯合國の壓迫によつて當時のイタリア外相チトーニはギリシヤ首相ヴエニゼルスと協定を締結し、ロードス島以外の多島海島嶼をギリシヤ政府に返還することを約束した、しかしスフオルツア伯は外相に就任するや否や右協定を破棄したのである」

資料

「西歐聯合の危險」

「ニユー・ステーツマン・アンド・ネーション」十一月十八日號 H・N・ブレールスフオド論文要旨

われわれは文化的地理的意味における最隣邦である諸國との結帶を常に强化しようと欲してゐるしかしそれは直ちに、これらの諸國民と恒久的な西歐聯合を結成することを意味するだらうか「タイムズ」紙によりて紹介された案は遠大な計畫であるには相違ない、右案によれば過去の如何なる同盟よりも密接な軍事力を結成せんとするにあり同時にスターリング・ブロツクに基づく財政的相互援助確保に歩武を進めんとするものである、しかして漸進的かつ部分的にではあるが關稅同盟の締結にまで進まんとするものである、かかる考へ方に對する第一の反響は、一般的にいつて贊成であるやうだ、最初の反響は主として衝動的でありそれも自然だといひ得るが、提案の眞に意味するところは歐洲をブロツクに分割する點を忘れてはならない、歐洲を二つの地區に分割して線を劃することは至難であり、且つ矛盾をはらむもので、それは先づドイツを恒久的に二つに分割する問題にからみ合つて來る、つぎにはスペイン、ギリシヤ、イタリアを包轄して、西歐聯合の地中海における作戰的機構完成の問題をば提出する、つまり西歐洲の安全以上のことにまで考慮を拂はねばならぬといふことになる

西歐聯合の内四ケ國は植民帝國を保有してをり英、佛、蘭三國は東亞の勢力として深く根を下してゐる、故にこれ等の諸國の同盟乃至は結合は世界政治に重大な影響を有し、西歐聯合の理念は影響するところ極めて廣く且つ複雜な關係と危險とを包含するものといへる

三國對立の危險

第一に軍事問題を考察してみよう、西歐聯合は如何なる危險に對處せんとするものであらうか、生づ本能的に考へられることはドイツをして第五次世界大戰を惹起せしめぬやうに確實な保障を求めることである、ドイツを武裝解除し、その產業を整理しナチズムを清算したのち、この戰敗國にたいして尙且つ國際的組織のほか同盟をもつて對抗する必要があるであらうか、假令吾々が比較的に人道的平和をドイツに課した場合でも、ドイツの人的資源は全く涸渇しその物的資源は殆んど破壞され、少くともドイツは向ふ二十年間は危險たり得ない立場にあるのである、若しこの見方が正しく、且つ日本が同樣に崩壞し去つた後、吾々の同盟、吾々の强大な武裝はなにか他の目的に向けられるといふことになる、かくて三つの巨大國が互に相對立する結果とならう

米國は西半珠を制壓し、ソ聯は歐洲の東半分、英國は西歐聯合を率ゐて起つといふことになる、かかる狀勢に當面して平和を維持する路は、三國の勢力圈を友好的に且つ精密に劃定するほかにないといふ論があるかも知れない、歐洲にとつてはポーランドの問題が示してゐる通りそれは生容易しいことではないにしても或ひは勢力圈の劃定は不可能事ではないかも知れない、しかし中東の問題も仲々容易ではない、トルコの海峽の問題も解決しなくてはならぬ、ここ一、二年の內には複雜極まりない東亞の問題も始末しなくてはならないその際に至つて、小さな地域的方式といふものがどれだけの效果があるかを今日以上に明瞭に納得行くはずだ

三國の內どの一國も太平洋地域を制壓し、また組織することは出來ない、支那は二十年を待たないでは「大國」とはなり得ない、同じことはインドについてもいへる、その上、三巨人國は海空軍基地朝鮮、滿洲の將來、支那における共產黨の問題等面倒な問題を解決せねばならぬ、その何れをとつてみても勢力均衡上の重大危機を孕む問題である、歐洲はも早權謀外交の焦點ではない、世界の平和は、この廣大な太平洋地域においてわれわれが如何に行動を規矩するかにかかつてゐる、しかも歐洲を二つの地域に分割することは、われわれのこの大陸においてすらも平和を促進する所以ではないのだ

世界的機構の設定

かく考へるとき、われわれは世界の勢力と平和との問題處理に當つては、ただ聯合諸國の世界的組織のみが唯一の方式であるといふ結論に達せざるを得ない、一層端的にいへば英佛兩國は同盟を結成すべからずまして敗殘ドイツに對して他の諸國との結合を所期すべきでないといふことになる

彼等のなすべきことは保障理事會が要求した場合、ソ聯、ポーランド、チエツコスロヴアキアと共々に、必要なる武力を直ちに提供し得るやう用意することである、われわれが强固な同盟を結んでをればそれだけ、國際中央機關による國際紛爭の法律的、公平な解決を至難にするのみである、地域的組織は殊に權謀外交の分野において危險を露骨にする、ただ、經濟的、社會的、文化的生活の組織に當つて國境を越えた組織を作り、小さな國際的單位を構成することが至當であることは明らかだ

しかしこの目的のために西歐聯合は果して適切であらうか、歐洲を二分することは古いカトリツク文明の結合を破壞することである、ポーランドチエツコ、クロアチアは常にその窓を西に向つて開いて來た、經濟的にいつたとき歐洲の半分は共に相互補充的立場にある東歐の國境地帶は中歐の市場に依存してゐる、ロシアはこれ等地方の過剩農產物を吸收し得るであらうか、長期に亘つて資本、器材をこれらの地方に供給し得るであらうかわれわれが、これらの農民の福祉を考へるかぎりまた中歐西歐の工業勞働者に全的に仕事を與へることを考慮するかぎり、われわれは單に西歐洲のみを考へての計畫を樹てるべきでなく、全歐洲を基礎としての立案をすべきであり、より廣汎な基礎に立つて諸種の組織を構成すべきである、すべての機構を歐洲經濟理事會のもとに集約、調整しその枠のうちで聯合國の經濟的社會的理事會を運用すべきであると希望するのは間違つてゐるだらうか

この示唆はソ聯の猜疑心を挑發するかも知れぬことは考へておく必要がある、ソ聯は歐洲聯邦の案に反對した、それは政治的軍事的にソ聯に對抗する方向を辿る惧れがあるとしたためであり、このソ聯の考へ方には無理からぬ點がある、しかしこの歐洲組織の提案の本質は、經濟的社會的機能の分野に止まるのでもあり、平和維持の仕事は聯合國全體の責任にまかしておかうといふのである この航空機時代において、平和維持のため地域的組織を作らうなどといふ考へは、技術の進步に立遲れた考へ方である

時期尙早の感

しかし歐洲經濟理事會案にしても、なほ最後的に贊成するには時期が早すぎる、この案が果して十分機構を發揮しうるものかどうかを判定するには、未知の要素がなほ多く存在する、獨占、資本の問題その他封建的な反動など考慮すべき諸案件が將來に橫たはつてゐる、われわれがいよいよ決心するまでには少くとも英佛兩國の總選擧を待たねばならない

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　電報通信社　東京都麹町區日比谷公園二番　電報通信社　同盟通信　海外電報　昭和十九年十二月十五日(金)　第三二七一號

同盟通信　海外電報

【目　次】

對希政策の失敗で黨大會騷然……三一〇二
エラス兵團總攻撃……三一〇三
國務省主脳任命問題紛糾……〃
【英　帝　國】
日獨兩國民も連帶責任……三一〇四
ギリシヤにおける英軍損害……〃
印度農工業發展計畫……〃
【米　洲】
日獨撃破で滿足せず……三一〇五
ダイス委員會解消……〃
戰爭三年と市民生活……〃
【友邦軸陣營】
ソ佛條約の内容……〃
占領地に資源を供給せず……〃
佛武器貸與使節訪米……〃
三國會談の機運……三一〇六
またまた米軍將校を放逐……〃
【歐　洲】
和協工作の機運動く……〃
プラスチラス本國に歸還……〃
スフオルツア肅正委員長辭任……〃
和蘭の人心亡命政權を離る……〃
【東　亞】
重慶の命脈……三一〇七
英の協力は海空のみ……〃
米効果を期待せず……〃
【西　亞】
イラン新外相決定……〃
【特　輯】
リスボン便り……三一〇八
【資　料】
新西蘭、濠洲、カナダ……三一一二
餓鬼の冬を迎へた歐洲……〃

世界の焦点

チヤーチルによればエラス兵團は山嶽地帶から下りて來て恐怖と暴力をひろめる不逞の徒輩といふことだが、恐らく彼は過去において幾度かエラスの抗戰精神を讃へ、英雄に祭り上げた事實を忘れてしまつたらしい、チヤーチルの三寸の舌にかかれば、英雄も忽ち强盜に變身するやうだが、それなら英國政府の支持するパパンドレオは何者だ、サロンの安樂椅子から出てきた絹手袋のカリエリストではないか、チヤーチルの小手先は山師を民主主義の旗手にしてしまつた、だが魔術師が如何にシルクハツトから兎や鳩を出してみせて觀客の眼をくらまさうとも、冷嚴な現實はチヤーチルの指先で處理出來るものではない、エラス兵團は一九四〇年十月ムツソリーニのギリシヤ攻撃に際し初めはメタクサス將軍、後にはパパゴス將軍の麾下で戰ひ、一九四一年春のギリシヤ崩壞後地下に潛り影を縫つて抗戰を續けてきた言葉の眞の意味における「解放戰士」だ、現に英軍の小部隊はギリシヤに上陸したが、アテネを回復し、サロニカを奪ひ返したのはエラス兵團で、英軍などの與り知るところでないギリシヤ全土の回復は殆んどエラス兵團の手で成就されたのだ、しかるにチヤーチルは民主々義の實現と稱して「黒」のパパンドレオを擔ぎ、EAMにレバノン憲章の違背をせめてゐるが、レバノン憲章の眼目たる民主々義の實現に逆つてゐるのは、ほかならぬパパンドレオであり、チヤーチルだ、スコビー軍はギリシヤの秩序を回復するために戰つてゐると稱してゐるが、眞にギリシヤに恐怖と暴力をひろめてゐるのは英軍ではないか、チヤーチルは英國下院やダラ幹勞働黨の眼をくらますことができようとも、全世界の輿論は既にチヤーチルを磔刑に處してゐることを知るがよい

ブルグ劇場燒く

（ベルリン十二日發）總統大本營十二日發表＝反樞軸空軍は十一日、密雲に乘じてドイツ西部及び西南部に來襲、主としてライン地方の諸都市に恐怖爆撃を加へたが、ウイーンのブルグ劇場及び國立オペラは米軍の爆撃によつて炎上した

對希政策の失敗に黨大會騒然

―英國政府の危機未だ去らず―

（ストツクホルム十三日發）英帝國勞働黨は十三日の黨大會においていよいよギリシヤ政策に關する執行委員會の決議案について討議を加へたが、議場は終始騒然として、決議案を提出した領袖アーサー・グリンーウツドのごときは屢々演壇に立往生する有樣だつた、先づ大會の議長ハワルド・ラスキー教授は議事手續に關し

「ギリシヤ政策に關しては幾多の決議案が提出されてゐるが、大會においては執行委員會の決議案だけを議題とし票決に附す、反對の各代表は勿論右決議案にたいし反對投票をして差支ない」

と述べたが約一千の代表の間から隨所に「ノー・ノー」といふ聲が起り、ラスキー教授が漸くにして議場を制する有樣であつた、ついでグリーンウツドは決議案を提出し

「代表諸君は今回の討議を首相チヤーチルにたいする徵罰とすることが出來るが、余個人の希望としては寧ろギリシヤ國民の立場とその將來について聲援を與へることに重點を置きたい」

と述べつぎの決議案を提出した

政權樹立を總選擧によれ「本大會はギリシヤ國内に持ち上つた悲劇的情勢を深く遺憾とし、遲怠なく休戰を促進し、獨伊兩國軍に飽くまで抗戰したギリシヤ國内各派間の會談を再開し、かくしてできる限りギリシヤ國民の民意を表明させるためできる限り速に自由且公正な總選擧を執行する臨時政權の確立をみるために一切の必要な措置を最も緊急に構ずるやう英國政府に要請する、本大會は寬容且英雄的な盟邦ギリシヤ國民に對し平和と幸福と和協とをもたらす如き强力な民主體制の確立を待望する」

右決議案提出に先立ち反對派から數十の强硬決議案が提出されたが、執行委員會の事勿れ政策により結局これらの決議案は一切葬り去られた

勞働黨内に隱然たる勢力を擁する鐵道從業員組合は大會の當初から首相チヤーチルにたいする嚴重な抗議を主張してゐたが、同組合の書記長バーンステツドは痛烈に執行委員會の遣口をこき下し「余の組合はこの決議案に反對することは出來ない、しかし英國の勞働運動としてはギリシヤ政策を始めその他諸般の事項についてもつと明確に所見を開陳すべきだと思ふ」

と述べた、幹部派を代表して勞働相サー・アーネスト・ベヴインが決議案の主旨を說明したが、意氣全くあがらず決議案にたいする勞働黨大會の不滿は蔽ふべくもなかつた

政府を拘束する强硬意見　以上の形勢に炭坑夫組合の指導者で下院勞働黨の領袖として知られるジエームス・グリフイスが立つて執行委員會を代表し、ギリシヤ政策にたいする勞働黨の政策を闡明したが、勞働相サー・アーネスト・ベヴインが聯立内閣における閣僚としての立場を擁護するために終始したのとは全く反對に、グリフイスは首相チヤーチルの政策を根本的に覆すやうな見解を執行委員會のスポークスマンとして表明したために大會の形勢は再び逆轉するに至つた

「勞働黨は黨としての主張が容れられる場合にはじめて政府のギリシヤ政策を支持するであらう、勞働黨はエラス兵團にたいして無條件降伏を要求せず同兵團との休戰を要求する、卽ち英軍としてはエラス兵團に最後通牒をつきつけず、各政派間における和協を企圖しなければならない、勞働黨はまた各政派を代表した政權の組織を要求するがEAM團の代表が加はらない政權は決してギリシヤ國民を代表してゐるといふことは出來ない、同時に首相もまた各政派が異議のない人物を選ばなければならない、勞働黨はまた保安警察隊の武裝解除並びに現在英軍の指揮下にエラス兵團と殘つてゐる山嶽旅團及び神聖大隊の解體をあくまで要求するであらう」

以上の言明については副首相アトレーを始め聯立内閣における勞働黨出身の閣僚は悉く拘束されるわけだが、これらの條件はEAM團出身の閣僚はパパンドレオ政權から連袂辭職するに先立つて提出した條件と殆ど異ならず、チヤーチルのギリシヤ政策を全面的に否定するに等しい

昭和十九年十二月十五日(金)
第三二七一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

例へばチヤーチルがパパンドレオのギリシヤ政局の危機を收拾できる唯一の人物としてもち上げてゐるのに對し、グリフイスが各政派において異議がない首相を要求してゐる以上パパンドレオが挂冠する外ないことは明らかだ

決議案可決の經緯　以上の强硬意見を聞いた結果、勞働黨大會も漸く納得し、二百四十五萬五千票對十三萬三千票で執行委員會の決議案を可決したが、チヤーチルに對する辛辣な批判をもつて有名な下院勞働黨の論客アヌーリン・ベヴアンが今回の執行委員に當選してゐるため委員會においてもグリフイスの闡明した條件が貫徹されるだらうとの見方が有力である、以上勞働黨大會の經緯に關聯し、ロイター電報は次の通り報道してゐる

「勞働黨大會はグリフイスの徹底した諸條件を聽取したのち始めて微溫的な執行委員會の決議に同意した、從つて屢倒的多數で決議案が採擇されたといつても勞働黨大會が閣内における黨出身閣僚の政策を裏書したわけではない、數日内に新たに選出された勞働黨の執行委員會が緊急會議を開催し、黨出身閣僚の行動を仔細に檢討する豫定だがこの緊急會議が濟むまでは現内閣の危機が解消したといふことは出來ない、ギリシヤ政策の修正に關する勞働黨出身閣僚の要求に首相チヤーチルが如何に反應するかによつて總てが決定されよう」

エラス兵團總攻撃　(リスボン十三日發)エラス兵團は十二日以來重砲を持込み、迫撃砲も併用して英空軍の爆撃に對する報復としてアテネ市内における英軍の陣地に猛烈な攻撃を加へると共に、グランド・ブルターニュ・ホテルによる英軍司令部に對しても白兵戰を敢行、内亂始つて以來の激戰が隨所に展開されてゐる、戰闘は英軍司令部を距る僅か千五百碼の地點で展開され、英軍は二十五封度砲で應戰してゐるが苦戰の色濃ひがたく、アテネのロイター特派員も「過去二十四時間内にエラス兵團はいよいよ猛烈な攻勢に轉じてゐる」と報道してゐる

十三日拂曉エラス兵團は十呎の壁をよじ登つて英軍の兵舍を襲撃、英軍は戰車隊の應援で陣地の東北の片隅に撃退したと稱してゐるが、英軍の石油貯藏庫はついに爆破炎上されるに至つた、米人特派員も十三日アテネ市内に大爆發が起り、全市は一大震動を起したと報じてゐる、さらにエラス兵團の狙撃兵は續々英軍の陣地内に侵入し、水と食糧との輸送を阻害してゐるため英軍は兵站補給にも困難を感じてゐる樣子だ、英軍司令スコビー少將は十三日の戰況公報で次の通り發表した

全般的な戰況には殆ど變りはない、エラス兵團は攻勢を繼續、十三日拂曉前後二回に亘り猛烈な攻撃を行つた、右攻撃は東部地區におけるギリシヤ旅團並びにアテネ市中央附近の英軍に向けられたがこの攻撃は阻止された、ピレウス外廓においては英軍の作戰は多少進捗したが、英軍の活動は既に占據した地域において狙撃兵を掃蕩するにとどまつてゐる、英空軍は地上部隊に協力し、市の中央に向つて攻撃を加へてゐるエラス兵團の七十五粍砲を沈默させた、その他の地區においては戰況に變りがない、サロニカ並びにカトラス地區においても依然緊張が繼續されてをり、全國を通じエラス兵團の動きが活潑である

國務省首腦任命問題紛糾

(リスボン十三日發)ワシントン來電＝上院外交委員會は日下新國務次官グルー以下國務省新次官補五名の任命承認につき公聽會を開いてゐるが、上院議員のうちには新次官補中一、二名の任命に對して强硬な反對態度を示してゐる者あり、特にウイリアム・クレイトン及びジエームス・ダン兩名の任命に對する反對が强い模樣だ、外交委員ラ・フオレツトは十三日外交委員會に對して祕密參考文獻を提出したが、ラ・フオレツトはこのうちでクレイトンが彼の支配する中南米特にペルーにある棉花會社を通じ曾てイタリアに對し多量の棉花を供給し、更にスペインを通じてドイツ軍占領下のフランスに同樣棉花を供給した事實をあばき出してゐるといはれる、一方ダンは十二日の公聽會で英國政府のギリシヤ政策を支持するごとき言明を行つた結果、上院議員の間に物議を醸し、ギリシヤ問題では米國が英國の驥尾に付し「第二ヴアイオリン」的役割を演じてゐるとの印象を深めてゐる際、英國の不當なギリシヤ政策を支持してゐるごとき人物を國務省の首腦に任命することは出來ないとの意見が有力となつたやうだ

日獨兩國民も連帶責任

（リスボン十二日佐藤特派員發）英國勞働黨の第四十三回年次大會は十一日からロンドンで開催されてゐるが、全國一千餘名の代表を前に議長ハロルド・ラスキー教授は先づ「歐洲戰爭の終了まで現内閣を支持する」旨を述べ、さらに日本については「日本がもはやアジアの世界を支配しなくなる日を熱心に待望する」と言明した、大會の二日目には執行委員の選擧あり、去年落選したモリソン内相のほかにチヤーチル首相に對する最も辛辣な批判で有名なアヌーリン・ベヴアンも委員に當選した、黨首領アトレー副首相は「日獨兩國民が今回の戰爭について兩國の指導者と同樣責任を負はねばならない」との決議案を提出、代表の一部は徒らに日獨兩國民の戰意を昂揚する結果になるといふので反對したが、表決の結果右決議案が採擇された、從來英國政界筋にはもと外務次官ヴアンシツタート卿の名で知られるドイツ民族抹殺論に對しては相當反對意見が有力だが、勞働黨も大勢に押されて今回のやうな無茶な且つ夢物語りにすぎない決議案を採擇するに至つたと解される、更に各代表の間からドイツ分割案反對の動議が提出されたが、幹部の反對で右動議は否決された

「エコノミスト」誌のごときも十一月四日の誌上において、チヤーチル首相が下院の討議に當り飽くまで無條件降伏に關するカサブランカ方式を固執するのを非難し

無條件降伏の方式を文字通りに解釋するならば全くナンセンスにすぎないことは明らかだ、徒らに日獨兩國民を最後まで戰はせ且つドイツ宣傳相ゲツベルス博士に絶好の資料を與へるばかりだ、無條件降伏の愚劣な文句は健全な政策への障碍であり、速かに埋葬してしまはなければならない

と論じてゐるが勞働黨大會の席上でもシトラー・ボルジー卿は

もし諸君がいつまでも無條件降伏の曲目を奏でるならば、ヒムラー内相、ゲツベルス博士などナチ領袖の御用をつとめるにすぎない結果となるう

と強調した

ギリシヤにおける英軍損害

（リスボン十二日發）ロンドン來電＝外相イーデンは十二日下院において次の通り發表した

「一九四一年英軍がドイツ軍の攻撃によりギリシヤ占領地域から撤退を餘儀なくされた當時、英軍は同方面の戰闘で軍艦六十九隻、商船十二萬トン人員約四萬を喪失した、右軍艦の内譯は巡洋艦五隻、驅逐艦十三隻、コルヴエット艦一隻、潜水艦三隻、舟艇四十七隻で、この他戰艦三隻、空母一隻巡洋艦十二隻、驅逐艦十隻、コルヴエット艦一隻潜水艦三隻、舟艇多數に甚大な損害を受けた、これに比較すれば現在のギリシヤ叛亂軍との戰闘における英軍の損害は微々たるものである」

印度の農工業發展計畫

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝六名より成る印度人技術團が九日米國に到着しワシントンにおいて十一日記者團と會見、印度の將來の計畫として立案した大規模な工業化及び農藝の發展計畫の詳細を說明次の通り言明した

「非公式の計算によると印度政廳は今後十年乃至十五ヶ年以内に科學的調査、農業、藥品製造、輸送機關、水力發電の發達その他印度の近代化に必要な諸計畫のため豫定支出額として約三百億弗を計上してゐる、但し印度政廳は未だ如何なる計畫にも決定的に手をつけてはゐない

われわれは米國に六週間滯在するがこの間に科學および工業的調査機關の首腦部と會見し、米國の工業的發展に寄與した研究所を訪問するが、印度の科學的工業および農業發展計畫に資するためワシントンに恒久的な科學連絡事務局を設置することや印度の青年を米國で訓練する可能性、さらに今後の計畫のために米國の技術と資材を入手すること等について建言書を作成する筈であるなほ一行の氏名次の通り

ナジール・アーマツド博士（ボンベイ大學）シヤンテイ・ナートナガール博士（印度科學調査管理局長）サー・ジヤン・チヤンドラ・ゴーシユ（バンガロール印度科學研究所長）S・K・ミトラ教授、メグハンド・サハ教授（カルカツタ大學）J・N・ムケールジ教授（カルカツタ科學專門學校）

昭和十九年十二月十五日(金)
第三二七一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米　洲】

日獨撃破で滿足せず

（リスボン十二日發）ニューヨーク來電＝陸軍次官パターソンは十一日夜ニューヨークでの演說で次の通り述べた

日獨兩國民が今後數百年にもわたつて忘れることの出來ぬやうな程度にまでこれを撃破し、更に兩國を完全に武裝解除するのでなければ、新しい世界戰爭を防止することは出來まい、しかし日獨兩國の完全撃破だけでは十分でない、われわれは世界平和維持の有效な機構を樹立しなければならぬ、この世界機構の背後にこれを支持する武力を持たないならば效果ある機能を發揮することは出來ぬだらう、かかる武力は日獨兩國は勿論將來侵略的戰爭を企圖する如何なる國家をも畏怖せしめる程強力なものでなければならぬ、米國は將來訓練ずみの兵士を直ちに動員し得る點においても、或ひはまた優秀な武器を生產し得る點においても、强力でなければならぬ

ダイス委員會解消

（リスボン十二日發）マーチン・ダイスを委員長とする下院の非米運動調査委員會は從來國民の間にとかく不評であつたが「タイム」誌十一月二十七日號は次の通り報道してゐる

「ダイスは既に下院議員から足を洗ふことになつた、三名の委員も投票者から肘鐵砲を喰ひダイス委員會は半身不隨の有樣だつたが先週同委員會は終に完全に參つてしまつた、卽ち下院の民主、共和兩黨首腦部が、殆んど誰でも彼でも共產黨員呼ばはりをするダイス委員會を明年一月三日の期限滿了と同時に再び復活させぬことに意見の一致をみたからだ、この報を聞いて一部國民は大いに喜んだが涙を流す者はほとんどなかつた」

戰爭三年と市民生活

（ストツクホルム十二日發）ニューヨーク來電＝十二月七日眞珠灣の悲劇三周年に際しニューヨークの「ヘラルド・トリビューン」紙は次の通り述べてゐる

眞珠灣の悲劇以來三年經過したが、米國にとつてこの戰爭は全くたつた今始つたばかりとの感が深い、戰死者名簿が益々長くなりつつあるのに加へて國內の諸統制は市民生活にとつて愈々不快なものとなりつつある、民需品生產の再開は原料、勞力の不足によつて中止となつた、肉類は大旱魃とそれからくる飼料不足のため大量の家畜を屠殺しなければならなかつたひと頃には多量にあつたが、それも今は日一日と乏しくなつてゐる、食料切符を持つてゐても、バターが欲しいとすれば情實關係がなければ手に入らぬ、衣料は制限とそされてゐないがシヤツや下着は買ふにも品物がない

【反樞軸陣營】

ソ佛條約の內容

（リスボン十二日發）ソ佛同盟條約の內容はまだ正式に發表されてゐないが、英紙「デーリー・テレグラフ」のパリ特派員が十二日報ずる所によれば、八個條からなり、主な條項は次のやうなものといはれる

一、對獨戰における軍事上の相互援助
一、戰後新たなる侵略行爲の阻止
一、ドイツがフランスを攻撃した場合ソ聯は軍事外交上の援助を與へ、フランスは獨ソ國境調整に關するソ聯の政策を支持する
一、歐洲の安全保障と繁榮のための協力
一、戰後フランスの經濟的獨立に對するソ聯の援助
一、兩國共相手國を對象とする同盟には參加せぬこと

占領地に資源を供給せず

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝米英合同生產資源委員會並びに米英合同原料委員會は反樞軸軍の軍需補給が緊急を要する限り歐洲における反樞軸軍占領下の諸國には原料品並びに經濟復興用の資材を供給出來ない旨十二日發表した

佛武器貸與使節訪米

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝國務省は十二日ジヤン・モネーを首班とするフランスの武器貸與使節が近く米國を訪問することとなつたと發表した

三國會議の機運

（リスボン十二日發）スフオルツア伯の忌避事件以來、歐洲政策に關して米英兩國の對立が表面化するに至つたが、十二日に至り米國務省筋の意向を反映し「デーリー・メール」紙並びに「デーリー・エキスプレス」紙のワシントン特派員は英外相イーデン、米國務長官ステチニアス並びにモロトフ外務人民委員が近く會見し歐洲の政局に關する方針の調整をはかり、三頭會談への素地を作るであらうと報道してゐる、但しロンドン來電によれば、英國外務省當局は右報道を否定し、現在スターリン議長、ルーズヴエルト、チヤーチルの三頭會談の準備がすすめられてをり、一月末までに會談が實現するだらうともらした

またまた米軍將校を放逐

（リスボン十二日發）ブルガリア駐屯赤軍當局は過般米軍將校を放逐して問題を起したが、ソフイア來電によれば、十二日再び米軍將校四名に國外退去令を發したといはれる、放逐の理由は明らかにされてゐないが、前回の例もあり米當局の出方が問題視されてゐる

【歐　洲】

和協工作の機運動く

（リスボン十二日發）英軍司令スコビー少將は十二日EAM團の代表ミルキアデス・フロフイロニエンスと會見し英國政府の和協條件を提出し、同代表は目下本部において協議を重ねてゐると傳へられるが、アテネからのAP電報は左のごとく傳へてゐる

EAM團も結局抗戰によつて目的を貫徹することは出來ないとの見透しのもとに首相パパンドレオの下野を要求する從來の主張を緩和し、何人をも處刑しないとの條件でエラス兵團をアチカ地區から撤收する用意がある

エラス兵團は內亂開始以來死傷俘虜と合せて全兵力の約一割四千五百の損害を蒙つてをり、アテネ市內の食糧は極度の窮乏に陷り遺棄屍體を取片付けぬため疫病發生の惧れあり、EAM團の中央委員會も適當な條件で折合ふ肚と解される「デーリー・スケツチ」紙の報道によればチヤーチルは地中海方面軍司令ハロルド・アレキサンダー並びに常駐相マクミランに對し

ギリシヤ國內における英國の足場を失はぬ範圍で如何なる妥協によつてでもいいからできる限り速かにギリシヤ內亂を終局させるやう訓令を下し、且つ廣汎な自由裁量の權限を與へたと傳へられるから、兩人のアテネ乘込みとともに漸く政治的解決に向ふのではないかとみられる

プラスチラス本國に歸還

（リスボン十二日）フランスに亡命中だつたギリシヤの將軍ニコラス・プラスチラスは十二日パパンドレオ首相の招電によりマルセイユから空路アテネに向つた、プラスチラスは一九二二年のコンスタンチン王の退位要求反亂の首謀者の一人で、當時反亂失敗と共にフランスに亡命し死刑を宣告されてゐた

スフオルツア肅正委員長辭任

（リスボン十二日）スフオルツア伯は一切の公職を拒否する意向を洩したが、ローマ來電によれば反ファツシヨ「肅正」委員長の職をも辭任する意向といはれる、スフオルツア伯辭任の曉には委員長は閣僚三名からなる合議制となるか或ひは司法、財政兩省直轄の新「暫定委員會」が創設される豫定と傳へられる

和蘭の人心亡命政權を離る

（リスボン十二日發）オランダ戰局の進展に伴ひロンドンにある亡命政權は漸くオランダ解放の氣構へをみせて動き始めたが「エコノミスト」最近號は右に關しつぎのやうに論じてゐる

反樞軸軍占領地區のオランダ住民とロンドンにあるオランダ亡命政權との間隙は日增しに增大してゐる、現在オランダが平穩なのは軍の作戰地域に入つてゐるため、反樞軸軍の權威に盾つくものがないからだ、それにも拘らず國民間の不安は深刻の度を加へ亡命政權の政策並びに復興計畫に對して次第に反對の氣運を示してゐる

また「ニユー・リーダー」誌は「ロンドンの各國亡命政權が夫々國民との接觸を失つてゐることについてはオランダ亡命政權もその例に洩れないがオランダ國內でも王家や舊政治家等は既に人心から離れ去つてしまつてゐる」と述べてゐる

昭和十九年十二月十五日(金)
第三二七一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【東　亞】

重慶の命脈
—スペイン紙の論調—

(マドリード十二日小島特派員發)六日附の「アリバ」紙は「重慶の運命は二月までに決定」と題する次のニューヨーク特電を掲げてゐる

重慶は六十日期限の手形である、卽ちこれから二月まで抵抗出來れば米國の援助が來て對日反撃に出られるが、二月前に抵抗が瓦壞すればもうそれまでである、この情勢は重慶自身が認め、また在支米英特派員が筆を揃へて書いてをり、その上これらの記事は皆嚴重な檢閲を通つて來たものであるところからみてもこれが如何に重大なものであるか想像に難くない、今まで蔣介石は外は優勢な日本軍に對し、內は飢餓とインフレーションと內亂の危險に對し獨りでよく戰ひ、支那の廣大な土地を利用して日本軍の進撃を遲らせ、米國の援助を待つといふ策をとつて來たが、最近日本軍の進撃目覺しく、大陸は完全に兩斷され、上海から佛印までの鐵道も道路も日本軍の手に歸して蔣介石の空間によつて時を延ばすといふ策は全く行き詰つてしまつた、また今まで只一つの有效な援助をしてゐた米軍航空隊も最近日本軍に多數の飛行場を占領されて全面的危機に瀕してゐる、そこで蔣は最後の策として內部統一を圖り今までの行き掛りを捨てて中國共產黨とも提携し、一方宋子文を行政院長代理に任じて自分は元首と總司令の仕事に沒頭することとなつた、その間ネルソンは急遽歸國しワシントンで重慶救濟策を協議する筈である、また他方米機の日本空襲は頻繁となりつつあるが、これは單に心理的效果を狙つたものではなく實際に工場地帶爆撃により支那、比島方面の日本の戰鬪力減殺に大きな貢獻をしてゐる、しかしながらそれにも拘らず日本陸軍の戰鬪力はまだ全くそのままであり、支那大陸から日本を驅逐するためにはどうしてもその陸軍を撃滅せねばならず、それには非常に有力な援助が必要である、勿論米國はいま大規模の對支援助を準備中である、しかしそれには相當の時間が必要であり、今日重慶がこの期間を待てないこと、これが大きな問題なのである

英の協力は 海空のみ

(リスボン十二日發)カンペラ來電＝英太平洋艦隊司令長官フレーザーは十二日記者團と會見「對日戰における英國の協力は主として海軍と空軍の作戰に限定されよう」と言明して英國の協力の限界を示唆したが、特に太平洋艦隊旗艦として三萬五千トンの戰艦ハウを定めた旨發表した、ハウは一九四二年就役した新艦で、十四吋主砲十門を裝備、空戰の經驗に鑑み重さ一萬四千トンの重裝甲を有し、乘組定員數は千五百名である

米效果を期待せず

(リスボン十二日發)カンペラ來電によれば新英國太平洋艦隊司令長官ブルース・フレーザーは十二日メルボルンからカンベラに到着、濠洲副首相兼陸相フランシス・フオード、海相兼軍需相ノーマン・メーキンと會見、作戰上の打合せを遂げたといはれる、英國は太平洋艦隊の新設をもつて米英協同作戰に關するチヤーチルの公約の實現と稱して騷ぎ立ててゐるが、米國自身は餘り期待してゐない模樣で、ニューヨークからのUP電報は「中立國海軍消息筋」に藉口して新設英太平洋艦隊は要するに東亞艦隊の看板を塗り變へただけで、これだけで太平洋戰域における米英兩海軍の協力が有效に實現される可能性はまづないと露骨に嚮次つてゐるが、更に濠洲側もあまり當にしてゐない樣子で濠洲主力紙「シドニー・モーニング・ヘラルド」も十二日つぎの通り論じてゐる

英太平洋艦隊の新設は喜ぶべきことだが、濠洲を危機から救つて呉れた米國にたいする感謝を忘れてはならない

【西　亞】

イラン新外相決定

(リスボン十二日發)テヘラン來電＝イラン新首相バヤートは外相にバクダード駐劄公使ムヒン・サイスを任命したが同人が受諾しなかつたため結局交通相ナスルラー・インテイサムを十二日任命した、交通相の後任は未だ決定してゐない

特輯

リスボンだより

―住宅、農業、社會保險―

十二月十日佐藤特派員

ダンケルクの敗戰後英國が必敗の地位に立ちながら一應危機を脫却したのは、英國民が「ブルドッグ式勇氣」を鼓して銃もなく軍服も持たぬのにとにかくホーム・ガーヅ（護國軍）を組織し、あくまで島國を守る面魂を示した結果だ、爾來星霜移り戰局もまた轉變して二百萬の民軍は十二月三日正式に解體した、當日英國王ジョージ六世はラヂオを通じて全國民に代り護國軍に對し次の通り感謝を表明してゐる

「一九四〇年五月國歩艱難の際、津々浦々においてドイツ軍の上陸作戰に對して蹶起するやう全國民に要請したところ、自由が危險に瀕する時自由人が常に呼應するがごとく、英國とアイルランド北部を通じて英國人はこの呼びかけに答へた、野から丘から工場から店舖から事務所から紡績工場から鑛山から、あらゆる年齡あらゆる職業の人々が戰のために挺身した、殆ど一夜にして新たな兵力が出來上つた、裝備はほとんどないが勇氣と決意とにおいて威力ある兵力が出來たのである」

薄らがぬ困難の雲

護國軍は解體する、九月からは燈火管制が緩和される、しかも英國人が鼓腹撃壤出來ぬ所に今度の世界戰爭の特質が潛んでゐるのではなからうか

先づブレー空軍少佐は西部戰線について「デーリー・ヘラルド」紙の紙上で次のやうに警告してゐる

「西部戰線における戰ひは佛白兩國における進撃の繰り返しではない、恐らくドイツ軍は本國防衛のための戰略豫備を用意してゐたらうし、その上有力且つ巧妙に設計された防衛陣地に據つてゐる反樞軸軍は今度初めて敵國内で戰ふので、從來ドイツ軍を惱ました攪亂行動に反樞軸軍が今度は遭ふわけだ」

航空機製作相サー・スタフォード・クリップスは最近バーミンガムでの演說で

「英國は史上最も困難な産業上の時期に入らうとしてゐる、この困難を克服するには最大の生産力を發揮する以外方策がないが生産力の發揮は傭主と被傭人との間の條件に依存することが大きい」

また生産相オリヴア・リトルトンは十二月六日英國下院で、輸出貿易に關する企畫について米國が斷然先鞭をつけてゐるのではないかとの議員連の質問に對し、次のやうな情ないことを答辯してゐる

「現在英國が戰後の通商政策を決定することは出來ない、歐洲戰爭が片付いてからでも英國の全資源の五〇%は日本軍との戰ひに振向けられねばならぬのである、英國が今國民生活を改善し相當大規模に輸出を始めることが出來るといふやうな印象は間違つてをり、徒らに勝利を遲らす結果となるう、來年になつたら一部軍需生産からの切り替へを考へ、軍需勤勞員を民需工業に轉換出來ようが、緊張を緩めることは禁物である、一時間喪失すれば一時間戰爭が長引かう、要するに英國は世界最大の債務國であり、國内で生産出來ぬものを海外から輸入しても支拂ひが出來ない、戰後の貿易に關する構想は英國の當面する陰慘な事實を背景として初めて出來上るのである」

失はれた家庭生活

アデン放送局は英國民の生活について最近次の通り放送してゐる

「英國にはもう家庭生活はなくなつた、空からの危險に曝されて、都市にをつても野外にゐても安全と思ふことは出來ない、勞働組合に關する法制は實施されてをらず、勞働時間も一向極つてゐない、空襲對策として軍需工場が全國に散在してゐるので勞働者達は家庭から遠い町々に廻され、家庭生活は目茶苦茶にされて了ふ、女性も多數工場で働いてをり、英國は全く軍需生産のために一切を犧牲に供してゐる有樣だ、今年の八月二十一日までに市民の間に死者八萬七千九百餘人を出してをり、負傷者七萬五千百餘人を出してゐる

昭和十九年十二月十五日(金)
第三二七一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

國内一千三百萬戸のうち四百五十萬戸が破壊されたので非常な住宅難だ、至るところ狭いところに鮨詰めで一部屋に十人入つてゐるところも珍しくない、電燈もなく古い洋服に古靴だ、自動車は稀でラジオの機械はフラットにでも料理屋でもお目にかかれない」

この報道は些が行き過ぎかも知れないが「ニューズ・クロニクル」紙も

「今年の收穫は平年作の四〇%に過ぎず、この冬は牛乳果物羊肉牛肉の不足に苦しむだらう」

と報道してゐる

住宅難對策に苦慮

八日のB・B・C放送によれば、今年は英國では冬が早く到來し至るところ零下の寒さだといふが、寒さに向つて住宅難が重大問題化してゐる樣子だ、先日も公共事業相のダンカン・サンデイスが下院で頻りに陳辯してゐるが、資材と人手不足とで來年一月に豫定された住宅の建築にも着手できぬ有樣だ「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電に曰く

「英國人の家庭はその城廓なりとよくいはれてゐるが、過去六ケ年間英國人の家庭は彼の待避壕となつてしまつた、ロンドンだけで百萬戸以上も破損し、しかも六年間建築事業は放任してゐたので住宅問題が英國政府當面の重大問題となつた、當初英國政府は雄大な再建計畫を樹ててゐたが、今では極く地味なしかし一層緊急な住宅難對策に苦慮してゐる、十ケ年間に四百萬戸建造する計畫で一億五千萬磅の助成金支出を可決したが、バラバラにやらず都市復興計畫の一部として住宅の再建を企圖してゐる」

差し當りの急場を凌ぐため「假りのバンガロー」を各市町村に配給する計畫だ、ウイリンク保健相は最近下院において

「廣範圍にわたる住宅難を救濟するための假りのバンガローの第一回分は來年夏までに引渡す豫定だが、出來次第受取ることが出來よう、敷地を選定し道路その他の公共施設を用意して貰ひ度い」

と述べてゐる、ロンドン都廳では一月一日以降毎週二百五十戸の割合でバンガローを受取るが、バンガローの壽命は大體十年の見込みだ、都廳の住宅並びに保健委員會は敷地の買上費その他水道敷地費等として先づ百萬磅の豫算を都會に上提したが、都廳の報告によれば差し當りロンドン地區で二萬戸が緊急に必要で、現に八、九千戸のバンガローを建てることが出來る二千筆の小敷地が手に入りさうだといふに過ぎない、そこで都廳としてはロンドン市外に敷地を求めてゐるが、公共事業者では何時でも工事にかかる用意が出來てゐるから來年の三月末までに三千戸の敷地をみつけるやう要求してゐる

このバンガローと同じものかどうか分らないが近頃英國各紙を賑はしてゐるのが既製品住宅(Prefabricated Houses)の問題だ、既に六萬戸がイングランドの各地方自治體に配給され、更に三萬三千二十戸がスコツトランド各地に配給される豫定だ、ところが建築業全國評議會の會長レスリー・ウオリスは早くも反對を唱へ

「建築業界ではチヤーチル首相が下院で發表するまでいはゆるポータル住宅(Portal House)のことは全然知らなかつた、相談も受けなければ大體どんな企劃で組立てるかも聞いてゐない、若し相談を受けてゐたらもつと效率のいい長持ちする住宅を、しかもより短い期間で造つて見せることが出來たと思ふ」

專門家が文句を付けるのは何れの國も御同樣だらうが、この新案既成住宅は水道下水、ガス、電氣等を入れて大體六百磅で出來ると公共事業省でいつてゐるのだから、英國の物價からみて可成り粗末なバラック建てに違ひあるまい

はかどらぬ食糧政策

次が農業だ、食糧省當局では濠洲ニュージーランドからの肉類が太平洋戰線に廻はされるため肉の配給をさらに削減しなければなるまいといつてゐるが、もつと大きな問題は農業界の不安だ「デーリー・エキスプレス」紙は十一月三日の紙上で次の通り報道してゐる

「英國政府が戰後における農業政策を何時まで經つても發表しないので農業界は益々焦慮してゐる現に下院で早く決定するやうにとの要求が出てゐるが近く上下兩院で一層執拗にこの意見が出よう

當局が全然方針を指示しないので、英國の戰時農業委員會も各國の專門家を吃驚させた記錄破りの食糧生産を農民たちに維持させることは困難だといつてゐる、前大戰後政府に裏切られた苦い經驗を持つてゐるので、非常に優秀な農民達もいい機會に耕作地を賣り拂はうとして虎視耽々だ、彼等の耕作地が餘り經驗のない且つ好ましからぬ買手の手に渡るかも知れない」

食糧に關しては助成金撤廢による値上りが問題だ、アシュトン大藏次官が十月二十四日下院で說明したところでは

「現行の値段を生産業者並びに分配業者に支拂ひ乍ら食糧助成金を撤廢する結果、小賣値段は助成金の額だけ增加しよう、生活費指數は一九三九年五月に比べ三〇%上廻つてゐるが、今後は四六%上廻ることとならう」

と述べてゐる

以上のやうな情勢をみて飴をねぶらせるつもりか食糧省では十二月十日からアイスクリーム製造の原料を配給することとなつた、英國人の好物だが大東亞戰爭の開始後ずつと製造禁止になつてゐたのだ、しかし英國人はアイスクリームよりも、鳴りもの入りで宣傳された社會保險案を一體何時頃から實施するのかきかせて貰ひたいらしい

社會保險案も前途多難

「デーリー・スケツチ」紙は「今度の開院式演說で英國王が社會保險法案に全然言及しなかつたので、勞働黨は少からず當惑してゐる、もつとも演說に關する討議を拒否する場合には聯立內閣から閣僚を引きあげなければならぬので結局討議に參加することに決定したが、下院では出來る限り社會保險法案の成立を期するやう要請する方針だ、保守黨は困難な住宅問題を重視し、爆彈に基づく損害について速に對策を遂行するやう主張してゐる」

と述べてゐるが「デーリー・ヘラルド」紙は十一月四日の紙上で同じく次の通り報道してゐる

「藏相サー・ジョン・アンダーソンは三日の下院で社會保險に關する白書を實施するまでの下院の日程を示さず、多數の議員連を失望させた、勞働黨の領袖アーサー・グリーンウツドは現會期中に必要な法案を成立させるよう要請したので勞働黨議員の多數は內相が右要請に呼應するのを期待してゐた、若し速かに法案が成立しなければ社會保險法案が實施されるまでには何年もかかるだらうといふ印象が强い、院の內外において全面的保險制度全般に敵意を抱く有力な諸勢力が全力を集結して一大反擊を企圖してゐる、反對派は關係各法案の準備だけでも數ケ月を必要とするので、下院が解散なしに續いても法案の審議に全會期を必要としようと述べてゐる」

社會保險法は資本主義 自由主義から全體主義への轉換を意味するのだから、保守黨と勞働黨との主張が對立するのは勿論當然だが「タイムズ」紙は社會保險省の設置をもつて社會保險體制への第一步だと見做し次の通り報道してゐる

「アトレー副首相は、十一月三日の下院に新たな社會保險體制に立法的效果を與へる諸施策の第一步として社會保險省案を正式に下院に上程した、法案は社會保險相並びに、同次官の任命とともに現行の厚生諸施策に關する責任を新たな社會保險省に移すことを規定してゐる、多少の例外はあるが新省に移される責任は次の通り

一、國民健康保險、老齡年金、寡婦孤兒並びに老齡自費年金、補助年金などに關する保健省並びにスコツトランド省の機能

二、失業保險、失業扶助に關する勞働省の機能

三、勞働補償に關する內務省の機能」

勞働黨執行委員の改選

勞働黨は議會の新會期を前に執行委員の改選を行つたが、改選の結果について「タイムズ」紙は十一月九日次の通り報道してゐる

「勞働黨議員團は執行委員を改選したが、閣內に歸つてゐるハーバート・モリソン、ノエル・ベーカー、トム・ウイリアムスは反對なしで當選し、殘り十三名が選擧の結果當選した、去年落選したエマヌエル・シンウエルが當選したのは今度の改選で一番興味が深い」

昭和十九年十二月十五日(金)
第三二七一號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

もつとも最下位で當選したのだが、次點の筆頭がアマリン・ベヴアンで、シンウエルに比べて十二票得票が少かつた、アトレー・グリーンウツド、ピーシツク・ローレンス、ウイリアム・ホワイトは黨の役員として當然委員會に入つてゐるが、上院議員ではレーサム卿が選出された」

シンウエルとベヴアンとは何といつても在野勞働黨の闘士であり、將來勞働黨内閣が出來る場合には兩人とも入閣する算大なりだ、ところが兩人がチヤーチルに關して最近違つた意見を發表してゐるから面白い、シンウエルは下院が解散されて總選擧となれば當然勞働黨内閣が成立するが、東亞反攻作戰の遂行には國防相として是非チヤーチルに一枚加つて貰はねばならぬといふのだが、ベヴアンは自ら主宰する週刊「トリビユーン」誌上で反對意見を述べて曰く

「チヤーチルは歐洲戰爭の初期に當りチエンバーレン首相のもとに國防相として入閣したのだから日獨兩國の戰力と聯合軍の戰力を彼ほどよく知つてゐる人はない、ノルウエー上陸作戰ではチヤーチルは艦隊に賴り過ぎたので失敗した、最近米國内で發表されたところでは、チヤーチルは歐洲上陸作戰についてもイタリア、フランス兩國の地中海岸に對する上陸を主張して、フランス北部上陸案に反對したといはれる、若しチヤーチルが本當に心理戰爭の名人ならば、ドイツ軍が西部戰線の建てなほしに成功した危機的な瞬間において無條件降伏の方式を抛棄したに違ひないし、さうなれば戰局は自ら異つてゐたらう、ところがチヤーチルはドイツ人をロシヤに島流しし、ドイツ經濟を破壞して了ふといふモーゲンソー財務長官のドイツ處分案發表に同意したので、徒らにゲツベルス博士の宣傳戰のお手傳ひする結果となつた、勞働黨には人材乏しからず、日本軍との戰ひに保守黨から國防相を借りる必要はない」

チヤーチル首相が既に下院で言明してゐる通り歐洲戰爭が片着かぬ限り下院は解散されぬのだから、現狀では何時英國で總選擧が執行されるか英國人の皮算用でも見透しはつくまい、しかし總選擧のあるなしに拘らず英國政界が社會保險體制その他を繞つて逐次左右對立の形勢を示してゐるのは明らかだ、歐洲各國に對する干渉政策についての院の内外で反對運動を起してゐるのも勞働黨を中心とする左翼だ、もつとも勞働黨は共産黨その他の合流申込みに應じないが、共産黨のハリー・ポリツトが十月二十八日、共産黨大會で述べてゐるところは、恐らく英國政界の動向を示唆してゐるのではなからうか

進歩的諸組織の統合こそ要務

「資本家の間には依然として新たな事態を受け容れず英帝國に對する把握を强化しようとの立場から戰後英國は貧乏になるだらうと說く向きが少くない、しかし英國内の勞働、民主、進歩的諸勢力が極めて强固な團結を遂げる以外國際的經濟協力を組織出來ぬことを諒解せねばならない、經濟的には英國は戰時工業各分野において幾多の發展を遂げ生産力は著しく增大した、しかし米國その他の國々における進歩に對比すれば英國の資本主義は比較的弱い立場にあり、純粹に競爭的な世界市場においては英國は不利な地位に立つこととならう、英國における民主主義運動就中勞働運動は、英國の生産力を十分發揮出來るやうな大膽な經濟的政治的企畫を率先決定しなければならない、來るべき總選擧こそはわれわれの生涯において最も決定的な選擧とならう、われわれは英國空前の政治的闘爭のために今から準備を進めねばならぬ、勞働黨の双肩に一切の勞働階級と進歩的諸組織の統合を圖る重大な責任が懸つてゐる、進歩的諸組織とは勞働黨、共産黨、自由黨、聯邦黨等を意味する、しかるに各組織間の統合成らず、勞働運動の敵に對して猜疑と混亂とを勞働運動の内部に蒔き付ける機會を與へてゐるのは慨嘆に堪へない」

ハリー・ポリツトと共産黨との英國政界における地歩を過大評價してはならないが、内政外交の兩分野においてチヤーチル首相と保守黨の帝國主義資本主義政策に對し、逐次新たな主張が有力化しさうな動向を見逃がすことは出來ない

資料

新西蘭、濠洲、カナダ

「タイムズ」紙九月二十三日　ヴエリントン特電＝

ニユージーランド首相ピーター・フレーザーは二十三日下院で、ケベツク會談における決定並びに英國首相チヤーチルの助言に基づき戰時內閣が採擇するに至つたニユージーランド軍の任務に關する決議を發表、次の通り述べた

「ニユージーランドが有力な空軍並びに海軍を含む二ヶ師の海外派遣軍を維持しながら、英國及び太平洋水域にある反樞軸軍の緊急に必要とする食糧並びに原料品を增產することは出來ないといふのが、今年の初めから確定した見解であつたが、今回政廳は次の通り決定した

一、第二師團はイタリア戰局の終結まで海外駐屯を繼續、その後の任務に關してはその際檢討する、但し同師團の兵員中服務期間が長期にわたる兵士は、今まで海外に出征せず乃至海外服務期間の短い兵士と交替する、場合によつては太平洋防衞の任に當る第三師團の兵員を、第二師團との交替に振り向けることも出來よう

一、第二師團の兵員の內、再配置替へに基づき本國に歸還する兵員は重要產業部門に振向けて生產を維持し、從來重要產業に從事してゐた壯丁を軍隊に編入する

最近の情勢に鑑みニユージーランド國內防衞軍を太平洋反攻作戰に轉用するやう考慮することもまた必要であらう」

「タイムズ」紙十月三日　ウエリントン特電＝首相フレーザーは二日次の通り言明した

「樞軸軍がギリシヤ領內から撤收すると同時に、ニユージーランド政廳並びに國民からギリシヤ國民に對する贈物として相當量の食糧を海路中東へ輸送するための準備は既に完了した、かかる準備の整へられたことは、悲慘な苦しみを續けてゐるギリシヤ國民に對し、何等かの意思を表示しようといふ大分前から考へてゐた政府の企圖を實現したにほかならぬ」

「タイムズ」紙十一月三日　ウエリントン特電＝先般濠洲ニユージーランド兩國間に締結されたキヤンベラ協定に基づく第一回濠洲、ニユージーランド閣僚會議は三日、ウエリントンで開催されたが、劈頭ニユージーランド首相フレーザーは次の通り演說した

「キヤンベラ協定は最も成功裡に締結され、濠洲ニユージーランド兩國政廳には政治、社會、經濟の諸問題に關し共通の原則を支持することが明らかとなつた、勿論あらゆる問題について妥協するとの誓約が成立したわけではないが、兩國政廳は双方の合意と協力の中に論議を進めれば、單に兩國政廳のみならず英聯邦各國全體が益するであらうことを認識してゐる」

さらに席上濠洲陸相フランシス・フオードは次の通り語つた

「濠洲、ニユージーランド兩國は各種の世界問題に關し共同の任務を擔當してきたが、キヤンベラ協定は現下の情勢における新事態の處理に役立たう、歐洲並びに太平洋兩戰線の重大推移に伴ひ兩國に密接な關係ある諸問題が擡頭してゐるが、兩國政廳は戰爭努力を全面的に維持すると同時に將來太平洋の處理に備へて太平洋上並びにアジア各國との交涉に關する準備を整へねばならぬ」

「タイムズ」紙九月二十六日　キヤンベラ特電＝濠洲首相ジョン・カーチンは二十五日濠貨一億六千萬磅の第二回勝利公債を說明、ラジオを通じて次の通り演說した

「太平洋の戰は依然として總力戰の樣相を呈してをり、反樞軸國の指導者中一人としてこの戰爭の早期終結を豫想する者はなく、地球の全表面に亙る今度の大戰が究極的に終結するために必要な時間が短いとは思はれない、太平洋反攻作戰の短期終結を豫想する希望的觀測が全然成り立たぬ理由として左の四項を上げることが出來よう

一、日本軍が現在なほ蘭印、マライ半島、泰、佛印にわたる支配權を堅持してゐること

一、支那大陸においては戰略要點の大半が日本軍の手中に歸してゐること

昭和十九年十二月十五日(金)
第三二七一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

一、日本軍の比島に對する支配力は米軍の上陸以來日に日に不安定となつてゐるが、米軍は未だ比島を奪回するに至らないこと

一、日本本土は未だ侵害されてをらない、これは日本軍が戰爭を遂行する能力の根幹である

「タイムズ」紙九月三十日キャンベラ特電＝濠洲空相ーサー・ドレークフォードは三十日下院で民間航ア空事業の將來を論じ次の通り述べた

「濠洲政廳は先に主要國際空路運營のため國際航空監理機關の設置を提案したが「航空通商の主權獲得を目指す某々國の國家的野心」に災されて、右提案が盡餅に歸する形勢だ、よつて政廳は英帝國航空會議を開催、英本國、自治領、印度を主體とし、他に協力の用意ある諸國を包含英聯邦航空運輸機關を新設することを提唱し度い、政廳は戰爭終了後に具へて四地點空路計畫を樹立、英國濠洲兩國間に地中海及び印度またはセイロン島經由の旅客、郵便、貨物全般にわたる大規模な空路再開の準備を進めてゐるが、通商空路の再開に先立ち、太平洋を横斷米國及びカナダに至りカナダ國內の空路及びカナダ英國間の大西洋横斷空路に連絡する軍事空路の設置を要望する、更に政廳は英帝國航空會議で英聯邦內の空路に關する決定的計畫を樹立することを提案する、かく英帝國は國際航空會議の交涉の全面的或ひは部分的失敗を豫想これに對する保全策として何等かの計畫を樹立すべきであらうが政廳としては飽くまで最善の努力を傾倒して諸强國間の意見の一致を圖り、國際航空監理及び運營の實現には至らぬまでも、少くとも基礎的段階として國際航空輸送に關する協力と國際航空監理機關の組織と作用について同意を得るやう努める積りである、しかもなほ諸强國間に協定が成立しない場合には、英聯邦及び英帝國內において協定を締結、ニュージーランド空路を繫ぎ、濠洲西部を起點とし印度洋を横斷セイロン島カラチを過ぎ英國空路に連絡する英國濠洲間の旅客、貨物輸送路の細目を決定することができようこのやうに英濠兩國の共同航空事業の復活および擴張は、國際航空機關設置の第一段階として必要な措置だが、この空路において英國機を出來得るかぎり遠方まで使用するのが望ましい、しかし一方太平洋横斷空路も遲滯なく實現せねばならない濠洲の空軍基地は從來米軍空輸司令部の管下にあつたが、濠洲駐屯の米軍が北方へ移動し近くその最終部隊が濠洲を去ることとなつてゐるので米軍の基地使用は次第に減少してゐる、從來米濠兩國間の軍事用その他高度の優先權ある旅客及び貨物の運搬は、すべて米軍空輸司令部がこれに當つてゐたが、既に濠洲は獨力で空輸に當るべき時機に直面してゐる、但し戰時において濠洲の航空機關は軍用に使用されるのが當然で、政廳は濠洲、ニュージーランド、カナダ及び英國空軍が右航空路を使用するよう提案する、それには米軍航空隊の制空權下の飛行場の使用及び米國領土への着陸の許可を得るため、米國政府と交涉しなければならないが、この點に關しては英國も米國の軍用輸送機に對し同樣の權利を與へてゐるから、現在の戰爭狀態において何等困難はあるまい、右空路の開設は、太平洋横斷定期空路の開設に先立ち貴重な經驗を提供し、適當な時機に通商航空機關に轉換出來る過渡的段階とならう」

「タイムズ」紙十月六日キャンベラ特電＝濠洲農商相ウイリアム・スカリイは六日次の通り語つた

「濠洲東南部の旱魃は最近の濠洲史上空前の悲劇的事件であつたが、政廳は家畜に甚大な被害の及ぶのを避けるため手持飼料の非常供出をすすめてゐる、聯邦小麥局は今年の小麥作高を五千五百萬ブツシエルと算定したが、各州の見積りによれば四千八百萬ブツシエルに過ぎず、一九一四年の大旱魃以來の不作である、東部各州の狀況は悲慘を極め濠洲西南部から小麥を輸送しなければならない有樣である、手持飼料の不足も深刻で緊急對策を講じなければ食物、特に肉類、酪農品の生産計畫は危殆に瀕するであらう」

今回の旱魃は農民に與へた影響が深刻で全く悲劇的だが、一方尨大な軍需生産に應ずるため、聯邦の農産物生産が制限されてゐたのも原因の一つである、大麥、燕麥の不作も明かに豫想されてをり、對策を考慮せねばならない」

「フアイナンシアル・タイムズ」紙十月七日シドニイ特電＝聯邦小麥局の算定によれば來る十二月一日現在の濠洲の小麥手持量は七千五百萬ブツシエルと見積られてをり、輸入見込量を加へれば一九四五年十一月三十日を期限とする年度内の小麥配給量は一億一千八百ブツシエルとならう、うち九千萬ブツシエルは聯邦内の小麥粉生産、貯藏食糧及びニュージーランドへの輸出用に當てられるが、なほ二千八百ブツシエルの餘剩がある、しかしこの輸出見込量は戰前の平年一億ブツシエル或ひはそれ以上であつたのに比し遙かに少い、最近では印度が小麥の輸入を主として濠洲に仰いでゐる一方中東、南アフリカ西岸諸國も相當量を濠洲から輸入してゐる、平年に比べ各項別の數量が減少してゐるに徵しても、收穫時を控へ深刻な旱魃のため小麥の被害甚大なことが明らかである

「タイムズ」紙十月十七日　キヤンベラ特電＝濠洲聯邦各州の在野十七黨の代表八十餘名は十月十三日、元首相ロバート・メンジース司會の下に會議を開催、各政黨が大同團結して統一政黨を樹立する爲の具體策につき種々協議を重ねた、農民黨は右會議に參加しなかつたが、事態が更に進展すれば右運動に關與し度い旨を申入れてゐる、聯邦各州における勞働黨反對派がかく一堂に會したのは十四年來の事件である、メンジースは賞讃すべき組織を有し搖ぎなく團結した勞働黨に對抗するには、野黨全體が統合して共同戰線を張ることが肝要であると述べ、各政黨代表も大同團結の必要を認め早くも統合政黨の名稱を選擇し、新政黨の綱領宣言その他政黨運營に對する諸計畫起草のため二委員會が設定されることとなつた、さらに十月十六日の會議において、委員會の提案通り新政黨の名稱を「濠洲自由黨」と決定、聯邦各州に新政黨を樹立することとなつたが、南オーストレリアにおいては、農民黨との合體のため、新政黨は從前通り「自由農民黨」と稱する旨決議すると同時に、綱領宣言では

一、戰後復興計畫に關聯し私的企業を奬勵する必要あること、卽ち、公的機關とは別個に個人的發意に基づく疾病、失業、寡婦等のための社會施設の必要を強調した條項

一、全國民が恩惠を蒙ることができるやう各地に十分な醫療施設を設置すること

一、青少年教育組織を改正擴張し、教育が金持特權階級のためだとの考へ方を排擊することを宣言した、各政黨代表は以上の決議事項を各自の政黨に報告し、各政黨が容認するか否かが決定される段取りである

「タイムズ」紙十月二十日　キヤンベラ特電＝首相カーチンは十月二十日太平洋戰域で必要とされる尨大な戰爭努力につき次の通り述べた

「濠洲が太平洋反攻作戰においてその役割を完全に果たすため、濠洲の戰爭努力が完全に改變されようとしてをり、歐洲戰爭における英國と同樣、今後太平洋の戰において濠洲が綜合的基地として使用される場合に備へてゐるが、同時に濠洲軍の戰力能率は、著しく精銳化されるに至つた、一九四二年のなかば以降四三年末にかけて濠洲陸軍は陸戰において非常な激戰を續けて來たが、一九四四年の初めから濠洲軍に代つて米國の遠征軍が戰鬪に當つてゐる、しかし濠洲は戰線において奮鬪すると同時に、從來多量の食糧及び軍需品を反樞軸國に提供してきた、かかる戰爭努力遂行のためまた將來更にこの努力を持續するため、濠洲國民は食糧配給、衣料制限、貨銀並びに物價の公定、高率な課稅等の不便を忍び、常に戰時公債の割當を果す必要に迫られてゐる、濠洲國民は範を英國民の奇蹟的な生産力卽ち勇猛心、犧牲、及び決意に見出したが、彼等は更に實戰においても英國民を範として完全にその任務を遂行する決心である

昭和十九年十二月十四日(木)
第三二七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「タイムズ」紙 十月二十七日キャンベラ特電＝首相カーチンは二十七日パースにおいて次の通り言明した

「十月二十日の反樞軸軍レイテ島砲撃に際し、旗艦「オーストレリア」號は日本軍飛行機の爆撃を受け、乘組將兵は相當の損害を蒙つた、もつとも損傷は艦橋附近の上甲板に限られ船の表面が破壞されたに過ぎなかつたが、甲板上に配置されてゐた將兵の損害甚だしく、戰死並びに戰傷死十九名戰傷五十四名合計七十三名の死傷を生じた、濠洲空軍突擊隊司令コリンス代將は負傷し、同艦副長デシヤノー大佐は戰傷死を遂げた」

「タイムズ」紙 十月三十日キャンベラ特電＝首相カーチンは三十日次の通り發表した

「一九四二年一月から四三年十二月までに樞軸軍潛水艦はニューサウスウエルズ沖で米軍及びギリシヤ軍の輸送船各一隻、濠洲東北部の沖合で小型濠洲發動機船一隻を擊沈、ニューサウスウエルズ沖で濠洲中型汽船並びに小型輸送船、米國の油槽船並びに輸送船各一隻づつを擊破したが、擊破された船舶はみな無事に港内に到着してゐる、人的損害は死者百五十六名その他合計百六十五名に達した、更に一九四二年五月から四三年六月までに濠洲東部の沖合で病院船「センタオブ」その他合計十四隻が擊沈されてゐる、更に反樞軸軍は日本本土に進出して戰はねばならぬが、その際には濠洲は綜合基地として使用される豫定であり、太平洋水域に到着しようとしてゐる英軍に對しても尨大な補給が要求されてゐる」

ロイター通信社 十一月六日キャンベラ電報＝首相代理フオードは十一月六日政廳としては戰局が許し次第自動車の輸入を許可し、更に濠洲全土において使用し得るだけの自動車製造計畫を立てる方針である旨發表した

ロイター通信社 十一月十日シドニイ電報＝第二次産業委員會委員長は十一月十日、濠洲の就業狀態に關する報告のうちでつぎの通り述べた

「印度からニュージランドまでの間に位置を占める諸國が濠洲と貿易關係を結ぶことを熱心に要望してゐることは明らかである、濠洲は政廳の價格釘付け政策に基づき製造裝備並びに原料の價格が合理的に抑へられてゐるので輸出國としては特に良い位置にある、特に鐵及び鋼鐵の生産に要する費用は世界最低である」

ロイター通信社 十一月十五日ワシントン電報＝新任ワシントン駐劄濠洲公使エグルストンは十一月十五日ワシントンにおける記者團との會見で、濠洲の旱魃につき次の通り述べた

「例へばヴイクトリア州における果實牧穫高は平年の三千萬乃至四千萬ブツシエルに對し本年は僅か五百萬乃至八百萬ブツシエルに過ぎない、小麥牧穫高は平常一億四千萬乃至二億ブツシエルだが今年は五千萬ブツシエルを越えまいといはれてゐる狀態である」

「タイムズ」紙 十月六日オツタワ特電＝カナダ空相パウアーは十月六日次の通り發表した

「カナダ空軍兵員のうち未だ訓練を開始してゐない四千二百名は今回陸海軍に解放されることとなつた、右決定は米英兩國における同樣の措置に準據してゐる、現在英空軍兵員として訓練を受けてゐる兵員の他にカナダ空軍が訓練してゐる兵員は一萬四千名に上り、更に數千名の既訓練兵員が海外にあつて戰鬪に從事してゐるから、以上の兵員轉籍によつて直ちに空軍要員が不足するとは思はれない、政廳は英聯邦空軍訓練計畫による經費二十一億九千二百萬弗のうち、未だ英國の支拂ふべき四億四千二百五十弗の支拂ひを要求して英國政府との間に交涉を進めてゐる」

「フアイナンシアル・ニユーズ」紙 十月十三日オツタワ特電＝カナダ船舶局の報告によれば開戰以來、カナダ國内の造船所で建造された商船は總トン數三百萬乃至三百五十萬、うちカナダの所有する船舶は總トン數二百五十萬トンで隻數は一萬トン級輸送船並びに三千六百トン級油槽船を含み三百十七隻である

一萬トン級輸送船は三百隻に近く、うち二隻は英國に九十隻は米國に竇渡され、百隻は相互援助協定に基き英國に提供した、四千七百トン級輸送船は四十三隻を數へ、うち一隻は濠洲に、十五隻は英國に讓與され九隻は船舶局が保有してゐる、その他一萬トン級油槽船十二隻三千六百トン級油槽船六隻がカナダで建造され、カナダによつて使用されてゐる」

ロイター通信社十一月十五日オッタワ電報　カナダ政廳は十一月十五日一九四四年の農作物收穫高の第二次豫想並びに第一次豫想との差を次の通り發表した（單位千ブッシエル）

小麥	四五三、二〇〇	五〇〇萬ブッシエル	增
燕麥	五二二、〇〇〇	四二〇〃〃	減
大麥	一九九、一〇〇	四六〇〃〃	減
亞麻	九、七〇〇	四〇〃〃	減

飢餓の冬を迎へた歐洲

「タイム」誌十一月二十七日號

反樞軸軍が歐洲の諸地域を解放したのは宛かもこれらの地域に飢餓と混亂を齎すためであつたかの如くにみえる、バルカンのギリシヤから大西洋岸のオランダに至る被解放地區では社會的、政治的危機が發生してゐる、西部歐洲の經濟構造は反樞軸軍の爆撃によつて粉碎され、且つ戰爭と抗戰集團の抵抗によつて骨抜きにされ、殆んど全面的に崩壞してしまつた、諸鑛山は採堀のための木材材料がないため操業を停止しており、發電用の石炭が不足してゐるため電氣の嚴重な配給割當が行はれてゐる、大部分の工場が生產用資材に不足しており、鐵道は兵員及び軍需品を輸送してゐるもののほかは殆んど走つてゐない、勿論、食糧は拂底し、僅かな配給しか行はれてゐない、解放された歐洲は「飢餓の冬」を迎へねばならなかつたまた被解放地區の經濟的危機は社會的經濟的危機を增大した、ドイツ軍の占領によつて被解放地區にあつた從來の諸政府、諸政黨、および法律は崩壞し乃至はその信用を失墜した、絶望の淵にさまよつてゐた歐洲の飢えた民衆達は、ドイツ軍に抵抗するために武器をとつた、殆んどあらゆる地區で共產黨が民衆を武裝させようとして努力した、武裝した民衆がゐる限り、——例へそれが活潑な行動を行はうとも若しくは無活動であらうとも——これら民衆の集團は「國家内の革命的國家」を代表してゐたのであつた、それ故、これらの集團の武裝解除を强硬に主張することは、ベルギー政權のピエルロ、フランスのド・ゴール及びギリシヤ政權首相パパンドレオが良く知つてゐるやうに被解放地區の諸政權の危機を招來したのである、これにたいし米英兩國は、自からが尨大な戰爭を遂行してゐるといふ事實に阻げられ、かつ被解放地區に社會的混亂が惹起しはせぬかといふ懷念を抱いてゐるため被解放地區の社會的不安を鎭めるために適當な政治的指導を與へたり、充分な經濟的援助を與へたりすることが殆んど出來ないでゐる、大部分の歐洲諸國民にとつて英米式の民主々義は新しい經驗である、ファシストの支配を脫した歐洲諸國民の内の多數の者——恐らく大部分の者は從來米國式民主々義を熱望してゐたのであつた、しかし同時に、彼等は米國式民主々義の價値を米國の實際の行爲によつて嚴格に判斷しようとしてゐた、そして現實に米國の行爲が彼等の希望とひどくかけ離れてゐたので、彼等は米國式民主々義にたいし苛酷な判斷を下すに至つた、米英兩國はその喪つた地盤を回復しようとして急速に行動を起さねば、例へ戰爭には勝つても歐洲を喪ふことにならう、何故なら、歐洲諸國民衆は未だ彼等が充分に消化してゐない米英式民主々義と、未經驗の共產主義——赤軍の猛烈な威力と確實かつ敏速なソヴエト外交政策によつて支配されてゐる共產主義の何れを撰ぶべきかといふ歷史的撰擇に直面するに至つたから、この撰擇如何によつて人間の自由の領域が歐洲中央部まで延長されるか、若しくは民主々義が西半球まで後退することにならう、それ故歐洲及び全世界にとつて今冬は「決定の冬」であり「危機の冬」であり、しかも危機は既に到來してゐるのだ

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月十六日(土)　第三二七二號

同盟通信　海外電報　(288)

編輯發行人　兼務伊藤八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話(59)一八〇〇番　同盟通信社

西部要塞に對するアイゼンハウアー軍躍起の攻勢にも拘らず作戰は一向進捗してゐない毎日のSHAEFの戰況公報をみるとユーリツヒ地區でブヴイヒホーフエンを、デユレン地區でショツプホーヴエン或ひはガイの各地を占領したといふやうに仲々景氣のよささうなことを述べてゐるが實際にはこれらは何れも人口五千に達しない村落に過ぎず、距離として一日の前進速度は最大限一哩といふ狀態だ、反樞軸軍の遲々たる進軍は何もケルン前面の重要戰區だけではない、ザール突入に氣負つた米第三軍も西部要塞線に遭遇すると同時に足踏みを續けザールの中心地ザールブリユツケンはいまだ微動だにしてゐない、勿論アルザスにおいてはドイツ軍の撤收作戰により戰線は可成りの動きをみせてゐるが、これとても全般の戰況からみて憂慮すべきほどのものではない、ドイツ軍の抵抗力は單に前線だけでなく國內の對空防禦力においても反樞軸の樂觀論を霧散せしめるに十分なものがあり米國陸軍航空隊當局は第八航空部隊の攻勢目標地區だけでドイツは高射砲一萬二千乃至三千を有してゐるほか多數の列車高射砲を備へてゐるといはれる

ハンソン・ボールドウインが指摘してゐるやうに反樞軸軍の地上部隊が空軍に賴り過ぎて果敢さに乏しいといふのも戰況停頓の一因であらうし、物量戰法をとる反樞軸軍に彈藥が不足してゐることも他の原因として擧げられよう、しかし何といつてもドイツの戰力が未だ極めて強大であるといふ事實が主因であることは間違ない、歐洲戰爭勃發後五年餘にして歐洲政界には漸く權謀外交が醗となつて來たが反樞軸諸國の外交上の駈引きが戰況の動きと微妙に照應してゐることをこの際思ふべきである

【目　次】

英外交政策に非難の火の手上る……三一一八
アテネ市の砲聲熄む……〃
休戰交涉一頓坐か……〃
チヤーチル下院で質問攻め……三一一九
佛、ルブリン政權承認か……〃
【歐　洲】
ブラスチラス、アテネに急行……三一二〇
ギリシヤ騷動の黑幕……〃
ボノミ政權の短命を豫想……〃
伊國民の滿服は米の福祉……三一二一
ソ波問題諸說紛々……〃
羅國民政府改造……〃
【米　洲】
駐西大使更迭……三一二二
海軍再協議による節約高……〃
海軍兵員の增大を誇示……〃
未曾有の大雪に混亂……〃
サルヴアドルにまた革命騷ぎ……〃
【反樞軸陣營】
「獨處理」案に佛は除け者……三一二三
カーの歸國理由……〃
アイゼンハウアー、ロンドンへ……〃
武器貸與に反對論……〃
【英　帝　國】
下院、印度憲法の效力延期決議……〃
英艦隊濠に食糧、繃帶施設要求……〃
熟練工を濠洲に派遣……〃
【特　輯】
フランス木枯抄(上)……三一二四
【資　料】
米國務省改組論評……三一二七
統制貿易より國際貿易へ……三一二九
米國の三つの問題……三一三一
マラリアと戰爭……三一三二

英國の外交政策

非難の火の手上る

（リスボン十四日發）スフォルツア伯忌避の爆彈聲明以來米國政府並びに言論界はギリシヤ內亂の推移その他歐洲の情勢を靜觀一切の批判を差控へてゐるが、英國の勞働相サー・アーネスト・ベヴアンが、十三日勞働黨大會において黨出身の閣僚が英首相チヤーチルのギリシヤ政策を全面的に支持した旨を述べ、モスクワ會談において英ソ兩國政府がギリシヤ領土の「安定」について意見一致したと言明したことは、はしなくも米國政界に少からぬ衝撃を與へた樣子だ、ワシントン來電によればイリノイ州選出共和黨上院議員ウエーランド・ブルツクスは十四日上院本會議において

「英ソ兩國はバルカン地方の勢力爭ひに乘り出し歐洲の分割を企圖してゐる、ルーズヴエルトが以上の事態を傍觀して米國政府の立場を闇明しないのは遺憾に耐へない、ドイツ軍に對し米國人の肉と血と財寶とがぶつつけられてゐるのに歐洲は二大盟邦によつて分割されてゐるのが眞相だ、しかも米國民によつて提供されてゐる戰車と飛行機と兵力とによつて歐洲の分割が進められてゐる有樣だ」

と痛論し、またペンシルヴアニア州選出共和黨下院議員レオン・ガービンも

「チヤーチル並びにイーデンに對しては米國はもつと嚴しい態度を示さなければならない、現に余の鄕里から出た十八歲の壯丁三名は歐洲戰線で過般戰死を遂げたが、英國の徵兵制度は極めて生ぬるい、曾つてチヤーチルはわれ等に武器を與へよしからば仕事を片付けるだらうと叫んだが、現在米國はこの戰爭を勝ち拔くために武器ばかりでなく人的資源をも提供してゐるではないか」

と論じた、UPのワシントン電報は以上米國政界の空氣を反映し次の通り報道してゐる

「英國の勞働相がギリシヤ領土の安定について英ソ兩國間に協定が出來てをり、更にケベツク會談においてルーズヴエルトもギリシヤ領土に關する提案を承認した旨言明したが、右發表と同時に米國議會で外交政策の討議が行はれ英ソ兩國の歐洲分割に對する不滿が表明された、勿論ケベツク會談においてギリシヤ內亂を豫想することは出來なかつたであらうが、恐らくギリシヤ領土を英國の勢力範圍と認め、バルカン地方並びに東歐洲をソヴエト聯邦の支配圈として承認したに違ひない」

APのロンドン特派員ジヨン・パリスはギリシヤ內亂に關聯し

「米英兩國の關係は世界戰爭始まつて以來最低調の實情にありルーズヴエルト、チヤーチルさらに恐らくはスターリン議長も交へて歐洲に對する政策の喰ひ違ひを調整することが急務とみられてゐる、一月二十日ルーズヴエルトの就任前に少くとも米英兩國の關係を調整するため會談が必要だとの意見が英國政界筋で有力化するに至つた」

と報道してゐる

アテネ市の砲聲熄む

（リスボン十四日發）アテネ市內の戰鬪は十三日拂曉以來最高調に達し、エラス兵團は英軍司令部に肉薄して猛攻撃を加へたが、アテネ來電によれば、十三日夜に至つて市內至るところ砲聲が熄んだと傳へられる、戰鬪が一時的小康狀態を呈してゐるに過ぎぬのか、それともEAM團が愈々英軍司令スコビーの休戰提議を受諾するに決意した結果か、眞相は判明しないが、ロンドン各紙は十四日の朝刊紙上でEAM團の前藏相スヴオロスが近くスコビーを訪問、休戰條件を受諾するだらうと報道してゐる

休戰交涉一頓挫か

（リスボン十四日發）アテネ市內の戰鬪は十三日夜來小康狀態を呈してゐたが、BBC特派員は

十四日夕刻に至つてアテネ市の中心地區に再び砲聲交り機關銃の銃聲と戰車の出動とがきこえると報道してゐる

休戰交涉の經緯は明瞭を缺いてゐるが、ユー・ピーアテネ電報によればEAM團の中央委員會は

昭和十九年十二月十六日(土)
第三二七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

一、國民政府を組織し、首相パパンドレオから政權を引き繼ぐこと
一、國民政府にはEAM團が「適當な割合」の閣僚を出すこと
一、今回の事件に關する大赦
等を條件として英軍司令スコビー少將の休戰提議を受諾する旨申入れたと傳へられるが、AP電報によれば英軍司令はあくまで原案を固執交涉は一頓挫を來たしてゐると解される、但し十三日の激戰でギリシヤ內亂は絶頂に達し爾來戰爭が下り坂に入つたことは事實で英軍司令部でも
內亂の最も危險な樣相は終つたらしいと述べてゐる、但し市民生活の窮乏は依然甚だしく十四日に至りパパンドレオ政權は
一般市民が正午以前乃至午後二時以後外出することを禁止、違反する場合には逮捕し、抵抗する場合には銃殺する
旨布告した

チヤーチル下院で質問攻め

(ストツクホルム十四日發)
ギリシヤ內亂に對する首相チヤーチルの武斷外交に對しては英國政界筋に不滿少からず、勞働黨大會は獨自の解決策を提唱してゐるが、ロンドン來電によれば十四日下院の質問時間に際しても野黨の議員連が相次いでチヤーチル首相に質問の矢を放ち首相は陳辯に忙殺されたと傳へられる、まづ勞働黨のエドガー・グランヴイルは
「ギリシヤ政策の各段階について各自治領政廳と協議したか、各政廳は本國の政策を承認したか」
と質問したが、首相チヤーチルは
「戰局の進展が急激な現狀において逐一自治領政廳と協議することは實際的に出來ない、しかし各政廳に對しては絶えず詳細情勢の推移を通告してゐる」
と答へたが、グランヴイルは決して滿足せず
「戰時內閣が施策を決定する前に自治領政廳に通告してゐるのか、それとも單に事後通告するに過ぎないのか」
とたたみかけたが、首相は次の通り答辯した
「たとへばドイツ軍の撤收後、英軍がギリシヤ本國に進駐するかどうかといふやうな大きな政策上の問題については絶えず各自治領政廳に電報を打つて事態を十分且つ完全に通告してゐる、しかし命にかかはる危險に鑑み非常に急がねばならない實際上の施策については一々全世界に亘る各政廳に通告することは出來ない」
更に勞働黨のシーモア・コツクスは
「ギリシヤ內亂において英軍はどれだけの死傷を出したか、政府は何時までギリシヤ戰友の殺戮を續けるつもりか」
と質問したところ、首相チヤーチルは
「英軍が今回ギリシヤに上陸して以來十一月三十日までに三百名の死者を出したが、爾後戰死三十五名その他死傷合せて百六十名を追加しなければならない、右期間內に飛行機三十二臺、小型軍艦八隻を喪失した、ギリシヤ政策については余はこれ以上言明することは出來ない」
とつつぱねた、以上の質疑應答についてUPのロンドン電報は野黨から猛烈な野次が飛びチヤーチルは屢々立往生したと述べてゐるが、答辯の調子から考へて、首相チヤーチルは飽くまで現在の政策を固執する意向と解される、十五日下院においてソ波兩國間の紛爭について全面的討議が催されるが、右討議に際して首相は重ねて政府の外交方針を闡明する豫定である

佛、ルブリン政權承認か

(リスボン十四日發)APパリ電は去る十日モスクワで成立した佛ソ同盟相互援助條約に關聯してフランス臨時政府首班ド・ゴールはルブリンのポーランド解放委員會正式承認の確約をモスクワに與へたとの說がパリ外交界で專らだと傳へてゐる佛ソ條約の內容はいまだ公表されないがルール・ラインランドの中立化を要求してゐるフランスの主張をソ聯が支持すると共にポーランドに對するソ聯の要求を交換的にフランスが支持するだらうとの見透しは、ド・ゴールのモスクワ訪問前から專ら取沙汰されてゐた

【歐　洲】

プラスチラス アテネに急行　（リスボン十三日發）ギリシヤ内亂の形勢重大化とともに英國政府は武力彈壓と並行して和平工作に乘り出したがパリ來電によれば元ギリシヤ首相プラステラス將軍はパパンドレオ首相の要請に基き十二日午前パリを出發空路アテネに赴いたと傳へられる、同將軍は出發に先立ち或ひは進言により或ひは個人的な斡旋により祖國の危機を救濟したい旨言明した、一方パパンドレオ政權の前藏相アレキサンダー・スワオーロスは共産黨の書記長シアントワに書面を送りスコビー將軍の提出した和協案を受諾するやう勸告し、ロイター電報はEAM團が目下愼重にスコビー將軍の休戰提議について檢討を加へてゐるといはれる

ギリシヤ騷擾の黑幕　（チューリツヒ十三日發）ソヴエト政府はギリシヤ騷擾に關して不氣味な沈默を守り成行を凝視してゐるが「ジュルナール・ド・ジュネーヴ」紙のアンカラ電はソ聯某高官の見解と稱して十二日次の通り報じてゐる

ソ聯はEAMの立場を支持してゐるが、對獨戰の必要上反樞軸陣營の結束を搔き亂さぬため、控え目な態度を採つてゐるだけだ、ソ聯紙はギリシヤ騷擾に關しては米英情報だけを揭載してゐるが、エラス兵團を「叛亂軍」といふかはりに依然「國民解放集團」と稱してをり、アテネの赤軍代表はスコビーの彈壓措置には全然關係してゐない、EAMは協力して戰つてきた關係でユーゴスラヴイア遊擊隊の人望を集めてゐるので、アテネ事件はバルカン全土のごうごうたる非難の的となつてゐる、ソ聯はパパンドレオの態度を民意に反するものと見做し、彼の辭職以外に解決の方途はないと考へ、ソフオーリスの政權掌握を希望してゐるが、大體において國會選擧を實施するまでギリシヤを反樞軸共同の軍政下に置く方が無難だとみてゐる」

ギリシヤ問題は英國對米ソ兩國の對立を初めて露呈した點で中立筋の關心を集めてゐるが「ガゼツト・ド・ローザンヌ」紙はエラス叛亂の黑幕にソ聯を想定して次の通り述べてゐる

英國は叛亂を鎭壓し、革命軍を武裝解除してギリシヤの秩序を回復すると稱してゐるが、ソ聯は内心英國の遣り口に反對してゐるやうで、スターリンは多分ド・ゴールのモスクワ訪問の際憤懣を洩らしたとみられてゐる、いづれにしてもギリシヤ騷擾事件は反樞軸陣營の危機を意味するもので、戰爭が長引けばかかる事態が發生するのは必然だ、ギリシヤ問題で關心を惹くのはいはゆる根本原則の問題だが、ギリシヤを繞る各國の利益關係の交錯も見逃がす譯には行かない、エラス兵團のクー・デ・ターは恐らく「隣國に駐屯する」赤軍首腦に使嗾されたものと思はれるが、チヤーチルも根本原則を防衛するためと稱して實は自國の利益を擁護してゐることはいふまでもない、チヤーチルの行動は違つた理由から米ソ兩國の反對を受けてゐるが、いづれ三國間に會議が開催され圓滿解決の公報を發表して大團圓と來らう、併しながらかかるいい加減な手段では三國間の對立は清算され得まい

ボノミ政權の短命を豫想　（リスボン十三日發）第二次ボノミ内閣は十二日親任式を擧行後最初の閣議を開催したが、閣議の席上ボノミは直ちに解放委員會との係爭點に觸れ

余は反樞軸に對して二つのことを公約した、一は將來國民投票によつて決するまで憲法問題に觸れぬこと、他は一九四三年九月の休戰條件を遵守することこれだ

と述べたといはれる、解放委員會がボノミを攻擊するのは、同政權が依然として王政の外被を纏ふ反動であることと休戰條件をサボつてファシスト分子を國家の樞要機關から肅清しないためだが、ボノミの聲明は單に問題のありかを指摘しただけで、解決の第一步を進めたことにはならない、以上の事態に鑑みボノミ政權への參加を拒否した社會黨が攻擊の手を緩めぬのは當然で、同黨機關紙「アヴアンチ」は十三日の社說で

第二次ボノミ内閣が成立しても、ファシスト分子が依然として行政機關や軍部に巢喰つてゐる事實には一向に變りはない、以上の事態は必然的に新政權の危機を孕すもので、第二次ボノミ内閣の短命は既に豫定されてゐる

昭和十九年十二月十六日(土)
第三二七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

と論じてゐるが、新政權に參加した共産黨までがボノミを見放し、黨機關紙「ウニタ」の紙上で、「イタリア共産黨はボノミ政權を信用しない」と不信任狀を叩きつけてゐることは、イタリアの政治危機が一段と激化することを早くも豫告するものといへる

伊國民の滿腹は
米の福祉

(チューリツヒ十三日發)イタリアの國内情勢は頓に逼迫しつつあるが「ニューヨークタイムズ」紙ローマ特派員は十二日次の通り報道してゐる

「イタリア國民は餓死に瀕してゐる、腹が空つてゐれば政爭に關心を持ちやうがなく、前後の判斷も出來ない、彼等は自由を與へてもパンをくれない爲政者には感謝しないのだ、イタリアの危機は革命ではなく國民の自暴自棄にある、イタリアでは軍事問題と並行して重要な内政問題が存在してゐるが、この際民主々義がイタリアの國民生活を脅かす致命的問題を解決出來ることを實證しなければならない、もしも軍事輸送の必要上イタリア國民の必要を充たす民需物資の輸送まで手が廻らぬならば、どうしても何等かの打開策を講ずる必要がある、蓋し米國の福祉は世界の平和を維持出來るかどうかにかかつてゐるからだ」

ソ波問題
諸説紛々

(ストツクホルム十三日發)アルチシエフスキー政權の出現はソ波交渉に終止符を打つものとして紛爭解決の途は既に鎖された感を呈してゐるがロイター外交記者の報道によればミコライチク政權以來ロンドンと連絡を採つてゐたポーランド地下運動の指導者四名はソ波紛爭の解決方式を起草して近くロンドンに送付する旨アルチシエフスキー政權に通告してきたといはれる、右方式の内容は全然判らぬが、アルチシエフスキーはその入手を俟つてソ波問題に關する方策を樹立する豫定といはれ、ロイター記者は「ソ波紛爭解決への最初の動きがロンドンの亡命政權よりは寧ちポーランド本國にみられたのは、あらゆる意味で歡迎すべきことだ」と述べてゐる、但し以上の報道は單なる流説の範圍を出ぬもので、他の情報は全く逆の事實を傳へてゐる、たとへばエキスチエンジ通信のロンドン電報によれば、アルチシエフスキー政權はソ波交渉再開の基礎となるべき覺書を起草完成の曉はポーランド本國の地下運動首腦部にみせて承認を得る豫定といはれ、かかる交錯する流説が亂れ飛ぶのは、とりも直さずアルチシエフスキー政權に策のないことを示すものだ、他方ルブリンからのタス電報によればポーランド解放地域の各州で民衆大會が開催され、ポーランド解放委員會を假政府として承認せよと要求する旨の決議が行はれてゐるといはれ、またポーランド社會黨中央委員長ボレスラフ・ドロブレルはルブリン政權の機關紙「レーチ・ポスポリータ」において

ポーランド國民解放委員會が臨時政府となるべき前提條件の一切は熟してゐるから、委員會は直ちに臨時國民政府として發足すべきだ

と强硬に主張してゐる、もつとも以上はモスクワの報道で、これをもつてポーランドの民意を測定することは出來ないが、ルブリン政權とクレムリンに關する限りポーランド問題は既に解決濟とみることが出來やう、以上を裏書するものとみられる事實は過般ソヴエト政府とルブリン政府との間に成立をみた住民交換協定が既に實施されてゐることでモスクワ報道によれば白ロシアからポーランドに歸る住民の先發隊が既にバラノヴイツチ、グロドノ、ヴオルコムイスクその他から出發、ルブリン政權の代表がバラノヴイツチで輸送事務に當つてゐるといはれる

羅國民
政府改造

(ベルリン十三日發)外國に亡命して赤軍占領下のルーマニア裏切政權と果敢に闘ふ鐵衛團首領ホリア・シマ氏は十三日ルーマニア國民政府を改組、陣容を整備して發足することとなつた、新内閣の顔觸れ次の通り

首　相　ホリア・シマ氏
内相、厚生相　ヴアシーレ・ジヤシンシ氏
外相、文相　ミハイ・スツルガ氏
陸　相　プラトン・チルノアカ將軍
藏　相　コルネリオ・ゲオルゲスコ氏
宣傳相　グリゴリオ・マノイレスコ氏
被占領地域事務相　ヴイツサリオン・ブジユー氏

【米　洲】

駐西大使更迭

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝白堊館當局は十三日マドリード駐劄米國大使カールトン・ヘイスが辭職しルーズヴエルトはその後任に國務省米洲局長代理ノーマン・アーマーを任命した旨發表した、白堊館は更にさきに死亡したコスタリカ駐劄大使フエイ・デスポーテスの後任にハレツト・ジョンソンを任命した旨併せ發表した、一方ルーズヴエルトは近くトルコ駐劄大使ローレンス・スタインハートをロンドンにあるチエツコ亡命政權大使に任命するはずである

海軍再協議による節約高

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝上院海軍委員會は十三日次の通り發表した

「海軍が現在までに總額五百六十億弗の軍需契約に對し再協議を行つたが、この結果節約し得た額は七十六億二千七百八十萬八千弗に達した、內三十七億四千二十一萬一千弗は現金による拂戻しであり、殘りの三十八億八千七百五十九萬六千弗は超過不當利得の削減によつて生じた額である」

海軍兵員の増大を諮示

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝米國下院の海軍委員會は十三日次の報告を發表した

「米國海軍は一九四一年には平均一日に一艦の割合で乘組員の召集を行ひ一九四二年には一日三、四艦、同年秋には每月平和時の全海軍力に等しい將校、兵員を召集することが出來た、一九四三年には一日五、六艦の配乘を必要としたが、更に一九四四年には一日十一、四艦の配乘を行はねばならなかつた、以上の各段階における配乘員增徵の度合に應じこれと相對的關係にある基地兵力が增強され、且つ特務、補助艦隊のための沿岸施設も擴充された、一九三九年六月三十日海軍の現役將校は一萬一千五百八十五名、兵員は十一萬百七十二名、その他を含め合計十二萬二千四百五十七名であつたが、その後一ケ年半を經過した一九四〇年十二月一日卽ち米國政府の無制限軍擴工作開始後六ケ月後においては、以上の數字は三倍となり更にこれは大東亞戰爭勃發後幾何級數的に增大した、卽ち一九四三年十二月三十一日までには二百二十五萬三千六百十二名の將校兵員が服務、一九四四年十月末にはあらゆる部門の將兵三百十五萬六千百三十三名が服務したが、更に一九四五年六月三十日までには海軍將兵は三百三十八萬九千名に增員されることとならう」

未曾有の大雪に混亂

（リスボン十三日發）シカゴ來電によれば十二日米國東部一帶並びにカナダでは冬季に入つて最大の降雪を見、各地で交通事故を生じたほか軍需生産は阻害され學校の閉鎖も多數に上つたといはれる、UP報道によれば吹雪による死者は六十六名でトロント市だけで十二名が死亡、夕刊紙の配達は遲れ株式取引所も一八五二年開設以來初めて閉鎖するの已むなきに至り、市長ジョゼフ・ケリーは遂に非常事態を宣言したといはれるバツファロー市では交通杜絶で工員が缺勤したため多數の軍需工場は作業を停止する有樣で、オハイオ、ペンシルヴアニア、ウエストヴアージニアの各地では積雪二十二吋に達してゐる

サルヴアドルにまた革命騷ぎ

（リスボン十三日發）グアテマラ來電によれば在グアテマラの亡命サルヴアドル政府はサルヴアドルに革命が勃發した旨十三日發表したといはれる、革命運動はサリナス政府打倒を目指しサルヴアドルのアファチヤパン市は既に革命軍の手中にあるといはれる、一方首都サン・サルヴアドル來電はサルヴアドル政府軍とグアテマラから越境侵入した亡命軍との間に十二日衝突が起り政府軍は侵入軍を擊退したと報じてゐる

【反樞軸陣營】

「獨處理」案に佛は除け者

（チューリツヒ十三日發）米英ソ三國のいはゆるドイツ處理案はド・ゴール政權が參加を希望したため根本的修正に迫られてゐると傳へられたが、スイス紙「ブンド」は英國政府筋の情報として米英ソ三國がフランスを形式的に參加させるだけで依然實權を握らうと圖つてゐる事實を暴露、次の通り報じてゐる

昭和十九年十二月十六日(土)
第三二七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米英ソ三國政府は戰後のドイツ占領と監理問題につき最終的に意見の一致をみた樣子で「デーリー・メール」紙によれば、モントゴメリー、ウオロシーロフの兩者を首班とする最高會議の創設が既に豫定されてゐるといはれてゐる、ドイツ處理協定にはフランスその他の反樞軸國の參加が認められるといふことだが、ロンドン駐劄フランス大使マシグリがまた歐洲諮問會議に加つてゐない事實からみても實權が依然米英ソ三國の手中にあるはいふまでもない

カーの歸國理由

(チユーリツヒ十三日發)モスクワ駐劄英國大使カーの歸國については餘りにも出し拔けであつたため種々の臆測が流布されてゐるが「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン特派員は英國消息筋の見解を十三日次の通り傳へてゐる

英國消息筋の一部はイタリヤ、ギリシヤ問題に關するソヴエト政府の印象を本國政府に傳へるためとみてゐるが、ポーランド問題乃至三國會談に關聯するものと解してゐる向もある、またソ佛條約について報告するためと觀測してゐる者もあるが、英國政府當局がソ佛交涉中逐一通告を受けてゐたと强調してゐる點からみてもソ佛問題が直接歸國の理由になつてゐるとは考へられない

アイゼンハウアー、ロンドンへ

(リスボン十三日發)ロンドン來電によれば歐洲侵攻反樞軸軍司令官ドワイト・マーフイと協議のためロンドンに滯在中といはれるアイゼンハウアーは政治顧問ロバート・マーフイと協議のためロンドンに滯在中といはれる

武器貸與に反對論

(チユーリツヒ十三日發)英國政府のギリシヤ彈壓に對し米國の輿論は相當强硬な反對態度を示してゐるが十三日「エキスチエンジ・テレグラフ」紙のワシントン電によれば、米國議會の一部にも今回のギリシア騷擾事件を契機として英國に對する武器貸與の繼續に有力な反對論が擡頭したといはれる、すなはちこれら反對論者は米國の生產した彈藥・戰車・火砲等が英國軍によつて歐洲各地の民衆彈壓のために使用されてをり、これは結局英國の帝國主義を米國が支援する結果となるとの意見を懷いてゐると傳へられる

【英帝國】

下院、印度憲法の效力延期決議

(リスボン十三日發)ロンドン來電=英國印度相レオポルド・アメリーは十二日の下院に一九三五年の印度法の效力を延期する決議に關する動議を提出し討議することなく可決された

「註」右は一九三五年の印度統治法卽ち憲法を指す、要點は第一に英領印度及び土侯國より成る聯邦制の樹立、第二は州に關する全面的自治制度の賦與、第三は中央及び地方政治への責任制の導入、第四はビルマの分離の四項目でこのうち現在までに實施されたものは第二及び第四の州自治制とビルマの分離だけである、從つて今回の決議可決は爾餘の各項目に關する效力發生を延期したものである

英艦隊濠に食糧船渠施設要求

(リスボン十二日發)キヤンベラ來電=英國太平洋艦隊司令長官ブルース・フレーザーは十二日濠洲首相カーチン、副首相フオードらと會見した後記者團と會見、太平洋艦隊と濠洲關係について次の通り言明した

眞珠灣が米國の基地である如く濠洲はわれわれの基地とならう、濠洲の大平洋艦隊に對する寄與のうち重要なものは船渠並びに倉庫施設及び食糧で、倉庫貯藏所、船渠修理施設その他類似の作業には濠洲の勞働力が使用されよう、勿論濠洲の人的資源が極めて窮屈な狀態にあることは承知してをり出來るだけ勞力を節約するやう努力する、英國海軍の食糧需要は艦上勤務のもの千人につき一週間二十トンといふ計算で更に每週千人につき十トンの豫備食糧を必要とする

熟練工を濠洲に派遣

(ストツクホルム十三日發)十三日のBBC放送によれば英國政府は太平洋艦隊を維持する上に必要な諸種の作業に從事させるため英本國から熟練工二千名を濠洲へ派遣することになつたといはれる

特輯

フランス木枯抄（上）

——十二月上旬斷片ニュース——

井上勇

米紙のパリ版　「ヘラルド・トリビューン」パリ版は一九四〇年六月以來發刊を停止してゐたが近く再刊の運びになつたと十一月三十日のUPニューヨーク電が報じてゐる、「デーリー・メール」の大陸版もおそらく同時に出ることにならうとはストツクホルム情報である

馬克フラン換算率　アルザス・ロレーヌはドイツに合併されて以來ドイツ本國紙幣が流通してゐたが、再びその大部分が米佛聯合軍に占領されるとともに、十二月一日付の緊急令で一馬克十五法の割で强制的に引換へられることになつた、但し一九四〇年六月十五日以降流通してゐるドイツ軍票馬克については、ドイツ占領軍の決定をそのまま一馬克二十法の率が適用される

記者また一人處刑　ボルドオから出てゐる「ラ・ヌウヴエル・レピユブリーク」紙の報道によればパリの週刊紙「ユニオン・ナシヨナール」の主筆アルベール・フアヴルは終身刑の言ひ渡しを受けた、十一月末のことである

ウオドハウス始末　妻君諸共パリで捕へられ、英國政府の口利きでパリから退去を命ぜられたと傳へられた英國のユーモア作家ピー・ジー・ウオドハウスは、その妻君は釋放されたが、當人は結局收容所送りとなつたやうだ、特別に「氣樂な部屋」も與へられる筈とエキスチエンヂ通信が報じてゐる、イーデンも六日の下院でどうにも干渉の理由がないと報告した

カトルウの境涯　前佛印總督カトルウ提督は佛印脫出以來シリア、エジプトなどに轉戰してゐたが、アルジエー臨時政權時代、北阿駐劄フランス代表といふ曖昧な地位を與へられて今日に及んでゐる、最近ドゴールからモスクワ大使を慫慂されたが斷つて、暫くパリの雲行を眺めることにしたといはれる

厄病神の米英　フランス人の今の唯一の心慰めは闇市場が存在することだと中立國筋のパリ特派員が皮肉つてゐるがアルザス方面に侵入した米軍は、この地方には闇は全くなく、物資もフランスの他の地區に較べると三倍以上多量にあり、流石にドイツ領だつただけのことはあると感心してゐる、お蔭で闇漁りに心身を勞することはいらないと米國記者は報じてゐるが、米英軍の行くところ必ず飢饉が生ずる今までの事實に鑑みて、これが何時まで續くか

南佛の民衆裁判　十一月末、マルセイユの北方ヴオクリユウズ地方の爆發事件は結局三十四名の保安警官を殺し、十八名に負傷さしたらしいが二十六日ペルチユイで開かれた民衆裁判の結果、白色マキ團と睨まれた五名のものが、犯人として死刑を宣告され、即時刑の執行があつた

解放と彈壓　ストラスブールに入城したフランス第二機甲軍團司令官ルクレルクは、十一月三十日フランスの兵士が反佛ゲリラ部隊によつて一名殺傷される度に五名のドイツ捕虜を銃殺すると布告を出して、アイゼンハウアーから大目玉を喰つた、ベルギーでは英駐屯軍アースカインが、ピエルロ內閣などそこのけで國內軍彈壓をやつてゐるギリシヤもイタリアも同樣だ、ことのよし惡しは別として「解放」された筈の國々が實際は米英の强權の支配下にあることを如實に示す好事例だ、ルクレルク聲明についてはドイツ當局は直ちに六日フランス國內の對佛協力者肅淸問題に引掛けてフランスが、かかる野蠻行爲を續行するならば、ドイツもまた報復を考慮する、敢へて人質の少なきを嘆く必要はない旨の强硬聲明を行つたが、ルクレルク將軍には何等反省の色なく、自分の出した命令は今なほ有效であると頑張つてゐる

昭和十九年十二月十六日(土)
第三二七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

その上ストラスブールの町に貼りまはされた布告文も撤去されてゐない、パリではパリで、フランス政府がフランス人を處斷するのに、ドイツが報復云々は筋違ひだとうそぶいてゐる、困つたのは米軍司令部で一應はルクレルクに注意は喚起したが、相手が聞かぬとあつては面目は丸潰れでルクレルクと共同作戰中の米第七軍司令官パツチは「あれはルクレルクが勝手にやつたので俺は知らなかつた」と聲明したが、その米軍の指導下に出てゐる「アルザス・リーブル」(自由アルザス)紙は麗々しく、ルクレルクの布告をそのまま出して別に取消しもしてゐないところはどうしたものだとUP記者が痛いところを突いてゐる

燒が廻るトレーズ フランス共産黨書記長モーリス・トレーズは十一月二十七日妻子を同伴モスクワから五年振りにパリ歸り、十二月一日、社會黨主催の民衆大會に來賓として出席五萬の民衆を前にして百萬のフランス兵を即時動員前線へ送れと演説したが、どうやら少し見當外れの演説で、五年の留學の間に燒きが廻つたのではないかとの說がある

繃禮町パリ マドリードの「ヤ」紙パリ特派員の通信によると、パリは繃禮の町となつて、街頭に新しい衣裝をみす、もつぱら古着、古帽子の修繕業が繁昌し、夜十一時で營業を終る地下鐵が唯一の交通機關で市民は歩くかはりに「眺めてゐる」といはれる

米兵の闇狩り 米國憲兵は十二月三日パリ市中を徘徊する米國兵の一齊身體檢査を實施し、二百名以上の大金所持の兵隊を捕縛した、軍のガソリン、煙草、その他資材を持出して闇に流し遊興費を稼いでゐたものである

新聞用紙の飢饉 十一月三十日國家經濟相ピエール・マンデス・フランスの聲明によれば、新聞用紙は十二月十五日をもつて在庫品皆無になる

ド・ゴールの姪の行衛 ド・ゴールの姪ジユヌヴイエヴ二十歳は地下抗戰運動に從事中、發覺してドイツ軍に逮捕されドイツに連れてゆかれてゐることが判明したと十二月四日のロイター電が報道してゐる、マロンガンといふ醫學生が抗戰運動者三十名の名簿を五千磅でドイツ側官憲に賣つたかどでド・ゴール警察に捕まり、その白狀の結果右の事實が判つたものだ

陸軍の肅清 陸相デイエテルムは五日の諮問會議席上「陸軍肅清委員會」の進捗ぶりについて報告したが、軍の方針は、抗戰運動に直接寄與しなかつた將校は全部罷免することになつてをり、既に二千件以上を審査、內八百件は審査が完了したと發表した

ド・ゴールの芋づる ド・ゴールは政治家であるかないかはフランス人仲間でも問題視されてゐるやうだが、最近甥をブーローニュの市長に任命したかと思ふと今度は兄弟のグザヴイエ・ド・ゴールをジユネーヴの領事に任命して七日發令になつた、親類緣者を引上げる點では世のあり來りの政治家並であることを證明したものである

鄕軍會長の殺害 ヴイシー時代、フランス鄕軍の大同團結を行つて、その會長の椅子に据つてゐたパルテミー將軍は七日、ヨンヌ縣で何人かに射殺された、犯人は不明であるが、理由はペタン元帥と協力したといふのだらうとパリ・ラジオは報じてゐる

佛銀總裁誅首 フランス銀行の總裁といへば名はよいが、ドイツ軍占領時代は、つづまるところフランス銀行ドイツ監理官の助手だつたイヴ・プレアル・ド・ボアサンゼは七日付官報で免職になり、恩給も召上げられることになつた、同人はヴイスバーデンの休戰協定實施委員會へのフランス代表の一人だつたが、兄弟が佛印で役人をしてゐるはずだ

石炭難と寒さ　フランスの物資もいよいよ不足し、それに比率して寒さも身に泌みるらしいが生産相ラコストが七日の諮問會議への報告によると「反樞軸軍への軍需輸送に運輸を押へられて、前週のパリへの石炭移入は豫定の二十四萬トンが十四萬トンしか這入らなかつた」さうである、人口五百萬のパリ地區に二十四萬トンの石炭が、それも一週間分といふ寒さは、想像出來るともいへるし、數字には溫度がなくて一寸身に泌まないともいへる、政府は八日、凡ゆる物資の輸入稅を全廢して、物の吸集めにとりかかつたが、物には足がないので、自分で歩いてくるわけにも行くまいのやうなものだ、フランコ政府の領事館の査證など値打ちはマイナス以下である、そんな査證を抱へて歩いた高和領事一行の苦難は眼にみえるやうだ

高和領事の場合　マルセイユの高和博領事一行がペルピニヤンで無事の八日附ジユネーヴ萬國赤十字社本部の發表は、多くの同領事の知己を安堵さしたことと思ふが、ここで一つ同領事が何故ペルピニヤン當りで、姿を現したかを想像してみよう、八月十五日、反樞軸軍の南佛上陸と共に、マルセイユ在留同胞をまとめた高和領事は、リオン經由スイス入りかペルピニヤン經由スペイン入りかの二つの脫出路を研究の結果、いづれも危險であるが、既にマキ團の勢力圏だつたアルプス越へよりも、海岸傳ひにスペイン入りの方が一層安全と考へて、マルセイユのスペイン總領事の査證を携づさへて南へ旅立つたものと考へられる、どこをどう廻つたのかわからないが、行くゆくスペイン領事館を頼りにするつもりでゐたところ、そのスペイン領事館はスペインマキ團の手に落ちてをり、警察の保護を求めようにも、警察はフランス共産マキの手により、十日や二十日は暗いところに叩きこまれたに相違なく、勿論持ちものは一切合財召し上げられたに相違ない、いまイベリア半島からパリへ行く最も安全確實の路は、マドリード、リスボン、ロンドン、パリの路で、陸路は悉く共産マキの手にあり、パリの政府査證が役に立たぬ位だから、マドリードやリスボンの査證が物をいふわけはない、唯一にいふことをきくのはマキ國自身の査證で、これが義勇軍のよい財源になつてゐる、ロアル以南はド・ゴールにとつては敵國といつてさへよく、その査證などは有難迷惑

太陽のない町　パリの混亂、困窮はとめどもなく進んでゐるやうだ、九日の「デーリー・エキスプレス」紙によれば「フランスに空から降立つた謎間にフランスが何もかも順調に行つてゐないことが直ぐわかる」さうである、飛行場から出るための手續きが面倒で一時間以上もかかるやつと出たかと思ふとバスが故障で立往生する、パリについてみると狀態はよくなるどころか日に日に惡化してゐる、闇が全盛でそれも致し方がないのは割當切符では生活出來ないのだ、金の値打ちは全くない、ポンドは公定二百法ものが五百法もそれ以上もする、新聞記者はホテルの將校食堂で食事をするので助かつてゐるが町で食事すれば一食二ポンド以上かかる、と「エクスプレス」の特派員はお寒い御託を並べてゐる、闇の流行について、スエーデンの新聞は「これも無理はない、ドイツ占領時代は法律を破るのは愛國と認められ、それがいまのパリジアンには習ひ性となつたのだ」と稱してゐるが、その結果はフランスをインフレの波で溺死させようとしてゐる、フランスの勞働者の賃銀は例へば仕立職人で月二千五百法から三千法ださうであるから、戰前と少しも變つてゐないが物價は大體十倍になつてゐるのであるから人氣も惡くなり肺病も增えるわけだ、パリは戰前、肺病の統計がないのを誇りとしてゐたさうで、その理由は人口の百パーセントが肺病だからといふのであつたらしいが、最近の死亡率はこれまたすさまじいものらしい

昭和十九年十二月十七日(土)
第三二七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「フラン・チラール」の報道では二歳以下の小兒の五割は佝僂になりつつあるといはれ、十歳から十六歳までの少年男女の肺病は倍になつた(と數字のないところがパリだ)同紙の調査では戰死以外にドイツ占領中パリ市民七萬五千が病死し、死因を問はねば總人口の八分の一が失はれた、勿論これには「フラン・チラール」一派の狙撃で死んだものも含まれてゐるのであらう、食糧不足は外國及び植民地からの移輸入の杜絶が、大きな原因になつてゐるが、十日ル・アーヴルに解放後始めてのフランス船が三色旗をかかげて入港した、積載貨物百五十トン、英國から來たものである、極めて表象的だといつてゐるが、それに違ひない

血で血を洗ふ　肅清は相變らずつづいてゐる、十日にはパリで十二名の對獨協力者が死刑を求刑され十二日の判決で九名が死刑と定つた、檢事の曰くに「陪審員諸公は死せる抗戰運動者を想へ」とあるが、血で血を洗へば白くなると考へてゐるところに、救ひがたい迷妄があるやうで人心は不安になるばかりだ、十一日にはオート・サヴオアで數名の元役人が暗殺されたとの報道があり、陶器の名産地で、いまは街全體が戰火のため陶器になつてしまつてゐるボオヴエでは、警察が武裝民衆團に襲はれ、裁判所には爆彈が投げこまれて、死傷者を出し、高名なサン・テチエンヌの古寺院軍法會議所も破壞された、パリの軍政長官ピエール・クニーグの下で副官をやつてゐるロスチヤイルド一家のギ・ド・ロチルド男爵の證言によれば、戰前フランスには三十五萬の猶太人がゐたが、その內十二萬は追放され、一萬乃至一萬五千は殺害されたさうで、その讐を討たうといふのでは、これまた大變な話である

ラテン街の騷動　十二日パリの學生街カルチエ・ラタンで久方振りの學生騷動が起きて、ソルボンヌの傳統いまだ失はざるの證據を示した、大學が月謝を引上げたので學生が反對デモをやつたのである、警官隊との間に拳銃の射ち合ひがあり双方に若干の負傷者を出し店舗が二、三破壞された

光の街に灯なし　光の街といはれたパリが暗黑の街と化して五年十二日始めて燈火管制が解かれて全市に「理論的」に灯が點じられた、理論的にといふのは石炭不足で電力が足りず、結局あかりは點すわけにはゆかなかつたからである、あかりのない光の街パリといふ狀態はなほ續く

資料

米國務省改組論評

「ニューヨーク・タイムズ」紙十二月六日

今回ルーズヴエルト大統領によつて發表された國務省の改組に關聯して數名の任免が行はれたがこの人事異動の背後には、政府の新な活動中當然國務省に歸屬すべき或るものを同省に附與せんとする希望が明らかに看取される、例へば、米洲關係調整局長官の地位が正にその一例である、西半球における隣接諸國とわが國との關係を調整せんとする如きは明らかに國務省の所管に屬するものである、同樣に「外國經濟關係專任」の次官補が任命されたことは、從來この分野に從事して來た數個の政府機關によつて個別的に擔當されてゐた戰時及び戰後問題關係の諸機能を將來國務省が接收することを明らかに豫想せしめるものである

これらの改革は政府の外交關係事務管掌をより明確に系統立て、これにたいする責任をその當然歸屬すべき責任者卽ち國務長官の手中に從來以上に集中せしめんとする企圖を指向するものに他ならない、かやうな意味では今回の國務省改組は歡迎さるべきものである、しかして上に述べたやうな今後に豫想される政府機構改組のためには大統領に對する辭表提出といふ形式で國務省から三名の老練官吏、バーリ、ロング、ショウの引退を餘儀なくせしめたのである、しかしこれら三名はいづれもその長年に亘る精勤に對して大統領から感謝の意を表明されてゐる、この結果、國務省といふよりは同省內に新たに設けられた地位に四名の新任者を送り込むこととなつたが、これら四名は何れもその就任すべき特殊な地位に鑑み當を得た人達といふことが出來よう

前駐日大使にしてわが外交陣の最も老練にして有能な一人であるジョセフ・C・グルーは國務次官に任命された、ウイリアム・L・クレイトンは既に實業家として名を成し、彼が今後擔當すべき外國經濟の分野においては豐富な經驗をもつ有能なる事務家である、ネルソン・A・ロックフェラーは、その米洲關係調整局長官の地位から當然の人事異動で南米關係擔任の國務次官補の新地位に就任することとなつた、また國務省の弘報、文化關係を管掌することになつたアーチボルド・マクリージュはこれまで米國議會圖書館長の職にあつて立派にその傳統を繼承して來た人物である

これら四名の新任者についてはその崇高なる愛國心乃至手腕の點では何等問題のあらうはずもなくまたかれらは大統領及び新國務長官の人選によるもので、新國務長官の直接監督下に全く事務的な地位に就くものである、以上四名全部は上院によつて速かにその任命を承認さるべきものでありまたその承認は間違ひのないところであらう

「フイラデルフイア・インクワイアラー」紙十二月六日

ルーズヴエルト大統領がステチニアス新國務長官任命に引き續き斷行した今回の國務省首腦部の大異動は、よくいはれるやうに「政務のため」に行はれたものである、ステチニアスの新國務長官就任は各方面で好評を博してゐるが、就任した以上、彼がその助力者なり、主たる相談相手として彼の意圖するところに理解があるばかりでなく、世界情勢に關するわが國の見透しが變化するにつれこれに卽應した新政策を遂行するに足る能力をもつ人物をその側近に蒐めることはまた當然のこととといはなければならない

ステチニアス新長官の後任として新たに國務次官に任命されたジョセフ・C・グルーはわが外交陣の古參であり滿洲事變に始まり眞珠灣奇襲に終る長期間に亘り彼が外交官として日本に駐在してゐたことは國務省にとり貴重な存在たるを失はないであらう、ウイリアム・レ・クレイトンの國務次官補任命は國務省の管掌する經濟活動が最近頓みに重要性を增し、遂に生粹の實業家の登場を必要とするまでに至つたことを示すものに他ならない、またネルソン・A・ロックフエラーが從來別個の政府機關の長官として擔任してきた米洲關係調整の事務が、間接にもせよ、國務省の管轄下に入るべきことは既に明白となつてゐたところである、これは今回彼が國務次官補として當然の任命を受けるに及んでいよいよ實現される段取となつた、しかし、今回の異動中「弘報及び文化關係」專任の次官補を任命したこと、特にこの地位に詩人にして議會圖書館長たるアーチボルド・マクリージュをもつて來た理由は、他の任命に比してあまり明かでない、軍事的行動に關する限り、われわれはわれらの盟邦と一致團結してゐる、しかし外交分野におけるわが國の對外關係が戰爭の結果生じた事態、特に平和に關聯あるデリケートな諸問題に影響ある部面において決して滿足すべき狀態にないといふ事實は、これを國民の前にとり繕つたところで何一つ得るところはない

今回の異動發表に當り、ルーズヴエルト大統領は「國務省を强化する他の任命」が間もなくなされるであらう旨を聲明したが、これによつて見ても大統領が、政府の諸官廳中最も重要な地位を占める國務省においてその機能を制約する或る重大な弱點のあつたことを十分認識してゐることが判る、要するに國務省は新人と新政策とを必要としてゐたのである、今回の異動はこの目的に對して先づ順當な第一步を踏み出したものといへよう

「ワシントン・イヴニング・スター」紙十二月五日

新國務長官の選任に伴ひ次官補の更迭をみるのは當然のことでありこれが昨日大統領によつて發表された國務省人事異動の一つの說明である、ステチニアス新國務長官にしてみれば彼が最も效果的に働き得ると考へる人物を國務省首腦部の地位に据ゑたく思つたことであらう、しかしかうした考慮は別として今回の國務省人事異動には今後同省が戰後の國際關係再建の時期に當りとらんとする方向が如何なるものであるかを窺知せしめるに足るものがある

昭和十九年十二月十六日（土）
第三二七二號
同盟通信
海外電報
（第三種郵便物認可）

前駐日大使ジョセフ・C・グルーを國務次官に任命したことは、大統領が極東問題に對する造詣の深い且つ情勢判斷に危げのない生粹の外交官を拔擢したことを意味する、これはまことに申分のない人選であつて必ずや各方面から全幅の贊同を得るに違ひない、前商務次官補、現餘剩軍需工場管理局長官ウイリアム・レ・クレイトンの國務次官補任命は、現在特設戰時諸機關によつて分掌されてゐる外國經濟關係事務の大部分を今後國務省に接收せしめんとする計畫に更に一歩を進めたことを示唆するものである、同樣に、議會圖書館長アーチボルド・マクリーシュの國務次官補任命は現在戰時情報局海外部によつて擔任されてゐる事務の或ものを今後徐々に國務省に吸收せしめ、——この分野はマクリーシュが戰時情報局の初期において既に手鹽にかけて來たところである——更に國務省をして弘報關係の新たな分野に乘り出させようといふ政府の方針を示すものと解される、米洲關係調整局長官の地位から新國務次官補に任命されたネルソン・A・ロツクフエラーは戰後ゆくゆく國務省が同局を接收するに際し恐らくその衝に當るものと思はれる

「ワシントン・デーリー・ニューズ」紙　十二月五日

今回の國務省改組は近年稀にみる大規模のものであり、また必要とされてゐたものであつた、國務省改組は昨年その緒についたが、それが今日まで延引された理由はハル前國務長官の反對といふよりも大統領選擧によるものであつた、當態依然たる國務省は、相錯綜する戰時諸機關の吸收など最近增大した管掌事務を處理する上からいつてもその流線化と擴充を必要としてゐたのである、ステチニアス國務長官は、その就任前國務次官の地位にあつた關係上これらの諸問題の表裏をよく呑み込んでゐる

今回の異動による新任者は、その中ただ一人の例外を除き、悉く有能の士でありその多くは外交畑の經驗をもつてゐない、これはどうも不幸なことだといふほかはない、國務省の改組が完了し、議會がさらに二名の次官補の追加任命を承認すれば國務省は都合次官一名、次官補六名をもつことになる、グルーは曾て國務次官たりしこともあり大使としてトルコ、日本に駐在し、外交畑での先業者の一人であり、最も有能な一人とされてゐる彼の國務次官任命は彼が太平洋問題に關しては外交官中の權威であるといふ點で特別の意義をもつものである、今回の異動で唯一の留任者たるデイン・アチソン國務次官補は有能の士であり、今後は專ら議會方面との連絡係となり、同時に國際會議關係の事務を擔ずるものと思はれる、バーリショウ、ロング三國務次官補は辭任しその後任としてクレイトン、ロツクフエラー、マクリーシュの三名が任命された、ショウ、ロング兩國務次官補は令名のあつた專門家であり、ロングは六十三歲で既に恩給退官年限に達してゐたのである、今回新任されたものの多くは外交官としての經驗を缺いてゐるが、かれらは各自ステチニアス國務長官および大統領とは相識の間柄であるといふ利點をもつてゐる、この點は、從來とかくチーム・ワークの點で缺けてゐた國務省によりよきチームワークを與へることとならう、そして白堊館の「クオーターバツク」（大統領を指す）があらゆるサインをかれらに與へるのは從前と異るところはあるまい

統制貿易より國際貿易へ

「エコノミスト」誌十月二十一日

國際貿易における米國の戰後政策が決定されようとしてゐた時に當つて、米國の輿論は一寸奇妙な狀態にあつた、貿易障壁の除去とか世界貿易の擴張といふことに對して一般的に大して熱狂を示すといふことが全くなかつた、保護關稅に對する社會の支持も從來になく顯著になつた、全世界に亘る貿易障壁の發生において米國の保護關稅が演じた役割を過大に評價する傾向さへある、しかし一九一四年以來國際貿易の本質に生じた根本的な變化もあまり認識されてゐない

國際貿易がも早一國家の私人乃至私的組織と他國家のさうしたものとの間の問題たるにとどまらず同時に諸政府あるひはその代理人が他國のさうしたもの乃至私人や私的組織との間に行ふものでもあるとされてゐるが、それがどこまでさうであるかは一般には相當看過され勝ちである、米國の輿論は同時に國際貿易を國家統制から解放しながら一國の政府が依然國内物價水準の統制を續け、自己獨自の國内經濟計畫を遂行せんとする企圖から生ずるジレンマに直面することの必然性を認識してゐなかつた、保護關稅を支持する輿論の傾向は關稅乃至奬勵金を利用することなく世界市場に競爭を行ひ得た輝しい經驗の數十年により自らを深く信じてゐた米國産業部門の重要性が增して來たことによるのである、これは特に自動車附屬品及び各種機械類の生産者において眞實である、これら工業家は合衆國内における外國人の商取引が增加するにつれて自己の製品に對する外國購買力も增大すべきことを知悉してゐる、その結果この範疇に屬する製品の製造業者はますます自由貿易の支持者となりつつある、米國の輿論の可成り面白い面といふのは米國の教授連が熱心に當時の學生達に教へ込んだことが最近になつてそれだけの實を結んだといふ事實である、米國の經濟學教授達は宣教師のごとき熱をもつて英國古來の自由貿易說を說いた、大陸經濟のうちに生活してゐる人々に對してこの學說的な一致は安らかには受け容れられなかつた、所がそれが今は違つて來た、保護關稅を提唱することとは申も早産業界においても尊重すべき見解だとは考へられてゐない

外國貿易は國内救濟か

教養のある社會において自由貿易原理の容認といふ術學的な勝利の達成が、十九世紀的な最も單純な形式におけるこれら諸學說がかなり勢力を失ひ原理的に他の世界から排擊されてゐる時期に實現されようとは甚だ皮肉なことである、かくて合衆國には、少くともこの瞬間において、外國貿易から得らるべき利益にたいする狂熱的感情が廣く存在する、この種の利益は輸入量の增大を受け入れるといふ意味では減多に考へられてゐない、米國人は本能的に世界貿易といふものを餘剩の清算のための手段と考へ勝である、すべての人は來るべき農業餘剩の處理並びに既に大いに膨脹せる航空機、工作機械、マグネシウム、アルミニウム等の生産處理の問題に關心を抱いてゐる、外國貿易はかうしたわずらはしい餘剩を清算することによる絶對の失業救濟手段として提唱される場合が少くない、外國貿易はなにか漠然とした奇術的な方法により過剩生産の問題を解決するものと想像されてゐる、だが輸出入双方の增大における國内勞力の完全利用の效果は今のところ頭腦的に新奇なこととされてゐる、そして實際に關稅引下げが問題となつた時に合衆國が如何なる特定輸入品目の增量を容認すべきかといふ問題について多くの時間を費さうとする人は餘りにも少い、また同樣に外國貿易が回避すべきこれら餘剩物資または支拂の形において如何なる商品及び奉仕が受入れらるべきかについても明瞭な關心は殆ど認められなかつた、事實國際貿易を狂熱的に信ずるかなり多くの人々によつて表明されてゐるやうに、米國の商品並びに奉仕の購入に外國人が使用せんとするほど多くの金額を供給するだけの極めて多額の借款または投資を如何にするかといふことを苦勞するだけの必要はないといふ奇妙な考へ方も存在するのである

一般化された國家貿易統制

爲替統制、輸入比率、政府購入額、相互協定並びにカルテル（但し商品協定を含まず）等はヒトラーの創案であるにも拘らずかなり廣く論ぜられてゐる、從つてすべての國家がヒトラーの敗戰をこの種の統制を廢止することが期待されるが、この種の外國貿易に對する國家統制が半ば國際勘定における平衡の維持における根本的な困難から生じたのだといふ議論は殆ど省られてゐない、そして各國におけるこの種統制が國内職業問題の維持における國家政府の努力の一部であつたといふこと、この努力が失業者の外國輸出を度外視しても屢々ある程度の成功を收めたといふこともあまり認識されてゐないのである

輿論がかくの如くである以上、米國の銀行家としては國際貨幣資金の承認を支持すべきか反對すべきかについて心を定めることは決して容易でなく同時に何故に爲替統制の一部を維持しあるひはその廢棄を漸次行ふべきだとする國家があるかといふことも理解し得ないのである、同樣彼等にとつては通貨が健全な相場に安定してゐる場合に何故にある國は根本的な不均衡を修正するためにその平貨を切り下げなければならないかといふことも明瞭には理解されないのである

感傷的な希望

財界におけるかかる心理狀態は、貿易障壁を除いたところでそれを除くばかりで單に國家統制に代つて國際貿易統制を齎すに過ぎないやうな新しい複雜な各種組織を生み出すわけではないといふ懷疑的な見解に傾き勝ちである、米國内では「國際的な平和並びに繁榮のための犧牲及び寄與」と感傷的な表現が疑ひもなく一般に喜ばれてゐるこの傾向はアンラ、國際通貨資金、復興並びに發展のための國際銀行等が正常な國際經濟活動の再開のための前提條件として社會に示される場合には、少くともこれに最少限度の必要な社會的支持與へる足る程度のものである、しかしながらこの傾向は、米國の生産能力が國内的に消費される以上のものだと確信してゐる米國社會が武器貸與法の延長乃至外國に對し無限に與へられる如き他の借款の設定を覺悟してゐるといふ意味に解釋され公けに論ぜられる場合が少くなかつた、かうしたわけで米國の弗が國際貿易に現れることを妨げるやうな弗不足は決してあり得ないのである

だが實際にはかかる希望の達成を期待すべき理由は殆んどない、この無制限の弗供給が米國の納稅者によつて、或ひは本當ならば國内の使用に當てられる筈の國庫による購買力の支出によつて與へられるのであるといふことを理解すれば、これに對する政治的反動は忽ち激烈なものとならう、この反動は米國民の大部分における生活水準の低下がどれだけ續くかといふことを社會全般が認識するとともにますます强くなるに違ひない、工業生産力に對する十分な國内購買力といふものが國家經濟政策の礎石でなければならないといふことと並びに國際支拂勘定の眞の均衡がそれに基かなければならないといふことを各方面で理解することが早ければ早いほど、世界貿易擴大の見透しも正しさを增すに違ひないのである

米國の三つの問題

「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙

十月七日

歐洲戰爭終了直後米國は三つの重要問題に當面するであらう、卽ち第一に歐洲から大部分の兵力を太平洋戰線に移すこと第二に和平條件並びに歐洲大陸に對する計畫を確立すること第三に一部の動員解除並びに平和經濟への部分的轉換を實施することである、往時の開拓者のやうに米國は一方で計畫を樹てると同時に他方で建設を營まなければならない、對日戰の新局面において米國は英國のみならず、日本のため東南アジアの領土を喪失したフランス、オランダのやうな歐洲反樞軸諸國によつても强力に支持されようがまた東亞における尨大な通商上、工業上の足場を日本に取りあげられた、ベルギーのやうな國も自己利益並びに一致團結の見地から對日作戰に參加するであらう、ソ聯は歐洲戰爭が片つけば日本に對し意のままの手を打つことが出來、その東亞政策はハツキリした形態をとるものとみられる

兵力移轉の困難性

反樞軸軍の兵力を歐洲戰域から太平洋並びに印緬戰域に轉ずることは實に大仕事でありこのため約二百五十萬の將兵の本國歸還が遲れることも當然だ、陸軍省が發表した歐洲戰爭後の復員計畫によれば多くの場合、復員は何ケ月といふ時日を要するとされるが、蓋し大西洋の彼岸から東南アジア並びに太平洋諸島に兵員を移動することは事實上反樞軸諸國の利用し得る凡ゆる輸送手段を必要とするからだ、太平洋戰域には陸軍省が指摘する如く數百萬の戰鬪員、數百萬トンの上陸用舟艇

戰車、飛行機、火砲、彈藥、食糧を輸送せねばならず、これに要する船舶は數千隻に達し、歐洲に向ふ船舶の大部分は部隊と補給物資を滿載したまま太平洋へと航行を續け、方向を轉じて米國に戻る船舶はほとんどあるまい、陸軍輸送部隊司令官少將C・P・グロスは「七月の米軍海外派遣將兵數は四百萬を突破したが歐洲作戰區域に一人の兵士を送り込むための裝備一式は十トンに及びその兵士を戰爭狀態下に同所に駐屯させるには一ケ月一噸の補給をしなければならない」と報告してゐるが、太平洋戰域においては更にこの四倍以上が必要とされる、太平洋方面海軍補給部司令官少將J・J・ギャフェーの如き「一人につき年九十六トンの補給が是非とも必要だ」と述べてゐるほどだ、補給任務の困難は幾何級數的に增大し、加ふるにアジア並びに中部太平洋の諸港灣の機能が不十分なことは、荷揚作業を阻害し、ひいては米國並びに歐洲諸國の大艦隊が東南アジア並びに東亞に向ふ進路を鈍らせる結果となつてゐる

戰後經濟問題

全般からみて米國並びに反樞軸諸國は戰後歐洲において主として政治的、行政的諸問題に當面することとなる、歐洲大陸は大規模な動亂のためあまりにも疲れ果ててゐるから、或る一國と他國との間に今後如何なる鬪爭が勃發してもそれだけの限度に喰ひ止めることは容易だ、從つて米國は主力を對日戰に向け得ると同時に一部動員解除に基く國內の諸問題にも努力を集中出來る、米國の軍需生產が三十五%乃至五十%方削減されるだらうとは一般のみるところだが、軍需產業に最高賃金が支拂はれてゐる現狀においては、このことは國民所得が實質的に減少することを意味する、次に軍需生產再轉換の過渡期における失業問題だが、逐次復員する二百五十萬の兵員や軍需產業がもはや收容し切れなくなる勞働者の數を基礎に計算する場合失業者數の見當は區々となり、三百萬とも六百萬とも見積られよう、歐洲戰の終了は經濟情勢に好影響をもたらすべく、新たに數百萬戶の家屋を建築する必要が生ずる結果、建築業は大繁昌し、恒久的消費資材の需用も尨大なものとならう

農夫は農具、トラック等を購入するため市場に殺到し、また殆んどすべての工業部門においては使ひ古した乃至時代遲れとなつた機械類が新品と取り換へられることとならうから多數の勞働者が職を得るに至らう、米國は國內經濟における新たな過渡期に賢明に對處することによつて對日戰に勝利を得るに必要なすべての兵器を生產し、全民需を充足し、さらに歐洲大陸が起ち上るのを助けることが出來るのだが、しかしこれがための生產能力はいまだ十分ではない、米國は將來も米國民が生產に從事し得るやう生產能力を組織化するためあらゆる努力を傾注しなければならない

マラリアと戰爭

「ニューヨーク・タイムズ」紙十月二日

マラリアはバタアン半島の米國部隊の八十パーセントを侵し、さらにソロモン群島並びにニューギニア奪還戰に當つては、入院患者の四十パーセントがマラリア患者であつたといふやうな貴重な代償をこの病に對して支拂はねばならなかつた、この時以來米國內ではマラリア退治法が長足の進歩を遂げたが一方陸軍では、野營地の排水、蚊を發生する沼澤の埋立、建物の防蚊網設備、殺蟲劑の撒布等を實施した結果、米駐屯部隊のマラリア發生率は低下するに至つた

米陸軍衞生隊で寄生蟲學の權威であるマツコイ少佐は米國寄生蟲學會の講演で以上の業績を發表さらにこの熱帶病に關して社會に警告を發した、警告といふのは、マラリアにかかつた兵士が加療離隊後なほマラリア原蟲を保有してゐるため、蚊の媒介によりマラリア傳染の危險性があることであつた、われわれは更に航空機がマラリア蚊をアフリカからブラジルへ導入する原因であつたことを考慮に入れねばならぬ、ブラジル政府當局は全力を傾けロツクフエラー學團の專門家は學術技術を擧げて右對策に當つた、現在外國から飛來した航空機は檢疫と藥劑撒布を受けてゐるが、將來は空路による旅行者が千倍にも增加するであらうから、われわれとしては公共保健令の嚴重勵行以外にこの傳染病を防止する方策はない

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月十八日(月)　第三二七四號

同盟通信

海外電報

(289)

編輯發行人　兼務伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話濱人　局番號(代)

【目　次】

ポーランド分割企圖……三一三四
希主教斡旋政府設置か……三一三五
對歐問題で米聲明せん……〃
ス議長、米大使と重要會談……〃
ステチニアス訪英か……〃
【友邦軸陣營】
勢力圏の設定に反對……三一三六
米の對ソ大借款說……〃
米英の提携を强調……〃
【英　帝　國】
スフオルツア伯事件に陳辨……三一三七
チヤーチル辭職せよ……〃
ウエーヴエルの演說……〃
スマツツ、情勢の重大を指摘……三一三八
【米　洲】
國務省首腦任命承認……〃
石油生產高……〃
陸海軍の兵員損害……〃
比島戰損害一萬餘……〃
十一月中の軍需生產……〃
チリーに鐵道大罷業……〃
【歐　洲】
バ政權休戰委員會に抗議……三一三九
英軍增援部隊空輸……〃
總罷業全國に波及……〃
プラステラス斡旋につとむ……〃
スイス新正副大統領……〃
フランコ將軍、英大使と會見……〃
【東　亞】
重慶の情勢改善されず……〃
米軍首腦部の會談……〃
【西　亞】
米英トルコを壓迫……〃
歐洲戰況概觀……三一四〇
【特　輯】
友邦軸國際航空會議(上)……三一四二
干渉政策を續る權謀外交……三一四五
【資　料】
米海軍不人氣……三一四八
米國の看護婦不足……〃



米國が獨立した當時、將兵の勳功を記念するために勳章や爵位の制度を設けるかどうかが大問題となり、ベンジヤミン・フランクリンなどは、かかる問題を論議すること自體が自由の精神に反する封建制度への復歸なりと叫んで眞向から反對したものだつた、ところが今度の戰爭では、やれパープル・ハートだシルバー・スターだ、ゴールド・スターだと勳章をバラ撒き、將兵の名譽心を煽り立ててゐる、米國民が獨立當時の野人精神を良い意味において保存してゐるとすれば、こんな勳章なぞ問題にする筈もないわけだが、何しろ帝政ロシアの亡命貴族が爵位を餌に結婚詐欺をするくらゐに名譽に憧がれる現在の米國のこと、元帥の製造は愚か貴族制度の創設が提唱されることもないとはいへまい、オランダ通信社のメルボルン電によると、東印度總督代理H・J・ファン・モークはレイテ島並びにニューギニア島を訪れた時マツカーサーと第六軍司令官クルーガーに對しオランダのナイト爵を贈り、オランジュ・ナソー劍付騎士十字章とやらを傳達したといはれる、マツカーサーが喜んだかどうかはしらないが、とにかく米國の將軍にも貴族が出來た譯だ、だがこんな笑ひ話は別としても、米國が昔の米國とまるで違ふことだけは疑ひ得ない、モンロー主義も前世紀の傳說だ、今の米國は比島傀儡太統領オスメニアが隨喜してゐるやうに從來の孤立主義を捨てて積極的に東亞の舊英蘭植民地の「解放」に乘り出してゐる

米國の世界制覇政策が帝國主義段階にある資本主義代表國の必然的所產であるか否かは別問題として、彼らが感情的にも往年の自由愛好者でなくなつてゐることは確實だ

ポーランド分割を企圖

—英國首相下院に報告—

（ストツクホルム十五日發）ロンドン來電＝英國首相チャーチルは十五日下院におけるポーランド問題の討議に當り次の通り述べた

「前亡命ポーランド首相ミコライチクがモスクワを立ち去つた當時、余は同首相がカーゾン線を基調とし更にこれを南方に延長したいはゆるカーゾン線Aに同意する權限を亡命政權から與へられて一週間内外で再びモスクワに歸ることを期待してをつたのである、しかしながら亡命政權において群議百出、ミコライチクは同政權の同意を得ることが出來ず、他の諸閣僚と共に辭職するに至つたしかも改造された亡命政權については二、三の點に關し感服することが出來ない、ミコライチクが希望し期待した通り速に同人がモスクワに歸ることが出來たならばポーランド政權はドイツ軍と戰つてゐる各國の間に十分な地歩を占めることが出來たであらう、英國政府の見解によればミコライチクと彼の同志とはポーランドの將來における只一つの光明と解されるが、ロンドンにおける同僚の頑迷且つ反覆常ない反抗のために遂に辭職するの止むなきに至つたのである、爾來妥協の見込みは全く消え去るに至つた、この結果は赤軍がヴイスツラ河畔で停止してゐるからまだ分らないが、再び赤軍が進擊を開始する場合にはポーランド領土の大半が新たにルブリン政權の支配下に入り同政權の勢力は增大するに至るであらう、その結果赤軍と地下に潛るポーランド遊擊隊との諒解は最も悲慘な形態をとるに違ひない

國境線修正の利點

もつとも亡命政權の内閣が變つても外交關係に變りなく英國政府は依然として亡命政權を承認してゐる、しかしながら國境修正の提案が不滿足だとか堅實を缺くといふ意見には同意出來ない、もしポーランドがレンベルグ並びにカーゾン線Aの東方地區を拋棄するならば北方においてはケーニヒスベルヒ以南並びに以西の東プロイセンと素晴しい良港ダンチヒ市を手に入れることが出來よう、人爲的な廻廊の代りに、ポーランドはバルト海に沿つて二百哩の領域を手におさめるに至るであらう、英ソ兩國の關する限りにおいてはポーランド政權はドイツの犧牲において自由に西方に擴大出來るのである、細目に立ち入ることは避けるがいづれにせよ英ソ兩國は同政權を支持する方針である、即ちポーランド政權は東方においてプリペツト濕地帶その他未開不毛の地域を失ふ代りにより重要な、より高度に發達を遂げた地域を獲得する結果とならう

米國の深慮を要望

以上がポーランド解放の重荷を主として負擔してゐるロシアの申し出の輪郭である、ポーランド政權がかかる申し出を拒否するとは信ずることが出來ない、當初テヘラン會談に於て討議した際には反樞軸は未だ大陸に上陸してをらずフランスは依然無力であり赤軍はヴイスツラ河畔の遙か東方にありローマも占領されてゐなかつた、當時においてはポーランド人は果して以上の領土を聯合軍が引き渡せるかどうか疑問を抱いたかもしれないが爾來情勢が變りポーランド政權が代償を受け取ることが一層確實となるに至つた、もつとも米國政府だけは國内に多數のポーランド人を擁してをり條約の締結について憲法上の諸困難があり、明確な立場を表明することが出來ないが、ルーズヴエルト大統領に對しては逐一經過を報告してゐるしかもポーランドの將來が形成されつつある久しい數ケ月間に亘つて余は一度も米國から正式な異存を聞いてゐないといふことだけを述べるに止めよう、時機が到來すれば米國政府は大國間における不一致が將來の世界機構に對する一切の組織に如何ほど甚大な打擊を與へるかを十分念頭に置いてこれらの問題について自國の立場を闡明するに違ひない

領土の變更は戰爭の終了まで持ち越すのが至當だがポーランドの場合においてはもし來年早々赤軍が再び進擊を開始する場合起る非常な不滿を避けることがポーランド政權自身のためである、余はここに英國政府を代表しソヴエト政府がカーゾン線を基調とする國境線を要求することが正しく且つ當然の權利だといふことをここに宣言する

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

余はイーデンとともに政治的非難攻撃を甘受しながらポーランド政權と偉大な同盟國との間における諒解達成に努力した、ポーランドが獨立國家となりファシスト以外の好む政權を樹立する權利があるといふ主張には變りがない、將來再び大戰爭が特に理念の戰ひが起るならば世界の文明はここに崩壞に歸するであらう、各政派からなる聯立內閣の最善の判斷に基づきわれわれが衷心から避けようとしてゐるのは正にこの危險である

三國會談開催に全力

余は消え行く希望と失望といふ言葉を使つたが最近新たな失望を感じた、三大國間の會見を取り定めることが出來ないのである、余はクリスマス前に會談が開かれることをひそかに期待してゐたのであるがいまだ會談のはこびに至らない、幾多の極めて重要な政治上、軍事上、經濟上の國際的懸案が山積してをり假に暫定的決定にしても力強い權威ある決斷を必要としてゐるのである、出來る限り早い機會に少くとも三大國間の會談が開催されねばならない、以上同盟國の首班と會見するためにイーデンと余とは何時でも如何なる條件の下においても何處へでも出掛ける決心である、勿論當初から全滅の危險を侵して屈せず戰つて來てゐる英國において會談が催されるのを特に希望するのはいふまでもない

希主教斡旋
攝政府設置か

(リスボン十五日發)アテネ來電=アテネ市內の戰鬪は依然として繼續されてゐるが、英國代表ハロルド・マクミランは十五日午前英軍司令部グランド・ブルターニュ・ホテルにおいて英軍司令スコビー少將を交へギリシヤ首相パパンドレオ、自由黨領袖スフォーリス並びにギリシヤ大主教等と重要協議を遂げた、會談は午後續行されたが、英國代表は大主教を斡旋役として紛爭の解決を企圖してゐると解される、一方EAM團中央委員會は十五日午前スコビー少將に對し休戰提議に關する解答を提出するはづであつたが、その後の情勢の變化に應じ最後的檢討を加へるためと稱し最後の瞬間に回答を撤回したといはれる、但しEAM團の對案は

一、叛徒の全面的大赦
一、首相パパンドレオの辭職
一、攝政府の設置

の三項目を固執してゐると傳へられ、英軍司令部における會談においても攝政府設置案が檢討されてゐるとみられ、新設攝政にはギリシヤ大主教が最も有力視されてゐる

對歐問題で
米聲明せん

(リスボン十五日發)ワシントン來電=國務長官ステチニアスは十五日の新聞記者團會見で「國務省は近く英ソ兩國の對歐政策に關聯しこれに對する米國政府の政策を明らかにした「率直な聲明」を發することとならう」と言明した、英ソ兩國就中英國最近のイタリア並びにギリシヤに對する彈壓政策に對しては米國政界で漸く非難の聲高く、特に下院では反英派議員が一齊に起つて英國攻撃の火の手をあげてゐる、政府派議員は米國の議會で、かかる反英論が關はされる時は反樞軸の戰爭努力に惡影響を及ぼすとの理由で討議打切りに大童だが、反英議員を鎭撫する力がない模樣だ

ス議長、米大使
と重要會見

(ストツクホルム十四日發)モスクワ來電によればモスクワ駐劄米國大使アヴエリル・ハリマンは、十四日クレムリン宮にスターリン議長を訪問、會談を遂げたといはれる、會談の內容は明かにされてゐないが、外務人民委員部次長デカノーゾフ氏も參加してゐることからみても、恐らくイタリア、ギリシヤ問題に關するものと解される

ステチニアス
訪英か

(ストツクホルム十五日發)十五日の「デーリー・メール」紙ニユーヨーク特電によれば米國務長官ステチニアスは歐洲政策問題で英國政府當局と打合せのため近くロンドンを訪問することとなつたといはれる、ステチニアスと共に大統領附顧問ホプキンスも同行することとなる模樣である

【反樞軸陣營】

勢力圈の設定に反對

—米國政府情報を重視—

（リスボン十四日發）英國の勞働黨サー・アーネスト・ベヴィンが黨大會においてギリシヤ領土を英國の勢力範圍とすることに米ソ兩國が同意した旨を述べたとの報道に續いて評論家ドルー・ピヤーソンが

英國首相チヤーチルはギリシヤ駐屯英軍司令スコビー少將に對しあくまで強硬裁斷政策をとるやう訓令した

と素破抜いたため國務長官ステチニアスの爆彈聲明以來久しく沈默を守つてゐた米國言論界も一齊に騷ぎ出し、歐洲における英ソ兩國の勢力圈設定を繞つて米英ソ三國の關係で再び微妙な動きを示すに至つた、殊にケベック會談で大統領ルーズヴエルトが英國のギリシヤ政策を承認したとの情報が物議を醸してゐるが、ワシントンからのAP電報は「高い官邊筋」の意向として十四日次の通り報道してゐる

ルーズヴエルトが英國のギリシヤ政策を承認したかどうかは言明の限りでないが、假りに承認したとしても國務長官ステチニアスが歐洲各國に對する不干涉政策を闡明した聲明の趣旨には何等影響がない、米國政府としてはあくまで歐洲に勢力範圍を設定することには反對だ、英ソ兩國がバルカン地方を勢力範圍に分割することにルーズヴエルトが同意したことなどは絕對にない、米國政府は再三英ソ兩國に對し作戰地域に關する軍事上の取極めを政治的勢力範圍に關する協定と化することがないやう注意した位だ右注意に對しチヤーチルは英國政府が政治上の特權地域を求めない旨米國政府に保障を與へてをり、ソヴエト政府はかかる廣汎な公約を與へはしなかつたが、米國の主張に不同意を示さなかつた、モスクワ宣言で米英ソ三國は排他的勢力圈の設定を求めないことに同意してをり、ダンバートン・オークスの會議では局地的機構を取極めてゐるが國際的機構の監督下におくことになつてゐる

ロンドン來電によれば「マンチエスター・ガーデアン」紙は十四日の紙上において

三頭會談が續らなければルーズヴエルトとチヤーチルとが出來るだけ早く會談を遂げることが刻下の急務だ、大西洋憲章に對する米英兩國民の信賴が動搖するに至つたのでルーズヴエルトとチヤーチルとが新たに聲明を出して大西洋憲章の原則を再確立することが必要だがギリシヤ內亂の推移を不安と疑念とを以て見守つてゐる歐洲各國民のためにも新たな言明が必要だ

と論じてゐると傳へられるがワシントン駐剳英國大使館では外相代理リチヤード・ローが近く米國に到着、歐洲政策について國務省と協議する旨發表したといはれる

米の對ソ大借款說

（リスボン十四日發）米國の對ソ借款說は久しい以前から屢々國際消息筋の間で噂の種となつてゐたが、十四日のAP通信ワシントン電報は右借款說を相當具體的に次の通り報じてゐるソ聯が米國から希望してゐる借款は意外に巨大なものでその額は三百億弗にも達するとされてゐる、ソ聯がこの借款によつて米國から購入せんとしてゐる物資は各種機械、工作機械、その部分品或ひは發動機など專らソヴエト產業の戰後復興に必要なものである、ソ聯の要求してゐるのは長期借款で、その期間は三十年の長期にわたるものといはれるが、米國側は政府保證の下に民間業者をしてこの借款に應ぜしめるか、乃至は政府が輸出入銀行を通じてこの借款を行ふか二つの方法が考慮されてゐるやうだ

米英の提携を強調

（リスボン十四日發）ワシントン來電によれば國務省は十四日「イタリア政權の組閣問題に關しローマ駐剳の米英兩國大使は緊密な連絡をとつた、米國政府はボノミ新內閣の成立を歡迎する」との聲明を發したといはれる、これと同時にワシントンにある英國情報省支部も同趣旨の聲明を發したが、最近イタリア問題に關し米英兩國政府間に深刻な意見の對立があるとの觀測強く、右の兩聲明はかかる觀測を特に否定するために發せられたとみられる

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

スフオルツア伯事件に陳辯

(ストツクホルム十四日發)
ロンドン來電によれば勞働黨の議員イヴオール・トーマスは十四日下院の質問時間に際し次の通り首相チヤーチルに質問したと傳へられる
スフオルツア伯の聲明によれば首相は同人との會談において會見時間の大半をイタリア國王エマヌエレ三世を留任させておかねばならない旨強調するのに費したといはれるが、イタリア國内の憲法上の事項について英國政府は何等干渉する意圖がないといふ、チヤーチル再三の言明と兩立しないやうに思ふが如何
右質問に對しチヤーチルは
全く見當違ひである、當時余は下院に對し詳細事情を報告してをり、右報告は全部記錄に止められてゐる、戰局が有利に展開するまで國王とバドリオ首相とをそのままにしておく方がいいと考へたに過ぎない
と答辯した、さらに英國外務省は十四日夜スフオルツア伯忌避事件に關聯し次の通り發表した
最近におけるローマ政局の危機に當りローマにおける米英兩國の大使は緊密な協議を遂げた、國務長官スチチニアスの聲明で米英兩國政府の意見が相違してゐるかの批判を加へる向もあるが、ローマ政權との休戰協定には同政權の構成については反樞軸管理委員會の同意、卽ち米英兩國政府の同意を必要とする旨明記されてゐる今回ボノミ新政權に關する各大使からの報告を檢討した後米英兩國政府は新政權が各派をよく代表してゐるといふに意見一致し新政權の成立を歡迎する旨各大使に通告した

チヤーチル辭職せよ

(ストツクホルム十四日發)
ロンドン來電=批評家H・G・ウエルズは最近の「トリビユーン」紙上に「チヤーチル辭職せよ」と題し次の通り述べてゐる
現狀をもつて推移すればチヤーチルは英國流のフユーラー(指導者)になつてしまふだらう、チヤーチルの考へ方は南アフリカの兵營生活に生ひ立ち保守黨の金持連中との會談で培はれたので支離滅裂なナンセンスの塊りだ、チヤーチルは廣く物事を考へるとか理論的な考へ方をしたためしがない、現代の社會問題、政治問題に關する無智振りは殊に甚しい、今度のギリシヤ事件ではチヤーチルはすつかり「頭を失つてしまつた」が、これ以上英國人に迷惑をかけずに引退するのは本人自身のためだらう

ウエーヴエルの演說

(リスボン十日發)カルカツタ來電=印度總督ウエーヴエルは十四日カルカツタの聯合商業會議所において次の通り演說した
對日戰は恐らく一九四五年には最高潮に達することにならう、印度は今次戰爭による負擔のため弱まるどころか却つて以前より強力になつた、この上さらに印度における各派間の政治問題が一切解決され將來の憲法に對する各派共同の要求が提示されるに至れば、印度には輝かしい機會が訪れることにならう、余が信ずる限りでは政治問題に關し英國と印度との間には原則として意見の相違はない、各派間の懸案を除去することは困難ではなく妥結に到達することは不可能事ではない、政治問題は相互に相手を非難したり過ぎ去つたことについて不平をいつたりして解決出來るものではなく、相互に信賴し合つた上一致して當らねばならない、あらゆる條件を解決してから出發しなければならぬとの見解を支持するものもあるが、問題解決に乘り出せば一切の障碍は消滅すると余は思ふ、英國政府は印度民衆の福祉について深甚の考慮を拂ふと共に、印度に自治を賦與するといふ傳統的政策を依然堅持してゐるのである、將來の印度國民政府は各派がその下で協力しあらゆる事態に對處し得るやうなものでなければならない、英國政府は過去十年間に第一回は一九三五年の印度統治法、次は一九四二年のクリツプスの提案と二回に亘り印度の政治問題解決に乘り出したが、何れも不成功に終つた、現在英國政府は各派間に妥協の機運が生ずるまで控へ目に構へてゐるが、英國が印度の民衆を自國民と考へてゐることに變りはない、また余は印度政界の領袖がガンジー、ジンナー會談の失敗後も問題解決に努力してゐることを嬉しく思ふ

スマツツ、情勢の重大を指摘

（リスボン十四日發）ケープタウン來電＝南阿聯邦首相スマツツ將軍は十四日、ポート・エリザベスにおいてギリシヤ内亂に關聯し次の通り述べた

フランス、ベルギー、ギリシヤ各國において、地下にもぐつてゐた遊撃部隊は反樞軸軍の支配下に武裝解除を拒否してゐる、特にギリシヤ國内においてはパルチザン部隊が戰鬪を開始し、英國は曾つての同盟軍と戰つて多數の死傷を出してゐる國民は飢饉に苦しんでゐるが、今にして徹底的な措置を講じなければ、重大な危險を誘致するであらう、ギリシヤ國内でおこつた事件は將來歐洲各國で發生するであらう

【米　洲】

國務省首腦任命承認

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝上院外交委員會は國務省新首腦の任命承認につき公聽會を開催してゐたが、十四日の票決をもつて國務次官グルー、次官補ロツクフエラー、マクレイシユ、クレイトン、ホームズ、ダンなど六名の任命を一括承認本會議に廻附した、票決に當つては任命反對派議員からルーズヴエルトに對し右六名の任命を一應引込めるやう要求せよとの動議が出たがこれは否決された

石油生産高

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝戰時石油管理局長官イツキーズは米國の原油生産狀況について十四日次の通り言明した

政府は歐洲戰終了後も一九四五年中は現在の日産約四百七十萬バレルの生産額を維持する方針である、本年九月の日産量は四百七十六萬六千バレルといふ高記錄に達したが、一九四一年の日産量は三百八十四萬二千バレルに過ぎなかつた

陸海軍の兵員損害

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝米國陸軍長官ヘンリー・スチムソンは開戰以來の米國陸海軍兵員損害を十四日次の通り發表した

△陸海軍總計　五六二、三六八名
△陸軍（十一月十八日現在）戰死、戰傷、行方不明、俘虜、合計四八三、九五七名
△海軍（十二月十三日現在）戰死、戰傷、行方不明、俘虜、合計七八、四一一名

但し去る八日のわが大本營發表による最近一ケ年間における米軍の戰死傷のみの概數は二十二萬六千名で、敵の常套手段たる僞瞞發表であることは十分窺知出來る

比島戰損害一萬餘

（リスボン十四日發）サンフランシスコ來電によればレイテ島のマツカーサー司令部は十四日レイテ島およびサマール島における米軍の損害は現在までに戰死傷及び行方不明合計一萬四百九名に達した旨小出發表した、内譯次の通り

△戰死二千百七十六名　△負傷七千九百七十六名　△行方不明二百五十七名

十一月中の軍需生産

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝戰時生産局は十一月中の軍需生産情況につき十四日次の通り發表した

最近數ケ月間軍需生産は遲滯勝ちだつたが十一月に入つて初めて所期の成績をあげるにいたりB29を初めその他十五項目の緊急軍需品の生産は大體軍の需要を滿たし得る程度の額に達した即ちB29は十月の生産高に比し三十%海軍のロケット彈は二十二%、百五粍以上の重火器用彈藥は二十三%とそれぞれ增加し、殊に重火器用の彈藥は十一月の豫定生産高を越えること六%に達した、またB29の生産高を去る六月に比較すれば約二倍となつてゐる

チリーに鐵道大罷業

（リスボン十四日發）サンチアゴ來電によればチリーの國鐵從業員は年末賞與の問題で總罷業を開始、罷業參加人員は十三日既に少くも二萬名に上り國内の鐵道は機能を停止するに至つたといはれる、チリー政府は强硬な態度を持してゐる樣子でチリー紙「エル・インパルシアル」は十三日陸軍が鐵道を接收することにならうと報じてゐる

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【歐　洲】

バ政權休戰委員會に抗議

(リスボン十四日發)アテネからのロイター電報によればパパンドレオ政權はソフイアにおける聯合國休戰委員會に對し「ブルガリア政府はマケドニア地方におけるエラス兵團に武器を提供してゐる」と嚴重抗議したと傳へられる

英軍增援部隊空輸

(リスボン十四日發)ローマ來電によれば地中海方面反樞軸軍司令部は十四日次の通り發表した

「有力な歩兵の增援軍並びに數百トンの兵站補給がイタリア基地からアテネに空輸された」

總罷業全國に波及

(リスボン十四日發)アテネ來電＝アテネ市内並びにサロニカ地方の罷業は十四日夜ギリシヤ國内の主要都市に波及するに至つたが、アテネにおける反樞軸復興救濟委員會も十四日夜ピレウス、サロニカ、カヴアラ及びヴエロス各港に對する救濟物資の陸揚を續行出來なくなつた旨發表した

プラスチラス斡旋に努む

(チューリツヒ十四日發)アテネ來電によれば元ギリシヤ首相プラスチラス將軍は十三日ニースから空路アテネに到着、パパンドレオ首相と會談を遂げたと傳へられる、英軍司令官は同人を通じてエラス兵團との休戰を企圖する肚とみられるが、情報によればEAM團は次の五ケ條の對案を提出、交涉は不調に終つたといはれる

一、英軍の武力干涉即時停止
一、爆撃並びに砲撃の停止
一、純民主々義的な政權の確立
一、叛逆分子並びに内亂責任者の處罰
一、ファシスト分子の掃蕩

スイス新正副大統領

(チューリツヒ十四日發)ベルン來電＝スイス國會は十三日法相兼警察相兼外相エドウアルト・フオン・シユタイガー氏を一九四五年度の大統領に、國防相カール・コーベルト氏を副大統領にそれぞれ選出した

フランコ將軍英大使と會見

(マドリード十二日發)スペイン統領フランコ將軍は十二日マドリード駐劄英國大使ブンブルウツド卿を招致重要會談を遂げた

【東　亞】

重慶の情勢改善されず

(リスボン十四日發)ニューヨーク來電＝「ヘラルド・トリユビーン」紙は支那の情勢につき十二日次の通り論じてゐる

蔣政權と中共との紛爭について消息通の間では暫定的な軍事協定が十一月に成立したかも知れぬといふ可能性について臆測が行なはれてゐるかかる臆測には少くとも士氣を鼓舞するものが發見され、また北ビルマにおける戰況も恐らくこれに加はつてゐる、さらに米蔣の協力は以前よりも一層效果的となつた兆候に滿足する理由がある、しかし支那の情勢は最も危險なものの一つで、最近重慶軍が收めた微々たる成功は情勢に本質的な變化を齎らしてはゐない、もし米國が援助可能とするものを重慶に與へることに最善を盡さず、また重慶の政治家が重慶自身を救ふことに全力を傾注しなければ、重慶が完全な破滅に直面することは疑問の餘地がない

米軍首腦部の會談

(リスボン十四日發)パール・ハーバー來電＝米國太平洋艦隊司令部は十三日次の通り發表した

「太平洋艦隊司令長官ニミツツは太平洋戰域にある陸海軍首腦と會見し太平洋における目前の重要作戰と關係ある戰略を協議した」

今回の會談に參加した顔觸れはニミツツ以下海軍側第五艦隊司令長官スプルーアンス、北太平洋艦隊司令長官フレツチヤー、太平洋艦隊參謀長マツクモリス、陸軍側アラスカ方面司令官エモンズ、前アラスカ方面司令長官バツクナーらである

【西　亞】

米英トルコを壓迫

(チューリツヒ十四日發)アンカラ來電によれば米英兩國政府はトルコ政府に對しダーダネルス海峽を開放してソ聯と米英兩國間の海運を許可するやう屢迫を加へ始めたといはれる

歐洲戰況概觀

トルブーヒン軍の成功

東部戰線では依然としてハンガリー、スロヴアキア戰線しか動いてゐないが、十一月下旬ハンガリー南部のドナウ河岸で開始されたトルブーヒン麾下ウクライナ第三戰軍の攻勢は豫想外の成功を收め、そのため一時停頓狀態に陷つてゐた赤軍のハンガリー作戰は急速に進捗するに至つた、卽ちトルブーヒン軍はバルカンから轉進北上中のワイクス麾下ドイツ集團軍がハンガリー西部に到達せぬうちに同地域を制壓し且つブダペストを背後から攻略しようと企圖してモハチ、バヤ地區から行動を起したが、この作戰は成功し、同軍の主力は既に十二月七日バラトン湖の南岸に到達してをりペチを拔いて西進した他の部隊はシゲトヴアル及びカポスヴアルに到達した、また第三の部隊はドユナフオルドヴアルからドナウ西岸沿ひに北上してバラトン湖の東端に進出、ブダペストの後方兵站線を脅威するに至つた、かくてそれまでブダペスト前面の防禦に專念してゐたドイツ、ハンガリー軍はブ市南方及び西方に兵力を割かざるを得ずその結果ミスコルツ——ブダペスト鐵道沿線で足踏みを續けてゐたマリノフスキー軍は作戰を急速に進展せしめ得るに至つたのである、マトラ山脈地區の赤軍はツーラ地區から西進して十二日には遂にブ市の內部防禦線內に突入するに成功、目下一戶一戶を爭ふ熾烈な市街戰續行中と傳へられるまたハトヴアンからブ市の北方へ迂回した赤軍部隊はドナウ灣曲部のヴアーツ、イポリサグに進出更に同地區から北上してスロヴアキア國境に迫つてゐる、他方、ミスコルツ地區の赤軍もサヨ峽谷沿ひに北進してカツシヤ南方五十粁の地點に進出スロヴアキアのペトロフ軍と協力してハンガリー東北部に殘存するドイツ軍に對する壓迫を强化してゐる、またウングヴアル——カツシヤ街道沿ひに西進中のペトロフ軍はカツシヤを去る二十五粁の地點に進出したと傳へられる

以上の如くトルブーヒン軍の作戰的成功によつて赤軍のハンガリー作戰は大いに進捗したが、一部ではトルブーヒン軍がハンガリー西部を制壓した後さらにオーストリアに對する攻勢を續行するのではないかと觀測してゐる、ロイター、AP、UPなどのモスクワ特派員は同軍がウイーンを目指しさらに東南方からドイツ中央部に突入する本格的攻勢に移るであらうと宣傳してゐる、しかしトルブーヒン軍とマリノフスキー軍の兵力を合しても百萬內外であり、現在の作戰が直ちに赤軍の對獨本格的攻勢にまで發展するものとは思はれない、戰略的にみて、赤軍の本格攻勢は矢張りポーランド中央平原で開始されるとみるのが妥當で東プロイセンからポーランド南部に至る地域で沈默を守つてゐる約二百五十萬の赤軍兵力の動向こそ最も注目に値ひする

ポー平原東南端を制壓

他方、イタリア戰線は現在リミニ、ボローニヤ間道路中央に位置するファエンツアを中心に東北方はバニヤカヴアロを經てアドリア海岸のラヴエンナ北方に至り、西北方はボローニヤ南方地區に至る線に及んでゐる、アドリア海岸沿ひに北上した英第八軍は去る四日ラヴエンナを占領、この結果ドイツ軍はラヴエンナ、アドリア海運河を利用する兵站線を絕たれるに至つた、カナダ軍はファエンツア東方を流れるラモーネ河沿ひに北上を續け、十三日ルツシ、ルゴ兩市を結ぶ鐵道を突破、十四日にはラウエンナ西北方約十粁のメツツアノ附近でラモーネ河を渡河、バニヤカヴアロ北方でナヴイリオ運河に迫つてゐる、かくして反樞軸軍は今やポー平原の東南端をその制壓下におくに至つた

一方米第五軍はアペニン山脈北面からポー平原目指し徐々に北上してゐるが、同方面全域に亘りドイツ軍の抵抗は益々熾烈の度を增し、荒れ狂ふ吹雪と濃霧を衝いて隨所に激戰が展開されてゐるしかし同軍所屬英軍部隊は、フアエンツア、ボローニヤ道路上のイモーラ西南方で、十四日トシニヤノ、ムボルジーシニヤノの二小都に突入したといはれる

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ケルン平原突入の態勢

米第一軍が新攻勢を開始してから四日を經過したが、この間最初デュレンの西方で展開された攻撃作戰が漸次南方へ擴大され、十四日にはデュレン西南方のロートゲンからモンシヤウに至る地區まで戰鬪區域にはいつたことが注目される、十四日のSHAEF公報によれば米第一軍は少くも五地點を占領したとになつてゐるが、これらはいづれも村落に過ぎず地域的には大して進出してゐない、從つてレール河戰線には未だ大きな變化は起つてゐないわけであるがただ今回の新攻勢により米軍がユーリツヒ南方二哩のヴイシユホーヘンからデュレン南方における約十五哩の線に亘つてレール河左岸を確保するに至つた事實は輕視出來ない、十四日の報道によれば米軍の先鋒第百四步兵師團はデュレンへ數百碼の地點に迫つたといはれデュレン、ユーリツヒを中心とするケルン平原へ對し今や米軍は廣汎な線で突入しようとしてゐるのである、APの前線報道はレール河の水嵩が過去數日來三呎增えたと報じてをり、今後米軍がレール河の全般的渡河を企圖する場合作戰に少からぬ支障を來すことにならう、ザール戰線の米第三軍は依然ザールクウラレ北方のデイリンゲン地區で受身の戰鬪を續け、ザールゲミユンドもいまだ完全に占領するに至つてゐない、一方米第七軍は現在約五十哩の戰線で大規模な攻勢を展開してゐるが同方面には次の四つの戰鬪の焦點地區がある、即ち第一はザールゲミユンド東方のブリース河の彎曲部で、第二はさらに東方のビツチエ地區第三はヴオージユ山脈の北部とハーゲフウ森林地帶の中間であり、ここではかつてナポレオン一派がプロシヤに侵入した際選んだといはれるザールパラチネート地方への入口であるウイゼムブルグに通ずる主要道路を中心として激戰が展開されてゐる、第四はゼルツ北方のライン平原地帶である以上のうち米軍が西部要害線に最も接近してゐるのはブリース河西南部地區で、その他は何れも西部要塞まで六哩から九哩の距離にある、しかしながら地形から見る時、第三と第四即ちウイゼムブルグ並びにゼルツ地區の戰況の推移が最も重視さるべきであらう、ゼルツからラインの東岸に據ればカルルスルーエは指呼の間にありウイゼムブルグからラインの左岸を北上する部隊と呼應して長驅マンハイムに進むことも至難とはいへない、だが現在の戰況ではドイツ軍の頑強な抵抗を排してそこまで易々として進出し得る餘裕はないやうだ

SHAEFの戰況公報

反樞軸軍の作戰がいかに遲々として進んでゐないかを示すため、左に十四日のアイゼンハウアー司令部の戰況公報を揭げる、前回のと比較すれば反樞軸軍の動きが明瞭とならう

「ユーリツヒ、デュレン地區において反樞軸軍は猛烈な抵抗を壓倒した後ショツポホーヴエンを掃蕩デュレン西方のスリアンヴエイラー並びにデリヒスワイラー更に南方のガイはいづれもわが軍の手中にある、モンシヤウ北方及び南方地區でも地域を獲得ロートゲン東方及び東南方ではロールスブロイヒ並びにジンメラートを占領した、モンシヤウ東南方約四哩の森林地區ではわが軍は前進した、わが地上部隊を援護して中型爆撃機、輕爆撃機並びに戰鬪爆撃機隊はショーネジフエン、ヘレンタルブルメンタル、シユライデン、カルの各地を攻撃、中型及び戰鬪爆撃機隊はツルピツチ地區の諸目標並びにオイスキルヘンの停車場囪を攻撃した、ザール溪谷においてはデイリンゲン橋頭堡のわが地上部隊はドイツ軍の可成り激しい砲撃をうけてゐる、ザルゲミユンドの東北方地區ではハブキルヘンとブリースブリユツケンとの中間でブリース河を渡りハブリキルヘンでは家から家への戰鬪が繼續されてゐる、メツツ要塞陣地の最後の砦であるジヤンヌダルク堡壘もわが軍の占領するところとなつた、アルザス北部ではヴオージユ山脈の西方で最大限三哩の地域を獲得した、ビツチエ西北方のわが軍はマジノ線に突入カペレンホフに達した、ハーゲナウ北方においてはズルツ森林並びに附近の數村落を解放更に東方ではライン間近のゼルツで戰鬪が續いてゐる、ドイツ軍のオランダ及びドイツ西部における鐵道輸送並びに交通網に對する攻撃は十三日も戰鬪爆撃機隊によつて繼續された

特輯

反樞軸國際航空會議（上）

木下秀夫

反樞軸會議の性格

十一月一日から米國のシカゴで開催されてゐた反樞軸航空會議は去る七日を以つて一應議事を完了して閉幕した、今度の航空會議は反樞軸諸國が昨年初頭以來頻りに開催してゐる國際會議の一つである、さればこの會議に對する具體的檢討に入るに先立ち、以上一連の反樞軸國際會議が如何なる性質を持つたものかを解剖することが今度の航空會議の性格を知る上にも必要なことであらう

反樞軸諸國が現在までに開催した諸々の國際會議の主要なものを拾つただけでも、先づ世界食糧會議、戰後の救濟復興問題を協議したいはゆるアンラ會議、舊國際聯盟ＩＬＯの名を藉りて開催された國際勞働會議、本年に入つてはブレトン・ウツヅの通貨會議、ダンバートン・オークスの戰後國際機構會議等々があり、それに今度の航空會議となつてゐる、これ等の反樞軸會議を一貫して流れてゐる特徴の顯著なものをあげるならば、その先づ第一はこれらの會議には反樞軸陣營戰時宣傳の要素が極めて多分に織込まれてゐることである即ち反樞軸國特に米英兩國はかかる會議を屢々開くことによつて反樞軸陣營の團結が如何に强固であるか、また反樞軸陣營は樞軸陣營に比較して如何に應汎な地域をその勢力範圍内においてゐるかを全世界に誇示せんとする、さればこれらの會議には反樞軸諸國は勿論中立諸國まで出來るだけ多くの國々を招請し、さらに會議參加國には出來るだけ多くの代表を參加せしめ、大名行列をもつて會議地に練りこませ、反樞軸陣營の「威嚇」を天下に示すのを常とする、今度の航空會議もこの例にもれず、參加國は中立國を含めて五十二ヶ國、各國の代表者數は專門技術家、顧問、隨員等を含めて實に七百餘名と稱された

さらに反樞軸會議の議題は例外なく戰後問題である、戰爭の最終的歸趨もわからない戰局の現段階において、戰後問題を議することそれ自體が全く無意義であり、笑止千萬であるが、これまた彼らの戰時宣傳なのであつて、彼らはこれにより今次大戰において勝利をおさめるのは反樞軸陣營であるとの錯覺を世界に與へ、戰後處理問題を議することによつて、將來の世界を支配するのは今度の戰爭で勝を占める反樞軸陣營であるとの幻想を抱かせんとしてゐるのだ、今度の航空會議の議題も戰後の民間事業の國際的調整におかれた

反樞軸會議の提唱國が殆ど全部米國であり、また會議の開催地も悉く米國である點も、この特徴の一つであらう、開戰以來米國は反樞軸陣營の臺所を殆ど一手に引受け「民主主義の兵器廠」と號したが、今や彼は反樞軸陣營の盟主をもつて自負し、この自負心が反樞軸會議を米國で開催する具體的行動となつて現はれてゐるのだ、かくて反樞軸會議は米國戰時宣傳の一つであり、また米國の戰爭目的たる世界制覇の覇道政策の一つの具體的な現はれともみることが出來よう

寄合世帶振りを暴露

しからばかかる宣傳的色彩の濃厚な反樞軸會議は果して成功したであらうか、現在までに開かれた各會議の經過をみる時、お氣の毒にもこの宣傳目的はほぼ失敗に終つたといはざるを得ない、即ち會議は鳴物入りの大宣傳の下に非常な大掛りをもつて開催されたに拘らず、一旦會議が開かれると參加各國の利害關係は尖銳的な對立を示し、多くの場合會議は非常な難航を示して屢々決裂の危機にさへ直面、この危機を妥協によつて回避した場合は毒にも藥にもならない抽象的結論を得るのみで終り、また若干の具體的結論を得た場合も、肝心要の最も重要な點は大部分未解決の儘殘されるのを常とした、換言すれば反樞軸陣營の團結の强固さを誇示せんとしたこれら會議は寧ろ逆に反樞軸諸國の利害關係が相互に如何に尖銳的に對立してゐるか、その陣營が如何に寄合世帶であるかを白日の下に暴露し藪蛇的結果に終つてゐる、會議における各國利害關係の衝突のうち特に顯著なのは大國小國の對立及び大國相互間の對立である

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

大國對小國の關係は常に大國の專橫に對する小國の反撥といふ形をとつて現はれ、この現象は今度の航空會議にも明瞭に現はれた、大國間の對立は米英對ソ聯及び米國對英國の衝突といふ形をとつてゐる、殊に米英對ソ聯の對立はこの三國がその國家的性格から到底相容れることの出來ない利害關係におかれてゐることを最も明確に示した例へばソ聯は米英兩國の懸命な參加勸誘にも拘らず、始めから會議への參加を拒否した場合があり勞働會議及び今度の航空會議がそれだ、また辛うじてソ聯の參加を實現し得た場合には、きまつて米英兩國とソ聯との間に激しい對立の起るのが常であつた、通貨會議はソ聯の强硬な主張によつて正に決裂に終らんとしたことあり、またダンバートン・オークス會談ではソ聯と米英兩國との主張が、國際機構案の最も重要な武力使用の具體的方法の點で遂に一致をみず、ほぼお流れの狀態で終つたことはまだわれわれの記憶に新しいところだ、ところがソ聯の參加しない會議は、さぞ水入らずで、萬事圓滑に運ぶだらうと思ふとさに非ず今度は米英兩國が代つて唖みあふのを常とする、以下航空會議の經過において、われわれは以上の諸々の現象が極めてはつきりと現れてゐるのを發見するであらう

ソ聯の不參加

航空會議は開催前に早くも一波瀾をみた、ソ聯の不參加がこれである、卽ちソヴエト政府は會議の開催直前たる十月三十日に至つて提唱國たる米國政府にたいし突然會議不出席を通告して、米國當局を狼狽させたのは勿論、爾餘の會議參加國に非常な衝動を與へた、左に掲げるのは十一月三十一日の「デーリー・テレグラフ」紙ワシントン特電だが、ソ聯の不參加をめぐる諸般の事情をよく紹介してゐる

國務次官ステチニアスはソ聯の會議不參加は遺憾千萬だが米國は今後ソ聯との間に二國會議をもつて航空問題の協議を行ふ意向だと言明した、彼は更にソヴエト政府がソ聯に對し非友誼的態度をとつてゐると指摘したスペイン、ポルトガル、スイスの三國は、ダンバートン・オークス會談で決定された國際機構案とはなん等關係がないのでソ聯今次の行動がダンバートン・オークス會談の結果にまで影響を與へるやうなことはあるまいと述べた

ステチニアスは三十日ソヴエト大使グロムイコ氏と會見したが、ソ聯の會議不參加通告はこの時彼に手交された、國務次官補アドルフ・バールは今度の會議に議長をつとめることとなつてゐるがソ聯不參加の報に接するや、急遽白聖館を訪問してルーズヴエルトとその對策を協議した、ワシントンの外交筋では前記歐洲三中立國が今度の會議に參加してゐるとの理由で、ソ聯が何故急に參加を拒否したのか、その眞意捕捉に苦しんでゐる、何故ならソ聯は右三國が會議に參加することを十分承知の上で、會議への招請狀を受諾したに相違ないからである、既にソ聯の航空會議代表六名は空路カナダのエドモントンにまでやつて來てゐたこれからみるとソ聯の不參加決定は、ごく最近に至つてソ聯の方針が變つたことを示してゐるが、この方針變更が如何なる理由によつたのかは今のところ明らかでない、ソ聯の首席代表アスヴイヴイツチ中將はソ聯機に乘つてウイニペツグを出發シカゴに向つたともいはれるか、その後の消息は不明だ

ソ聯の不參加は航空會議にとつて大きな痛手であるには相違ないが、然し米國としてはソ聯の抗議にあつてスペイン、ポルトガル、スイスの三國を會議から除外するやうなことはしないだらう、右三國、就中スペイン、ポルトガル兩國及びその屬領は、米國が戰後に計畫してゐる航空路の重要中繼地たらうとしてゐる

ソ聯の態度を揣摩臆測

「デーリー・テレグラフ」紙は更にソ聯の不可解な態度を揣摩臆測して次の通り報じてゐる

「前記三國政府が親フアシスト的だとのソ聯の主張に對し、ワシントンの官邊では、この主張はスペインの場合には適用出來るかも知れないが、今や反樞軸にとつては「共同交戰國」ともいひ得るポルトガル乃至は古くからの民主主義國といはれてゐるスイスに對しては到底適用し得ないとの見解をとつてゐる

右三國がソ聯と外交關係を持つてゐないことは事實だが、その事實のみをもつて反ソ的だといふならば、現に會議に參加することとなつてゐる中南米諸國のうちにもソ聯を承認してゐない國が數ケ國ある、結局ソ聯は全面的な國際協定の代りに各國との間に二國航空協定を締結せんとしてゐるのではあるまいか、これは既に本年六月米ソ兩國の專門家代表が今度の航空會談に對する豫備折衝を進めたときに仄めかされたことである、少くともソヴエト代表は廣汎な國際航空規定乃至統制に何等の熱意をも示してゐなかつたことは事實だ」

「エコノミスト」誌の觀測

ソ聯不參加の理由については十一月四日の「エコノミスト」誌が更に次の通り觀測してゐる

ソヴエト政府は歐洲三國の航空會議參加をその不參加の理由としてゐるが、これは何人をも納得させないだらう、寧ろソヴエト外交政策の豫測し得ない性格並びにソ聯の民間航空事業に對する特殊な立場こそソ聯不參加の理由と見做すべきだらう、ソ聯の領土は實に地球の陸地面積の六分の一にも達する廣大な地域を占めソ聯がその領土全域に亘る航空事業を開拓するには長年月を要するに相違ないソ聯の航空事業が十分發達するまではソヴエト政府としてその領空を外國機に開放するやうな如何なる取極めにも參加することを差控へんとするのは十分想像し得るところだ、いづれにせよソ聯の不參加が航空會議にとつて大きな打撃であり、特に米國にとつて非常な痛手であることは爭はれない、何故なら米國は今度の會議で英國と相當鋭い對立を來すことを豫想してをり、この場合に米國はソ聯の後楯を大いに當にしてゐたからである、米英兩國の主張の相異において、ソ聯の介入が豫期されなくなつた今日、小國の態度が大いに重大視されるに至つたが、米國の主張する如き「航空の自由」は結局米國による世界航空の制覇を意味する關係上、小國が米國案に好感を持つとは思はれず、從つて國際機關による世界航空統制を企圖してゐる英國の立場は大いに改善されたといはねばなるまい」

會議の經過

かくてソ聯の不參加によつて航空會議開催の意義は半ば失はれた形となつたが、ともかくも會議は豫定通り十一月一日から開幕した、しかるに果せるかな會議開會の劈頭から米英兩國の主張には根本的な對立のあることをはつきりと示したのである、卽ち一日から二日にかけて各國首席代表はそれぞれ自國の航空會議に臨む立場を明らかにした演說を行つたが、この演說において米國代表バールは戰後の國際民間航空にはほとんど何等の制限統制をも加へず全くの自由競爭とすべきことを主張したのに對し、英國代表スウイントンは米國の主張する如き自由競爭は結局航空事業の發達した國によつて國際航空が支配されることを意味し戰後の民間航空には航空後進國の利益を擁護する見地からもある程度の統制制限が加へられなければならないと述べた

かくの如く開會劈頭から火蓋をきられた米英兩國の爭ひは、一月餘に亘つた會議の全期間を通じて續けられ、この見地から見るときは今度の航空會議は米英兩國の爭鬪會議だつたとも稱し得る、事實會議は英米の正面衝突によつて開會直後に早くも行詰り狀態となり、この難關を切り開くために仲裁役を買つて出たカナダを含めての米英加三國代表の祕密會談が會議の大半を占有し、その他各國代表は折角シカゴに集まりながら米英加三國會談の埒があくまでその他の議事の進行が出來ず徒らに會議を開店休業の狀態に放置するより他なかつたといふやうな有樣だつた、このことは他の面からみる時は、反樞軸會議がその體裁を整へるため如何に多くの國々の代表を參加せしめようとも、これ等代表は實質的には傍觀者に過ぎず事實上は全く大國の壟斷するところとなることを示したものともいへよう

米英兩國の衝突は後述する如く國際航空機關の權限問題及び國際航空路の運營問題の二點にあつた、米英加三國會談では航空機關の權限では大體米國の主張が通つて話合ひがついたものの、航空路の運營では最後まで兩國間に妥協成立せず會議はあはや決裂に終らんとしたが、最後の土壇場で今度は米國がやや讓歩することによつて妥協成立四つの協定を含んだ國際航空規約に各國代表が調印して會議は七日をもつて閉幕した

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

干渉政策を繞る權謀外交

長谷川才次

チャーチル英國首相は過般の外交討議において下院の壓倒的支持をうけたが、右票決に際して勞働黨の議員約八十名が棄權した事實からみても、英國内の空氣が聯立内閣存續の必要は認めるけれども極端な干渉政策に不滿なことは明瞭だ、右討議に際して勞働黨の論客シンウエルはチャーチル首相のスペイン統領フランコ將軍に對する支持を非難してゐるが、大體英國政界の左翼はチャーチル首相が歐洲の各國において右翼乃至は王黨派を支持してゐるといふので少からず不滿だ

「タイムズ」の干渉政策論

「アフトン・ブラデツト」紙のロンドン特電によれば、英國各紙に對しては政府のギリシヤ政策を非難した讀者の投書が殺到してゐると傳へられる各紙の論調も依然としてギリシヤ政策反對に一致してゐる「タイムズ」紙の如きは下院における討議の前日「誤謬による悲劇」と題する論説を掲げてギリシヤ政策を論難したが、干渉政策全般に對する批判として事態が現在のやうに重大化する以前即ち十一月二十八日「タイムズ」紙が發表した社説を次に引用しよう

正義感の倒錯　ブリュッセル並びにアテネにおける事件、ボノミ政權のゴタゴタ等は聯合各國の當面してゐる、政治的な困惑を示してゐる、解放された各國は各國自身聯合國の地位にたつてゐるのだが、これらの國々において極度に限定された軍事上の必要以上に直接軍政を布くことは速やかに排撃するのが妥當である、從つて解放工作の進展と共に政治を當該各國政府に委管するのが正しく且つ必然の過程である、ただこれら各國政府が聯合軍を支持し、且つ當該國の國論をよく代表してゐるといふことが必要な條件である、しかしながら右條件の後者を實際に適用することは必らずしも簡單な事柄ではない、自國の國境線外において自國の立場を持續した分子と、國内に踏みとどまりドイツ軍の占領下に幾多の困難と戰つた人々との間には、絶えず軋轢のおこるおそれあり、殊に前者を後者よりも重視することは正義感の倒錯である

不幸な對立分子の惡意　公正な民主々義に基く選擧が執行されるまでは窮極的な解決を期待することは出來ないが、歐洲の戰爭が片づかない限り選擧を豫想することは出來ない、その間聯合軍の當局は非常な手腕（タクト）を必要とする、もし軍司令官が或る一方の理念を支持し他方をボイコツトするといふやうな非難をうけるやうなことがあり、或ひはまた舊秩序乃至は新秩序を非難するとか、實際には輿論の體系のない閣僚を支持してゐるとかいふやうな批判をうけ、右批判が正しい場合は勿論、正しくないまでも一見もつともらしい場合には災厄的な結果を誘致することとならうしかし他方反對分子にも重大な責任あり、强硬に反對意見をおしすすめて民主政治の秩序的運營が出來ないやうな事態を誘致してはならない

各政權に代表を出すといふのではなくて正規軍以外に獨立の武裝兵力を維持する權利を主張することは合法的ともいへないし、容認することも出來ない、況んや一部でみられるやうに以上國内の相剋に國際的な爭點を附加へて事態を複雜化するならば禍の及ぶところ殆んどはかりしれないものがあらう、即ち各國で相對立してゐる分子が一方は英國乃至米英兩國に忠誠を誓ひ他方はロシアの味方だといつて分類することは、大國を分裂させようとする惡意ある企圖に他ならない

新政權は戰後の總選擧で　東歐洲においても西歐洲においても米英ソ三大國間に政策と行動の一致をはかることは、三國が等しく認めてもつとも重要と解する原則であり、假に三國間に見解の相異または利害の對立が起る場合には「當該兩域において違つた行動に出すに、三國相互間の直接協議によつて相異をかたづけようといふのが右原則の一部を構成してゐる

解放された國々に對してとるべき態度については歐洲戰爭が片づくまでには依然として軍事上の考慮が一番重要であるが、その前提として治安と規律とを維持することが必要である、しかしこれに次いで重要なことは各國の政權が廣汎且つ包括的な國民の同意の基礎にたち、しかもいつまでも自國の運命を決定する全權を擔つてゐるのだと考へすに、他日選擧によつて新らしい政權が出來上るまで一時的な受託機關として責任の衝にあたつてゐることを認識することが必要である

チヤーチルに質問二つ

「タイムズ」紙は、ひきつづき十二月七日の社説においては

一、パパンドレオ政權以外の政權を見出すことは禁止されてゐるのか

一、ギリシヤ内亂について英國政府は聯合各國と十分協議したか

との質問を提出してゐるが、八日下院におけるチヤーチル首相の答辯をみても、イーデン外相の說明を檢討してみても以上「タイムズ」紙の質問に答へるやうな明確な言論はみあたらない、勞働黨大會を機會として鐵道從業員組合並びに機械工組合がギリシヤ政策糾彈の決議案を提出してゐるのも、英國内における輿論の反映と解して差支あるまい、勿論勞働黨内においてもアトレー副首相、モリソン内相、勞働相サー・アーネスト・ヴェバン等幹部派の勢力が依然牢固として拔くべからず結局聯立内閣はなほしばらく存續するであらうがギリシヤ内亂があるひは政治工作により、あるひは武力彈壓によつて急速に片つけられない限り、情勢はチヤーチル首相にとつても絶對に樂觀を許さない

事態の紛糾は三頭會談まで持越

「タイムズ」紙が頻りに懸念してゐるやうに、ギリシヤ内亂の重要な一部面は國際的反響特に米英ソ三國の關係にいかなる影響を及ぼすかだ、スフオルツア伯忌避については、ルーズヴェルト大統領はステチニアス國務長官を通じていはゆる外交爆彈を投じたが、ルイジアナ州選出のエレンダー上院議員も「英國政府は武力をもつてイタリア、ギリシヤ兩國の内政を指令しようとしてゐる、英國は眞先に米英ソ三國の足並みを亂した」と非難してゐる、一應英國大使ハリファックス卿がステチニアス國務長官と會見して事態は片付いたかの印象を與へてゐるが、ステチニアス長官の聲明と英國下院におけるチヤーチル首相、イーデン外相の聲明とは全く正面衝突の有樣で、結局米英ソ三國の外相乃至首腦が會談を遂げる以外紛爭解決の途はあるまい、ステチニアス長官の爆彈聲明に關聯し、「ストツクホルム・チドニンゲン」紙のニユーヨーク特電は

米國政府の隱忍自重政策は終りを遂げ、新たな權謀外交乃至英ソ兩國の勢力權政策に對して米國政府ははつきり反對を表明した譯だ、今回の宣言はバルカン各國に關し、ソヴエト政府の政策に警告した意味をも含んでゐる

と傳へてゐる

しかし一說によればルーズヴェルト大統領はチヤーチル首相から詳細の說明を受取つた後、ステチニアス國務長官を呼びつけて、聲明が大統領の意圖したところよりも遙かに强い言葉で表現されてゐることを指摘し、爆彈宣言を撤回するやう命令したと傳へられる、眞相は解らないが、例へば「ワシントン・ポスト」紙などがアテネに調査團派遣を提唱してゐるやうな例外を除いて、米國新聞界があまり騷ぎ立ててゐないのは要するに三頭會談で事態の紛糾を出來るだけ避けやうといふホワイトハウスの意向を反映してゐるに違ひない

クレムリンの沈默

米國の動向よりも一番重視されなければならないのはクレムリンの反應だ、勿論、英國政界筋も非常に氣にしてゐるとみえて、「デーリー・テレグラフ」紙の外交記者は十一日の紙上で次の通り述べてゐる

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

官邊筋で徹底的に調べたところでは、クレムリンがギリシヤ國内にわたる英國の特に重要な地歩を認めかつ左翼を支持することによつて、現在既に不幸に陷つてゐるギリシヤ國内の情勢をこの上更に悪化させる氣がないとみてよい、ソヴエト政府が從來EAM團にたいして積極的な態度を抱いてゐることを些かも隱さうとしなかつた事實に徵すれば、ソヴエト政府今回の態度は注目に價する

恐らく「テレグラフ」紙の報道は眞相を穿つてゐるだらうが、クレムリンの沈默をもつて英國政府の干渉政策支持と解するのは希望的判斷に過ぎない、チヤーチル首相の干渉政策が、如何なる波亂を反樞軸陣營並びに英國政界に與へるかは今暫く情勢の推移を見守つた上でなければ、俄かに斷定を下すことは出來ないが、同じくクレムリンの態度について、「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特派員クリフトン・ダニエルが十日附で打電してゐるところをつぎに揭げよう

英ソの取引き　モスクワ各紙は依然として沈目を守つてゐるが、ロンドンにおけるソヴエト官邊は歐洲各國にたいする英國政府の政策にたいするステチニアス國務長官の批判を支持してゐる、同時に米英兩國の新聞界が國務省の聲明はソヴエト政府をも目當にしてゐると報道してゐるが、ソヴエト官邊は決して以上の觀測を見逃してゐない、少くとも暗默のうちにソヴエト政府は主として英國の損益に屬する領域においては、不介入政策をとることに同意した樣子だ、赤軍は過般ギリシヤ國境線まで近づいたが、國境線を突破しなかつたギリシヤが英帝國の交通線上において占める重要な地位をモスクワは十分諒解してゐる、ソヴエト政府が、政府自體として今ギリシヤ内政に介入しようといふ樣子は全然ない、曾てローマ政界に活潑に干渉したが右干渉も放棄されるに至つた

僞はらぬ肚の中　英國に對する公約關係で、ソヴエト政府はギリシヤ、イタリア兩國の内政に干渉出來ず、乃至干渉する意志もないが自國の見解を支持する第三國の介入を歡迎してゐることは確かだ、ソヴエト政府は一方的にバドリオ政權を承認して以來、モスクワ各紙が、米英兩國の外交政策批判を悉く控へるに至つたのは注目に價しようソヴエト政府としては聯合國内の勞働戰線を危殆に陷れるやうな直接行動乃至言動を差控へようとしてゐるらしい、同時に英國各紙の報道によればソヴエト政府としてはポーランド問題その他自國に特別の利害關係ある領域については、英國政府が同樣隱忍してくれるのを期待してゐるといはれる、未知數は米國の態度である、ソヴエト官邊はステチニアス國務長官の聲明によつて闡明された原則がソヴエト聯邦にも適用される含意を藏してゐるかどうか知りたがつてゐるわけだ

止血に「纖維泡」使用

（リスボン十三日發）米國戰時情報局發表＝黃疸患者における肝藏や腎藏の手術あるひは胸部手術等による出血を抑へるやうな新止血劑が出來た、これは「纖維泡」と呼ばれる血漿成分だが、神經外科の方面で硬腦膜（腦や背髓を包む膜）とか硬腦靜脈とか大腦靜脈とかからの出血の治療にも效果がある、更に新しい製法によつて天然の人體粘膜の代用となるごとき「纖維素膜（やはり血漿から得られる）」の大量調製も可能となつた

C 82 に 落 札

（リスボン十三日發）テキサス州ダラス來電＝米陸軍航空隊として一九四〇年以來最初の入札に、ノース・アメリカン航空機會社はC82製作に關する機數未發表の定價契約を獲得した

C82は多量の軍用貨物を積載して戰線に近い荒地にも着陸し得るやう設計された新鋭輸送機である、陸軍當局の發表によれば全備重量五萬封度の全金屬製高翼双發機で翼幅は一〇六呎、航續距離三五〇〇哩といはれ發動機は離昇出力二、一〇〇馬力の一八氣筒プラット・アンド・ホイツトニー發動機である

資料

米海軍不人氣

「タイムズ」紙十月二十三日

海軍首腦部は先に二十二萬六千五十名の海軍豫備士官に對し質問を提示して投票を求めたが、その結果は海軍當局を喜ばすに足るものであつた、卽ち「戰後正規海軍に殘る意志があるか」との質問に對し、既に回答を送つた者は六〇%で、うち八〇%までが「然り」と答へた、このことは驚くべき事實であつて、軍關係の仕事の確實性が多くの青年達の心を惹いてゐるものと思はれた、海軍首腦部は既に戰後優秀な士官を獲得するといふ問題に關心を持つてゐたが、かかる多數の豫備士官が待機中であることを知つて安心したやうだつたところがこの結果が發表された直後に「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙には電話や手紙が殺到し、一人の豫備士官の如きは「海軍首腦部の質問にたいして「然り」と答へたのは「非公式徴罰」を受け度くなかつたからだ」と述べた、他の連中も多くは上官にごまをするために肯定の返事を送つたのに相違ない、更に他の一士官は手紙で次の通り述べてゐる

「戰鬪地域では特にこの氣持は强く、ある一隊で同じ質問を試みたところ、四百名の士官のうち「然り」と答へた者は僅か三名に過ぎなかつた、戰爭が終了して必要の時が去つて後、一分なりとも長く軍に留る積りでゐる者が百名中一名の割合にも達しない」

同紙は右の非公式投票を傳へたのち次の通り結論を下してゐる

「質問を受けた士官のうち、戰後も引續き海軍に殘るつもりだと答へた者は一人もなかつたが、その理由としては次の六項をあげることが出來よう

一、給料の安いこと
一、昇進が功績によらず一覽表に從つて行はれること
一、海軍兵學校出身者との不和
一、繁文褥禮
一、無能な上官から命令を受けなければならないのがいまいましいこと」

米國の看護婦不足

「タイムズ」紙十一月二十日

現在米軍程負傷兵にたいして行屆いた看護を與へてゐる軍隊はないが、將來米國兵の看護は次第に手薄になるものと思はなければならぬ、現在米國內で入院加療中の米國兵は十五萬以上に上つてをり、本年七月以降本國へ送還された傷病兵數は實に三倍の激增振りである、一方米軍看護婦隊の隊員は現在四萬名、うち二萬七千名は海外に派遣されてをり、多くは今のところ戰鬪の行はれてゐない地域にあつて無聊をかこつてゐるやうだが、彼等は突然大量の患者が送り込まれる場合に備へて、手近な所に駐屯してゐなければならないのであり同隊當局では海外派遣の爲なほ一千名の看護婦が必要であるといつてゐる、そこで殘りの一萬三千名が米國內の軍所屬の病院で勤務中の譯だがこれだけでは餘りにも少く今後少くとも一萬名の看護婦が必要となろう、米軍としては今のところ直ちにこの不足數を埋める見込はない模樣だ、政府はさきに一般女性に自由に看護訓練を施すため看護婦養成隊を設立、これにたいし出資したが、同隊の出身者中軍隊に入つた者の率は極めて僅かだ、軍醫少將ノーマン・カークの意見によれば民間看護に從事する看護婦二十萬九千名のうちから一萬名を軍に徴用しても民間の病人には何等支障はないといはれる、米軍看護婦隊隊長フローレンス・ブランチフイールドは民間看護に當る者のうち、軍務に服すべき候補者として擧げられる二萬七千名に對し手紙で入隊を勸告したところ、回答して來た者は七百十名で、うち志願を申出た者は二百十名に過ぎない、看護婦養成隊創設の法案を立案した下院議員フランシス・ボルションは歐洲前線視察を終へて歸國の後、看護婦達に對し次の通り警告してゐる

「もし諸嬢がわれわれの要求に應へて立ち上つてくれなければ、傷病兵に十分な看護を施すためにわれわれ議員は何らかの方法を講じて必要數の看護婦を集めなければならないだらう

大正十五年十月二十日第三種郵便物認可
昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號

同盟通信

東京都麹町區日比谷公園二番
發行所 株式會社 同盟通信社
發行編輯印刷人 萩野伊八

海外電報索引

(昭和十九年十一月十六日—三十日)

項目	號數	頁
【反樞軸陣營】		
サルタン在緬重慶軍の指揮兼任	二六三	二七一九
ド・ゴール、スターリンも招請	〃	〃
ソ聯はテヘラン宣言に背馳	〃	二七二一
マクミラン伊管理委員長に	〃	〃
リース印度に着任	〃	〃
ド・ゴール、モスクワを訪問せん	二六四	二七三四
米英武器貸與更改交涉	二六五	二七五〇
中立三國、米の要求拒否	〃	二七五四
非友好國は平和會議から除外	〃	〃
英、スペインを恫喝	〃	二七五四
米ソの世界支配を豫言	〃	二七五五
米英の對波政策を非難	〃	〃
國際航空會議來春開催	〃	二七五六
東南アジア陸上軍を新設	二六六	二七六七
東南アジア軍新指揮系統	〃	〃
三頭會談の取沙汰いろいろ	〃	二七六九
日獨海運剝奪の決議案	〃	〃
レ公使イラン外相と會談	二六七	二七八二
マロリー行方不明	〃	二七八八
米如が辛うじて妥協	〃	〃
反樞軸商業會議終る	二六八	二七九九
國際商業會議金本位制支持	〃	二八〇一
三頭會議來年に持越し	二六九	二八一八
國際機構會議を再開	〃	二八一七
歐洲決戰はライン西方で戰はれん	二七〇	二八五三
波は西歐の友情をも求むべし	〃	〃
海運局會議ワシントンで開催	〃	〃
セロトフ倫敦乘込みか	〃	〃
反樞軸航空會議決裂	二七一	〃
ハリマン倫敦で活躍	〃	〃
三國會談への道遠し	〃	〃
休戰條件履行監察委員會設置	〃	〃
スバシッチ歸還	二七二	二八六三
東南アジア軍參謀長更迭	二七三	二八七八
クラーク第十五集團司令に	二七四	二八九七
【歐洲】		
瑞政府獨に抗議	二六三	二七二二
バーシキヴィ組閣か	〃	〃
西、對米洲局設立	〃	〃
西政府クロム、ニツケルを管理	〃	〃
ボノミ遂に投げ出しか	〃	〃
アテネ不穩	〃	二七二三
希政權新通貨發行	〃	〃
マニユーの罷免を要求	〃	〃
ブルガリア壯丁動員	〃	〃
ド政權アンドラ國を占領	二六四	二七三四
ド政權ルノール工場爆破	〃	〃

項目	號數	頁
佛新閣僚任命	二六四	二七三四
エツフエル塔に米無線放送局	〃	〃
ビドー、政府の立場を言明	〃	二七三九
ド政權米と輸入交涉	〃	〃
諸軍事使節團を派遣	二六五	二七五六
白政權遊擊隊の武裝解除	〃	〃
白共產黨最後通牒	〃	〃
ブダペスト市民を徵用	〃	二七五七
暗雲垂れこめるブダペスト	〃	〃
エラス司令を參謀次長に	〃	〃
罷港で赤色騷擾	〃	〃
佛、太平津戰に參加か	〃	〃
フインランド新內閣成る	二六六	二七六六
白三閣僚辭職	〃	二七六九
西、ド・ゴール政權承認	〃	二七七一
ベルギー內亂の危機回避	二六七	二七八二
對獨協力佛人活躍	〃	〃
ルブリン政權莊園分配實施	〃	二七八八
白、共產黨の官吏を放逐	〃	〃
洪政府遷都か	〃	二七八九
洪政黨大同團結	〃	〃
ソ代表羅副首相と會談	〃	〃
瑞、佛にクレヂット供與	〃	〃
瑞、日羅兩國の利益を代表	〃	〃
諾政權外相歸英	〃	〃
西、ド・ゴールに借款供與	〃	〃
羅休戰條件委員長辭職	二六八	二七九九
ド・ゴール政權人事	〃	二八〇二
佛藏相ベルク死去	〃	〃
羅政權親獨分子狩	〃	〃
ス丁通商協定延長	〃	〃
芬、對ソ機械引渡し開始	〃	〃
イタリア正規軍の改編	二六九	二八一四
亡命波政權米國に泣き付く	〃	〃
ルーマニア政權危機に立つ	〃	二八一五
イラン新首相決定	〃	〃
ベルギー政權依然不安	〃	二八一九
イラン前首相サエド憤懣をぶち撒く	二七〇	二八三〇
白非常大權法案も可決	〃	〃
瑞典、對獨鐵鑛輸出停止	〃	二八三六
瑞典參戰の雲行き	〃	〃
スイスの避難民數發表	〃	〃
米司令官白の內政に干涉	〃	〃
元佛首相カイヨー死亡	〃	〃
亡命波首相遂に辭職	〃	二八四六
チトー、商船の引渡しを要求	〃	〃
イラン新首相は親米英派	〃	二八四七
ド・ゴール首班代行を任命	〃	〃
ボノミ首相遂に投げ出す	〃	二八六二

項目　號數　頁

ベルギー政樞も危機に立つ……二七二　二八六二
クワピンスキーも組閣難……〃　〃
ド・ゴール、エジプト王と會見……〃　〃
ブリユッセルで市街戰騷ぎ……〃　二八六六
「スターリン廣場」なる……〃　〃
對立激化でポノミ苦境に立つ……〃　〃
スエーデン船觸雷沈沒……〃　〃
獨は關知せず……〃　〃
駐獨スエーデン公使歸國……〃　〃
ポノミ再組閣の形勢……二七三　二八七八
ド・ゴール、イラン國王と會見……〃　〃
勃、國立銀行の理事を逮捕……〃　〃
對ソ和協は絶望……〃　二八七九
洪、武裝國民警察を組織か……〃　二八八〇
ド・ゴール、法王廳使節を拒否……〃　二八八一
南米に使節團を派遣……〃　〃
イタリア駐ソ公使大使に昇格……〃　〃
波新政權四面楚歌に惱む……二七四　二八九五
瑞西は終始獨伊の壓迫に抵抗……〃　二八九六
チトー、工場、銀行を接收……〃　二八九七
マノレスコ逮捕さる……〃　〃
洪、更に動員を强化……〃　〃

【米　洲】

米國衛領の租借要求か……二六三　二七一八
B29工場罷業……〃　〃
陸軍次官彭大消費を說く……〃　二七二〇
獨系カルテル抹殺案……〃　〃
米議會十四日再開……〃　〃
新知事顏觸れ……〃　〃
伊鐵道の買收を交涉……〃　二七二一
潛艦「ダーリー」號沈沒……〃　〃
米國の戰費二千三百萬億弗……二六四　二七三四
比島米機動群司令官……〃　〃
B29工場罷業中止……〃　二七三五
ガウス辭職の一因……〃　二七三六
重慶大使しばらく空席か……〃　〃
代理大使にアトキンソン……〃　〃
日本破壞をレイモンド呼稱……〃　〃
一日十二隻の割で進水……〃　〃
戰爭犯罪者近入禁止申入にエール回答……〃　二七三七
米、ボリヴイアに小麥供給……〃　〃
農產物輸出補助……〃　〃
勞働長官辭職……〃　〃
バーンズ留任……〃　〃
特使重慶に出發……〃　〃
滊公使ワシントン着任……〃　〃
下院陸軍委員戰線視察……〃　〃
武器貸與更改と對英財政援助……二六五　二七五二
大統領選擧制度改正要求……〃　二七五三
製鋼會社の犯罪發覺……〃　〃
軍需勞働者の離業增加……〃　〃
小麥棉花輸出助成金決定……〃　〃

項目　號數　頁

サンチヤゴで外相會議か……二六五　二七五三
ウエデマイヤー豪語……二六六　二七六八
負傷兵に血漿買却を否定……〃　〃
輸入統制緩和……〃　二七六九
ソ聯承認日を祝ふ……〃　〃
ウエルズ、イラン石油問題を語る……〃　〃
陸軍兵員損害……〃　〃
歐洲に新行動か……二六七　二七八四
亞國の提案を拒否……〃　〃
對希國安回復……〃　〃
バーンズ、軍需增產を要請……〃　〃
民、共兩黨の聯立內閣を要望……〃　〃
元帥府設置法案……〃　〃
後任重慶大使を臆測……〃　〃
勞働局長官留任……〃　二七八五
ユーゴ公使任命……〃　〃
眞珠灣敗將の末路……〃　〃
比島に增援師團……〃　〃
太平洋水域司令官着任……〃　〃
比島沖海戰の損害發表……〃　〃
海軍兵員損害……〃　〃
ソ聯ニカラグア國交開始……〃　二七八六
智西通商條約調印……〃　〃
强制軍事訓練……〃　〃
ボリヴイア副大統領決定……〃　〃
伯、駐佛大使任命……〃　〃
ボリヴイアで叛亂……二六八　二七九九
レイテ島米軍の死傷……〃　〃
アイゼンハウアー國民に遡ふ……〃　二八〇〇
軍隊を軍需生產に轉用……〃　〃
紐育もV二號の射程內……〃　〃
國民の對ソ恐怖增大……〃　二八〇一
重慶大使にハーレー最有力……〃　〃
勃、羅駐劄公使任命……〃　〃
ネルソンに內閣の地位……二六九　二八一四
軍首腦太平洋戰の困難を强調……〃　二八一五
フオレスタル海軍の增强を誇る……〃　二八一八
海軍新豫算案……〃　〃
一日の戰費二億五千萬弗……〃　〃
更に艦船の損害を發表……〃　〃
グルーの使命……〃　〃
小鐵鋼樣式に死刑を宣告……〃　〃
武器貸與額の削減を要求……〃　二八一九
勞働組合大會……〃　〃
重慶改組の米反響……〃　〃
伯兵亞國境に集結……〃　〃
ヴエネズエラ陰謀發覺……〃　〃
全米電話罷業開始……二七〇　二八三〇
米軍の死傷五十二萬八千……〃　二八三一
ル大統領勞働者の離業を嘆く……〃　二八三二
英聯邦の武器逆貸與……〃　〃
モーゲンソー消耗の增大を說く……〃　〃
クルーグ、軍需增產を要望……〃　〃

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

項目	號數	頁
陸軍の補給狀況	二七〇	二八三二
更に勞働者十萬を必要	〃	二八三三
カーネギー工場罷業	〃	〃
AFL英國の招請を拒否	〃	〃
對獨輿論硬化	〃	〃
重慶改組は反對給付	〃	〃
メキシコ港灣の使用許可	〃	〃
伯海軍單獨で哨戒	〃	二八四六
米國の電話罷業終る	二七一	二八四八
軍事科學研究の必要を強調	〃	〃
米國民所得激增	〃	〃
中南米の對米市場價値	〃	〃
對英借款說を否定	〃	〃
世界ユダヤ人大會の議題	〃	二八四九
波東部のソ聯領編入を承認	〃	〃
ガウス紐育到着	〃	〃
米國型流星彈	〃	〃
伯、レバノン承認	〃	〃
ポリヴィア平靜に復す	〃	〃
ハル國務長官辭表提出	二七二	二八六三
波の國境保障を拒否	〃	〃
ステチニアス獨處分案に關し言明	〃	〃
マーシャル現役延長	〃	〃
輕火器增產を急ぐ	〃	〃
駐佛大使にカフリー	〃	〃
戰線視察團ロンドン着	〃	〃
ウルグワイ亞の提案を支持	〃	〃
ボリヴィア叛亂首腦を處刑	〃	〃
前羅國王アルゼンチンへ	〃	〃
新國務長官にステチニアス任命	二七三	〃
ハル後任下馬評	〃	二八七八
海軍兵員損害	〃	二八八〇
クルーグ彈藥不足を強調	〃	〃
伯、對米五十億弗借款か	〃	〃
戰時權限法延長案	二七四	二八九六
氷島に米經濟使節	〃	〃
マレー再選さる	〃	〃
エセツクス級新航空母就役	〃	〃

【英帝國】

エール、要求を一蹴	二六三	二七一八
エールの英公館に國旗揭揚	〃	〃
女子航空隊の一部印度移駐	〃	二七一九
和蘭避難民の移轉を考慮	〃	二七二二
石炭生產激減	〃	〃
駐加英高等辨務官辭職	〃	〃
ネール等は州政府が拘禁	〃	二七二三
シンド州閣僚增員	〃	〃
スロヴアキア最高國防會議設置	〃	〃
イラン問題介入を望まず	二六四	二七三五
チヤーチル苛烈な戰闘を警告	〃	〃
イーデン、パリ會談を報告	〃	二七三八
V二號發動當日の驚き	〃	〃
獨軍攻擊による國內死傷	〃	〃

項目	號數	頁
新西蘭勞働黨銀行國有を提唱	二六四	二七三八
新西蘭空軍部隊移動	〃	〃
カナダ政府議會に信任を問はん	〃	二七三九
イングランド南部に强風	〃	二七四八
加濠間の新空路	二六五	二七五六
ネール釋放を要求	〃	〃
徵兵年齡引上げ案を拒否	二六六	二七七〇
カーヂフの造船罷業	〃	〃
重慶の立場を擁護	〃	〃
ジフ「印度は西歐に背を向く」と說く	〃	二七八六
駐米濠公使重慶支持强調	〃	〃
濠沿岸警備隊を豫備役に	〃	〃
濠義勇軍解散	〃	〃
濠、石炭不足で燃料不安	〃	二七八一
アメリー南阿の土地問題に答ふ	〃	二七八七
米の輸出助成金を憂慮	〃	〃
米大使ワイナント歸任	〃	〃
對日戰に廿七歲まで動員	〃	〃
航空訓練計畫縮小	〃	〃
キース元帥軍縮反對演說	〃	〃
印度軍損害	〃	〃
アームストロング社長死去	〃	二七八六
エヂプト國會解散	〃	〃
ワイツマン、カイロ乘込み	〃	〃
婦人部隊印度到着	二六八	二七九八
流星彈海上發射の意義	〃	二八〇二
英國內閣の一部改造	二六九	二八一五
カナダ徵兵制問題なほ紛糾	〃	二八一六
米國に困難を訴ふ	〃	〃
伊外交代表着英	〃	二八一八
印度無黨派會議を開催	〃	〃
カナダ內閣信任を問ふ	二七〇	二八三〇
空相遂に辭職	〃	〃
濠洲の對米逆貸與	〃	二八三四
米の新聞報道に不滿	〃	〃
空路國營案	〃	〃
ナチズムの撲滅は不可能	〃	〃
エジプト駐屯英軍司令更迭	〃	〃
マルカヒイ英國との協調を提唱	〃	二八五〇
キング徵兵制に叩頭	二七一	〃
共產黨新陣容	〃	〃
中南米航空會社設立	〃	二八七二
マラリヤで二十四萬以上死亡	二七二	二八六四
加政情更に緊迫	〃	〃
徵兵制反對運動擴大	〃	〃
濠、米國に飛行機を大量注文	〃	〃
南阿軍も對日戰に參加	〃	〃
大型病院機衝突	〃	二八七六
報復攻擊熾烈	〃	二八七九
陸軍首腦異動	〃	二八八〇
英國の破產白書	二七四	二八九四
地下彈藥庫大爆發	〃	二八九五
眞相はV二號の大攻擊か	〃	〃

カナダ徴兵案に兵士の反對……二七四　二八九五
加内閣信任討議開始……〃　二八九六
濠州にユダヤ人部落案……〃
アレキサンダー、元帥に昇級……〃
埃及駐屯英軍司令官更迭……〃
英天文學者死去……〃　二九〇八

【東　亞】

ガウス大使重慶を去る……二六三　二七一八
交渉の成否は延安の出方一つ……二六四　二七三五
重慶、軍需生産局設置……〃　二七三七
對ソ貿易一部復活……〃
ネルソンの使命……二六五　二七五〇
重慶、蔣の指揮權强調……〃　二七五一
支那戰局を憂慮……〃
特使の狙ひは重慶の工業復活……二六六　二七六八
ネルソン將介石會談……二六七　二七八八
米商業會議所會頭を招請……〃
林語堂米國を反駁……二六七　二七八八
ウェデマイヤー喰止作戰を建言……二六八　二八〇四
重慶法幣の闇相場暴落……〃
重慶、シリヤとレバノンを承認……〃
印緬支を結ぶ送油管建設……〃
重慶へ新型トラック積出し……〃
重慶政權遂に改組……二六九
國共合作の根本障碍なし……〃　二八二〇
送油管工事一部完成……〃
重慶の軍需增産方策……二七〇　二八三七
「重慶軍戰闘訓練部隊」を新設……〃
ネルソン近く歸米……〃
對日決戰に「大陸軍」を使用……二七一　二八四八
統帥の無力と非民主々義……〃　二八五一
米特使マンスフイールド重慶到着……二七二　二八六二
リース北緬戰線を視察……〃　二八六五
ハーレーを重慶駐劄大使に任命……二七三　二八七八
英誌日本防衛線の强靱を說く……〃　二八八一
スチムソン比島攻略を豪語……〃　二八八二
東京の防空體制固しと發表……〃
ハンセル空襲失敗を認む……〃
將ハーレーの大使就任を受諾か……〃
支那戰域米軍參謀長……〃
ビルマ公路啓開成れば米軍は撤收……〃
顧維鈞援助不足を訴ふ……二七四　二八九七

【西　亞】

アラブ政治團體ル聲明の撤回要求……二六八　二八〇四
イラン組閣難航……二七〇　二八三七
イラン新内閣成立……二七二　二八六七
イラクと協定……〃
ソ聯西亞政策の支柱……〃
土、對英政策を再檢討か……二七四　二八九七

【ドイツ】

V二號の災害は自業自得……二六三　二七一九
潜艦で六十ケ師を釘付け……〃

「テイルピツツ」行動不能に陷る……二六三　二七一九
瑞典駐劄公使急遽歸國……〃　二七二三
黨軍の一體化を促進……〃　二七五一
瑞典の抗議は不當……〃　二七五七
英艦隊の東亞派遣促進されん……〃　二七七一
女子奉仕團高射砲隊へ……〃
食糧事情に不安なし……二六七　二七八二
對瑞關係微妙……〃　二七八三
諸に發射基地建設か……〃
ゲーリング元帥到着……〃
肉彈挺身隊編成……〃
デーニツツ、海軍の活躍を期待……二六八　二八〇三
新要塞完成……〃
病院船撃沈さる……〃
空軍勇士の戰死……〃
ゴルトホルン博士死去……〃
ソヴエト外交原則を論駁……〃　二八一七
國防軍の「變容」……二七一　二八四九
ゲツベルス宣傳相決意を語る……二七二　二八六五
V二號近く最前線に出現……二七三　二八七九

【ソ　聯】

人民委員會を結成……二六三　二七一八
ラトヴイア外相決定……〃　二七二三
二百萬足の義足を米に注文……〃
友好的芬新内閣を要求……二六四
外交政策六ケ條……〃　二七六六
駐米大使館對波態度不變を聲明……〃　二七六九
ド・ゴール赤都訪問受諾……二六七　二七八九
ニツケル鑛山を買收……〃
ソ紙、西、亞、瑞を攻撃……二六八　二七九九
駐埃及公使更迭……〃　二八〇二
電氣工業人民委員部永長死去……〃
第二の高山發見……〃　二八一二
ユーゴ政權首相モスクワを訪問……二六九　二八一四
チトー再び赤都へ……〃　二八一九
ド・ゴールのモスクワ行は土曜……二七〇　二八三一
ス議長、ユーゴ首相と會談……〃
ウオロシーロフ元帥退陣……〃　二八三五
ソ聯、ユーゴ會談公報……二七一　二八四六
各紙ド・ゴール攻撃……二七二　二八六五
フランコ統領を攻撃……〃
國防人民委員部永長任命……〃

【アフリカ】

英の對エ野望を曝露……二七一　二八五〇
英記者直ちに强制……〃
エチオピア基督教傳道禁止……二七二　二八六四
米英エヂプトでも競爭……〃

【戰　局】

米第九軍も攻勢に參加……二六五　二七五〇
英第二軍と共同攻勢……〃
米軍總攻撃の火蓋切る……二六六　二七六七
西部戰線新段階へ……二七〇　二八六四

昭和十九年十二月十八日(月)
第三二七四號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

項目 號數 頁

前線に唸る流星彈……二七二 二八六四
西部要塞攻防戰……二七四 二八九八

【特 輯】

スチルウエル召還問題の全貌(中)二六三 二七二四
エピローグ・ピレネアン……〃 二七二九
佛國内軍の彈壓……二六四 二七四〇
獨軍攻勢轉移の機迫る……〃 二七四三
米の覇道政策積極化せん……〃 二七四四
「過渡期」の諸問題……二六五 二七五八
比島侵攻作戰と米國の宣傳戰(上)二六六 二七七二
三都巴后諍……二六七 二七九一
スチルウエル召還問題の全貌(下)二六八 二八〇五
英國政界の底流……二六九 二八二一
血で描く歷史……二七〇 二八三八
ド・ゴール赤都行……二七一 二八五二
ルーズヴエルト四選の意義(上)……二七二 二八七〇
ド・ゴールの獨樂……二七三 二八八四
リスボンだより……二七四 二九〇〇

【資 料】

イラン問題について……二六三 二七三二
代用品概念の揚棄……二六四 二七四五
ダンバートン・オークス會議とソ聯の態度……〃
重慶の政治的經濟的將來……〃 二七四六
善隣政策の沒落……二六五 二七四七
英誌の新國際聯盟評……二六六 二七六三
米英石油協定と英國の爲替事情……〃 二七七七
印度の貿易……〃 二七八〇
米國軍需勞働者復員問題……二六七 二七九五
米國造船工の不足……〃 二七九六
英誌の西歐ブロック案……二六九 二八二六
英紙重慶の立場を擁護……〃 二八二八
英國の新勞働傷害補償案……二七〇 二八四一
米國航空隊の話題……〃 二八四四
英國産業再轉換計畫への希望……〃 二八四四
最近の英ソ關係……二七一 二八五六
合衆國の戰爭目的……〃 一一二
米國海軍の航空輸送隊……二七二 二八七三
英國艦隊空軍……二七三 二八八八
西歐上陸に使用された上陸用舟艇……〃 二八九一
反樞軸諸國の對伊關係……二七四 二九〇五
第二十一爆撃隊の成立……〃 二九〇六
グルーの新著「駐日十年」を評す……〃 二九〇七

【軍事情報】

V二號本格的攻勢開始か……二六四 二七三四
流星彈發射母艦出現か……二六六 二七六六
V二號攻撃續行……〃
米軍の「ジャングル・ジープ」……二六七 二七九〇
離陸準備半時間のB29……〃
ジャイロスコープ照準器……〃
米で大型輸送機建造……〃
英海軍の新銳機……〃

項目 號數 頁

V二號攻撃續く……二六八 二七九九
プロペラ時代去る……〃 二七九九
航空機發動機を戰車に……〃 二八〇四
距離の概念に修正……二七二 二八六九
發射基地爆撃は不可能……〃
米英の燒夷彈……二七二 二八八三
モスキートに七十五粍砲……〃
米海軍の鮫除け裝置……〃

赤軍參謀總長の橫顏

突如彗星のごとく出現して赤軍切つての作戰家と自他共に許すシャポーシュニコフ元帥にとつて代つて赤軍參謀總長の椅子についたワシレフスキー元帥については殆んど知られてゐないが、スイス紙「ナチョナーレ・ツアイツング」は彼の經歷につき、次の通り報じてゐる

アレクサンドル・ミハイロヴイツチ・ワシレフスキーは今日でこそスターリン議長の懷中刀とか赤軍の腦髓とかといはれてゐるが經歷は一般に知られてゐない、彼はスターリングラードの反攻やモスクワ防衞に參加してゐるが、ドイツ第六軍がドニエプル地區で掃蕩された時ただ一度スターリン元帥の特別公報で觸れられてゐるだけだ、ワシレフスキー元帥は最近「勝利」勳章を貰つたが、時を選ばずスターリン元帥に電話を掛けることが出來るのは、赤軍ひろしといへども彼位のものだ、ワシレフスキーは本年四十の坂を越したばかりで、黑海の軍港オデツサの富裕な家に生れ笈を負つてレニングラードに學び、數學博士の稱號を得た、それから赤軍の學校に入り、そこで彼の理論は先輩の注目を牽いたといふことだ、彼は政治運動には參加してゐないが赤軍の政治化に大きな役割を演じてゐる、また政治家と喧嘩したこともなければ同輩の一樣に苦しむ黨と赤軍との間の紛爭にわづらはされたこともない、彼の廣範圍にわたる軍事知識は上官の認めるところとなつたが、人情味に溢れる態度は赤軍兵士間の衆望を集めてゐる、同元帥に對するスターリン議長の信賴は限度を知らず、何か重大決定をする場合にはいつも同元帥の意見をきくといふ

大正十五年十月廿六日第三種郵便物認可　　昭和十九年十二月十九日(火)　第三二七五號

同盟通信 海外電報

(290)

發行人　長岡伊八　東京麹町區日比谷公園二番　電話銀人　同盟通信號

戰時下の民主主義體制の缺陷の一つはたしかに政治が作戰を支配することである、最近の米國の動向をみる時、政治的な考慮が純作戰の分野にまで相當顯著な形をとつて侵入してゐることが認められる

今年の大統領選擧戰を通じてルーズヴエルトが選擧民大衆の人氣を得るために、軍當局に對して相當無理な作戰を强いたことはすでに周知の事實である、一方國內的にも軍の必要を無視した人氣取り政策が行はれ、かの軍需生産の再轉換もこの最も具體的な一例であらう、本年夏頃、戰時生産局が民需生産の一部再開を考慮し初めたとき、陸海軍當局はこれに猛烈な反對を表明した、米國の國力が如何に尨大であらうとも戰爭のまつ最中において軍需生産の一部を停止して戰爭と直接關係のない民需品の生産再開を行ふといふことはそれ自體まことに奇怪な現象といはなければならず、米國にかかる餘裕があつたとは思へない、されば陸海軍の反對は決して割據主義から來た主張ではなく眞に作戰的見地に立つた主張であつたらう、しかるにルーズヴエルトは敢てこの反對を押しきつて民需生産の再開を斷行した、戰時生活の緩和を選擧民への贈物にしたかつたからである

この無理は直ちに戰局の上に現はれてきた現にアイゼンハワーは武器、彈藥の不足のため西部戰線における對獨總攻擊が出來ないと悲鳴をあげてゐるではないか、かくて米國では再びもとの昔に歸つて軍需生産の增產が叫ばれるに至り、折角開始された民需生産も停止され、更に全民需生産の釘付け令となり、一步進んでは軍隊から兵員を解放して軍需生産業へまはすといふやうな非常措置さへとられるに至つた

世界の焦点

【目　次】

ソ佛兩國同盟の正文……二一五〇
佛、ルブリン政權を條件附承認……〃
亡命ポーランド政權協議……〃
攝政府の設置に反對……〃
米、軍隊を軍需生産に動員……〃

【英　帝　國】
下院における外交討議……三一五一
會議派領袖の釋放を要求……三一五二

【反樞軸陣營】
解體の危機迫る……三一五三
三頭會談二月までなし……〃

【歐　洲】
プラスチラス匙を投く……三一五四
EAM固飽く迄抗戰か……〃
スコピー、公約不履行を攻擊……〃
シチリア島騷擾擊化……〃
ルブリン政權の再組織を要求……〃
ボノミ、二大使を任命……〃

【米　洲】
領土畫定はソ波兩國の問題……三一五五
海軍の增大を誇示……〃
民需生産を凍結……〃
七元帥を任命……〃
太平洋艦隊司令部を前進か……三一五六
民間徵用船を解放……〃
英國艦隊は邪魔者……〃

【ソ　聯】
洪傀儡政權樹立を企圖……〃
羅新政權を攻擊……〃
軍事使節團の訪佛目的……〃
東部戰線樞軸軍の兵力……三一五七

【東　亞】
朱德、米人將領の三元帥を主張……〃
ハーレー米國の重慶壓迫を否定……〃

【特　輯】
印度の內と外……三一五八

【資　料】
ベロン大佐の勝利……三一六一

ソ佛兩國同盟の正文

パリとモスクワで同時發表

（マドリード十七日發）パリ政權首班ド・ゴールは外相ビトーを同伴十七日パリに到著、直に閣議を開催してモスクワ會談の經緯を報告したが、閣議はソ佛兩國間の同盟相互援助條約を全的に支持した、パリ來電によれば十七日夜條約の正文はパリ及びモスクワで同時に發表されたが、要旨次の通り

一、兩締約國は相手國に對し出來る限り支援を與へ、ドイツ軍に對して最後の勝利を收めるまで戰鬪を繼續すること
一、兩締約國はドイツ政府との間に單獨で和平交涉を開始しない
一、兩締約國はドイツ軍の侵略を阻止するため戰後もあらゆる手段を講ずること
一、兩締約國の一方がドイツ軍との戰爭に捲き込まれる場合には、他の締約國は出來る限りの援助を與へること
一、兩締約國は相手國を目標とする如何なる同盟聯合乃至條約にも調印しない
一、戰後兩締約國は相手國に對し出來る限り經濟上の援助を與へること
一、現條約は既存諸條約に影響を及ぼさない
一、ロシヤ文、フランス文を正文とする、條約の有效期間は二十ケ年、廢棄通告なければ二十年後においても存續する

佛、ルブリン政權を條件附承認

（リスボン十七日發）フランス臨時政府首班ド・ゴールは、モスクワ會談の結果ルブリン政權を承認するに決定したと傳へられてゐたが、パリー來電によれば十六日ド・ゴールとともに歸還したフランス外相ジョルジュ・ビドーは記者團との會見において次の通り言明したと傳へられる

近い將來フランス臨時政府はルブリンに本據を置くポーランド國民解放委員會と或る程度の關係を復活する方針である、以上の方針はルブリン委員會を正統ポーランド政府として承認するといふ意味ではないが、フランスは事實上の政府との復交を考慮してゐるのである

亡命ポーランド政權協議

（ストツクホルム十七日發）亡命ポーランド政權は十五日夜緊急閣議を開催し英國下院における首相チヤーチルの演說に鑑み對策を協議したが「エキスチエンジ・テレグラフ」紙のロンドン電報によれば英國首相が前首相ミコライチクの再出馬を要望するやうな言辭を弄したのに對しては、內政干涉に他ならぬとの意見が右閣議で專らだつたと傳へられる、閣議後首相アルチシエフスキーが「サンデー・タイムズ」紙の記者と會見先づポーランド國內の地下運動の同意を得た、よつてソヴエト政府その他反樞軸各國に對し新提案をなす方針であると語つたといはれる

攝政府の設置に反對

（リスボン十七日發）ギリシヤ自由黨の首領ソフオーリスは英國代表マクミラン英軍司令スコビー少將等と協議した後內亂の收拾策として國王ゲオルギオス二世に對し攝政の任命乃至攝政府の設置を提案したが、「サンデー・タイムズ」紙の報道によれば國王が攝政案に反對を表明してゐるため事態は一段と複雜化し、和協解決は望み薄となつたと傳へられる、もつともアテネ市內の戰鬪は十七日朝來再び少康狀態を呈してゐるが、エラス兵團はアテネ市の東南部から西北部に兵力を移動待機してをり、クリオネリ地區では英軍並びにインド軍はエラス兵團の攻擊を受けて海路撤收したと傳へられる、市內の食糧狀況は愈々惡化してゐるがアンラ代表は戰爭のため市民を救濟出來ぬとの理由で十七日アテネ市から退去した

米、軍隊を軍需生産に動員

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝陸軍省は十七日次の通り發表した

「陸軍は目下軍隊に服務中の熟練工四千七百名を一時軍隊から解放して緊急兵器たる彈藥、軍用車輛用タイヤ、コツトン・ダツクなどの生產に當らせることとなつた、これはアイゼンハワー及びマツカーサーからの緊急要請に基づき採用された非常措置で、陸軍はあらゆる手段をもつて降誕祭以前にこれら熟練工兵員がそれぞれの工場に復歸し得るやう取計らふであらう」

昭和十九年十二月十九日(火)
第三二七五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英帝國】

下院における外交討議

(ストツクホルム十六日發)首相チヤーチルのポーランド分割に關する聲明は政界筋にも深刻な衝撃を與へたやうだがロイター電報も「首相の演説に對しては下院議員の贊否相半ばする有樣であつた」と報道してゐる、チヤーチル首相は今回の演説で英國政府が大西洋憲章の第二條を放棄したことを闡明したわけだが、討議の要旨次の通り

フイリップス・プライス(勞働黨)チヤーチル首相が率直に實情を傳へてくれたことに對しては感謝に堪へない、ポーランド政權は急速に事態に對する把握を失ひつつあり、速かにルブリン政權と妥協しなければ忽ちにしてバスに乘りおくれてしまふだらう

ライクス(保守黨)歐洲將來の平和はソ波兩國間が自由な交涉によつて取極めが出來るかどうかにもかかつてゐる

マンダー(自由黨)舊ポーランド國境線を回復するといふ事は全く實現出來る解決案である

ピツクソーン(保守黨)いかなる意味においてもポーランドにとつて不利な國境線を設定する取極めに英國が一役買つたのではないこと並びにポーランド政府乃至同國民をしぼりとる挺にルブリン政權を利用する企圖には參畫してゐないことを全世界に示すことが英國政府の義務である

グラハム大尉(保守黨)ポーランド政權は自由領土の半ばをソヴエト政府に割讓し殘る部分についてはソヴエト政府の統治をうけなければならない首相ミコライチク並びにポーランド政權が同國民に對する自殺令狀にひとしいことに手を借すのを拒否したのは何等不思議がない

リポール・トーマス(勞働黨)「首相の演説は龍の齒」で出來てゐる、英國政府は將來の戰爭の種を他國に勸告することは出來ない

ピツサリク少佐(保守黨)首相の演説に對しては全然喝采がおこらず不氣味且つ不安な冷たい沈默が下院を支配してゐる、實に意味深長である、政府は事の眞相を見極めねばならない、何故にソ波兩國間の國境線について紛爭がおこつてゐるか、この疑問に對してはソヴエト政府が特定の地域を欲しがつてゐるからだといふ以外に解答はない

マツク(勞働黨)亡命ポーランド政權はポーランド反動分子の憐むべき道具にすぎない、反動分子は決してポーランド國民を代表してゐない、ソヴエト政府は今回の紛爭について理解と協調的態度を示した

ピーシツク・ローレンス(勞働黨)ソ波兩國民の自由な支持をうけない限り、いかなる解決案も平和を確保することは出來ない、最も重大なことは首相チヤーチルが交涉による解決の希望を悉く捨ててしまつたかに見えることである、首相と外相とがいかに和協に努めたかを知つてゐるが、事態は誠に重大で不安と懸念とに堪へない、首相の主張する國境の改訂は誠に大洪水的である、この解決案は決して本當に幸福な處理といふことは出來ない、恐らく英國政府としては以上の線に副つた解決案を阻止することは出來ないのかもしれないが、だからといつてかかる解決案に裏書する必要はあるまい、更に聯合國がドイツ人の領土であり數百萬のドイツ人の住んでゐる領土を奪んではならない、ドイツ領土の大きな都市がドイツ國民と共にポーランド領土に組こまれるとか、乃至ドイツ人が追出される場合には、ポーランドのためにも世界のためにも將來決して平和をもたらさないやうな事態を誘導する結果とならう、英國政府としてはポーランド人がドイツ領土を當てにするとか、況んやドイツ人を追出すやうなことをしてはならない

イーデン外相の答辯

以上各派議員と討議の後、外相イーデンは次の通り述べた

ソ聯の分離を懸念 ソ波兩國の關係は過去三年餘にわたつて英國政府にとつて最も厄介な不安な問題であつた、英國はポーランド領土に對する保障の義務を果すために自ら進んでこの戰爭に入つたのであるが、他方ソヴエト政府との間には二十年に亘る條約を締結してゐる、英ソ兩國は二度共に大戰爭を行つたがいづれの場合においても最後には分れ分れになつてしまつた

もう一度かかる事態が起るならば歐洲平和の前途は岌々乎として危い、從つてソ波兩國間の紛爭解決に不斷の努力を傾倒したのであるが、現在の點においては解決の見込みは從來よりも好望ではなくなつた、しかし强力獨立のポーランドを建設するために全力をつくすであらう、ソヴエト政府は決して英ソ兩國の關係を修正しようと企圖しなかつた、否首相ミコライチクに對してスターリン議長は英佛兩國とポーランドとの諸條約並びに米國との關係を存續し必要に應じて强化して差支ないと强調した位だ、カーゾン線はパリの最高會議におけるポーランド問題委員會が當初起案したところだが、一九二一年リガ協定が調印されるまで英國政府はポーランド政府に對し、カーゾン線以東で領土を擴張しないやう再三警告した、今回の紛爭の當初英國政府は亡命ポーランド政權の同意を得てカーゾン線をソヴエト政府に提案した、次いでソヴエト政府は實際上カーゾン線に等しい提案で亡命政權に近づいたのである、英國政府においては亡命政權に對し、右提案においてポーランドの地勢的な地歩は害はれない點を指摘し同案を拒否しないやう勸告した

唯一の解決案　最高會議に對してはカーゾン線を南方に延長する事について二つの勸告案が出てゐる、第一はA案で第二のB案は國境線を更に東に設立しレンベルグをポーランド領として殘しておく案である、パリ會議においては英國代表はA案を支持したがソヴエト政府現在提案してゐるのも同じくA案である、戰爭地區の人口は凡そ一千七十萬人だがポーランド人は未だかつて右人口の三分の一以上を占めたことはない、モスクワ會談では自分は決してすべての希望をすててしまはなかつた、英國政府はポーランド人に對して何も代りを貰はずに領土を斷念するやうに要求したのではない、取極めが出來たのはミコライチクが首相となる點で英ソ兩國並びにルブリン政權も同意した、バルト海への廻廊は實際に役立たない、唯一つの解決策は東プロイセンをポーランド人に與へ東プロイセンの人口を追ひ出すことである、この人口の移動は非常に困難であらうが決して出來ないことはない

問題解決に三頭會談　いろいろ意見や批評が出てゐるが代案として提示されてゐるのは平和條約まで何もしないといふことである、しかし赤軍がポーランド領土を進擊してゐるのだから統治にあたる政權を設定するかさもなければソヴエト政府が直接民政にあたらなければならない、ソヴエト政府はミコライチク政權との間に民政につき亡命チエツコスロバキア政權との取極めと同樣な取極めを締結する用意があると承知してゐる、現在のところ協定の出來る見込みは實に乏しい、いやしくも見込みがあれば再び解決を企圖するのが英國政府の義務だが失敗する公算が强い、しかし亡命政權を承認したきりで事態を放任したければ聯合各國の團結によくないやうな事態がおこるであらう、前記に述べた通り三頭會談を希望するが同時に三國の外相が定期に會見して幾多の困難の解決をはかることが必要だと思ふ、勿論首相と同樣どこへでも出かける用意はあるが、三巨頭の中でチヤーチル首相が一番老齡で且つ一番重荷を背負つてゐるのだから今度は他の兩巨頭が動くべきだと思ふ

會議派領袖の釋放を要求　（ストツクホルム十五日發）ロンドン來電＝鐵道從業員組合の領袖チヤールス・ブリツチスは十五日黨大會で會議派領袖釋放に關する決議案を提出、政府の印度政策を痛烈にこき下し「勞働黨執行委員會は印度相アメリーに對して代表を派遣し黨としての見解を表明したが爾後問題はそのまま放任されてゐるらしい、印度總督はカルカツタにおける演說で印度政廳としては出來るだけのことは試みたから次の動きは印度人の間から出てこねばならないといつてゐるが、見解を表明出來る人々は牢獄に繫がれてゐる現狀で如何にして交涉を初めることが出來ようか、印度國內にこの貧乏と窮乏との恐るべき狀態が存續する限り全國民並びに勞働運動に對する汚點である」とのべた、また下院議員レートン・ソレンセンも「起訴もされず公判もなしに逮捕されてゐる印度の政治犯人を釋放しなければならない」と論じ、下院の補缺選擧候補ミドルトン女史は「チヤーチルがケベツク、ワシントン、カサブランカ、テヘラン並びにモスクワに行くことが出來るならば印度の領袖と會見するためニユー・デリーに赴くことが出來ない理由がどこにあるか」と痛論した

昭和十九年十二月十九日（火）
第三二七五號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

づいで下院議員ジエームス・ウオーカーが大會の議長ラスキー教授の指名で勞働黨の幹部を代表し決議案に反對を表明したが、票決の結果幹部の意向に反し次の決議案が採擇された

「本大會は印度人に自由を與へ獨立の印度國民政府を組織させることがフアシズムに對する戰ひにおいて決定的な要因であると思考し、責任ある國民政府結成の目的をもつて印度人の凡ての領袖との間に交涉を開始し即時政治的行詰りを打開することを急務と認め、ここに交涉促進のために印度の政治的領袖を釋放することを要求する」

【反樞軸陣營】

解體の危機迫る（ストツクホルム十六日發）英國の歐洲外交政策に關して下院で續開された討論は米英ソ三國の足並み不統一を明確に暴露した意味で英國朝野に多大の反響を捲起し、早急に三國會談を開催して反樞軸陣營の政策の統一を圖るべしとする意見が一段と有力化したことは自然の勢だが、ポーランド問題に關する言明ですでにチヤーチルが告白してゐるごとく、三國會談を必要とする幾多の問題が逆に會談の開催を阻害してゐる事實に鑑み言論界の論調は一般に悲觀的とならざるを得ぬ實狀にある、たとへばロイター政治記者は事態の放置は反樞軸陣營の解體を招來するとまで極言して十六日次の通り論じてゐる

下院における外交政策討論によつて英國政界に釀成された不安な雰圍氣は、ワシントンからの報道が三國會談の早急の實現を傳へ、英ソ兩國の歐洲政策に對する米國の態度といふべきものを報じた結果多少鎭まつた形だが、チヤーチルが十五日報告したソ波交涉悲史を聞く者は、ポーランド問題が反樞軸陣營の統一に對する脅威の暗流以上のものと化したといふ印象を深めざるを得ない、かうした暗澹たる印象はチヤーチルが米ソ兩國首腦に對して公然と三國會談の緊急開催を要請したことによつて一段と強められたが、チヤーチルがかくまで三國會談開催の必要を力說强調した事實は、そのままソ波交涉の行詰りが會談開催への道を閉いでゐることを示すものだ、勿論前記のワシントン情報は相當强力な强壯劑の役割を果してゐるがギリシヤ、ポーランド問題に關する論爭、勞働黨大會の干涉等の事件は英國政府に危機切迫の感を如實に深めさせてゐる、しかしながら戰爭に勝つために一切の問題をその角度から解決しようといふ英國輿論の一致こそ反樞軸陣營の政策統一を成就し得るものであり、それなしには反樞軸陣營の解體は必至といつてもよい

また「マンチエスター・ガーデイアン」紙も反樞軸陣營の重大危機を强調して十六日次の通り論じてゐる

ポーランド問題は英國の政治的危機であるばかりでなく、反樞軸陣營の危機を意味する程のものだ、米英ソ三國はテヘラン會談において關係國の政府に一言の相談もなく決議したが、この決議は專らソ聯が米英兩國政府に迫つた結果によることが明らかにされねばならない、チヤーチルの演說の全體の調子から受ける感じは、彼が米英兩國民衆を說得出來ぬといふ豫感に惱まされながら喋つてゐるといふことだ

三頭會談二月までなし（リスボン十五日發）スターリン、チヤーチル、ルーズヴエルトの三頭會談の切迫がしきりに傳へられるが、十五日のAP通信ワシントン電はこれを否定して次の通り報じてゐる

三頭會談切迫說にも拘らずまた三頭會談の至急開催を必要とする緊急問題が山積してゐるにも拘らず、反樞軸陣營の三巨頭が會談するとしてもそれは少くとも明年一月以後のことであらうこれは國務省及びワシントンにある英國官邊の見解であるばかりでなく、その他の米國高官連も大體同樣の意見だ、これを裏付ける事實は多數ある、卽ちルーズヴエルトは今年も恒例の降誕祭の挨拶をワシントンから放送することとなつてゐるし、明年に入ると新年早々議會に對して年次敎書及び豫算敎書を送らなければならずまた一月二十日は彼の第四期大統領就任式がある、ただルーズヴエルト、チヤーチル兩者の會談は可能性がないでもない、現にチヤーチルは一九四一年の降誕祭を米國で過ごした例があり英國首相さへ米國にやつてくれば米英首腦の會談は極めて近い將來に實現しよう

【歐　洲】

プラスチラス匙を投ぐ

（リスボン十六日發）アテネ來電＝ギリシヤ政權パパンドレオの招請を受けて紛擾解決のためアテネに乘り込んだプラスチラスはEAM團首腦と會見を重ねてゐたが、遂に匙を投げた樣子で、十六日記者團に對し次のやうな悲觀的見解を洩らした

ギリシヤ政權とEAM團との政治的和解はもはや絶望だ、もしも政治的諒解が可能ならば、もうとうに秩序が回復されてゐる筈だ、現下の事態はパパンドレオ政權にとつて極めて拙い、唯一の方策は自由選擧に訴へて民意の裁斷を待つだけだ

ついでギリシヤ領マケドニアの獨立問題に關しプラスチラスは眞向から反對を表明

ギリシヤ領マケドニアはギリシヤ民衆にのみ屬する、同地方の獨立を云々するものはもはやギリシヤ人たりえない

EAM飽く迄抗戰か

（リスボン十六日發）ギリシヤ內亂は二週間を經過するにも拘らず一向に衰へをみせずアテネからのロイター電報によれば十五日夜UP電報によれば英軍及びギリシヤ政權軍は四方からアテネ市の中心部に徐に壓迫され、苦戰に陷つてゐると傳へられる、英軍司令スコビーの休戰條件に對しEAM團が十六日正午手交した回答の內容は未だ明かにされてゐないが、英軍筋の情報によればEAM團は依然強硬な態度を持しパパンドレオ政權の反動的性格を剔抉する傍ら英軍のギリシヤ全土占領意圖を暴露してあくまで抗戰する意圖を明らかにしてゐるといはれギリシヤ騷擾の解決を絶望視する空氣が急角度に濃化してゐるやうだ

UP電報によれば以上の事態に鑑み英國は最後の活路としてパパンドレオに攝政會議の設置を承認するやう壓迫を加へ初めたと傳へられるが、果してかかる姑息手段がEAM團の態度を和げることが出來るわどうかは大いに疑はしい

スコビー公約不履行を攻擊

（リスボン十六日發）アテネ來電によれば英軍司令スコビーは十六日次の聲明書を發表エウス兵團司令サラフイスがアテネ市を含むアツチカ地方からの撤收の公約を破つたと稱して痛烈に非難してゐる

エラス兵團はアツチカ地方から完全に撤收せよといふ余の命令に對しセラフイスは同意を與へたにも拘らず、エラス兵團は依然としてアテネ地區に踏み留つてゐるのは彼が理不審にも公約を破つたことを意味するものだ、余はエデス兵團とエラス兵團との衝突を避けるためエデス司令ゼルヴアスに對し攻擊を仕掛けられぬ限り守勢を持すやう嚴命したが、正當に承認された立憲政府を覆滅せんとする企圖はそれが如何なる筋から行はれたものにせよ斷乎排擊する決意をここに更めて聲明する

シチリヤ島騷擾激化

（リスボン十五日發）ローマ來電によればシチリア島のカタニア市にまたも暴動が勃發容易ならぬ事態を呈してゐるといはれる、卽ちカタニア市民は十五日ボノミ政權の徵兵に反對、同市徵兵事務所前で示威行進中何者かが事務所に爆彈を投じた、折柄附近警戒中の守備兵は直ちに群衆に向つて發砲、學生一名は死亡し負傷者數名を出したが全市は忽ち昂奮の坩堝と化し、市民は一齊に政廳前へ殺到した、一方暴徒は裁判所、稅務所、シチリア銀行などに闖入放火したため市の中心部は灰燼に歸したといはれる、またパレルモ、メツシナ、エンナの諸市でも同樣騷擾があつた模樣である

ルブリン政權の再組織を要求

（ストツクホルム十四日發）ルブリンからのタス電報によれば、赤軍占領地區のポーランド民衆は各地で大會を開催ルブリン政權をポーランド假政府に再組織せよと要求したといはれる

ボノミ大使を任命

（リスボン十五日發）昨年九月バドリオ政權樹立以來ヴアチカン駐劄大使の地位は空席となつてゐたが、ローマ來電によればボノミは十三日第一次內閣の外務次官ヴエノスタ子爵を同大使に任命したといはれる

またパリ來電によれば十四日ワシントン駐劄大使には元情報相アンリー・ボネが任命された

昭和十九年十二月十九日(火)
第三二七五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米　洲】

領土畫定は
ソ波兩國の問題

(リスボン十六日發)ポーランド分割に關するチヤーチルの下院演説は言論界に多大の反響を捲き起してゐるが、ワシントン來電によれば政府當局は十五日夜ポーランド問題に關する政府の態度を次の通り明らかにしたといはれる
米國民並びに政府はソ波兩國が領土問題を兩者間の話し合ひで解決することを終始一貫希望してきた、もつとも解決を促進するため政府は嘗てソ波兩國政府に調停を申入れたが、この方針は今日では全然變りなく、もしもソ波兩國が受諾するならば兩者に滿足の行く解決に到達するやう全力を盡して援助する意向である

海軍の增大を諮示

(リスボン十四日發)ワシントン來電=下院海軍委員會は十三日次の通り報告した
海軍の艦艇總トン數は一九四〇年七月以來現在までに七倍半の增加を示し、艦艇總隻數は百倍に達した、しかして現在なほ海軍は一時間百萬弗の割合で建艦を續行してゐる、一九四四年十一月一日現在で海軍は軍艦一千百六十隻、その他各種艦艇五萬五千隻を保有してゐたが、これに比し一九四〇年七月一日當時は軍艦は三百八十三隻、その他艦船は約二百隻であつた、以上を艦種別に分類すれば次の通り

△戰　艦
一九四〇年七月一日、戰艦數は老朽艦三隻を含め全部で十五隻であつた、この内八隻が眞珠灣で攻撃を受けたが二隻は到底修理の利かぬ程度にまで損傷し、殘り六隻は艦隊に復歸した、使用不可能となつた二隻の代りに新たに十隻三十九萬トンが就役、さらに老朽艦は近代裝備を施され砲撃力にも威力が加へられた

△航空母艦
一九四〇年七月一日空母は僅か六隻に過ぎなかつたが、その後百二十三隻、百二十一萬三千七百トンが追加された、内譯は大型空母十三隻、三十四萬三千トン、小型空母九隻、九萬九千トン及び護送用空母百一隻七十七萬八百トンである

△驅逐艦
一九四〇年七月一日當時の二百二十五隻に加ふるに三百隻が新たに建造された

△潛水艦
一九四〇年七月一日當時の百隻に對し百七十隻が追加された

△上陸用舟艇
一九四〇年七月には長さ五十呎に充たぬ極く少數の實驗用上陸用舟艇が存在してゐたに過ぎなかつたが爾後何千隻といふ上陸用舟艇が建造されこの内には長さ百呎をえ自力で遠洋航海を行ひ得る大型船も多數含まれてゐる

民需生産を凍結

(リスボン十六日發)戰時生産局は世界各戰線において戰局が豫想通り進展しないため去る四日全米百三地區に亘り今後九十日間を限り軍需産業の再轉換を停止したが、ワシントン來電によれば同局は更に十六日に至り全民需生産を無期停止する旨發表したといはれる、戰時生産局は今回の措置の名目として現在の民需生産計畫が主要項目において一應民需を充足し得ると稱してゐるが、實際は戰爭長期化の見透しが決定的となつたためであることは明瞭で、傍ら軍需勞働者が最重要兵器資材の若干部門において依然尨大な需用があるにも拘らず續々平和産業へ鞍替へしてゐる實狀に焦慮これの防止を狙つたものであり、既に去る七日生産局内で決定され、十六日正式に發表されたものである

七元帥を任命

(リスボン十五日發)ワシントン來電=大統領ルーズヴエルトは最近議會を通過した陸海軍元帥設置法案に十五日署名した、ルーズヴエルトは法案署名と同時に左の四陸軍大將、三海軍大將をそれぞれ陸海軍元帥に任命した

△陸軍元帥
參謀總長マーシヤル、西南太平洋反樞軸軍司令官マツカーサー、歐洲反樞軸軍司令官アイゼンハワー、陸軍航空本部長アーノルド

△海軍元帥
大統領付參謀長リーイ、海軍作戰部長聯合艦隊司令長官キング、太平洋艦隊司令長官ニミツツ

太平洋艦隊司令部を前進か

（リスボン十五日發）パール・ハーバー來電＝太平洋艦隊司令部當局は十四日「司令長官ニミツツは艦隊司令部をパール・ハーバーから更に前方の地域に前進せしめることを目下考慮中である」と言明した

民間徴用船を解放

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝海軍は開戰の初期ドイツ潜水艦の猛威を防ぐため、民間のヨットその他小舟艇を徴用乃至買收してこれに應急の武裝を施し沿岸哨戒にあたらせてゐたが、十五日海軍省はこれら民間舟艇の動員を解除し民間所有者に返還することとなつたと發表した、理由はドイツ潜水艦の脅威が減ずると共に海軍の新潜水艦舟艇が多數竣工、就役したためである

英國艦隊は邪魔者

（リスボン十五日發）ロイター通信ワシントン電の傳へるところによれば上院海軍委員ジョンソンは十五日英國太平洋艦隊の對日戰參加に關し次の通り言明したといはれる

米國艦隊の勢力は今や非常に强大であり、米國艦隊のみで充分日本艦隊と太刀打ち出來るだらう、今頃に英國艦隊が太平洋にやつて來て對日戰に協力しようとも、米國としてはこれを邪魔物と見做さざるを得ない

【ソ　聯】

洪傀儡政權樹立を企圖

（チューリツヒ十五日發）ブダペスト戰局の激化に伴ひ政府は早くもハンガリー傀儡政權の樹立を計畫してゐる模樣で「ノイエ・チューリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン電報は十四日次の通り報じてゐる

「ソヴエト政府はハンガリー亡命政客が赤軍のブダペスト入城直後臨時政府を樹立しようと企圖してゐる旨逐一英國政府に通告してゐるが、ホルテイ攝政の失脚後數名のハンガリー軍人、政治家及び外交官がモスクワに亡命、ソヴエト政府の庇護を求めたといふことだ、その他ホルテイ攝政が休戰條件を審議するためモスクワに派遣した使節團も依然同市に踏み留まつてゐるが、この連中が中心となり、これに議會筋の名士を加へて臨時政府が組織される豫定で、元ハンガリー軍の指導的地位を占めてゐたベレシユ將軍や前參謀總長のミクロス將軍も參加、さらにハンガリー獨立黨の領袖で嘗て首相をつとめたことのあるペトレーンの入閣も考へられる、ペトレーンは目下のところ居所不明だが、恐らくサラシー政府の追求を逃れて潜伏してゐるのだらう、最後にロンドンに亡命中のカロリーの名も下馬評に上つてゐる、いづれにしてもロンドン政界はソ聯がハンガリーを他の衞星國と同じやうに待遇し、ハンガリーの自ら選ぶ新政府と行政機關を許容しようと努めるであらうとほぼ確信してゐるやうだが、ハンガリー側がどの程度まで聯立臨時政府の組織に成功してゐるかはまだ判らない、恐らくブダペストが陷たら初めて判然とするだらう」

羅新政權を攻撃

（ストツクホルム十五日發）ルーマニアのサナテスコ政權は休戰條件の履行をサボつた廉でソヴエト政府の攻撃を浴びて遂に瓦解したが十五日のモスクワ放送は代つて登場したラデスコ政權をも次の通りこき下してゐる

ルーマニア政府の改造は本質的には事態を改善するものではなく、新政府の態度には從來の政府と異つた點が見うけられない、政府の第一になすべき任務は休戰條件の履行だが今日までのところなんらの實績も收めてゐないのはどうしたわけか

軍事使節團の訪佛目的

（チューリツヒ十五日發）政府はソ佛同盟條約に基づき近くフランスに軍事使節團を派遣する模樣だが、「トリビユーン・ド・ジユネーヴ」紙のアンカラ電報はソ聯軍事使節團の使命は

一、フランス正規軍の改編

一、フランス國内抗戰軍（FFI）の正規軍への編入

に關しフランス軍當局を援助する爲と傳へてゐる

同盟通信　海外電報（第三種郵便物認可）

東部戰線樞軸軍の兵力

（モスクワ十四日發）「プラウダ」紙は十四日東部戰線におけるドイツ軍の兵力に關する匿名の論文を掲載つぎの通り述べてゐる

「フランス情報省軍事局長シヤスン大佐は去る五日記者團會見の席上東部戰線における獨洪兩軍の總兵力を十月には百二十七個師、十一月には百三十五個師、十二月一日現在では百三十二個師だと言明したが、かかる言明は輿論を意識的に謬らうと圖るものだ、獨洪軍實際の兵力は十月には二百四個師（うちドイツ軍百八十個師）十一月には二百十二個師（うちドイツ軍百八十八個師）、十二月一日現在は二百二十個師（うちドイツ軍二百個師）である」

【東　亞】

朱德、米人將領の二元統帥主張

（リスボン十二日發）ニユーヨーク來電＝七日の「ニユーヨーク・タイムズ」紙は前重慶特派員ブルツク・アーキンソンが延安において中共の領袖で共産軍育ての親たる朱德と會見した九月三十日附のつぎの記事を掲載「この報道は重慶の米陸軍當局の檢閲を通過したものだが重慶軍事委員會が抑へてゐたため遲れたもので、この記事を打電後支那には若干の變化が起り、大陸は日本軍のため二分され、蔣政權は一部改組した」との註釋を附してゐる

「記者が朱德と會見した際彼は重慶が交戰地區における民衆の援助を得ることに失敗したことを指摘し日本軍と戰ふ新戰術を要求した、彼は曰く「太平洋全體の戰略的見地よりみて共産地區は最善の場所ではないが北には良好な港灣がある、兵力を固めて共同の攻撃を行ふ見地からすれば、ここは支那で最適の場所かもしれない、われわれは支那の軍隊を悉く動員することが出來、日本軍の交通と增援を妨害することも出來る、餘は日本々土にたいする直接の上陸が實際的だとは考へない」と、彼の意見によれば日本々土の直接上陸は支那と滿洲の日本陸軍を撃破する效果を特たないわけだ、朱德は更に續けて「日本々土の上陸は極端に困難である、侵攻軍は日本の陸海空軍のほかに武器をとる數百萬の國民を計算に入れねばならない、若し日本諸島のいづれかに直接の上陸が決行された場合には日本海軍は一層手に負えない存在とならう」

ここで記者が重慶と中共の政治的和解を目的とする現在の交涉は成功してゐないが、それでも重慶軍と共産軍は對日戰に協力して戰へるかと質問したに對し朱德はかう答へた

「中共は支那の政治的改革を期待する、しかしたとへこの政治的改革が行はれなくとも、われわれはなほ日本軍と戰はねばならない、われは少くとも軍事的改革を實現すべきだ（記者註、最近重慶は新軍政部長陳誠を任命した）支那戰域全體のために反樞軸の統帥が生れるべきである、つまり反樞軸の將領が重慶軍と共産軍とを自由に指揮すると共に重慶軍と共産軍に違つた役割を與へることである、この司令官は外國人即ち米國人であらねばならない、かかる種類の二元的統帥には獨り米人のみがその資格を持つであらう」

ハーレー米國の重慶壓迫を否定

（リスボン十五日發）重慶來電によれば重慶駐劄米大使ハーレーは十五日記者團と會見し、米國が米將兩國の緊密な提携實現に全力を盡してゐることを確認したが、これについて「壓迫」の手を用ひたことを否定し

自分は米國が重慶に對して壓迫を加へてゐるといふことを讀んだり聞いたりしたが、これら一切の宣傳は反樞軸の內部から出たものではないと言明したといはれる、米國が重慶に對し國內の軍事政治改革と重慶延安合作を督促壓迫を加へると共に重慶軍を含む支那戰域の總指揮權を米國に讓り渡せと要求し、スチルウエルがその急先鋒をなしたことは米國の報道機關や重慶の在米要人筋自らが暴露したものであることは事件當時の米國側報道によつて明らかだ、ハーレーは更に總指揮權問題についても

米國の將官が支那戰域の最高司令官になるといふ話については蔣介石の持つ意見を聞きたいものである、これらの問題について「討議し乃至は討議しない」ことはいづれも蔣介石の大權に屬することだと述べ、米國側として手をつけられぬ事項だとの苦しい釋明をしたといはれる

特輯

印度の內と外

奥畑稔

十月三十日ニューデリーへ到着して以來約一ケ月半に亘つて印度軍の福祉問題について視察を續けてゐた前印度相次官ミュンスター卿（現內務次官）は十二月五日ロンドンに歸着した、彼がどういふ報告をするか英國朝野では少からぬ期待と關心を寄せてゐるといはれるがその由て來るところは何處にあるか、印度軍の福祉問題が他の戰線の英軍に比して著しく閑却され忘れられた軍隊となつてゐる點にある細印、戰線における極めて困難な條條或ひは將兵の休暇問題等を繞つて印度軍に配屬されてゐる英軍將兵の間に非常な不滿が昂つてゐることは幾多の例にならつて明らかにされてゐる

休暇と船腹關係

一月九日附の「ノイエ・チューリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン特派員はビルマ戰線から歸還したフランク・オーウエン大佐の言葉として目下ビルマ戰線に從軍中の二十五萬の將兵は彼らの努力並びに生活狀態について何らの關心も持たれてゐないことに不滿を抱いてゐる事實を傳へてをり、更に「デーリー・ワーカー」紙は「ビルマ派遣軍將兵の休暇を早くすべきである」として次の通り述べてゐる

「現在陸軍においては兵科の如何を問はず少くも五年を經過しなければ本國への歸還休暇は與へられないことになつてをり海軍では三年となつてゐる、然し乍ら米軍では海外の前線勤務の場合二年で本國歸還の資格が與へられることになつてゐるしかも東亞に派遣されてゐる英國の將兵は他の戰線の同僚にとつては到底耐へられないやうな條件の下で每日を過してゐるのであつて、これら將兵の福祉改善は退引ならぬ問題である、今日まで當局では船舶の不足により將兵の休暇及び福祉改善は思ふやうに行かなかつたと辯解してきてゐるがドイツの敗北はこのやうな言譯が役立たないやうにするであらう」

すでに九月二十五日東南アジア軍司令官マウントバツテンは「印度戰域における英軍將兵の勤務期間短縮についてはこれまで少からぬ努力を續けてきてをり、十一月までには印度軍及び東南アジア軍司令部に所屬する將兵は階級の如何を問はず四年乃至それ以上勤務したものは本國へ歸されるか、或ひは歸還待機の狀態におかれることになつた」と述べてゐるがその後「デーリー・ワーカー」紙が以上の如き報道をしてゐるところから見てマウントバツテンの計畫が「計畫通り」に實行されてゐるかどうか疑問の餘地がある

しかもマウントバツテンによれば明年三月二十五日以後この計畫を引續いて實行出來るかどうか保證の限りでないといはれ三月二十五日が何を標準にしたものが明らかでないが以上の計畫が一時的措置に過ぎないことは明らかである、ドイツ海軍の逼塞といふ大西洋情勢の變化により船腹に關する限り現在可成りの餘裕が生じてゐることは疑問の餘地なく、また英政府筋でもこれを確認してゐるといはれるが、今度は人的資源の問題が東亞戰域における將兵の福祉改善に對する隘路となつてゐるとの辯解が當局からなされてゐる模樣である、更に土地言語風俗に對する慣熟といふ觀點から英國政府が印度軍將兵の勤務期限の短縮について思ひ切つた措置をとるのを澁つてゐることも事實である、しかし乍ら輿論は以上のごとき當局の言譯に承服せず印度軍將兵の福祉問題は漸次重大化の傾向を示してゐたのである、一ケ月半に亘るミュンスター卿の印度行きは以上の如き背景を有してゐる事實を念頭においておかねばならない、肝腎なミュンスター卿の報告はチヤーチルが議會においてこの問題に言及するまで發表されないことになつてゐるが問題は表面に現はれてゐるより遙かに深刻なものがあり、印度軍將兵の福祉に關する報告が發表された場合重大な政治問題として發展する可能性さへある

昭和十九年十二月十九日（火）
第三二七五號

同盟通信

海外電報
（第三種郵便物認可）

食糧問題の續き

本年初頭から三月末までに二十萬人以上のマラリアによる死者を出したベンゴール州ではその後當局の努力によりマラリア罹病者數は著しく減少した旨十二月十日ベンゴール州保健局長ジヤフアーは言明してゐるが、肝腎な食糧對策はどうなつてゐるだらうか、印度政廳の食糧長官サー・T・P・スリヴアスタヴアは十二月六日記者團に對し一九四五年度ベンゴール州に對する食糧供給に關する政廳の方針について次の通り言明してゐる

「政廳は去る十一月十四日國會（上院）において食糧省總務局長サンが言明したごとく明年度ベンゴール州に對する食糧供給は他の諸州並びに王侯國に對すると同樣の根本方針に基づいて考慮しなければならないとの見解を保持してゐる、ベンゴール州政府は本年度收穫計畫の結果約百萬噸の米を確保するに至り現在なほ頻りに收穫が行はれてゐるが、その上なほ食糧不足地區の本年度の需要量が充足された結果、明年度の豫備食糧として極めて多量の貯藏米が繰り延べられる見込みがはつきりして來た、既にこれまで三十萬トンの豫備食糧があつたのだが現在では五十萬トンにも達してゐるとみられかくてベンゴール州政府は一年間におけるカルカツタの需要量を上廻る豫備食糧をもつて新年をスタート出來るわけである、カルカツタ市の食糧（米）需要量は極めて尨大なものだがそれでも年に三十五萬トンに過ぎない

勿論政廳としても現在約三十萬トンと見積まれてゐるカルカツタ地域の小麥需要量は依然として割當を續ける方針である、さらに政廳は一般的對策として食糧省内に民間人から成る食糧計畫課を設置する方針であり、中央立法會議の食糧諮問委員會も十二月の第二週には會合を開き、ついで收穫小委員會も開催されることになつてゐるほか食糧省次官は目下各地の視察に赴き各地方の食糧事情査察に當つてゐる、ネパール政府から政廳は米穀の買ひ上げを行つてゐるが、政廳の買上げ價格がベンゴール州政府が買上げようとした價格より高いことについては問題はない、兩者間の話合ひにより買ひ上げ價格は現在の市場價格の最低を基準としてをり、この結果生產者に對しても新しい典據が課せられることになつた、降雨による損害は三萬九千マウンドで金にして四十九萬ルピーと見積られてゐる、また州政府王侯國代表から成る全印度食糧會議は一月末ニューデリーにおいて開催の豫定でありさらに附言すればベンゴール州における米の價格は現在一マウンドにつき七ルピーから八ルーピーの間を高低してゐる」

南阿の情勢

さて南阿問題はその後どう發展したであらうか印度政廳の報復措置により今後南阿人は印度において財產取得を禁ぜられ、すでに財產取得に關して取極めが出來てゐる場合には三ケ月以内に取極めを解消しなければならないことになつたほか、外交官を除く一般南阿人の印度入國も禁止されるといふ手嚴しい反擊が加へられるに至つた、これに對して南阿政廳では過去一ケ月半に亘り情勢を觀望した末、印度における意外な反響に驚き兩國間に釀された險惡な情勢緩和について苦慮してゐる模樣である、十二月八日南阿聯邦首相スマツツ元帥がナタール州に在住する會議派所屬の印度人に對して答へたところをみても以上の如き空氣が推察出來る

即ちスマツツ首相の答辯要旨は次の通り

「ナタール州會議で可決された印度人に對する財產制限令は嚴密にいつてプレトリア協定に沿ふものではない、從つて予は總督參事會が右制限令に同意を與へるのを留保するやう勸告した、住宅並びに土地取得に關する制限令については予は印度人が聯邦政府によつて正當ならざる差別待遇から保護されることを保證する、住宅に關する事項については州當局が大半の權限を保持してはゐるが土地の取得については聯邦政府の承認がない限り一切の法令は效力を發生しないことになつてをりまた印度人に對する特別の取扱ひを含む一切の事項は聯邦政府の權限に屬することである、從つて予は以上の保證を與へるわけである

しかしながら南阿在住印度人は小常設委員會を設けて聯邦政府の內相と接觸を保ちナタール州における誤解或ひは疑惑を一掃しなければならない」

在外印度人の動き

印度內部の複雜な情勢を反映するものとして海外における印度人並びに印度關係團體の動きを見よう、英國印度聯盟は十一日夜ロンドンにおいて聯盟大會を開催したが席上目下拘禁されてゐる印度政界の領袖の釋放を要求する旨の强硬な決議を採擇した、右決議の要旨次の通り

「反樞軸諸國と並んで戰爭に效果的に參加することからまた印度における諸事件の處理から重要分子を隔離しその結果重大な紛爭と政治的行き詰りを永續させてゐるのが印度政廳の政策である、政廳は國民運動の指導者を含む數千の印度の愛國者達を依然拘禁してゐるが、今こそ彼らを直ちに釋放し眞の國民政府を印度に樹立すべきである」

更に右大會の司會に當つた英國土木聯盟會長ジヤツク・タシナーも英國政府の對印度政策を痛烈に非難して「英國の勞働界は印度の情勢を檢討するため代表を派遣する必要がある、印度現在の情勢はまことに悲劇的なものがあるが責任の大半は英國民にある、若し英國政府が長年とつて來た印度政策を放棄しないならば英國民は自由な市民としての義務を果さないこととなる」と叫び、全印勞働組合長SA・ダンジュは「印度の指導者達は第五列であると想定されて投獄されてゐるのであるが實際にはこれら指導者達は自分自身以外のたれをも代表してゐるわけではなく、印度の民衆はL・S・アメリーによつて代表されてゐるのであると述べてゐる、續いて印度聯盟內に組織されてゐる印度戰爭努力調査委員會は席上「五百隻に上る船舶がボンベイ港內で修理を待つてをり、また印度領袖の投獄は戰爭努力を阻害し、印度の工業諸都市における生活費は戰前以來二百パーセントの昂騰を示してゐる」との報告をなし戰爭努力の面から英國の對印政策の非を鳴らしてゐる

印度の戰爭努力＝駐英印度高等辨務官サー・サミユル・ルンガナダンは、十二月七日ロンドン大學において印度の戰爭努力につき、次の通り述べてゐる

「印度の政治情勢は印度の戰爭努力の偉大さを蔽ひかくしてゐる傾きがあるが、今次大戰の當初印度軍の援助及び彈藥その他の補給品が印度から提供されなかつたならば、中東を危機から救ふことも出來ずウエーヴエル卿が獲得した幾多の勝利も不可能であつたであらう、さらに危機に際して殆んど卽座に印度はその軍隊と援助をイラクに送ることができたが、若しこれがなかつたならば、假令不可能ではなかつたにせよペルシヤ占領は困難であつたであらう、そしてペルシヤ占領はドイツ軍の攻擊をうけてソヴエトが極めて危險な狀態にあつた時、ソヴエトを救ふ上において極めて重要であつたのである

日本が參戰して以來印度の戰爭努力は更に倍加された、あらゆる部面に戰爭努力は擴大された、義勇軍の徵募數は再び高まり今日印度軍は戰前の十倍の兵力を擁するに至り、しかもなほ增加しつつありこれらの印度軍將兵はビルマ、イタリアで戰鬪に從事してゐる、同時に英國濠洲米國からは兵員武器が印度に送り込まれてゐる、七十五パーセントは印度人將兵から成る第十四軍のごときは日本軍のアツサム進擊が終つて後、現在ビルマに轉戰してゐるのである、印度海軍、空軍並びに商船乘組員はいふに及ばず王侯或ひは婦人の戰爭努力に對する寄與も無視出來ない、かくて印度は過去の生活を止め、その眼を運命の偉大さに對する希望と確信とをもつて將來に向け、印度政廳と民衆は世界の生活への完全な參加を阻害する一切の障害を克服するとの決意の中に結ばれてゐる」

ニユーデリー便り

總督ウエーヴエルは十二月九日ボンベイ州知事サー・ジヨン・コルヴイルを帶同して今春の大爆發事件で破壞されたボンベイ港の船渠地區の視察を行つた、既にウエーヴエルは本年四月二十二日ボンベイ港の第一回視察を行つてをり、今回は第二回目で一時間半にわたつて修理作業を視察、作業の進捗ぶりに「滿足」の意を表したといはれる

ボンベイ港の大椿事は去る三月、千三百トンの彈藥を積載してゐる船舶が港内で二回に亘つて爆發を起したもので死者七百三十一名負傷者二千四百名以上を出すといふ騒ぎであつた、印度における最大の港灣であるだけに當局の狼狽甚だしく英軍工兵隊印度軍の貨物自動車隊西阿人勞働者その他多數の俘虜を動員して懸命の復舊作業に努めた結果、現在では既に港灣の能力は完全に復舊し被壞地域を修理したばかりでなく、新しく六哩の鐵道軌條を敷き水力起重機百臺を備へつけたと當局から十二月九日に發表されてゐる

印度とアフガニスタン＝中將オマール・カーンを團長としアフガニスタン航空隊の將校數名から成る軍事使節團は、十二月八日ニューデリーに到着印度政廳の賓客の待遇をうけながら各地の軍事基地訓練所等の視察を行つてゐるが、一行は米英空軍の諸基地を視察した上第十四軍が作戰してゐるビルマ戰線の視察にまで出掛ける豫定といふ、印度軍司令官クロード・オーヒンレックは九日一行のために招宴を張つたが、席上團長オマール・カーンは「今回の視察により印度の廣汎な戰爭努力を理解出來ることは欣快に堪へない、しかも以上のほかに今度の印度訪問によつて印度アフガニスタン兩國の協力が一層緊密化し、兩國が相互に利益を享受出來るだらうことは疑を容れない」との外交辭令を述べてゐる、ソヴエト聯邦の南進策が漸く英國の神經を刺戟し初めてゐる時ではあり、アフガニスタン軍事使節團の印度訪問も一應注目されてもよいのではなからうか

州知事會議＝ベンゴール、アツサム、聯合、ビハール、オリツサの各州知事は十二月四日以來カルカツタにおいて州知事會議を開催してゐたが前後二日半に亘つた同會議は六日終了したといはれる會議の内容は發表されてゐないが以上五州間における共通の問題が討議され特に

一、各州間における重要物資の移動に關する現行の制限

一、各州間を流れる大河の管理

一、戰後問題

等が主要議題となつた樣子であり、五日ベンゴール州知事が「重要物資の移動制限については改善の餘地があると信ずる」旨語つてゐるところから推測して、現在印度において各州の封鎖主義が經濟上可成重要な問題を提起してゐることが窺はれる

印度の交通問題＝印度政廳の戰時輸送長官サー・エドワード・デンタルは十二月十一日記者團の質問に對し戰後の輸送問題について次の通り述べてゐる

「印度政廳は戰後輸送組織を接收し州政府の提案に基きこれを管理することにならう、印度の鐵道は戰後質量ともに改良しなければならないが、鐵道の改良については一九一八年から三九年に至る間にソヴエト聯邦がなし遂げた輸送組織の改善から大いに學ばねはならないと思ふ」

資料

ペロン大佐の勝利

——アルゼンチンの推進力——

「タイム」誌十一月二十七日號

アルゼンチンの推進勢力は「GOU」と稱する陸軍將校の團體である、GOUは、Gobierno, Orden, Unidad——政省、秩序、團結——の頭文字を採つたものだが、創立後間もなく「大佐團」といふ綽名で通るやうになつた、やがて彼等大佐の中の大佐がホアン・ドミンゴ・ペロンであることも判つてきた

ペロンは副大統領、陸相、勞働厚生相であつたアルゼンチン人ですら彼の名を知つてゐる者が少い位だつたから、米國人がそれまでペロンなどといふ男を聞いたこともなかつたのは何も不思議ではない、彼は長い間アルゼンチンの政治と社會生活を牛耳つてきた貴族的なエスタンシエロ(大牧場主——の生れではなく、寒風膚を刺す荒涼たる南部アルゼンチンの中牧場主の悴である

彼はモンタナのやうな邊鄙な田舍で少年時代を過した、よちよち歩けるか歩けぬうちから讀み書きを教はり、遊びといへばガウチョ——牧人——の子供と戰爭ごつこをしたり、パンパスといふ名で呼ばれる南部アルゼンチン特有の平原で野生の七面鳥狩りをすることであつた、二十歳のペロンは陸軍で一番若い中尉であつた、その後暫くの間ペロンは陸軍の學校の教官としてアンデス山脈のスキー場で軍事スキーを教へた、やがて陸軍部内にはペロンが飛び拔けて頭の鋭い剃刀のやうな武人だといふ噂が擴がつた、その後ペロンは歐洲に遊學し一九四一年に歸國した

ペロンは天來の妙想に惠まれた、彼はアルゼンチン軍の將校達に「精神刷新の十字軍」なるものを說き始めたのである、これは結局老朽の將軍連を追ひ出して軍を改新する運動なのだが、何處の國の軍隊でも少壯將校はかういふ考へに飛び付くものだ、この十字軍を通じて新興勢力としてGOUが現れた、GOUはまづペロンの率ゐるメンドウサ守備軍の中に結成され、やがてアルゼンチン全國の軍隊に勢力を擴げた

頭のない獨裁

GOU指導原理には軍人の魂を蕩かすやうな魅力があつた、曰く「軍はアルゼンチンにおける至高至純の存在である、GOUはアルゼンチン支配に最適の團體である、GOUはアルゼンチンの國運を双肩に擔ふ」昨年の革命によつてGOUは三つの理想のうち二つまでを實現し、その後すつとアルゼンチンを抑へてきた

しかし、GOUの獨裁には頭がない、勿論ペロンが一番の有力者ではあるが、彼でさへも本當に音頭を取るだけの藝當は出來ない、結局GOUはどこまでも花形軍人のサロンのやうな雜然たる存在でしかあり得ない、アルゼンチンが軍に支配されながらもただ一人の軍人による典型的な軍事獨裁が生れないのもかうしたわけである、ペロンは精神的に革新されたGOUの將校の間で一番勢力があるが、かといつて常に軍の絕對的支持を得る自信はない、それで、どうしても政治に手を出さぬわけには行かない、彼の權力は時として他の野心的な大佐によつて脅かされるが、さういふ時彼は軍の外部の援助を求めるのだ

ペロンは全國勞働局總裁として勞働者の御氣嫌を取り、勞働者の賃金を上げさせ、勞働條件を改善させた、彼はアルゼンチンのプロレタリアートの最下層である農業勞働者の動きまで氣にしてゐる、ペロンの採つた最も狡猾な政策の一つは新聞の瞞着であつた、アルゼンチンの新聞——「ラ・プレンサ」、「ラ・ナシオン」、「ラ・ラソン」——は傳統的に自由主義的でしかも相當有力であるがカステーヨ政權に始つた獨裁下に不平を唱つてゐた、新聞に對する制限を撤廢するのは險呑と見て取つたペロンは、その代りに新聞發行者に使用人の俸給を上げさせた

氷のやうな惡罵

萬事はうまく行つたが、GOUの第三の理想——アルゼンチン軍は國運を双肩に擔ふ——だけが少しばかり問題であつた、GOUがアルゼンチンの國運に對して抱いてゐる解釋は次のやうなものであつた

アルゼンチンは他の中南米諸國から疑はれてゐる、アルゼンチンは以前から北方の怪物に對して何とか口實を設けて南米大陸を護るのを使命と信じてきた、米國は樞軸國と死活の戰爭を行つてゐるので、善隣政策の名の下に中南米諸國を自己の陣營に引入れようとしてゐる

ペロンはアルゼンチンの政權を乘取つた時米國國務省との根强い對立をもひきついだ、カステイーヨ前大統領は大のアメリカぎらひであつたが、カステイーヨ政權沒落と共にアルゼンチンの對米關係は却つてますます惡化した、新勢力として擡頭した精神改革者のうちのあるものは反米であるばかりでなく、親樞軸ですらあるやうに見受けられた、そこで米國新聞は彼等が西半球に本格的なファシスト國家を作らうとしてゐるといつて騷ぎ始めた

昨年アルゼンチン内閣の中で最も反樞軸に良い人物と思はれてゐた外相セグンド・ストルニが、ハル國務長官に對してアルゼンチンの立場を説明した馬鹿正直な書簡を送つた、ところが白髪の好々爺ハルの耳にはストルニの書簡は氷のやうに冷い惡罵と少しも筋道の通らぬ判斷の塊りのやうに聞えて了つた、米國の回答を受けてアルゼンチンの國粹主義者は侮辱にいきり立ち、ストルニは辭職せざるを得なかつた

アルゼンチンの心理を説明するこの事件によつてハル國務長官もアルゼンチンを高飛車に叱りつけるのは危險この上もないといふ事實を悟つたであらう、しかしハル國務長官がストルニ外相に與へた返簡は一連のアルゼンチン非難の文書のうちの一つに過ぎない、これらの文書は實際行動による何らの裏付けがないため單にアルゼンチン國民を怒らせ「大佐團」政府の人氣を高める結果に終つた、そこでハル國務長官は本腰でアルゼンチンを締め上げる決心を固めた、國務省の密偵共はアルゼンチン政府の要人がナチスと關係を有つてゐるといふ證據を蒐め始めたといはれ、英國もトリダットでドイツのスパイを逮捕して同樣證據を入手した、米英兩國は共同でこれらの調査の結果を公表すると威嚇した、ラミレス大統領はどうやら脅しに乘つたらしく樞軸國と國交を斷絶した

大きなステツキは使へぬ

暫しの間は國務省が凱歌を奏して良いやうに思はれた、しかし國務省はペロンを勘定に入れるのを忘れてゐたのである、アルゼンチン陸軍の國粹主義者はラミレスが外部の壓迫に屈したのをもつてアルゼンチンの名譽が踏み躙られたと感じたがペロンはこれら國粹主義者を糾合しはじめたのであつた、ラミレスは辭職を強要されペロンの舊友エデルミロ・フアレル副大統領が大統領に昇任した、ペロンは益々勢力を得て陸相の地位についたかういふわけで國務省のこけ嚇しは樂にペロンの權力を增大する結果に終つた、米國は大きなステツキを小脇に抱へ物腰優しく話し掛ける傳統的政策の代りに西半球では政策上大きなステツキは使へないのでそれをごまかすために聲高に物をいつたのだ、アルゼンチンはその手を喰はなかつた武力行使は別として、アルゼンチンに對する殆ど唯一の有效な政策はアルゼンチンの貿易に英米共同のボイコツトを加へることであらう、しかし、英國は三つの理由からそれをしたがらぬのであつて、しかもアルゼンチンはそのことをよく知つてゐるのだ

英國はアルゼンチンの產する牛肉その他の物資をもつて自國國民のみならず歐洲戰線で戰つてゐる多數の反樞軸將兵を養はねばならないのだ、たとひ米國が配給の制限をぐつと强化しても、アルゼンチンに代るだけの物資は供給出來ない、且つ英國がアルゼンチンに投下してゐる十億弗以上の尨大な資本もアルゼンチンにたいする英國の行動を拘束してゐる、さらに肝腎かなめの點はアルゼンチンが英國にとつてこの上もなく好ましい貿易の對手だといふことだ、アルゼンチンは英國の必要とするものを生產し、英國の生產するものを必要とする、それ故英國がアルゼンチンを米國の勢力圈內に入れようとするのは決していはれのないことではない

きれた堪忍袋

本年六月國務省はとうとう堪忍袋の緒を切り、フアレル大統領就任以來アルゼンチン政府と公式關係を喪つてゐたブエノスアイレス駐在大使ノーマン・アーマーを召還した、英國も鄭重に米國の例に倣ひ、更に中南米諸國の大半もこれに從つて西半球の諸國の中アルゼンチンを承認してゐるのはチリー、ボリヴイア、パラグアイ、エクアドルのみとなり、アルゼンチンは外交的隔離狀態に陷つた

だが、一月ばかり前ペロンの手は再び動いた、アルゼンチンはうまい手を打ち、汎米聯盟にたいして西半球外相會議を開いてアルゼンチンの言分を聽き判斷を下すやうに要求した

オルランド・ペルフオ外相は、アルゼンチンが西半球の隣國を裏切り彼等の敵を助けてゐるといふのはとんでもない話で、むしろ西半球の團結に必要なことは全部實行してゐる旨を申開かうと申出た、だが、彼は唯一つの條件と附けた、もし會議が開催されることになつてもアルゼンチンの國内問題を議題にしては困るといふのだ

アルゼンチンはファシストなりや

ペルフオ外相の附した條件はまたも米亞關係の急所に觸れた、一體アルゼンチンはどの程度ファシスト的なのであらうか？　論者は次の事實を指摘する、ファレルとペロンの政府は確かに非民主的だ、この政府は武力で政權を手に入れ、選擧も行つてゐない、議會は閉鎖され、政黨は地下に逐ひやられた、新聞も本年七月以來自由といふ建前にはなつてゐるけれど、一度も政府を攻擊した例はない、勞働組合は傀儡と化した、アルゼンチンの共產主義運動は大したものでもないのに、いはゆる共產主義者――大部分は勞働運動の指導者だが――の多くは何時の間にか遠方の餘り愉快ならぬ牢獄に連れ去られた

一方アルゼンチンを辯護する人々はいふ、以上のことは中南米にある舊式な獨裁政治に有り勝ちな不幸な事件だ、はつきりしたファシズムの特徵は殆んどみられない、一つの政黨だけ公認されてゐる樣子もない、アルゼンチンには多數のユダヤ人が亡命して來て中產階級の商賣敵になつてゐるにも拘らず、反ユダヤ運動はさして强烈ではない、スパイや密告者がゐて、官吏は政府を批評すれば失職の憂目にあふが、さればといつて別に暴力行爲を禮讚する風潮も見當らぬ、アルゼンチン國民の或者は外國人と政治を談ずることを恐れてゐるが、公然と政府を頭から非難する者もすくなくない、更にアルゼンチン政府はむしろ段々ファシスト的色彩を裝ひつつあり、ペロンはファシスト的人物を政府から巧みに追ひ出してゐるやうだペロンについで内閣で勢力を振つてゐるのは内相アルベルト・テツセール提督と外相ペルフオだが兩者孰れもファシスト的傾向は更に持ち合はせてゐない、ペロン自身も最近は國務省の要求する事柄の多くを實行してゐる、樞軸國スパイの摘發を强化し、樞軸國民の監視も嚴重になつた、ドイツ語新聞を彈壓し、ドイツ商社をよく取締り、米國の作つたブラツク・リストすら認めた

彼ペロンは假令さうしたくても米國とさう急に協調は出來ないのだ、その理由は外でもない、そんなことをすれば、彼を助けてラミレスを倒した國粹主義者が今度は彼自身を倒して了ふからだ、彼が最近專らアルゼンチン軍の建設に努めてゐるのも國粹勢力に對抗するためかも知れない、先週には彼は徵兵實施の準備として少年健康增進計畫を提案すらしてゐる

涕垂れ小僧の惡態

しかし、中開をしないといふアルゼンチンの要求も恐らくは外交的論爭の雜音の中に消えて了ふであらう、すでにメキシコはアルゼンチンの申出を拒絶した、チリー、コロンビア、ヴエネズエラ、エクアドルはアルゼンチンの提案を承知したが、公開の席上でアルゼンチンの言分を聞くのを好まぬ米國國務省によつて橫面を張られた、中南米諸國の外交官の多くは、汎米諸國間の問題を相談づくで解決する制度はすでに弊履のごとく棄て去られ「善隣諸國」は深刻な對立によつて散り散りになるものと信じてゐる、この意味でペロンはまたも勝利を得たのだ

そこでペロン並びに高慢なアルゼンチン國民は有頂點になつてゐるが、かうしてリオ・デ・ラプラタの彼方の涕垂れ小僧が北方の怪物に向つて勝手放題な惡態三昧をつく恰好に、大部分の中南米諸國はひいて――あるひは大つぴらに――會心の笑を洩らしまた北米等のある國では面白い見世物だといはぬばかりの顏をして高見の見物をしてゐるのだ

特輯「比島侵攻作戰と米國の宣傳戰」は都合により（中）をもつて打ち切りといたします

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月二十日(水)　第三二七六號

同盟通信 海外電報 (291)

編輯發行人　兼務伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電報印人　同盟通信社

世界の焦点

西部戰線のドイツ軍は十六日を期してベルギー、オランダ國境約百粁の戰線に亘り突如大反攻の火蓋を切つた、反攻に使用した兵力その他はいまのところ判然とせずまた反攻の戰略目標が奈邊にあるかも今日までの戰況では速斷を許さぬが、以上の「ルンドシュテツト反攻」の戰術乃至作戰目標は地圖を開けば明瞭となる

第一にドイツ軍が反攻に蹶起した地域は、いはば反樞軸軍のルール攻勢とザール攻勢の結び目であり、主力がこの兩攻勢に集結してゐる限り、必然ドイツ軍の反攻戰線は反樞軸軍の戰線が最も手薄を餘儀なくされてゐるところでなければならない

第二に以上の戰線におけるドイツ軍の突出はザール、ルール兩攻勢に展開した反樞軸軍戰線の側面を重大脅威下に曝すことになり、恰度開き扉の中央を押したやうに、兩戰線における反樞軸軍の攻勢作戰は直接牽制されることになる、以上の結論は明かだ、すなはちドイツ軍今回の反攻作戰はザール、ルール兩地方に對する反樞軸軍を牽制する上に至大の效果を發揮し、少くとも反樞軸軍はドイツ軍の反攻を破碎しない限り、以上兩地方における攻勢作戰を押し進めることは事實上不可能となり、兩地方に展開した兵力の一部と戰術豫備をもつてドイツ軍に對抗しなければなるまい、もつとも今日までの戰況ではどの程度まで效果を發揮出來るか疑問であり、ドイツも奇蹟を期待してゐないやうだが、ジークフリード防衛の時を稼ぐためには、これ以上的確な作戰は考へられずこの點に着眼した名將ルンドシュテツトは流石に吾人の期待を裏切らぬものがある

【目　次】

ドイツ軍一大攻勢に轉ず……三一六六
反樞軸軍の意表を衝く……〃
ルクセンブルグ突破の態勢……〃
「總統の贈物」と歡喜……〃
敵側も發表……三一六七
米英外交會談開始……〃
國際電話で重要協議……〃
國境改訂は當事國の同意が前提……〃
ギリシヤ內亂の干渉を禁止……〃

【米　洲】
支那から對日總反撃……三一六八
陸軍地上部隊增强……〃
餘剩機を外國に讓渡……〃
ルーズヴエルト議會に屈服……〃
輸出統制緩和……〃
下院視察團濠洲着……〃
ルソン島來襲機動部隊司令官……〃
ミンドロ島上陸船團指揮官……〃
ネルソン、華府歸還……三一六九
曇、サルヴアドル國交停止……〃
グワテマラで叛亂勃發か……〃

【東　亞】
蔣介石との一問一答……〃

【英　帝　國】
希派遣は米ソに通告……三一七〇
アンラ事業を重視……〃
ロンドン中心部の損害……〃
駐西大使歸國……〃

【ソ　聯】
最高會議の選擧再び延期……〃

【歐　洲】
パパンドレオの退陣を要求……〃
希政權軍壯丁動員……〃
ムツソリーニ決意を開明……〃
スペインを繞るデマを否定……〃

【特　輯】
反樞軸國際航空會議(下)……三一七一
英人兵士氣質……三一七四
ソ聯短信……三一七六

【資　料】
噴霧式消火……三一八〇

ドイツ軍一大攻勢に轉ず

——獨戰闘機隊制空——

（ベルリン十八日發）總統大本營は十八日正午の公報において次の通り發表した

ドイツ軍の有力部隊は短時間の然しながら猛烈な準備砲撃の後、十二月十六日午前五時三十分から西部要塞戰の前面から後半の正面に亘り砲撃を開始、最初の出撃においてホーエ・ヴエンとルクセンブルグの北部間の米軍前進陣地を席捲した、この一大攻勢は有力な戰闘機隊に擁護され順調な進展を示しつつあり、米軍は完全に不意を衝かれてゐるが、米軍に情報を傳へないために戰闘の細目は只今のところ發表することは出來ない

反樞軸軍の意表を衝く

（ベルリン十八日發）ドイツ軍當局言明＝ドイツ軍の大攻勢作戰は砲兵、戰車、落下傘、擲彈兵、工兵、高射砲並びに空軍の各兵科一體となつて開始され、第一段階において完全な成功を收めた、攻勢第一日目の目標には既に作戰開始後數時間で到達し、その後ドイツ軍の增援隊は突破地區に次から次へと雪崩れ込み米軍の抵抗を瞬時にして壓倒した、ドイツ軍の攻勢は完全にアイゼンハワーの不意を衝いただけでなく、反樞軸軍はドイツ軍の攻勢が展開されてから二十四時間を經過した後でさへ、ドイツ軍の作戰について誤斷をした、敵はレール河流域の米第一、第九軍を南方に牽制することを以てドイツ軍の作戰目標と看誤り、更にドイツ軍の戰力を過少評價してゐるのである、以上の諸理由によりドイツ軍の作戰は極めて順調に進み、攻勢第一日目に既に突破作戰に成功、米第一軍の右翼における組織的防禦力は瞬く間に崩壞するに至つたのであり、今後更に戰果が期待される

ルクセンブルグ突破の態勢

（ベルリン十八日發）前線報道＝トリールとモンシャウとの中間の廣汎な線で十六日攻勢に轉じたドイツ軍部隊は作戰開始後數時間で西部要塞前面の多數の地點を奪還、米軍は不意を衝かれ十粁乃至三十二粁後退した後初めてやや立直りをみせ數ケ所の抵抗據點を楯にドイツ軍の進撃を必死になつて阻止しようとしたが、十六日夕刻から十七日の朝にかけ再び米軍の抵抗線はドイツ軍の壓倒するところとなつた、ドイツ軍が攻勢を展開してゐるのはデユーレン西南方レール河畔モンシャウからトリールに至る百粁の線であるが、攻勢正面の北翼においてはドイツ軍快速部隊並びに機甲部隊がベルギー國境を越えてオイペン南方のマルメデイ地區まで進出、更にその南方でも米軍はルクセンブルグの北部まで後退するの止むなきに至つた同方面ではドイツ軍並びに國民擲彈兵の有力部隊は米軍戰車隊を隨所に撃破し、既にルクセンブルグの北部を廣汎な線で突破、戰闘は逐次ルクセンブルグ、ベルギーの國境に近づいてゐる

「總統の贈物」と歡喜

（ベルリン十八日發）ドイツ軍がルクセンブルグの北部地區において一大攻勢に轉じたことは十八日十四時のラジオ放送でドイツ全國民に傳へられたが、久しく守勢に終始してゐた獨軍が絶好の機會を捉へて攻勢に轉じたことにベルリン市民はとみに活氣づき午後は到るところ攻勢轉移の話でもちきりの有樣だ、もつともドイツ人は戰況の實相を客觀的に把握してゐるので、反樞軸軍が全力を擧げて反撃を企圖するのを豫想し決して奇蹟を期待してはゐないが、ベルリンのある新聞が「ドイツ領土解放のための攻勢作戰」といふ見出しを掲げてゐるのがよくベルリン市民の氣持を現はしてゐると思ふ、ラジオ放送によれば嬰兒を抱いた若い母親が前線に進撃するドイツ兵に向つて

これこそ總統が私共に送つてくれた一番美しいクリスマス・プレゼントだ

と實情を吐露したと傳へられるが、軍事評論家リツター・フオン・シユラム氏も「フエルキツシヤー・ベオバハター」紙上で次の通り述べてゐる

「ドイツ軍統帥部は九月中旬以來反撃轉移の貴重な時間を得た、統帥部の發意と國内軍總司令の熱意とドイツ軍需工業の素晴しい業績とによつて新な國民擲彈兵團が出來上り、歷戰の各團の補充もつき戰車、兵器彈藥の生産も著しく增强された

昭和十九年十二月二十日（水）
第三二七六號
同盟通信 海外電報
（第三種郵便物認可）

米軍は西部戰線において徒らに出血を續け、しかも進擊は遲々として捗らず、今やドイツ軍新銳部隊の反擊を受けるに至つた、米英兩國の新聞界も西部戰線において約七十個師のドイツ軍が攻勢に轉ずることが出來ると豫想してゐる」

敵側も發表

（リスボン十八日發）パリ來電によれば、アイゼンハワー軍司令部は十八日の戰況公報において、ドイツ軍の攻勢作戰がモンシヤウからルクセンブルグの南端にかけて熾烈を極めてゐる事實を認め次の通り發表したといはれる

モンシヤウ地區からルクセンブルグ南端に至る線で戰鬪は激化し、ドイツ軍は絕えずその攻擊を繼續してゐる、現在作戰してゐるのは步兵及び機動部隊であるが、數地區ではドイツ軍は小數の空挺隊を使用してをり、ドイツ軍はホンスフエルト近郊、ヴイアンデン西南方、エヒテルナツハ南方で更に地域を獲得した、ドイツ空軍は北上部隊の掩護に出擊したが、反樞軸空軍はこれと空中戰を展開戰鬪機三十三機を喪失した

米英外交會談開始

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝外交專門家を引率してワシントンに乘込んだ英國外相代理リチヤード・ローは十八日から米國務長官ステチニアスとの間に會談を開始した、右會談には今後ワシントン駐劄英國大使ハリフアツクスも參加するとみられるが、會談の主眼點は歐洲問題の處理にあり、特に最近英國のギリシヤ、イタリア政策をめぐつて緊張した米英兩國關係の調整におかれるものと解される、UP通信社によれば歐洲問題のうち特に

一、ポーランド問題

一、ソ佛相互援助條約締結に伴ふ西歐の新事態に對する米英兩國の態度

の二點が最も重大な議題であり、これが最も具體的に協議されるだらうといはれる

國際電話で重要協議

（ストツクホルム十八日發）ソ波兩國間の紛爭その他歐洲各國に對する政策について米英兩國政府の見解は著しい對立を暴露するに至つたが「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙のロンドン特電によれば英國首相チヤーチルは國際電話で直接大統領ルーズヴエルトと重要協議を遂げたと傳へられる、チヤーチルは來る二十四日午後九時BBCから歐洲政策について演說を放送する豫定であつたが、右交涉の結果からか突如演說の豫定を取り消すに至つた、AP電報によればルーズヴエルトとチヤーチルとはローマで會談するに決定したと傳へられるが、會見の日取りについては全然情報がない

國境改訂は當事國の同意が前提

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝米國務長官ステチニアスは十八日新聞記者團に對し要旨左の聲明を發表した

「米國政府は一定の條件の下にポーランドの國境變更に同意する、卽ちこの問題に直接關係ある反樞軸國家の間に相互の取極めが成立するならば米國政府は共同の敵に對する戰爭遂行に不可缺な寄與をなすものとしてかかる取極めに對しては何等の異議も挿まないであらう、かかる協定の結果ポートランド政府並びに國民が住民の移住を行ふことがポーランド國家の利益であるとの見解に到達するならば、米國政府はその他の政府と協力の下に實行可能なる限りかかる住民の移住に支援を與へるであらう、米國政府は今後も依然として特定の國境線には保障を與へないとの傳統的政策を維持するであらう、米國政府は世界安定機構の樹立に努力しつつあり、この機構を通じて米國は、その他の諸國と共に全般的安全保障の責任をとるであらう」

ギリシヤ內亂の干涉を禁止

（リスボン十八日發）アテネ來電＝ギリシヤ駐屯「米國軍事組織」司令サドラー代將は十八日麾下の米軍に對し次の通り布告した

「米國は直接にせよ間接にせよ苟くもギリシヤ國內の內政干涉と解されるやうな行動は一切愼しまなければならない、米軍は陸軍省の指揮下に行動してをり陸軍省においてはギリシヤ國內における軍の行動を嚴重に救濟事業に限定してゐる」

【米洲】

支那から對日總攻撃

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝米國上院議員ウオレン・マダナソンは對日戰の困難を豫想して十一日次の通り述べた

對日總攻撃は反樞軸軍が支那沿岸に港灣を獲得するまでは到底實行不可能である、余が會談した軍首腦部はほとんど例外なく日本との戰ひが支那において、また日本本土において戰はれるとの意見を持つてゐたが、支那で日本軍を決定的に破るには尨大な物量を必要とする、その補給はレド公路、ビルマ公路乃至は空路による輸送のみでは不十分であり、どうしても支那沿岸に港灣を獲得しなければならない、この補給狀態が改良されぬ限り對日戰爭はなほ十年繼續すると思はなければならない

陸軍地上部隊增强

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝陸軍省は十五日次の通り發表した

「陸軍の最も必要な部門の兵員を增强するため、今回航空部隊所屬兵員五萬五千名、補給部隊所屬兵員二萬五千名が航空部隊に編入されることとなつた、この兵員の移動は明年一月中に完了されよう」

餘剩機を外國に讓渡

（リスボン十七日發）「サンデー・タイムズ」のワシントン電報によれば米政府餘剩軍需資金處分局長クレートン（現國務次官補）は去る二日次のやうに言明したといはれる

希望する國があれば米國の輸送機乃至輸送機に改造するに適した航空機を外國に讓渡してもよい、餘剩航空機はロツキード「ハドソン」フエアチヤイルド双發練習機、ダグラスB23改造輸送機及びダグラス水陸兩用機の各種である

ルーズヴエルト議會に屈服

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝上下兩院はさきに政府の反對を押しきつて社會保險稅二%（雇主から一%被傭者から一%）据置案を可決して白堊館に回附、ルーズヴエルトがこれに對し署名拒否權を發動するか否か注目されてゐたが、ルーズヴエルトは十七日に至り遂に議會に屈服して同法案に署名した、彼は同時に聲明を發し「氣が進まないが敢てこれに署名する」と述べ、更に明年の新議會に社會保險制度の擴張並びに改善を企圖した尨大な提案を行ふ」ことを明らかにした

輸出統制緩和

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝外國經濟院は十五日今後モーリタニア、セネガル、佛領ギニア、象牙海岸、トーゴランドなどフランス領アフリカに對し輸出業者は自動車部分品修理品その他を政府の許可を要せず自由に輸出し得ることとなつたと發表した

下院視察團濠洲着

（リスボン十六日發）ジニームズ・ヘフアナンを首班とする米下院海軍委員會の議員十名は過般來大宮島を初め太平洋各戰域を視察してゐたが、シドニー來電によれば視察團一行は十五日シドニーに到着したといはれる、一行中のジョンソンは最近米國內の一部に米國海軍は獨力で日本軍を一舐めにしてしまふ程强力であり、英國の援助を却つてうるさく思ふ程だとの說があるのに對し、これを辯解して次の通り述べたといはれるかかる見解は勿論當委員會の抱くところでないわれわれは將來に橫はる大事業において英國といふ盟邦を持つことを欣快とする

ルソン島來襲機動部隊司令官

（リスボン十七日發）十三、十四兩日ルソン島を艦載機をもつて攻撃せる太平洋艦隊空母機動部隊に從軍せる記者の報道によれば、右機動部隊司令官は海軍中將ジョン・S・マツケーンであるといはれる

ミンドロ上陸船團指揮官

（リスボン十七日發）ミンドロ沖輸送船團からのAP特派員の報道によればミンドロ上陸軍の輸送指揮官は海軍少將アーサー・D・ストルーブルだといはれる、ストルーブルは歐洲のノルマンデイ上陸作戰において米海軍の作戰を指揮した男で、オルモツク港に第七十七師團を上陸せしめた水陸兩用作戰も彼が指揮したといふ

昭和十九年十二月二十日(水)
第三二七六號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ネルソン華府歸還

(リスボン十六日發)ワシントン來電＝白聖館當局は十五日次の通り發表した

「大統領の特使として重慶、濠洲を訪問したドナルド・ネルソンは十五日ワシントンに到着した、彼は近く大統領に對して復命することとならう、

墨、サルヴアドル國交停止

(リスボン十七日發)メキシコ・シテイ來電＝メキシコ外相パテイヤは十七日次の通り發表した

メキシコ政府はエル・サルヴアドル國との國交を停止するに決定した、卽ちメキシコ政府は過般の革命によつて生じたエル・サルヴアドルの現アギレ政權を承認せず目下歸國中のサルヴアドルの駐墨メキシコ公使は同國との國交關係が常態に復するまで歸任を見合はせるであらう、一方メキシコ政府はメキシコ駐劄のエル・サルヴアドル外交代表との交涉をも停止し、サルヴアドル公使館は警官隊の監視下におかれるであらう

なほエル・サルヴアドル前大統領モラナスは目下國外に亡命中であり、メキシコ政府はこの亡命政權を支持してゐる模樣だ

グワテマラで叛亂勃發か

(リスボン十六日發)AP通信社がグワテマラ放送として報ずるところによればグワテマラ市から四十粁のサンタ・ナ市でまたも叛亂が起り、叛徒は早くも兵營を奪取して同市を占領したと傳へられる

【東亞】

蔣介石との一問一答

(リスボン十三日發)重慶來電＝蔣介石は最近一英記者とのインターヴユーで重慶の當面する諸問題につき次のやうな一問一答を試みてゐる

問＝英國民は重慶軍と共產軍との分裂が續いてゐることに頭を惱まし、貴下が何故共產軍と一緒になつて戰はないのか不思議に思つてゐる、貴下の見解から事情を說明されたい

答＝わが政府と國民黨はこの問題を解決することに關心を集中してをり、これに關聯する宣傳にはほとんで注意を向けてゐない、これが現在の事情についての說明である、重慶政府は最大の忍耐をもつて中共問題の解決に努めてゐる、自分は過去一年間に情勢は改善されたと考へる、國民達は黨員以外の者が國民政府に參加することを未だかつて阻止したことはない、事實國民黨は他の一切の政黨政派の協力を歡迎するものである

問＝貴下の將兵が英雄的であることは疑ひないが、その將兵が十分な給食と待遇を受けてゐないとの非難があり、外國の非難はこの責任は確かに政府にあるとしてゐるが、この點につき說明願ひたい

答＝われわれは重慶軍將兵の取扱ひと生計の改善について最善を盡してゐる、支那の不健全な社會機構は希望する改革を效果的に遂行することを困難にしてゐる、重慶は七年以上も戰つて來た上に三年間にわたつてがつちり封鎖され國內の物資不足と交通輸送の困難は增大してゐる、重慶の同盟諸國が重慶を非難する際にはこれらの事實を念頭に置いて貰ひたい

問＝戰後における英米ソ及び日本その他の諸國との關係について何か話されたい

答＝一方で自由と獨立を獲得すると共に、世界の平和と正義を護ることが重慶の戰爭目的であつた、從つて重慶は戰後においては一切の平和と正義の愛好國及び太平洋の平和に密接に關係ある諸國との緊密な協力に努めるであらう、日本の戰後組織その他日本の純粹の國內諸問題については自分は日本國民自身の解決に任せるのがよいと考へる、余並びに重慶政府は戰後英國との廣汎な貿易關係に期待してをり、自分は最近郭泰祺が行つた聲明を是認する、支那の工業化及び交通の改善と共に文盲狀態の驅逐と國家的敎育制度の樹立にも廣範圍な運動を起すであらう、しかしわれわれは民主々義的改革を採用するためには敎育計畫の遂行を待つことなく、これらは互ひに併行して進められよう

問＝英國民に對して特にメツセージを頂きたい

答＝われわれが勝利に近づけば近づく程重慶の犧牲は大きくならう、貴國もまた多大の犧牲を拂つてゐる、かかる事情のもとに重慶がその同盟國に現在最も期待することは一層の理解ともつと多くの同情と緊密な協力である

【英　帝　國】

希派遣は米ソに通告

（ストツクホルム十五日發）ロンドン來電＝外務次官ジョージホールは十五日英國下院の質問時間に際し次の通り述べた

英軍のギリシヤ派遣に先立ち英國政府は米ソ兩國に通告した、兩國ともにギリシヤ領土がいづれも英軍の作戰地域に屬する事實を承知してゐる

アンラ事業を重視

（ストツクホルム十五日發）ロンドン來電＝經濟戰爭相セルボーンは十四日上院において「アンラ」（反樞軸救濟復興會議）問題に關し次の如き見解を開陳した

アンラが成功するか否かは國際協力問題に對する決定的試金石とならう、アンラは國際協調における最初の大實驗である、この理由により政府は本事業に最大の重きを置いてゐる、來るべき數年に歐洲が直面する經濟上の諸問題は史上嘗てみざるほど重大なものであらう、この問題の解決はあらゆる國家の協力によつて始めて可能である

ロンドン中心部の損害

（リスボン十二日發）ロンドン來電＝內務省はロンドンの中心部ウエストミンスター區が過去五ケ年間に爆彈燒夷彈等によつて被つた損害を十二日次の通り發表した、因に同區には國會議事堂、官廳、ウエストミンスター寺院等の著名建築物がある

投下爆彈の種類は爆彈一、〇七一　流星彈三〇地雷一一、油脂燒夷彈九四であり、右による損害は死者一、〇九九、家屋全壞三〇〇、修復不能九〇〇、半壞その他二七、〇〇〇である

註西大使歸國

（リスボン十五日發）ロンドン來電＝マドリード駐劄大使テンプルウツドは職を辭し十四日空路ロンドンに歸還した

【ソ　聯】

最高會議の選擧再び延期

（モスクワ十五日發）聯邦最高會議幹部會は戰時下に鑑み最高會議の選擧を明年十二月まで延期する旨十五日發表した、最高會議は一九三七年の第一回選擧後獨ソ戰勃發のためまだ改選されてゐない

【歐　洲】

バパンドレオの退陣を要求

（リスボン十五日發）アテネ來電によればエラス兵團は英軍司令スコビーの休戰條件に對する回答においてパパンドレオ政權を解體し、新しい國民統一政府を樹立するならば、アテネ、ピレウス地區におけるエラス兵團の抵抗を停止する旨通告したといはれる

希政權軍壯丁動員

（リスボン十七日發）アテネ來電によればギリシア政權軍當局はアテネ市內に在住する一九三四年乃至一九四〇年徵集の壯丁を召集したといはれる

ムツソリーニ決意を闡明

（リスボン十七日發）ミラノ來電＝ムツソリーニ統帥は十七日突如ミラノを訪れ、ファシスト黨生誕の家である黨司令部の露臺に立ち次の通り演說、決意を闡明した

現在われわれの心を占めてゐる唯一の感情は嘗て强大を誇つた祖國イタリヤに對する深い愛情であり、われわれはこの愛情において如何なる犧牲を拂はうとも再び以前の强國イタリヤを復活しなければならない、イタリヤ北部に進駐した反樞軸軍は民衆の間に擡頭する抵抗に惱まされてゐるが、疑似「解放者」がイタリヤ民衆に對し政治的隷屬、經濟上の混亂、道德の腐敗を齎した外何等貢獻することなかつた事實は衆目の認める所であるから、民衆の反抗は當然の成行きだ、われわれは最後の勝利を獲得する日まで銃を下すことなく、斷乎として戰はなければならぬ

スペインを繞るデマを否定

（リスボン十五日發）過般來反樞軸宣傳機關はスペイン政府の危機を宣傳しフランコ統領が辭任したとすら報道したが、十五日ワシントンからのロイター通信はスペイン大使館當局の發表を次の通り報じてゐる

駐米スペイン大使カルデナス氏は本國外務省より、スペイン政府には何等動搖がないとの公電を接受した

昭和十九年十二月二十日(水)
第三二七六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

反樞軸國際航空會議(下)

木下秀夫

自由競爭か統制か

今度の反樞軸航空會議で最も顯著な對立を示したのは將來の國際航空を自由競爭に委ねるか、或ひはこれにある程度の制限、統制を加へるかの二つの主張であつた、無制限自由競爭主義を唱へたのは米國であり、統制主義を主張したのは英國である、この主張は國際航空機構問題でも、また國際航空路問題でもあらゆる討議を通じて一貫して流れた二つの大きな主義であり、換言すれば今回の航空會議は米英兩國によつて代表されたこの二つの主義の闘爭であつたといひ得るだらう、先づ「タイムズ」紙十一月四日のシカゴ特電を左に紹介しよう

各國代表の演說によつて航空政策に對する各國の態度が闡明されたがこれによつて明かとなつたことは、今次會議が克服しなければならぬ障碍が決して生やさしいものでないといふことであつた、英國、濠洲、カナダ、ニュージーランド、印度等英帝國からの諸代表はその演說において顯著な一致を示し、彼等は齊しく戰後民間航空には國際統制が必要であると主張した、就中濠洲、ニュージーランド兩代表は最も強い國際統制を主張し將來の世界の航空路を飛ぶ飛行機は國際機關によつて所有され、統制され、管理さるべきだとさへ述べた

しかるにこれに對して明確な對立を見せたのは米國の提案である、米國の提案はブラジル、パナマ、メキシコ等中南米諸國の支持を受けたがこれ等諸國代表の演說を通じて明瞭に看取されたことは、航空輸送の統制に當り國家の主權を國際機關に委讓することは反對だとの主張であつた、例へばメキシコ代表は各國がそれぞれその主權を主張することは國際航空に障碍となるかも知れないが、なほ航空事業の運營にあたつては、當該國が自國の利益に最も適したと見做す決定權を留保すべきだと主張した

二つの主張の背景

米國が何故國際航空の自由競爭を主張し、これに對して英國が國際航空にはある程度の國際的統制を加へる必要があると主張するかについては十分の理由がある、卽ち米國は何等の制肘、束縛をも受けない自由競爭によつて、壓倒的に強大なる航空生產力をもつて將來の世界航空を一手に支配せんと企圖してゐる、これに對し英國は自由競爭では到底米國と大刀打ち出來ないことを自覺してゐるが故に、國際取きめによる統制によつて米國の進出を阻止し、英國航空事業の安泰をはからんとしてゐる

これこそ米英兩國の眞の意圖である、しかし兩國共に表面的には飽くまでもその主張を體裁づけるためにそれぞれ御尤も千萬な口實をつけることだけは忘れなかつた、卽ち米國は自由競爭の主張を裏づける理由として、國際航空事業は純粹に民間企業とすべきであり、これに對しては各國政府の干涉は勿論、國際的統制の如きも最少限度にとどむべきであるとした、これに對し英國のあげた理由は小國殊に航空事業後進國の利益擁護であり英國代表スウイントンの口をかりれば「もし米國の解釋する如き航空の自由が實際に適用されるならば、それこそ小國の商業航空に對する直接の蠶食である」といふにあつた、兩國のかかる體裁のいい理由があくまでも單なる口實に過ぎないことはその後直ちに問題となつた國際航空組織の機構において、兩國共に小國の立場を無視した提案を行ひ、參加小國代表の猛烈な反對にあつたことによつて忽ちに暴露された

航空自由の是非をめぐる米英兩國の對立において特に感を深くするのは、嘗て世界最大の工業國海運國として「レツセ・フエール」の原則の下に通商の自由、海運の自由を主張した英國が、今やその立場をかへて、自由競爭に反對せざるを得ない狀態にまで追ひこまれてゐることである、ここにもまた、われわれは英國凋落のあとをみる

國際航空機關

航空會議において最初に問題となつたのは國際航空機關の組織及びその機能であつた、この點において米英兩國は先づ尖銳的な對立を示し、英國が國際機關に極めて強力な權限を與ふべしと主張したに對し、米國は航空自由の立場からこの機關は諮問的機能を果たすだけのものにせよと强調した、そしてこの爭ひにおいては結局米國が勝ちを占めて國際航空機關は、專ら技術的問題を管掌する諮問機關といふことに決定した、この航空機關を繞る米英の論爭では、小國は大體において米國の主張を支持してゐる、英國案を支持したのは英聯邦諸國だが、しかし印度の如きは英國案に反對し現に機關の名稱が當初の「國際航空局」International Air Administration は强權的な印象を與くるとの理由で「國際航空機關」International Air Arganization と變更されたのも、印度代表の提案によつてであつた

航空會議で決定された航空機關の組織大綱は次の通りである

△總會 Assembly

全參加國からなり年一回開催し、各國はそれぞれ一票宛の投票權を有す

△理事會 Baard of Directars

二十一ケ國代表より成り、うち八ケ國は「航空事業に重大な地位を占める」國から成る、その任期三年

△中間評議會 Interim Council

航空會議によつて決定された國際航空契約が各國政府の批准を得て發效するまでの期間は、暫定的に理事會の役割を果たす、理事會と同樣二十一ケ國代表から成り、會議で選出された評議會員次の通り、米國、英國、フランス、オランダ、ブラジル、メキシコ、ベルギー、ソ聯（同國が將來參加する場合）（以上八ケ國は航空事業に重大な地位を占める國）カナダ、印度、ノルウエー、イラク、ペルー（以上五ケ國は航空施設に最大の貢獻をなす國）重慶、濠洲、エヂプト、チエツコスロヴアキア、トルコ、エル・サルヴアドル、チリー、コロンビア（以上八ケ國は世界各地域を代表する國）

△所在地

中間評議會の所在地はカナダとし、具體的な場所はカナダ政府の決定に委ねる

原案と小國の反對

國際航空機關の原案となつたものは、米英加三國間に成立した妥協案であり、更にこの妥協案の根本となつたものは米國の提案であつた、しかるにこの米國の原案は航空機關の實權を握る理事會員を十五ケ國代表に限定し、しかもその代表の割合では米、英聯邦、ソ聯各々二、ブラジル、重慶フランス各々一とし、殘りの六代表をその他各國から選出するといふ全く小國の立場をふみつけにしたものだつた

かかる米國案に對して小國代表がいきり立つたのは當然で、特に注目されたのはメキシコ、キューバ或ひはパナマなど米國の完全な傀儡國と見做される諸國まで加はつた中南米十九ケ國が一致團結して米國案彈劾に起ち上つたことである、左に十一月六日の「デーリー・テレグラフ」紙のニューヨーク特電を紹介しよう

中南米十九ケ國は共同聲明を發し、理事會國を十五ケ國に限定し、しかも大國に二つの投票權を認めんとする米國案に眞向から反對した、彼等はかかる案が實現する時は、世界各國は一等二等、三等、四等國に分類さるべく、しかも航空機關は全く大國の傀儡機關に墮し去るだらうと主張した

米國がかかる國際會議において中南米諸國の結束した反對にあつたこと自體、米洲史上特筆すべき事件だが米國はこの反對によつて遂にその提案を引込め、大體中南米諸國をはじめ小國の主張を織込んだ前記の國際航空機關が採擇された

英國の敗北

國際航空機構問題をめぐつて英國の主張はその悉くが否決されたといつてもいい、まづ機構の權限問題では英國はこれに極めて强力な權限を與へ

昭和十九年十二月二十日(水)
第三二七六號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

國際航空の統制、管理機關たらしめんとしたが、米國の反對にあつて結局成立した航空機關が技術的諮問機關にとどまつたことは前述の通りである更にその構成においても英國はこの場合には米國と協力して横車を押さんとしたが、これまた小國の反對にあつて失敗に歸した、しかも最後に決定した航空機關中間評議會の代表割當ても決して英國に有利なものでない、これを「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙十二月七日のニユーヨーク特電がつぎの通り説明してゐる

中間委員會にたいする二十一ケ國代表の選擧の結果は英國にたいして再び新しい失望を與へた卽ち二十一ケ國を地域別にみると米洲が壓倒的多數を占めて八國、歐洲六國（ソ聯を含めると七國）中東四國、太平洋地域二國となるが、このうち英帝國は英本國を含めて四國に過ぎないしかも英國はカナダが當然第一グループの「航空事業に重大な地位を占める國」のうちに入るものと思つてゐたのに、これも實現せず、さらに印度も危く除外されるところだつたが、キユーバが辭退したので漸く印度の參加が實現した

五つの自由

航空會議が當面した今一つの難關は國際航空路協定の締結であつた、この場合においてもいがみあつたのは米英兩國であり、更にこのいがみ合ひも航空機構問題における同樣、國際航空の自由競爭を認めるか否かの根本原則をめぐる爭ひであつた、しかも航空機構を繞る衝突では米英兩國間に妥協が成立したものの、航空路問題では兩國間に最後まで妥協成立せず、會議は正にこれがために完全に決裂せんとさへした

米英兩國の主張の相違點を明らかにするために先づ會議で問題となつた「五つの自由」なるものの內容を說明しよう

第一の自由＝特定の空路により如何なる國の領空をも自由に飛翔し得る權利

第二の自由＝不時着、燃料補給等商業的目的を持たない着陸の權利

第三の自由＝一國がその本國から他國へ旅客、貨物を輸送しこれを荷おろし得る權利

第四の自由＝一國が他國から本國向け旅客、貨物を輸送するためこれを積載し得る權利

第五の自由＝數ケ國を經由する國際航空路において、一國がその中繼地間の旅客、荷物を自由に輸送し得る權利

しかして米英兩國間に正面衝突を來したのはこの第五の自由であつた、第五の自由を今少し具體的に說明すると、例へば米國が歐洲諸國を經由して印度に航空路を經營する場合、米國機が印度向け旅客貨物を輸送しまたその復航において印度から米國向旅客、貨物を輸送することは問題ないとして（第三及び第四の自由）その中繼地例へばポルトガルからイタリア乃至はスペインから中東への旅客、貨物の輸送をも自由になし得るといふのがこの自由である、米國はこの五つの自由を全部認めた航空路協定の締結を主張したにたいし、英國は第四までの自由はともかく、第五の自由まで認める時航空後進國が、航空事業の發達した國家によつてその國內航空まで壓倒される可能性が十分あるとの理由をもつてこれに絕對反對を表明した

米國の讓歩

この場合にも仲裁役を買つて出たのはカナダで同國は妥協案として中繼地における輸送を飛行機搭載量の五十パーセントに限るとの案を提出したが、英國の容れるところとならなかつた、かくて會議は事實上決裂狀態となり、十二月初旬には各國代表のうちには會議の前進に見限りをつけて引揚げ準備を開始した者さへあつた位だが、最後の土壇場で今度は米國が讓歩して、會議はあぶないところで決裂をまぬがれた、米國が五つの自由を包含した航空協定は航空規約の附屬文書として扱ふことに同意したのである

かくて會議において決定された航空規約の內容はつぎの四協定を含むこととなつた

一、第一及び第二の自由を認めた國際航空路協定

二、國際航空機關設定に關する協定

三、航空關係資料、統計の交換に關する協定

四、航空規約違反國にたいする罰則協定

これに附屬文書として米國の主張した五つの自由を含んだ航空協定が附加され、各國代表はその自由意志においてこの協定に調印し、調印國相互の間で二國協定を締結することとなつてゐる

「友好的誤解」

今回の航空會議の結果を批評してスペイン新聞アリバ紙は要旨左の評論を掲げてゐる

シカゴの會議で滿足した者は一人もなかつたらう、この會議に參加した各國代表はいづれも、明日の世界もまた昨日の世界と同樣鬪爭の巷と化すことを今更の如く認識したに相違ない、米英兩國はシカゴにおいて再び「友好的誤解」に到達した、如何なる樂觀論者と雖も今度成立した「航空國際聯盟」が三年以上存續するだらうと本氣に考へる者はあるまい

實に今度の航空會議こそ、ソ聯の不參加によつて會議が開催前からその意義の半ばを失つた點といひ、米英兩國の我利々々主義が正面衝突を起し、或ひは大國の專横に對して小國が反抗し、反樞軸陣營の寄合世帶ぶりを遺憾なく發揮した點といひまた會議が殆んど實質的な結果を得ずに終つた點といひ、正に反樞軸會議の定石的經過を辿り、典型的な性格を示したといひ得るであらう

米英兩國が會議の結果に滿足しなかつたことは斷るまでもない、これを最も明瞭に示したのは會議がいよいよ最後の幕に近づかんとしてゐた十二月二日に、米國政府が突然スペインとの二國航空協定の成立を發表したことだ、米國が眞に有效な世界航空協定の成立を期待してゐたならば、かかる二國協定を締結する必要が何處にあつたであらうか

英人兵士氣質

長谷川才次

一死君國に殉ずる特攻隊の精神が碧眼紅毛の徒輩にわかるわけはないが、古來征戰幾人か還るといふ東洋人の諦觀も、アングロサクソンの辭書にはないらしい、英國内の女性數千が印度戰線における夫を歸して欲しいといふ嘆願書を出して、陸相サー・ジエームズ・グリツグに一蹴されたのは二ケ月ばかり前のことと記憶するが、各戰線における出征兵士の歸休が目下英國における最大問題の一つだ、最近前印度省次官ミユンスター卿が印度の前線を視察してロンドンに歸つてきたが、特に英國兵の待遇についての報告が英國政界の關心の的となつてゐる、勞働黨のパーカーがアメリー印度相に對し「印度戰線の英國兵は煉り齒磨き一本買ふのに七志六片も出さねばならぬといふが、眞相如何」と質問したところ、印度相は

「作戰地區においては酒保が兵士に必要品を供給してをり、齒磨きは大きさに從つて七片から二志三片半だ」

と答辯した、印度における英國兵の待遇と本國歸休とについては、その後も英國下院で質問が絶えない

頻りに歸休を煦ふ

保守黨のガンマンス大尉は以前神戸の總領事なぞを勤め英國では日本通で通つてゐる「地中海戰線並びに東亞戰線で兵士の歸休を決定するのに、妻帶者に優先權を與へてゐるか」と質問したところ、チヤーチル首相が自身で次の通り答辯した

「選定問題並びに選定方法は最高司令官の掌中にあり、イタリア戰線では籤引きによつてゐると諒解するが、第一回の報告ではこの方法が非常な滿足を與へてゐるといふことである、いづれにせよ妻帶者と同樣獨身の兵士も感情を持つてゐるのだから差別待遇は出來ない」

また保守黨のハチンスン少佐が「戰時における海外服務が辛いのに鑑みて、外國出征兵士の歸休尺度を增加することを考へないか」と質問したところ、同じくチヤーチル首相は

「尺度はすべて關係ある各般の要因を極めて愼重に考慮した上で取極めたのである」

とてんで相手にしない

東南アジア軍では通信隊(Signals)の歸休が特殊の問題になつてゐるらしく、陸相は書面回答で

昭和十九年十二月二十日(水)
第三二七六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

次ぎの通り述べてゐる

「バイソン案（Python Scheme）に基いて歸國出來る通信隊員の歸國が延期される場合には一々印度軍司令オーヒンレツク將軍に廻付し極めて愼重に檢討した上で初めて裁斷が下される陸軍省は過去三ケ月間に印度戰線から歸還した通信隊員の二倍の兵員を東南アジア軍に派遣してゐる、印度軍最高司令官は現在の豫定では、今年末までに三年五ケ月間海外で服務することになる通信隊員全部を一九四五年四月までに英國向け乘船させる旨を約束してゐる」

印度戰線の英帝國第十四軍は「忘れられた軍隊」（Forgotten Army）として少からず不滿だが、この點についてもチヤーチル首相と次のやうな應酬が繰返へされてゐる

ジョインソン・ヒツクス少佐＝ビルマ作戰の特別の缺乏と困難とに鑑み、右作戰に參加した將兵に對し出征星徽章（CampaignStar）を授與するよう推薦する氣はないか

チヤーチル首相＝去年末までに一九四三箇の星徽章を出してゐる、現在星徽章の問題を檢討してゐるがビルマ戰線も右調査に含まれてゐる、クリスマスまでに下院に十分纏つた聲明を出したいと思ふが、その結果事情は非常に違つて來ると思ふ

ヒツクス少佐＝以上の首相の言明は第十四軍を忘れられた軍隊と考へるに傾いてゐる人々に非常な滿足を與へるだらうことを首相は諒承してゐられるか

チヤーチル首相＝イエス・サー

心配の種は東亞轉戰

白書の討議に當つてはケタリング選出保守黨議員プロフユーモ大佐が態々イタリア戰線から馳けつけ次の通り述べてゐる

「國の內外における英國人の大多數は復員に關する白書が根本的には健全で公正だと考へてゐるが一定部分についてはさらに批判の餘地があるとみてゐる、特にイタリア戰線で勇敢に戰つてゐる將兵にとつてかく死活的な重要な事柄について、下院は彼らの聲に傾聽せねばならないと思ふ、各個人にとつてかく非常に重要な個々の場合を果して何人が決定する權限を持つてゐるのか承り度い、現地の各司令官が必要缺くことが出來ぬと考へられる兵士の氏名と年齡群とを取纏めては如何、殊に專門家で出征してゐる兵士には更に補償を拂ひ最後に除隊する場合に公正な就職が出來るよう十分考慮してもらひたい、歸還兵士の就職に關する計畫が闡明されれば、各戰線を通じて英國兵は何れも滿足するだらう、すでに開戰前補助兵力に志願出征してゐる男女は普通の取極めに先立つて除隊してやらねばならない、殊に東亞戰線に出征してゐる女子の數は最少限度に制限するやうあらゆる努力を拂はねばならぬ、女子に對して衣料手當として十二磅十志しか出さぬのは寔にケチ臭いと思ふ、海外に出征してゐる女子が結婚のため歸國したいといふ場合には、歸國させるのが當然である、地中海戰線における兵士たちはさらに東亞に派遣されるのではないかと懸念してゐる、兵士たちは本國に歸れるといふ樂しい夢の間にも、西部戰線乃至本國からの兵士ではなく自分達がまた東亞に派遣されるのではないかとの不安を免れることが出來ない、勿論そんなことはないと信ずるが今日政府がはつきり保障を與へれば多くの兵士達は安堵するに違ひない、卽ち何等か歸休を貰はぬ限り如何なる兵士と雖も現在の戰線から東亞に派遣されないといふことが政府の政策でなければならぬ、歐洲戰爭が終る際に二年乃至三年繼續して海外で服務してゐる兵士に對して、白書に規定された分類よりも一つだけ順位を繰り上げて本國歸還を許して貰ひ度い、これらの兵士を歸國させ且つ增援軍を派遣するのに船腹が足りないとの議論には承服出來ない」

以上の質問に對し勞働相サー・アーネスト・ベヴアンは次の通り答辯してゐる

「白書は決して最終的な復員計畫ではない、一方の戰爭が他方の戰爭よりも先に終了する場合の複雜な問題を何とか處理しようといふ企圖に他ならない、出征兵士の歸國だが、復員の場合には東亞に尨大な兵力を派遣するので船腹に對する要求が極めて大きいことに留意せねばならない

ビルマ戰線に赴く部隊の編成に際しては、人力の及ぶ限り――これは言譯のつもりではないが――ビルマ戰線に派遣するに先立つて本國における歸休の期間を工面しよう、男女兵士の除隊に際しては復業に必要な財政上その他の援助を與へる方針であり、且つ無料で職業訓練も與へる豫定である計畫が出來次第下院で發表し且つ小冊子に纏めて出征兵士に配布しよう」

勞働次官マクコルクデールもまた

「特に配慮を要するのは東亞戰線の兵士である、當局としては除隊させる兵士は出來るだけ本國に伴れ歸り、代りは新に募集した兵士その他で補充する方針である」

と述べてゐるが、女子は「良人遠征を罷める」の日を指折り數へ、男子は「山寨うして夜中に泣く」遠戍の人に他ならない

苦情は復員にも數々御座る

「タイムズ」紙によれば結局チヤーチル首相は十一月十七日下院において「海外服務期間の短縮に關する各方面からの壓迫」に言及し、次の通り斷案を下してゐる

「問題を片付けることは出來ぬが、久しい間家族と別れてゐる人々に對してはあらゆる同情をもつて、問題に近付いてゐる、陸軍省の長期海外服務兵士の歸國案の他に、更に歸國の資格がない兵士に對する歸休案も出來てゐる、歸休案によればイタリア、北アフリカ、中東、ペルシヤ、イラク、印度、東南アジア、アフリカ各戰線に亘り、一ケ月約六千人――一年のうち十三、四週間は八千人――宛本國に歸休させることが出來よう、勿論緊急な同情すべき理由で歸國出來る場合の取極めは別途である」

復員白書については勞働相サー・アーネスト・ベヴアンは特に次の三點を上げ併せて次の如く述べてゐる

一、人的資源に關する統制の緩和

二、兵員の徵募は十八歲から二十七歲まで

一、軍隊には新に女子を募集しない

更に根本的な原則として、軍需工業に留めておくために個人的に少からず困難を感ずる一定級の人々は退職することを許すこととし、かつ勞働力の再配分にあたつては出來る限り自由發意によりやむを得ない場合に限つて强制することとしたが勞働力の移動については政府において依然留保せねばならぬ最少限度の統制權限が必要である

白書は歐洲戰爭が片付いて東亞反攻作戰に移る場合の人的資源について規定してゐるのだが、兵士の徵募年齡は現在の最高三十五歲を二十六歲に思ひ切つて引き下げたわけだ、ただし海外出征兵士の年齡を十九歲からにせよとの要求に對しては陸相が「その結果海外服務のために訓練された兵員數が著しく減少するから」との理由で拒否してゐる

ソ聯短信

モスクワ坂田特派員

戰時ではどの國も必要に迫られて祕密主義に陷らざるを得ぬがそれでもソ聯ほど祕密主義の國はない、そのためソ聯は謎の國だといふやうな考へにとらはれるのだが、ソ聯の國內情勢を知るためには寧ろソ聯以外の報道に賴る方が早道だといふ結論さへ出て來る、實際ソ聯の新聞の國內情勢に關する報道は酷く現象的で結局何の摑みどころもないので以上のやうな結論も飛び出すのだが外國の報道も怪しいものだ、根據の薄弱なことを自信たつぷりで報道するならばまだ良い方だが、まるで有りもしないことを特種と稱して得々と報ずるに至つては全く始末に困る、たとへば交戰各國が大なり小なり食糧不足に苦しむのは事物の自然の法則でソ聯は勿論ドイツも御多分に洩れぬ筈だが一時ソ聯が例の「ヴオルガの饑饉」よりももつと酷い食糧難に陷つてゐるといふ報道が市民權を獲得して、ソ聯の「深刻」な食糧饑饉を眞面目に論ずる向もあつたくらゐだ、一事が萬事かういつた調子で「ソ聯の眞相」と銘打つたものが一向に眞相を傳へてゐないといふのが實情であるが實際ソ聯の國內事情を組織的に研究することはパミール

高原に飛行場を建設するよりも難しい、そこで脫け路はソ聯の新聞雜誌に散見する片々たるニュースをそのまま傳へてソ聯の國内事情を「推察」する何等かの材料にと考へたのだが、さして關係のないことや數脫みの報道が混つてゐたら記者の勉强不足といふことで大方の寬容を乞ふ

農業機械化要員の養成＝獨ソ開戰以來三年有餘を閱したソ聯も當然食糧事情の困難に遭遇してゐるが、解決の一方法としてソ聯當局が採つてゐるのは農業機械化の一層の推進だ、十一月二十九日附のソ聯各紙は明年度における農業機械化要員、（カードル）の養成につき政府の方針を傳へてゐるが、それによると一九四四年及び一九四五年度に共產農場（コルホーズ）と國營農場（ソヴホーズ）はトラクター運轉手十九萬二千名以上、コンバイン運轉手三萬四千名以上、コンバイン運轉助手四萬六千名、トラクター隊長一萬七千六百名、農業機械工八千名以上、自動車運轉手千三百名、修理工二萬七千名を養成しなければならぬことになつてゐる、この養成された農業機械化要員はいざといふ場合には前線に出て戰車、自走砲車、裝甲車を運轉し修理する含みがある譯だが、共營農場員、MTC（機械トラクター配車場）員、國營農場勞働者で滿十六歲以上の男子は洩れなく學校に入るか講習を受けなければならぬ、そのほかにMTCと國營農場はトラクター運轉手十五萬名、コンバイン運轉手二萬五千名以上を二ケ月間の訓練講習に出さなければならぬことになつてゐる、最後に聯邦人民委員會議は各共和國人民委員會議聯邦農業人民委員部および地方ソヴエトに指令を發して、トラクター隊長の技術向上のため本年十二月一日から明年三月一日までの間に一ケ月半の講習を實施させることになつた、農業機械化の程度では米國を凌ぐとまでいはれてゐるソ聯が今なほかうした努力を續けるのはいろんな意味の解釋が出來ようが、やはり人的資源の不足に基くもので、恐らく政府は農業機械化要員として女子の活躍を期待してゐるのであらうし、「年寄の冷水」どころか六十のお婆さんが捻り鉢卷で進んで講習を受けてゐるといふ話はソ聯の底力を示す一材料として大いに考へさせられるものがある

モスクワ・サラトフ瓦斯管敷設計畫＝サラトフからモスクワまでは大略に見積つても七百粁以上あるが、七百粁離れた兩市間を天然瓦斯の輸送管で結ばうといふ思ひ切つた大計畫が發表された、瓦斯饋饗といふやつは直接統後のお臺所に關係するためおかみさん連の大問題だが、スターリンはモスクワの瓦斯不足を解決するため以上の建設を提案したのだが、決戰下喰ふか喰はれるかの戰爭遂行に忙殺されてゐるスターリンがかうした細かいところまで神經を働かしてゐるのは褒めてよい十二月九日附のソ聯紙によれば、モスクワ市ソヴエトは第十七回會議の席上瓦斯管敷設計畫に關する一切の問題を一瀉千里で決定したといはれ、書類にべたべた百判の行列を作る手數をはぶいてゐるやうだ、國防委員會の決定では一九四五年十二月までに建設を完了する手筈だが完了の曉にはモスクワ市の瓦斯資源は從來の五倍となり、市内數萬のアパートは瓦斯の大增配をうけるほか、浴場病院、洗濯工場、麵麭工場、學校、各種工場、發電所等などもたつぷり燃料の恩澤にあづかることになるわけで、建設工事長にはパチキン技術兵少將が任命された

罹災者に家を＝獨ソ戰は廣大な國土を戰場と化した結果家產を喪つて寒空に暖い隅を求める國民は尨大な數に上るが、政府は回復地域の住宅問題を解決するため二億五千七百萬ルーブルの巨額に達する住宅建築資金貸與費をこの程計上した、戰前には住宅建築資金として計上されてゐたのは年一億ルーブル程度であつたが、十二月六日のソ聯紙によれば回復地域の住民は誰でも借りることが出來ることになつてをり、金額は七千ルーブルか一萬ルーブリ限度、返還期間は七ケ年とあり、買つてから一ケ年以内に建築を終へたものは五千ルーブルだけ棒引の恩典を浴することになつてゐるもつとも資金の貸付と建築材料の供給は癈兵（嫌な言葉だ）や出征遺家族、遊擊隊家族に優先的に行はれ、建築材料は無料で供給されるわけだ、公營事業、および住宅建設中央銀行（ツエコムバン

ク）の發表によれば、本年一月、二月の二ケ月間における住宅建築資金貸與額は既に一億七千萬ルーブルに達し、回復地域の住民一萬四千名に貸付けたとある、主なものはレニングラード、ウオローネジユ、スモレンスク、ブリヤンスクの各州で東部工業地區にも多額の貸付が行はれてゐる、チエリヤビンスク電氣工場などでは煉瓦工や木工隊を組織して仕事から退けると同工場の勤務員や勞働者の住宅建設に積極的に應援してゐるといはれるが、住宅建設資金貸付銀行の副支配人コズロフの言明によれば、明年度には資金額は三億ルーブルを超過する見込みといふことだ、もつとも資材の不足が難點で、現在のところ輸入に俟つほかはない

ドニエプロストロイ再建＝獨ソ開戰後ドイツ軍の猛攻撃に直面したソ聯は焦土抗戰の建前から多年の歳月と幾多の貴い犧牲を拂つて建設したドニエプル發電所の大ダムを破壞したが、十二月十四日のタス報道によればドニエプル發電所長ロギノフの總指揮の下に數ケ月前から再建工作に着手、約十萬の勞働者が晝夜兼行で工事の進捗に努めてをりすでに八千トンの混凝土充塡工事が濟み、ダム上の鐵道復舊も完了したといふことだ

第一回砲兵紀念日＝赤軍の强みは火砲の力にあるといはれスターリンも「砲兵は戰爭の神樣」といつてゐる位だが、ソ聯には赤軍紀念日や海軍紀念日、空軍紀念日はあるが砲兵紀念日がない、これではならぬといふわけで最高會議幹部會は十一月十九日を砲兵紀念日と定めた、この日最高會議幹部會は赤軍の火力强化に努めた勞を犒ふため兵器製造人民委員ウスチーノフ、彈藥人民委員ヴアンニコフ、迫擊砲人民委員バルシンにクツーゾフ功一級勳章を授與、またヴオローノフ砲兵上級元帥、チスチユーコフ、ヤコヴレフ兩元帥にもスヴオロフ功一級勳章を授與した、そのほか中央火砲製造局や兵器製造人民委員部の二局がレーニン勳章を貰つたが、面白いのは前出のヴアンニコフとウスチーノフが技術砲兵大將に、パルシンが技術兵大將に任命されたことだ、同日のイズヴエスチヤ紙によれば赤軍は通常要塞線突破のため一粁の戰線に二百五十乃至三百門の大火砲群を集結するといふことだが、パルシンの言明によれば一九四四年度の迫擊砲生産は一九四三年度の八倍に達し「カチユーシヤ」砲も大量生産の段階に入つてゐるといふことだ、又ウスチーノフの說によればソ聯火砲工業は戰前既に四十五粍及び五十七粍對戰車砲を生産してゐたが、遠距離砲は三十七粍砲だけであつた、しかるに戰爭中世界最强力の自走砲を生産するに至つたといふのだが、更にヴアンニコフによると戰爭の第一年目には彈藥工業の四十パーセントが東部に疎開しなければならなかつたといふことだ、兵器彈藥の生産は國家防衛委員ベリヤの統轄するところだが、戰前の立ち遲れをあれだけ克服した力はすさまじいものがある

北氷洋防衛章制定＝獨ソ開戰以來ソ聯は吃驚するほど澤山の勳章や功勞章を制定したが最近また一つ增えた、最高會議幹部會は十二月六日「北氷洋防衛章」を制定、赤軍及び海軍兵士、市民で北氷洋の防衛戰參加者に授與することになつた、これでソ聯の防衛章は七つあることになつた、いはくレニングラード、スターリングラード、セヴアストーポリ、オデツサ、モスクワ、カフカズに今回の北氷洋

パパーニンにレーニン勳章＝北氷洋で思ひ出したが、最高會議幹部會は一九三七年北氷洋探險隊を組織して世界に令名をはせたパパーニンの生誕五十年を祝して十一月二十六日レーニン勳章を贈つた、パパーニンは北方海路局長だ

ヴアルガにも＝もう一つレーニン勳章の話、「世界政治經濟年報」で日本にも知られてゐるソ聯學士院會員エヴゲーニイ・ヴアルガも十一月二十一日レーニン勳章をもらつた、ヴアルガは「世界經濟と世界政治」誌の編輯長、モスクワの世界經濟研究所長だ、一八七九年にハンガリーに生れたとあるから今年六十六歳、ベラ・クーンの革命には財務人民委員となり、一九二〇年のコミンテルン第二回大會に出席、同年ソ聯共產黨に入つた、一九三四年以來世界經濟研究所長の椅子に坐り、多くの著書を發表してゐるが「世界資本主義經濟の危機」は特に有名である

昭和十九年十二月二十日(水)
第三二七六號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

コマロフに「社會主義勞働の英雄」＝序でだからもう一つ、最高會議幹部會は去る十月十四日、ソ聯科學々士院總裁コマロフに「社會主義の英雄」稱號を贈つた、コマロフは本年七十五歳、一九三六年以來科學々士院總裁の地位にあり、世界的な植物學者、特に滿洲、朝鮮、カムチヤツカにおける植物の研究は有名だ、聯邦人民委員會議はコマロフの功勞を紀念するためコマロフ奬學會を制定、毎年植物學に關する最も優秀な勞作に二萬ルーブル賞金を與へるほか、機線で仆れた科學者の子供を收容するためコマロフ名稱子供の家を建ることに決定したといふことだ

森林研究所創設＝ソ聯科學々士院は最近森林研究所を創設したが十一月二十五日の「イズヴエスチヤ」紙によると既に活動を開始してゐるといはれる、森林研究所は五實驗所と一經濟局のほか二個所に試驗林を持つてゐる、一はモスクワから二十粁離れたところにあり他はボリソグレプスク附近にある、特にボリソグレプスク附近の森林地帶は十八世紀の初め以來ずつと保護林に指定されてきたものだ、研究所の使命は林業の再建と合理化のため研究活動を行ふにあり、特に科學的造林方法の研究に主力を注き新變種の發明、樹木の迅速な育成、上質木の生産に努めることになつてゐる森林研究所長は學士會員のスカチエフ教授だ

「油がなければ車は動かぬ」＝今度は方面を變へていづこも同じ袖の下の話、十一月二十二日附の「イズヴエスチヤ」紙に面白い賄賂の話が載つてゐた、クイブイシエフの某工場の管理人は工場生産品を早く前線に送らうといふ全くの善意から停車場の發車係に二リットルの石油を鼻藥に嗅がせて貨車を早く廻して貰つた、ところがこれが曝れて裁判所の呼び出しとなりとどの詰り贈賄罪で處罰されることになつた、可哀想なのは當の管理人氏で單に個人的な利益に基いてやつたなら贈賄罪にもならうが唯だただ工場のためにやつたのだからと縷々陳辯したが、裁判官は頑として聞かない、結局上級法院から最高法院へと上訴したがやはり贈賄罪の斷だ、といふと如何にもソ聯の法律は義理も人情も辨へぬといふ非難もあらうが、共産主義の字引には賄賂といふ言葉はないといふことを建前としてゐるソ聯は泣いて馬稷を斬らねばならなかつたのであらう、それで思ひ出したが、ザスラフスキーと並び稱される有名な記者のリクリンは十月十三日のプラウダ紙に「泣いて馬稷を斬る」といふ小論を寄稿、次の通り述べてゐる

ソヴエト市民を賄賂使といふのは堪らないことだがどうにも仕樣がない、われわれは昔の本で賄賂を讀む程度でほかの古い埃と一緒に賄賂を掃除した筈だ、ところが最近どこかに卑怯な男が顏を覗かせて再び黴臭い埃を復活させようと圖つてをり、「油がなければ車が動かぬ」といふロシヤの古い諺が流行り出した、例へばペンザ停車場のある上級驛員は一籠の鰊と四十瓶の鹽を鼻藥に申し受けたが、かかる徒輩に油がなくとも車が動くことを教へるために嚴罰に處さねばならない

「卽興詩人」ソ聯訪問＝「プラウダ」紙のレニングラード特派員の報道によれば、森鷗外の名譯でわが國に知られてゐる「卽興詩人」の作者といふよりはデンマークの童話作家として世界的に有名なアンデルセンが、去る十一月三十日家族を連れてスウエーデンを經由レニングラードに到着したといふことだ、アンデルセンはドイツ軍によつて拘禁されてゐたが病氣のため一旦釋放され、その足でソ聯に逃れてきたのだが暫く滯在して「自由の空氣を呼吸する積り」といふことだ

天山探險隊歸還＝十二月五日のソ聯紙によるとソ聯邦科學學士院地理學研究所の派遣した天山々系踏査隊は五年間に亘る探險の後モスクワに歸還したと、いふことだ、天山山脈はソ聯でもあまり調査の手の伸びてゐないところだが踏査隊はカザツクスタンからキルギジイヤに至る四十萬平方粁の地域を地圖に收めた後、今日まで最高峯とみられてゐたイウエグリ・カーン峯より百五十米も高い峯を發見したらしい、また海拔四千米のイスイク・クーリ湖地區に世界最初の地理學研究所をつくり遠征隊員の手で目下研究が進められてゐる、同研究所は主として地殼地震上の過程を調べる筈だ

スイル・ダリヤに灌漑ダム＝カザツク共和國のクズイル・オルダからの報道によると、同市から十粁ばかり離れたスイル・ダリヤ河のダム建設工事は戰爭勃發のため一時中止されてゐたがこのほど再開されたといはれ、完成の暁はソ聯有數の大灌漑網が誕生する筈だ、同ダムは九十八萬八千エーカーの土地に水を供給することになるが、工事には六百五十萬立方米の掘鑿と八萬五百立方米の混凝土工事を必要とするといはれる

ソ聯の外國語熱＝ソ聯有數の軍事評論家エルヤショフは最近ソ聯を世界最大の强力海軍國とする必要を力說して各方面の關心を集めたが、ソ聯海軍が世界に覇を唱へるために必要なのは語學だといふ譯で十月十三日の「クラースヌイ・フロート」（海軍機關紙）は次の通り外國語習得の必要を述べてゐる

「最近海軍のみならず各方面で語學熱が昂つてゐるが、中等學校は英語かドイツ語を必修課目にすることがどうしても必要だ、第一次大戰當時にはロシアはドイツ語の緘口令を布いたが、ソ聯は敵の言葉を寧ろ歡迎してゐる位だ、高等程度の學校は語學教育に力瘤を入れ、多數の青年男女が、英獨、佛、西、伊語を教へるために師範學校に入學してゐるが、なんといつても英語とフランス語が人氣を集めてゐる、また日本語を教へる東洋語學校があり、レニングラード、タシユケント兩大學には東洋語科が開設されてゐる、ロシア海軍の褒むべき傳統は外國語をよく學ぶことだ、現在海軍關係の各學校は外國語教育に考慮を拂つてゐるが一段と努力が望ましい、特に海軍士官は會話に熟達する必要がある、たとへばウオロシーロフ海軍大學は特に會話の課目を設けてゐるが、學生は習得中の外國語で會話をする必要がある、一部の者は外國語の勉强は難しいといふが、勿論外國語の勉强には辛棒が必要だし、一月や二月で大家になれるものではない、マルクスは五十歳でロシア語の勉强を始め、遂にゴーゴリやチエルヌイシエフスキーを原文で讀みこなせるまでになつた、外國語の勉强には年齡は問題でない、ソ聯海軍は將來强力な艦隊を有し、ソ聯の船は七つの海を渡ることにならうが、その際一番必要なのは外國語だ、從つて海軍學校の卒業生は一人殘らず外國語を完全にあやつれることが絶對に必要である」

資料

噴霧式消火法

「ポルテイモア・サン」紙

米國の消防隊は從來のホースと違ひ瀧のやうに分れる水流をもつて消火することに驚異的な成功を收めつつある、水しぶきまたは「噴霧」はこの世代の消防活動において最も著しい進歩の一つだ最初は油の火を消すために考案されたのだが、結局山火事だらうが飛行機の火事だらうが、あらゆる種類の火災に對して有效なることが明らかになつた、米國海軍には噴霧技術を教へる消防學校が七つあり一萬人の生徒を養成してゐる、噴霧の劇的な效果の一つはそれが消防隊員に與へる保護だらう、噴霧を幕にして進めば、筒先（ノズルの尖端が直角に曲り長さは十五呎の筒）を振りまわしながらどの方向へでも向つて火熱を克服することが出來る、陸軍航空隊では噴霧ホースを飛行場の救急自動車の標準裝備として採用してゐる、救急自動車は筒先から水を噴出しながら火炎中を墜落飛行機に向つて驀直に突進する、この噴霧の中で救助作業が行はれるが、救助は三十秒以內、消化は一分以內に終る、試驗に際しては木造小家屋を建て、外周に薪を積んで五分間燃えさせた、屋根には空氣抜きの穴まで開けられてゐた、しかも一吋及び一吋半の噴霧ホースは六・五秒乃至四十七秒でこれを消火した、最も性能の良い三本の高壓噴霧ノズルはこの火を平均四・八ガロンの水で消し止めた、だが特に高熱の大火では熱のために噴霧が火點に到達する前に消散して了つた、またこの噴霧は奥深い森林などのやうに內面が灼熱した地區の內部における火災に對しても無效で、さうした場合にはやはり從來と同じやうな水柱式の注水が必要である

大正十五年十月廿八日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月廿一日(木)　第三二七七號

同盟通信 海外電報 (292)

昭和通信社　東京都麹町區日比谷公園二番　電話銀座(57)一四一一番

世界の焦点

條約は一片の反故なりといつたのは前大戰當時のドイツ宰相ベートマンホルウエツヒだつたと記憶するが、米國大統領ルーズヴエルトは十八日ホワイト・ハウスにおける記者團會見で「一九四一年八月大西洋上でチヤーチル首相と會つた當時、余もチヤーチル首相も完結した憲章には調印してゐない」と平氣で大西洋憲章を葬り去らうとしてゐる、「但し反樞軸各國は依然同憲章の諸原則を支持してゐると思ふが」とお茶を濁してゐるから大統領の眞意は捕捉出來ないが、要するにソ波兩國の紛爭について英國首相チヤーチルが判つきり大西洋憲章第二條を拋棄したのに做つて、米國政府も同憲章を一片の反故に化し去らうとする前提工作に違ひない

スフオルツア伯の忌避事件、ギリシヤ内亂に對する英軍の武力干渉、亡命ポーランド政權の見殺ろしと三重の衝撃によつて米英ソ三國の關係が重大な難局に逢着してゐるとは、ロイター電報の率直に認めるところだが、重慶中央社のワシントン電報に徴しても、歐洲の各小國に對する政策に關聯し、米英兩國の國論が沸騰してゐることは明らかだ、「與に患難を共にすべく、與に安樂を共にすべからず」とは謀臣范蠡が越王を去る時の捨てぜりふである、米英ソ三國はドイツに對する共同戰爭の遂行について利害と施策とが一致してゐるに過ぎない、歐洲戰爭が彼らの皮算用によつて末期に近づくとともに、共同の基幹に動搖を來たして逐次同床異夢の實狀を曝露するのは必然の趨勢であらう、英國内においても戰時の宰相としてのチヤーチル首相の役割は終つたといふ意見が漸く有力だ、「四時の序その功を成せる者は去る」秦の宰相蔡澤の故智に倣つて保身の道を講ずることを知らぬ所に、英國政界今後の禍根が萌してゐるのではなからうか

【目　次】

米英ソ三國關係の危機……三一八二
米國上院わき立つ……〃
チヤーチル言明を拒否……三一八三
獨軍怒濤の猛進撃……〃
獨軍攻勢「報道管制」……〃
抗戰團體の再武裝を要求……〃
【米　洲】
ステチニアス聲明全文……三一八四
英國に事前に通報……〃
外交の三問題……〃
瑞丁と航空協定締結……三一八五
太平洋空路開設希望……〃
ミンドロ上陸軍指揮官顏觸れ……〃
英國大使更迭か……〃
【英　帝　國】
勞働界政府を難詰……〃
佛航空相到着……〃
【歐　洲】
シチリア島騷擾續く……〃
佛航空會社を沒收……〃
友樞軸陣營亂れたり……三一八六
【特　輯】
佛ソ同盟の成立(上)……三一八九
【資　料】
戰時下英國海運界の業績……三一九三

英海運界の人的損害

(リスボン十五日發)ロンドン來電＝戰時交通省當局は十四日次の通り發表した

「英國はその海上輸送路を確保するについて開戰以來今年十月末日までに海運に從事する者三萬を喪失し、四千以上の船員を捕虜とされ、他に一千以上の不具者を出した」

米英ソ三國關係の危機

開戰以來の重大難局

（リスボン十九日發）スフオルツア伯忌避事件に次いで英國首相チヤーチルがギリシヤ内亂に對し武力干渉の手段にでて、更にソ波兩國の紛爭に關聯し大西洋憲章第二條を全く無視する解決案を發表した結果、米英ソ三國の關係は恐らく世界戰爭始つて以來の重大難局に逢着するに至つた、ロンドン各紙もこの際速かに三頭會談を開催して特に歐洲各國にたいする政策の調整を圖らなければならない旨を強調してゐるが、重慶中央社のワシントン特派員は米國内の空氣を傳へ十八日つぎの通り述べてゐる

對英輿論硬化す　解放された歐洲各國の政治上並びに國境線に關する現在の紛爭により、米國が將來再び極端な孤立主義にたちかへる危險が濃厚だ、ロンドン電報によれば英國政界筋では米英ソ三國間の「大同盟」が重大な困難に逢着するに至つたことを懸念してゐるといふが、ワシントン政界ではそこまで心配してをらず、いづれにせよ、米英兩國政府間だけでなくクレムリンとの政策調整についてあらゆる努力が傾倒されるであらう、英國首相チヤーチルが亡命ポーランド政權を事實上見殺しにしソヴエト政府の要求を支持したことはひとり米國の國論に深刻な衝撃を與へたばかりでなく、戰爭始つて以來米國言論界に曾て見なかつた位英國並びに首相チヤーチルに對する辛辣な批判が殺到するに至つた、ギリシヤ内亂に對する英軍の武力干渉、ソ佛兩國間の相互援助條約、並にローマ、ブリユツセル政界の諸困難等々に就て米國の國論は重大な懸念を抱いて成行を重視してゐる、一部ではもし米國政府が歐洲における權謀外交の再現を公然非難すれば去る八月ワシントンにおける會談で輪廓が出來た世界安全保障機構は崩壞するのではないかと懸念し、むしろ英ソ兩國の政策を世界的機構への第一歩としての局地的な實際的解決案と看做すのが正しいのではないかといふ議論も出てゐる、歐洲大陸に對する英國政府最近の施策については米國内に議論百出の有樣で特にこの際英帝國の生命線を維持することによつて英帝國の權益擁護を策してゐるに他ならないとの見方が有力だ、或ひは英國政府は民主々義的な過程を捨てて勢力範圍と權謀外交によつて自國の立場を擁護しようとしてゐるのではないかとの意見も出てゐる

紛爭阻止に三頭會談か　國務長官ステチニアスは十八日聲明を發表しソ波兩國間の紛爭を例外と看做し直接關係してゐる當事國の「相互的諒解」によつて解決される場合には米國政府において別段反對をしない旨を述べたが同時に米國政府としては特定の國境線を保障するわけには參らないとつけ加へてゐる

いづれにせよソ波兩國間の紛爭に關する英ソ兩國の解決案は英國政界筋に深刻な不安を惹起し一部にはルーズヴエルトとチヤーチルとの間に歐洲の解放された各國に關し何等かの密約が出來てゐるのではないかとの見方さへ擡頭してゐる、米國勞働總同盟の如きは早くもカーゾン線Aを基調とする解決案に英國政府が同意したことを非難する聲明を出してゐる、結局ルーズヴエルト、チヤーチル並びにスターリン議長が一月にでも會談を遂げ、最近のやうなもろもろの紛爭が再び持ち上るのを阻止する何らかの方式をとり極めることが要望されてゐる

米國上院わきたつ　（リスボン十九日發）ワシントン來電＝上院本會議は目下國務次官グルーをはじめ國務次官補五名の任命承認問題をめぐつて討議を續行中だが、この討議ははしなくも米國政府の對歐政策の貧困に對する上院議員連の不滿の爆發となり稀にみる緊張した場面を展開するに至つた、就中共和黨を中心とするルーズヴエルト反對派議員は彼等の鬱憤をぶちまけるのはこの時とばかり一齊に政府の外交政策を攻撃してゐるが、共和黨の重鎭でルーズヴエルト外交反對派の急先鋒として知られてゐるカリフオルニア州選出の例のハイラム・ジョンソンは十八日の討議で老軀をひつさげて壇上に起ち次の通り演說した

ギリシヤその他歐洲小國の民衆は米國が供給した武器によつて野良犬の如くに打ち殺されてゐる、米國はこれら小國に平和な生活を確保してやらねばならぬ、これら小國が力によつて屈服せられ打ち殺されるやうな事態を見逃してはならぬ、これら小國における流血と殺人行爲とは斷乎停止せしめねばならぬ、平和を回復することこそ米國の使命であることを表明すべきだ

昭和十九年十二月十一日(木)
第三二七七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

チヤーチル言明を拒否

(ストツクホルム十九日發)ロンドン來電によればチヤーチルのギリシヤ政策に對しては國論の反對依然として強く、バーミンガムだけでも三十萬の勞働者が示威大會に參加したといはれる、英國下院においては十八日の質問時間に際し先づ勞働黨の領袖アーサー・グリーンウツドが「ギリシヤ國内の情勢に關し英國民が非常な不安を感じてゐるから議會がクリスマス休會に入るに先き立ち何等か聲明しては如何」と質問したところチヤーチルは討議を野黨が強要する場合には信任投票に問ふ他はないと威嚇し次の通り答辯した「ギリシヤ政策について聲明する場合には續いて討議が起るだらうが休會前には十分討議を盡す時間がない、内閣彈劾決議案の形式で質問が提出されぬ限り聲明することは出來ない」

ここにおいてグリーンウツドは「彈劾決議案の問題ではない(ヒアヒアの聲起る)事態が惡化したために報告を求めるのは下院の當然の要求である」とたたみかけたところチヤーチルは「事態が惡化したとは思はない、大いに改善されたが今すぐ討議しないでもつと適當な機會を待つのが至當だと思ふ」と強辯した、しかし野黨は容易に滿足せず自由黨のサー・パーシー・ハリス、無所屬のグランヴイル、勞働黨のアヌーリン・ベヴアンらが重ねて當局の情勢説明を要求したがチヤーチルは「討論によつて尖鋭化した見解の對立は緩和されないだらう」とつつぱねた、勞働黨の領袖エマヌエル・シンウエルは「ギリシヤ國内に攝政府を設置するといふ提案に對し國王ゲオルギオス三世が反對してゐるため右提案が畫餅に歸し乃至は阻害されてゐるといふ報道があるが如何」と質問したところ首相チヤーチルは「聲明することがないとたつた今述べた許りだ」とつつぱねた

獨軍怒濤の猛進撃

(リスボン十九日發)アイゼンハワー司令部が十九日の公報で「モンシヤウからルクセンブルグ南部國境に至るドイツ軍の攻勢戰線では激戰が展開されてゐる」と認めてゐるやうに、アーヘン東南四十粁のモンシヤウからルクセンブルグ國境のエヒテルナツハに至る約百粁の長大な戰線における「ルンドシユテツト大攻勢」は十九日愈激化、頑強に抵抗する反樞軸軍との間に火花を散らす激鬪が展開されてゐる、AP前線報道によれば戰局の主動權を固く摑んだドイツ軍戰車先鋒はベルギー領に縱深三十四粁の強烈な楔を打ち込み、サン・アヴロー市に怒濤の如く突入したといはれ、更に米戰鬪機隊の頑強な抵抗を一蹴して鐵道要衝アルメデイを疾風のごとく突破したといはれる、ドイツ側が作戰の必要上戰況の「報道管制」を實施したにたいし、反樞軸軍側も戰況の不利を隱蔽するため嚴重な「管制」を實施、ために世紀の決鬪の詳細を知るよすがもないが、UP前線報道が「戰鬪は恐く西部戰線始まつて以來の陸空大立體戰と化し、時々刻々に强烈の度を加へてゐる」と傳へてゐるところからみても獨軍攻勢の規模が推察され、パリからAPの電報によれば米軍本部筋は常套手段たる戰局の重大性を過少評價しやうとする試みを今回は素振りにもみせず、慌しい雰圍氣をもつて「深刻な憂慮」を如實に代辯してゐると傳へられる

獨軍攻勢「報道管制」

(ベルリン十九日發)ドイツ軍當局は十六日火蓋を切つた西部戰線における空前の大反攻に關し十九日以來完全な「報道管制」を實施、從つて戰況の詳細は判明しないが「ルンドシユテツト攻勢」が計畫通り着々進行、所期の戰略を完全に達成しつつあることはドイツ軍當局が十九日正午記者團に對し「西部戰線ドイツ軍の攻勢は豫定通り有利に進展してゐる」と述べ、特に反攻でなく「攻勢」といふ表現を用ひて滿々たる自信のほどを表明してゐることでも明瞭だ

抗戰團體の再武裝を要求

(リスボン十九日發)ブリユツセル來電によればベルギー領深く突入したドイツ軍の猛攻に極度に狼狽したベルギー輿論は、十九日來ピエルロ政權に對して抗戰團體の再武裝を强硬に要求、再び不穩の氣配を示してゐるといはれる、ピエルロ政權は左翼彈壓策の一環として抗戰團體の武裝解除を斷行、一時は流血の不祥事を惹起した後漸く成功したものである

【米　洲】

ステチニアス聲明全文

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝國務長官ステチニアスは十八日ポーランド問題に對する政府の態度を闡明した聲明を發表したが、その全文次の通り

「ポーランドに對する米國政府の態度は終始一貫ポーランド國民の利益に對する完全なる理解と同情とによつて導かれてきた、この態度は既に過去の機會においてポーランド政府を初め各關係國に通達されてゐるが、これを要約すれば次の通り

一、米國政府は強固にして自由な獨立ポーランド國家が樹立され、ポーランド國民の權利が何ら制約を受けず、その國内的問題を彼らの希望通り調整し得ることを斷乎支持する

二、米國政府は國境に關する問題は戰鬪行爲の終了まで決定を延ばすといふ政策を終始一貫採用し來つた、但しこれは前國務長官ハルが一九四四年四月九日の演説で述べた如く、この方針は或る特定の問題が友好的な會議及び協定によつて解決されることを妨げるものではない、ポーランドの將來の國境については直接關係ある反樞軸國家間に相互的な取極めが成立するならば米國政府はかかる協定は共同の敵に對する戰ひの遂行に不可缺な寄與を與へるとの見地からこれに何等の異議をも挾まないであらう、更にかかる取極めの結果としてポーランド政府並びに國民が住民の移住を行ふことがポーランド國の利益に合致するとの見解に到達するならば、米國政府は諸國の政府と協力して實行可能なる限りかかる移住に支援を與へるであらう、しかし米國政府は依然として特定の國境に對しては保障を與へないとの傳統的政策を堅持する、米國政府は世界安全保障機構の樹立に努力し、かかる機構を通じ米國はその他の加盟諸國とともに全般的な安全保障維持の責任をとるであらう

三、敵軍から解放された諸國が戰爭の創痍を癒しこれら國民に凡ゆる男女市民に豐にして安全な生活を保障するごとき世界再建の事業に參加しうる機會を憲むやう支援することは米國政府の目標である、この方針はポーランドを初めその他の反樞軸諸國にも適用される

以上に述べた米國政府のポーランドに對する政策は英國外交政策の根本主義の目標と一致する」

英國に事前に通報

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝ステチニアスはポーランド問題に關する聲明の發表後記者團との間に左の一問一答を行つた

問＝政府はこの聲明を英國政府に事前に通達したか

答＝通報はしなかつた、但し聲明を行ふといふ事實及びその聲明の内容が大體どんな線に沿つたものであるかは豫め通報して置いた

問＝英國外相代理ローとの會談は純粹に經濟問題に限定されるか

答＝然り、議題は戰爭に關した經濟問題とならう

問＝ソ佛同盟條約の内容が公表されたが、それはダンバートン・オークス提案と合致するか

答＝條約を一讀した所ではこの條約が世界安全保障機構の精神に違反する點を發見出來なかつた

外交の三問題

（リスボン十八日發）英國外相代理リチード・ローは外務省の專門家を從へてワシントンに乘り込み十八日ステチニアスと外交會談を開催したが、UP電報は次の通り報じてゐる

「今度の米英會談では反樞軸軍占領下の歐洲における政治的安定を作るための方式をまとめ上げることに努力しよう、過去二週間に歐洲に發生した多數の問題によつて米英兩國關係は再び新しい緊張狀態を示すに至つたが、兩者の會談ではこれらの問題が採り上げられることとならう、米國の外交問題の分野でステチニアスが直面してゐる重大問題が三つある、その第一はポーランド問題だがステチニアスはかかる重大問題は自分の手に負へないとしてこれをルーズヴエルトの裁決に委ねることとなるかもしれない、しかしこの問題を繞つては米國の國内政治が爆發するやうな可能性もある、第二はソ佛同盟條約問題であり、かかる條約がダンバートン・オークス會談で決定された世界安全保障體制と一致するか否か決定しなければなるまい、第三は國務省機構の改組であり、上院一部の反對にも拘らず國務次官グルー以下の任命が承認されるならば、ステチニアスはいよいよ國務省の機構改革を斷行するだらう

昭和十九年十二月廿一日(木)
第三二七七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

瑞丁と航空協定締結

(リスボン十八日發)ワシントン來電=國務省は十六日次の通り發表した

「米國政府は今回スエーデン、デンマーク兩國との間に商業航空に關する協定を締結した、スエーデンとの新協定により米國の航空會社はシカゴ、ニューヨーク、ストツクホルムを結ぶ航空路でスエーデン領に着陸し、並びに貨物、旅客を輸送し得る權利を認められることとなつた、デンマークとの協定もデンマーク及びグリーンランド領において米國航空會社に對し、同樣の權利を認めてゐる」

太平洋空路開設希望

(リスボン十六日發)シアトル來電=ノース・ウエスト航空會社々長クロイル・ハンターは十五日次の通り述べた

「當會社は將來旅客機五十機をもつて米國——ホノルル間、米國——アツツ——東京——上海——香港——マニラ間に國際空路を開設することにならう」

ミンドロ上陸軍指揮官顏觸れ

(リスボン十八日發)ミンドロ上陸作戰における米國海軍の掩護艦隊は第七艦隊から編成した寄せ集めの極めて劣勢なものであるらしくAP特派員デーヴイスの言を借りれば「屑鐵」艦艇と「ジープ」空母の群だつたといふ、艦隊司令官は少將シオドル・ラドツクで、水陸兩用部隊が少將アーサー・D・ストルーブルの指揮下に上陸する間ラドツク艦隊とハルゼー麾下のマツケーン機動部隊とがルソン島の東西から牽制攻撃を企てたわけである、ラドツク艦隊空母群の作戰指揮官は少將フエリツクス・B・スタンブであつた、なほミンドロ島に上陸した陸軍先鋒部隊の司令は代將ウイリアム・ダンケルである

英國大使更迭か

(ストツクホルム十八日發)スウエーデン夕刊「エクスプレツセン」紙のニューヨーク特派員は十八日次の通り報道した

外交消息筋の間にはワシントン駐劄英大使ハリファツクスの辭職說が高まつてゐるすでにその後任說さへ云々され新大使の有力候補としてはモスクワ駐劄大使クラーク・カー及び空相アーチボルド・シンクレアの名前が擧げられてゐる

【英帝國】

勞働者、政府を難詰

(リスボン十八日發)ロンドン來電=スコツトランド西部の二百ケ所以上の造船所並びに各工場の職工、勞働者十五萬人は今回のギリシヤ事件に對して英國政府の取つた措置を不當とし十八日大會を開催「英國政府は直ちにギリシヤの義勇軍と休戰すべし」との決議を可決し、右決議をチヤーチル首相に打電した

佛航空相到着

(ストツクホルム十八日發)ロンドン來電によれば、ド・ゴール政權航空相チヨンは十八日ロンドンに到着したといはれる、チヨンは訪英の目的に關し「公式の訪問」だとのみ稱して、一切言明を避けてゐるが、恐らくフランスの航空機工場を利用して生產を開始するため打合せを遂げる手筈とみられる

【歐洲】

シチリア騷擾續く

(リスボン十八日發)ナポリからの報道によれば十五日シチリア島カタニアに勃發した暴動は他都市にも波及、ツアフエラノ及びラマツカでは大規模な反政府大會が行はれ、カステル・デイ・ギイデイでは群衆が町役場及び稅務署を襲つて放火し、暴徒鎭壓に驅けつけた警官隊は武器をとりあげられ遂に軍隊の出動をみた、パレルモでは學生群が軍司令部前でボノミ政權布告の新徵兵制反對のデモを行つた當局は急遽司政官を任命空路カタニア市へ派遣するに決定した、一方シチリア島長官は同島の各政黨領袖に對し騷擾鎭壓に協力するやう要望したといはれる

佛航空會社を沒收

(リスボン十三日發)パリ來電=ド・ゴール政權空相シヤルル・チロンは十三日次の通り發表した

政府はフランス航空會社を沒收し、同社重役は生產された殆ど全部の飛行機並びに發動機をドイツに引き渡した廉により逮捕された彼等は戰爭犯罪者として刑務所に收容されよう

反樞軸陣營亂れたり

—チヤーチル危機回避に苦慮—

（リスボン二十日佐藤特派員發）英國下院において政府のギリシヤ、イタリア政策に關する討論についでポーランド政策に關する討論が續開されたことは英國政界の雲行がただならぬことを傳へるものだが、チヤーチル戰時內閣が一九四〇年春成立して以來最大の危機といへぬまでも重大難局に逢着してゐることは誰の眼にも歷然たるものがある、ギリシヤ干涉政策に關してチヤーチルは勞働黨議員の攻擊を排して下院の信任を取りとめたが下院の信任がそのまま英國輿論の支持を意味しないことは次の事實で明瞭だ、ロイター電報によれば無慮數千（APによれば二萬）の群衆が英國消防組合の發起で十八日ロンドン目ぬきのトラファルガー廣場で一大デモを敢行「英國はギリシヤのファシズムを保護するな」とか「ギリシヤ民衆をして自ら選ばしめよ」とか「チヤーチルはEAM團を暴徒といふがわれ等は英雄と讃へん」といつた大旆を揭げて口々に「ギリシヤから手を引け」と叫んで氣勢を擧げたといふ、また示威運動には勞働黨、聯邦黨および共產黨の領袖が交々たつて民衆に呼び掛け、チヤーチルの武斷政策を口を極めて攻擊したが、演者の論調の主なものを紹介すれば、自ら示威運動の險惡な空氣を察知することが出來よう

勞働黨下院議員ヘードン・グエスト博士

ギリシヤ騷擾は軍事問題でなく政治問題だ、一切の係爭點が圓卓會談で解決出來ぬ理由はないが、もし機關銃で解決しようと圖るならば、聯合國の將來の世界を微塵に碎いてしまふことにならう

消防組合書記長ジョン・ホーナー

未だ嘗てドイツに一度も屈服せぬギリシヤ民衆は英國に期待してゐる、われわれは斷じて彼等の期待を裏切つてはならない

ストラボルギ

ギリシヤ內亂はナチを喜ばせるだけで對獨戰爭を更に數ケ月長引かせるのが落だ、もしこれがチヤーチルの支配に對してわれわれが拂はねばならぬ代償だとするならば、餘りにも高價な代償だ

面白いことには目下ギリシヤでエラス兵團と同志討をしてゐる一兵士の妻なぞは「夫をこんな恥づべき所行に使はれてなるものか、ギリシヤ干涉から手を引け」と黃白い聲で喚いたといふが、ロイターの報道だからまさか嘘ではあるまい

チヤーチル內閣の危機

以上の挿話は英國の民意が奈邊にあるかを示す一例に過ぎず、英國各地の勞働者層が政府の政策に抗議して罷業や怠業を始めてゐる例は枚擧に遑がない、勿論チヤーチルとても下院の信任を得たからといつて輿論を納得させえたとは考へてゐまいが、勞働黨が大會を開催して政府のギリシヤ政策に抗議する決議を採擇したこと特に指導部よりも下部組織から强硬な意見が續出し、勞働黨閣僚の引揚すら要求する聲が擧げられたことは聯立內閣を標榜するチヤーチルにとつて大きな打擊といふほかはない、英國政府も以上の窮境から脫出するため必死の工作を續け、使ひ古しの老政治家ブラスチラスを急遽ギリシヤに派遣してEAM團と折衝させたが、左翼の旣定方針をまげさせるにいたらず、ブラスチラスは「ギリシヤ問題は武力以外解決の一途はない」と匙を投げ、それではといふので攝政府の設置を提唱してギリシヤ大主敎を据ゑようと圖り、EAM側も大體贊成したが思はぬところで國王ゲオルゲオスの反對に逢ひ、これまた行き惱みに陷つたといはれる、しかもエラス兵團の抗戰は愈々激化し、戰鬪はアテネ、ピレウスのみならず、漸次ギリシヤ全土に波及する形勢にある、更にイタリア內政干涉、ポーランド政策に對する英國輿論の反撥を加へるならば、チヤーチルは國內において旣に四面楚人の歌に包まれてゐる形だ、スエーデン紙「スヴエンスカ・モルゲンブラデツド」のロンドン電報が十八日「ギリシヤ、ポーランド問題に關する論爭は突如「民主々義的自由」といふ根本問題の討論に轉移し英國輿論を沸湯させてゐる」

と報じてゐることは、今回の論爭が英國にとつて單なる政府の外交政策の檢討に局限されるものでないことを示すものだ

昭和十九年十二月廿一日(木)
第三二七七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

スエーデン紙「ダグスポステン」は十四日の社説で英國外交政策の危機を次の如く指摘してゐる

「チヤーチルが首相の印綬を帶びて以來四ケ年半以上になるが、彼の政策が今日程の重大危機に瀕したことはない、彼の地位は國内各派の無制限の支持を得るか否かによつて決定されるが、事態の發展は彼をして威信を完全に失墜するか或ひは出來るだけ早くギリシヤ紛擾を解決するかの關頭に立つのやむなきに至らしめてゐる、英軍は强壓的にエラス兵團の武裝を解除しようとかかつてゐるが、エラスの方が英軍に比して明らかに軍事力において優位を占めてをり、且つ「解放者」との和議に入ることを潔しとしない實情だ、もつとも英軍は兵力の增援を得るであらうが、この「なくもがなの戰爭」はムソリーニの破局的なギリシヤ作戰に類するもので、他の戰線における戰爭遂行をどれだけ妨害してゐるかわからない、それにカナダの暴動以來、勞働黨の政府反對態度は愈々激しく且つ公然たる形を採つてきたが、かかる狀態で不利な情報でも舞ひ込んできたならばどんなことになるか想像もつかぬ位だ、もしも勞働黨が政府から引揚げたならば、チヤーチルは保守黨だけで内閣を固めるか、乃至は戰爭の半途で總選擧を斷行せねばなるまいが、その結果は今更いふまでもなからう」

三國對立再び表面化

以上は主として國内の反響だが、寧ろ問題となるのは海外特に米國の反響だ、英國政府のスフオルツア忌避に對して米國務長官ステチニアスは不干渉を主張する爆彈聲明を發してチヤーチルの虚を衝いたが、米國が英國の干渉政策を不滿としてゐることはイタリアだけに限られるものでなく、ギリシヤ、ポーランドに對する政策にもそのままいへる、英國政府はワシントン駐劄大使ハリフアツクスがステチニアスと話し合つた結果完全に諒解がついたと稱してゐるが、外相代理格の無任所相リチヤード・ローをワシントンに派遣したことは、以上の事實を否定する材料とみるべきだ、「アフトン・ブラデツト」紙のワシントン電報によれば、共和黨上院議員ウエーランド・ブルツクスは上院に次のやうな抗議を提出した

「米軍兵士が各戰線で必死の戰ひを續けてゐる時英國とソ聯は歐洲における勢力均衡競爭に憂身をやつしてゐるが、ソ聯が領土を擴大しバルト諸國およびバルカンに對して共產主義理念の普及を意圖してゐるに對して、英國は勢力圈の擴大を圖つて、イタリア、ギリシヤ、ベルギー、フランスの傀儡政權を支持してゐることは明瞭である」

もつとも問題は簡單ではないことはロイターのロンドン電報が十三日米國議會の空氣を裏書して次のやうに報じてゐることでも明瞭だ

「米國議會では英國のギリシヤ政策に反對する機運が急激に濃化してゐるが、この機運は反樞軸國が樹立する平和の性質が明らかとなるまで米國は國際安全保障組織に關していかなる義務も負はぬこと、米國の武器彈藥が英帝國主義のため聯合國の自由を抑壓する道具に使はれてゐないことが明らかとなるまで武器貸與法の期限を延長してはならぬといふ決議となつて具體化するであらう」

歐洲政策を繞る米英兩國の對立はポーランド問題に關するチヤーチルの下院聲明に應へたステチニアスの聲明で決定的となつた、ステチニアスが十八日行つた聲明は要するにポーランド國境問題は戰後において解決さるべき性質のものであるといふ米國政府の態度を明らかにしたものであり、AP電報によれば英國政府當局は

ステチニアスの聲明はチヤーチルの言明よりは遙かに曖昧な形でだが、とにかくポーランドに對するソ聯の要求を承認したものだ

と勝手に解釋してゐるが、英國政府の方針と眞向から對立してゐることを悟つて内心愕然たるものがあることは蔽へない事實だ

遷延政策を避けよ

ソ聯は依然不氣味な沈默を守つてゐるが、ポーランド問題はいざ知らず、少くともギリシヤ、イタリアに對する英國の干渉政策を不快視してゐることはいふまでもない、モスクワ會談でソ聯がギリシヤにおける英國の自由行動を許容したといふのが「サンデー・タイムズ」紙の見解だが、ソ聯が英國の干渉を默認しても、會談に米國が參加してゐない限り米英兩國の對立は解消しない

實にチヤーチル內閣は內外共に重大難關に逢着するに至つたばかりでなく、事態がこのまま放置されるならば米英ソ三國の提携は解體の危機に瀕がんとしてゐる、ロイター政治記者が十七日、稀にみる深刻な調子で

ポーランド問題は聯合國陣營にたいする潜在的脅威以上のものだ

と論じて反樞軸陳營解體の脅威が既に現實の問題となつてゐる事實を指摘し、チヤーチルと歩調を合せて三國會談の卽時開催を急請してゐるが、事實英國政府が內外の危機を乘り切り、反樞軸陣營の解體を能ふ限り避けるためには、三國會談を一刻も早く開催する以外に方策はない、以上の氣運は米國においても急角度に擡頭してをり、ボールドウインも十八日の紙上で米英ソ三國三つ巴の對立を解消するため三國會談の開催を繰り返し强調してゐるが、特に「ヘラルド・トリビューン」紙は十八日の紙上において三巨頭會談の必要を力說しつぎの通りのべてゐる

「最近の諸事件に鑑み、三頭會談の開催と米國政府の政策闡明とがしきりに要求されるにいたつた米國政府としてもいつまでも歐洲に關する中立以外局地的解決について責任を負ふことを拒否し、戰後に終局的に解決するまで問題を遷延させることはできない、廣範な國際秩序の建設について關心を指摘しながら、歐洲の諸事件の「道徑に反する」細目については超然として圈外にたつてゐようといふ傳統的政策に基づきポーランド、イタリア、フランス、各國の內政上の諸問題について、米國政府は曖昧な態度をとつてきた、以上の政策を不干涉主義とよぶのは正しくない、大統領ルーズヴエルトは、一九四二年五月ソ波兩國間の鬪爭に關する英ソ兩國の解決案阻止に極めて積極的に介入してをり、崩壞後のフランス內政については米國政府の關係は相次いで干涉に終始してをり米國の外交官は他の地點についても極めて活潑である、しかし根本的にいへば米國政府は問題の遷延を策し最終的な責任を拒否するのが常であつた、歐洲の現狀は以上の政策に關する論理的結果である、米國政府の政策不履行によつてポーランド事件はロシヤに、イタリア、ギリシヤ兩國の事件は英國の管理に屬し、その他歐洲の重要問題の大半について米國人は何らの政策なく、從つて何らの發言權ないといふ事態に當面するに至つた、一時は以上米國政府の政策も意義を持てゐるであらうが、もはや武力である、解放された歐洲にもちあがる尨大な政治力をいつまでも押へておくことは出來ない、假りに米國が爭點を回避することが出來るとしても英ソ兩國並びに解放された國々の各國民は問題を回避することは出來ない、米國內において少くとも遷延政策は孤立派を力づけるばかりで、例へば上院議院レイノルズのごときは再び孤立政策を提唱し、國際的處理を危殆に瀕せしめようとしてゐる、三巨頭會談も結構だが米國政府は從來の逃避政策を一蹴し、新らしい迷路をとる場合は當然課せらるべき責任を負擔する用意がない限り會談の意味はない

新たな對立の溫床

ロイターのワシントン電報は十二日米國政界の見解として三國會談の議題を

一、解放諸國特にポーランド、ギリシヤ、イタリアに關する共同政策の決定と以上の諸國の政權特にポーランド政權にたいする態度決定

一、國際安全保障組織における投票手續に關する協定

一、ドイツの占領とその分割に關する共同政策の決定

一、ソ聯の參加を條件とする明年度の國際安全保障會議の開催

一、スペイン政策の討議

の諸點に豫想してゐるが、以上の諸問題は米英ソ三國が眞向から對立してゐるものばかりだから、從來の例からみてもただ一回の會議で一切が決定をみて對立が解消するとは考へられず、從つてチヤーチル政府の危機は勿論反樞軸陣營解體の危機は急速に解消し得ず、たとへ當局は解決をみてもこれは新たな對立への溫床を作るに役立つのみであらう

昭和十九年十二月廿一日(木)
第三二七七號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

佛ソ同盟の成立(上)

—モスクワ佛ソ會談の內容—

井上勇

會談前の諸豫想

フランス臨時政府首班シヤルル・ド・ゴールは外相ジョルジュ・ビドー、參謀總長ジュアンを帶同十二月二日モスクワに到着、爾後國賓として、スターリン以下のソ聯首腦部から至れり盡せりの歡待を受けてゐたが十日早朝モスクワ辭去の直前午前四時四十分、クレムリンで佛ソ間の新同盟相互援助條約に調印、直ちにこのことは佛ソ兩國の共同コムミュニケの形で發表され、世界を唖然たらしめた、かかる條約が成立するだらうとはかねて想像されてゐたが、まさかこのやうに疾風迅雷的には實現しないだらうといふのが一般の考へ方だつたからだ

ド・ゴールのモスクワ訪問に先立ち行はれてゐた豫想としては

一、ソ聯はチヤーチル、イーデンの十一月十一日パリ訪問の際の英佛會談、特にソ聯を目標とする疑ひのある西歐聯合案に對するフランスの態度を究明するだらう

一、ソ聯はフランスのルール、ラインランドに對する要求の弱腰なのに焦慮して、フランスの尻を叩いてこれを硬化させるとともにその交換としてソ聯のポーランドに對する要求につきフランスの支持を求めるだらう

一、スターリンもド・ゴールも佛ソ間に同盟締結の希望を持つてゐる

一、ソ聯はフランス國內軍に對するド・ゴール政府の政策に批判を加へるだらう

一、スペイン問題についても、スターリンはド・ゴール政府に一應の指示を與へるに違ひない

等々が取沙汰されてゐたが、その內佛ソ同盟のみが明るみに出たわけである、この同盟のほかに果してクレムリンの宮殿の奥で何事が行はれたかは神秘の幕の內に閉されてゐる、しかし臆測を試みることは何もこの二人の尊敬すべき紳士に失禮にも當らぬし、特別に稅がかかるわけでもないので世界中で勝手放題の熱があげられてゐる、一々紹介するのは面倒臭いが主なものを拾つてみよう

骸骨とブロック

十一月二十七日の「タイム」誌は「骸骨かブロックか」と題する記事の中でかういつてゐる

ワシントン筋ではスターリンはド・ゴールに對して西歐聯合に加はることを思止まるやうに說得し、フランスの權益は、やがてフランスも正會員として參加することになつてゐる國際的安全保障組織で十分に擁護されるだらうことを約束するに相違ない、しかしド・ゴールは國際的安全保障制度の骸骨だけは、ダンバートン・オークスで出來上つたが、これに血肉をつけて生きたものにするにはなほ重要な諸點が未解決のまま殘つてゐることを指摘するに相違ない、スターリンは、同時にド・ゴールに對してソ聯チエコの協定または一九三五年のスターリン・ラヴアル相互援助條約の線に沿ふ佛ソ協定を提議するだらう、これに對してはド・ゴールは何かもつと大きなものを希望するに違ひない、ド・ゴールが一九〇七—一九一七年の三國協定の改訂最新版を胸中に抱いてゐることは隱れもない事實だ、それによつてフランスを英ソ兩國間の懸橋にしようといふのである、モスクワ會談についての唯一のことが確實として斷言し得る、それはこの成否によつてフランス共產黨のド・ゴール政權支持か反對かが明白になるといふことだ、モスクワではスペイン問題も俎上にのぼるだらう

並べ上げた話題

「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙のモスクワ特派員は、モスクワのフランス筋の情報では、クレムリン會談の中心議題はドイツの處理問題だつた、ソ聯側の本問題に對する強腰はフランス側をして豫想外の感じを抱かせた程である

ソ聯はまたド・ゴール、ビドーのカトリツク的態度に興味をもち、ソ聯内のカトリツク教會問題にからむ法王廳の態度に鑑みて、フランスを仲立ちとして、ヴアチカンの對ソ態度を緩和させる方法はないものかと考へてゐるやうだ、と報じてゐるエクスチエンヂ通信の八日付パリ電は

モスクワ會談の成果は第一に佛ソ同盟であり、第二はフランスが軍事的經濟的にソ聯につぐ歐洲の大國として認められたこと、第三に集團保障の形式としての地域協定が決定的に否認され一聯の大國間の軍事協定による安全保障制度が採用されたこと、第四にラインランドその他ドイツ領土占領に對するフランスの要求が承認されたこと、第五にドイツ軍により沒收されたフランスの産業施設及びドイツの産業施設をフランスに回復乃至は移轉せしめること、第六にフランス國軍にソ聯から武器を供與すること、これは最初フランスは米國から武器を輸入するといはれてゐたので、重要な變更といふべきである、第七にフランスの經濟組織をある意味では西歐的な理念とは違つた方法で再建すること、第八にフランスはソ聯の中歐、バルカン、地中海、スペインに對する政策を支持すること等である

と推定してゐる

米國側の豫想條件

アメリカ側のモスクワ會談の豫想として「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙が六日報じてゐるところによると、當時ワシントン筋では、佛ソ會談の結果、第一にスターリンはフランスの國境がライン河に達すること、およびフランスがドイツの占領に參加することに反對しない確約を與へた第二にモスクワでは西歐聯合の問題は立入つた話はなく、これは戰後に持越すことになつた、第三にスターリンは佛ソ同盟の締結に同意した、第四にこの軍事同盟の成立はフランスに英國同樣な强力な地位を歐洲に與へ、フランス國内では共産黨に對するド・ゴールの地位を强化すると解し、しかし乍らこの同盟の結果、歐洲には再び古い權謀外交が復活する危險があると見てゐる

これ等の豫想がどの程度當つてゐるかは、同盟條約の内容及び附帶條件の何れもが發表されてゐないので全く不明といふよりほかはないが、ともかく佛ソ同盟締結の豫想は十分に當つたわけだ、この同盟の成立で西歐聯合案が抹殺されたかどうかは解釋の相違である

西歐聯合の染めかへ

少くともスマツツ・ラインによる西歐聯合は權花一朝の夢と化したことはいつてよい、英國は盛に西歐聯合はソ聯に對抗するものでなく、却つてソ聯をも含めた歐洲の安全保障を確保するための單なる地域的保障制度であり、その意味で佛ソ同盟もまた大いに歡迎すると稱してゐるが、酢をのんで酒だ、酒だと頑張つてゐる嫌ひなしとしない眼先の利く英國は、能ふことならばフランスを西歐聯合のみにつなぎ止めて置きたかつたのが、さうは問屋が卸しさうにないと見透しがつくと、飜然として佛ソ同盟につづく英佛同盟に鞍替して太鼓を叩きはじめてゐた、フランスも勿論これには話にのるであらう、その意味では西歐聯合は十分まだ脈があるわけであるが、内容はすつかり變つてしまつたわけだ、英國の手廻しのよい方向轉換は十一月十八日の「エコノミスト」誌の「アンタントの再誕」に見ることが出來る

どこまで回復するか

チヤーチルのパリ訪問及びその筋の裝飾的な催しの數々は極めて象徴的な出來事であつた、しかし英佛の指導者たちは單なる象徴示威にのみ沒頭してゐたわけではない、將來の英佛同盟の計畫もまたその節論議された、古いアンタント・コルデイアルに如何なる新らしい衣裝を與ふべきか、現在までよりも一層密接な協力をこれによつて實現することが出來るかどうか、その枠を擴げてベルギー、オランダ、ノルウエー等なども包括し得るものかどうか、またかかる地域的集團が、より廣汎な世界的安全保障組織の枠のうちにはめ込み得るかどうか、これらの大きな問題に對する決定的な回答が直ちに與へ得るものでないことは勿論である

昭和十九年十二月廿一日(水)
第三二七七號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

しかし、同時に何時までも延期し得る問題でないことは明白だ、フランスは今や大國としての地位と肩書とを再獲得したが、可能力と實際力とを混同してはならず、フランスが一體どこまで回復し得るかあまりに樂觀的な推定を下すことは禁物である、フランスはまだ大國としての力を回復してゐない、どこまで回復するかもまだ疑問で、それによつてフランス外交政策の限界も、英佛關係も不可避的に規定されるわけだ

一九一四年以前フランスは英國とのアンタント・ロシアとの同盟といふ二重の基礎の上に、その外交政策を置いてゐた、當時のフランス外交は、ドイツの軍事力の一部がロシアに牽制されさへすれば、十分にフランスはドイツの侵略に對抗しうるといふ現實的想定によつて動いてゐた、ヴエルサイユ以後建設されたフランスの同盟方式はポーランド及び小協商國の軍隊でドイツの東方への侵略を抑制するには十分であるとの間違つた假定の上に立つてゐた、そこでフランスの外交は、明らかにフランスの眞の實力に釣合はぬ誓約の重荷を負ふに至つた

西歐聯合の理念と佛・ソ・英＝今や、フランスはヴエルサイユ體制の初期時代に享受したかやうな覇權は絶對に回復し得ないだらうことは明白である、東歐及び中歐に對して獨立して一人勝手に何らの誓約をも與へ得ないであらう、フランスの作戰的利害は今では遙かに、從來にまして西歐に集中されることにならう、その外交政策は、簡單にいつてしまへば、再び二つの基礎に復歸するであらう、外相ビドーは最近「サンデー・タイムズ」記者に與へた會見の中で「ロシア的考へ方に對するフランスの理解、アングロサクソン諸國に對する精神的地理的近接がフランスをして、東と西との間に生じ得べき摩擦を減殺するに有效な寄與をし得る地位に立たしめてゐる、故にフランスは西方の友邦に對すると同樣に東方の友邦に向つても眼差しをくばらなくてはならない」といつてゐる

しかし英佛間のアンタント・コルデイアルと佛ソ間の同盟は一九一四年におけると同じやうに現在もまた、關聯のない二つのものであつたり、フランス外交政策の矛盾する二要素だつたりする必要はない、英ソ間の二十年の同盟條約は、この際一つの結合要因として作用し得る、一九一四年以前には、英國の外交は佛露同盟を紛爭の可能的根源とみ、アンタント・コルデイアルへの重荷と解してゐた、しかし現在ではそのやうなことを考へる必要はなくなつてゐる、英國でもフランスでも歐洲の安全保障は東と西とが協力して初めて達成し得るものであることを十分理解してゐる、このことは西歐聯合の觀念が歐洲に對するソ聯勢力の影響を阻止する企圖から出發してゐるといふ誤解をとくために再言しておく必要がある、フランス國內においても、ベルギーにおいても、共産黨は政府の政策に直接影響力を及ぼす實力を持つてゐるが、彼等は西歐聯合を以つて英國の資本閥の陰險極まる陰謀であるかの如く稱してこれを排擊してゐる、白外相スパークは「西歐ブロツク」といふ呼稱に抗議してゐるし、佛外相ビドーは「西方に於る同盟はフランス外交の一部分にすぎない」と聲明した、それは英國外交にとつても、その一部分でしか有り得ない

西歐諸國間の地域集團の理念と、これ等の諸國とソ聯との同盟は何等矛盾するものではない、ソ聯は東歐洲の國家集團を作るに極めて熱心である地域的國家集團が西歐に生れた場合、これはソ聯勢力に對抗するものであるとして反對する根據はどこにあるか、ロシア人はアメリカ人と同じ論法で自分の勢力圈のみが合法的であり、他のものは全部惡いと斷定する嫌ひがあるやうだ、しかも西歐には勢力圈の問題は存在しない、西歐諸國は如何に小國といへども餘りに自己意識と自負心が强く、他人の勢力圈などに包含されることを容認しない、ところが東歐の場合は全部の國全部がさうであるとはいひ得ない事情にある

西歐の國家集團は集團構成諸國が平等の立場に立つて結合し、しかもその結合は聯合國が將來設置すべき世界的平和保障組織の枠の內に包括させようといふのである、ソ聯がこれに反對するのは不當であるばかりでなく、同時に短見でもある、西歐聯合は、英ソ同盟が企圖した歐洲を橫斷して同盟の橋を架ける仕事を、英帝國單獨でやるよりも一層有力に遂行する路を供與するものだ、フランスがアンタント・コルデイアルを英國に求める權利を有する理由はそこにもあるわけだ

佛・英對獨政策の異同＝さてそこで問題は英國が果して今回、その目的達成のため斷乎たる決意を有してゐるかどうかである、從來多くの禍害の原因となつた二つの素因は現在では以前ほど實害は及ぼさぬものとみてよからう、一つは英國外交が傳統的に、大陸で單獨の陸軍國が絕對優位を獲得することに反對であることであり他はドイツに對する英佛兩國の政策の相違喰違ひである、しかし今では如何に固陋な勢力均衡論者と雖も、將來フランスの勢力の强化が歐洲の勢力均衡に脅威を與へると考へるものはあるまい、對ドイツ政策ではクレマンソオ、ポアンカレと雖も現在のチヤーチルほどドイツに對して苛酷ではなかつた、フランスはいまこそ寬容の代償が如何なるものであるかを知らねばならない——少くとも外相ビドーが英國の公衆の前に、自分は以前ブリアンの弟子だつたと自己紹介をして憚らなかつたことは意味深長である、彼は「サンデー・タイムズ」記者との會見で「余はロカルノ協定を支持した」と述べてゐる、國民抗戰會議の元議長であつたビドーは「復讐の平和」に反對であると言明し「公正且つ人道的な」解決を要請し「フランスはドイツの領土の合併を欲しない」といつてゐる、その上彼は「奴隷化されたドイツでなく、單に他の戰爭を挑發することが不能のやうなドイツを欲する」とも述べてゐる、しかしビドーは公式主義のブリアンデイストではなく、彼はドイツの武裝解除を强く主張し、ラインランド、ルールの國際監理及びドイツ產業の聯合國による監視を嚴格に行はねばならぬと要求してゐる、ビドーはドイツを農業國に突き落すことには反對だ、から考へて見ると英佛の對獨政策には喰違ひもあるが同時に共通な部分も十分に存在してゐる

人の牛蒡で法事

西歐聯合は「エコノミスト」が主張する線では實現する可能性が十分あるわけで、フランスを引つこ拔くと同時に、その骨を拔いてしまつたソ聯としても今度は別に反對ではあるまい、當初からモスクワ會談の重要な議題の一つといはれたドイツ處分案についてはどういふ提案がされたか、ソ聯としてはドイツに對する「眞綿平和」は絕對反對で、ビドー一派の「人道主義」がクレムリンで相當辛辣な批判を被つたであらうことは確實である、そこで「フランスとしては呉れるものなら口から手が出るほど欲しいラインランド、ルールのことであり、大いにソ聯の叱咤激勵に感激して人道主義などモスクワの雪の中に埋めて來たかも知れない、その代償として佛波同盟などの古證文は忘れ、今回の戰爭がそもそも何のために起きたかも體よく忘却してソ聯のいひなりにポーランドの犧牲においてソ聯の氣嫌を取結ぶことを決意したものとみるのが至當だらう、パリ外交界ではド・ゴールは既にルブリン政權の誓約をモスクワに與へたとの噂が專らである、ソ聯の遠大な世界政策の立場からいふと差當りの假想敵はフランスではなく、フランスは却つて味方にしておく必要があり、味方なら强い味方の方が賴母しいといふわけだ、ソ聯がいま買つてゐるのは現在の過渡期弱體フランスではなく、先物のフランスなのである、ワシントン、ロンドンがド・ゴールにつらかつた日、率先してこれに友情を示し、英米が承認を澁つたアルジエー時代の臨時政權を眞先に單獨で承認したり、歐洲諮問會議へのフランスの參加を斡旋したり、フランスに關する限り、ソ聯もなかなかつとめてゐるのは十分算盤がはぢいてあるのである、フランスが欲しくて欲しいといひきれぬルール、ラインランドを貰つたらよいではないかときめつけるのも單にドイツを出來るだけ弱くしておくのが目的ではない、ドイツの恨みをポーランドとフランスに分散させて自らは涼しい顏でゐる計畫の他になほ遠い慮りもあらうといふものだ」

フランス國軍の赤化

モスクワではフランス國內軍の解散問題も相當突込んだ話が出たらう、國內軍は文字通り、フランスの國內問題であるが、國內軍とは別名共產軍であり、共產と名のつく上はその總本山では默つてばかりはみてをれない、新同盟の成立と共に早くもソ聯のフランス國內軍に對する政策に注意を喚起したのはドイツであつた、ドイツ側では勿論新佛ソ同盟がドイツを分裂せしめ、永久に奴隷化することを主目的としたものであることには異論はないが、同時にソ聯が狙つてゐるのは、フラン

昭和十九年十二月廿一日(木)
第三二七七號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

ス國軍の赤化、それに次いではフランス國家全體のボルシエヴイズム化であるとして警鐘を鳴らしてゐる、その代表的なものとして「ドイツチエ・アルゲマイネ・ツアイツング」の十二月十五日付「モスクワとフランス軍」と題する社説を紹介しよう、同紙は今回の佛ソ條約が一九三五年の佛ソ條約とは根本的相違があることを指摘し一九三五年の條約は、自動的相互援助發動の義務を規定せず、またフランスの内政に干渉することを避ける條項を含んでゐたが、今回の條約は中部歐洲の戰後處理を規矩するのみならず、フランス自體の内部的構成までも規定したものであるとしてゐる

「フランスは既に崩壞し去り、今では獨立した政策を樹て得る能力はない、他國と平等の地位に立つて條約などを結ぶ力は持つてゐない、ゆゑに佛ソ新條約では國内體制までも規矩される始末になつたのだ、現在續行されてゐる肅清工作は、ソ聯の希望に從つて將來ボルシエヴイク制度の敵となる惧れのあるものはすべて今の内にこれを始末しようといふにある、その次にはフランス軍隊の革命化が行はれるだらう、新條約の主目的はそこにある、近くソ聯の軍事使節團がフランスに乘込むが、これは共産黨を助けて國内軍の革命的性格を如何にして維持擴大し、これを如何にしてフランス國軍の中に持込むかを研究するのがその使命である、フランス軍隊はかくてモスクワの政策の忠實な支持者と化するわけだ、スターリンは同時にフランスに在るスペイン共和主義者の援助をド・ゴールに要請したに相違ない、スペインに共産主義軍隊を作ることもソ聯の目的の一つであるからだ、スターリンは一九三六年來各國の人民戰線に囑して遂に果さなかつたところを、西歐の革命的軍隊を提げて達成しようと意圖してゐるのであるパリはいまや西歐に有力な足場を求めるボルシエヴイズムの中心地となつた、これを起點として赤化勢力は間もなくベルギー、オランダ、英國、イベリア半島にと伸展して行くであらう」

とDAZは警告してゐる、また「フエルキツシヤー・ベオバハター」紙は「フランスとソ聯とは今回の條約に調印するに當り、ただ紙の上だけで平等だつた」と指摘し「今回の條約は英米軍占領地域の門をボルシエヴイズムに開いたものであり全歐洲の赤化の緒口である」と斷じてゐる

資料

戰時下英國造船界の業績

—海相議會言明の要旨—

シッピング・ワールド誌十一月號

最近下院における船舶及び造船に關する討議に際し、アレキサンダー海相は英國造船業界の經營者並びに勞働者に對し、かれらが今次の戰爭において成し遂げた「頗る大きな仕事」を賞讃して遲播きながら一言敬意を表するところがあつた、右において同海相は英國造船界の業績を強調して從來嚴秘に附されてゐた造船のレコードを詳細に亘つて發表した、この發表に先立ち海相は先づ船舶建造、修理監督官サー・ジエームズ・リスゴウ及び同副監督官兼造船局長サー・アモス・アイヤー並びに船舶修理局長ロウリー・エドワーヅに對し讃辭を呈するところがあつた、以下はアレキサンダー海相の演說中彼の造船業績に關する發表及び彼が關係者一同に呈した讃辭の拔萃である

× × ×

わが國の船舶に對する攻撃の危險、就中ドイツ潜水艦及び敷設水雷による危險が、もはや終熄したと考へるのは未だ時期尚早の嫌なしとしないがしかも余は今次の戰爭の現段階においては、わが國の直面した船舶問題中の最惡のものは既に解決されたと見るべき十分の根據があり、且つわが國の造船界が成就した業績をここに檢討することもまた可能となつたと考へるものである、今やわれわれは、米國およびカナダの造船業者から受けた絶大な援助もさることながら、わが國造船業者の努力がなかつたならば到底われわれが今日あることも覺束なかつたと思はれる時期を經過して來たのである、余はわれわれがかやうな情勢の好轉に關しわが國の造船界の貢獻に負ふところが如何に莫大であつたかを、今日ここに改めて强調しておきたいと思ふ

新艦艇の建造＝今次の戰爭においては、新艦艇の建造は諸種の點において、特に常に戰局の變化に即應するといふ點において、迅速に擴充されなければならなかつた、戰端開始後僅々數ケ月にしてまづフランス降伏のことがあり、次いでイタリアの參戰をみるに至り、忽ちにしてわが國の船舶に對する脅威は增大した、この結果、わが國にとつては次の諸點が喫緊事となつた、卽ち

一、護衞諸艦艇及び掃海艇の急速なる增强

二、かかる情勢下においてわが國沿岸の防衞及び敵に對する襲擊上必要となつた小型哨戒艇並びにモスキート小型攻擊舟艇の多數建造

三、わが艦隊がまづその存續のための戰鬪、更に强力なる敵を壓倒するための攻擊力を集中するために必然的に蒙らざるを得なかつた甚大な損害にもかかはらず、わが艦隊の攻擊力を維持し增加しなければならなかつたこと

四、あらゆる型及び大きさの上陸用舟艇の供給

これらの舟艇はすべてわが國の造船業者にとつては全く新奇な船種であつたが、しかもこの建造によつて初めて北アフリカ、イタリア、フランスの侵攻作戰は可能となつたのであり、かつまたこれこそわが國にとつて戰勢好轉の一要因となつたものである、蓋し、敵國打倒は一にかかつてこれらの作戰の成否如何にあつたことは明白だつたからである

建艦成績上昇＝次に余は今日まで發表されなかつた建艦狀況を或る程度詳細に亘つて述べやうと思ふ、これによつて議員諸君はこの戰爭において英國が成し遂げた海軍建艦事業の大きさの程を知ることが出來るであらう

一九三九年九月より一九四三年十二月に至る建艦成績

一、建造を完了せる主要艦艇（戰艦、巡洋艦、モニター艦、艦隊作戰用及び護衞用航空母艦、驅逐艦、フリゲイト艦、スループ艦、コルヴエツト艦、艦隊作戰用掃海艇、快速巡航水雷敷設艇並びに各種大型母艦を含む）總數六百三十四隻 排水總トン數百十八萬三千五百一トン、同小型モスキート諸艦艇（小型砲艦、魚雷艇各種モーター・ランチ及び小型掃海艇を含む）總數千二百六十隻、排水總トン數十二萬三百五十八トン、同型その他の海軍用舟艇（上陸用舟艇、武裝トロール船、他の雜舟艇を含む）總數二千七百二十九隻、排水總トン數三十三萬四千九百十九トン、右總計四千六百二十三隻、百六十三萬八千七百七十八トン

一、一九三九―四三年建艦狀況

（イ）戰爭第一年＝二百三十一隻、十四萬四千トン

（ロ）戰爭第二年＝九百十四隻、四十五萬二千トン

（ハ）戰爭第三年＝九百六十隻、五十九萬九千トン

（ニ）戰爭第四年＝千九百八十四隻、五十九萬トン

右總計、四千八十九隻、百六十九萬五千トン

余はこの建艦成績が前世界大戰當時に比し、造船所、船臺、勞働者ともより少い數をもつて擧げられたものであることを特に强調しておきたい、そしてこれは寔に驚嘆すべき成績であると考へるさらに余は戰爭第三、第四年において建造された諸艦艇の隻數及びトン數が著しく上昇した點に特に注意を喚起したい、これらの諸艦艇の多くはトン數の少い小型舟艇であつたが、しかもこれらの小舟艇の建造によつてわが方の攻擊力を增大せしめることが出來たのである

修理と改裝＝かかる尨大なる建艦計畫と並んで既に作戰に就役中の艦艇の修理、整備作業も行はれた、この部面を檢討するに當つて、われわれはわが海軍艦艇が今次の戰爭において大西洋上で戰はれた海戰中その四つは從來に例をみぬ辛勝だつた結果相當の損害を蒙つたことを想起しなければならない、われわれはまた大西洋上及びソ聯に對する船團護衞の任に當らなければならなかつたがこれもまた天候の關係上わが艦艇に甚大な損傷を與へる結果となつた、さらに艦艇の修理とは別個に今次の戰爭における敵味方双方の攻擊、防禦の新樣式の發達に伴ひ、新造艦艇並びに既に就役中の艦艇に對してその武裝を强化するため、多大の改裝を加へる必要が生じた、磁氣水雷、音響水雷に對する防禦はこの最も顯著な例である、戰爭樣式の變化もまた從來の諸艦艇をして全く新たな任

務を遂行せしめるため多大の改裝作業を必要とする結果となつた、これら戰爭の變化に卽應する施策を講じなかつたならば、この戰爭において一島國たる英國が勝利に勝ち誇りわれわれの眼前に迫り來つた敵にたいして、種々變化した作戰任務を遂行することは覺束なかつたであらう

商船建造計畫＝一方商船建造計畫遂行の必要は痛切なものがあつたが、これは以上述べたやうな海軍艦艇の緊急な必要のために多大の制約を受けざるを得なかつた、しかし戰爭が極めて逼迫した段階にあつた當時においては、受託造船所における勞働力はつぎのやうに配分されてゐた、卽ち

一、一般造船所において適當な艦艇改裝工事が不可能な場合は海軍工廠をしてこれを擔當せしめることとした

一、新船舶の建造は戰爭に必要な他のあらゆる武器生産の必要によつて制限を受けることとした

一、戰爭の初期においては、戰鬪用艦艇、航空機戰車等最も必要とされた武器の生産にこれら商船建造、修理、改裝に使用し得る勞働力の五十五パーセントを振り向け、爾餘の四十五パーセントをもつて商船の新造、修理、改裝に充てることとした

新たな船舶建造の目的は一定の造船能力にたいして最大限の物資輸入量を確保するにあつた、しかしてこれは約一萬デツドウエイト噸級の標準型貨物船の建造によつて達成された、これら標準型貨物船の構造は戰爭の過程において修正され、その後これらの船舶が益々多量に輸送することとなつた戰車、航空機、その他の容積の大きな軍需品等特殊貨物の搭載に適應するやうに改められた、なほ余はこれら標準型貨物船の速力は開戰以來殆ど增加されなかつたことを附言しておきたい、これら標準貨物船の速力は約十一・五ノツトとなつてゐる、更に標準型貨物船の建造に加へて主要輸入計畫以外の特殊戰爭用任務に要する船舶を相當數建造する必要があつた、一例を擧げれば冷藏船及び機關車その他各種の小型舟艇等容積重量ともに大な貨物を搭載するための船舶がこれである

商船建造實績＝久しくわが造船界が拂つた努力の如何に大きなものであるかは、余が今ここに議員諸君に發表せんとする船舶數、トン數によつて或る程度理解されることと思ふ、これ等の數字は未だ議會には報告されてゐないものである

商船建造（自一九三九年至一九四三年）

一九三九年九—十二月間に建造された分＝五十六隻、二十四萬三千グロストン

一九四〇年九—十二月間に建造された分＝百八十二隻、八十一萬グロストン

一九四一年九—十二月間に建造された分＝二百三十六隻、百十五萬八千グロストン

一九四二年九—十二月間に建造された分＝二百五十九隻、百二十萬四千グロストン

總計＝九百七十一隻、四百七十一萬七千グロストン

以上の數字は、前世界大戰當時一九一五年より一九一八年に至る四年間に英國において進水した商船三百七十七萬百七十トンに比し、今次の大戰において一九四〇—四三年の四年間に進水した商船トン數の方が遙かに多いことを示してゐる、しかもこの四年間の四百四十一萬五千六百六十八トンなる造船成績は一九一八年當時に比し遙かに少數の造船所、船臺、勞働力をもつてして得られたものであり、更にまたこれは燈火管制下の不便、空襲による勞働者住宅の被害を克服して擧げられたものである、しかして、戰爭の進展につれ徐々に造船計畫による建造船中より速力の大きい船舶の隻數を增加し得るに至り、更に「オーステリテイ」型速力十五ノツトの規格定期貨物船の建造計畫にも着手し得ることとなつた、この規格定期貨物船の建造は滿足すべき成績をあげてゐる

造船計畫の切換＝戰局の變化に伴ひ、かつ今や極東方面により多くの注意を拂ひ得るに至つた結果、われわれは目下この標準型船舶の建造計畫切上げをさへ考慮してをり、今後の戰局の段階において必要となるものと考へられる、從來とはやや異つた任務により適する船舶の建造に向つて既に造船計畫の切換へを實施してゐる、一例をあげれば、今後は地中海その他の大陸諸港に寄港し得るやうな、より小型の貨物船が必要とされるであらうし、また極東方面の戰局を考へれば定期貨物船

型の速力のより大きい船舶が必要となつてくるであらう、さらにこの方面に對しては特殊構造の沿岸貿易船も必要となるであらう、これらの型の船舶はより均衡のとれた商船隊を構成しうるものであり、戰後においてはまた特殊の通商に從事するに適するものである

運航率の向上策＝しかし、現下の情勢では、船舶建造及び修理に關する統制は依然として海軍省において行はなければならない、重要食料品、原料、軍需品に對する最大限の量を確保し、わが方の軍事攻勢を增大せしめるためには、商船運營の第一の目的は、戰時中は當然のことながら既に就航中の船舶をして常に十分の航行效率をあげしめるやうな狀態に置くことであつた、從つて船舶の修理は、可能な限り、寄港地における積荷の揚げ卸しの時間を利用して行はなければならなかつたさらに一航海期間が短縮された場合必然的に增加する平常の定期的修理に加へて、護送船團が——余がさきに指摘したごとく——平時においては通常とらない高緯度の大西洋を航行するため同航路では屢々荒天を冒すことになり、この結果船舶修理の負擔はおびただしく加重されることとなつたまた、ドイツ潛水艦、敷設水雷、航空機の襲撃による被害も甚大なものがあつた

修理改裝實績＝余はここでこのやうな情勢の下において船舶の修理に當るわが國の造船所がいかに困難な任務を遂行せねばならなかつたかを說明したいと思ふ、或る時期においては修理を要する船舶の數は平均四百三十一隻に上り、そのトン數は百六十九萬三千トンにも達した、しかも余の經驗に徵すれば僅かの例外は別として、大體一週七十五萬乃至九十萬トンの船舶が修理を完了して再び就航し得てゐたのである、この數字は病院船、兵員輸送船及び百トン以下の船舶を除外したものであり、また修繕費百ポンドに充たないものはこのうちに含まれてゐない、この上さらに多數の船舶が特殊の任務に從事するために改裝を施されたアフリカにおける戰鬪の初期においては多數の軍隊を喜望峰廻りで輸送するため多數の船舶が海軍補助艦艇として必要とされた、マダガスカル、アフリカ、シシリー、イタリア作戰、就中ノルマンディ侵攻作戰は複雜にして巧妙精緻な裝備を施された船舶を多數必要とした、戰爭の必要上多數の商船が海軍艦艇と同樣武裝しまた敵の使用する多樣の新武器に對する防禦のための裝備を施されなければならなかつた

傳統に背かず＝開戰以來今日に至るまでわが國で遂行された造船並びに船舶修理の業績に關し、余が下院に提出せんと欲した報告は以上をもつて終る、以上報告したところは、この大海運國におけるあらゆる產業中恐らくは最も緊要な產業部門の最もよき傳統に相應しいものと稱すべきであり下院も余のこの所見に同意せられるものと信ずる前大戰に比し今次の戰爭においては近代的海軍艦艇がその構造において夥しく複雜化し、その結果トン當りの作業も遙かに多くなつてをり、更に燈火管制による不便があり、これに加へて吾人の多くは今や漸く忘れかけやうとしてゐるが空襲による造船所並びに勞働者住宅に對する被害のあつたことなどを思ひ合はせれば、今次の戰爭においてわが造船界が前世界大戰當時より遙かに少い造船施設と勞働力をもつてして當時の造船高を凌駕する成績を擧げ得たことは、わが造船從業者一同にとつてこの上ない名譽とすべきであらう、なほ、海軍艦艇建造においても一勞働者當りの建造トン數はすべての商船建造の場合と著しく異るものでないことを余はここに指摘しておきたい、しかも海軍艦艇に要する餘分の機械はそれだけまた餘計に時間のかかるものである、往時と今日では情勢は著しく異つてゐる、以前は海軍艦艇も今日ほど複雜なものではなかつた、しかるに今日の海軍艦艇建造をみるに一勞働者當りの建造トン數は從前とさして變つてゐない、一方商船の建造においては一勞働者當りの建造トン數は著增を示してゐるこれらの結果は就中造船技術の改良によるものであるが、しかも全造船關係者のもつて大いに誇とするに足るものである、わが國に對しかやうな偉大な貢獻をなした造船界の將來を安固たらしめこれが從業員の將來の繁榮と安定を確保するのは議會及び一般國民の義務であると余は信ずるものである

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月廿二日(金)　第三二七八號

同盟通信 海外電報 (293)

編輯發行人　後藤伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話番人　同盟通信社

【目　次】

獨軍蠢進また蠢進……三一九八
四ヶ所で米陣を大きく突破……〃
米、戰局改善に狂奔……〃
三國の意見不一致を認む……〃
保守黨に對する最後の警告……三一九九

【米　洲】
首腦兩端を持する外交政策……三二〇〇
歐洲戰線損害……〃
軍需補給の不足を強調……三二〇一
陸軍動員强化……〃
フレーザー、ニミツツ會談……〃
國務省首腦任命承認さる……〃
大統領選擧一般投票最新結果……〃
勞働運動の統合失敗……〃

【歐　洲】
希大主教を攝政に推薦……三二〇二
エラス、政治犯を救出……〃
ド・ゴール、國民總動員を計る……〃
パリの燈管緩和……〃
ルブリン政權國境擴大を要求……〃
元伊アフリカ相に懲役刑……〃
ボノミ外務次官任命……〃
羅、ボノミ政權と國交復活……〃
ユダヤ人に對する制限を撤廢……〃
駐米衞大使任命……三二〇三
和蘭國民をベルギーへ疎開……〃
瑞敎育宗敎相更迭……〃

【英　帝　國】
V二號の調査團ロンドン着……三二〇四
新西蘭の重慶懷柔政策……〃
新駐米カナダ公使……〃

【アフリカ】
英エ新協定調印……〃
英西亞常駐相着任……〃

【ソ　聯】
勞働代表渡佛……〃

【西　亞】
シリア、レバノン英代表……〃

【東　亞】
佛新大使重慶着任……〃

【特　輯】
佛ソ同盟の成立(中)……三二〇四
歐洲航空戰の實相……三二〇八

【資　料】
寄生より共生へ……三二一一

世界の焦点

米國がもし「小國の民衆を解放するため」に今度の戰爭に參加したのであるならば、米國はギリシヤの「解放」のために戰つたエラス兵團を米國製の武器をもつて彈壓してゐる英國軍と一戰を交ふべきである、米國の戰爭目的が眞に「民主主義の擁護」にあるならばソ波國境問題でもポーランド亡命政權を支持して赤軍と戈を交へなければならない筈である、しかるにこれに對して米國政府當局のとつた態度は如何なるものであつたか、ステチニアス國務長官のポーランド問題に對するなんだかわけのわからない聲明の發表となり更にルーズヴエルトは反樞軸陣營が戰爭指導方針の金科玉條ともしてゐる大西洋憲章の反故化を示唆する如き言明を行つたではないか

今度の戰爭で米國に「戰爭目的がないといふのは正確な表現でないかも知れない、しかし米國がその戰爭目的として頻りに宣傳するものが米國の眞に意圖するところと全く別物であることだけは斷じて間違ひがない、これはただに今度の例ばかりではない、開戰以來米國が現實に實施して來た戰爭指導政策を回顧すれば直ちに明らかとならう

米國からの報道は今度の歐洲問題に對する政府當局の矛盾した煮えきらぬ態度によつて再び「米國は何のために戰つてゐるのであるか」との疑問が國民の間に起り、政府の明確なる對歐政策を要求する運動の起つてゐることを傳へてゐる、今にしてかかる疑問を起す一般米國民のお目出たぶりはさることながら米國の戰爭目的がはじめから米國民はおろか全世界を瞞着するためのもののみに過ぎなかつた以上、明確なる對歐政策の如きはこれを明示しようがないではないか

獨軍驀進また驀進

既に一萬以上を捕虜

（ベルリン二十日發）總統本營二十日正午發表＝西部戰線の全攻勢戰線においてドイツ軍は大多數の反樞軸軍基地を後方に取り殘して縱深陣地深く突破、掃蕩作戰を展開しつつ先鋒は驀進につぐ驀進を續けてゐる、以上の作戰においてドイツ軍は目眩しく戰鬪に投ぜられてゐる反樞軸軍豫備の個々の集團と隨所に激戰を展開してゐるが、現在までの報告によれば反樞軸軍一萬以上を捕虜とし戰車二百輛を擊破乃至鹵獲、飛行機百二十四機を擊墜した、以上の結果アーヘン及びザール地區における米軍の壓迫は著しく弱化した

四箇所で米陣を大きく突破

（リスボン二十日發）パリ來電によればアイゼンハワー司令部は二十日記者團の猛烈な抗議を浴びて「報道管制」を一時解除し

ドイツ軍は西部戰線の「廣汎な地域」で攻勢を續行、その戰車、歩兵部隊は四箇所でベルギールクセンブルグ兩國境を突破、縱深八粁から三十二粁の突破に成功した

と發表したといはれるが、米第一軍筋の極秘情報としてAP前線報道が傳へるところによれば、ドイツ軍は十八日正午米第一軍の主力集結陣地線を大きく突破して、スタヴロー、コンスドルフ、およびサン・ヴイート附近まで雪崩を打つて殺到したと傳へられる、コンスドルフはルクセンブルグに通ずるベルギー國境西方約八粁、サン・ヴイートはスタヴロー東南三十六粁の地點にあり、以上をもつてしてもドイツ軍による突破地域の幅が極めて廣いことは明瞭だ

ロイター前線報道によれば米第一軍はルントシュテツト攻勢を牽制するためモンシヤウ地區で微弱な反擊を試みてゐるが、ドイツ軍は米軍反擊戰線の後方に落下傘部隊を投じて一擊の下に粉碎した樣子でUP電報は

モンシヤウ南方百十二粁の戰線は極めて「流動性」に富んでゐる

と報じドイツ軍迅雷の進擊を間接に認めてゐる

米、戰局改善に狂奔

（リスボン二十日發）西部戰線におけるドイツ軍の劃期的大攻勢は五日目に入るに至つたが愈々猛威を揮つてゐる樣子で、獨米兩軍とも戰況に關する完全な「報道管制」を實施してゐるため細目の動きは判明しない、アイゼンハワー司令部附ロイター記者ウイリアム・スチーンが二十日次の通り報じてゐるところからみて、反樞軸軍の不利は歷然たるものがある

「ルントシュテツト攻勢が喰ひ止められたといふ報告は全然ない、ドイツ戰車、歩兵の大軍は過去五十二時間に戰略上の重大要衝リエージュ、ルクセンブルグに向つて深く楔を打ち込み、新たな「フアレーズ間隙」を形成したやうだ、反樞軸軍首腦部は事態を改善するため必死の工作を續けてゐるが惡天候のため殆んど效果を擧げてゐない」

三國の意見不一致を認む

（ストツクホルム二十日發）ロンドン來電＝英國首相チヤーチルは二十日英國下院におけるギリシヤ政策の討議に當り、歐洲の「解放された」諸國に關する政策について米英ソ三國間の意見が一致してゐないことを認め次の通り述べた

「米英ソ三國は戰爭の遂行に十分協力してゐるがこれら諸事件のあらゆる樣相について完全に意見が一致してゐるかどうかは全然別個の問題である現在英國政府がより大きい協調を實現しようとして機宜の措置を講じてゐるといふのが正しい結論である、米英ソ三國は三國間の同盟を結び附ける全般的諸目標について完全に意見一致してをり、世界戰爭の危險且つ重要な現在の樣相において最も緊密な協同を維持することがあらゆる意味で必要である」

議員間から歐洲の解放された諸國において「勢力範圍」を割當ることがダンバートン・オークス會議の世界安全機構案と相容れないかとの質問が出たが、チヤーチルは「この話題については今余が觸れないのがいいと思ふ」と逃げた、さらにギリシヤ政策については「ギリシヤ國内における紛爭解決の責任は英國の双肩に懸けられたが、國内においてすら批判を受けることなしに未だこの任務を果すことができない有樣である、これら批判のために、英國政府の困難は一段と加重されてゐる」と述べた

昭和十九年十二月廿二日（金）
第三二七八號

同盟通信

海外電報
（第三種郵便物認可）

保守黨に對する最後の警告

―下院議論拂騰―

（ストツクホルム二十日發）ロンドン來電＝勞働黨の領袖アーサー・グリーンウツドは二十日英國下院においてギリシヤ政策に關する討議を要求し劈頭次の通り述べた

首相の措置は遺憾＝「勞働黨は西部戰線における事態が重大な轉換を示してゐることを十分承知してゐる、英國人のすべてがまづこの事實を念頭に置かなければならない、歐洲戰爭が始つてから余は苟くも戰爭の積極的遂行を阻害する言明を差し控へたのであるが、今や反樞軸軍が實質的な且つ重大な挫折を受けてゐることを認めなければならない、ギリシヤ問題は軍事上の見地からではなく、最後に精神的な價値が勝利を決定するが故に特に重要である、ギリシヤ國内の情勢は正に試金石である、現在ギリシヤ國内の情勢については非常に重大な困難が伏在してゐることを承知してゐるが、首相チヤーチルが正しい方法によつてこの事態を處理しなかつたことはまことに遺憾である首相の措置によつて國内の政情は苛烈化するに至つた、勿論國内に意見の分裂はなく、すべての人々が事態を慨歎しギリシヤ人と英國人とが互ひに喉を切り合はねばならないやうな事態を殘念に思つてゐる、もし意見の相違があるとすれば十八日の下院で首相が用ひた言葉に由來してゐる、首相はあたかもクリスマス前に學校の先生が學童などに對しクリスマスお目出度うといふやうな態度に出るべきではなかつた、決して内閣に對して挑戰する積りはないが、ギリシヤ國内の情勢について英國をはじめ、亡命各國數百萬の人間が心痛してゐるのである、この問題は決して軍事上の問題でなくて、政治問題であり强力手段によつて乃至は交渉にさき立ち武器を拋棄することを要求することによつて解決されはしないが、首相は人間を羊と山羊とに分けようとし、EAM團は悉くギヤングだといふ印象を與へようと努めた、ギリシヤ國王は國民の大多數が希望してゐると余が諒解してゐる攝政府の設置に非常に反對してゐるといふがギリシヤの利益のために、英國民の將來と名譽のために政府が速かに射撃をやめて彈丸（ブレット）よりも投票（バロツト）に訴へることを切に希望する」

内亂彈壓にグルカ族使用＝次いで自由黨のサー・パーシー・ハリス、保守黨のロバートソン、勞働黨のアヌーリン・ベヴアン等はそれぞれ所見を開陳したが、特にベヴアンは「英軍はギリシヤ内亂の彈壓にグルカ族を使用した、グルカ族は政治的に後れてゐる人種でギリシヤ人に對し攻撃を加へる場合に信賴出來ると考へられてゐるからだ」と述べるや議場は一時騒然とし、外相イーデンが特に「現在ギリシヤ國内における英軍の壓倒的多數は白人である」と陳辯したが、ベヴアンは納得せず、「少くとも當初においては非常に多數のグルカ族が注ぎ込まれたことは間違ひない」と述べさらに次の通り强調した

「グリーンウツドは非常に穩かな言葉を使ひこの問題で聯立内閣を終らせたくはないと述べたが、保守黨がもしかかる政策をあくまで强行しようといふのであれば保守黨だけでやるべきで、勞働黨にあまり傷をつけてもらひたくない、もしクリスマス休會後においても英軍が依然としてギリシヤ國民彈壓のために使用され、しかも院内勞働黨が政府彈劾の決議案を提出しなければ、他の勞働黨議員が彈劾案を提出し、全國に對しギリシヤ政策は保守黨の政策であつて英國の議會の政策でないことを明かにするであらう」

以上の攻撃に對しイーデンは次の通り答辯した「英國政府はギリシヤ政策については米ソ兩國と協議し同意を得てゐるので獨斷で行動したといふ非難は當らない、英軍がギリシヤに入るに先立ちエラス兵團のサラフイス將軍並びにエデス兵團のセルヴアス將軍とカセルタにおいて會見し、所謂カセルタ方式を取り極めたのであるが、右協定の結果、一切の遊撃部隊がスコビー將軍の指揮下に入ることに取り極めができた、英國政府の目標とするところはEAM團の代表を加へ各派の代表からなるギリシヤ政權を組織し、國内の治安を維持するにあり、攝政府の設置案も英國大使の發意に基いてゐるくらゐだ、恐らくギリシヤ國王は攝政府設置案に異議がないと思ふ」

【米　洲】

首鼠兩端を持する外交政策

—ルーズヴエルト記者團會見—

（リスボン二十日發）國務長官ステチニアスは、英國首相チヤーチルの要請に基づき歐洲大陸に關する外交政策を闡明したが、右聲明は米英ソ三國の共同戰線維持と國内輿論に對する氣兼ねとの中間を彷徨し、首鼠兩端を持する韜晦策を一歩も出でず、ワシントン來電によれば「ワシントン・スター」紙は十八日の夕刊で「合衆國ポーランド領土の分割に反對」と題する大見出しを揭げてゐるのに對し「ワシントン・タイムズ・ヘラルド」紙は「合衆國ポーランド領土の分割を支持」と題する全く反對の見出しを揭げてゐると傳へられる、消息筋の觀測では「强力な獨立自由なポーランド」の確立に米國政府が極力支援を與へる事を代償に亡命ポーランド政權に對しカーゾン線Aを基調とするソヴエト政府の國境畫定案を受諾するよう亡命ポーランド政權に示唆したのが國務省聲明の趣旨だと解釋してゐるが、米國政界筋では韜晦聲明に滿足せず、特に上院では外交政策の闡明を要求する意見が頓に有力化するに至つた、大統領ルーズヴエルトは米英ソ三國關係の重大化を餘所に三週間ウオーム・スプリングスに休養に出かけその間大統領は重態だとか、ワシントン、ボストン及びニューヨークの三病院で腎臟を手術して取除いて了つたとか色々な噂が飛んだが、十九日初めてホワイト・ハウスで大勢の記者團と引見し次の通り應酬した

歐洲の解放された國々に關し大統領が米國政府の方針を再確言すべき時期が到來したといふことを上院における大統領の支持者達が頻りに主張してゐるが同意見か

問＝米國の政策は記錄に止められてをり改めて聲明する必要もなければ殊更に闡明する必要もない

問＝大西洋憲章の原則を依然堅持してゐるか

答＝一九四一年夏大西洋上における英國首相チヤーチルとの會見で起草された大西洋憲章の諸原則は依然健在で、聯合各國もまた一九四二年一月一日同憲章に調印支持を表明した、但し大西洋憲章自體は正式の文書でなく余も英國首相も調印などせず單に聲明を起草したに過ぎない、この聲明が米國に向つて放送され英國政府が新聞に發表したまでだ、但し後に聯合各國政府が大西洋憲章の諸原則支持を表明したワシントン宣言に調印したのである

巧みに答辯を避く

問＝スターリン議長並びに英國首相チヤーチルとの會見を歡迎するか、乃至近く會見する見込みがあるか

答＝全く臆測の範圍を出ないから、答辯の限りでない

問＝英國の勞働相サー・アーネスト・ベヴインが歐洲の「安定」に關する英國政府の提案に大統領が言明したと述べてゐるか？

答＝國務省は先週右報道を否定しなかつたか

問＝否定はしてゐない

答＝恐く國務省は穩健な字句を使用したのだらう

問＝それなら英國勞働相の述べたところは否定されたと見ていいのか

答＝右報道自體が色々論議の餘地があるのだから記者團諸君も注意して欲しい、なんでもないことなのだからこの問題を持ち出さないで欲しい

問＝國務長官の聲明について「ワシントン・スター」紙と「タイムズ・ヘラルド」紙とは正反對の解釋を下してゐるが、大統領は何れの見出しを採るか

答＝「スター」紙の方をとる、然し兩紙とも見てゐないのだし、品のいい新聞と然らざる新聞とでどつちをとるかといふのに答へたまでだ

歐洲戰線　損害

（リスボン十九日發）ワシントン來電＝陸軍省は西歐洲における米陸上軍の損害につき十八日次の通り發表した

十一月中の損害は合計五萬七千七百七十五名で侵攻作戰開始以來十二月一日までの損害總計は二十五萬八千百二十四名に達した、以上はフランス、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ諸國内における作戰中の損害で海軍、海兵隊、沿岸警備隊の損害を含んでゐない

昭和十九年十二月廿二日(金)
第三二七八號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

軍需補給の不足を強調

(リスボン十八日發)下院陸軍委員は目下歐洲戰線を視察中だがUP電報によれば委員の一人共和黨議員トーマスは十七日イタリアの米第五軍司令部で次の通り述べたといはれる

西部戰線では重火器用彈藥、ゴムタイヤ等の不足が甚しく戰爭の遂行に支障を來してゐる、また病院船の不足から輸血用血液の輸送が止まり兵員の士氣に重大な影響を與へてゐる、われわれはこれらの不足がどこからきたのか、またこれを最短期間に是正するには如何にしたらよいか調査する積りである、フランス戰線では以上の不足はイタリア戰線に於るよりも甚しい、しかし委員達はイタリア戰線の地形の困難及びドイツ案の山岳陣地の强固さを實際にみて一層多數の火砲、彈藥、兵員をイタリア戰線に振り向けるべきだとの意見である、銃後の米國民は軍の檢閲にもよるが戰局の前途につきあまりに樂觀的過ぎるやうだ

陸軍動員强化

(リスボン十七日發)ワシントン來電=陸軍省は十七日選拔徵兵局に對し明年一月、二月の陸軍召集人員六千名を八千名に增加するやう要求した、陸軍は一時召集人員の減少を行つたこともあるが、最近の戰局は陸軍當局の豫想に反していよいよ熾烈を極め、兵員の損害も豫期以上に達してゐるため、今回の動員强化となつたとみられる

フレーザー、ニミッツ會談

(リスボン十九日發)パール・ハーバー來電=英國太平洋艦隊司令長官フレーザーは最近濠洲より當地に到着したが、米國太平洋艦隊司令長官ニミッツは十九日目下余と英國太平洋艦隊の幕僚との間に會談を續行中である

と發表した

國務省首腦任命承認さる

(リスボン十九日發)ワシントン來電=上院本會議における國務省首腦の任命承認問題は十九日の表決において一應打切りとなり、國務次官グルー以下五名の國務次官補の任命が全部承認された、表決投票內譯次の通り

△國務次官
ジョーゼフ・グルー　六六票對七票

△國務次官補
ネルソン・ロツクフエラー　六二票對一〇票
ジエームス・ダン　六二票對一〇票
ジユリアス・ホームズ　六一票對九票
W・クレイトン　五二票對一九票
アーチボルド・マクレイシユ　四三票對二五票

なほこれより先にルーズヴエルトは三週間にわたる休暇から十九日ワシントンに歸還したが、國務省首腦の任命承認がいまだ實現してゐないのに業を煮やし、自ら電話をもつて任命の反對派に目される上院議員連と話しあつたといはれる

大統領選擧一般投票最新結果

(リスボン十七日發)ニユーヨーク來電=AP通信社の調査によれば十一月の大統領選擧において民主、共和兩黨候補の獲得した一般投票の最新統計左の通り

總投票數　四七、九六九八、二八票
ルーズヴエルト　二五、六一〇、九四六票
デユウイ　二二、〇一八、一七七票
その他　三四〇、七〇五票

勞働運動の統合失敗

(リスボン十九日發)ワシントン來電=產業別組織會議會長フイリツプ・マレーは十九日勞働總同盟會長ウイリアム・グリーンに對し賃金調整、戰後の完全雇傭、廣汎な社會保險制度、反勞働運動法規の廢棄等を目的とした協同運動計畫樹立のため兩勞働組合代表による會議の開催を提案したが、グリーンはこの提案を一蹴して次の通り述べた

勞働總同盟が嘗て米國の勞働運動統一を企圖し兩勞働組合の會議を提唱したに對し產業別組織會議がこれを拒絕したことがあつた、勞働運動の統合を達成するには勞働組合が組織的に結合する以外方法はない、かかる勞働團體が現在並びに戰後において最も必要とされるにも拘らずマレーはこれに耳を藉さない有樣だ、米國內にはただ一つの統合された勞働運動が存在し得るだけである

【歐　洲】

希大主教を攝政に推薦

（リスボン十九日發）アテネ來電によればギリシヤ政權首相パパンドレオは事態收拾のため遂に攝政府の設置を決意、十九日ロンドンの國王ゲオルギオス二世に打電して攝政にギリシヤ大主教ダマスキノスを推薦したといはれ、一方ロンドンからのAP電報によれば國王は既に同意したと傳へられる

他面英國側は內亂收拾に必死の工作を續け、英軍司令スコビーは近くEAM團の代表ボルフイロゲニスと會見する段取まで漕ぎつけた樣子だが、ロイター電報によればパパンドレオ政權內部でも攝政府設置に關しては依然として意見が纏らぬ樣子で、エキスチエンジ通信のごときは以上をもつてパパンドレオ政權凋落の兆歷然たるものがあると報じてゐる

エラス、政治犯を救出

（リスボン十九日發）アテネ來電によればエラス兵團はアテネ東北方數粁のキフイスにある英空軍本部を包圍、英軍機甲部隊は急を知つて救援に驅けつける騷ぎを演じたといはれるが、アテネ中心部においてもエラス兵團の攻擊は愈々激化、英軍に對する包圍環を更に壓縮、特に一部隊は政治犯收容所たるアヴェロウ監獄を襲擊、一時間半に亘る激戰の後英軍及びギリシヤ政權軍を擊退して元首相ジョン・ラリス以下六百四十名の政治犯を解放したと傳へられる

ド・ゴール、國民總動員を計る

（リスボン十九日發）パリからのエキスチエンジ・テレグラフ通信によればド・ゴール政權はフランス全國民を軍隊並びに工業部門に總動員するに決したといはれる、同政權は目下反樞軸諸國との間に武器並びに原料物資受入れに關する交涉を重ねてゐるが、協定成立次第軍務に適するか乃至勞務に耐へ得る全佛國民を動員する豫定といはれる

パリの燈管緩和

（リスボン十二日發）パリ來電＝パリ市內の燈火管制は十二日から緩和され、街燈、店頭の飾窓、建物の入口等は明りをつけることを許された

ルブリン政權「國境擴大を要求」

（ストツクホルム十九日發）チヤーチルの下院聲明を契機としてポーランド將來の國境問題が再び大きく脚光を浴びるに至つたが、ルブリンのポーランド解放委員會情報宣傳委員ステフアン・インドルイホフスキーは十八日の「プラウダ」紙に一文を寄稿、オーデル河東方及びナイセ下流のドイツ領土を要求、次の通り述べてゐる

「フランス、チエツコ、ユーゴ、ソ聯及び英國のチヤーチルはポーランドの領土要求を支持してゐるが、米國の一部ではポーランド西部國境の複雜多岐な問題を理解せず、われわれの要求を檢討してみようともしない、ポーランドはポーランド民族の居住する舊領土を要求する當然の權利がある從つてわれわれは次の地域を要求する

一、上部及び下部シレジア（ブレスラウを含む）

一、オーデル河東方の國境地域

一、オーデル河の線までの西部ポメラニア

一、ヴイスツラ河口（ダンチツヒを含む）

一、プロイセン西部及び東南部」

（註＝オーデル河はベルリン東北方三十哩の地點を流る、ナイセ河はベルリン東南方でオーデル河と合流する）

元伊アフリカ相に懲役刑

（リスボン十三日發）ローマ來電によればローマ政權はフアシスト政府の元アフリカ相アツテイリオ・テルツイ氏に對し缺席裁判で懲役十三年の刑を宣告したといはれる

ボノミ外務次官任命

（リスボン十五日發）ローマ來電＝ボノミ政權は十五日ナポリ市長イウジエニオ・レアーレ博士を外務次官に任命した

羅、ボノミ政權と國交復活

（リスボン十七日發）ブカレスト來電＝ルーマニア傀儡政權はボノミ政權との間に外交關係を復活するに決定した旨十七日發表した、ただし外交代表はまだ決まつてゐない

ユダヤ人に對する制限を撤廢

（ストツクホルム十九日發）ブカレスト來電＝ルーマニア國王ミハイ一世は同國內居住のユダヤ人に對する諸制限を撤廢し、ユダヤ人の市民權完全復活を促進する新法令に署名した

同盟通信　海外電報（第三種郵便物認可）

駐米葡大使任命

（リスボン十九日發）ポルトガル政府はヘンリー・ノルウエツグ氏を今回米國駐劄大使に任命した

和蘭任民をベルギーへ疎開

（リスボン十七日發）ブラツセルからのアネタ通信は十七日次のやうに報じてゐる

英政府當局はシエルト、マース兩河中間の低地帶に居住するオランダ人五千人をベルギーに疎開させた、右はドイツ軍の堤防破壞により居住不可能となつた上、溺死した數千頭の牛が腐敗して傳染病發生の危險があるためとつた措置である

瑞教育宗教相更迭

（ストツクホルム十六日發）スエーデン政府は十六日教育宗教相を更迭し、ヨスタ・バツゲ教授の後任としてアンドレン教授を任命した

V二號調査團ロシドン着

（ストツクホルム十九日發）「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙ロンドン電によれば、英國の科學者と協力してドイツ軍V兵器の謎を解かうとの目的で米國の著名な科學者たちが多數ロンドンに乘り込んだといはれる、中でも注目されるのはカリフオルニア工學研究所のカール・アンダーソン博士で、博士は從來あらゆる專門家の努力にも拘らず未解決のまま殘されてゐるロケツト問題を解決する使命を帶びてゐるといふ

【英帝國】

新西蘭の重慶懷柔政策

（リスボン十五日發）ウエリントン來電＝ニユージーランド藏相ウオルター・ナツシユは十五日次の通り述べた

今回政廳は多年に亘つて實施された支那人移民に對する人頭稅を廢止することに決定した、支那人の入國制限に關する法令はニユージーランド、重慶兩國關係を著しく阻害する、今後支那人移住者は他の外國人と同樣の條件の下に入國し得ることとならう

新駐米カナダ公使

（リスボン十七日發）オツタワ來電＝カナダ首相マツケンジー・キングは十七日、レストン、ピアーソンをワシントン駐劄公使に任命する旨發表した

【アフリカ】

英エ新協定調印

（リスボン十九日發）アヂスアベバ來電＝一九四二年締結された英國、エチオピア協定並びに軍事假協定に代る新協定が十八日調印された、右協定の交涉はエチオピア國王ハイレ・セラシエ一世と英國政府特派代表デ・ラ・ウオール間に行はれた

英西亞常駐相着任

（リスボン十八日發）カイロからのロイター電報によれば過般暗殺されたモインの後任として英西亞常駐相に任命されたエドワード・グリツグは十八日カイロに到着したといはれる

【ソ聯】

勞働代表渡佛

（ストツクホルム十九日發）モスクワ放送によればソヴエト勞働組合代表五名はフランス勞働總同盟の招請に應じ、パリに向け出發したといはれるが、訪問の目的はフランス勞働組合運動首腦部との連絡を緊密化しソ佛兩國勞働組合の友好協力關係の樹立を協議するためとみられる

【西亞】

シリア・レバノン英代表

（リスボン七日發）ロンドン來電＝カイロ駐劄英國大使館顧問アレン・シヨーンはエドワード・スピアースの後任としてシリア及びレバノン駐劄英國代表に任命された、スピアースは下院議員に打つて出るため最近辭任した

【東亞】

佛新大使重慶着任

（リスボン十八日發）重慶來電＝佛ド・ゴール政府の重慶駐劄大使チノウイ・ベチコフは十七日空路重慶に着任した

特輯

佛ソ同盟の成立(中)

—モスクワ佛ソ會談の内容—

井上勇

スペインの始末

さて、そのつぎにはスペインの問題であるが、フランスはフランコ政府と正常な外交關係を結んでゐる、南方國境に敵を作らないのはフランス外交の金科玉條なのだから仕方がない、その結果、南佛地方のスペイン共和軍についても徹底的ながら彈壓の手を下してゐる、しかしこれはソ聯の必ずしも快しとはせぬところであるのは自明の理である、最も果敢なフランコ政權攻撃の選手であるソ聯が、ド・ゴールに一言位ゐ釘をさゝぬ手はないだらうとは英米の「民主々義」者どもが一樣にいふところだ、ド・ゴールも表向きはフランコ政府との交友を保ちつつ、裏面ではよろしくスペイン亡命政客のフランスにおける暗躍を默認してゐる形なので、或る程度スターリンの要求に承認を與へたであらうことは想像出來る、これがどんな形でフランスの對スペイン政策に現れてくるかは事實についてみるよりほかはない

そこでいよいよモスクワ會談の花形だつた同盟の問題に歸るわけであるが、これにたいする各國の態度を要約するとつぎのやうなものでもあらうか

一、ソ聯はこれによつて西歐聯合を爆碎し、少くともソ聯に對しては無力化するに成功した

二、フランスは新同盟によつて國内的には共產黨の壓力にブレーキをかけることが出來、國際的にはフランスとド・ゴールとの地位を確立した

三、英國は西歐聯合の理念の建直しをせねばならなくなつた

四、米國はその理想とする世界的安全保障組織に龜裂が生じて憂鬱である

五、歐洲の弱小諸國はこれで完全に强國の顏色に甘んずるほかはなくなつた

六、世界は再び舊式な權謀外交の坩堝に投じられるに至つた

から結論しておいて、同盟の成立が世界の輿論に如何に響いたかを新聞雜誌の論理にみて行かう、まづ、米國から始めよう

現實と理想の相剋

「ニューヨーク・タイムズ」紙十二月十日=ド・ゴール將軍はモスクワ訪問九日間の冠冕として、怖らくはいはゆる彼の期待を滿たすに足る成功をもつて、フランス、ソ聯兩國間の新らしい同盟相互援助協定に調印を了した、彼自身にとつて新らしい個人的成功であり、フランスにとつては新らしい勝利である、フランスにとつて新らしい勝利であるとなす所以は、フランス現在直面する一時的な困難、弱點に拘らず、なほ且つフランスは大國——その友情を戰爭と平和とを問はず、求める價値ある强國であることに變りのない事實を、ここに再び印象的に表徵されたからである、この意味においてフランスもド・ゴール將軍も、今回の新らしい組合せについて祝福されるべきであらう、しかし、新らしい同盟はドイツの爆發の結果生じた地震に搖ぶられた歐洲が、その平衡を回復せんとする努力のいま一つの兆候と解することが出來るドイツ制覇の脅威はその敗北と武裝解除によりて當分は除去されたかも知れない、しかし歐洲の爾餘の諸國及び世界の恒久安全は、ドイツの力にたいして一層大なる力をもつて共同に行動し、相互に援助するため共力一致するほかに途はない、これが赤裸々の歐洲の現實なのである、ドイツの直接隣人であり、ドイツによつて最も直接に脅やかされる國々が、相互に同盟の結帶を固めようと求めるのは恐らく自然な成行であらう、かくみるとき佛ソ間の同盟は最も論理的な部類に屬する、ある面ではフランス、ソ聯間の新同盟は、單にソ聯と英國間の同盟と併立するものであり、ソ聯とチエコスロヴアキア間の同盟と同種のものであるともいひ得る

昭和十九年十二月廿二日（金）
第三二七八號

同盟通信

海外電報

（第三種郵便物認可）

新同盟はソ聯を安堵させ、フランスの獨立を擁示する二つの役をつとめるものである、しかしいまその目的が達成された上は、現在存する同盟を英佛間の同盟によつて完全なものとし、前世界大戰前の三國協商に比すべき三國同盟にしなくてはならぬといふ議論はでてこないやうだ、若し新同盟がドイツの新らしい爆發を防止するに十分有力に働き得るものとすれば、われらの生活する時代の平和確保に眞に成功するかも知れない、同時にかかる同盟の制度が前國務長官ハルがモスクワ會談のあと意圖した全般的世界機構の理念と、なにか全く違つたものであるとも明らかである、ハルの言に從へば、その組織は同盟乃至は勢力圈等を不必要とするところのものである、歐洲の政治の現實は、かかる期待を壓倒抹殺し去つた、今回の同盟については各國の望み得るところは、これがダンバートン・オークスで計畫された平和組織と必ずしも衝突するものではないことが明らかにされることだ、一步進んで歐洲の平和維持のための地域的組織の形で全般的世界機構の中に包含されることを希望するだけだ、しかし同時に、何人も歷史に示された多くの事例でも判る通りに同盟制度につきものの危險を看過するわけにはゆかない、加之、合衆國はそれについて二重の關心を有してゐる、過去二度の戰爭は、舊世界の平衡を正すためにはなほ新世界の力を必要とすることを證明した、また同時に米國は、その健全な自己保全の本能に基いて歐洲たると極東たるとを問はず、米國に敵意ある國家または國家群が、これを制覇する危險があれば常に武器を取つて立つだらうことを過去二度の戰爭が示してゐるからだ

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙十二月十二日＝現在までにわかつてゐるソ佛條約の內容は一九四二年の英ソ條約と全く同一ではないにしてもほぼ同じ線に沿ふものであるといふことだけだしかし、その意味するところには、それ以上のものがある、兩國は單に相互に共同してドイツにたいして戰爭し、媾和し、またドイツの國力が復興した將來は共にこれにたいして防衛することに同意したのみではない、平和再建の後、歐洲における安全保障の組織、經濟的繁榮のために密接友好的に協力しようといふのである、佛ソ同盟に希望をかけるのは、これによりて一九一四年以前のアンタント・コルデイアルが如何に回復されたかであるよりも、英、米、ソ間の現在の協力にフランス國民が自由意志に基いて、かつその權利として如何に結び付いて來たかによるものである、勿論本條約は希望を含むと同時に危險も包藏してゐるフランスが獨立國家であることは論義の餘地はないが、フランスが若しその獨立を英ソ間に有り得べき對立關係に乘じて分銅の役に使ふが如きことがあれば、われわれは再び古い同盟對立の組織、不安定な「均衡」時代に復歸する路を拓くことになる、しかし現在のところフランスがかかる意圖を有しないことは明らかだ、佛ソ同盟は國際的組織によつて「被覆」されるまでの一時的便法であつてほしい、佛ソ條約が、若しこの精神で起草されたとすれば、來るべき國際組織の建築に新らたに强力な礎石をおいたものといひ得る、國際的制度組織の問題は既にどこにおいても承認ずみの問題であるが、それは根底において强國による中心を組織することに歸する、佛ソ條約は、かかる組織の前提に重要な一步を踏出したものとして歡迎すべきだ、これを前提として更に廣範な組織が成長するであらう、しかし現在のところ佛ソ條約は個々の國家代表によつて企てられた純粹な双務的企圖に止まつてゐる、これを發展せしめて、あらゆる大國間の永續性ある多角的協定にまで成育せしめることの必要を特にこの際强調しなくてはならない、國際世界に現在最も缺けてゐるものはそれであるからだ

「ワシントン・イヴニング・スター」紙十二月十二日＝吾々はいまだ去る十日日曜日ソ聯とド・ゴール將軍を首班とするフランス臨時政權との間に調印された條約の正確な內容については知るところがないが、しかし、同時にモスクワで發表された共同コムミユニケによつて、それが同盟、相互援助條約であり、現在の戰爭を越えて戰後にまで繼續するものであることは判つてゐる、思ふに本條約は英ソ條約と同性質のものであり、同じやうに向ふ二十年間の期限を有するものであらう、この新しい外交的聯繫は種々な局面を有し從つて解釋も色々生じ得る

ただ、最も注目すべき點はド・ゴール將軍とその政權の駐目すべき勝利であり、第二に特記すべきは、戰敗によつて受けた破局的損害に拘らず、且つ暫定的とはいへその軍事力皆無のフランスの國威が、これによりて極めて印象的に顯示されたことである、フランスはソ聯と英國とのいづれからも大國として待遇された、まことにド・ゴールのモスクワへの旅がウインストン・チヤーチルのパリ訪問中、スターリン自らの招待によりてなされたものであることの事實は最も意味深長である、チヤーチルのパリ訪問に先立つて、その使命は西歐聯合の礎石として英佛同盟を締結するにあると專ら噂傳された、鰾て第一次世界大戰前英佛ソ間に存在した「三國協商」に類する外交的結合の一部として英佛協定の交涉が行はれるに至るかも知れない、三國協商はドイツ帝國の增大する脅威に鑒をかませる目的だつたが、周期的に擡頭するドイツの侵略性に對しての根本的對策として今日同じ聯繫が生れんとするのはまた論理的歸結といひ得よう

中立國から見た米國

ストツクホルム電がつたへる佛ソ同盟にたいする米國の反響はかうだ

「米國は豫て佛ソ條約の成立は豫期してゐたに拘らず、愈々調印されたとなるとワシントン方面の焦燥には覆ひ難いものがある、米國側の見解では平和保障の世界的組織がダンバートン・オークス案で示された以上はかかる條約は蛇足だといふにある、米國の外交は全般的平和機構を組織することによつて、歐洲の小國の自由と獨立との保障を獲得しようと努めてゐる、この意味で、ダンバートン・オークスの決議は十分よく米國の意圖するところを反映してゐる、しかし最近のギリシヤにたいする英國の態度、また佛ソ同盟の成立は明らかにアメリカ外交とは反對の方向を示すものだ、これ等は强國の小國にたいする干涉主義を暗示するものであり、權力政治の蒸返しである、ワシントンが焦たつのも無理はない、この焦燥は十一日の新聞にもみることが出來る「ニューヨーク・タイムズ」は何時とは似てもつかぬ鋭い言葉使ひでもつて本條約に反對を表明してゐる」

「バーズラー・ナハリヒテン」はまた米國の反響を十二日次のごとくつたへてゐる

「米國の新聞は佛ソ同盟を批評して、この條約は戰前の歐洲政治方式を用ひて成立したものだとしてゐる、彼らは偏見のない平和保障組織を創造しようといふ米國の考が、かかる條約の成立によつて妨碍されることを恐れてゐる、「ニューヨーク・タイムズ」はハルが米國の所期する平和組織が實現すれば同盟などは不必要となるといつた聲明を想起しつつ、今や歐洲の政治は米國のかかる希望を無殘に破碎したと稱してゐる、米國は歐洲の新同盟組織が、英國の對イタリア、對ギリシヤ干涉政策に對する批判を背景に追込んでしまふことを怖れてゐる、餘談であるが「スヴエンスカ・ダグブラデツト」が信ずべき筋からの情報として傳へるところによれば、アイゼンハワーは、英國のベルギー內政干涉に同意を與へた旨をワシントンに報告し、それについては自分も共同責任をとると通告したため、ルーズヴエルトは自分で行ふ筈だつた例の解放諸國の內政不干涉政策の聲明を、實際になつて新國務長官ステツチニアスに押付けたのだといはれる」

英國の輿論は贊成

「スヴエンスカ・ダグブラデツト」のロンドン特派員の十日電によれば、「ロンドン・タイムズ」はその社說で佛ソ協定を歡迎し、二年前英ソ間に締結された重大なる條約を擴大强化したものとしてゐるさうだ、同特派員の紹介する「ロンドン・タイムズ」社說要旨はつぎの通りである

英ソ條約が他の同種條約の模範たるべきことは常に英國の希望とするところであつた、ド・ゴール將軍は西歐聯合の案に興味を有すると共に、一般的保障制度に包含さるべき地域的國家群の問題に關心を持つてゐる、或るものは西歐聯合はソ聯勢力に對抗する意圖のもとに立案されたものと解釋してゐるがそれは見當違ひだ、佛ソ協定はかかる疑惑がいかに根據のないものであるかを立證するものだ、ことの有りやうは、ソ聯の忠實なる聯合國として英佛間に西歐同盟を結ぶための論議が今回の佛ソ協定によつて、十分强固な基礎の上に立つて續けられ得るに至つたことである

同じ線に沿ふ見解は「チユーリツヒア・ツアイツ

ング」紙の十二日付ロンドン電にも見ることが出來る、同電によれば「英國は佛ソ同盟をもつて、英ソ同盟の補足であると解し、從つてこれを肯定してゐる、英國輿論は、佛ソ同盟の結果、西歐諸國間の密接な聯合結成は一層容易になつたと見てゐる、坊間傳へられるが如く、西歐聯合がソ聯を目標するものである等は誤解で、ロンドンは曾つてかかる目的を有したことはない、しかし、ソ聯が抱いてゐる西歐聯合に對する疑惑が、將來完全に解消されるかどうかは甚だ興味ある見ものだ、また、事實の自然的結果である西歐諸國間の一層密接な協力が純粹に事實上の關係以上の形を採るに至るかどうかはなほ確かでない」と報じてゐる

つまり「ロンドン・タイムズ」は佛ソ同盟によつて西歐聯合の結成は促進されると解するのに對して、「チューリツヒア・ツアイツング」記者は事實の自然的結果――地理的、文化的、經濟的自然環境の近似が生む必然的な協力は勿論成立するであらうが、この自然的關係をある方向に志向せしめる意圖を含む政治的、軍事的協定の成立にはまだ疑問の餘地があると見てゐるわけだ、同じ特派員はまたかうも打電してゐる

「ロンドンは佛ソ條約を全面的に支持してをり、これをもつて歐洲の安全保障制度の重要部分を構成するものと見てゐる、ロンドンは早くからド・ゴール及びビドーが佛ソ同盟にフランス外交政策の基礎を置かうとしてゐることを知つてゐた、チヤーチル、イーデンがパリ訪問の際、英國はこの點についてのフランスの意見を聞かされたはづである、しかし、フランス自身も、その目的がかくも速かに達成されるとは考へてゐなかつたに相違ない、全くのところド・ゴール、ビドーのモスクワ訪問に先立つて豫備的交渉が行はれてゐたなどの事實はなかつた、モスクワの佛ソ會談の進行中英國は間斷なくその經過について報告をうけてゐた、だから本條約が締結調印されたときも別に驚きはしなかつた」

「マンチエスター・ガーデイアン」は十一日（佛ソ同盟調印發表の翌日）「本條約は英ソ同盟を强化したものである、フランスの支持なくしては、英國の歐洲に對する影響力は極めて制限されたものにならざるを得ないからだ、英ソ同盟、佛ソ同盟は、その論理的必然として英佛同盟に發展するであらう、チヤーチルのパリ訪問以來、かかる同盟締結の障碍は何一つなくなつた」とタイムズと同じ線の論說を掲げてゐる

モデルは英ソ同盟

スイス紙「ナショナル・ツアイツング」は十三日紙上で次の如く論じてゐる

「チヤーチルのパリ訪問は確かにアンタント・コルデイアルの復活に寄與するところがあつたが何等正式な協定には到達しなかつた、それに引續いて佛ソ間には、戰後の共通政策決定に影響するところ甚だ大きな佛ソ同盟が成立した、兩國が協定に達した速度にも驚くべきものがある、モスクワ條約は二つの意義をもつてゐる、第一にフランスが第二の大陸勢力にのし上つたこと、第二に佛ソ同盟はドイツが軍事的勢力として復活することに止めをさしたことだ、以上に加へて兩國間には敵國の武裝解除、恒久管理による戰爭產業の抹殺など共通の政策が決定されたと見るべきだ、また同時に兩國は相互に有する特殊の要求について諒解を遂げたであらう、ソ聯はポーランドの特定地方について欲望を有すると共に南歐洲での優位保持を欲してゐる、一方フランスはドイツの占領に參加することと、ラインランド、ルール地方の中立化を實現したいと冀つてゐる、新條約の內容はまだ發表されてゐないが、一九四二年の英ソ條約がそのモデルであると結論してよろしいだけの暗示は與へられてゐる、しかりとすれば、兩國の負ふべき主なる義務は

一、戰爭中における軍事的協力
二、ドイツとの單獨媾和の禁止
三、戰後の協力
四、主としてドイツの再侵略の場合、自働的に軍事的支持を相互に供與することによつてドイツの攻擊を防止する

といふことであり、今次戰爭の推移が、遂に遠大な目的を有する古い同盟政策を復活せしめたといふことになる、この際英國が、新らたに三國のアンタントを締結することによつて佛ソの連繫の中に入つてくるかどうかはなほ疑問だ、ワシントンは保守的形式の歐洲諸大國間の結合を信用してゐない、かかる結合はダンバートン・オークス案を除け者にした平和保障組織であるからだ、英國は米國のかかる態度を豫見して同樣に幾分の留保的態度を見せてゐる」

（この項つづく）

歐洲航空戰の實相

—獨戰鬪機部隊の活動報告—

前戰基地にて樹井特派員發

アーヘンを中心とする攻防戰は空前の大消耗戰の形とをとつてゐるが記者は去る二日夜、ドイツ空軍の特別の好意でこの方面の前線航空基地を訪ね、西部戰線における航空戰の苛烈な樣相を詳さに體驗する機會を得た

空軍力による決戰こそ物量の優勢を誇る反樞軸空軍の動かざる信條だ、過去二ケ年間における敵空軍のドイツ都市空襲の强行は優勢な空軍力による生産力と戰意の破壞更に都市の抹殺を企圖したものだ、また現下の東京連續空襲にしても同じく都市抹殺の彼等の企圖をむき出しにしてきたものといへよう、しかしこの數日間の前線基地の視察で得た印象からして航空戰の展開は單に物量のみによつて規定されてゐるわけでなく、國民の發明力と敢鬪精神によつて支配されてゐることが明らかとなつた、ここに物量を賴む敵米英を叩きのめす唯一の鍵が祕められてゐるのではなからうか、以下の報告において歐洲航空戰の實相を戰ふ前線基地の角度から眺めてみよう

夜間戰鬪機部隊の精銳

深夜の荒鷲のうちでドイツの夜空を守るのはドイツ空軍中でもその精銳を誇る夜間戰鬪機部隊だ假にこの部隊の活動がなかつたなら、この二ケ年間のテロ爆擊によつてドイツの全都市が殘らず灰燼に歸してゐたであらうことは容易に想像されるところだ、ドイツの夜間戰鬪機部隊の生活についてはいろいろな信じられそうもない噂が流布されてゐる、たとへば搭乘員を夜目に馴らさせるために外出を禁じ、終日暗室の中に閉ぢこめておくとか、その視力を增進させるために、兎の心臟と人參ばかりを食べさせたり特別の眼藥を使用させてゐるのだとかいつたたぐひのものである、しかしこれは全くお伽噺であつて夜間戰鬪機の搭乘員は特別の生活法や食事法がある譯ではなく、ただ晝の間は寢てゐて徹夜勤務をするだけの違ひはあるから食事の時間は普通よりほぼ半日づつくづれてゐるのだが夜間待機中には搭乘員の食慾に應じて飮食物が供せられてゐる、唯一の例外といへば出擊に際してチヨコレート一枚とドイツ人の好物のコーヒーが一杯づつ與へられることだらう、しかしこの戰鬪基地で搭乘員達とその生活の一部を共にして驚いたことは彼らの體力が極めて旺盛なことだ、二六時中殆んど絕え間なく警報が響く前線基地では安眠する時間は數時間に過ぎない、それにも拘らず、一度出擊命令が下るや、闇夜の空をついて敵重爆編隊にぶつかつてゆく彼等の氣魄はまことに壯絕そのものだ、この戰鬪基地にある〇〇大隊は夜間戰鬪機隊中の殊勳聯隊で先に戰死したレント中佐（夜間擊墜百三機）シエーンフエルト少佐（百五機擊墜）などを輩出せしめ現在までの大隊の綜合戰果は實に六百機に及ぶ

夜間戰鬪機の搭乘員は操縱士一人、通信士一人射手一名であるが、そのうち操縱士は何れも二十歲乃至二十五歲のヒトラー青年團生え抜きの青年將校だ、彼等もまた今日比島戰線に米軍の心膽を寒からしめてゐる特攻隊の將士と同樣に見敵必殺の敢鬪精神に沸る勇士達だ

夜間戰鬪の現狀

夜間空中戰の組織と戰術とは都市爆擊の激化に伴ひ急速な發達を示してゐるが、電波探知器あるひは電波照準器の出現はもはや夜間空中戰をロボツト化しつつある感がある、ハリス麾下の英爆擊隊が對獨空襲を本格的に開始してから既に二ケ年經過するが、この間敵はその尨大な損失を避けるために幾度か戰術を變更して來た、單に天候あるひは空襲時期だけについてみても初めは滿月前後の晴天を選んで來襲したが去年の秋あたりからむしろ新月前後の暗闇、しかもドイツ戰鬪機の出動困難な惡天候をねらつて來るのが常例だ、これはドイツ夜間戰鬪機の邀擊を惧れるとともに夜間爆擊に用ひる照準器が異狀な進步を遂げた事實を物語るものだ

昭和十九年十二月廿二日(金)
第三二七八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

英空軍の大規模な夜間空襲は上陸戰開始後一時は下火になりかけたやうにもみえたが、今日では再びもとの激烈さに復してゐる現象は否み難い、そして最近の傾向としてはその攻撃重點が西部戰線に對するドイツ後方輸送路の破壞と西南ドイツ周邊の都市爆撃に向けられ爆撃距離の遠い東北ドイツの諸都市に對しては快速爆撃機「モスキート」によるテロ爆撃に限られてゐる狀態だ、ドイツ本土攻撃の英重爆基地は輸送及び基地整備の都合或ひは氣象の關係から依然として英本土に置かれてをり西歐洲占領地區には爆撃掩護に必要な夜間戰闘機基地を前進させてゐる、かうした事態はドイツ戰闘機部隊の活動に不利をもたらしたことはいふまでもないが、これに加へて最近では戰闘地域からドイツ夜間戰闘機に對する無線妨害を試みてゐる、かかる英重爆機の攻撃に對してドイツ夜間戰闘機の戰法は大略二通りある、即ち海岸地帶に敵編隊を邀撃あるひは追撃してこれに喰下る獨立的な戰法と爆撃目標上空において高射砲隊と協力する二つの方法である、前者の場合は月明り或ひは、雲の狀態のいかんを問はず敢行され、別に「ダーク・ナイト・フアイテング」(暗夜戰闘)とも稱され、高射砲乃至は探照隊との協力戰闘の形を月明戰闘(クリア・ナイト・フアイテイング)と名づけてゐる、夜間戰闘機部隊の出動は師團司令部の出撃命令によつて行はれ各地に散在する飛行場から飛び立つた戰闘機はラジオによつて一定の空域に集結される、それから敵重爆編隊の流れの一部に執拗に喰下つて片端からこれを叩き落すかあるひは探照燈によつて捕へた敵機を攻撃するわけだが、その戰法は步兵戰闘における集中あるひは突破攻撃と異なるところはない

肉眼の利く星空

しからば夜間戰闘機は一定の空域に集合し待機する場合に味方同士衝突が起りはしないかといつた心配や暗夜に展開される空中戰で一體敵機を肉眼で發見しうるかといふやうな疑問が起るだらう成程晝間の飛行ではわざと相手をさけやうとするために却つて空中衝突が生じたといふ事件は幾らもある、しかし短時限に自由に飛翔しうる空中ではお互に勝手放題に飛び廻る分には決して衝突は起らぬものだといふ、昨年ベルリン夜間大空襲の時などは比較的狹い空間に一千機以上の敵味方の飛行機が入り亂れて激戰を交へたが、空中衝突は一度も起らなかつた、次に暗夜で敵機を肉眼で發見しうるかといふ疑問についてはわれわれの持つてゐる觀念が間違つてゐるのだ、星空を背景とする空の戰場では案外肉眼がよく利く、月のために暗夜でも一千四百米、月明りの夜では二千米乃至四千米の先まで視力がとどく、この外に今では改良されたが、敵機の排氣孔から微かな炎が洩れ見へたので敵機影の發見は比較的容易であつた、またとへ敵機が雲中に遁走しても下から探照燈で照してもらへば恰度濡れ硝子に當てたやうに敵機影が現れる、それにしても夜間戰闘に最も好適な時期といへば、下弦の月が中空にかかつた夜空だしかし敵はそのやうな時には來ず、四發重爆の大編隊はドイツ戰闘機の出撃困難な霧の深い夜や離陸できても途中で氷結の慮れある曇り空を利して來襲する、しかも以前と違つて巧妙な牽制攻撃を各處に行ひ賑やかないはゆる「クリスマス・ツリー」を投下し、爆撃目標のごとくにみせかけておいてドイツ戰闘機をそこにおびき寄せこれを隨伴の長距離夜間戰闘機で逆に攻撃するといつた戰法を用ひはじめてゐる、しかも彼等が使用してゐる電波照準器は飛行方向までを指示する精密な照準器であることは注目に價する

近代戰の粹、戰闘指揮所

暗夜の空に戰ふ戰闘機の眼となり耳となつてその戰闘指揮に當るのは師團司令部の戰闘指揮所である、夜間戰闘機のこの戰闘指揮所こそは實に現代通信技術の粹を飾る殿堂ともいへよう、空中の友軍からの刻々の戰闘報告、全國に分散する氣象臺、對空監視所等からの報告はこの指揮所一點に集中される、これを基礎とした指揮官の情況判斷は直ちに戰闘命令となつて戰闘機に傳達される、しからばこのやうな戰闘指揮所はいかなる構成と機能とを持つてゐるか、許される範圍で次に說明を試みよう

戰闘指揮所には亙大な地圖が揭げられてゐる、この俯瞰圖はいはば生きた戰闘地圖とも名附くべく刻々の戰況が描きだされ、指揮所に勤務する全

員に對して一目瞭然に戰鬪情況を明示してくれるこの照明班の演出は女子空軍補助員の纖細な手先きで白墨或ひは指示電燈等を用ひて行はれる

その熟練さと緻密さには感服するが、こんな仕事は女性でなくては出來ぬ仕事だ、教室の中央部には師團長と次席參謀とが席を構へ、兩側には高射砲師團及び陸海通信部隊の連絡將校が席を占めてゐる、戰鬪指揮所の最も重要な任務は逸早く敵編隊の攻擊企圖をつき止め友軍の戰鬪機を迅速に出擊せしめてこれを未然に擊碎することだ、だから命令傳達の將校はマイクから直接空中に出擊中の友軍機或ひは操縱桿を握つて地上に待機する編隊に向つて呼びかける、このやうな戰鬪では狀況報告が命令傳達となるまでに要する時間は陸戰とは違つて電光石火の敏捷さを要し寸秒の時間さへ戰果を決定するからだ、刻々に變化する戰況は前述の照明班によつて手に取るやうに描き出されるのだが、戰況は次から次へと展開されてゆくのでこれを補ふためには別の橫側の壁には豫備の大地圖が數葉揭げてある

このやうな設備と操作はドイツ人の組織的才能を誇るものではなく、近代技術の尖端を行く夜間空中戰の指揮には缺くべからざる組織といはなければならない、このやうな複雜な組織が略語や隱語などの取り交しによつて動いてゐるが、かかる戰鬪用語の選擇にも極めて愼重な考慮が拂はれてゐるのに驚く、ドイツ式にいふとこれも「意味に叶つた」處置なのである、かくて夜間戰鬪は指揮力と科學力の粹を集めて繰り展げられてゐるが、ドイツ戰鬪機部隊の戰鬪法には斷然敵の追隨を許さぬものがある、もつともこの秋に入つてからドイツ本土上空の夜間戰鬪はその華々しさを缺いてゐるが、これは英本土を基地とする敵重爆擊機隊が氣象的に有利な惡天候の後を追ひかけて大陸に侵入し得るに反し、ドイツ空軍は惡天候をまともに受けて戰はねばならぬ事情に起因する

氣象觀測の記

夜間戰鬪機が最も恐れる敵はその出擊を阻害し戰鬪を不能に陷れる惡天候だから貴重な四發重爆の損失を避けるための手段として英空軍の對獨爆擊は定つてこの惡天候を狙つて行はれる、空中戰等における彼我の氣象的條件は同樣のやうにみえるが、その差は大いに違ふ、冬季間の中歐における氣象狀態は主としてアイスランド方面から南方に移動する低氣壓によつて規定されてゐるからだ、從つて英空軍はこの雨雲に乘つて對獨爆擊に出動し得る地の利を狙つてゐるが、これに反しドイツ戰鬪機は氷結の危險を冒して出擊しなければならぬ、ところが耐氷裝置をもつた飛行機でも零度前後の密雲を通り拔けると戰鬪能力が著しく低下するばかりでなくあたら搭乘員を犬死させる危險もあるので多くの場合夜間戰鬪機の活動が制限される、敵重爆擊機は七、八千米の高度から爆擊照準器を用ひて悠々と爆彈を投下することが出來る、かかる事情からして十一月から四月にかけての冬季のドイツ防禦戰果は自ら低下する結果となる、しかしドイツ空軍は惡天候續きだからといつて懷手で見送るわけではなく精密な氣象觀測によつて氷結の危險がある雲の間に細い通路をみつけて出擊するのだ

航空氣象の觀測はドイツ科學力の逞ましさを示す一つの例だが、各飛行聯隊にはいはゆる「お天氣博士」と呼ばれる航空氣象擔當の將校が配屬されてゐる、この氣象將校は受持の戰鬪區域上空の氣象變化を常に調査し搭乘員を集めて隨時訓辭を與へてゐる、ところがこのお天氣のお醫者樣は時にグライダーのやうな恰好の氣象觀測機を自ら操縱し高度氣流の調査に飛出すのだ、氣象觀測機は空飛ぶ氣象臺とも名附くべく最も精巧な觀測機のほか最新式の寫眞顯微鏡を裝置してゐる、この寫眞顯微鏡によつて氣象學者は醫者が患者の血液を抽いて診斷するやうに大空から雲の一片を抽き取つて寫眞に收め氣象變化の判斷の材料にする、その寫眞をみると八百米から千五百米の高度に浮遊する雨雲の粒子は直接一粍の五分の一乃至三十分の一であつてこれ以上に粒が大きくなると雨雲となつて下界に落ちる、これが千五百米から二千五百米の高度になると生成したばかりの雲が浮びその雨粒は孵化したばかりの雛みたいに他愛なく、雨粒の直徑は五千分の一粍位で空間に浮遊する、氷雲は前者に較べると遙かに薄い、更に一萬米の亞成層圈になると氣溫は零下四十三乃至七十度の嚴寒で雨粒の存在を許さない、ここでは粉末のやうな小さい氷の棒狀結晶が浮遊し、綿雲を形成してゐる、この氷の結晶體は雪の結晶の大さに較べると二、三十分の一位だ、このやうに綿密な氣象觀測の援けによつて、夜間戰鬪機は雲の一角に通路を見附け雲の層を突破し敵の重爆編隊に襲ひかかる、かかる苦心は敵の豫期しなかつた奇襲的效果によつて報いられるのである

昭和十九年十二月廿二日(金)
第三二七八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

胡麻の蠅モスキートの群

今日の歐洲空中戰で最も注目すべきことは英空軍の誇るデ・ハヴイランド・モスキート機の活躍だ、双發木製のモスキートはその名の示す如く蚊のやうにうるさく執拗で始末に負へぬ飛行機だが最初の頃は專ら安眠を妨害する程度の夜間都市空襲と長距離偵察機としてのみ使用されてゐたところが、その性能裝備が漸次解消された今日では何でもよしの萬能機として歐洲の空に出沒してゐる英空軍の夜間爆撃機には主としてハリファックス スターリング、ランカスターの如き四發重爆が配置されてきたが、上陸戰以來この半年間の傾向としてはこれに加へて二十機乃至六十機のモスキート編隊がその快速力を利して遠隔の夜間空襲にやつて來る、ドイツ軍戰況公報やラジオの空襲警告で屢々「西ドイツの上空に敵搜索機現はる」とか「若干の英軍機ベルリン市内に爆彈投下」と報ぜらるる時これらは殆んど例外なく胡麻の蠅のやうに執拗なモスキートの來襲を意味するのだ、ところがこのモスキートがうるさいだけならそれで濟むがそれが極めて危險な敵であることを忘れてはならない

今日のモスキートが夜間爆撃機として配置される時、爆彈の積載量は二十乃至二十五粁、高發性炸裂彈二個を胴體に、百十粁爆彈を兩翼に二個吊り下げてゐるか或ひは一・八トンのいはゆる空中魚雷を一個運んでくる、この空中魚雷は側面に及ぼす破壞力が大きいので住宅街のテロ爆撃に使用される、モスキートは晝夜を問はず長距離偵察機として優秀な機能を發揮してゐることは七千乃至一萬米の空中で五百粁内外の巡航速度をもつてゐることからしても諒解出來るが、出撃數の頻繁な前線では二機乃至三機の編隊で小目標に對する精密爆撃機、夜間偵察機として登場してゐることは餘り知られてゐない、殊に夜間戰闘機としての出現はここ數ケ月以内の新現象だ、英空軍はこれによつてドイツ夜間戰闘機の出動を封じ込めようとする魂膽であるが、かかるモスキート夜間戰闘機は二糎速射機關砲四門、一七・七粍機銃四挺、また或るものは速射機關砲六門、機銃二門をといつた强力な火砲を具へてゐる、これ等の火砲はすべて胴體のなかに納められてゐることはその防禦力を快速力によつて補ひ、集中砲火による攻撃力に重點を置いてゐるのである、更に注目すべきは最近精巧な電波照準器がモスキートに裝置されたことで、これによつてドイツ夜間戰闘機の後方を狙ひかかつてくるモスキート夜間戰闘機が、重爆編隊の誘動機としての活動であることは早くから知られてゐるが、このほか大空襲に先立つて編隊をもつてドイツ戰闘機基地を襲ひまたは個々に飛行場上空で待ち構へてゐて歸着するドイツ軍機を狙撃するとかいつたゲリラ戰術をやる、また最も手の込んだところでは假想目標上空に多數のクリスマスツリーと稱する照明彈を撒布し、同時にドイツ語で疑似命令を放つてドイツ戰闘機を誘き寄せて戰ふといつたこともある、何れにせよ夜間戰闘機としてのモスキートの出現は夜間空戰の激化を一段と深めてゐることは事實だが、夜間戰闘については豐富な經驗と技術とを持つドイツ空軍は近い將來において必ずやこのモスキートを退治る有力な手段を講ずるであらうことを確信する

資料

寄生より共生へ

ヘルマン・シユーラー

植物も動物も人類も微生物や病菌の攻撃を蒙むる、彼らの方からみれば、これは寄生社會における重大な生存問題だ、比較的高等な有機的生活形態の初期においては、この「微生物並びに病菌の戰」はまづ高等有機生物に向つて開始された、生物が有機形態の高級段階に進むにしたがつて寄生的性質の顯著な傳染病の數は增大した、これが人類において最大限に達したのである

今日の科學によつて證明される諸條件は徐々に行はれる發展過程の一面にすぎない、人類の得た傳染性疾患はその進化と民族的發展の中にも傳承された

新しい傳染病は寄生物が寄生主の生活様式に順應するにつれて愈々加はつたが、他面自然が人類に與へる抵抗力のお蔭で有害な作用を失つたものもあつた、更にまた人間の抵抗體に順應した微生物もある、結局人體が彼らの天然の住居となり、微生物が人類の共生者となつたわけである

人類と微生物とを包含する高級な共同生活は傳染から始まつた、これは微生物にも病菌にもいはれることであり、近代的化學研究が分子なる名稱を附するごときものの場合にも適用されるのである、共生——この言葉はドイツの植物學者にして微生物學者たるド・バリーによつて一八七九年に創造された、それは終生の友としてともに生活するといふ意味だ、この從來等閑視された個體の生活形式にド・バリーが注意を喚起したのにはそれだけの理由がある、たとへば地衣は藻菌共生から生ずる顯著な複合生物だ、この場合には明らかに二つの有機體が纖込まれて一つになつてゐる、相互利益の共生は長年月の發展の結果として形成されたのである、二者が同一の環境において遭遇したのである、かくて二者が一個の完全體を成したのだが、この場合にもわれわれにはいかにして彼らがさうなつたかは正確には判つてゐない

十九世紀の末葉、菌類專門家バイエリンクはその共同研究者と共に莖科植物と或る種のバクテリヤの共生を發見した、これらバクテリヤとその植物とは相互扶助の關係を成してゐる、長い間の順應によつて、寄生關係は理想的な共生にまで發展したのである

これを初めとする同種類の諸發見は人類に共生學といふ魅力に富んだ一分野を拓いた、ドイツの科學者パウル・ビユヒナーはこの研究分野において卓越せる研究者だつた、彼はその大著「動植物と共生 Tier und Pflanzen in Symbiose」の結論として、正確を尊ぶ科學者よりも寧ろ哲學者にふさはしいやうな言葉を殘してゐる、彼としては自己の發見した事實をほかには解釋する術がなかつたのだ、曰く無數の共生を研究したる結果は、共生における共同生活者が各自判斷能力をもちそれに應じて動作し得るかのやうな生態を示してゐることが知られる」

偉大なる順應の流れ

幾世代の流れのうちに自然法則との完全なる一致を示しつつ共同生活者の双方が順應し行く驚異的な能力は、寄生を轉じて相互扶助的な共生と化した、いかなる調和ある共生も、傳染に始まる不調和關係の時代を經なければならない

これと同樣の推理の線に沿つて、ドイツの有名な科學者たる內科醫F・O・ヘヨーリングはその著作において傳染の本質に關する極めて注目すべき新學說を提起した、卽ち彼は一九三八年に「臨床傳染學 Klinische Infectionslehre」を著したが、書中著者の努力するところは、全身的に蔓延する寄生が共生の特殊例にすぎないといふことを立證するにあつた、彼はそれを完全に順應せる共生の原始的段階であると主張する

マラリヤは一時寄生物と寄生主の關係にあるものが相互に適應する好適例である、この場合には病原蟲と高等有機體とが個體的な共同生活の中に協働的生活樣式を形成する、またたとへば生れたばかり子供の榮養系統中には全然大腸菌その他生きた病菌はゐないが數時間にして侵入する、口からも肛門からも菌は幼兒の器官に入り込む、それは空氣や日光と同じく彼の環境の一部なのだ、器官の粘膜は本來有效兵器たるべき殺菌物質を分泌して防衞戰を展開するが、それにも拘らず數百萬の病菌が戰鬪に勝ち器官內に確乎たる地步を占める、病菌はさうしたことに順應してしまつてゐるのである、かくて多少とも特徵的な徵菌群が口腔や胃や腸に見出されることになる、かうして病菌と粘膜の共生が生ずるのだ、病菌は粘膜から繁殖を助けるやうな物質を得て蔓延する、そして逆に徵菌は粘膜にその異化作用の產物を供給する、これは實に異常な現象といふべきだ、共同生活者の生活により病菌と粘膜細胞とが相互扶助の狀態を維持する、卽ち敵同志の間に共同關係が生れ眞の共生が生じたのである

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月廿三日(土)　第三二七九號

同盟通信 海外電報 (294)

編輯發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　編輯印刷人　同盟通信社

【目　次】

獨軍リエージュ街道を突破……三二一四
既に米軍十二個師を撃攘……〃
敵もり街道遮斷を自認……〃
獨側反樞軸軍の誤算を指摘……〃
西部戰線情報たし……三二一五
スチムソンしどろもどろ……〃
作戰の蹉跌を認む……〃
アテネで英軍總攻撃開始……〃
【米　洲】
開戰以來の重大危機……三二一六
第七十八議會終了……三二一七
徵兵方針を非難……〃
露文宣傳雜誌發刊……〃
大型油槽船撃沈さる……〃
海軍補助油槽船沈沒……〃
【ソ　聯】
ラ誌再びイランを攻撃……〃
國務長官聲明を大々的に報道……〃
【歐　洲】
エラス、英軍軍本部を占領……三二一八
希國王回答せず……〃
ボノミ政權總選擧施行……〃
ス伯米大使就任を拒絶……〃
傀儡派、スイスに預金……〃
ス紙、獨軍の超人的戰力を絶讃……〃
フランコ將軍暗殺計畫……〃
【友邦軸陣營】
供傀儡軍近く出動……〃
【英　帝　國】
冷いクリスマスのメッセージ……三二一九
議會休會に入る……〃
エチオピアとの新協定……〃
【東　亞】
重慶、米軍の大陸揚岸を督促……〃
【特　輯】
北歐諸國の近況……三二二〇
佛ソ同盟の成立（下）……三二二二
【資　料】
大西洋憲章について……三二二五
海水淨化の新裝置……三二二八

世界の焦点

英國首相チヤーチルは下院における戰況報告の度毎に、競馬の勝負は最後のコースで極るといふことを繰返へし述べてゐるが、六月六日歐洲大陸に對する上陸作戰以來進撃を續けてきた反樞軸軍もフオン・ルントシユテツト元帥の一大反攻に遭つて決勝のコースで慘敗を喫して了つた、歐洲の戰局が戰略的に轉換するとみるのは早計だが、少くともアイゼンハワー將軍の作戰計畫が一頓挫をきたしたことは蔽ひ難い、ドイツ軍當局が洩らすところによれば、米軍の俘虜すでに二萬、戰死一萬五千といふが、反樞軸軍最高司令部が少くともこの週末までドイツ軍の進撃を喰止める見込みはないと悲鳴を上げてゐるのだから、米軍の損害は死傷合せて恐らく十萬に上るだらう、上院議員のウエーランド・ブルツクスが曾つて英國首相チヤーチルは「我に兵器を與へよ、しからば仕事は立派に仕上げてみせよう」といつたが、現在米國人の鮮血は歐洲における英ソ兩國の勢力圈設定のために流されてゐるではないかとえらく憤慨してゐたが、ドイツ軍今回の攻勢がガタガタになつてゐる米英ソ三國のいはゆる「大同盟」に如何なる衝撃を與へるかが見ものだ、英國では「デーリー・メール」紙が先鋒を承つて、早くもクレムリンに對する「新版ミユンヘン」政策を攻撃し出し、歐洲に對する英國の政策は百年逆戻りしたではないかと論じてゐるし、米國では言論界が外交政策の簡明を求めて寔に喧しい、國務長官スチチニアスの逆檣聲明ではポーランドの分割に同意したのか反對したのか分らず、大統領ルーズヴエルトの語るところでは大西洋憲章が存在するが如く存在せざるが如しだ、災は孤ならず、ドイツ軍反攻の一波は必ずや政戰兩界の分野に萬波を惹き起さずにはおくまい

獨軍リエージュ街道を突破

米軍捕虜既に二萬餘

（ベルリン二十一日發）總統本營二十一日正午發表＝

一、ベルギーにおける冬季戰においてはドイツ軍は二十日戰線遙か後方でシュネー＝アイフェルの米軍部隊を一兵もあまさず殲滅乃至捕虜とした、同戰闘における米軍捕虜の數は七千に上る

二、ドイツ軍は攻勢戰線の第一線においてアルデンヌ山系に突入するとともに廣汎な戰線に亘つてリエージュ＝バストーニュ＝アルロン街道を横斷、ドイツ戰車隊はミューズ河に向つて潰走する反樞軸補給部隊を追ひ越した、米軍はドイツ軍の進擊を喰ひ止めるため新鋭豫備軍を增派したが、ドイツ軍はこれを四分五裂の潰亂狀態に陷れた

一、今日までの戰闘においてドイツ軍の得た捕虜の數は二萬を突破、昨日の戰闘だけで戰車、裝甲車四十三輛、砲五十門を鹵獲、戰車百三十六輛を擊破した

既に米軍十二個師を擊壞

（ベルリン二十一日發）ドイツ軍當局はルントシュテツト攻勢開始以來二十日までの五日間に米軍五個師を擊破、更に七個師を支離滅裂の潰走狀態に陷れた旨二十一日發表した

敵もり街道遮斷を自認

（リスボン二十一日發）パリ來電によればアイゼンハワー司令部はドイツ軍攻勢戰線における米軍四分五裂の潰亂狀態を認めて二十一日夜次の通り發表したといはれる

ドイツ軍はベルギー領内に縱深五十六粁にわたつて突入、マルメデーを突破してリエージュ南方二十二粁の地點で遂にリエージュ＝バストーニュ街道を遮斷した

獨側反樞軸軍の誤算を指摘

（ベルリン二十一日發）DNB軍事記者マツクスクルル氏は西部戰線におけるドイツ軍の大攻勢に關し二十一日次の通り報じてゐる

索制作戰と誤認　ドイツ軍が突如意外の方向で大攻勢を開始したことは、特にアイゼンハワーの寢込を襲つた形で、反樞軸軍は作戰開始以來二十四時間といふものドイツ軍がザール、アーヘンの兩地區で大規模の戰闘を展開しながらも今次攻勢の準備を進めてゐたことを眞に受けなかつた位だアイゼンハワーはドイツ軍が依然豫備兵力を有してゐることを知つてゐたが、恐らく米軍の來るべき大攻勢に備へるため簡單に解釋してアルデンヌ戰線の「無氣味な沈默」を氣にも掛けなかつたもつとも反樞軸軍司令部はドイツ軍が依然ある程度の攻勢を行ひ得るとは考へてゐた、このことはドイツ軍が八十粁の長大な戰線で突如攻勢を開始した後、二十四時間以上もアイゼンハワー司令部がドイツ軍の攻勢をアーヘン、ザール兩戰線で苦闘するドイツ軍を救援するための牽制作戰と考へてゐたことでも明瞭だ

敵依然たる補給難　以上の誤算は必然的にアイゼンハワー司令部に戰局の主導性を喪失せしめる結果となつた、ドイツ軍は素早く機會を摑んだ、その結果が米第一軍の戰線における突前にして絕後の混亂だ、ドイツ軍當局は依然戰況の詳細を祕密にしてゐるが西部戰線におけるドイツ軍の攻勢規模と範圍は漸次明かとなつてゐる、ドイツ軍がアルデンヌ深く突入、リエージュ南方で戰略道路を大きく突破したことは、自らドイツ軍の作戰目標を指示するものだ、戰況の動きで判斷すればドイツ軍は既に豫備兵力の一切を投じてゐるやうだが、特に顯著なことはドイツ軍の疾風迅雷の急進擊と並行して縱深突破の難作戰が物の見事に成功してゐることである、攻勢第六日目にしてドイツ軍はベルギー、ルクセンブルグの反樞軸戰線を文字通り寸斷したが、恐らく反樞軸軍の對抗措置もそろそろ實施されてよい頃だ、從來の重點地區における戰闘が火の消えたやうに衰微したところからみても反樞軸軍は兵力の移動に着手したことは明瞭で、恐らくドイツ軍突破地區の側面に反擊を加へることが當然豫想されるが、從來の禍根たる補給難は今後もアイゼンハワー軍の作戰を大いに阻害するであらう

昭和十九年十二月廿三日(土)
第三二七九號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

西部戰線情報なし

(リスボン二十一日發)パリ來電によれば反樞軸軍司令部附情報部はドイツ軍の反攻作戰開始によつて、戰線が大活況を呈してゐるにも拘らず、二十日「情報がない」との理由で新聞記者團との會見をとりやめたといはれる、ロイター通信は情報部が新聞會見をとりやめたのは第二戰線の展開に伴ひ、歐洲侵攻反樞軸軍司令部が設置されて以來最初のことだと報道してゐる

スチムソンしどろもどろ

(リスボン二十一日發)ワシントン來電によれば陸軍長官スチムソンは二十一日定例の新聞記者團會見を行つたが、記者團から西部戰線におけるドイツ軍の大反攻作戰について質問が殺到、これに對してスチムソンは「十分な報告が屆いてゐないから戰局の全般に對して明確な判斷を下すわけにゆかぬ」とか乃至は「軍機に屬する問題については言明の限りでない」とかの逃げ口上をもつて反樞軸軍の戰局不利を糊塗するに大童だつたといはれる、しかし流石の彼も

「ドイツ軍が今になつてかかる攻勢作戰をとるに至つたことはドイツが依然として強大な軍事力を持つてゐることを示したものだ」

と認めざるを得なかつたが、一方では次の如き強がり文句を附け加へることも忘れなかつた

「見方によつてはドイツ軍今回の大反攻はドイツ軍にとつて非常に冒險的な作戰で、これがもし失敗すれば却つて戰爭の終結は遙かに早く招來されよう、ドイツ軍の目標はケルン平原及びザール盆地における米國軍の進擊を阻止するにあると見られるが、ドイツ軍は一方では東部戰線における赤軍の冬季攻勢に備へなければならぬことをも忘るべきでない、反樞軸軍は次の新作戰を開始するため目下着々軍需品の前線補給並びに兵力の移動を行つてをり、ドイツ軍の反攻作戰にも拘らず余は戰局の最終的歸趨には十分の自信を持つてゐる」

作戰の蹉跌を認む

(リスボン二十一日發)ワシントン來電=戰時生産局長官クルーグは二十一日の新聞記者團會見で軍需品を一層[redacted]する必要を強調したが、これと關聯して反樞[redacted]軍の作戰がドイツ軍今次の大反攻によつて蹉跌をきたしたことを暗に示唆した、言明要旨左の通り

「軍需生産計畫はドイツとの激しい戰が明年は勿論それ以上にも長く續くとの想定の下に樹てられなければならぬ、卽ちドイツ軍今次の反攻作戰によつて軍需增産の必要はさらに增加した、もしアイゼンハワーがドイツの西部要塞を急速に突破することが出來てゐたならば軍需生産は現在の程度で十分だつたらう、しかるにドイツ軍の新作戰の結果、米國は昨年はおろか戰爭が繼續する限り過去二ケ月におけると同樣の激戰が續くものと覺悟して、あらゆる準備を進めなければならなくなつた」

アテネで英軍總攻擊開始

(リスボン二十一日發)英軍司令スコビー少將は二十一日の戰況公報において英軍が「アクロポリス丘の東北地區並びにアテネ・フアリロン通路西北地區その他アテネの中央並びに西部からエラス兵團を擊退した」旨發表したが、アテネからのAP電報によれば、エラス兵團は依然市街の三分の二を占據、アテネ・フアリロン道路も裝甲車以外通行出來ず、ピレウス外港でも二十日エラス兵團の攻擊で約三時間一切の交通が遮斷されたと傳へられる、但し英軍は仲仕七百名を徵用し、小舟艇から兵站の陸上げを開始、更にアテネ市內七萬五千の市民に對し六十トンの罐詰肉を配給した、攝政府設置案については亡命國王ゲオルギオス二世からいまだ回答がないが、英軍は並行的に武力彈壓を繼續してをり、スコビー少將は二十一日午後九時から「野砲、艦砲の砲擊並びに爆擊」をもつてエラス兵團に總攻擊を加へる旨發表し、エラス兵團の本據附近一帶の市民に對しては立ち退きを命令した

エラス兵團は十八日の戰鬪で、アテネ市內アヴローの刑務所を襲擊、元首相ジョン・ラーリス、元陸相を初め四百五名の囚人は行衞不明であつたが、元首相だけは廿一日に至り再び逮捕された、陸相等ドイツ軍との「協力分子」は銃殺された樣子である

【米　洲】

開戰以來の重大危機

三國關係と米國の動向

（リスボン二十日發）ポーランド、ギリシヤその他「解放された」歐洲小國の地位を繞つて米英ソ三國關係は正に開戰以來の重大危機に直面した形だが、重慶中央社のワシントン特派員は十八日歐洲問題に對する米國の動向を綜合して次の通り報道してゐる

國民は英ソの政策に不滿　余は從來も屢々反樞軸陣營の政治的團結について悲觀的な報道を行ひこれと關聯してポーランド問題こそがこの團結の癌であることを指摘した、しかるに不幸にもこの豫想はあまりにも早く具體化し、今や反樞軸の團結はその根柢から動搖するに至つた、米國國務長官はスフオルツア事件では英國政府の態度を正面から彈劾したが、これは特別な例で米國政府は從來英ソ兩國の政策については沈默を守つてゐたといふことが出來よう、しかしこれはあくまでも政府の場合に限られ、米國の議會並びに言論界は決して英ソ兩國の對歐政策を默視するやうな態度はとらなかつた、特にチヤーチルがポーランドの分割に同意したことに對して猛烈な非難を浴びせた米國にとつては大西洋憲章がソ聯によつて葬り去られ、その葬式の役割を果してゐるのが英國であるといふ事實が明らかにされてゐる

米國政府の對歐政策に關するワシントン政界の動きは極めて複雜だが、そのうち最も顯著なことは「米國は一體何のために戰つてゐるのか」との質問が到る處で發せられてゐることである、ソ聯の政治的並びに軍事的政策に對する米國の不滿は強い、ただこれはソ聯への氣兼ねによつてあまり表面的には騷がれてゐないがそれだけに陰にこもつた不滿の度は一層深刻である、卽ちソ聯が東歐及びバルカンにおいて着々實行に移してゐる領土握み取り政策は米國に脅威を與へると共に斷じてかかる政策を是認してはならないといふ氣持が强まつてゐる、米國民は反樞軸軍の西部戰線における總攻擊と呼應して赤軍もまた東部からドイツに大攻勢に出るだらうと期待したが、この期待は裏切られた許りでなく西部戰線における米國軍の死傷者數が激增するに伴ひ米國民のソ聯に對する鬱憤は公然たる憤激に變り、彼等は今や「米國軍が西部戰線にドイツの大軍を釘付けにしてゐる間にソ聯は東歐の諸領域を次から次へと呑み込んでゐるではないか」と反問してゐる有樣だ

解放された歐洲諸國における武裝義勇軍による騷擾事件も米國ではその背後に共產主義者の手が動いてゐるとみられ、今やソ聯の勢力が戰後の全歐洲を化物の如く覆ひ盡すのではないかと憂慮するに至つた、今回成立したソ佛同盟はこの恐怖に拍車をかけ、西歐聯合を企圖したチヤーチルの大敗北だと看做してゐる、かかる狀況の下にたとへ新たな三頭會談が開かれようとも事態の改善には殆んど役に立たないであらうとの意見が有力であり、ルーズウエルトとしては歐洲の現狀を泣き寢入り、あるひはそのまま鵜呑みにするか乃至は思ひ切つて斷乎これに反對を表明するか、いづれかを選ばねばならぬ窮地に直面するのがおちだらうこの場合にルーズヴエルトが讓步すればソ聯との關係は一應危機を回避し得るかもしれないが、米國の輿論が小國の自由と權利とを斷乎擁護せよと主張してゐる限りルーズヴエルトとして簡單にソ聯の政策に同意することは難しからう

孤立主義再現か　三國關係の危機が現在の作戰にはあまり大きな影響を與へないとしても、最も憂慮されてゐるのは戰後の安全保障機構問題に對して如何なる影響を與へるかであり、今度の問題を契機として米國內には再び歐洲にあいそをつかし、昔の孤立主義に復歸せんとする傾向が顯著に認められるに至つた、例へば「ワシントン・スタ1」紙は最近要旨左の評論を揭げて米國のかかる動向に對して深甚の憂慮を表明してゐる

歐洲問題に對する米國現在の懷疑的な態度が今後も助長されるならば、折角米國の大勢が戰後の世界において積極的に責任ある役割を果さうといふ方向に向つてきたのが根本から破壞されて米國をかつての致命的な孤立主義に立ち歸らせようと努力してゐる者達の思ふ壺にはまるわけだが、かかる孤立主義運動はすでに活動を開始したとみてよからう

昭和十九年十二月廿三日(土)
第三二七九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

第七十八議會終了

(リスボン二十日發)ワシントン來電=第七十八議會は上下兩院とも十九日閉會、クリスマス休暇に入つたが、第七十九議會は十一月の選出による新陣容を以て明年一月三日開會される議會には戰後の河川港灣開發計畫に五億弗の支出を認める法案が付議されてゐたが第七十八議會の閉幕と共に同法案は遂に葬り去られた

徵兵方針を非難

(リスボン二十日發)ワシントン來電=上院戰爭調査委員會は二十日次の通り陸軍省の徵兵方針を非難した聲明を發表した

陸軍が過度の徵兵を行つたため軍需工業にかけがへのない人材が奪ひ去られたが、しかも陸軍では徵兵後人的資源を有效に活用してゐない、その結果軍隊では一時的な兵員過剩を來したのに對し、軍需産業では勞働力の不足に惱まなければならなかつた

露文宣傳雜誌發行

(モスクワ二十日發)米國戰時情報局は今回「アメリカ」と題するロシア語の月刊雜誌を發刊、最初の一萬部が既にソ聯に到着し、一部三ルーブリで賣り出されてゐるが、米國政府のロシア語刊行物がソ聯に現はれたのは今回が最初だ創刊號は六十四頁、太平洋戰局に關する記事も掲載されてゐる

大型油槽船撃沈さる

(リスボン十九日發)ワシントン來電=米國政府當局は最新式大型油槽船「ジヤクソンヴイル」號が數週間前歐洲に向け軍需補給品を輸送中大西洋において沈沒した旨十九日發表した、右は恐らくドイツ潛水艦の魚雷攻撃により撃沈されたものと推定されてゐるが、乘組員は七十五名の內二名を除き全部溺死した

海軍補助油槽船沈沒

(リスボン十九日發)ワシントン來電=米海軍省は十九日左の通り發表した

海軍補助油槽船ミシシユウア(二萬三千トン)は最近中部太平洋水域で敵の攻撃をうけて沈沒した、乘組員の八十パーセント近くは救助された

【ソ聯】

ソ誌再びイランを攻撃

(ストツクホルム二十日發)ソ聯言論界の主流をなす「戰爭と勞働階級」誌は十二月十五日號において再びイラン石油利權問題をとりあげ、イラン政府を痛烈に攻撃する傍ら米英宣傳機關の謀略工作を暴露して次の通り論じてゐる

イラン政府は米英兩國には喜んで利權を與へようと圖つたにも拘らず、一度ソヴエト政府が要求するやにべもなく撥ねつけたが、かかる非友好的態度と不當な差別待遇は斷じてソ聯の默視出來ぬところだ、また米英新聞はソ聯が米英兩國政府に事前に相談を持ち掛けずに利權交涉を始めたと非難してゐるが、事實は交涉を先に始めたのは米英兩國だ、テヘランの米英大使館が事前にソ聯に相談を持ちかけずに兩國の石油會社の屈押しをしたことを想起するがよい

他方テヘランからの情報によれば、イラン新首相バヤートはソ聯大使館に秘かに書簡を送つて、過般イラン國會を通過した石油利權交涉禁止法を「檢討」するため會談を申し入れたと傳へられるUPの解釋ではバヤートは同法令の拔道を行つてソ聯の資本と機械類を元にしてイラン國籍の幽靈會社を北部イランに設置、採掘した石油の一切をソ聯に引渡すことを提案する肚といはれるが、確報ではない

國務長官聲明を大々的に報道

(ストツクホルム二十日發)モスクワからの報道によればソヴエト各紙並びにラジオは去る十八日來國務長官ステチニアスが發したソ波國境問題に對する聲明を大々的に報道してゐるといはれる、聲明に對し論評を加へてゐるものはまだないやうだが、ただモスクワにあるポーランド人筋はソ波兩國がその國境問題につき直ちに諒解に達することを米國が支持したことを歡迎してゐるやうだが、一方ロンドンからのAP電報によるとポーランド亡命政權はソ聯との諒解に達するため再び新提案を起草中といはれる、この提案が如何なるものであるかは窺知出來ないが、政權當局は少くとも降誕祭休日前には聲明を出すやうなことはあるまいと言明してゐる

【歐　洲】

エラス、英空軍本部を占領

（リスボン二十日發）アテネからのロイター電報によればエラス兵團はアテネ東北方十六粁のキフイシアにある英空軍本部を包圍した後遂に占領した樣子で、ギリシヤ駐屯英軍司令スコビーは二十日の公報で以上の事實を認めると共に英軍守備隊がヴオロスを撤收した旨發表、英軍苦戰の事實を間接に告白してゐる、ロイター電報によればエラス兵團はアヴエロフ監獄を襲撃して救ひ出した政治犯のうち副首相ジョン・ラリス及びパンガロスを占領當時ドイツ軍に協力した廉で處刑したといはれる

希國王同答せず

（リスボン二十日發）攝政府設置に對するギリシヤ國王ゲオルギオス二世の態度に關しては諸說紛々たるものがあるが、アテネからのAP電報によれば國王は頭から反對の模樣で、またロイター電報によればパパンドレオが十九日攝政にギリシヤ大主敎を推薦したに對し二十日に至るも國王からは何等の回答も受取つてゐないといはれる

ボノミ政權總選擧施行

（リスボン三十日發）ローマ來電＝ボノミ新政權は同政權治下のイタリア全土において明春總選擧を實施するに決した、今回の總選擧は二十四年振りといはれる

ス伯米大使就任を拒絶

（リスボン二十日發）スフオルツア伯は過般米國大使に任命され、すでに米國政府のアグレマンまで得たが、ローマからのロイター電報によれば、同伯は二十日首相ボノミに書簡をもつて駐米大使就任を拒絶したといはれる

傀儡派スイスに預金

（リスボン二十日發）スイス誌「プュルタン・ド・クレヂ・エ・フイナンス」は、概算三億スイス・フランに上る金額がイタリヤ前國王エマヌエーレ、バドリオ等によつてスイス銀行に預金されてゐると報じてゐる、大口口座はエマヌエーレの二千八百萬フラン、バドリオの一千八百五十萬フランなどでスフオルツア伯や海相コルテンなども大口預金者である

ス紙獨軍の超人的戰力を絶讃

（マドリード十九日發）ルントシュテツト攻勢の報は中立國にも多大の反響を捲き起し強い關心をもつて戰況の動きを凝視してゐるが、スペイン紙「アリバ」の軍事記者マヌエル・アスナルは十九日の紙上で次の通り論じてゐる

ルントシュテツトの攻勢は名刀の切れ味を思はせるものがあり、ドイツ軍の超人的戰力は全世界に驚愕と賞讃の聲を捲き起してゐる、ドイツ本土要塞が東西南の三方面から攻撃を受け、ドイツ軍は反樞軸軍の恐るべき壓迫を必死で支へ更にドイツ國民の諸都市が次々に破壞されてゐるとき、かかる强大な攻撃の火蓋を切り、戰局の主導性を奪回するに足る戰力を有してゐたことは奇蹟といふほかはない

フランコ將軍暗殺計畫

（リスボン二十日發）パリ來電＝二十日の「オロール」紙がスペイン國境からの報道として傳へるところによれば、スペインのフランコ統領に對する暗殺が企圖され未遂に終つたといはれる、同紙の報道によればフランコ統領は去る十七日アウノス法相と自動車に同乘して、マドリード市內を通行中何者か自動車に向つて發砲、運轉手は負傷したがフランコ統領は無事だつたといはれる

【反樞軸陣營】

伊傀儡軍近く出動

（リスボン十八日發）反樞軸軍は從來イタリア人二十萬を戰線後方の雜役に使用するだけでまだ實際に前線で使用してゐないが兵力不足を補充するため漸くイタリア傀儡軍の前線派遣を決意した模樣でローマ來電によればボノミは十七日夜第二次內閣成立後初めてのラジオ演說を行ひ反樞軸軍によつて裝備されたイタリア師團は近く訓練を終へて前線に出動することとならうと言明したといはれる、ボノミとしては米英兩國に對する自己の立場を一段と改善する絶好の機會としてイタリア傀儡軍の前線派遣を喜んでゐるが既に戰爭目的を喪ひ士氣を沮喪した傀儡軍一個師程度の效果は問題となり得ない

昭和十九年十二月廿三日(土)
第三二七九號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【英　帝　國】

冷いクリスマスのメツセーヂ

（リスボン二十日發）「デーリー・メール」紙の政治記者アルステア・フオーブスは同紙上で「冷いクリスマスのメツセーヂ」と題する論文を發表、チヤーチルの新版「ミユンヘン」政策を指摘し次の通り述べてゐる

「英國人は勿論ギリシヤ政策について批判を覺悟してゐた、モスクワが今までのところ沈默を守つてゐるのは十分諒解出來るがギリシヤ領土を英帝國の勢力圏にとり込むためにはルーマニア、ブルガリア兩國を獻上しさらにマケドニア地方に對するソヴエト政府の干涉とダーダネルス海峽への進出とをその代償として認めねばならない、ソヴエト聯邦との親善關係を保全するため英國が國際政局について百年逆戻りしなければならぬといふチヤーチルの原則を受け容れるのは悲觀的であり敗北主義である、しかも平和を維持するのに三大國乃至四大國に依存する他ないといふことは決して景氣のいいクリスマスのメツセーヂではない、ソ波兩國の紛爭についてチヤーチルの處方になる苦い丸藥は下院の廊下において「新たなミユンヘンだ」といふ反響を捲起した、大西洋憲章の起案者の一人が今日この憲章を否定してゐることは殆ど信じ難いところだ、チヤーチルは亡命ポーランド首相に對し祖國を切りさいなむことを承認するやう要求してゐるに他ならぬ」

議會休會に入る

（ストツクホルム二十日發）ロンドン來電＝外相イーデンが二十日のギリシヤ政策に關する討論終結後二十一日から一月十六日まで議會がクリスマス休會に入ることを提案した動議は可決された、ただしイーデンは必要に應じ短期間の豫告で何時でも議會を再開出來る旨付言した

エチオピアとの新協定

（ストツクホルム二十日發）ロンドン來電＝情報省は十九日調印された英エチオピア兩國の新協定につき次の通り發表した

今回締結された新英エ協定は最終的平和の招來されるまでの假協定であるが主な條項は次の通り一、英國はエチオピアにおける獨占航空權を引き渡す、但し全反樞軸空軍の着陸、通過の權利は保留する

二、英國は兩國政府の同意により軍隊が國境地區の秩序維持に必要と認められた場合以外エチオピア國内に軍隊をおく權利を讓渡する

三、英國はアジス・アベバ及び佛領ソマリランドのジブチ間の佛エ鐵道の運營權をも引渡す

四、英國公使は今後エチオピア宮廷において上位を占めず、エチオピア政府は自己の好む外國の顧問を選び得る

五、英國は今後エチオピアに對する財政援助を考慮する用意あり

【東　亞】

重慶、米軍の大陸接岸を督促

（リスボン十九日發）重慶來電＝重慶軍機關紙掃蕩報は十九日の論説で米軍最高統帥部に對し比島戰の完結する前に支那沿岸に部隊を揚陸すべきことを次の通り督促してゐる

「重慶は米軍が比島奪回作戰の完了する前に支那大陸に上陸することを要望する、その根據は日本軍が沿岸防備の强化を急いでゐるからである、米國の上陸が遲れれば遲れるほど日本軍の確保する各據點は强力になり、この沿岸據點が强化すればするほど米軍にとつて日本軍を打倒することは益益困難とならう、われわれが日本軍を支那大陸から擊攘する戰略においてこのやうな上陸作戰が必要であるかぎり時との競爭を急がねばならぬ、日本軍は支那大陸縱貫の廻廊を打通したのちすでに將來の米軍支那沿岸上陸への對抗措置に留意してゐる、廣西省南部の南寧を進發した日本軍はすでに雷州半島の西方で海に向つて進出した、また廣東、福建兩省沿岸の日本軍は擧げてこの方面の防砦强化を急いでゐる、米軍が支那沿岸に上陸すれば直ちに東南支那に殘存する重慶軍の協力を受けよう、これらの部隊は戰歷を積んでゐる、重慶に對して補給の量が多くなり速度が早くなるほど日本軍の擊破を速め、米蔣軍とともに人員の犧牲を少なくしえよう、この意味で支那沿岸に急遽上陸することは反樞軸全體の要請である、一方マウントバツテンも日本が比島の血戰に手一杯なのに鑑み最大限の努力を發揮し戰果を收めるためマライに對し直ちに攻擊を開始すべきである」

特輯

北歐洲諸國の近狀

ストツクホルム齋藤特派員十八日發

フインランドの對ソ屈服後、ドイツ軍がフインランド全土及びノルウエーの北端から撤收したため北歐の約半分の地域が一擧にソヴエト勢力の支配下に入つたが、かかる急激な勢力關係の變化は北歐諸國に非常な動搖と混亂を與へずにはおかなかつた、ソ聯の完全な衞星國と化したフインランドの國民は新しい環境に適應するため非常な努力を續けてをり中立國スウエーデンは俄かに對獨態度を硬化し、ソ聯及び米英に接近しようとする傾向を露骨に示してゐる、またドイツ軍の撤收したノルウエー北部地區は無人地帶にも等しい荒廢ぶりである、そしてかかる北歐の新情勢も今度の北歐戰局の發展とスウエーデンの動向によつて更に重大な轉回を示す可能性がある譯だ

忠實に休戰條件を履行

ロイター通信はフインランドは忠實に休戰條件を履行してをり、ヘルシンキにゐる反樞軸監察委員長ジュダノフ軍大將も不滿を洩らす餘地があるまいと報じてゐるが、フインランド國民は今更ソ聯に楯ついても無駄だと觀念して新體制に適應すべく努力してゐる譯だ、農民黨の領袖キツコーネンは過般ラジオ放送において

フインランド國民は勇敢で忍耐强い敵に敗北したことを率直に認めねばならない、現在ソ聯の勢力は壓倒的に優勢であり、恐らく將來もさうであらう、從つてソ聯にたいし復讐を考慮することはフインランド國民の滅亡を意味するに他ならない

と述べたが、これこそフインランド國民の心裏を代表するものであらう

主要休戰條件の內一、ペツツアの割讓、一、ポルカラ半島の明け渡し 一、空軍基地及商船隊の引渡しなどは既に完了したが、十一日にはフインランド軍の平時編成への切換へも完了した、ヘルシンキ電報によると休戰と同時に軍需生産が停止したため、多數の勞働者が失業したが、更に軍隊の動員解除によつて失業問題は一段と深刻化し、政府はその解決策として官廳及び公共事業に歸還將兵を斡旋する一方、各商社にたいして彼等を優先的に雇入れるやう要請したといはれる

またフインランド政府は六ケ年年賦で三億米弗の賠償金をソ聯に支拂ふことになつてゐるが、フインランドのやうな小國にとつてこれが非常な難事であることはいふまでもない、政府はそのため大幅の增稅を決意し、所得稅を昨年度に比し二十%引き上げたが更に明年度は三十五%方引上げるに決定した、「ウーシ・ズオミ」紙は最近の紙上でこれに論及し「フインランドにとつては戰爭が終了したにしても、なほ平和への道は戰爭と同樣に苦難に充ちてゐる」と歎じてゐる、また賠償金問題の惱みは以上に止まらず、賠償物資を現在の昂騰した市場價値を無視した標準相場で提供しなければならないため、實際には賠償金は九億米弗にも達するだらうといはれ、ストツクホルムの消息筋は「ソ聯は政治的手段によるよりもむしろ經濟的手段に訴へてフインランドの征服を企圖してゐる」と觀測してゐる

他方、政治犯釋放の條件はフインランド政界に重大影響を及ぼしてゐる、政府は去る九月二十六日國內にあつた四百以上の右翼團體に解散を命ずると共に多數の親ソ分子を釋放したが、これらの分子は直ちに共產黨再建に着手した、フインランド共產黨は一九二九年當時國會において議席二百の內二十三を占めてゐたが、一九三〇年、時の反ソ政府によつて解散を命ぜられて以來地下運動を續けて來、對ソ休戰後の十月十九日、合法政黨として再出發するに至つたのである、現在、共產黨がどの程度の黨員を有してゐるかは判明しないが黨首には今回釋放されたマウリ・リヨウメーが有力視されてゐる、また共產黨の元老でカレロ・フイン共和國最高會議議長たるオツト・クーシネンが今後フインランド政界で大いに活躍することが豫想されてゐる

ソ芬友の夕

休戰後組織された多數の親ソ團體の內で代表的

なのは十月十四日ヘルシンキで組織された「ソ芬親善協會」であり、パーシキヴイ首相が名譽會長に就任した、同協會は翌十五日「ソ芬友の夕べ」を開催、參會者四千は會場に溢れ、ソ聯映畫も上映され、非常な盛會だつた樣子で、當夜の模樣を「ダーゲンス・ニユヘター」紙は次の通り報じてゐる

ソ芬親善協會の示威大會は一般の豫想よりも遙かに過激であつた、オーケストラはインターナショナルを奏し、嘗て某親ソ團體の會長で今回釋放されたヘロ博士（十一月十七日パーシキヴイ內閣ができて藏相に就任）が開會の辭をのべたのち、過去數年間におけるフインランドの親獨政策の責任者の逮捕を要求すれば、他の釋放組の一人は政府を痛烈に攻擊すると共に前大統領リツチ及び社會民主黨首タンネルの彈劾演說を行つた、當夜政府側からは外相ユンケル、國防相ワルデンが出席した

また「ストツクホルム・チドニンゲン」の報道によればソ芬親善協會は協會設立後直ちにスターリン元帥に祝電を送りソ聯の英雄的戰鬪が勝利に終るやう希望したといはれる

社會民主黨の危機

他方、政治犯の釋放はフインランド最大の政黨たる社會民主黨をして分裂の危機に直面させるに至つた、社會民主黨は遠くフインランドが未だ帝政ロシヤの治下にあつた一八九九年に創設された社會主義政黨であるが、最近は右翼的色彩が濃く黨首には反ソ派として知られる元藏相タンネルが居据つてゐる、かかる現狀において極左分子が舞ひ戻つて來たことは當然黨內に波瀾を捲き起した卽ち一九四一年夏親ソ的だといふ理由で逮捕されて以來今日まで監禁されてゐた社會民主々義議員六名が休戰協定に基き釋放されたが、彼等は所謂六人組なるものを結成、左翼社會民主黨の組織を企圖してをり、タンネル一派の右翼と六人委員會を中心とする左翼派は猛烈な抗爭を開始した、十一月十日カストレド內閣が總辭職したが、これは社會民主黨出身の勞働相ヴオーリ及び內相フアゲルフオルムがタンネル派と意見衝突を來したためであつた、しかし十七日成立したパーシキヴイ內閣にヴオーリが留任したところからみて社會民主黨內におけるタンネル派の勢力が逐次弱まつてゐることが推察される

フインランド國會は明年一月早々總選擧を擧行する豫定だが、右においてフインランドの政治情勢は全く一變するであらうし、恐らく社會民主黨の勢力は著しく減退するであらう、そして多數の共產黨議員が次期總選擧において當選することが豫想される

瑞典紙、對獨作戰を論議

歐洲戰局がドイツに極めて有利であつた當時、スウエーデンはドイツと通商したり、ドイツ軍の領內通過を認めたりして可成り親獨的な傾向をみせてゐたが、その後この傾向は次第に弱まり、隣國にソヴエト勢力が進出して以來、その反獨的態度が露骨になつて來た、本年十一月スウエーデン政府は外國船の領海使用を禁止する旨の法令を發布し、事實上獨端通商協定を無效ならしめたが、これにたいしドイツはバルト海東部の全域を作戰地域に編入するといふ對抗措置に出たために兩國關係は頓に險惡化し、その後更に越境事件、ハンサ號沈沒事件などが發生したため、兩國關係は愈愈緊迫化してをり、一部スウエーデン紙は最近ではスウエーデン軍が反樞軸軍と共同して對獨攻擊を行ふ場合の作戰計畫を紙上で公然と論議してゐる程だ、スウエーデン政府は戰爭に捲き込まれる危險を出來るだけ避けようとしてゐるが、反樞軸軍乃至赤軍がノルウエー若しくはデンマークにたいする大作戰を强行した場合スウエーデンが中立を維持しうるかどうか大いに疑問だ、スウエーデン政界の一部ではスウエーデンの將來が西部戰線の戰況如何に左右される危險が多いと觀測してゐる、卽ち、同筋では若しドイツ軍がジーグフリード線を安定化するに成功したら、反樞軸軍はスカンジナヴイア、特にデンマークにたいする攻勢を開始するであらうし、かかる場合スウエーデンの中立維持は極めて困難だとみてゐる

最近空軍大將を團長とする英國航空會社の使節團が、戰後における英瑞兩國間の商業航空路設置について交涉するといふ觸れ込みで、ストツクホルムに乘り込んできたが、同使節團の眞の目的が近い將來における反樞軸軍とスウエーデン軍の協力を圖ることにあるのではないかといふ噂が盛んに流布されてゐる

ソ聯に接近しようとする傾向は特に經濟界において顯著であり、多數のスウエーデン商社が戰後ソ聯との通商が盛んになるものとみて、その準備を行つてゐる、對獨通商が殆んど杜絕してしまつたため、これまでドイツ一國に賴つてゐた石炭の供給が停止し、スウエーデン經濟界は大きな困難に當面してゐる、スウエーデン卸賣商組合長コールデル氏は最近渡米し、米國からの石炭を輸入すべく奔走したが、結局失敗に終つた模樣で、今後スウエーデンはソ聯から石炭を輸入せねばならなくならう

現在スウエーデン政界で一番問題となつてゐるのはバルト諸國の避難民の問題だ、赤軍がバルト諸國に侵入した際、これら諸國の多數の反ソ分子がスウエーデンに亡命したが、最近に至り、ソ聯政府はスウエーデン政府に對しソ聯代表が避難民收容所を視察することを許されたいと強要し、要求を貫徹した、若しソ聯代表が避難民收容所を視察すれば、先づ避難民に關する情報を聽集した上避難民に歸國を強要し、更に聽き入れられない時にはバルト諸國に殘つてゐる避難民の緣故者に報復を加へるぞと威嚇する場合も考へられるわけで共產黨とその機關紙を除く一切の政黨及び言論機關が政府の對ソ讓步を非難してをり、保守黨系の「ウーストグタ・コレスポンデンテン」紙はかかる讓步はスウエーデンの現在の中立政策及び對避難民政策と兩立し難いものだと斷じてゐる、外國代表がスウエーデン國內の避難民收容所の視察を許可されたのは今回が最初であり、將來米英兩國がソ聯にならつてスエーデン政府に對し同樣の要求を提出することも考へられるわけだ、またこの問題について下院において討議が行はれた際、ギユンテル外相は「スウエーデン政府は今次大戰開始前から沿バルト諸國の住民をソ聯邦の國民と見做してゐる、既に一九四〇年八月にストツクホルムにあつたバルト諸國の公使館は閉鎖され、ソ聯代表に明け渡された」と言明したが、右言明によつてスウエーデン政府がソ聯のバルト諸國併合を事實上承認してゐることが明かにされ、これまた問題となつてゐる模樣だ

諾威に上陸作戰說

フインランドからの撤收を大體完了したレンドリツク將軍麾下のドイツ第二十軍團（約九箇師）は更にノルウエーの北端部からも撤收して目下トロムゾ西方のリンゲン線に兵力を集結中だが、他方、レンドリツク軍團を追つて西進した赤軍はペツツアモを完全に占領した上、更にノルウエーに侵入、キルケネス地區を占據した、情報によると同地區の赤軍は目下進擊を中止し、陣地の强化に努めてゐるが、近い將來ここに有力部隊を集結し要港ナルヴイクに向つて西進作戰を起すかも知れない、またソ聯の大西洋岸進出を惧れる米英兩國がノルウエーにたいする上陸作戰を企圖する可能性があり、特にチルピツ號の沈沒以來、上陸作戰近しとの噂が盛んに流布されてゐる、ドイツ軍占領下にあるノルウエーの國內情勢は、情報がないため窺知しえないが、ドイツ軍が撤收してしまつた後のノルウエー北端部は恐るべき荒廢ぶりを示してゐる模樣で、例へばフインマルク地方では住民五萬八千の內四萬人がドイツ軍について南下してしまひ、同地方西部は全くの無人地帶と化してしまつた、また、工場その他の重要施設はドイツ軍の焦土政策により完全に破壞された模樣で、ロンドンの亡命政權は國土の一部が解放されたといつて喜んでゐるが、實際には無人地帶を手に入れたに過ぎない譯だ

佛ソ同盟の成立（下）

井上勇

モデルは英ソ同盟（續）

同じ頃「ガゼツト・ローザンヌ」紙は、佛ソ兩國のいづれが新條約によつて利益するかを秤にかけつつ、ドイツほどの實力を持つ共同の敵にたいしては同盟よりほかには手がないと一應新同盟の合理性を認めつぎの如く論じてゐる

昭和十九年十二月廿三日(土)
第三二七九號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

今回の相互援助條約は遠き將來に渉つて拘束力を有し、その結果は盡きることなき變化を持つ種々の問題を提出するであらう、佛ソ兩國が新しい侵略の場合相互に援助しなくてはならぬのは勿論であるが、では果して何れの國がこの二強國を相手に攻撃の火蓋を切つて立つか、そんなものが存在するかどうかが問題になる、フランスの立場を考へると、來るべき世代相當長期間フランスにたいする新しい侵略國が起りさうにもない、しかしソ聯はその國境を接するあまたの國を有し、雜多な利害關係を有してゐる、アジアで戰爭を始めなくてはならぬやうなことになるかも知れぬし、また他の國と戰ふことがあるかも知れない、その場合フランスは自動的に血醒い冒險に捲き込まれることになる、過去においてフランスはチエコスロヴアキア、ポーランド、ハンガリーなどに依存してゐたが、今度は一億八千萬の人口を有する勝ち誇れる國に頼ることが出來るわけだ

この論説は尻切れとんぼで舌足らずであるが、いはうとしてゐるところは判らないことはない、佛ソ同盟はフランスにとつては利益の點もあるが危險を包藏するといふのである

ストツクホルムの「ソーチアル・デモクラテン」は十日「モスクワの協定」と題した社説の中で左の如く述べてゐる

「佛ソ同盟はスターリンの巧妙な政治工作の結果である、これによつて戰前の合縱連衡外交が復活したわけだ、新同盟は勿論ドイツを目標としたものであるが、同時にまた西歐聯合の結成を妨碍する目的を有してゐる、西歐ブロツクが生れると、これは次第に反ソ結合となつて變化してゆく危險があるからだ、この同盟によつてソ聯は大陸に支配的地位を確保し、英國は歐洲大陸から政治的には孤立した島國になつてしまつた、歐洲に影響力を持たうといふ米國の希望も極めて心細いものになつてしまつた、アメリカ側から屢々屈辱を加へられたド・ゴールは今回のモスクワ協定の成立によつて大きな自己滿足を感じてゐるに相違ない」

スペインの見る所

スペイン方面の反響をみると、十三日のマドリード、「アルカザール」紙は、今回の條約をもつてフランスが悦びとするところは何ものもなく利益のすべてはソ聯の側にあるとなし、「新條約は西歐聯合結成の英國の企圖に重大な影響を持つであらう」とみてゐる、「プエブロ」紙は「ド・ゴールはフランス自らの犧牲によつてフランスを救ふか、または外國からの援助によつて自國の運命を決するかの二途のうち遂に後者を選んだものである、ロイター通信は佛ソ同盟について、英國もまたこれを歡迎するがごとき意見を發表してゐるが、英國の本音は決して今回の條約に感激する底のものでないことは明らかだ」としてゐる、「西歐諸國はソ聯に對してバルカン地方における行動の自由を或る程度承認したが、今回の條約で西歐でもまた苦汁を呑まねばならなくなつた、佛ソ同盟は英國がギリシヤに出しやばつてゐることに對するソ聯の回答と解してよい、ソ聯の脅威はいまや或る特定地域に限るわけにゆかないことが明白になつた、チヤーチルは下院の演説でド・ゴールを〝尊敬すべき紳士〟だと形容したが、ド・ゴールはこの讃辭を一種の皮肉として聞かざるをえない立場に立つたわけだ」とは「プエブロ」の結論である

問題は時期と環境

ここまで書いて來て十七日夜、佛ソ同盟の内容はモスクワとパリで同時に發表された、内容は英ソ同盟のコツピーであるとの豫想通り別に新味はないが、要約すると次の四點に歸する

一、ドイツに對する今次戰爭、また將來ドイツの侵略によつて生ずべき戰爭に對して兩國は全的協力をする、兩國はドイツとの單獨媾和をなさず、同時に戰後ドイツの再侵略の防止のため全的協力をする

一、締盟國の一方を對象とする他の條約は結ばないが兩國既存の條約は新條約によつて影響されない

一、兩國は戰後經濟的に全的協力をする

一、條約の期限は二十年とする

この内容は自ら語るが如く、戰後の經濟協力を規定した條項を除いては全く單純にドイツを對象とするものであるが、われわれにはその條文に現はれた内容はどうでもよい、問題はこの同盟が結ばれた時期と國際環境である、そして佛ソ兩國がかかる同盟を必要と考へるにいたつた感情であるドイツを徹底的に叩き再起不能ならしめることは條約の有無に關しない兩國の目的であるからだ、本條約のおよぼす影響もその觀點からみるべきである

尻に火のつく英國

ロンドンは本條約の發表を待たず、その内容は承知してゐたであらう、調印の日に先立つて駐ソ英大使クラーク・カーは急遽モスクワを立つてロンドンに歸還したが、それがかねて豫定されてゐた賜暇歸國であらうとなからうと詮索をする必要はない、彼は職務の當然として、佛ソ條約交渉の經過、またギリシヤの紛亂につき、氣味悪い沈默を守りつづけてゐるソ聯の態度につて詳細をホワイト・ホールに報告したに違ひない、しかし報告の有無に拘らず事態の進行にはかかはりなく英國としての打つ手にも變化はなかつた筈だ、英國の考へてゐるところには既に觸れてきたので再説の要はないが、ホワイト・ホールはいまに至るも、公式には佛ソ同盟について何らの言明もしてゐない、一時禁句として反樞軸陣營から姿を消してゐた「勢力圈」の語が最近再び夢魔の如く歐米の空を驅り始めた事實はこの際指摘しておいてよからう、佛ソ同盟の成立の根底にもこの「勢力圈」の理念がある、さてそのソ聯の勢力圈の境界がどこに引かれたかが問題だ

言葉の純粹の意味における「西歐ブロック」は政治的、軍事的には佛ソ同盟によつて引導を渡された、殘るところはスターリング・ブロックによる經濟的西歐聯合と、アンタント・コルデイアルの復活による佛ソ同盟の中立化だけだ、英國は佛ソ同盟を英ソ同盟の擴大强化であると强いて自ら納得する以外には途はない、チヤーチルが十五日の下院でスターリン、ルーズヴエルトとの迅速な會見を熱求し「何時でも、どこへでも、如何なる條件の下でも」出掛けて行く、行がねばならぬ英國の事情を告白したのは、佛ソ同盟で尻に火をつけられたことを痛感してゐるからだといへなくもないのだ

赤色勢力圈歐洲を蔽ふ

赤色勢力圈はポーランド、ハンガリー、チエコ、ユーゴ・スラヴイアと西漸して、いまベルギー、フランス、イタリアに燒夷彈を投下し、やがて火の手をスペイン、ポルトガルに待望してゐる、イギリスでは佛ソ同盟の結果、ド・ゴールの國内地位が强化され、共產黨の蠢動を封じて呉れるかも知れないと希望してゐるやうであるが、事實はその反對だと見るべきだ、フランス共產黨は益々發言權を增大してド・ゴール政府を引曳づるであらう、ギリシヤ、ベルギーで共產黨の武力强壓に乘出し手を燒いた英國は、ド・ゴールの個人的成功が英國の手を借りずしてフランス共產黨の擡頭を押へうることを期待してゐるやうであるが、その考へ方は少々甘すぎはしないか、英國でド・ゴールの個人的志向（彼はカトリツクだ）國内軍制壓に見せた手際、肅清をギヤングの手から取り上げて曲りなりにも司直の手に移した手腕等をみて彼の政策の漸進主義を禮讚し、アルジエーの狂暴を忘れたものと斷じ、今回の同盟の成功は、彼の政治的地位を一層强固にしその結果より有力に保守政治が推進できようと希望をかけてゐるが、ド・ゴールの留守の間パリで行はれた共產黨のモーリス・トレーズ歡迎民衆大會で、黨の長老カシヤンは「スターリン書記長は國家の指導者よりも共產黨書記長の方が一層重大な地位だと考へてゐる」ととんでもない告白をしてゐるのである、英國の期待とは全く別箇の現實が英國の勢力圈と考へられる大陸の廣汎な地域に浸透しつつ、それがいまやドーヴアの海を臨むに至つたのだ、萬一、ドイツが敗れ去つた日、その荒廢した土地に芽ぐむものが何であるかは前の大戰で試驗ずみだ

手のない米國の悲しみ

ド・ゴールに對する個人的恣意によつてこれを毛嫌ひしてきた米國も、今回のド・ゴールの反撥によつて、どんな顏をしたかこれもみものである

昭和十九年十二月廿三日(土)
第三二七九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ルーズヴエルトはいまだ、ド・ゴールから招待を受けるとも受けないともいはない、世界的安全保障機構だなどと、大きな風呂敷の蔭にかくれて、弗による世界制覇を夢みてゐたルーズヴエルトはその風呂敷が至るところ破れ始めたのを如何に考へ、如何なる手を打たうとするか

差當り一九三九年英佛がバルト三國について、ソ聯に求め、手もなく蹴られた小國に對する獨立保障要求を今一度出してみるくらゐの手しか考へてゐないやうであるが、新國務長官ステチニアスが就任早々出した歐洲の內政不干涉聲明が本音とすれば、ソ聯はお說の通りとアメリカの要求を相手にしないことは確かだ、では次の手はといふと空念佛以外には持合せはありさうもない、米國としては、英國もある意味で同じであるがとも角戰爭に勝つまでは仲間割れがしたくない一念だけだ

その間隙に乘じて歐洲にはアメリカの希望などは問題にしない既成事實が着實に根を下ろしてゆく、佛ソ同盟は沒落する歐洲へソ聯の勝利の步武が進み行く一里塚だ、米國あたりでは、佛ソ同盟を歐洲が權謀外交の昔にかへりつつある證左だとしてゐるやうであるが、それは一面の現實でしかない、歐洲は昔にかへるどころか、ソ聯式新秩序によつて塗りかへられようとしてゐるのだ、誤間化しもののアンタント・コルデイアルやスターリング・ブロツクなどの堤防ではせき止められない赤い大潮が步々着實に西漸しつつある、フランダースのポピーを赤く染めたトミーの、サムの血がすつかりあとかたもなく大西洋に洗ひ流されて、後にはクレムリン染めのポピーが詩でなく現實として咲き誇るであらう

論爭が盛んに行はれ、上下兩院の討論や質問でも將來における大西洋憲章の適用がしばしば問題となつてゐる、大西洋憲章に關する論爭は最近行はれた英國首相ウインストン・チヤーチルの一聯の聲明を契機として火蓋が切られた、チヤーチルは去る二月、戰後ドイツに對する大西洋憲章の適用の問題に言及して、ドイツの領土上の變更を妨げるかぎり、ドイツに對する大西洋憲章の適用は問題となり得ないと聲明した、またポーランドの將來の國境に關しては、チヤーチルはドイツの北部および西部の犧牲においてポーランドが領土上の補償を要求する權利を確認した、チヤーチルがポーランドの領土補償の權利を云爲したのは、いはゆる「カーゾン線」がポーランド東部國境問題解決の「公平な方法」であるといふ點から出發してゐることはいふまでもない

以上の言明は英國言論界および議會方面の論評の的となり、多少の違ひはあるが、いづれも一樣にチヤーチルの言明は大西洋憲章の第二條の規定に違背すると主張してゐる、問題の第二條とは「兩國(米英)は關係國民の自由に表明された願望に一致せぬ領土上の變更に同意せぬこと」だ

そこで大西洋憲章の第二條はドイツにも適用すべきであり、從つてドイツに關する領土上の變更はドイツ國民に諮らずには行つてならぬといふ聲が起つた、特に勞働黨の中央機關紙「デーリー・ヘラルド」は三月二十三日大西洋憲章の原則の批判を呼びかけて、チヤーチルは以上の原則を變更すべきではなからうかといふ疑問を提起した

勞働黨機關紙の主張

「デーリー・ヘラルド」紙の「疑問」は新聞界の論議の對象となるだけに止まらなかつた、三月中旬七十名の下院議員が大西洋憲章に關する議會の討論を要求する決議案を上程した、これに對しチヤーチルは決議案の起草者達が決議案を政府不信任投票の基礎とするならいざ知らず、さもないかぎりかかる決議を拒否すると言明したが、上院でも議長クランボーン卿は政府を代表して、ドイツに對する大西洋憲章適用問題の討論を延期する旨の提案を行つたのである

資料

大西洋憲章について

ベー・シユタイン教授

「戰爭と勞働階級」誌五月一日號

問題の第二條

英國政界や言論界では最近大西洋憲章に關する

以上の問題はかうした經過を辿つて少くも現在のところ立ち消えとなつた形だが、筆者の關心を惹くものは問題の他の側面、卽ち勞働黨の公式機關紙「デーリー・ヘラルド」のとつた立場だ、同紙は七十名の下院議員の上提した決議案に觸れて次のやうに述べてゐる

「決議案は專ら敵意に充ちた調子で彩られてゐるが、特に決議案の發起人のなかには英國の輿論と何等の共通點も持たぬ平和主義的傾向の下院議員が混つてゐる」

いはゆる「七十名の決議」に對する以上の批評は「デーリー・ヘラルド」紙自身の立場を照明した點で極めて興味がある、事實同紙はかかる批評を行つた後に次のやうに述べてゐる

「大西洋憲章はドイツに適用されずとしたチャーチルの言明に關聯して生じた大西洋憲章問題を、下院が討論にかけずにその儘放置しておくならば、これに過ぎる誤謬はない」

「デーリー・ヘラルド」紙によつて「平和主義者」の烙印を捺された人達や、同紙によれば「英國の輿論と何等の共通點も持たぬ」立場は、實際にはドイツとの和協を隱然且つ公然と希望する人達だとの徒輩は曾つてチエンバレンの懷柔政策を支持し、有名なクリヴデン組の周圍に結集したのだが現在でもこの一派は決して武器をおいてゐないことはいふまでもない、クリヴデン組は現在大西洋憲章の「純潔」を支持し、大西洋憲章の原則をドイツにも適用することを强硬に主張してゐるのだ、彼等はあれこれの國家のためにドイツ領土の一部を割讓することは、「道義的にも法的にも是認する」ことはできないと喚き散らしてゐる、この連中の道義的「疑問」はチエンバレンがミユンヘン會議でドイツのためにチエツコスロヴアキアの解體を促進したときには、全然起りもしなかつたことを想起するがよい、彼等はまたウクライナおよび白ロシア民衆の土地にたいするいはゆるポーランド政權の侵略的野望を常に支持してきたのだ

憲章の「純潔」

大西洋憲章に關する討論の發起人共は、あらゆる機會を利用して旣に歷史によつて解決濟の問題卽ち西部ウクライナおよび西部白ロシアの領土問題、ソヴエト聯邦沿バルト諸共和國の運命に關する問題を舞臺の前面に引きずり出さうと努めてゐる、しかも彼等は以上の領土が西部ウクライナ、西部白ロシア、ラトヴイア、リトワニア、エストニアにおける眞の國民投票によつてソヴエト聯邦に合併した事實については完全な沈默を守つてゐるのだ、今日新たに擡頭した大西洋憲章の防衞者達は、大西洋憲章の「純潔」を强調することによつて、依然としてソヴエト聯邦の領土にたいする帝國主義的野望を棄てぬ亡命ポーランド反動分子や沿バルト諸國の民衆に追つ拂はれたファシスト分子の尻押しをしてゐるのである、要するに彼等は大西洋憲章を討論にかける必要を提唱して、ドイツとの戰ひにとつて極めて有害な政治情勢を釀成しやうと試みてゐることは疑問の餘地がない

勿論かういつたところで大西洋憲章に關する一切の討論に死刑を宣告し、この文書が批判の餘地なしと稱するのではない、周知の如く大西洋憲章は米英兩國政府の宣言といふ形式を採り、後にソヴエト聯邦その他の聯合諸國が以上の宣言に參加したのである、宣言は戰後平和機構に關する若干の一般原則、卽ち對獨ブロックの全加盟國が等しく分つ諸原則を正しく定式化したものだ、從つてこの意味ではこの文書が當時果した積極的役割と意義を否定することは出來ない、以上の諸原則は一九四一年八月十四日に宣言された、としたならば一九四四年の今日對獨提携の直面する複雜極まる諸問題を解決するに十分だといふことが出來るであらうか？　果して大西洋憲章はこの三ケ年間に生起した一般國際情勢の變化を考慮に入れることが出來たであらうか？

情勢の變化

一九四一年の情勢と一九四四年のそれを比較してみるならば、以上の問題に對する解答は極めて

昭和十九年十二月廿三日(土)
第三二七九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

明瞭となる、一九四一年八月にはまだ米國は參戰せず、ドイツは軍事力の絶頂にあり、英國はドイツ軍侵攻作戰の脅威下にあり、最後にソヴエト聯邦は大西洋憲章の成立した一ケ月半前にドイツの不意討を受けて、モスクワ、レニングラードに進擊するドイツ軍の打擊の一切を一身に受けてゐたこれが一九四一年八月の情勢である

それからの三ケ年間に單に軍事上の力關係が變化したばかりでなく、一聯の新たな問題が生起したが、これは一九四一年には全然考慮され得ぬものか、あるひは考慮されても極めて大摑みな形で行はれたに過ぎぬものばかりだ、ソヴエト政府は一九四一年九月二十四日大西洋憲章に參加した際その諸原則の概括的な性格を指摘して、具體的情勢に照應して以上の諸原則をより正確に規定する必要を强調した、大西洋憲章の一般原則を具體化し正確化する必要といふ考へ方は、この文書の起草者にとつても緣遠いものではない、たとへばクランボーン卿は「戰爭の局面が次々と變化するにつれて、大西洋憲章に照應する事態を一段と正確に規定する必要が生ずる」といふ最近のチヤーチルの言明を指摘してゐる、また米國務長官ハルは四月九日のラジオ演說において大西洋憲章の意義を語つた際、大西洋憲章は決して「法典」でなく解決そのものを與へはしないが、解決の方途を求むべき方向を示すものであると言明してゐる

既に述べたやうに、大西洋憲章は戰時下過去三ケ年の間に聯合國の前に生起した一聯の問題を考慮に入れてゐないし、また考慮に入れることが出來なかつた、その根本原則はいふまでもなく生命を保つてゐるし、また正當でもある、たとへば大西洋憲章の第三條「あらゆる國民は自己の望む政體を選ぶ權利」があるといふことや「暴力によつて剝奪されたあらゆる國家の主權と自決權を回復」する必要を否定することは出來ない

憲章修正の要求

しかしながらかかる諸原則を宣言することは、ドイツ擊滅の前夜乃至擊滅後に聯合諸國の直面する一切の問題を解決することを意味するものではない、大西洋憲章はその成立當時既に存在し、戰爭の終末に近づくにつれて愈々現實化する一聯の問題に觸れてゐない、たとへば大西洋憲章はドイツ崩壞後の國際安全保障組織に言及しておらず、戰爭期間および戰後におけるファシズムとその闘爭の問題に觸れてゐない、大西洋憲章が既に成立當初においてすら現代の極めて重要な一聯の問題にたいする餘蘊なき回答を與へてゐないことは、以上の二つの例を擧げるだけで十分だ

大西洋憲章をモスクワ乃至テヘラン會談の宣言と比較すれば一段と明瞭となる、以上の二宣言は單に大西洋憲章の主張を繰り返してゐるだけに過ぎぬだらうか、勿論否だ、兩宣言は新たな問題の發生を考慮に入れてゐる點で、大西洋憲章よりも遙かに前進してゐる、たとへばモスクワ會談の宣言は國際平和安全保障組織と以上の組織において四大國が將來果すべき役割を指摘してをり、イタリアに關する宣言は大西洋憲章で解れてゐる點に比較して著しく前進してゐる、しかしながらモスクワ宣言で定式化された主張ですら、目眩しく變轉する國際情勢に關聯する一切の問題を包括してゐない、たとへばイタリア問題に關するモスクワ會談の決定は不十分であり、極く最近實施された一聯の補足的措置を必要としたのである

それだけではない、國際平和、安全保障機構に關するモスクワ會談の宣言も極めて一般的な原則を規定しただけで、戰爭が終末に近づくにつれて愈々現實化する一聯の問題を解決してゐない、國際平和・安全保障機構に關する問題としては、まづ第一に如何なる方法で、如何なる手段を通じてこの機構が決定を實現させ、加盟各國にその決定の遂行を保障するかといふことが問題となるう、しかも最も重要な問題は國際平和・安全保障機構がその機能を十全に働かせ、喫緊の問題を具體的にかつ有效に解決するため、如何なる權力を有してゐるかといふことだ、國際聯盟の最大の缺陷はその決定を實行する力がなく、大袈裟な決議乃至宣言を頻發したにも拘らず、如何なる措置をも斷行する力がなかつたことだ、かかる事態が平和の維持と安全保障といふ重大任務を擔ふ國際機構にとつて當然のことと見做す譯には勿論ゆかない

國際平和・安全保障機構に關するモスクワ會談の宣言が以上の問題に關する最後の言葉と見做され得るものでなく、宣言に盛られた決議が尙一層の琢磨と發展と具體化を必要とすることはいふまでもない

無條件降伏を撤回せよ

最後の一例を擧げよう、モスクワ會談で採擇された四國宣言では、四國が「それぞれ交戰狀態にある樞軸國が無條件降伏の原則に基いて武器をおかぬ限り戰鬪行爲を繼續することを規定してゐるこの條件はあれこれの場合における具體的な情勢とは無關係に無條件に、適用されるべき絕對的な法則と見做すことができるであらうか？　この問題についてはソ芬休戰交涉に當りソヴエト聯邦が無條件降伏の條件を主張しなかつた例を擧げるだけで十分だ、かくの如くあれこれの國家に關して無條件降伏の原則を全的に適用する必要と合目的性がありや否や、あるひはなんらの讓歩を行ふことが必要でもあり目的に適つてゐるかどうかを決定するため、具體的な條件を更に研究し決定しなければならぬのである

以上述べたことから次の結論が生ずる

ヒトラーのドイツ乃至はロンドンの亡命ポーランド反動分子を援助するために大西洋憲章に關する論爭を始めようとする企圖に對しては、斷乎反對しなければならぬことは疑問の餘地がない、しかしながら大西洋憲章の基本たる一般原則を改善し具體化し、最後に發展させることを目的とする論爭の提案に對しては反對を唱へるべきではないこの論爭が實際に成果を擧げるためには、大西洋憲章の成立後に發生し大西洋憲章が考慮に入れなかつたしまた考慮に入れることができなかつた一聯の問題を對象とすることが必要だ、かかる論爭の課題としては、共同の敵との戰爭努力を增大し得る如き措置の決定が第一に考へられねばならずかかる措置の一つとしてはヒトラーのドイツの衞星國における反ファシスト的民主々義諸勢力を糾合し、これら諸國をしてドイツとの關係を斷たせて、ヒトラー一味に對する鬪爭に參加せしめることが考慮されねばならぬ、もしも大西洋憲章に關する論爭が以上の線に沿つて行はれるならば、有意義な成果を擧げて、聯合國の根本任務たるヒトラーのドイツをできるだけ早く仆し、戰爭の終結を早めるために大きな寄與をなすであらう

海水淨化の新裝置

「イラストレイテッド・ロンドン・ニューズ」誌十二月二日號

海上に漂流する人間が灼けつくやうな喉咽の乾きに耐へかねて海水を飮んだのがもとで生命を失つた場合は夥しい、この世間衆知の危險が機運となつて海水淨化の裝置が幾つか完成された、然しこれらは一應滿足すべきものではあるが飛行機に搭載するにはあまりに容積が大き過ぎる嫌があるこの問題を解決するために海軍省はパームテツト會社に委囑して、熱を使用せずにも海水を飮料水に變へる簡單な小型の裝置を至急研究せしめたところ、パームテツト會社は英空軍生理學研究所と航空機生產省との協力を得て理想的な裝置の完成に成功した、新裝置の原理は至極簡單である、若干量の海水を伸縮自在の囊に汲入れ、小粒の特殊化學藥品を添加して數分間振り立てると、鹽分並びに不純物は分離して不溶解性の固形體となる、そこで伸縮自在の囊をしぼれば、囊の中に仕掛けた濾過器を通して淸淨な飮料水が出てくる、裝置を仕舞込む正方形の箱は透明な陶器で出來、そこには使用法が記されてゐる、伸縮自在の淨化囊は箱に納められ、箱には護謨製の貯藏室があり化學藥品の九回使用分が納められてゐる、各部分品には安全コードがついてをり、風浪の際または操作の途中喪失を防ぐため護謨製の小舟に結びつけられる、一回の操作に化學藥品一回分を用ひると新鮮な飮料品が半パイント出來る、この裝置は英空軍並びに艦隊航空隊で採用されてゐる

スカラ座近く再開

（ベルリン二十日發）ミラノ來電＝歌劇の殿堂として世界的に有名なミラノのスカラ座は昨年八月十六日反樞軸空軍の爆擊により建物の半分が破壞されたが、その後再建工作が進捗、近く劇場を再開する運びに至つた

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月廿六日(火)　第三二八二號

同盟通信 海外電報

(295)

東京都麹町區日比谷公園二番　同盟通信社　編輯兼發行人　長岡伊八

世界の焦点

ミンドロ島に上陸した敵の意圖は明かだ、レイテ島の日本軍の增援乃至補給を完全に絶ちルソン島をも自軍制空權の傘の下に收めて比島戰を完成するための航空基地の建設こそ彼らの目的である、彼らは得意の蛙飛び戰術をもつて日本軍第一線の後方深く突入した、そしてわれを孤立せしめたと信じてゐるが、逆にみればこれは彼らの方から孤立的な立場に飛び込んで來たともいへるのだ、この複雜な戰局を決定するものは補給力である、一口に補給の戰ひといふが、補給戰は決して舟や航空機で運び込む物量だけに左右されるのではなく、到達すべき物資を途中で海底に沈める攻撃力があれば如何なる物量も恐るるには當らない、ここにおいて日本軍の神風特攻隊や萬衆特攻隊の功績が燦として光輝を增すわけである、敵もそれを忘れてはゐない、マッケーン機動部隊の出動は日本軍航空戰力の破壞を目指したものであり、太平洋戰略航空隊の編成は敵航空戰力の統合強化を意圖したものだ、從來太平洋の航空兵力は前線航空隊と後方航空隊とに分れ、太平洋方面陸軍航空隊司令官ミラード・ハーモンは後方部隊だけを掌握してゐた、ウイリス・ヘイル麾下の前線航空隊はニミツツ司令部に直屬し陸軍第七航空隊さへハーモンの自由にはならなかつた、今回の改組は前線後方の兵力を擧げてハーモンに委ね、海兵隊第二第四、艦隊第一、第二の各航空隊もハーモンの指揮によつて活動することになつた、東京を爆撃し名古屋を襲撃する第二十一爆撃隊が彼の右手であるとすれば、彼の左手は硫黄島からボルネオ島に至る諸島嶼に爆彈の雨を降らす魔のサンタ・クロースだ、敵はサイパンだ、そこにミラード・ハーモンはゐる

【目　次】

大西洋憲章は理想案にすぎず……三二三〇
憲章拋棄に輿論沸騰……〃
新たに廿五萬を徵募……三二三一
突風の進擊全線に續く……〃
白領に六十四粁突入……〃
捕虜數二萬五千に達す……〃
赤軍冬季攻勢開始か……〃
【美　帝　國】
希派遣軍暴動を起さん……三二三二
重戰車製造に重點……三二三三
米對佛經濟使節國立寄る……〃
濠洲炭坑夫罷業繼續に決定……〃
【歐　洲】
エラス兵團に總攻撃……〃
ビドー、米英に氣兼ね……〃
勃政界首腦五十一名裁きを待つ……〃
芬の對ソ賠償金支拂ひ……〃
瑞輸出最低記錄……〃
【米　洲】
海軍戰鬪機の增産を發表……三二三四
軍需增産の必要倍加……〃
合成ゴムの缺點……〃
マクナット前線視察……〃
紐育の肉屋罷業せん……〃
佛資金凍結解除……〃
滿腹は伊の政爭解決法……〃
ブラジルに飛行艇讓渡……三二三五
新グヮテマラ大統領……〃
【ソ　聯】
世界の四分割案……〃
交通人民委員更迭……〃
【友邦動靜陣營】
太平洋軍事會議解散か……三二三六
補給船舶不足を訴ふ……〃
米ソ建築會議……〃
【軍事情報】
ドイツ新銳機の呼稱……〃
歐洲戰況概觀……三二三七
【特　輯】
英國のビルマ政策……三二三八
【資　料】
重慶は無用に非ず……三二四三

大西洋憲章は理想案に過ぎず

ルーズヴエルト重ねて言ふ

（リスボン二十二日發）ワシントン來電によれば大統領ルーズヴエルトは二十二日の定例新聞記者團との會見で大西洋憲章に對する解釋を更に敷衍し、彼一流の諧謔的言辭をもつて次の通り述べたといはれる

「大西洋憲章の目標はチヤーチルと余とが一九四一年これを最初に發表した時と同樣何等變りなく依然として生きてゐる、但しこの憲章は十誡その他キリスト教の訓へと同樣よりよき世界を招來することを目標としたもので、十誡をそのまま文字通り實行に移してゐる人のないことを考へ合はすべきだ、しかし實行不可能な十誡も依然として價値を失はない如く、大西洋憲章も今後幾世紀にわたつてその價値を失はない文獻とならう、この意味ではウイルソンの十四ケ條とも比較しうるものだ」

二十二日の記者團會見では冒頭から大西洋憲章に對する解釋について記者團から質問が殺到し、ルーズヴエルトの右言明は一記者から「憲章はすでにその目的を失ひ乃至は消滅し去らんとしてゐるとの見解が擴つてゐるが大統領の所見如何」との質問に對して與へられたものだが、これによつてルーズヴエルト自身も大西洋憲章を實行に移す所存なく、同憲章が單なる飾物に過ぎないことが益々明確となつた、ルーズヴエルトは更にこの新聞記者團會見でその他の重要問題にも觸れたが、その言明要旨次の通り

西部戰線戰況　西部戰線の戰況については新聞紙に報道されてゐる程度しか知らない、同戰線を視察した議員の中には反樞軸軍の補給が不足し、これがため遂ひにドイツ軍今次の大反攻を許すことになつたのだと非難する者もあるやうだが、これはあくまでも個人の見解である、反樞軸軍としてはいつ歐洲戰が終るかなどといふことは問題とせず、ドイツ軍の最終的撃破を目標として作戰を進めよう、この間米國民に課せられた最大の義務は各人がそれぞれその義務を果たし前線に出來るだけ多くの軍需品を送ることだ

三頭會談及び外相會談　チヤーチル、スターリン兩者との會談の日取りはまだ決定してゐない、但し新會談が行はれる場合も從來通りその日取りや會談場所は嚴秘に附さるべく、また會談の內容もそれが發表されるのは會談終了後とならう、英國外相イーデンは米英ソ三國外相が一年に四回定期的に會合したらいいとの希望を表明したが、これが具體的提案になつてゐるとの話は聞かない、また一部に傳へられる反樞軸政治、經濟參謀本部設置案についても言明の限りでない

豫算敎書　新會計年度に對する豫算案は戰爭が今後も相當長く續くとの想定の下に編成され既にほぼ完了した、ドイツ軍今次の反攻作戰によつて豫算案が急に改變される如きことはない

憲章拋棄に輿論沸騰

（リスボン二十二日發）ルーズヴエルトが十九日の記者團會見で大西洋憲章無視の意圖を仄めかしたことは果然米國政界に物議を醸し、各紙は夫々の立場より贊否の所見を開陳してゐる就中「ニューヨーク・タイムズ」紙は二十一日の紙上に社說を揭げて曰く

「歐洲現在の政治的諸困難にかかて加へてルーズヴエルトが大西洋憲章と稱される調印を了した正式な文書がないと述べたことは全く冷笑傍觀分子に好餌を提供した、これ等の分子は以上の諸事實から含意を汲みとり結論を下してゐるが、かかる結論が一般に受容れられる場合には、反樞軸國の「大同盟」は根柢から覆へされることとならう、一九四一年八月十四日の共同宣言は正式文書に織り込まれなかつたが、ルーズヴエルトとチヤーチルとが各自政府の首班としての權威によつて全世界に聞明したところに屬し、內容と正確な正文とには何處からも抗議が出てをらず、ウイルソン大統領十四ケ條と同樣に效力を持つてゐる、大西洋憲章が一部歐洲の國々のために蹂躙されてゐることは少くとも米國人の見解を以てすれば或る點において遺憾ながら本當だ、チヤーチルは一定地域に對して同憲章が適用されぬ旨を正式に認めてゐる、ロシヤもまた領土の擴張は時期の問題だといふ解釋を大西洋憲章に下して、同樣の行動に出てゐる

昭和十九年十二月廿六日(火)
第三二八二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

しかし今回の大戰並びに前大戰の苦い經驗で歐洲各國が殆ど自働的にあらゆる手段を盡して自國の安全を確保するため全力を傾注してゐることを考慮に入れねばならない」

また「ワシントン・スター」紙はルーズヴェルトの三百代言的聲明を眞向から非難し

反樞軸各國は今回の戰爭を戰ふ「高遠な目的」の嚴肅な宣言として大西洋憲章を全世界に賣り出した、今さら買ひ戻さうとすれば必然的に大西洋憲章を人類自由の憲章として文字通り受け容れた數百萬の男女を失望させようと述べてゐる

英國新に二十五萬を徴募

(ストツクホルム二十二日發)ロンドン來電=英國政府は二十二日夜ダウニング街十番から次の通り發表した

「英國政府は前線における英軍を支持培養するために今後數ケ月間に追加戰鬪人員を徴募するに決定した、うち大半は一般市民からの新徴募によるが、一部は海軍並びに空軍から兵力を轉用することにより、更に一部は他の防衛任務に服し乃至軍の行政事務に從事してゐた集團または個人を更に整理捻出して陸軍自體から所要人員に充當する、以上の方法により從來の計畫に追加される兵員總數は二十五萬に達するであらう」

西部戰線におけるドイツ軍の攻勢開始以來僅かに一週間、しかも首相チヤーチルが從來陸軍省から發表する慣例を破つて首相官邸から兵員募集計畫を發表したことは英國内に少からぬ反響を捲き起してゐる

突風の進撃全線に續く

―ウルト河西岸に到達―

(ベルリン二十二日發)總統本營二十二日正午發表=

一、ベルギー南部においては反樞軸軍は二十一日ドイツ軍の攻撃を必死で喰ひ止めようと努めたが、悉く失敗に歸し、ドイツ軍は戰線後方に包圍した儘取り殘したサン・ヴイートの據點を占領、反樞軸軍守備隊を一名も餘さず捕虜とした

一、ドイツ軍攻勢先鋒は依然西方へ驀進を續行、ウルト河を渡つて西岸の數ケ所に橋頭堡を確保した、スタヴロー地區ではアーヘン地區から救援に驅けつけ、ドイツ軍戰線北翼に突入せんと試みる反樞軸戰車部隊と激鬪展開中である

一、ルクセンブルグ中部におけるドイツ軍の攻勢は順調に進捗し反樞軸軍はドイツ軍快速部隊により後方交通連絡線に奇襲突入されたため極めて甚大な損害を蒙つた

一、反樞軸軍司令部はドイツ軍の成功によりアーヘン地區の攻勢戰線から强力な兵力を引き揚げてベルギー戰線に注ぎ込むの已むなきに至り、アーヘン地區では僅かにドイツ軍の釘付けを圖つて徒勢な攻撃を繰り返すのみで、ザール戰線では兵力使用の餘地を得るためデイリンゲン、エンスドルフの橋頭堡からすら撤收せざるを得ぬ破目に陷つてゐる

白領に六十四粁突入

(リスボン二十二日發)反樞軸第二十一集團司令部はルントシュテツト戰車攻勢が二十二日夜までに縱深六十四粁の深さに亘つてベルギーに突入した旨發表した

捕虜數二萬五千に達す

(ベルリン二十二日發)ドイツ軍當局は二十一日現在までの反樞軸軍捕虜數は二萬五千に增加した旨二十二日發表した、反樞軸軍の戰死傷者數は勿論以上の數字の數倍に達することは言ふまでもない

赤軍冬季攻勢開始か

―全戰線に戰火擴大―

(ストツクホルム二十二日發)ドイツ軍前線報道によれば東部戰線の赤軍はラトヴイア戰線で三十萬乃至四十萬の兵力を投入して冬季攻勢を開始、同時に戰火は東プロイセン戰線にも擴大してゐるといはれる、また同報道はハンガリーの赤軍が要衝セケスフエヘルヴアルから三粁の地點に迫つたと報じてゐる、以上の情報は赤軍當局によつていまだ直接確認されてゐないがソヴエト情報局は二十二日夜の公報において「過去二十四時間内に赤軍はドイツ軍戰車百十一臺を撃破、飛行機六十八機を撃墜した」と報じてをり、この數字が過去數週間内の最大の戰果を示す數字である點が注目されてゐる

【英帝國】

希派遣軍暴動を起さん

―上院ギリシヤ政策討議―

（リスボン二十一日發）ロンドン來電＝前マドリツド駐劄英國大使テンプルウツド卿は十九日はじめて上院議員として上院に出席、外交政策に關する討議に關聯し次の動議を提出した

「歐洲の文明を取戻すためには法律の前において平等、特殊の黨派に對する優先扱ひの禁止、統一した司法制度、信教の自由、官職並に職業の自由など一定の民權を保障することが第一の要件である、歐洲の各國人が以上一定の根本的な民權自由を享受出來なければ、歐洲の文明は危殆に瀕するであらうから、歐洲各國は力を合せて民權自由の確立につとめなければならない」

東プロイセン分割に異議

右動議に關聯し、英國上院は二十日更に討議を重ねたが、セシル卿は特にポーランド分割案に反對し次の通り述べた

「首相チヤーチルはソ波兩國間の國境紛爭を解決するために、ドイツ人を東プロイセンからドイツ本國に大量移住させると稱してゐるが、一部のドイツ人を移住させた後、爾後かかる實驗を繼續出來ぬことが判るだらうが、余はかかる場合を豫想して慄然たらざるを得ない、曾つてドイツ人が採擇して成功しなかつた方策を英國政府が踏襲することは出來ない、且つ民族を移住させる結果歐洲に永劫の傷を殘こし、擾亂と恐らく戰爭とを誘致することとならう、ダンバートン・オークス會議の安全保障機構が具體化するに先立ち、苟も何らか恒久的乃至滿足なものを打ち樹てようとすれば判つきり一掃してしまはねばならぬ時代に所屬する外交樣式並びに領土的處理に、英國政府が恥る場合には災厄を惹起することとならう、ギリシヤ國内の情勢については、英國政府が戰爭を開始した本來の目的に直接影響ある事柄について、現在英軍が同盟國の一つと實際戰爭してゐるのは、英國の政策に對する汚點だと深く憂慮してゐる人々が少くない（喝采）英國の本當の政策がどこにあるかをギリシヤ國民に十分傳へてゐないと思ふ」

自由黨のパース卿はセシル卿に反對して

「東プロイセンにはポーランド系人口が非常に多く、戰後同地方がポーランド領土に歸屬するのが當然である」と述べ、最後に大法官サイモン卿はテンプルウツド卿の提案に對し

「英國の憲法には集會乃至言論の自由がどこにも規定されてゐない、以上の諸權利は市民が傷害を受ける場合必ず權利の保護を受けることが出來る效果的な手續を確立することだけが實際には大事だといふことを確認しさへすれば、自ら保障されよう、英國はかかる實際的方法で民權の確立に成功してゐる」

と述べ結局テンプルウツド卿の動議を撤回した

兵士の無神經が不思議

上院は二十一日更にギリシヤ政策について討議したが、勞働黨議員フアリンドン卿は、上院は同盟國ギリシヤ國民に對する軍事行動の悲しむべき結果を誘致した政府のギリシヤ政策を遺憾とする旨の決議案を提出し、次の通りのべた

「英軍司令スコビー少將の休戰條件は降伏の條件で到底同意しがたい、英軍が飽くまで武力干渉をつづけるならば、内亂彈壓のためにギリシヤ國内に派遣されてゐる英軍の間に暴動がもち上るかもしれない、英國兵の間からギリシヤ人と戰ふことを非常にいやがり、且つアテネ市を爆撃するのを拒否する兵士があらはれないのがむしろ不思議である」

と述べた、以上の發言は議場に非常な物議をかもし、自由黨の領袖サムウエル卿は

「かかる言葉は上院で發言さるべき言葉ではない更に再考した上でフアリンドン卿が遺憾の意を表明することを要望する、但しギリシヤ内亂の重荷を英國政府だけが負擔しなければならない理由はないので、内亂鎭定のために何らかの形式で聯合國共同の行動に出るのが至當だと思ふ」

と論じたが、勞働黨のストラボルジー卿はフアリンドン卿の發言を全面的に支持した、最後にクランボン卿が政府を代表して首相チヤーチルの政策を全面的に支持し「ギリシヤ國内における英國の主な利害關係は治安の維持にある」とのべた、結局フアリンドン卿の政府彈該決議案は否決されたが、ギリシヤ政策に對する英國政界の不滿は依然として極めて深刻である

昭和十九年十二月廿六日(火)
第三二八二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

重戰車製造に重點

(ストツクホルム二十一日發)ロンドン來電＝保守黨議員ハマーズレイ、勞働黨議員シンウエルの兩名は二十一日の下院で供給省次官ウイルモツトに對し政府は重戰車を生産する必要を認めぬが、ドイツ軍は最近の攻撃で英戰車に裝備されてゐるより遙かに强力な大型口徑の砲を有する戰車を使用してゐたといふ事實に對して政府は注意を拂つたかとの質問を行つた、これに對しウイルモツトは政府は目下重戰車製造に對して最大の重點を置いてゐる旨答辯した

米對佛經濟視察團立寄る

(リスボン二十一日發)ロンドン來電＝米國の銀行家數名がフランスに赴く途上當地に立寄つた、一行の使命はフランスの經濟狀態の視察といはれる

濠洲炭坑夫罷業繼續に決定

(リスボン二十一日發)シドニー來電＝濠洲政廳當局は過般來罷業中の炭坑夫に對し一月一日から復業を命じたが炭坑夫同盟幹部會は右命令に反抗し、缺勤に對する罰金徴收のため賃金差押へを行つてゐる炭坑では一週間の特別休暇を行つた上更に罷業を繼續するに決定した旨二十一日發表、濠洲は開戰以來最大の石炭危機に直面するに至つた

【歐洲】

エラス兵團に總攻撃

(リスボン二十一日發)アテネ來電＝エラス兵團は依然市街の三分の二を占據、アテネ、ファリロン道路も裝甲車以外通行出來ず、ピレウス外港でも二十日エラス兵團の攻撃で約三時間一切の交通が杜絶したが、英軍司令スコビーは二十日午後九時エラス兵團に對する最後通牒の期限滿了とともに總攻撃を開始、戰鬪機隊も猛烈な爆撃を開始した

ビドー、米英に氣兼ねか

(リスボン二十一日發)過般のモスクワにおけるソ佛同盟條約締結に際しドイツ領土の分割に關する申し合せも行はれた樣子だつたが、パリからのUP電報によれば、ド・ゴールと共に最近モスクワから歸還した外相ビドーは二十一日フランス諸問會議でソ佛兩國はポーランドに對し東プロイセン、ポンメルン、シレジエンの各地方を與へるに意見一致したと述べたといはれる、但しビドーは米英兩國に氣がねしかし以上の問題は反樞軸諸國と合議の上最終的に解決されることとならうと附言し、またソ佛同盟に關し次の通り述べたといはれる

ソ佛同盟條約は將來結成さるべき國家聯盟の萠芽である、同盟實現の曉にはソ佛兩國共に米英兩國に諮ることなしに如何なる計畫をも開始しようとは思はない、これはモスクワにおける條約にも明記されたところだ

勃政界首腦五十一名裁きを待つ

(ストツクホルム十八日發)モスクワ放送によれば、ブルガリア政界の首腦五十一名が「ブルガリアに對する犯罪行爲」の罪名で裁きを待つてゐるといはれるが、以上五十一名は八班に分けられ、第一班はキリル大公、フイロフ元首相、ミチヨフ將軍等の前攝政、第二班はボジロフ元首相、バグリヤノフ元外相、ムラヴイエフ等のボリス國王の顧問等でうち一部は國外に逃亡したり死亡したりしてゐるため實際には五十一名にみたぬ

芬の對ソ賠償金支拂ひ

(ストツクホルム二十日發)ヘルシンキからのAP電報によればフインランド政府は二十日次の通り發表したといはれる

「フインランド政府はソヴエト聯邦に對する戰爭賠償金三億弗を今後六ケ年間に毎年價格五千萬弗の物資をもつて支拂ふことに決定した」

瑞輸出最低記錄

(チユーリツヒ十五日發)スイス當局は十五日次の通り發表した

「十一月中のスイス輸出額は戰爭勃發以來の最低記錄を示す四千七百六十萬フランに低落した、また同月の輸入額は十月に比し十パーセント方低下總計六千六百六十萬フランであつた」

【米　洲】

海軍戰鬪機の增産を發表

（リスボン二十一日發）ワシントン來電＝海軍省當局は二十一日飛行機生産計畫の變更につき次の通り言明した

海軍は本年下半期に入つて戰鬪機の生産を二十パーセント方減少したが、明年は三十乃至四十パーセントの增産を行ふこととならう、これは太平洋戰が新戰局に突入した結果であり、卽ち米國軍が日本本土に近づくに從ひ、陸上を基地とする有力な日本空軍を相手としなければならなくなつたのに加へ、地形及び日本軍作戰の變化にも對應する必要に迫られた結果である、これと同時に海軍は陸地を基地とする長距離偵察機の生産にも重點をおくこととなつた

軍需增産の必要倍加

（リスボン二十一日發）ワシントン來電＝戰時生産局長官クルーグは二十一日の新聞記者團會見で軍需品を一層增産する必要を强調したがこれと關聯して反樞軸軍の作戰がドイツ軍今次の大反攻によつて蹉跌を來したことを暗に示唆した、言明要旨左の通り

軍需生産計畫はドイツとの激しい戰が明年は勿論これ以上にも長く續くとの想定の下に樹てられなければならぬ、卽ちドイツ軍今次の反攻作戰によつて軍需增産の必要は更に增加した、もしアイゼンハワーがドイツの西部要塞を急速に突破することが出來てゐたならば軍需生産は現在の程度で十分だつたらう、しかるにドイツ軍の新作戰の結果米國は明年はおろか戰爭が繼續する限り過去二ケ月におけると同樣の激戰が續くものと覺悟してあらゆる準備を進めなければならなくなつた

合成ゴムの缺點

（チューリツヒ二十一日發）「ヴエルト・ヴオホ」誌は米軍最高司令部の言明を次のやうに傳へてゐる

「現在米國における合成ゴムの生産高は輸入天然ゴムよりも多量に上つてゐることは事實であるが合成ゴム製造に要する勞力は普通のゴム製造に要する勞力よりも二十パーセント方多く、爆擊機用の巨大な合成ゴムタイヤ製造時間は通常のタイヤ六十箇の製作時間に匹敵する」

マクナツト

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝政府は二十日「戰時人的資源委員長ポールマクナツトは人的資源委員會並びに戰時勞働局代表を伴ひ歐洲戰線視察のため近く米國を出發する豫定である」と發表した

前線視察

紐育の肉屋罷業せん

（リスボン十三日發）ニューヨーク來電＝ニューヨーク市への食肉供給の五分の四を賄ふ約一萬軒の肉屋は物價管理局の規定に抗議して十二月二十五日を期し一齊に閉店する模樣だ、ニューヨークの食肉業者は過般來政府の最高價格政策に融通性がないため商賣が出來ないと陳情中であつた

佛資金凍結解除か

（リスボン二十一日發）ニューヨーク來電＝「デーリー・ニューズ」紙は二十日次の通り報道してゐる

「大統領ルーズヴエルトは財務省に對し推定約二十億弗といはれる在米フランス資金の凍結を解くやう命じたといはれる、この結果四年以上も米國に保管されてゐたフランスの金塊その他の財産は多分クリスマス前に大統領令をもつてド・ゴール政權に引き渡される事になるだらう、開戰以來米國政府はドイツ軍に占領された多數國家の在米資金を凍結したが、フランス資金に對する措置が初めての資金凍結解除とならう、ド・ゴールはこれにより通貨を安定し、政府官公吏に對する支拂ひをなし得るわけである」

滿腹は伊の政爭解決法

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝「ワシントン・ポスト」紙記者リンドレーは十八日イタリアの政治的危機を解決するため食糧救濟を急遽實行すべき必要を次の通り力說してゐる

「大統領ルーズヴエルトの法王廳特使マイロン・テーラーは最近ローマで演說を行ひ、米國內でイタリア救濟資金蒐集運動を起すことを提唱した、と傳へられるが、問題は救濟資金ではなく船舶だおそらく反樞軸の船腹割當の衝に當るものは解放

地區にたいする食糧提供並びに復興事業の重要性を十分認識してゐないやうだが、司令官の中にも割當てられた船腹を抱へ込んでしまつたり、殊に利用してゐない者があるやうだ、尤も最近軍事作戰に必要でない船舶を探し廻つてゐるが、かかる氣運は米英兩國とも解放地域の救濟は多少とも政治上の困難を緩和出來ると考へ初めたらしい、テーラーは米國人よりも英國人の方がイタリアを依然敵國と見做す傾きがある、とすつぱ抜いたが、かかる見解の相違はイタリアに駐在する米英兩國の將校、官吏などの言動に反映してをり、イタリア國民もこれに氣附いてゐる、イタリアの交戰國としての地位は依然曖昧だが實際上の問題としてはイタリア國民がどの程度罪あるかといふことでなく、今後イタリアをどうするかといふことだ、ワシントン官界の大部分はテーラーの警告、即ち以上の問題の解決に愚圖つき緊急を要する民需物資の補給が遲延すれば困つた結果といふより寧ろ危險な結果を招來するといふことに同意見だ」

ブラジルに飛行艇讓渡

(リスボン十九日發)リオ・デ・ジヤネイロ來電によれば政府は今回ブラジルに對しカタリナ飛行艇十五臺を讓渡することとなつたといはれる、この飛行艇讓渡の狙ひは現在米國空軍がその任に當つてゐる大西洋南方水域の哨戒任務を一切ブラジル空軍に委ねるにあるとされてゐる

新グワテマラ大統領

(リスボン二十一日發)グワテマラ市來電=ホアン・ホセ・アレヴアロ博士は廿一日壓倒的多數をもつてグワテマラ國次期大統領に當選した、就任式は明年三月十五日に行はれる筈である

【ソ聯】

世界の四分割案

(ストツクホルム二十一日發)過般米國の肝煎りで開催されたダンバートン・オークス會議はソ聯の强硬な反對に逢ひお座なりの國際安全保障機構案を發表しただけで遂に流産の憂目をみたが、ソ聯誌「戰爭と勞働階級」は十二月十五日號にニコライ・マリーニン氏の論說を掲載、ダンバートン・オークス會議の地區ブロック結成の提案に反對する形で英國の西歐洲聯盟案を攻擊、新たな地域別機構を提唱、次の通り論じてゐる

國際安全保障を確立する方式としては歐洲、米洲、アジア、アフリカの四大地域(セクター)に世界を分割することが最上の方策と考へられる、以上の四地域中の一地域における國家間の紛爭は同地域において制定された法制に基づいて裁かれ、兩地域相互の國家間における紛爭は兩地域の合同會議で處理され、場合によつては總會に上提されねばならない、ダンバートン・オークス會議は地區(レジオン)內のブロックを提案してゐるが、勢力圈設定を目的とする地區ブロックは地區相互間が勢力均衡に努める傾向を釀成し、結局は新たな紛爭を招來することとならう

またソ聯國際法の權威エヴゲーニイ・コローヴイン敎授は二十一日の「赤い星」紙上でダンバートン・オークス案の不徹底性を指摘、次の通り論じてゐる

ダンバートン・オークス會議では國際安全機構における滿場一致の投票を確保する方法や遣り口は解決されず、ドイツやその衞星諸國が戰後同機構に參加する權利があるかどうかも明かにされなかつたが、以上の二事項こそ國際安全保障を維持する上に最も重要なことである

交通人民委員更迭

(ストツクホルム二十一日發)モスクワ來電によれば最高會議は聯邦人民委員會議議長代理兼交通人民委員ラザーリ・カガノウイチ氏を交通人民委員の任から解き議長代理に專任、交通人民委員の後任にはイヴアン・コヴアリヨフ中將を任命した旨二十一日發表したといはれる、なほロイター記者はカガノウイチ氏の交通人民委員辭任に關し次の如き觀測を下してゐる

カガノウイチ氏はスターリン議長が最も古くから最大の信賴をおいてゐる人物で、獨ソ戰最初の二ケ年間における破局的期間に鐵道、重工業燃料工業等の指導的地位につき主として長大な兵站線の確保と運輸組織の改善に當つた、今回同氏が交通人民委員の地位を去つたことは赤軍の最終的且つ最大の攻勢において鐵道の演ずる主要役割が終了したことの表はれとも解される

【反樞軸陣營】

太平洋軍事會議解散か

（リスボン二十一日發）十七日の「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙ワシントン特電は次の通り報じてゐる

「開戰直後に米國政府の音頭取りで米、英、蘭、重慶、カナダ、濠洲、ニュージーランド、比島亡命政權の太平洋戰爭關係反樞軸諸國代表によつて太平洋軍事會議が設定され、以前は大體二週間に一回宛定期的に開催されてゐたが、本年一月十二日の會議を最後としてその後一回も開催されてゐない、太平洋戰爭が益々活潑化した今日これは實に奇怪なことだが、白堊館當局にたづねるとこの會議は軍事的問題よりも寧ろ外交的問題を協議する機關だから國務省の所管だと逃げ、國務省にたづねると何も知らないといつてゐる、結局太平洋軍事會議は既に解散となつたやうだがこの理由は明らかでない」

補給船舶不足を訴ふ

（リスボン二十一日發）ワシントン來電＝米國外交政策協會は廿一日の「ワシントン・デーリー・ニュース」紙に左の報告を寄せてゐる

「現在反樞軸國が所有する使用可能な船舶をもつてしては反樞軸軍の各地區司令官が作戰遂行のために要求する全資材を太平洋並びに大西洋を渡つて輸送するに不充分であり、まして救濟物資輸送の餘力はない、反樞軸國船舶は西部戰線と比島との二大戰線補給に當つてゐるほかイタリア戰線への補給も擔當し更にソ聯向け物資をソ聯の補給港へ運んでゐる、以上の軍需補給は優先的に行はねばならぬから救濟物資の輸送量は制限されることになる」

米ソ建築會議

（リスボン二十一日發）ニューヨーク來電＝米國の建築家並びに建築事業關係者は米ソ兩國の建築に關する意見の交換並びに經驗の交流を圖るため目下訪米中のソヴエト政府購入委員建築技師との會談を計畫してゐたが、十九日米ソ文化協會の後援でその第一回會合がニューヨークで開催された、この會合には米國側から專門家六十名、ソヴエト側から購入委員四十名が出席し、特に戰場となつたソ聯の荒廢した地域における戰後再建問題について協議した

【軍事情報】

ドイツ新鋭機の呼稱

（リスボン十九日發）「エアロプレーン」誌九月二十二日號は從來未發表だつたドイツ空軍航空機の型並びに呼稱について次の通り報じてゐる

ドイツ軍の新型機は主として軍用機だが、しかもその大部分は多發輸送機または爆撃輸送兼用機で、それ以外は双發戰闘機、反動推進戰闘機、反動推進飛行爆彈である、卽ち

一、フオツケウルフFW一四四型（双發戰闘機）
一、フオツケウルフFW一九一型「モスキート」（戰闘機乃至戰闘爆撃機として設計された双發低翼單葉機）
一、フオツケウルフFW三〇〇型（六發大型輸送機）
一、ハインケルHE二三四型（重爆撃機または重輸送機として使用される四發機）
一、ハインケルHE二七型（四發輸送機）
一、ハインケルHE二七七型（四發といふ以外詳細不明）
一、ハインケルHE二八〇型（米國ベルP59「エアラコメツト」やメツサーシュミツトME二六二型と同じやうな噴射推進式双發單座單葉戰闘機と、HE二八〇型の發動機はユンカースユモ新式六〇四噴射推進發動機である）
一、ヘンシエルHS二九四型（HS二九三型の改造で親飛行機から放たれラジオ操作自動操縱機により目標物めがけて降下するラヂオ操縱飛行爆彈）
一、メツサーシュミツトMC二四三型（一千七百馬力十二氣筒液冷倒立V字列型ダイムラーベンツDB六〇三型發動機四基を有し輸送機または爆撃機に使用される大型單葉機）
一、メツサーシュミツトME二五〇型（DB六〇三型發動機の四發單葉爆撃機）

昭和十九年十二月廿六日(火)
第三二八二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

歐洲戰況概觀

獨戰力遂に爆發

西部戰線におけるドイツ軍の攻勢はドイツ軍當局が十八日正午以來作戰の必要上から戰況の「報道管制」を實施、續いてアイゼンハワー司令部が十九日以來同じく作戰上の必要と稱して「報道管制」を實施したため詳細は殆どわからない、わづかにドイツ及び反樞軸側の斷片的情報を綜合すれば、大體次の通りである

總統大本營十八日正午の公報によればルントシュテツト元帥麾下のドイツ軍は重火器、戰爆機及びV一、V二の新兵器による猛烈な準備砲爆撃の後、十六日午前五時三十分アーヘン東南二十六キロのドイツ領モンシヤウからルクセンブルグ東方十キロのトリエルに至る延長百キロの長大な戰線で突如行動を起し、最初の二十四時間の戰鬪で、ホツヂ麾下米第一軍陣地を四分五裂の大混亂に陷れた、二十日アイゼンハワー司令部が洩らしたところによれば、ドイツ軍は四ケ所でベルギー、ルクセンブルグ國境を大きく突破、先鋒はスタヴローに達しさらに二十一日の發表ではリエージュ＝バストーニュ＝アルラン國道をリエージュ南方二十二キロの地點で遮斷した模樣である、反樞軸側の情報によれば、ルントシュテツト攻勢に使用されてゐるドイツ軍の兵力は、歩兵十六個師二十二萬五千、機甲五乃至六個師、戰車六百輛といはれ一つの反攻作戰に以上の如き大兵力が集結されたのは恐らくスターリングラード反攻以來のことであらう

ルントシュテツト元帥が反攻作戰に選んだ地域は、反樞軸軍の最も手薄なところで彼我の絶對兵力差はここでもものをいひ、反樞軸側も認めてゐるやうにドイツ軍は壓倒的優位を確保して縱深五十六キロの突破に成功したが、反樞軸軍がドイツ軍の不意打ちの攻勢に周章狼狽、混亂の極に達したことは、攻勢開始後五日目にして漸く二個師の兵力をドイツ軍突破地域の底邊北端に投じ、多大の犧牲においてモンシヤウ市のみを奪回したことでも明瞭である

ルントシュテツト攻勢の意義

想像されるところではドイツ軍の主力は二つにわかれ、一はベルギーのリエージュからナミュールを衝く態勢をとり、他はルクセンブルグ市からメツツ、セダンに南下、西部戰線の反樞軸陣地を大きく三分して各個撃破する方向をとつてゐる模樣だが、ここで問題になるのはルントシュテツト攻勢が果して一部軍事專門家のいふ一切を賭け國運を賭した大文字の攻勢であるか、或ひは反樞軸軍の冬季攻勢を牽制し時を稼ぐ陽動作戰かどうかの問題だ、既に述べたやうに攻勢地域は反樞軸軍の最も手薄なところだが、同時にザール、ルール兩戰線の結び目であり、同方面は以上の兩戰線に對する最も重要な兵站補給網をなしてゐる、從つて同戰線が混亂狀態に陷つたことはとりも直さず兵站補給網が混亂狀態に陷つたことを意味するものでドイツ軍が後者を目的とする限りその戰略目標は既に達せられたとみてよい

前者を考慮する場合先づ問題となるのは兵力だ今次攻勢は一九四〇年春のドイツ軍のフランス大攻勢と同じルートを取つてゐるが、當時における兵力は今回の數倍であつた、また現在の反樞軸軍の兵力は當時における英佛聯合軍の數倍に當るとすれば、ドイツ軍が更に駿足を伸ばしてアラス、ランスの地點に到達することが豫想されるとしても、北海に達しパリを襲ふことはまづ無理であらう、以上の觀點からするならば今次ルントシュテツト攻勢の將來は漠然と豫想されるが、このことはドイツ軍當局も攻勢開始以來再三ドイツの國民に「奇蹟を待つな」と警告、反樞軸軍の對抗措置が間もなく效果を發揮することを覺悟せよと述べてゐることでも明瞭だ、しかし今回の攻勢が彼我双方の待機する決戰の導火線となることは容易に考へられることで反樞軸軍が幾度か冬季攻勢を宣言したにも拘らず實際に攻勢を行ふ實力を有してゐるかどうかもいづれ判然としよう、いづれにしてもドイツ軍の今次攻勢は近來の痛快事だがこのことと自身歐洲戰局が最後のドン詰りに近づいてゐることを示すもので、ドイツの健鬪を祈つて止まない

特輯

英國のビルマ政策

藤原文雄

保守黨の英帝國調査委員會（Imperial affoirs Committee）は今夏七名より成るビルマ小委員會を組織し英國のビルマ奪回を前提としてビルマ政策に關する調査確究を進め曩にその作成した報告書「ビルマ政策案」（Burma Blue-print）を發表したが、十二日下院において委員長トーマス・ソマーセットがこの案に示された各種の提議に基いて質問を提起し、續いて各委員の討議が行はれた後印度相レオポルド・アメリーは討論の締めくくりとして英國政府の見解を聲明した

ロイター通信の報道によつて按ずるに英國はこの問題についてチヤーチル自ら議會で聲明を發表しこれを大々的に宣傳してビルマにたいする謀略效果を收める目算であつたらしいが、たまたまギリシヤ問題が重大化したため彼の聲明は一應取止めとなり、この狎れ合ひ討議に顏を出した議員の數極めて少なく氣勢全くあがらず低調に終つてゐる、しかし問題の性質に鑑みいづれつぎの機會を選んでこの種の手に出るだらうから今度の討議と政府聲明の內容を檢討しておく必要があらう

ビルマ小委員會の勸告

政府側との討議に當つたビルマ小委員會の代表及び勞働黨代表の質問要點を摘擧するとつぎの通り

委員長トーマス・ソマーセット＝

一、印度は戰爭の終熄と共に若しDominion Status に同意出來るなら總選擧による國會とドミニオン・ステータスとを持つべきだといふサー・スタッフオード・クリツプスの誓約があるが英國はこの誓約につき對ビルマ關係において如何なる立場をとるかについて政府の說明を求める、この點が明確にされるまでは英國が戰爭終了後にどの程度までビルマに自治政治（Self-government）を賦與するつもりかを知ることは極めて困難であらう

一、小委員會の報告書ではドミニオン・ステータスへの出發に必要なビルマにおける物質的復興の期間を六ケ年以下とするのは不可能だと勸告しえゐる、この期限を明確に定めるべきである

委員サー・スタンレー・リード＝

一、ビルマは東南アジアの政策に極めて重要な役割を演じ從つて將來の太平洋における全體の大きな問題にも重要な役割を持つてゐる

一、日本の侵入以前にビルマで機能してゐた政治の形體は自治政治への途には極めて遠いものでビルマ人に彼らの政治的將來が保障されてゐるとの確信を與へなかつた、ビルマにおける英國の政策の究極目標が完全な自治政治の樹立にあり、その自治政治はドミニオン・ステータスを持つべきだといふ明確決定的な聲明を英國政府が發することを要求する

一、しかし自治政治はビルマの「解放」の完了とに共直ちに樹立することは不可能で余はビルマの政府に荒廢した國土について國庫收入もなしに直ちに責任をとらせるほど殘酷なことはないと考へる

委員シドニー・シエフアード中佐＝

一、下院はビルマの近代的抱負と強い國家主義的形勢とを理解しなくてはならない英國政府は定められた期間內に自治政治を承認する用意あることを保障すべきだ

一、ビルマが持つ最大弱點の一つは今日まで商業または工業に參加しなかつたことである、一切の外國商社及びビルマの政府はビルマ民衆が自國の經濟機構において役割を演ずるやう奬勵すべきである、さもなければ健全な狀態とはならずまた自治政治に害を及ぼすであらう

クリーチ・ジヨーンズの勸告

これに對し植民地問題の專門家クリーチ・ジョーンズが勞働黨を代表し更に一步を進めた意見として次の通り補足してゐる

一、ビルマ再建の期間はもつと短期なるを要する五年乃至六年といふ遷延の期間があることはビルマ人に相當の失望を生ぜしめ英國の威信に有害な反動を起すであらう、ビルマ人は自由を要求してをり、余としてはビルマ人が經驗に乏しく性格的に排他的感情を持つてゐることを語る

昭和十九年十二月廿六日(火)
第三八二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

のは殆んど無益のやうである、ビルマ人は英國がビルマの同意なしに主權を主張することを取上げて英國に反問するであらう、從つてこの再建期間をできるだけ短縮し解放後の最も早い時期に責任ある政府の樹立に努めよう、ビルマ人自身に彼らの望む憲法を考へさせようではないか、英國は國家としてこの問題につき思ひ切つてやつてみる用意をしようではないか

一、戰爭終熄の曉には當該國民の同意なしには經濟的支配があつてはならない、ビルマ人はビルマにおける經濟再建と社會生活の樣式について自ら何かいひたいことがあるに違ひない、ビルマが外國人の經濟的支配に反對するのは全地域が英人または印度人の所有物として扱はれてきたからだ、この地域における勞務の管理はビルマ人の掌中になくてはならぬ、印度人勞働者の移民と標準とはこれに關係する責任あるビルマ政府の決定する問題でなくてはならない、土地の讓り渡しは停止され、土地は再びビルマ人の所有に返さねばならない、余はビルマ人が一たび自治政治を獲得すれば英帝國の埒外にでる意圖はなく、またビルマはその運命が聯邦諸國の埒内にあることを認めるものと信ずる

勸告の一致點と相違點

以上各見解の一致點は第一に英國政府がビルマに對しドミニオン・ステータスを賦與する意志のあることを明確にすること、第二はドミニオン・ステータスに入る前提として戰後の再建期間を設定する必要を認めると共にその期間を、換言すればドミニオン・ステータス賦與の時期を明確に定めること、第三はビルマ人の經濟的地位の修正を必要とするといふ三項だが、相違點は第一にビルマ小委員會側が戰後再建の期間を大體六ケ年としてゐるに對し勞働黨代表はこれを切りつめて最短期限に自治を與へると共に憲法の起草をビルマ人にさせることを要望したこと、第二は前者がビルマ人の經濟的地位の改善をビルマにおける經濟機構と活動への參加奬勵といふ程度に限定するに對し後者はビルマ人の經濟的自主性をある程度認めること特にビルマ經濟に最も大きな要素をなす土地問題と印度人勞働者問題においてビルマ人の利益と自主性とを認めるべきだとする二點である

印度相レオポルド・アメリーは以上の討議の締くくりとして次の通り英國政府の見解を聲明した

アメリーの聲明

譏謗、誹謗、煽動 英國はビルマ問題についての過去の處理に對していひ譯する理由はない、本日の討論中において、ビルマ人が日本軍に對して一般的なゲリラ戰に蜂起しなかつた點からみて在緬英政府が暴政壓制的であつたに違ひないとの根據から同政府に加へられた讒謗に對し反駁を聞いたのは欣快である、またビルマ民衆が日本軍に味方して避難者を虐待しあらゆる方法で敵意を示したといふのは彼らに對する誹謗である、大部分のビルマ民衆は英國陸軍にも民政府にも何ら敵意は示さなかつた、(アメリーはここでビルマの軍隊特に國境守備隊に讃辭を送つたのち)これら蠻民の利益及び經濟的脆弱性と共に希望をも考慮されねばならないことは極めて明白である

日本が獨裁者と一黨の獨裁下に獨立國ビルマの表看板を樹立したのは事實だが余はビルマ人が日本の苛借なき壓制とビルマ民衆の搾取と併せてこの表面の獨立が如何に價値のないものかといふこと及びかかる獨立が貧困と苦しいインフレ及び勞働、家畜、物資の徹底的徵發の中にあつてなんの意義を持つかといふことを完全に認識しないほど愚かではないと考へる、余はまたビルマ人の國家的誇りが典型的な傲岸さによつて和らげられたとも考へない、ビルマ人は終始この傲岸さによつて取扱はれてゐたのである

追放者、解放者に化ける 余は時到ればビルマ人が英國を彼らの解放者として歡迎するであらうと信ずるし、また英國はこの解放者の精神を持つてビルマに還ることを意味するのは明白である英國側としてはビルマ民衆に對して敵意なく乃至はビルマに對して無差別な復讐を加へるやうなことがないのは無論である、それどころか英國は友好と善意と援助の精神をもつてビルマに赴くものだ、實際われわれはビルマの民衆が苦しんだことを改善したいと希望してゐる、この苦しみは部分的には英國自身がこの問題について豫防的先見の明を缺いてゐたことに起因するものである、また兎も角も英國の善意に關する限りビルマ人は英國が繰返し宣言した自治政治といふ最終目標に向つて英國の援助を要求する權利を失つてもゐなければ弱めてもゐない

時效の恩を着せる　一九三一年餘の先任者の一人はビルマにおける立憲的前進の見透しは印度からの分離によつて損はれることはあるまいといふ點を明かにした、これは完全な自治政治の目標は印度ビルマ双方の場合とも同じだとの意味である、しかし、この目標に到達する方法と時期が全く同一だといふことは恐らく意味しなかつたであらうし、また不可能であつたらう、一九三五年法（註、印度統治法 Government of India Act, 1935）が遂行されるのを妨げる印度の國内的諸困難が起きた結果、印度は地方政府の圈内において自治政治を達成したにすぎなかつたが、ビルマは一九三七年に至つて一九三五年法に基き印度に授けられるべき等の一切の權能を各縣のみならず中央においても與へられた、（註、ビルマが印度統治法の適用により一九三七年七月四日印度より分離し、バー・モ政權の樹立と共に中央及び地方政治への責任制を確立したことを指す）

空手形の再確認　一九四一年末英國を訪問したビルマの首相（註、U Saw を指す）は戰爭の終了後直ちにビルマを自治領とすることに協定成立すべきだといふ明確な誓約を要求した、これに對し余は世界が不安定な際にそれほど明確かつ詳細な保障を與へ得るとは考へなかつた、下院は余が當時間違つてゐたとは考へないものと思ふ、しかし余はその後この問題についての英國の方針を明瞭にする誓約があつて以來、それを一再ならず繰返した、余はその誓約を一九四三年の春再び與へた、それは英國の目的は四圈の事情が許した時にビルマが完全な自治政治を達成するやう助力するにあること及び現下の情勢はそれ以上詳細な聲明を許さないといふことであつた、そこで、今日の四圈の事情はもつと詳細な聲明を許し得るごとき狀態であらうかこれらの事情が如何なる狀態にあるかを檢討してみよう

實ひわけ　（アメリカは英國がビルマの解放に當つて直面すべき尨大な事業に言及し）先づ復興初期の第一段階がある、これには食料、衣料、家畜、輸送及び農業に必要な施設を含む、その後には長期の復興問題があり、この點につきわれわれはすべて英本國について考へると同樣にビルマについても、この問題が單に戰前の條件に復歸するに止まらず、國全體の經濟的社會的生活を向上させることであると考へる、卽ちこの目標は恐らくビルマ民衆自身の希望と目前の福祉並びに大局的にビルマの經濟發展と呼ぶに違ひないものに對して一層心底からの關心を拂ふような水準であらう

小作人が小作地の保有を安全にし、ビルマ人小作人が働くのを慣例とする非農業的購買人の保有地を取戻すことを保障する方法と手段を發見すると共に、小作人に將來借款の途を開く安全で一層よい手段を與へることは確かに必要であらう、（アメリカはこの點につき前ビルマ總督サー・レジナルド・ドーマンスミス及び亡命ビルマ要人の活動を稱讃したのち）ビルマ民衆は亡命期間中この問題に協力したが、彼らとの協力と力の集中とが一切の段階において再建の重要缺くべからざる特質をなすに違ひないことは疑ひない、英國ビルマ民衆が日本軍の侵入當時ビルマがあれだけのものになつたことに寄與した近代的發達を自ら引受け、或は免も角も積極的役割を演ずることについて彼らをあらゆる點で訓練することに最善を盡すであらうことは疑ひない

生活水準復活の二要素　しかし英國は他の諸要素がなくてはビルマの生活水準は從來のやうなものにはならず、またこれらの要素がなくは過去の生活水準を復活しないだらといふ事實に直面しなくてはならない、これらの要素のうちには第一にビルマの人口の一部を構成する印度人といふ要素である、餘は名譽ある友人等の報告（保守黨ビルマ小委員會の報告）中に印度人の出國を指して、ビルマにおける外國人問題の大部を解決したものとなす或る程度危險な一節があるのを寧ろ遺憾とする、ビルマ在住の印度人々口百萬以上――その大部分は一八八六年より遙か以前には下ビルマに在住――のうち優に五十萬以上がビルマ全土に滯留してゐた

その他（印度に歸つたもの）の大部分はビルマに戻つて普通の職業を營みたいと考へ、またそうする資格を與へられてゐたのである、彼らはビルマの經濟的回復に必要缺くべからざるものである、ビルマのためになることが明瞭にされた外國人について語るのはをかしなものだが、抵當流れとして買收された土地問題が檢討され且つ合理的な價格で買戻すある種の計畫を樹立しなくてはならぬことは全く事實である

ビルマの防衛問題については、ビルマが隣邦諸國と友好的に協力する合理的な措置なしにこの問題を處理してゐるとは誰しも考へることはできない、事實、將來についてのこれらの討議の一部としてビルマ、印度兩政府間には極めて友好的協力的會談が行はれ、勞働移民、借金その他の諸問題が取扱はれてゐたのである、勿論英國政府としても余はビルマが將來印度の完全獨立に努めるようビルマの生長を促がし扶けたいと考へる

第二に現下の條件のもとでビルマの生活水準復活にもう一つ必要缺くべからざる要素は歐洲の資本と技術である、世界の他の場所におけると同樣ビルマにおける英國資本の最善の安全保障となるものはビルマ民衆の善意であり、またこの資本はビルマ人自身のために彼らがやらうとしてできなかつたことをしてやりに來たのであり、かつビルマがやり遂げる以上の富を獲らすのだといふ確信である

この目標、卽ちビルマの民衆を財政および行政の兩面においてもつと程度の大きな共同責任者（Partnership）とし、また民衆の技術的地位をもつと訓練する措置をとる方向に從ふやう英國の資本が用意されてゐるものと余は信ずる

安い償ひ　若い印度人の一群を技術訓練のため英國につれてきて實地試驗するといふ線に沿つて何かできぬといふ理由はないと考へる、余はこれがビルマで苦しんだ歐洲人のみならず印度人とビルマ人のすべてに對する償ひであることを附言しなくてはならない、英國政府はこれらすべての問題を第一にビルマの企畫陣容（Planning Staff）に關係ある要員の水準につき考慮してゐたが、今日では內閣の水準についても考慮してゐる、余としては英國の目標は明白である、すなはち彼ら自身の諸問題を處理する責任を最大限度に保持する能力と幸福とを持つ一層高い水準に立つた繁榮的競爭的國民がそれである、しかしかかる政策の詳細な措置や日程表は未だに戰爭によつてヴエールをかけられてゐる

軍事管理の言渡し　ビルマが活潑な軍事作戰の中心乃至は基地である限り、軍事管理（Military Control）の期間がなくてはならない、救濟と復興と再建の第一步は民政監部（Civil Affairs Office）によつて遂行されようが、これは軍司令官の直轄のもとに活動するものである、この特殊な段階がどのくらゐ長くつづくかは誰もいひうる者はない

ここで質問があり、勞働黨のペシック・ロウレンスが「この民政監部は反樞軸に隷屬するものかまたは英國政府に隷屬するのか」と質したのに對しアメリーは

マウントバツテンの隷下に直屬する、かれは反樞軸國によつて任命され、彼の作戰計畫は反樞軸統合參謀本部が練るものであることは疑ひない、しかし直接の問題はマウントバツテンが處理し、またビルマにおけるその場所の實際の軍司令官が處理するわけである

と答辯し、さらに當面の期間における多大の不確實性に言及し次のごとくつづけた

戰爭と最近數年間の壓制によつて掻き亂されたビルマの國內的社會的狀態が、どうであるかを前もつて告げ得る以外には泰や支那における情勢がどうであらうとか、それがビルマ自體の情勢にどう影響したかは誰も言ひえない、現在のところ幾多の不定の事實があるので、英國が後にいたつて再び逆戻りして信用を落すの餘儀なきにいたるやうな計畫を現段階において自ら公表する失錯を犯すことは賢明でない

自治賦與の時期明示を拒否　ビルマ委員會は報告書において軍事作戰が十分進展し次第、かかる計畫の宣言を行ふことを要求してゐるが、余

は軍事作戰がさらに進展の段階を持つものと考へる、同委員會は同樣に六ケ年といふ定めた期間を要求した、これに對する賛否の論證は極めて互角に平衡してゐるので、いまだに不安定な四圍の情勢がやがて進むべき方向を決しうべく英國政府の意圖を宣言する時期が到來した際にこの方向に天秤を傾けるのが賢明であらう、その時期は多分さして遠くない將來に到來すべくその曉には本問題の方向は遙かに明確となり、政府の意圖發表が可能となるばかりでなく、善意と協力の保障に有益とならう、余はその時期がいまだ到來したとは考へない、余が以上言明したことは英帝國內における完全な自治政治の方向への進步的前進といふ英國政府の廣い目標と輪郭には決して影響を及ぼすものではない、大西洋憲章は結局、英帝國內において將來の聯邦へと發展し擴大してゐる進步の方向を確認したものにほかならない」

謀略と作戰的要請の矛盾

以上レオポルド・アメリーの聲明によつて明白となつたことは第一に保守黨ビルマ小委員會が政府に對してビルマの戰後計畫の詳細を發表させると共に自治政治賦與の期限を六ケ年以內と宣言させ、これによつて日本指導下に着々育成しつつある大東亞の獨立國ビルマに對し、反攻作戰に卽應する謀略效果を擧げやうと企圖したところ、英國政府の態度は極めて愼重でこの二つの勸告を拒否した三文の價値もない「自治政治賦與の原則」を再確認したに止まつたこと、第二は自治供與の時期を明示しない理由として戰火を蒙つたビルマの復興救濟が容易ならぬ仕事であることを强調、ここで再建方策の根本要件として英國資本の安全と印度人經濟活動の容認、卽ちビルマの經濟再支配容認を求めてゐること、これは戰前ビルマが反英鬪爭した要因への復歸を意味する、それのみでなく戰後には英本國自身の再建事業が極めて長い期間と尨大な物資と資金を必要とし、さらに歐洲勢力圈の復興事業は政策上ビルマより前におかれることも明瞭だ、かくて萬一奪回された場合はビルマはこの目的のために搾取され、自身の再建事業と自治政治がますます遷延されることは必定だ、第三はビルマを奪回した場合にはこれを東南アジア軍司令官マウントバツテンの直轄する軍事監理のもとに置く方針を明らかにし、ビルマにおける戰鬪期間中及び爾後の作戰基地として利用する間この狀態を保ち、それが何時まで續くかわからないといふ點である、從つて若し英國がビルマに復歸するとすれば、ビルマは道義に基く獨立主權を剝奪されるに止まらず、その地位は戰前よりも更に悪い狀態に陷らねばならない

印度相アメリーの聲明がこのやうな結論を與へるほど「愼重」であつたのは英國がビルマの奪回及び爾後の對日戰爭がなほ長期困難を極めることを豫測しビルマ政策がこの軍事的要請に左右される以上約束反古となる場合のビルマ人の再反抗を恐れてゐることが一要因と思はれるが同時に印度の場合と同樣に强力な軍政を布く肚が明瞭であるかくてサー・レジナルド・ドーマン・スミスを陣頭に立てた現地における對ビルマ謀略に呼應して英本國からビルマに對して宥和政策を宣傳しようとした議會の政略的企圖にも拘らず、アメリーの聲明は英國政府としては現實の情勢と作戰的要請とを如實に反映せざるを得ずこのため當初の期待に反したものに終つたがこの點についてロイター通信十二日の世界放送は次の通り告白してゐる

反樞軸の奪回につづくビルマの戰後計畫に關する議會の討論は、英國の政策について別に新しい示唆を生じなかつた、對日戰に勝利を達成するまでには遭遇するかもしれぬ豫測し得ない種種の條件があるので、英國政府にとつては行動の明確な方向について言質を與へ得ない立場にある、討論はビルマ小委員會の政策案に盛られた諸提議に基いたものだが、失望すべき特色はこの討議に參加した議員の數が少なかつたことで、二十名を割るといふ有樣であつた、チヤーチルは先週この問題について下院で聲明するものと期待されてゐたが、ギリシヤの危機その他の問題でこれは延期されたもので、來週以前にチヤーチルが聲明をする樣子もない」

英紙の宥和政策論

次にビルマ問題に關する英國有力紙の論調を紹介しておかう

ロンドン・タイムズ紙十二月十二日＝英國のビル

昭和十九年十二月廿六日(火)
第三二八二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

マ政策を適用するに當つてはビルマの再建に際してビルマ人を共同責任者として認めることが根本的原則となるべきだ、即ち立憲的部面においてはビルマ人の行政參事會(Executive Council)が印度と異つて民政復活の初期から總督と聯合すべきことを意味し、經濟的部面では政治的諸問題に著しい自由を得ながらビルマの經濟生活がビルマ人にあらざる者の支配を受けるといふ嘗ての狀態に逆戻りするものとビルマ人が危惧する必要がないことを意味する

下院のビルマ問題討論はビルマが解放された曉に英國が適用すべき政策の宣言をして貰ひたいといふ一般の希望を表明したものである、ビルマ民衆の態度は彼らが聞かされる英國の意圖によつて左右されよう、英國は聯邦における他の三國民との名譽ある共同責任者となる自由ビルマの問題と共に計畫を自ら明確にすべきだ、ビルマに對し可能となり次第ドミニオン・ステータスとなることに援助を與へるといふ英國の誓約と、印度からビルマを分離することはビルマの立憲的發展に不利とはならぬといふ約束とは、印度に對するクリップスの申入れの方式でビルマが取扱はれる筈だとの意味でなくてはならない、これこそビルマ人の輿論を安心させるのに多大の效果を持たう、英國人の目にはナンセンスに映るかもしれぬが多くのビルマ人の考へでは從來の地位に向つて進むのだと考へることがビルマが陰鬱になる原因であり、もしこの事實を考慮しなければ重大な過失となならう、ビルマの經濟生活については最近バー・モウ博士(電文崩れ推量)が强調した最も重要な點は英國がビルマに戻ればバー・モウ博士がビルマ國籍人を商業と工業に參加させるため及びこれまで印度人の掌中にあつた數百萬エーカーの土地を小作人に取戻す爲にとつた措置を覆へすことにならうといふ點である、然し買上げ方式によつてこれを行ふ必要はない、英國の政策はビルマ人の商工業的企業參加を奬勵しビルマ人小作人を自立させることであらう、ビルマ人は再建に必要な資金は國外から導入しなくてはならず、商業的工業的企業の再出發には海外からの熟練者招聘を奬勵しなくてはならぬことを知つてゐる、彼らは援助の必要を認めながら報酬は出したがらぬが、その援助が援助とみせかけて實は實際の支配となることをただ虞れるだけである、しかしビルマ人が交涉を重要なものとしてこれに參加し、またビルマ及びその援助者に同樣に有利な經濟的共同責任者として招請を發する地位に立つならば、彼らは生じた責任を喜んで負擔し忠實に果たすであらう

スコツツマン紙(保守黨系)十二月十四日＝ ビルマ問題を下院に上程して自治政治に對するビルマ人の抱負を滿足させる企圖をもつて政府の聲明を要求した者(ビルマ小委員會)が統一黨員達であつたことは注目に値ひする、彼らは過去半世紀にアジア全域に國家主義の成長があつたことを認めると共に、英國はビルマと少くとも妥協すべきだとの信念を表明した、ビルマ人を動かして日本に反對し英國と全面的に協力させるやうな政策についての宣言を發表する時期はまだ熟してゐないかも知れない、しかしかかる考慮とは離れてアメリカはこの自治政治を達成するには戰爭が障碍となつてゐるとの見解を述べてゐる、これが事實であることは疑ひないが逆說的にいふと前大戰中に印度がさうであつたやうに今次の戰爭が自治政治の要求を激化してゐることもまた事實のやうだ、國家主義は一九一四年以後エジプト及びアラブ諸國に增大した、イラクもまたこの抱負を領つた、ウ・ソウは現在ビルマ人政治家に信用を失つてゐるかも知れぬが「統治主權方式に基く完全な責任制自治政治と現在の憲法との間にはビルマ民衆の如何なる部門をも滿足させるやうな妥協點はない」と主張した彼の聲明は、彼がこれを發表した時と同樣戰後も變らぬ事實であらう、アメリーは少々警戒しすぎてゐるやうだ

資料

重慶は無用にあらず

「ヘラルド・トリビューン」紙十二月十五日重慶經濟顧問アーサー・ヤング

蔣介石領導下の重慶は日本のアジアにおける地位强化と英米に對抗してアジア人を團結し巨大な

民族戰爭を指導しようとした計畫に逆らひ、支那事變以來七年間、滿洲事變からは十三年にわたり日本に反抗してきた

重慶の抗日戰力は殆んど奇蹟である、一九三七年の事變勃發當時、一般には支那の戰鬪がせいぜい數週間乃至數ケ月で終るものと考へてゐた、重慶は現在に至るも戰つてゐる

重慶の武器補給は哀れなまでに少量である、日本軍が廣東を攻略した一九三八年十月以來殆んど完全に封鎖され、眞珠灣事件二十ケ月後の昨年末まではヒマラヤ越えの空輸が每月僅か數千トンであつた、米陸軍は本年この數量を二萬トン以上に引上げる素晴らしい業績をあげたが、これも相當大型の船舶にすれば每月二、三隻の輸送量にすぎない、しかもこの空輸量の大部分は在支米空軍に割當てられてゐる、重慶に對する主要な軍事援助はシエンノートの第十四航空部隊によつて行はれてゐるにも拘らず全部隊は十分な裝備と補給を受けてをらず、空輸量の大半はB29の、日本、滿洲長距離爆撃に割當てられ、かくして中支及び南支における日本軍の進撃に對抗する重慶軍への直接の援助に必要なものから流用されてゐるのである第十四航空部隊と米蔣混成航空隊の空中掩護以外には重慶軍は貧弱な裝備で日本軍の機械化部隊に對抗しなくてはならない

重慶軍の役割

重慶軍はよく戰鬪することが出來、日本軍の南北連絡に六ケ月を費やしめてゐる、多くの者は日本を本土で破るのとは別個に、滿洲の大規模な武器生産を後楯とする支那大陸の日本軍を撃破しなくてはならぬことを忘れてゐる、この日本軍は從來米英軍が遭遇した如何なる日本軍よりも強力である、支那の失地回復戰の大部分が重慶軍の手で行はれるべきはいふまでもない、重慶は一部の悲觀論者がいふ如く撃滅されて戰爭から脫落することはなく、依然として日本撃破を實現する上に主要な要素となり得る

今後の戰爭における重慶の役割を效果的にすることは軍事援助の獲得のみならずインフレーションの動向にも依存してゐる、七年の苦しい戰ひと歲入の喪失、增大する戰費、生産中心地の失陷、嚴重な封鎖等が續いた後ではインフレは避け難い重慶で今日の平均物價は一九三七年の四百倍乃至五百倍である、このインフレは更に惡化を防いでゐる一部の理由は米英の財政援助に對する依賴心と反樞軸の戰況好調にあり、他方ではインフレが重慶の地方分散經濟に急速に普遍しないためである、しかしこのインフレがさらに增大すれば情勢を一層攪亂し、將來の戰爭における役割と强力安定した支那の再建に災厄を及ぼすであらう、重慶のインフレが危險地帶に入つたのは明かだ、これを阻止することは重慶、反樞軸双方の重要政策項目でなくてはならず、重慶については、財源に關する愼重な政策を意味し、反樞軸にとつては最も早い時期に有效かつ大規模な軍事援助を與へることによつて重慶の自信强化を助けることを意味する

理解と建設的援助が必要

重慶の國內狀態は完璧といふ點からは遙かに隔絶してゐる、かかる情勢に對しては失敗をほじくるだけでなくて理解と建設的援助をもつて臨まねばならない、重慶の黨派的分裂についてはわれわれはこの十年間に統一に向つて多大の前進を示したこと一九三七年以前には鞏固な團結はなかつたことを悟らねばならない、一九三七年以來中國共產黨は日本軍の確保する第一線の後方地區に潛入擴大したこの第一線は日本軍にとつて一層重慶に接近し得る線であつた、中共は重慶政權が明かに承認することの困難な自治的ブロックとなり、また主として北支でゲリラ戰を指導した、しかし今次の戰爭における中共の役割はしばしば過大に評價されてゐる現在の日本軍の作戰に抵抗し、雲南ビルマ地區では進撃してゐるやうな主要な大規模作戰は重慶軍によつて戰はれてゐるのである

最後に强力かつ安定した支那は將來の世界機構に必要缺くべからざる存在である、支那はその長い傳統をもつてアジアにおける安定勢力として必要であり、この國には巨大な人口が增大する國家主義的感情をもつて擡頭しつつある

大正十五年十月廿九日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月廿七日(水)　第三二八三號

同盟通信 海外電報

(296)

東京都麹町區日比谷公園二番　電話銀座(57)一八〇〇番　同盟通信社　電報發行人　兼務伊藤八

世界の焦点

英國の議會は懸案山積のままクリスマス休會に入つて了つた、チヤーチル首相にとつては反對黨の鋭鋒を鎭靜させる意味で全く地獄で佛の感じだつたに違ひない、しかし英國政界の雲行きは不滿が内攻した意味で一段と不穩だともみられよう、ロイター電報はチヤーチル首相の當面する懸案として、ドイツ軍の攻勢とギリシヤ内亂とソ佛兩國間の同盟を上げてゐるが、戰時内閣が突如二十五萬の壯丁を募集し、ドイツ軍の新兵器がマンチエスターに落下し始めたことは開戰以來六度目のクリスマスを迎へる英國人の氣持を頓に暗くしたに違ひない、英國内務省の發表に徵しても新兵器による英國人の死傷は、八月流星彈の攻撃が最高頂に達した當時と殆ど變りがないらしい、時速三千哩全く防衛の處置がないといふV二號に對してはロイター電報も、最も「非人道的な破壞兵器」と泣き言を並べてゐるギリシヤ内亂についてはチヤーチル首相の施策が根本的に誤つてゐたことは最早蔽ひ難い、エラス兵團は決して鎧袖一觸出來る烏合の衆ではない、パパンドレオ首相を何等かの口實の下に見棄てて了ふ以外、英國政府がギリシヤ内亂の泥沼から拔け出す道はないといふのが今や英國政界の通例になつてゐる、ギリシヤ國内隨一の人材と持上げたチヤーチル首相が、如何なる手段をもつてパパンドレオ首相を厄拂ひするか、お手並拜見と出かけよう、ソ波兩國の紛爭についてもチヤーチル首相の解決案に對しては、保守黨の内部にすら反對が持上つてゐる「チエムバーレン」首相がミユンヘンから歸つて暫しの平和を約束した當時以來、ソ波兩國の紛爭に關するチヤーチル首相の報告位下院を失望させた演說はない」と或る下院議員は述懷したといふ

【目次】

全線に亘る激闘續く……三二四六
米軍十箇師を擊破……〃
獨軍攻勢順調に進捗……〃
ブダペスト市西部で市街戰……〃
報復攻擊北英に及ぶ……〃
米食糧割當を更に削減……〃
支那の歷史で最も暗い時……三二四七
ハンガリー傀儡政權を樹立……〃

【歐　洲】
法王降誕節演說……三二四八
希内亂遂に全土に擴大……三二四九
エラス、エデスを總攻擊……〃
國王、攝政府に反對か……〃
エラス、回答を發す……三二五〇
エラス兵團の回答内容……〃
英軍の受諾不能か……〃
希政權陣容を固む……〃
ルクセンブルグ中立放棄……〃
佛、英とも同盟締結說……〃

【米　洲】
來年度軍需增産計畫……三二五一
戰時動員强化……〃
民需生産も凍結……〃
米國石油生産情況……〃
米商船隊の貨物輸送量……〃
勞働團體の提携を强調……三二五二
二巡洋艦就役……〃
暗いクリスマス……〃
紐育の食糧品店、肉屋廢業か……〃
新註來兩大使……〃
エクアドル領の米軍に撤退要求……〃

【英　帝　國】
當面する三大懸案……三二五三
巨艦ヴアンガード進水……〃
新印度財務長官……〃
東阿寒軍司令任命……〃

【友邦軸陣營】
モントゴメリー總司令官代理……〃
亡命二政權ルブリン政權と交涉……三二五四
米の援ソ食糧……〃
羅、ソ聯に商船引渡し……〃
米對希船舶讓渡……〃

【軍事情報】
獨新兵器西部戰線に出現……〃
對日長距離戰鬪爆擊機……〃
米海軍新快速戰鬪機……〃

【特　輯】
經濟戰爭の前奏曲……三二五五

【資　料】
產業、財政の平時轉換未だし……三二五八
米國務省新機構と首腦……三二五九
空輸戰術の發達……三二六〇

全線に亘る激闘續く

＝敵の反撃漸く激化＝

（ベルリン二十五日發）總統本營二十五日發表＝一、ベルギーにおける冬季戰では彼我双方共新鋭兵力を戰線に投じ激闘を展開してゐる

一、ドイツ軍はライン＝ザール選帝候領の西北部における反樞軸軍の壓迫を芟除、ライン中流及び下流地方に對する突破企圖を粉碎した

一、米軍は緒戰における敗北後エルゼンボルン、スタヴロー間における救援攻勢を續行し得ず、ドイツ軍はバストーニュ地區において包圍下の有力な米軍に對し猛攻の火蓋を切つた

一、反樞軸軍はルクセンブルグ中部においてドイツ軍南翼に對し廣般な戰線にわたつて強烈な攻撃を續けてゐる

一、ザール、ライン間の地區ではドイツ軍は潰走する反樞軸軍を急追、多數の據點から米軍を驅逐した

米軍十箇師を撃破　（ベルリン二十五日發）ドイツ軍當局は二十五日次の通り發表した

ドイツ軍は十二月十六日から二十二日までの最初の一週間に冬季攻勢戰線において米軍戰車四百二十九輛、裝甲車二百十三輛を撃破乃至鹵獲した以上の數字は過去二日間に更に百輛以上の增加をみてゐるが、捕虜の數も急速に增大、すでに三萬に達してゐる、以上の結果戰死傷、捕虜、行方不明を合した米軍の總損害は十五萬乃至十八萬に達する見込で、師團數にして八箇師乃至十箇師が殲滅された計算となる

獨軍攻勢順調に進捗　（ベルリン二十五日發）ドイツ前線報道＝ルントシュテツト攻勢開始以來九日目にして反樞軸軍の反撃は著しく激化、ドイツ軍突破戰線の南北兩翼に對して尨大な物量を叩き込んで必死で攻勢の阻止に努め、特に南翼に對しては廣般な戰線で猛反撃を展開、白熱的激闘が續行されてゐる、ドイツ軍は目下のところベルギー中部戰線における反樞軸軍の反撃芟除に努めてゐるが、以上の反撃はドイツ軍の攻勢にいささかの影響も及ぼさず、ドイツ軍の作戰は順調に進捗してゐる

ブダペスト市街戰　（ベルリン二十五日發）總統本營二十五日公報＝一、ブダペストを守備するドイツ軍は市の西部に進出した赤軍と熾烈な防禦戰を展開、火花を散らす市街戰を交へて赤軍に對し隨所に甚大な損害を與へてゐる

一、ハンガリー戰線のバラトン湖とセケスフエヘルヴアルとの中間における赤軍の攻撃は悉く撃退されドイツ戰車部隊は二十一日から二十三日までの三日間に赤軍戰車二百十三輛を破壞した

一、ラトヴイアのクールランドにおける戰闘の重點は依然フラウエンブルク北方とドブレン北方にあり、赤軍は攻勢開始四日目もまた無益な突破企圖を繰返した

報復攻撃北英に及ぶ　（ストツクホルム廿五日發）ロンドン來電によれば英國内務保安省は二十三日未明より二十四日七時にかけて北イングランド並びに南イングランドに對し敵の空中攻勢あり、死傷並びに損害を生じた旨二十四日發表したといはれる、英國の政府發表に「北イングランド」なる字句が現はれたのはドイツ軍の對英報復攻撃開始以來今回が最初である、ベルリン筋ではロンドン北方百七十哩のマンチエスターも長距離兵器の攻撃下にあると主張してゐる

米食糧割當を更に削減

（リスボン二十五日發）ワシントン來電＝戰局の豫想に反した展開により米國政府當局は最近再び各分野にわたり戰時諸統制の强化を斷行してゐるが、物價管理局は二十五日突然食糧割當制の强化を發表、二十六日から實施する旨布告した、今回の割當制强化によつて從來自由販賣の許されてゐた肉類罐詰野菜類が新たに割當食料品に編入されたのをはじめ從來割當食糧品だつたものはその割當額が一段と削減され、たとへばバターの如きは從來の點數一封度につき二十點が二十四點に引上げられた

昭和十九年十二月廿七日(水)
第三二八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

右割當强化發表と同時に物價管理局長官ボールスは要旨左の聲明を發表した

今回の割當新强化によつて砂糖、バター、罐詰果物、野菜類等食糧品の一般市民への供給額は開戰以來最低額となり、更に肉類の供給は今後更に減少することを覺悟しなければならぬ、但し今次の措置によつて米國に食糧危機が訪れたと早合點するには及ばない、米國にはなほ十分の食糧豫備があり、今回の措置は主として不足食糧の公平な分配を目的としたものである

支那の歴史て最も暗い時

「ニューヨーク・タイムズ」紙パールバック嘗てノーベル文學賞を授與されたパール・バック女史は米國の支那通として知られてゐるが、今回の論文が米國人一流の民主主義病に取り憑かれて、如何に重慶の內情を歪曲してゐるかを示す適例に過ぎない、但し共產主義との關係を危惧してゐる所に、現在の國際政局に對する米國人の不安を見ることが出來よう

米國の威嚇に失望 米國が嘗て重慶政權に對し媚態を呈した際、重慶は信用しなかつたが、最近米國が威嚇したのに對しては失望してゐる、重慶政權が當面する最も暗黑な時期が次の理由に基づくことは重慶の考へだ、第一は米國の武器貸與の不足である、第二の理由は支那の國內情勢である重慶治下の支那には別個の政權と軍隊とを持つもう一つの政權が存在してゐる、かくて米國が獨立戰爭當時、直面したと全く同樣である、蔣介石は一九二七年劃共を決定して長期の內亂に戰ひ爾後外國資本の掩護をうけた、しかし將に勝利を收めんとしてゐる時、日本軍の攻擊をうけるに至つた第三に重慶に危機を齎したのは對外關係である重慶は中共に政權を讓り渡さず、ソヴエト聯邦との友好的相互理解によつて關係を改善したいと切望してゐる

重慶に抱く疑問 また重慶政權はチヤーチルとルーズヴエルトととのケベツク會談に招請されず二人が勝手に日本軍に對する作戰計畫を決定してしまふのに不滿だ

重慶が單獨で長期抗戰に努めた擧句にケベツク會談で無視されたことはアジア全體に影響を與へてゐる、米國の重慶に對する態度は全世界に鬪爭を惹起してゐる原因が卽ち共產主義とファシズムの鬪爭に對する恐怖に基づいてゐる「反ファツショ」といふ言葉が民主主義でなくて共生主義を意味するのが今日の通說だ、日獨兩國との戰ひでは更にもう一つ別の戰爭へ發展するのであらうか米國は共產主義とファシズムの何れかを選ばねばならないであらうか、恐らくその必要はあるまい例へば支那においては中共及び重慶政權のうちには自由主義的反ファツショ分子がをり中共の內部には自由主義的で反共產主義的な分子を見出すことが出來る、これらの諸分子は現在の政治的指向がどうであらうとも民主々義的である、これらの民主々義分子は支那でどう活動してゐるであらうか、その勢力は增大してゐるのか或ひは弱化してゐるだらうか、ここに米國が東方の盟邦重慶に對して提出せねばならぬ本當の疑問がある、重慶の民主々義は、去る九月の國民政府參政會議で最も明白に發見できよう、右會議に際して重慶の要人に對する公然たる非難や參政會委員間の率直な協力は嘗てみなかつたところである

沈默の出席代表 ソヴエト聯邦との國交改善はすべての中國人の希望である、中共問題があるにも拘らず、ソヴエト聯邦に對する重慶の政策は終始一貫友好的であつた、重慮の政策は今や明らかに世界の地平線上に現はれた新らしい戰爭の危險を避けるために各國が踏襲せねばならぬ先例にほかならない、共產主義かファシズムか、卽ち政治的に調整出來ぬ双方を統一結束しようと試みることではなく、重慶政權の實踐してゐる通り民主々義的分子を統合結束することによつて危機を避けねばならない、重慶は窮乏の眞ただ中において民主々義的統一結束を實現してゐる、米英ソ三大國が何時何處で會議しても、それは偉大な沈默の出席代表が控へてゐる

ハンガリー (ストツクホルム二十四日發)

傀儡政權を樹立 二十三日夜のモスクワ放送はベラ・ミクロス上級大將を首相とするハンガリー假政府が樹立された旨報じてゐる

法王降誕節演說

橫暴なる民主主義を排撃

（リスボン二十四日發）ヴアチカン市來電＝ローマ法王ピオ十二世は二十四日朝樞機卿會議を前にクリスマスの祝辭演說を行つたが要旨左の通り

新時代への希求　今次戰爭の終結後、人類はその生活條件のみならず精神的に深甚な變化をきたし、戰前の樣相とは全く違つた樣相を持つに至るであらう、地圖の上の國境の變化も大きなものであらうが、特に人類は精神的に變化し、その證據はすでに外部に現れ初めてゐる、戰爭の闇黑の中に彷徨しつつ、人々は殆ど本能的にあらゆる過去に對して反撥せんとし、狂的に新しいものに對する欲求に燃えてゐる、彼らの希求には必ずしも根柢がないこともないが、多くの場合新しいものを求める方途を發見するにあたつて明瞭な判斷を缺いてゐる、しかして新しいものを求めるに當つて現實に與へられ得る以上を期待して、速斷的な樂觀に墮して行く傾きがある、世界の革新が秩序ある順序と段階を經て達成されるか、または過去と將來とを結ぶ橋を爆破して强暴的な破壞の路を辿るかが問題である

責任の自覺　民主々義的な基礎が日に日に各國民によつて希求されてゐるが、それには何れにも增して一つの條件が必要である、國家は個人の無組織な集合體であつてはならない、人民は己れの生活を生きるに當つて、各々責任に對する個人的意識を有しなくてはならぬ

己れを光明の天使と詐稱し、解放、獨立、民主主義の言葉をもつて、信仰の掟を癱瘓せしめんとするものはキリストとその教會の敵である

眞正民主國家の基準　今や、將兵は戰野に死闘を繰返してゐる時、政府當路の人々は夙に決定してゐるべき筈の會合、議論、討議にふけつて日を空しくしてゐる

穩健な人民政府の設立は教會の教義に何等反するものでなく、國家權力の限界に關する教會教義が保障される限り、穩健な人民政府は教會にとつても容認し得る、教會は各種の政府形態を否認するものではない、教會が教へるところは人類の尊嚴とその一致である、われわれはその注意を民主主義――健全な民主々義の問題に集中しなくてはならぬ、單に外部的な政府形態に氣をとられてはならない、民主々義は廣義において、種々な形態――王政と同樣共和制をもとりうるものであり、問題は二つの點に懸つてゐる、卽ち民主々義、民主々義制度の下に生活する人間は、如何なる性質をもつてその本質とすべきか、民主々義下に權力を持つ人間は如何なる性質をその本質として持つべきか、この二點が肝要なのである

民主々義國家においては、國民は己れに課せられる義務、犧牲について、己れの意見を表明し得る權利を有しなくてはならない、民主々義が健全であるか、ないかの基準はそこに存する、近代國家はその全國民から平等の犧牲を要求するものであり、民主々義といふ以上これは理性の當然な要求である

個人はその責任と確信を意識してゐるが、大衆は外部からの示唆を待つてをり、これを利用せんとするものの餌食となり易い、眞の民主々義においては、何人も恥なき勞働をなし得る權利を持ちその個人的生活を、神の攝理によつて定められた場所及び條件に融合せしめ得るやうにしなくてはならぬ、名譽ある人間によつて支配されるかかる民主々義に較べて、大衆の意志のままに放任された民主々義國家においてはわれわれは果して何を見るか、自由は厚顏なる壓制となり、平等は機械的な水平運動と墮し去つてゐる

民主々義的國家とは、それが王政であれ、共和制であれ、他の凡ゆる政府形態と同樣、眞の明確なる權威が支配力を持つてゐるの謂でなくてはならぬ

尊敬と信賴とを昂めるためには、各々の立法府は卓越した精神的基準と、全國民の代表たるに相應はしい性格を有する人士によつて構成されねばならない、烏合の衆の代辯者であつてはならず、共同の福祉の利害、眞の必要、目標を屢々犧牲にするが如きものであつてはならない

權威と寬容の國際新機構、將來の世界の安定のためには、平和維持のための組織が必要である

昭和十九年十二月廿七日(水)
第三三八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

その組織は、何よりもまづあらゆる深谷の脅威をその根源において窒息せしめ得るだけの、至高の權威と義務とを、萬民の同意によりて賦與されたものでなくてはならない

平和の組織は經濟制裁のみならず、武力干渉をもなし得るだけの力と安定性とを相互の保障によつて與へねばならぬ、勝利者であれ、戰敗者であれ、中立國であれ、ある國民の犧牲において、正當な權利の假令一部分たりとも不正に減却するがごときことを神聖視してはならぬ、一時的な戰爭損害の補償のごとき强制乃至は負荷を恒久化してはならない、戰爭責任を問はれる人間乃至政府は或る一定の期間は、安全保障手段として、その責任を負擔しなくてはならないが、それらの國民もまた、その忠實、效果的な協力をもつて將來の聯合のため、他の諸國と協力しうる希望を失はしむべきではない、大いなる國家々族の一員として他の諸國と同樣な扱ひと權利とを期待せしめなくてはならぬ、彼らのこの希望を失はしめることは永い眼からみた叡智に反することである

今次戰爭の破滅から生れた闇黑は新時代への出發點でなくてはならぬ

希内亂遂に全土に擴大

(リスボン二十三日發)アテネ來電によればアテネ、ピレウス地區の戰鬪は愈々激化してゐるといはれるが、約二萬のエラス兵團が右翼遊擊團體エデス兵團の本據と恃むギリシヤ北西部のヤニナ地方に突如進入、ヤニナ市を迂回西進して二都市を占領した結果內亂は遂にギリシヤ全土に擴大されるに至つた、英軍司令スコビーの休戰條件に對するエラス側の回答は依然公表されないが、米英報道機關の希望的觀測にも拘らずスコビーが二十三日の公報でエラス兵團のエデス攻擊を「カセルタ協定を侵犯する一方的挑戰」と憤懣を爆發させてゐるところからみても、エラスの回答は英軍當局を滿足させる內容のものとは解されない、カセルタ協定とは英軍のギリシヤ上陸に先立ちエラス、エデスの左右兩派遊擊隊首腦が英軍當局の肝煎でイタリア南部のカセルタで會同、ギリシヤ回復まで從來の同志討を中止する旨の政治休戰を申し合せたものである

エラス、エデスを總攻擊

(リスボン二十四日發)一萬乃至二萬と稱されるエラス兵團がエピルス地區のチエルヴアス麾下の右翼エデス兵團に對し總攻擊を加へたが、アテネ電報は一萬二千のエデス兵團は四千乃至六千に減じ、ヤニナ地區からフレヴエツア地區に撤收したと傳へてゐる、エルヴアスは英軍司令スコビーに對し增援軍派遣方を要請したが、英軍は全然動かず、エデス兵團を見殺しにする態度を示してゐるが、ギリシヤ首相パパンドレオは露骨にエデス兵團を支持し同兵團が武裝解除に應じないのを極力辯護してをり、エラス兵團の回答についても同首相は「當面の問題は作戰だけだ、政治問題はない」と放言してゐる位で、首相パパンドレオを支援して危機を切り抜けようとする英國首相チヤーチルの政策が難破するに至つたことは明瞭だ

國王、攝政府に反對か

(リスボン二十二日發)アテネ來電によれば、ギリシヤ政權首相パパンドレオがギリシヤ大主教タマスキノスを攝政に推薦したに對し、國王ゲオルギオスからの回答が二十二日漸く到着したといはれるが、パパンドレオが回答內容を伏せてゐるところからみても、國王が依然攝政府の設置に反對してゐることは明瞭だ、また英軍司令スコビーが去る十六日改めて休戰條件を提起したに對し、エラス側は依然沈默を守つてゐる樣子でAP電報によればエラスは新政權の樹立を條件に英軍の休戰條件を全面的に受諾する旨の回答を發したともいはれるが、他に確認すべき報道がないため和平交涉は既に絕望とみるほかはない、以上の政治的沈滯に逆比例して內亂は愈々激化、エラス兵團はアテネ北部の陸軍大學を根城にして英軍の戰車攻勢を頑强に擊退、更に二萬の兵力をもつて右翼のエデス兵團の根據地ヤニナ地方に侵入したといはれ、內亂は再びギリシヤ全土に波及する形勢にある

エラス同答を發す

（リスボン二十三日發）アテネ來電によればエラス首惱部は二十三日英軍司令スコビーの休戰條件に對し回答を發したといはれる、內容はまだ明らかにされてゐないが、ロイター電報によればアテネ、ピレウスを含むアチカ地區からの撤收と武裝解除を承認すると共に、武裝解除は英國、ギリシヤ合同委員會の監察下に行はるべきことと國民の統一を具體的に反映する新政權の樹立を要求してゐると傳へられる、但し以上の回答をもつてギリシヤ騷擾が一段落を告げたとみるのは早計だ

エラス兵團の回答內容

（リスボン二十四日發）英軍司令スコビーの休戰提案に對するエラス兵團中央委員會の回答は二十四日アテネにおいて發表されたが、ロイター電報によればエラス兵團の回答要旨次の通り

一、アテネ市並びにピレウス外港におけるエラス兵團は休戰に關する全面的協定が成立する場合當該地區から撤收する用意があるが、同時に反對黨の民軍も同時に武裝解除を受けねばならぬことは自明の理である

一、武裝解除は事前に結成されねばならぬ、相互信賴を基礎とするギリシヤ新政權の手によつて實施されねばならぬ

ギリシヤ市民はギリシヤ政府にたいしてだけ武器を差出す義務を負ふことは理論上當然のことである、スコビーが今回の提案において地中海方面軍最高司令ハロルド・アレキサンダーに言及してゐるのはギリシヤ內政にたいする干涉である

一、ギリシヤ國民は自國の命運を左右する主人公である、眞に自由獨立な國家の政府が存立し、同政府が國民の明白な希望を遂行して民權自由の尊重を確立することが肝要である

一、同政權は出來るだけ早く總選擧を執行し、國民が如何なる政體と如何なる政權とを希望するかを明にせねばならぬが、以上のすべてはギリシヤ政府自身の手で執行されねばならない、カセルタ協定の存在はギリシヤ國民にたいする英軍の血腥い干涉の事實を變へることを正當付けることは出來ない

英軍の受諾不能か

（リスボン二十四日發）エラス兵團の回答にたいし英軍司令スコビーは目下復答案を起草してゐると傳へられるが、今回の回答においてエラス兵團がギリシヤ內政にたいする英國政府の干涉を排擊してゐるため英軍司令部としては到底受諾出來ず、アテネからのロイター電報も「クリスマス休戰の希望は悉く消え去つた」と述べてゐる、從つてアテネ市內の戰鬪は依然繼續され、英軍空挺部隊はアクロポリス丘の兩側を占據、アテネ市のガス會社を奪取したと傳へられる、但しアテネ市の中央發電所は依然エラス兵團が占據してゐる

希政權陣容を固む

（ストツクホルム二十三日發）二十三日附「ニューズ・クロニクル」紙の報道によればギリシヤ政權首相パパンドレオは內亂調停に乘り込んだニコラス・プラスチラスをギリシヤ軍總司令に、プラスチラスの盟友サンダロプロスを國防相カミノスを空相に任命したといはれるが、以上の椅子は內亂解決の場合エラス首腦に豫定してあつたものである

ルクセンブルグ中立放棄

（リスボン二十二日發）パリ來電＝ルクセンブルグ政府は二十一日夜中立を放棄する旨の宣言を發表した、同國は終始一貫中立を聲明、一八六七年四月十九日のロンドン條約によつて中立を保障され、今次大戰でも今日まで公式に中立を放棄してゐない

佛、英とも同盟締結說

（ストツクホルム二十三日發）ド・ゴール政權は過般のソ佛同盟條約締結に引續き英國政府との間にも右條約の線に沿つた相互援助條約を新たに締結すべく交涉を開始する意向と傳へられるが、パリ來電によれば目下歸國中のロンドン駐劄大使ルネ・マシグリは二十二日ド・ゴール政權の提案を携行し、歸任の途についたといはれる

昭和十九年十二月廿七日(水)
第三二八三號

同盟通信

海外電報(第三種郵便物認可)

【米洲】

來年度軍需增産計畫　(リスボン二十二日發)ワシントン來電によれば戰時生産局長官クルーグは二十一日の新聞記者團會見で次の通り一九四五年の改訂軍需生産計畫を發表した

航空機　一九四五年の飛行機生産計畫は七萬五千六百十機だつたが、これを四%增加して七萬八千二百二十七機に變更した、米國が開戰以來生産した飛行機の數は大體二十六萬五千機だが、今後は機數を多く造ることよりも大型機の生産に重點がおかれることとならう

大型タイヤ　タイヤの生産計畫も擴張され殊に大型タイヤの一九四五年の生産高は六百萬個以上に擴大された、現在の工場設備をもつてこの增産計畫の達成が困難な場合には新たに工場を增設しなければなるまい、今度の生産計畫の變更は西部戰線の新戰局とは直接關係はない、しかしドイツ軍の反攻によつて明らかにされたことは歐洲戰が豫想以上に長期化ずるだらうといふことであり、米國の軍需生産計畫もこの新事態に即應して變更を加へなければならなくなつた

戰時動員强化　(リスボン二十四日發)ワシントン來電＝戰時動員局長ジェームズ・バーンズは世界戰局最近の展開に對處するため各種動員强化措置として二十三日次の通り發表した

一、戰時動員局は人的資源不足の現狀に鑑み選拔徵兵局に對し職業運動家中、軍務に適するものの資格調査を命じた、即ちこれら運動家中召集解除となつたものの再動員並びにこれまで召集を受けなかつたものに對する身體檢査の再施行を考慮する必要が生じたからである

一、戰時動員局は戰時人的資源委員會に動員を强化するやう要請、最も勞働力を必要とする地區における勞働力補給態勢を確立し、同時に最重要軍需工場に對する勞働力の集中を容易ならしめんとしてゐる、以上に即應し、戰時生産局は從來の勞働力優先割當制の一部修正を行ひ、これによつて最も緊急な軍需産業に勞働力を重點に集結することとなつた

一、戰時動員局は大統領承認の下に明年一月三日までに全國の競馬場を閉鎖するやう指令、これによつて浮き上る人的資源並びに輸送力を戰局の要請する方面に振り向けることとなつた

民需生産も凍結　(リスボン二十三日發)ワシントン來電＝戰時生産局次長アンダーソンは二十一日の新聞記者團會見で次の通り言明した

ドイツ軍今次の反攻作戰は米國にとつては正に「眉間への一擊」である、この結果米國は軍需生産計畫の變更を餘儀なくされ民需生産も現水準に凍結されることとなつたが、この凍結が何時解除となるが現在では到底豫想出來ない、戰爭の長期化と共に米國は今後多くの豫想出來ない困難に逢着することを覺悟しなければなるまい

石油生産情況　(リスボン二十二日發)二十二日のロイター通信は、石油生産情況を次の通り報じてゐる

政府當局は、一九四四年の原油、天然ガソリンなどの生産高を、原油十七億バレル、天然ガソリン一億百萬バレルと概算してゐる、因に一九四三年は原油十五億三百萬バレル、天然ガソリンは八千八百萬バレルであつた、一九四四年の平均日産量は四百八十萬バレル以上で、一九四三年のそれは四百三十六萬バレルであつた、しかして一九三七年から一九四〇年までの平均日産量は三百四十九萬九千バレルである、勞働力及び設備の不足にも拘らず石油産業は政府の一九四四年度の新油井二萬四千掘穿計畫を恐らく實現するであらう、政府の一九四五年度油井掘穿計畫は二萬七千でありその中五千は油田未踏査地帶で二萬二千は既知の油田地帶におけるものである

商船隊の貨物輸送量　(リスボン二十四日發)ワシントン來電＝商船協會長フランク・テーラーは二十三日次の通り發表した

米國商船隊は一九四四年において七百四十億トンに達する貨物を海外に送り出したが、これはノルマンヂーにおける第二戰線およびフイリピン侵攻作戰に對して行つた軍需物資輸送が右の如き輸送記錄を作つた大部分の原因である、米國商船隊が斯樣な素晴しい貨物積出しを成し遂

げた年は長い米國商船界史上においても一度もなかつた、現在米國から輸出されてゐる貨物は大は機關車、小は安全ピンに至るすべてのものに及んでゐる

勞働團體の提携を強調

（モスクワ二十四日發）産業別組織會議々長マレーは十九日發行のソ聯邦勞働組合機關紙「戰爭と勞働階級」に一文を寄稿し次の通り論じた

明年二月英國で開催される世界勞働組合會議に産業別組織會議は進んで參加する方針を決定してゐるがこの會議では國際勞働機關が設立されるべきである、將來の國際問題には世界の勞働階級も有力な發言權を有すべきであり、これがためには特に米英ソ三國勞働階級の提携が必要だわれわれはドイツの工業家、貴族階級に再起機會を與へることを斷乎防止しなければならぬ

二巡洋艦就役

（リスボン二十三日發）フィラデルフィア來電＝海軍輕巡洋艦「オクラホマ・シテイ」號は二十三日フイラデルフイアで就役した、同號はクランプ造船會社の建造にかかり、一萬トン、クリーヴランド級巡洋艦である

また第四海軍區司令部は重巡洋艦「シカゴ」號が來る十二月二十八日フイラデルフイア海軍工廠で就役する旨二十一日發表した、同艦は昨年一月三十日ガダルカナル島沖合で魚雷攻撃をうけて沈沒した「シカゴ」（一萬三千トン）の代艦である

暗いクリスマス

（リスボン二十四日發）西部戰線におけるドイツ軍の大攻勢に朝野は愕然色を失つた形と傳へられるが、ロンドン來電によれば英國各紙のニューヨーク特派員も一時の浮はついた戰勝氣分から一轉して沈鬱な空氣にとざされた米國内の樣子を打電してゐる

「デーリー・メール」紙ニューヨーク電＝米國民の氣持についていへば今年のクリスマスは一九二九年以來の最も「暗いクリスマス」だといひ得よう、ドイツ軍の大攻勢に伴ひ幾多の問題が提起されるに至り、國民の大多數は戰爭が今後どの位續くかといふことに關し、全く考へ方を一變したが更に來年一杯は歐洲で依然血腥い戰鬪が續くものと考へてゐるものが多くなつてきた

「デーリー・エキスプレス」紙＝米國にはじめて「悲しい暗いクリスマス」が訪れようとしてゐる食糧品も若干は今まで通り入手出來ようが、毎年クリスマスの食卓を賑はしたやうな御馳走はもはや望めまい、未だ家庭から戰爭の犧牲者を出してゐないところはどこでも電話のベルや電報配達人の來訪に戰々兢々たる有樣だ、米國民はクリスマス期間が終ると同時に歐洲戰爭も終ることを希望してゐたが、これが全くはかない希望であつたことを今にして知つたやうだ

紐育の食料品店肉屋廢業か

（リスボン二十二日發）戰爭第四年目に入つた米國の市民生活は最近ますます窮屈となつてきた模樣で、二十二日ニューヨークからのUP電報によれば市内の食料品店二千軒が現在のやうに統制された價格では商賣しても儲らないから來年から店を閉めるといひ出し、市民に一大脅威を與へてゐるといはれる、一方ニューヨーク市内一萬の肉屋も同じ理由でクリスマスから商賣を罷めるといひ出し、市長ラガーディアはその鎭撫に大童といはれる

新駐米兩大使

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝新任米國駐劄のボリヴイア大使ドン・ヴイクトール・アンドラデとキューバ大使ドン・ギレルモ・ベルトは二十日大統領ルーズヴエルトに對し信任狀を捧呈した

エクアドル領の米軍に撤退要求

（リスボン二十二日發）キト一來電＝エクアドル自由黨はエクアドル領ガラパゴス諸島並びにサンタ・エレナ半島からの米軍の撤退を政府に要求した、因に右地方は一九四二年八月以來米國の軍事基地となつてゐる

【英帝國】

當面する三大懸案　（ストツクホルム二十四日發）開戰以來五年有半、英國民は少くとも歐洲戰爭に關する限り今年のクリスマスは平和の裡に迎へることが出來るかと空頼みしてゐたが、西部戰線のドイツ軍の新攻撃によつて新に二十五萬の壯丁が動員され一方ギリシヤ内亂は片付かず、ソ佛兩國間の同盟條約で西歐洲聯合案も骨抜きになる惧れあり、クリスマスを迎へて英國民の憂色は濃く、クリスマス前夜のロイター電報は次の通り報道してゐる

「英國はいま三大懸案に當面し、チヤーチル、ルーズヴエルトとスターリン議長の會談を至急開催して懸案を處理する必要に迫られてゐる、フオン・ルントシユテツト元帥の反攻作戰の威力は英國民に衝撃を與へた、戰時内閣は新しい壯丁を募集し乃至他の兵科からの轉用により、または從來後方勤務の壯丁を新に訓練して二十五萬の新兵力を陸軍に增强するに決定した、英國民は「冷靜」に戰時内閣の決定を受取つてゐるが、歐洲戰爭が更に數ケ月延び、來るべき大激戰で從來みなかつた位の甚大な死傷を覺悟せねばならぬのを悟つてゐる

ギリシヤ内亂については下院は前後二回に亘つて討議を重ねたがこの問題こそ歐洲に對する反樞軸政策の試金石だといふ見方が通説で、英國政界では首相パパンドレオは英軍を使つてギリシヤ内亂を自分に有利に展開しようといふ肚とみられるから、同人が首相の地位に留る限り居中調停の餘地はないとみてをり、「デーリー・ヘラルド」紙は勞働黨の意向を代表し、二十三日の社説で一刻も早くパパンドレオと手を切るよう戰時内閣に要望してゐる

また一月に入れば英國政府はソ佛兩國間の同盟と同樣な英佛兩國間の同盟案を檢討することとならうがこの點についても二派あり、一派はソヴエト政府の見解を支持し、ダンバートン・オークス會議の安全保障機構案よりももつとしつかりした廣汎な安全保障體制への第一歩として局地的協定を主張してゐるが、他の一派は先づ局地的協定が出來ればより廣汎な機構の結成を阻害するだらうといふ見方だ」

巨艦ヴアンガート進水　（ストツクホルム二十四日發）王女エリザベスは十一月末グラスゴーに赴き、クライドバンクのジョン・ブラウン造船所における新巨艦進水式に臨んだが、消息筋の情報によれば同艦は排水量四萬五千トン以上、十六吋砲九門を裝備してゐると傳へられる、新艦は「ヴアンガード」號と命名されたが、就役するのは一九四六年に入つてからとならう、ジョン・ブラン社の社長は新艦の新しい裝置並びに裝備を自慢し、特に新艦には「電氣眼」がついてゐる、これは英國の發明にかかるが、どんな濃霧のなかでも暗闇のなかでも白晝肉眼でみるのと同樣敵軍の地位速度、針路を見出すことが出來ると語つた

新印度財務長官　（リスボン二十二日發）ニューデリー來電＝印度政廳は來年四月任期滿了となる行政參事會財務長官ジエレミイ・レイズマンの後任にサー・アーチボルド・ローランドを任命した旨二十二日發表した、ローランドは印度政廳の戰時行政顧問である

東阿空軍司令任命　（ストツクホルム二十二日發）ロンドン來電、英國空軍省は空軍少將サー・ブライアン・ベーカーを東阿空軍司令官に任命した旨二十二日發表した

【反樞軸陣營】

モントゴメリー總司令官代理　（ストツクホルム二十三日發）「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙のロンドン電報が二十三日報するところによれば、歐洲侵攻英軍司令モントゴメリーは歐洲侵攻反樞軸軍司令官代理に任命され、アイゼンハワーの代理をつとめることになつたといはれるが、任命の原因は一切明かにされてゐない

亡命二政權

ルブリン政權と交渉

（ストツクホルム二十三日發）「オブザーヴアー」紙の報道によれば亡命チエツコ及び亡命ノルウエー兩政權は目下トルコのリースでルブリン政權との間に外交代表の交換について交渉を進めてゐるといはれる

米の援ソ

食糧

（リスボン二十二日發）ニユーヨーク來電＝對ソ戰時救濟會社社長エドワード・カーターは同會社が十月一日までの三ケ月間に、船舶百五隻を使用して六百五十萬弗以上の食糧をソ聯國民に供給した旨二十一日發表した

羅、ソ聯に

商船引渡し

（リスボン二十三日發）ルーマニア政府はソ聯との休戰條約に基き、同國の最新型商船「トランシルヴアニア」（六六七二トン）及び「ベツサラビア」の二隻を愈々ソ聯に讓渡することに決定、イスタンブールからのエキスチエンジ通信によれば、十八日以上の兩商船はソヴエト管理委員を乘せてボスフオロス海峽を出航したといはれる、兩船は獨ソ開戰以來イスタンブール港に繫留されてゐたものである

米、對希

船舶讓渡

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝戰時海運局はギリシヤ政府にリバーテイ船三隻を新たに讓渡することになつたと二十二日發表した、これによつて米國が現在までギリシヤに讓渡したリバーテイ船の總數は十隻となる

【軍事情報】

獨新兵器

西部戰線に出現

（ストツクホルム二十三日發）ルントシユテツト攻勢開始以來ドイツ軍が初めて前線で新兵器を使用してゐるとの報道が頻々と傳へられたが以上を確認する二情報が當地に傳へられてゐる

一、二十三日のベルリン放送によれば、ドイツ軍は西部前線で初めて新型「萬能砲」とでも稱すべきものを使用、恐るべき威力を發揮してゐるといふことだ、この火砲は四砲身の高射砲に類するもので、主として制空戰闘に使用されるが、從來の高射砲と異つて地上戰闘でも戰車にばかりでなく、他のあらゆる目標に對し使用され多大の效果を擧げてゐるといはれる

二、二十三日附の英國の數種の新聞は情報を得た筋を明示せずにドイツ軍が「V一・一一2」と稱する最新祕密兵器を使用してゐる旨報じてゐるが、これはいはばV一號の流星彈とV二號のロケツト爆彈をつき混ぜたやうなもので、自力推進式のA形砲彈らしいといふことだ

對日長距離

戰鬪爆撃機

（リスボン二十二日發）米國航空機工業聯合會は二十一日海軍省諒解の下に次の通り發表した

ウオート・F・4U「コルセア」機は今後日本の陸上基地航空機に對して艦載機として大いに使用されるはづである、コルセア機は本來空母用に設計された航空機だが、ガダルカナル戰以來は主として海兵隊の陸上基地機として活躍してゐた、勿論海兵隊でもかなり役立つてはゐたが、海軍ではこの戰闘機が空母から離昇するにはあまりに重過ぎるといふのでこれを使用するのを喜ばなかつた、ところが最近離昇補助裝置としてロケツトを使用するやうになつた結果、小型の護送空母で使用することも可能となつた、現在では米海軍のみならず英國の小型空母でも多數使用されてゐる、同機は空中戰に優れてゐるばかりでなく爆彈も二千ポンドを搭載する能力があり、將來は日本軍航空基地に對して長距離戰闘爆撃機として活躍することにならう

米海軍

新快速戰闘機

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝米國海軍航空局長テユ・ヴイツト・ラムゼイは十一日下院の海軍委員會で次のやうに言明した

時速千百二十粁以上といふ殆んど音の速度に近い速力を有する海軍新戰闘機が近く第一線に出動することとならう、この新戰闘機は目下生產されてゐるもの或ひは試作期にあるものがあるが、現在使用されてゐる米國海軍戰闘機の最高速度は六百二十粁程度である、また現在の急降下爆撃機よりも爆彈搭載力が大きく速度も早く遠距離まで出撃することの出來る新型機の試作も急がれてゐる

昭和十九年十二月廿七日(水)
第三二八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

經濟戰爭の前奏曲

—米英兩國の經濟關係—

長谷川才次

「エコノミスト」誌の主筆ジオフリー・クローは最近「アトランチツク・マンスリー」誌上で「政治に沒頭して經濟問題を看却することをもう止めねばならぬ時期が到來した、戰後經濟の分野において重大な危險が起りさうな形勢だから、經濟問題に一層注意を向けねばならない」と前提し、重要な懸案として次の五項目を掲げてゐる

一、通貨問題＝米英兩國の議會ともブレトン・ウツヅ會議の通貨案を承認してゐない、同案は兩國において重大難關に逢着してゐる

一、石油問題＝ビーヴアブルツク卿が交渉した結果は妥協に過ぎない、米國は國際石油業の支配を企圖してゐる

一、ゴム＝米英兩國の意見はこの問題でも對立してゐる

一、貸與協定＝米國は貸與協定を專ら戰時の施策と考へてをり、右協定により戰後英國の復興を支援する理由は毛頭ないといふ意見だ、ところが英國は主として米國の要求により、共同の目的のために一切の國力を出し盡くし保有してゐたすべてを提供した

一、輸出貿易＝貸與物資を絶對再輸出してはならないとの條件がついてゐるので英國の輸出貿易は激減した

同主筆はさらに空路並びに海運についても和協の困難な所以を指摘し、「戰爭で英國は乞食になり、米國は富めり」と結論してゐる

英國の貧乏物語

今度の戰爭が民主主義の戰ひならば、英國だけが犧牲を悉く擔ふわけはないといふのが最近機會ある毎に發表される英國人の見解だ、保守黨のサー・ジヨン・ワルドロー・ミルンは英國下院で次のやうに述べてゐる

「米國は決して英國のやうに百パーセント戰爭に參加したことはない、勿論米國の支援がなければ到底勝利を收めることが出來ぬのだから、米國の戰爭努力を決して過少評價しないが、もし一九四〇年に英國が獨力で抗戰を續けなかつたならば、今日米國はどんな地位に立つてゐたらう、英國よりも後から戰爭に入り、且つ百パーセント戰爭に入つてゐない特殊の事情のもとに、英國が輸出貿易を再び始めるのに是非とも必要な市場を、米國がとつてしふのは公正を缺く」

英國大使ハリフアツクス卿も頻りに英國の貧乏物語を次のごとく說いてゐる「戰前英國の海外投資は總額百四十億弗に達してゐた、ところが今日英國の短期外債は百二十億弗に達し、戰爭終了までに更に增大する見込みだ、海外投資並びに海運業による收入も、大半なくなつてしまつたのだから、單に一九三八年當時の貿易水準を取りもどすだけでは足りない、輸入を戰前の水準に維持するためだけにも、一九三八年當時に比べて輸出を五〇%增大せねばならない、しかし英國が輸出で儲けた弗貨はことごとく輸入資金に當てるのだから英國の輸出貿易が增大することは世界貿易にとつて好都合である、世界の繁榮を來さうとすればすべての國々に繁榮を與へねばならない」

米國「寬容」の看板

イングランド銀行理事ケーンズ卿がワシントンに乘込んで交渉を重ねてゐるのも、英國の經濟復興策について米國の援助を仰ぐためだが、その他にも綿業使節等々が相次いで米國に赴いてゐるらしい、「フアイナンシヤル・ニユーズ」紙は綿業使節の報告について次の通り報道してゐる

今年の初め生産省から米國に派遣された綿業使節の報告によれば、米英兩國綿業の生産水準はかなりの懸隔を示してゐる、報告は十月二十日白書の形式で發表されたが、通常の人員で英國綿業界の生産力は一勞働時間毎に

紡錘部門　一八%乃至四九%
繰返し部門　八〇%乃至八五%
經巻き部門　七九%乃至八九%
機織部門　五六%乃至六七%

であり、米國綿業界に比べて生産力が少く、勞働力の要求は各部門に亘り次表の通り多い

紡錘部門　二二%乃至九八%
繰返し部門　三八七%乃至五七一%
經巻き部門　三六六%乃至七八六%
機織部門　一二九%乃至二〇三%

報告書は卽時機械並びに經營の近代化によりランカシヤ綿業界の能率を增進するやう進言してゐるわけだ

「インターナショナル・アキスタイル」誌は戰後英國内における衣類の需要は少くとも戰前の水準の三分の一は上廻るだらうとの見當をつけてゐるが、マンチエスター綿業協會長なども年次報告で除隊兵員收容のためにも一刻も早く綿業の統制を止めるやう當局に要請してゐる

海運についての米英兩國の抗爭は前大戰後の歷史を持つてゐるだけに一層深刻だ、「アイナンシヤル・タイムズ」紙のニューヨーク特電は十一月二十二日次の通り報道してゐる

ユナイテツド・ステーツ・ラインの社長バジル・ハリスは去る八月海運問題に關する米英兩國の會談を提案したが戰後米國が海運業の餘りに大きい部分を奪つて了ふのではないかと英國人が懸念してゐるのは全く無用だと前提し、「米國の前には二つの針路が開けてゐる、第一は船舶が多く生産力の尨大なのに物を言はせて海運帝國主義を推進することであり、第二は自國の立場のみならず他國の問題をも理解して交涉による解決を圖る方策だ、戰後外國貿易は大いに發展するだらうから米國としては第二の方策をとる、米國海運界の目標は戰後大いに膨脹する米國貿易の半ばを運ぶにあり」と語つてゐる

先決事は英米通貨の安定

こんな氣休めで英國の海運界が安心するわけもあるまいが、英國の財界筋が飛びついたのは、チエーズ・ナショナル銀行の取締役會長ウインスロツプ・オールドリツチの聲明だ、同人はつぎの三ケ條を條件として弗貨と磅貨との安定を主張してゐる

一、第一次世界大戰當時の戰債棒引と貸與債務に關する寬大な取極め
一、米國と英聯邦との間における貿易障壁の撤去
一、戰爭直後英國が物資の輸入に當てる資金として遡及的貸與の形式で百三十億弗の借款を提供すること

「ジヤーナル・オヴ・コマース」紙にフランク・ブラツキーが述べてゐるところによれば、通貨安定が何より先決問題のやうだ

「銀行家筋の見解では米英兩國に公正妥當なやうに弗貨と磅貨との爲替相場を極めることが重要だといふ、ところが所謂專門家は頭を雲のなかに突込み、天文學的な數十億といふ數字ばかり考へてゐるからこんな比較的單純な點を見落してゐる」

米國の戰後金融案

ケーンズ卿が三ケ月に亘る交涉の結果貸與協定の續篇について米英兩國間に取極めが出來たが、右取極に關聯し「デーリー・テレグラフ」紙ワシントン特派員は十二月一日次の通り報道してゐる

戰時經濟から平時の經濟への秩序整然たる轉換を圖るため、こゝ數日大西洋の兩岸において相呼應して進められた動きが、十一月三十日頂點に達した、先づロンドンとワシントンとで同時に貸與協定の將來に關する取極めが發表され、次いで國務省が議會に對し左の二項目の要請を提出した

一、ジョンソン法の撤廢
一、世界の關稅引下げ政策を支持すること

歐洲各國に對する米國の投資禁令を解除するには必然的に米國の關稅を引下げ、究局において各國が米國への輸出によつて右投資に關する支拂ひが出來るやうにせねばならない、エーチスン國務次官補は下院の戰後經濟政策並びに經濟企畫特別委員會の貿易海運分科委員會に對し、國務省の具體案を提出し「外國の諸政府が米國に對し戰後の借款を要請してゐる、米國政府は議會が過半數の表決で承認を與へれば、直接諸外國に政府借款を與へることが出來るが、ジョンソン法の存續する限り、諸外國は米國の個人投資家に對し借款に應

昭和十九年十二月廿七日(水)
第三二八三號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

募するやう訴へることは出來ない、ジョンソン法が出來てから情勢は大いに變つた、しかも同法が依然存續してゐるため主要歐洲各國が緊急に必要としてゐる借款を擴張してやることが出來ない」と述べた

議會が直接政府借款に承認を與へさうにはない

米國政府當局では來年初め聯合各國間の通商會議を開催し、國際的觀點から通商問題を全般的に檢討する案を考慮してゐる

米國政府の企畫の第二は世界銀行並びに通貨安定資金に關するブレトン・ウツヅ會議の案が早く議會を通過するやう計らふことだ、世界銀行は個人の投資に對しあまり魅力がなく應募者も少いやうな借款に保障を與へることになつてゐる、かかる保障のある借款に米國の民間投資家が應募するためにもジョンソン法の撤回は同樣必要であらう

米國政府は國庫からの借款を提案してゐるのではない、ルーズヴエルト大統領もモーゲンソー財務長官も英國に對する政府借款に關する交涉は考へてゐないと述べ、民間投資への道を啓かねばならぬことを示唆してゐる、歐洲戰爭が片付けば英國への軍需品供給は半減し、英國が輸出のために必要とする米國の資材に對しては悉く現金をもつて支拂ふ旨米英兩國政府から發表されたが、その結果英國の貿易復興を支援するため、米國が貸與物資の「援助贈與」(grant-in-aid)を企圖してゐるとの噂は止んで了つた、新協定に關する米國政府の聲明にはステチニアス國務長官、クローリー外國經濟院總裁とモーゲンソー財務長官が署名してゐるが、協定では貸與と戰後米英兩國間の貿易關係を區別し「歐洲戰爭の終了後英國が戰爭の事情が許す限り、最早貸與協定によつて供給されず英國自身の生產によるか乃至現金で米國から入手した商品を英國が輸出するのには何等の障碍もない」と述べてゐる

エーチスン次官補は更に主要商業國との間に次の六ケ條の通商政策について「早く諒解」を達成し度いと述べた

一、あらゆる樣式の通商上の差別を撤廢すること
一、爲替制限の必要をなくしてブレトン・ウツヅ會議の協定を受け容れること
一、割當制、輸入禁止その他同樣の制限を漸次撤去すること
一、輸入關稅の切り下げ
一、自由企業國と貿易國家管理國との双方に適用される通商に關する規約協定
一、國際通商機構の設定、右機關は世界貿易の諸問題を研究し實際的解決案を勸告する

戰後企業の自由是非論

エーチスン次官補の提案は持てる國としての當然の主張であらうが、假りに國際通商會議が來年開催されてもソヴエト政府は恐らく參加しないだらうし、英國代表も貿易自由の原則に同意しても現實に割當制その他を撤去することが出來ぬのは明らかだ、英國の內相ハーバート・モリソンは過般リーズにおける演說で產業國營論を一席辯じあげて曰く

「能率と國全體としての福祉のために、英國の基本產業數部門を徹底的に改組し國有化することが必要である、戰前英國の石炭は米國の二倍より少いくらゐの値段であつたが、今日では三倍だ、民間企業は「失意の泥沼」にはまつてゐるが、この動かしがたい事實を前にして、產業國有を斷行せねばならぬ時期が到來したと思ふ、成る程英國の產業界は民間企業ではないかとの議論も出よう、しかし米國は十九世紀において英國が經過した資本主義の發展段階を現在辿つてゐるに他ならない米國產業界と同樣の結果を狙はねばならぬが、米國の產業機構をそのまま寫さうとすることはできない、時計を四分の三世紀逆もどりさせることはできない」

企業の自由は少くとも歐洲の關するかぎり過去の囈言と化した、「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電は次の通り述べてゐる

「ロシヤは完全に社會主義化された國だ、英國は理論的には資本主義國だが、異常な負債を背負ひ込み、貿易の大半を喪失し、海外投資の大部分を抵當に入れたので、長期に亘る統制集團施策以外英國が經濟的に立ち直る道はない、さらに歐洲

各國ではドイツ軍の占領期間、民間企業制が悉く混亂に陷り、戰後においても各國政府が企業の大半を運營しなければならない、英國では民間企業が沒收されたわけでも制限されたわけでもないが甚しく集中、統制且つ相互に足並みを揃へるに至つたので、再び民間企業未來の姿に立ち歸るのには、逆說的だが政府の干渉を必要とする、幾多英國の財界人は米國における同僚と同樣、熱心に競爭的な輸出貿易體制への復歸を要望してゐるが一九三三年當時ルーズヴエルト大統領が國際金本位制への復歸よりも米國內の物價引き上げが一層大事だと考へたと同樣に、英國內の有力筋では國內の全面的就業が世界の自由貿易よりもさらに重要だと解してゐる、サー・ウイリアム・ビヴアリツヂ教授が自由黨の支持のもとに「需要の社會化」案を發表しようとしてゐるのに徵しても、英國自由主義の振子が「レセー・フエール」主義から如何に遠のいたかが分るだらう、國際通商會議で米國代表が述べたところによれば、米國人は民間企業體制にあまりに熱心なあまりナチズムのために歐洲においても社會主義が好むと否とに拘らず避け難いとの事實を把握出來ぬらしい、その他米國政府筋、財界筋の言動に徵し、米國人の理想と舊世界の現實とを調和させることが歐洲戰爭後における最も困難な問題の一つとならう」

資料

產業財政の平時轉換未だし

「タイムズ」紙ニューヨーク特派員十一月廿日

米國軍需生產遲滯　國民は先刻承知だが、米國には未だ十分な人的資源の餘裕があるにも拘らず最も必要な部門に十分配分されないため、若干の最重要兵器の生產が遲延し、今後も更に續く樣子だ、これらの兵器は重爆擊機、重砲彈藥、大型貨物自動車、タイヤ、攻擊用輸送船、攻擊用貨物船並びに機械類の修繕、維持に必要な部分品で特に海軍が要求するもの等を指すがこれら生產部門における勞働力不足はそれ程でなく僅か二十萬程度だ、しかし西部戰線で作戰を强化すると同時に太平洋作戰に計畫以上の莫大な物量を使ひ込んだため豫想外に豫備資材が引き出される結果となり、軍需工場における人的資源の不足は急激に深刻化するに至つた、問題は勞働力の補給ではなく配分にあるのだから、この場合國民徵用令が實施されてゐたら勞働力不足はこれ程深刻とはならなかつた筈だが、政治的、心理的理由からもはや徵用令實施の時期を失してしまつた現在、人的資源不足に對處するためには他の方途を講じなければならない、重鑄物が軍需生產の隘路中の隘路となつてゐるのに鑑み陸軍が鎔接工の經驗ある兵士一千名を除隊させたのも一手段だが、この他戰時動員局長官バーンズが、もし戰爭遂行の四機關が效果的行動を採りえない場合斷行すると言明した軍需生產再轉換の完全停止といふ手がある、バーンズは戰爭遂行機關に對し人的資源問題の大部分は「戰爭は殆んど終つたも同然だ」との一部國民の誤解に基くことを指摘したが、丁度ほのかな曙光が見え始めた時にあたつて太陽を遮るやうなことに實業家連中がほとんど熱意を示さないのは當然だ、しかし戰時生產局長官クルーグが月五十七億弗の現生產計畫を對獨戰に勝つまで繼續すると述べてゐるやうでは特に再轉換停止以外に方法は恐らくあるまい

戰時賦稅の平時轉換案　大統領選擧以來、經濟界がせめてもの心遣りとしてゐるのが、財務省が一寸ほのめかした「平和到來の曉、諸會社の餘剩利得に對する課稅を廢止する豫定だが、ただしそれまではお預けだ」といふ一件だ、この小さな喜びに對し議會の租稅專門家は經濟界の租稅免除などはいまだ全然考慮されるに至らず、むしろ政府は平和時において多額の出費を伴ふやうな提案を考慮してゐると言明した、これら提案の中には多くの河川、溪谷、公路、港灣等の開發計畫があり更に百五十億弗乃至百六十億弗の對外融資があるが、これには英國その他諸國に對する總額約五十億弗の特別融資並びに國際銀行及び通貨安定策に要する六十億弗近い支出が含まれる、右特別融資は今後當分の間每年續けられる模樣だが、恐らく返還される見込はない

昭和十九年十二月廿七日(水)
第三二八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

以上の諸提案が議會の承認を得れば、政府は經常費と臨時戰費の他更に二百五十億弗の平時支出を必要としよう

今週戰時勞働局の役員三名が辭表を提出し、大統領ルーズヴェルトに宥められて辭意を飜したといふ事件があつたが、最近の噂では、殺到する勞働者の賃銀增額要求に對し戰時勞働局よりも一段と效果的に處理し得る他の機關がこれに代るだらうとのことだ

米國務省の新機構と首腦

國務長官ステチニアス十二月二十日記者會見の言明

本年一月十五日、國務省が同省の改革を發表した際、これが國務省の行政問題一切に對する最後的解答とは看做さない旨聞明したが、同樣に國務省が現在斷行しつつある改革も國務省の必要事項に對する最後的解答と考へらるべきでない、今後も國務省の機構には改革が加へられることとならうが、このためさらに行政部門の人員擴充を必要とし、これに伴ふ新たな任命を行はねばなるまい過去一ケ年に國務省では百九十名の行政官が新たに任命されたが、新局長十二名のうち五名までが今年初頭以來任命され、さらに新課長二十名が民間乃至國務省や外交關係者から選拔され、また各課の次長八十八名も任命された、今回新國務次官並びに五名の新國務次官補任命に伴ひ、外交政策遂行を一層效果的ならしめるため、さらに若干の次のごとき機構上の變革が行はれた

國務長官直屬委員會の新設＝國務長官直轄下に置かれ、國務次官並びに國際機構、安全保障關係擔當の輔任役によつて構成される國務長官輔佐機關である

統合委員會＝國務次官を委員長とし、十二局長と新聞關係擔當の特別補佐役とからなり、現在並びに今後の諸問題に關する勸告を行ふ責任を持つが、この場合は委員會を開催し、國務省內のあらゆる見解を代表する

なほ右二委員會の事務を行ふ合同事務局が創設される豫定である

國務次官補二名が新たに增員となつたため、地域別の諸局を國務次官補の下に統合できることとなつた、すなはち新次官補ジェームズ・ダンは歐洲局、東亞局、近東局、アフリカ局を監督し、各局長が次の通り新任された

歐洲局長＝フリーマン・マシウス（前次長）
局次長＝ジョン・ヒツカーソン（前英帝國課長）
東亞局長＝ジョゼフ・バランタイン
近東局長＝ウオーレス・マレー（留任）

その他の國務次官補職務分掌は次の通り

ネルソン・ロツクフエラー＝米洲諸國關係を擔當（前米洲局長ノーマン・アーマーの駐西大使轉出に伴ひアヴラ・ウオレン夫人が局長に就任する豫定である）

ウイリアム・クレイトン＝經濟關係を一切擔當し、經濟局、戰時經濟局、運輸通信局を監督し、

ジョン・オーチヤードがクレイトン附特別輔佐となる

アーチボルド・マツクリーシュ＝公共事業並びに文化關係を擔當し政府の外交政策に關する情報を國民に提供する

デイーン・アーチスン＝議會關係並びに國際會議に關聯する事務を行ふ

ジユリアス・ホームズ＝國務省の行政、運營方面の任務にたづさはる

その他の國務省首腦顏觸れは次の通り（何れも留任）

レオ・パヴオルスキー＝國際安全保障機構に關する國務長官附特別輔佐
グリーン・ハツクワース＝法律顧問
マイゲル・マクダーモツト＝國務長官附特別輔佐兼國務省新聞課員
ジョージ・サマリン＝條約文に關する國務長官附特別輔佐
ロバート・リンチ＝國務長官附特別輔佐
ゲン・レイナー＝同右
ウイルダー・フート＝國務長官附輔佐
チヤールズ・ボーレン＝國務長官附特別顧問
館連絡係
イザイアー・ボーマン＝國務長官附特別顧問
ヘンリー・フレツチヤー＝同右

空輸技術の發達

「ウオールス・トリート・ジヤーナル」紙
九月十九日（ライトフイールド來電）

陸軍が貨物空輸において學び得た數々の細かい技術は、平和が回復した時には空輸といふ輸送手段の利用範圍を大いに擴げることにならう、陸軍航空機用のあらゆる補給維持を引き受けた航空技術本部は宛然貨物空輸問題の清算所のごとき役割を果してゐる、今時大戰において空輸貨物の取扱ひに見る最大の進歩といふべきものに、重量を減じ且つ空輸品目を增すごとき新包裝技術並びに積卸し法改良による貨物到著の迅速化の二つがある印度から支那へとヒマラヤ山系を越えて一萬八千乃至二萬呎の高度を飛翔することは普通の航空高度では遭遇しないやうな多くの包裝上の問題を生じた

空輸包裝の改良　蓄電池用の硫酸は山系を越す物資の中で最も危險なものの一つだ、高々度においては常に外氣の氣壓低下のために容器が破裂し易い、强酸類の容器が破裂したりすれば、他の貨物を甚だしく損じたり航空機に穴を穿つ結果にもなり兼ねない、そこで酸はたとひ壜が一本位割れても危險が大きくならないやうに五ピント壜十本に收められる、これを酸が滲出しても吸收するやうに石綿で包み、次に十室に區劃つた箱に入れるこの區劃も吸濕性物質で作られる

氣壓が變ると內部の液體を蒸發滲出させ易いにも拘らず壜は絕對に密閉されてゐなければならないのだから、高々度においては閉栓は大問題である、酸容器には收縮式の栓も試みられたが、高々度になると乾燥し切つてポンとはじけて了ふ、そこで可塑質の栓の上から最上のワツクスで目塗りすることになつたが、この上から和硫護謨テープを卷きつけて高々度で震動しても剝れないやうにするのである

ペンキも普通の容器に入れて積み込んだのでは屢々面倒な事件を惹き起す、或る時のごときは稀釋の罐の蓋が取れて火事となり、遂に爆發を生じたこともある、ペンキ罐においても氣壓低下のために栓が飛んでペンキの溢れることが發見されたが、この問題は栓の上から鑞付けして、それをまた箱に入れ、たとへペンキが溢れても床の上には流れ出さないやうにした

特殊防彈チューブの輸送には變つた解決が發見された、このチューブの內面は自然に收縮して孔を閉すやうな粘着性物質をもつて覆はれてゐるので內面が密着しないやうに空氣を詰めて輸送しなければならない、このチューブを何本か空輸したところ高々度で膨脹しすぎて貨物室一杯になつてしまつたことがあつた、この問題はチューブを膨脹しないやうな管の內に入れることによつて解決された

包裝と積卸しの改良　專門家の言によれば空輸において重量と空間はともに制約的要素ではあるが、それは時間に對し七〇%程度のものにすぎず輸送量を決定するものは空間よりむしろ重量であるといはれる、その結果强度を落さないですむかぎり重量の引下げにはあらゆる手段が盡された

重量切下げの大きな祕密の一つは物資を包裝する容器だ、普通の輸出包裝で鐵道から受け取つた各種物資を再包裝すれば、積込貨物の重量は通常三〇%乃至四〇%引下げることができる、だが現在では包裝改良の指示によつて再包裝の手數がよほど省けることになつた

航空隊技術本部は發著地の積卸しに際して時間を節約することも學んだ、米國橫斷飛行では一飛行每に十分間節約される、これは航空機の速度を每時三十哩增したのと變らないわけだ、陸軍の貨物空輸發着地では積卸し並びに輸送機の整備に普通四十五分乃至六十分を要する、この發着地における時間を短縮する技術の一つは精妙な計算尺だこの計算尺をちよつと合せれば航空機內の重量分散をどうするかが直ぐ出てくる、今一つ時間の節約になるのは貨物を抑へつける鐵棒裝置を使用することである

航空機の離着陸に際し貨物が航空機の內部で躍りまはるのを防ぐためには、貨物をしつかりと抑へておくことが必要だ、鐵棒裝置は荷卸しの時間を約半分に短縮する、積込みの時間はロープ式と殆ど同じである

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月廿八日(木)　第三二八四號

同盟通信 海外電報

編輯發行人　兼　野伊八　東京都麴町區日比谷公園二番　電話局人　陸　電話番號

世界の焦點

ベルギー戰線におけるドイツ軍の豫期せざる反撃並びにフイリピンの叢林地帶における惡戰苦闘は本年の降誕祭に新らしい雰圍氣と意味とを齎らした

多くの米國人は歐洲に派遣された米國兵達は今日までには本國に凱旋するだらうと希望し、またこれを確信した者さへあつた、また多くの人々は戰爭が短期戰に終るだらうと思ひ、いまだ依然としてかかる希望的觀測に耽つてゐる者すらある、たしかにわれわれの多くは戰ひの苛烈なる性格を理解してゐない、一部の人々は敵が如何に作戰的成功をおさめようともこの事實には目をつぶつて勝利に有利な解釋を下してゐるかと思ふと、また他の人々はやれ降誕祭を祝ふ七面鳥がないとか、煙草が不足だとか不平ばかりいつてゐる、銃後ではたしかに餘りに多くの米國民が寒心すべき態度を以てこの降誕祭を迎へた

しかるに前線の降誕祭は之と全く相違するベルギーでもフイリピンでも、米國の將兵は最大の恐怖に直面しつつあると共に、自己犧牲と獻身の最大限を發揮してゐる、ここでは希望が失はれたところに信仰が生じ、泥のうちから勇氣と友愛感とが生れ出てゐるのだ、實に前線の降誕祭こそ本國で降誕祭を祝ふ銃後國民の範とするに足りよう

何故ならば、歐洲においても或ひはまた太平洋においても米國史上空前の困難な仕事は依然として今後に控へてゐることが今や白日の如く明らかとなつたからである、戰ひが何時まで續くかなどといふことを今考へるのは全く意味ないことである、われわれには今や最惡の事態が起つても驚かないだけの覺悟が必要なのだ(「ニューヨーク・タイムズ」紙二十五日ハンソン・ボールドウイン)

【目　次】

獨軍破竹の進擊續く……三二六二
ロレーヌでも進擊……〃
ベルギー戰線の米軍退路遮斷か……〃
反樞軸補給作戰建直しか……〃
米英ソ加新武器貸與交涉……三二六三
チャーチル、アテネに乘込む……〃
【東　亞】
重慶軍需生産局開店……三二六四
英記者の周恩來會見記……〃
米國の對蔣補給は手一杯……〃
駐印英軍の補給不良……三二六五
【米　洲】
職場放棄實情調査……〃
レイテ戰小出し發表……〃
驅逐艦二隻沈沒……〃
【歐　洲】
各國別産油狀況……〃
ド・ゴール訪英か……三二六六
佛海軍の現有勢力……〃
在スイス避難民數……〃
スイス新豫算……〃
フアリナツチ氏遭難か……〃
【英　帝　國】
慘澹たる空襲下のロンドン……〃
元埃及太守逝く……〃
歐洲戰況概觀……三二六七
【特　輯】
スペイン假裝舞踊曲……三二六八
【資　料】
巨人發動機の將來性……三二七一

社　告

本海外電報版は二十九日附通信をもつて本年度の最終號と致します、なほ新年は一月四日發行の六日附第一號をもつて通信を開始、ニュースに特輯に資料に一層の内容充實を期し、以て皆樣の御期待に添ひたいと存じます

獨軍破竹の進撃續く

—バストーニュの米軍殲滅迫る—

（ベルリン二十六日發）總統本營二十六日正午發表＝

一、西部戰線における戰鬪の焦點はルクセンブルグ西部地區に移動、反樞軸軍は恐らく他の戰線から持つてきたと思はれる新豫備兵力の來援を俟つて、バストーニュ周邊でドイツ軍の重圍下に陷つた反樞軸軍部隊を救出するためドイツ軍の南翼を押し戻さうと圖つた、これに對しドイツ軍は斷乎攻擊を加へて激戰の後擊退すると同時に、バストーニュ周邊の包圍鐵環を更に壓縮した

一、ウルト河西方においてはドイツ軍先鋒は反樞軸軍の執拗な反擊を粉碎しつつ着々進出を遂げてゐる

一、現在までに判明せるところでは十二月十六日の攻勢開始以來ドイツ軍は米軍戰車及び裝甲車七百輛を擊破乃至鹵獲した

一、ドイツ軍戰鬪機隊もまた二十五日强力な反樞軸空軍を邀擊してその目標爆擊を妨害、ドイツ制空隊は二十五日反樞軸機四十四を擊墜した

ロレーヌでも進擊

（ベルリン二十六日發）總統本營二十六日發表＝

一、ロレーヌ戰線ではドイツ軍は迅速に進出、ザールゲミユント北方のブリース地區を占領、ビツチ附近の激戰場たるシーセツク據點を奇襲奪回した

一、上部アルザス地方ではガイザースベルグ東方地區で激戰が展開されてゐる

ベルギー戰線の米軍退路遮斷か

（リスボン二十六日發）米軍は他の戰線から兵力を引揚げてベルギー、ルクセンブルグ地區に續々投じ、ルントシユテツト攻勢を必死で阻止しやうと圖つてゐるが、怒濤に押し流される木の葉の如くなんらの效果をも擧げてゐぬ樣子でパリからのAP電報は二十六日以上の事實を率直に認め、稀にみる悲痛な調子で戰況の惡化を次の通り報じてゐる

「米軍は死物狂ひで抵抗してゐるが、ベルギー戰線に打ち込んだドイツ軍の二つの强力な楔を阻止するに全く術なく、一糸亂れぬドイツ軍の攻勢先鋒は愈々ベルギー領深く突入、一地點でミユーズ河を去る二十四粁の線に到達した、更に事態を惡化させてゐるのはドイツ軍がサン・ヴイート西方の米軍を押し戻しつつ鋼鐵の如き二つの楔を合しやうと圖つてゐることで、米軍はドイツ軍進擊地域北翼の中央で包圍を避けるため雪崩を打つて退却するのやむなきに至り前線報道によれば米軍の戰車、步兵々力がドイツ軍の包圍を脫し得たかどうか判然とせず、恐らく包圍は免かれない模樣だ米軍はバストーニュで包圍された他の部隊を救出するため、ドイツ軍突破戰線の南翼に沿つて必死の反擊を加へ、既に救援部隊はバストーニュを去る八粁の地點に達してゐる筈だが、これが間に合はなければ大變なことになる」

反樞軸補給作戰建直しか

（リスボン二十六日發）太平洋歐洲兩戰域における戰局が米國當局の豫期した如き展開を示さず、反樞軸軍の作戰が明らかな蹉跌を示すと共に米國は再びあらゆる分野にわたり國內戰時態勢の强化を斷行、その出直しに狂奔してゐる模樣だが二十六日のAP通信は目下ワシントンで行はれてゐる英國外相代理ローと米國當局との會談と關聯して次の通り報じてゐる

「英國外相代理ローはワシントン到着以來大統領ルーズヴエルトをはじめ、國務長官ステチニアス陸軍長官スチムソン、大統領顧問ホプキンス等と頻りに會談を續けてゐるが、その重點は反樞軸全體としての補給問題におかれてゐるもののごとくこの會談の結果、米國內戰時態勢一層の强化は勿論作戰計畫自體の立直しさへ豫想されるに至つた卽ちローは米國政府首腦に對して反樞軸軍占領下の歐洲諸國の狀態が豫想以上に惡化してゐることを强調、これら諸國に對する救恤品の供給が刻下の急務なることを指摘した模樣だが、もし歐洲諸國に對して尨大なる救濟品を送るとすればそれでなくとも不足勝ちな反樞軸の船腹は益々不足を告げ、勢ひ反樞軸補給作戰の根本的建直しの必要に迫られることとならう

昭和十九年十二月廿八日(木)
第三二八四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

歐洲救濟問題を度外視しても現在の反樞軸世界作戰における最大の隘路は補給船腹の不足にあるしかも太平洋戰域における船腹の必要が豫想以上に達し、この戰域に對して反樞軸の船腹が集中されると共に輸送手段の不足は益々顯著となつたが太平洋戰では現在の比島作戰のみでも今後さらに多くの船腹を必要とすることは明らかだ、かくてドイツ潛水艦の脅威が一應克服され、一方開戰初期の船腹不足が緩和するとともに南米、南阿等にまはされてゐた船腹は再び作戰の中心地に引揚げられることとなるべく、この結果米國に對するコーヒー、砂糖等の輸入は當然減少し、さらに酒類チーズ等の不緊急民需物資の供給も削減されることとならう、現在のところ米國軍當局は何をおいても作戰資材を前線に送ることを第一とし難民救濟品の補給の如きには餘り意を用ひてゐないやうだが、軍部以外の政府首腦部のうちには反樞軸軍占領下の歐洲諸國における事態はこれ以上放任を許さないまでに緊迫してをり、これら地域に食料燃料等の不可缺な民需品を補給することは作戰行動にも劣らない程重大緊急性を持つてゐると強調してゐる

米英ソ加新武器貸與交渉

(リスボン二十六日發)ワシントン來電=國務長官ステチニアスは二十六日の新聞記者團會見で次の通り言明した

「米英ソ加四國政府は目下武器貸與新協定を締結すべく交渉中である、最近米國の一新聞は對ソ武器貸與は現在の協定が滿期に達するとともに停止されることとなつてゐると報じたがこれは事實無根であり、現に本年七月以降の對ソ武器貸與は目下折衝中の新協定が調印されるのを見越してこれに基づいて行はれてゐる位である」

チヤーチル、アテネに乘込む

—休戰會議始まる—

(リスボン二十六日發)ギリシヤ內亂が始つてからここに二十三日、スコビー少將麾下の英軍は機關銃、野砲並びに戰鬪機を繰り出してエラス兵團に對する攻撃を繼續、二十五日以來アテネ市內の掃蕩作戰に從事しピレウス外港おいては二日に亘る激戰の後冷凍工場を占據するに至つたが、全國的な組織を背景とする左翼EAM團の抗戰は依然として終熄する樣子はない、アテネ來電によればスコビー少將は二十六日の公報において

アテネ市並びにピレウス外港における英軍の作戰は更に進渉し、廣汎な地域からエラス兵團を掃蕩した、エピルス地區においてはチエルヴス將軍麾下の右翼エデス兵團はエラス兵團の壓迫をうけ更に後退した

と發表したと傳へられるが、ギリシヤ內亂が英國の內政外交上に及ぼす重大な影響に焦慮した首相チヤーチルは外相イーデン、地中海方面軍司令サー・ハロルド・アレキサンダー元帥を帶同、二十五日空路アテネに到着して自ら和平交渉に乘り出した、到着と同時にチヤーチルは英軍司令スコビー少將、西亞常駐相ハロルド・マクミラン、大使ピール等から現地の情勢につき報告を聽取、次いでギリシヤ大主教ダマスキノス師並びに首相パパンドレオと會見した結果、愈々EAM團との間に休戰會議を開催するに決定した、主として大主教の斡旋により會議は二十六日午後四時からアテネ市英軍司令部グランドブルターニュホテルにおいて開催されたが、右會議には左翼抗戰派の代表としてギリシヤ共產黨書記長並びにエラス中央委員シオルゴス・シアントス、EAM中央委員會書記長パルテサリデス等が出席、大主教の司會で先づ英國代表恐らく首相チヤーチルが會議招請の趣旨を述べた後ギリシヤ各派代表だけ居殘つてさらに協議を重ねたと傳へられる、會議の內容は極秘に付されてゐるが、會議發表された公報においては「ギリシヤ國內における兄弟相殺戮する鬪爭を終熄させギリシヤ國をして聯合各國內の地步を回復させるため」會議を招請した旨を强調してゐる、會議場一體は水も洩らさぬ嚴戒振りだが、會議場たるホテル前の下水から四分の三トンの高性能爆彈が發見され英軍司令部に少からぬ衝撃を與へてゐる、ロンドンからのUP電報はアテネ會談の後地中海領域のどこかで米英ソ三國首班の會談が催されるのではないかと觀測してゐるが確報はない

【東　亞】

重慶軍需生産局開店

（リスボン二十四日發）二十四日の重慶放送は軍需生産局の活動につき左の通り宣傳してゐる

最近組織された重慶軍需生産局は大量物資の生産、買付け及び貯藏に着手してをり、課せられた目標に向つて着實に前進してゐる、軍需生産は如何なる場合にも融資の不足から生産速度を落すことは許されない、必要な施設を缺いてゐる工場に對し軍需生産局は必要な補給物資と設備を重慶國内及び海外から入手する有效な措置を講ずる用意を整へてゐる

英記者の周恩來會見記

（ストツクホルム二十四日發）ロンドン來電＝ニューズ・クロニクル紙は二十四日第一面にカルカツタ特派員スチユアート・ゲルダーの報道として中共（延安政權）代表周恩來が重慶に持込んだ中共の提案、卽ち聯合政府及び一元的統帥の申入れが重慶側に拒絶された旨報じ次の通り述べてゐる

「南支における戰局の極度の重大化にも拘らず蔣介石は周恩來が重慶に到着した際、彼を一週間以上も待たせた擧句やうやく會見し、會談は約三十分行はれたが、蔣介石は極めて高壓的な態度をとつた、周恩來は目下延安に歸つてゐるが、蔣介石が氣持を變へて今日中共に與へてゐる重慶政府への實權のない代表參加權の代りに實のある參加權を與へない限り周恩來は重慶に戻りさうもない

日本軍最近の貴州進擊は打擊を受けてをらず、重慶軍の抵抗も殆んどないので、日本軍が改善された裝備をもつて雲南へ進擊を續けるかも知れぬ危險がある、周恩來は延安に歸還する前に記者に對し、もし共產軍が十分の補給物資と必要な武器彈藥の補充を受ければ、北支のみならず中支でも牽制攻勢を開始することが出來ると語つた、彼は更に支那における中共の地位について記者に向ひ次のやうに言明した

われわれ共產軍は北支だけではなく中支でも日本軍の前線背後で戰つてゐる、われわれは三十二萬平方哩にわたる十五の地區を、現在「解放」し被占領地域における民衆二億のうち九千萬人を歸鄉させた、本年九月末までにわれわれは支那派遣の日本軍の四十九パーセント、中國政府軍の丸十パーセントに對して抵抗した、一九四二年六月から本年五月までに共產第八路軍及び新四軍は日本軍と五萬六千二百二回交戰した、われわれが共產邊區の防備に維持した最大の兵力は五萬であつた、これに對し國民黨（重慶政權）が共產地區封鎖に配した兵力は凡そ四十萬で一時は五十萬に達した、國民黨がわが共產地區の封鎖と共產軍の攻擊に投じた全國にわたる總兵力は七十七萬を下らぬ、過去四年の間われわれ中共は國民黨政府（重慶）から武器彈藥、給與、醫療補給品、食糧乃至は衣服など何ら受取つてゐない、われわれが現在深刻な事態に直面してゐるのは正規の戰線だけである、敵の背後の戰線ではわれわれは成功を收めてをり、共產軍は擴大してゐる

周恩來の談話は以上の如くであるが、中共はもしも米英その他の反樞軸諸國が協力すればこれと協力する意志を持つてゐる、もしも蔣介石が同意すれば、中共は外國からの補給による武器を受取ることが可能である、延安政權は支那の統一結束を要求してゐるが今や國民黨自身を含む一切の政黨政派の進步的分子の間に、この統一結束に對する旺盛な要求が行はれてゐる

米國の對蔣補給は手一杯

（リスボン二十一日發）重慶來電＝支那戰域米軍參謀長ロバート・マツクルーアは二十一日記者團との會見で

在支第二十爆擊隊及び第十四航空部隊は最大限度の手持機數をもつて日本本土及び支那にある日本の一切の補給港灣や都市に對し爆擊を續けるつもりだ

と豪語したが、マツクルーアは米軍司令官ウエデマイヤーのロンドン行きの噂を一笑に附しウエデマイヤーが會談のため英國へ赴く筈だといふ噂が擴まつてゐるやうだが、その噂は本當ではない、ウエデマイヤーは目下支那戰域の各作戰地區へ旅行の途にあり、この方面の活動について直接知識を體得してゐる

昭和十九年十二月廿八日(木)
第三二八四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

と付言し、ついで米蔣兩軍の協力と補給問題につき左の通り言明した

新軍政部長陳誠は前線の重慶軍に十分な糧食を與へるといふ「重大な問題」に懸命の努力を續け米軍に支援を與へてゐる、補給に關する一切の分野は根本的には重慶軍當局の責任である、但しビルマの重慶軍は例外として十分の食糧を得てゐる、米國の對蔣補給は軍事的見地よりすれば只今のところこれが米國の重慶に與へ得る最大限度である、重慶軍と米軍兩參謀部の合同會議はしばしば開かれ圓滑に進行してゐる

駐印英軍の補給不良

(ストツクホルム二十二日發)ロンドン來電によればBBC放送局の解説者ジョージ・ダーリングは二十二日印度情勢に關する講演で「印度の英軍部隊に補給品と食料の不足が生じてをり、この情勢が改善されなければ部隊の間に叛亂の起きる惧れがあるとの印象が擴まつてゐる」と述べたといはれる

ダーリングは最近印度から歸還した前印度次官ミュンスター卿の報告に言及したが、ミュンスター卿はカルカツタを初め戰鬪地域附近の各地區及び印度內陸各地を含む約十二ケ所の軍事中樞部を訪問し、印度領內にある百ケ所以上のクラブ、酒保、病院及び幾多の軍兵營、並びに野戰病院を視察し、極めて遺憾な點の多い幾多の事例を目擊したといはれる

【米洲】

職場放棄實情調査

(リスボン二十五日發)ワシントン來電=政府當局は軍需産業における勞働力不足の重大原因が戰局樂觀論に災ひされた軍需勞働者の職場放棄にあることをしきりに强調してゐるが、産業別組織會議は要旨左の調査を發表して政府の主張を反駁するとともに、勞働者の立場を擁護した

本年五月から十月に至る期間を通じ、全米二十八軍需産業部門について調査したところによると、前年同期に比し勞働者の職場放棄が增加してゐるとの報告は僅か二十五に過ぎなかつたのに對し、職場放棄が減少してゐるとの報告は實に二百一にも達し、前年とほとんど變りがないとの報告は十三だつた、これによつてみると勞働力不足の重大原因が軍需勞働者の離業にあるとの主張は間違つてゐる、軍需勞働者の離業を防止する最善の方法は戰後の失業に對して適當な報償制度を確立するとともに、勞働者に對して平和時における十分な職業を確保してやることである、一方軍需産業における高率賃金も勞働者の離業を防止するに大いに役立つだらう

レイテ戰小出し發表

(リスボン二十五日發)レイテ島からの米國報道によればマツカーサー司令部は二十五日米國軍がレイテ島に上陸作戰を開始して以來受けた兵員の損害は戰死、負傷、行方不明を含めて總計一萬一千二百十七名であると發表したといはれる

驅逐艦二隻沈沒

(リスボン二十二日發)ワシントン來電=マツカーサー司令部は去る八日レイテ島沖で米艦二隻を喪失した旨發表したが、二十二日海軍省の發表により右二隻は驅逐艦「マハン」(一、四五〇トン)及び護送驅逐艦「ウオード」(一、〇九〇トン)であることが判明した、二隻ともレイテ沖で大破したため乘組員を退艦せしめた後僚艦がこれを擊沈したものである

【歐洲】

各國別産油狀況

(ストツクホルム二十二日發)ロイター通信調査の歐洲石油産出狀況次の通り

歐洲の原油生産量は一九三八年の八百萬八千トンから一九四三年には九百四萬トンに增加してゐる、即ちドイツは五十二萬二千トンに對し九十萬トンと增加し、ウインナ盆地の增加は特に目覺しく五萬七千トンから一躍百三十七萬五千トンと上昇し、オーストリアをしてルーマニアに次ぐ歐洲第二の生産地たらしめてゐる、ハンガリーは四萬三千トンから七十五萬トンに增加した、これに反しポーランドは五十萬七千トンから三十五萬トンに減少、またルーマニアも一九三八年の六百六十萬トンから一九四三年には五百二十五萬トンに減少してゐる、なほその絶頂は一九三六年の八百七十萬トンであつた

ド・ゴール訪英か

（ストツクホルム二十五日發）パリ來電によればド・ゴールは英佛相互援助條約締結のため明年一月ロンドンに赴く豫定といはれる、一方歸國中だつたロンドン駐劄大使ルネ・マシグリは右條約に對するド・ゴール政權の提案を携行既にロンドンに歸任し、目下條約締結の下準備を行つてゐるといはれる

佛海軍の現有勢力

（リスボン二十五日發）ボストン來電＝「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙は二十四日の紙上でフランス海軍の現有勢力を次の通り報じてゐる

英國筋の情報によればフランスは今日戰艦「リシリユー」「ロレーヌ」および三隻の重巡、七隻の輕巡を有してゐる、この艦隊の大部はフランス近海以外の水域で作戰に從事してゐるやうだ、しかしおよそ百隻に上る哨戒艇および快速艇がフランス南部沿岸の海運保護に當つてゐる一方佛海軍の兵力も相當多く、士官三千、水兵五萬が現役に服してゐる、なほ戰前の佛海軍兵力は將兵合して九萬八千であつた

在スイス避難民數

（リスボン二十三日發）ワシントン來電＝スイス公使館は二十三日次の通り發表した

今年十月一日までスイス領土に不時着抑留された米軍航空隊員は千五百人である、また同日までにスイス入國を許可された各國避難民は約九萬五千人、その國籍は二十ケ國に及ぶ、軍人抑留者は米軍航空隊員を含め一萬六千人であるがその他の避難民の內譯は次の通り

一、戰場となつた地域及びその近接地區からの避難民　四萬八千五百人
一、元イタリア軍兵士　一萬八千五百人
一、目的地に向ふ途中戰爭で旅行を中絶された亡命者　七千五百人
一、逃亡して來た俘虜　三千三百人
一、各國軍隊からの脫走兵　七百人
一、自國の政府から許可を受けてスイス國內で療養中の各國兵士　五百人

スイス新豫算

（ベルリン十三日發）スイス政府は一九四五年度豫算を十三日發表したが、赤字は一億七千四百五十萬スイス・フランであり、これによつて同國國債は總計八十五億フランに達する、また明年度歲入は四億七百五十萬フランと計上されてゐる

ファリナツチ氏遭難か

（ベルリン二十三日發）情報によれば元イタリアファシスト黨書記長ロベルト・ファリナツチ氏は二十二日事故のため死去したといはれる、詳細は未だ不明である

【英帝國】

慘憺たる空襲下のロンドン

（マドリード二十二日發）ロンドンに對するドイツ軍の報復攻撃は依然續行され、殊に西部戰線で大反撃が開始されてからは益々熾烈の度を加へてゐる樣子で、二十二日のロイター電報も今後におけるドイツ軍のV兵器攻撃が頓に强化される可能性を警告してゐるくらゐだ、英國政府はV兵器による損害をひた隱しに隱し、每日「死傷並びに損害を生じた」と發表するのを恒例としてゐるが、當地に到着する旅行者などの談話からロンドンの慘狀は今や周知の事實となつてゐる、例へばテムズ河の橋もV二號のために既に三本破壞されてをり、國會議事堂も度々の損害に今では見る影もないといはれる、またレスター廣場を中心として半徑五百米の圈內には一軒の建物も殘つてゐない、その他ピカデリー・サーカスも全く廢墟と化し、ロンドン塔は直擊彈こそ蒙つてゐないが爆風のためにさんざんな有樣で、多數の市民は連日北イングランドに疎開を急いでゐるといはれる

元埃及太守逝く

（チューリツヒ二十四日發）元エジプト太守アツバス・ヒルミは心臟病のため二十一日ジュネーヴで死去した、ヒルミはトルコ宗主權下のエジプトの最後の太守で、一九一四年十二月英國がエジプトを保護領とした際、その地位を逐はれたものである

昭和十九年十二月廿八日(木)
第三二八四號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

歐洲戰況概觀

ブダペスト小田特派員二十三日發

赤軍の豫想進路　ドイツ軍當局筋では東プロイセン方面及びワルシャワ方面における赤軍の攻勢準備が依然續行されつつあることを認め、東部戰線の北部中部地區における冬季攻勢の開始が遲れた理由は主として例年よりも嚴寒期の到來が遲れ未だ地面の凍結が不十分で戰車活動を妨げてゐたのであつて、早晩赤軍が出てくることは豫期してゐる、しかし赤軍の人的物的損耗を度外視しても現在各戰線における後方輸送線の伸過ぎは從來の冬季攻勢に經驗しなかつた赤軍最大の惱みであつて、赤軍がこの冬全線で大攻勢をとることは不可能である、ドイツ軍當局筋ではソ聯の撰ぶ主作戰場として　一、ワルシャワ方面　二、ハンガリー戰線のいづれか一つ、或ひはこの兩者の併行作戰とみてゐる模樣だ、バルカン方面の觀測では赤軍はあくまでハンガリー戰線に主力を注ぎ、これと呼應してワルシャワ南部からクラカウ方面へかけて北シレジアの重工業地帶を狙ひつつスロヴアキア包圍を狙ふものと豫想してゐる、その理由としては地勢氣候の關係などからハンガリー戰線が冬季戰に適してゐるだけでなく赤軍の狙ひとしては

一、舊チエツコスロヴアキア領の占領

二、オーストリアへの侵入

三、クロアチア進擊から舊ユーゴスラヴイア全土、ひいては全バルカンの確保

など現在のソ聯にとつて北、中部戰線以上の政治的軍事的發展性を期待し得るからだ、米英兩國としては北、中部における赤軍の損耗を度外視した大攻勢を希望するだらうがソ聯は例の通り米英兩國の注文通りには動くまい、赤軍もペトロフ、マリノフスキー、トルブーヒンの三軍約百二十ケ師團に達する大軍の補給には相當困惑してゐる樣子で、補給路としてはダニューブ河の利用が第一で他にはトランシルヴアニア山脈越えの自動車道路とブカレスト方面からの鐵道がある

ブダペストに對する赤軍の半包圍環は漸次收縮されつつあり、首都防衞は次第に困難の度を增して來たがブダペストが陷落した場合マリノフスキー軍のブダペストのウイー鐵道線に沿ふ西方進出が豫想され、獨、洪兩軍の戰線は三分されて北はスロヴアキア戰線、西はブラチスラヴア・ウイーン戰線、南はクロアチア戰線に分たれる事とならう、しかして赤軍の攻擊の重點はウイーン防衞線の突破からダニューブに沿つて西進プラーブ方面への北進にあるべく、ドイツ軍もこの方面に最大の警戒を拂つてゐる

獨軍の反擊力强し　英國軍事消息筋の評價するところによれば獨軍現有兵力は總數六百萬で、國防軍は三百師團、諸種の戰鬪組織に屬するもの百五十萬殘る百五十萬が所謂國民挺身步兵師團及び國民突擊部隊に屬してゐる、國防軍三百個師團のうち約百三十乃至百四十個師團がリトアニアを除く東部戰線、三十個師團がリトアニア、二十個師團がノルウエー、十五師團がユーゴスラヴイア、十個師團が豫備部隊であり、ルントシュテツト麾下の西部軍は七十個師團と推定されてゐる、一九四四年度の戰局は年末に至るとともに安定し逆にドイツの攻勢をみるに至つたので、中立筋軍事消息評論家のドイツ戰力に對する評論は變つてきたその原因として數へられるものは

一、モーデル軍が東部戰線中部において赤軍の攻勢を食ひとめたこと

二、赤軍が獨軍の頑强な抵抗に逢ひ東プロイセン侵入を斷念したこと

三、西部戰線のドイツ軍がフランスにおける潰走後よく立ち直つたこと

等の諸點であらう、このやうに獨軍がよく立ち直つた原因については次のやうな諸點があげられる

一、獨軍の兵站補給線が短縮されたのに對し反樞軸軍のそれが延びたこと

二、獨佛戰線では獨ソ戰のときと異りドイツ軍要塞線が深く數段構へになつたこと

三、七月二十日事件により獨國防軍の肅正が徹底的に行はれたこと

特輯

スペイン假想舞踊曲

井上勇

サロン左翼の偏見

サロン左翼のスペイン談議は益々盛んなやうである、世界が滔々として民主主義化してゐるのにスペインが民主々義のマスカレードを踊りつづけてゐるのはアナクロニズムだといふのが彼らの理論と感情のすべてで、スペインが何が故にフランコ將軍のもとによつて悪いかの、納得すべき議論はどこにもない、そのへなちよこ議論の代表的なものに十一月十一日の「エコノミスト」誌の論説がある

「フランコ將軍は最近の記者會見で、その獨裁を根本的には民主主義（オーガニツク・デモクラシー）だといつた、カウデイヨは戰後の平和會議に座席を要求したが、スペインがドイツの共同交戰國であり、ロシア戰線に「青色師團」を派遣したことなどはすつかり忘れてゐる、タンヂエの突撃フアランヘによる英國に對する無數の挑發行爲はどうしてくれるといふのだ、フランコ將軍はチヤーチルの「親切な言葉」をば英國の健忘症の證據として大いに氣をよくしてゐるが、無理もないことはない、しかしチヤーチル自身も今ではフランコ將軍が、やがて英國の好意を期待してよいだけの十分な感謝の念を披瀝したとは信じてゐまい、チヤーチルのフランコ持上げ聲明があつたところカウデイヨの前には日增しに口をひろげる深淵があつたのみだつた、それが今ではカトリシズムに導かれない諸國家とスペインは思想的に結び付くことは不可能だなどと自慢するほど自信を取戻した大體スペインの現在の政權を肯めて行かうなどといふことは無駄骨であるばかりでなく英國の尊嚴に關する、今の政權がつづく限り、スペインの政策が英國に友交的であるなどは有り得ないところだからだ、「カトリツク聯合」を作らうといふのはフランコ將軍が考へ出した野望で、本音は西歐及び地中海における英國勢力に對抗するのが目的なのだ、政治と宗教とを混同して、カトリツクと反カトリツクの徽の生えた紛爭に足を突き込むことは英國にとつては重大な政治的錯誤である、問題はカトリシズムにはなくて、フランコの獨裁政治にあるのだ、英國の輿論は明らかにこれを解消せしむべしとしてゐる、スペイン共和主義者にとつては、フランコ打倒は至上命令的使命だ、英國はフランコ反對派に手を借してこれを强化してやらねばならぬ、それだけではまだ不十分だ、スペインと英國との間に、まだ未解決の、不思議にも忘れられた、少くとも一つの問題が殘つてゐる、タンヂエの國際的性格は英國がこれにたいして手を打つ餘裕のなかつた間隙をねらつてフランコ將軍によつて蹂躙されてしまつた、英國が即時タンヂエの國際性復活を要求して、フランコに最後通牒を叩きつけてもなんの不思議もない位ではないか、フランコが要求を拒絶したならば、經濟的制裁もよろしい、政治的宣傳もなすべきである、これより正當なことはない位だ

英國の本音の有どころ

これが英米の代表的スペイン觀なのだからあきれた次第である、タンヂエからはスペイン軍は撤退したらしいが、タンジエ問題は「エコノミスト」がいふやうな、英國の最後通牒的死命的問題でもなんでもない、少くともチヤーチルは別に考へてゐるところがある、特に佛ソ同盟成立以後は無暗矢鱈にフランコを打倒することのみが英國の能ではないことをチヤーチルは十分悟つてゐるはずだチヤーチルの考へてゐるのはブールボン王朝の復辟だといはれるが、同時にまたフランコ政權の民主化でもあるやうだ、肝心なことはスペインを再び血みどろな內爭の中に投ぜずして、平穩裡に親英マドリード政權を確立することだ、內亂が再び來ればスペインの赤化は必然であり、英國としてはそれは極力回避したい肚である、フランコも別に可愛くはないが、ソヴエトの赤毛布に躍る鬪牛よりも、まだフランコの方がましだといふのがチヤーチル當りの肚であり、親の心子知らずの左翼の議論など片腹痛いと、彼は考へてゐるだらう

テンプルウツドの示唆

五ケ年間アンダルーシアの陽にやけて、ひと角のスペイン通となり名前もサー・サミユエル・ホ

アからテンプルウツド子爵と色揚げした、そのテンプルウツド卿は十九日英國上院で、その蘊蓄を傾けて外交論を一席打つてゐるが、かういふのである

凡ゆる歐洲の國民は、ある種基本的な權利、自由を保障されなくてはならない、それなくしては歐洲の文明は繼續し得ない、ドイツの影響はその背後に腐敗と苛烈なる憎惡を殘して行つた復讐の念は、凡ゆる道德的基準を次第に蝕んでしまつた、歐洲が道義的に復活出來るためには先づ軍事的侵略を終結せしめねばならない、文明に復歸するためにはまづとるべき第一歩は、歐洲及び世界に、若し可能ならばある種自由の保障を獲得することである、ある種自由といふのは例へば法律の前に平等、特定政黨員にたいする別格的待遇の否定、統一した司法制度、特別法廷の否認、宗教の自由、その他言論の自由新聞通信の自由等もかぞへることが出來よう、その爲には憲法の模準化等の方法から始めるよりも、ある種基本的權利の確立に努力を集中した方が賢明である、予の考へでは、すべての聯合國が一つの約定に署名して、これ等基本的な人間の權利を保障することを受諾し、誓約するやうにしたならばよいと思ふ、聯合諸國によつて、例へば國際勞働局のやうな恒久的機關を作り、これをダンバートン・オークス案のごとき枠の内に入れて、各國が如何に、どの程度までこれ等の權利を保障してゐるかの調査をなさしめ、その報告を作つて全般的な道德基準の向上に資するようにしたらどうかと考へてゐるとの演說にはスペインのスの字も、フランコのフもないが、その行間に示唆するところが、十分にフランコのスペインを如何にすべきかについてのテンプルウツドの意見を盛上げてゐる、それはやがてチヤーチルの意見でもあるのだ、蛇足的に說明すれば、何もスペインの制度、政權をいきなり變更しなくてもよい、フランコをしてある種基本的權利を承認、實施せしめたらよろしいといふことにはならないであらうか

フランコ辭職說の源

以上に關連して想起するのは十二月十一日のロイター電報である、マドリードに非ずしてロンドン日付のこの電報は、フランコ將軍にフアランヘ黨解散の意志があり、その上で一層自由主義的な政權を作らうとしてゐると傳へてゐる、スペインの內政については最近種々なる取沙汰があり、專ら傳はつてゐるのはその辭職說であるが、その噂の出所は根元を洗へばいづれもパリであることも指摘しておく必要がある、エクスチエンヂ通信はかかる噂の元となつたのは、マドリードで最近行はれたカウデイヨ閣員とフアランヘ黨員との會談であるとなしその席上で、フアランヘ側はフランコの決斷力の缺除を猛烈に攻擊したにたいし、フランコ側は、より現實的な政策を支持して、時の流れに順應するのが至當であると駁論した結果、會議が決裂したため、さてこそフランコ辭職說となつたのだと稱してゐるが眞僞のほどは保證の限りではない、少くとも、ロイターは再びここでもいち早く、その辭職說を否定してゐるのは興味なしとしない、物事にあまり意味をつけすぎて考へるのは間違ひのもとには相違ないが、この英國の官製通信が、つねにフランコ「擁護」の立場をとつてゐるのは、チヤーチル政府とは何の連絡もないとばかり云ひ切れないものがあるやうだ

マウラ巴里で憂く

フランコ辭職が絶對確實と信じて疑はぬ男にはミゲル・マウラがある、實は辭職說は、この亡命政客がパリで製造して一手販賣してゐるのである彼はフランコを舌先三寸で引鬼り下ろして、その後釜に臨時政權首班として坐り度い希望を持つてゐる、理由は極めて尤もらしい言分がある、「このまま放任すればスペインは再び內亂だ、自分がフランコとその次の政權の中間の政府の首班になつて過渡期を圓滿に推移させ度い」といふのである、彼はフランコ辭職說がマドリードで正式に非認されてもなほ諦め切れず

フランコが辭職を申出たことは絶對確實である公式に否認されようがされまいが、この事實には變りはない、フランコは今日辭職しないなら明日は辭めるだらう、フランコは自分の日がすでに數へられてゐることをよく知つてゐる、俺の臨時政府はすでに出來上つてゐる、あらゆる政黨が支持してくれてゐるのだ、準備はすべて

完了した、何にしてもスペインに内亂の再發を防ぐことが肝心のことだ

と新聞記者に語り、十二月十一日約四十名の一族郎黨を引具してパリを出發、スペイン國境に旅立つた、しかしスペイン國境で彼を待つてゐるものは必ずしも「共和派」のスペイン義勇軍ではなく共産スペイン・マキが絶對優勢であり、共産系のスペイン青年層が、この職業的政治ブローカーを如何にあしらふかは想像するまでもない

政治ブローカーといへば、元大統領マルチネス・バリオを首領とするスペイン亡命政客は一月十日メキシコシチーに「コルテス」を召集し、第三共和制を宣言するといふ、暇のある方は研究して貰ひ度いが、バリオは、アザニヤが辭職したからには憲法によつて當然スペインの大統領たるべきだと主張してゐる、マウラも急がなくては强敵が現れたわけだ

佛「平和的」解決を企つ

じかしスペインに關聯する問題の今の焦點はフランへ内部またはフランコ將軍の心境にあるよりも寧ろ、最近の歐洲狀態がスペインに如何にひびきつつあるかにある、もつとはつきりいへば佛ソ同盟を契機として、フランス、ソ聯、米、英の態度が如何に變移するかにある、モスクワの佛ソ會談でスペイン問題が議せられたかどうかは明白でないが世間の噂ではスターリンは大いにスペイン政策につきド・ゴールを指導するところがあつたといふことになつてゐる、ソ聯の對スペイン政策は内亂時代から終始一貫して變つてゐない、ただド・ゴールはフランコと既に正常外交關係を樹立してをり、スターリンの指示に基いて、今後はどういふ政策をとらうとしてゐるかが問題になるが、これもスターリンの指示があつたことが事實であるとの前提に立てば、ド・ゴールの今後のスペイン政策はほぼ明瞭である、もつともらしい推定として十二月八日の「デーリー・ヘラルド」の豫想を引いてみよう

フランス政府は平和的手段によつて、フランコ將軍の獨裁を排除する企てに積極的に乘出さうとしてゐるのはほぼ確實である、その兆候として、パリ政府はスペインの共和派亡命政客のパリ乘込みに同意を與へてゐる事實を指摘することができる、メキシコにゐるバリオは近くフランスに乘込むといはれるし、ロンドンにゐるネグリンもパリにくることになつてゐる、彼等がフランスで賴りにしてゐるのは諮問會議の議長で、社會黨の實際上の黨首であるヴアンサン・オリオールだ

フランコ、國内態勢を整備

この報道は佛ソ同盟以前であるが、その頃すでにフランス臨時政權にはフランコを「平和的」に追落す意圖が一部に强く存在し、マウラ一派の蠢動を看過したのもそのためである、佛ソ會談は「平和的」を「戰鬪的」に變更せしめたかも知れない疑ひがあるだけで大勢の向ふ方角には變化はない

フランス政府はこれによつて、更に一層の友交國を南境に作り、共産派の壓迫を緩和し、過去數年來の癌である亡命スペイン人の病根を一擧に摘抉しようといふのである、これはソ聯の示唆のあるなしに拘らずフランスの狙ふところであるが、スターリンが指揮棒を揮ふとすれば更に元氣が出て來るであらう、現在のフランコとの外交關係はひたすらに自らの責任において南境にことを構へ度くないフランスの眞任に出るもので、もし、以上の仕事を亡命スペイン政客がやつてくれるならば、大いに陰ながら援助もしようといふのが本音であらう、英國はスペインが赤化するのは困るがこれも共和主義スペインなら歡迎する、但し、共和主義に持つて行かうとして、勢の赴くところ、スペインがいきなり共産黨の、ソ聯の勢力下にはいつて呉れては困るのである、その防波堤としてフランコ將軍乃至はブールボン王朝に利用價値を認めてこれに諦めかねるものを有するものである

かかる四圍の情勢の中にあつてフランコ將軍が如何なる手を打つかは全く不明といふほかはないが、國内のフランコ支持者は情勢憂慮すべきものありと考へて夫々、既に手は打つてゐるやうだ、十八日サン・サバスチアンに名乘りを擧げたフリオ・トマス・コボスを指導者とする「カリオン」部隊などはフランコ親衞隊とも稱すべきもので、かかる團體が各所に生誕しつつあるところ、再び動亂のきざしを感じさせないでもない

昭和十九年十二月廿八日（木）
第三二八四號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

資料

巨人發動機の將來性

（ストツクホルム四日發）軸出力六千馬力といふ巨大な發動機がこと七年以内に生れさうだといふことはブリストル航空機株式會社技術部長B・G・マーカムの説だ、つぎに紹介するのは「空冷式發動機の設計における將來の發展——特に形狀の擴大における諸問題について」と題して王立航空學協會に最近提出された彼の報告書を基としたもので九月號の「フライト・エンド・エアクラフト・エンジニア」に掲載されてゐる

× × × ×

航空學協會の最近の講演においてマーカムは先づプロペラによつて生ずる限定諸條件を簡單に論じた後一九二〇年代の歷史的諸事實を概述し、今後七年以内に大型發動機の設計に關して生ずべき特殊問題を論じた、彼はもし三千馬力乃至四千馬力級の發動機が出來るとすればそれは單座戰鬪機の設計者によつて受け入れられることになると信じてゐる、現在の燃料並びに正味平均有效壓力によりそれだけの馬力を出し得る發動機であれば今後七年間には四千五百馬力乃至六千馬力を出し得ることになる、恐らくはこの時代の戰鬪機の要求を立派に滿し得る筈である、現在の重爆級の爆撃機は近い將來には必ずや約三千馬力の發動機を使用し、戰鬪機に使用するものとは同程度ではなくともとにかく大いに出力を增すに違ひない、即ちこの種の航空機は百トン級の重航空機となるであらう、百トンといへば五千馬力乃至六千馬力級の發動機を使ふものとして現在の知識或ひは經驗をもつて設計し得る最大限度である、この種の原型を設計製作するに要する時間を考へると、さうした發動機は直ぐ必要となる譯でもなささうだ

この種の航空機に關しては複式發動機の發達が現在の競爭となつてゐる、即ち馬力が半分の發動機を組合せて偏流調整式のプロペラを二つ回轉するのである、この裝置が生れたとなれば唯一個の高出力發動機よりも殆ど確實にしかも早く何か信賴し得るものが得られるといふことになる、複式發動機は翼の中に裝置することが容易で、抗力を減ずるといふ利益がある上に恐らくは重量的な不利が極めて僅少である、蓋し百トン級の航空機の可能性は、五千馬力乃自六千馬力の發動機二對をもつて偏統調整式プロペラを回轉し、結局一萬乃至一萬二千馬力の力を出し得ることになるのである、恐らく發動機の巨大なることは小さな發動機を翼の各所に配置する場合の利益を凌駕するであらうが、同時にプロペラ一個當りの最大出力に關しても種々の條件が生れるものとみられる、出力にたいするプロペラの大きさはつぎの通りであるといはれる

空冷發動機

二萬呎まで
直徑十三呎
六翅
偏流調整

三千馬力
直徑十六呎
八翅
偏流調整

六千馬力
直徑二十呎
八翅
偏流調整

一萬馬力
直徑二十二呎二個
六翅
偏流調整

三萬五千呎まで
直徑十七呎
六翅
偏流調整

（牽引二、推進二）

非常な高度で非常な高馬力を扱ふといふのであるから從來の高馬力發動機の使用は困難であるがしかもそれが決して實現可能だといふ意味ではない

殆ど五百哩時に達せんとする速度については航空機を改造して壓縮作用を避けるやうに提案された、この數字より遙かに高い速度となるとどんなに馬力の强いピストン式發動機をもつても、排氣タービン式即ち噴射推進航空機と爭ふことは無理らしい

前大戰直後千馬力程度の大型發動機を作らうとの努力は少からずみられた、恐らく一番有名なのはネーピア「クラブ」だらう、面白いことに實際に成功したのは殆どなく、一千馬力に近い出力の發動機で初めて大量的に生產されたのはブリストル「ペガサス」ロールスロイス「ケストレル」であつて、後者はジユピター「イーグル」から發達

しそれぞれ同程度の排氣量を有し一九二二年頃の性能は三百八十馬力であつた、戰後既存發動機の擴大によつて益々大きくなる航空機用馬力の需要に應ずる可能性は確かに少かつたが、一九二〇年から一九三四年までの期間には比出力百五十パーセントが增加された、これは主としてピストン速度の增大によるものであり、燃料並びに過給裝置の改良によるところ大である

稀薄混合氣においても濃厚混合氣においても爆發率を向上せしめるやうな改良燃料油が得られるといふことになつたので次の數年間は既存の壓縮裝置において吸氣壓力を高めるといふこと或ひは改良特殊燃料の消耗率を壓縮率の引上げによつて改善するといふことに費された

壓縮率の影響

燃料消費の問題を離れても壓縮率の引上げによる熱效率向上は冷却問題を容易にし、種々の發動機において相當の利益を齎した、加ふるに一定出力に對して氣筒の大きさは壓縮率の引上げと共に大きくならなければならないため、冷却面積もまた大きくなるわけである、この二つは發動機内部の冷却抗力の著しい減少を齎すごとき要素である、だが高壓縮率發動機の體積が大きいことは始動冷却抗力の減少以上に形狀抗力を增すことになるかもしれない、ある種の航空發動機ナセルの直徑は引込式降着裝置に要する空間によつて決定され、發動機の直徑によつて決定されるのではないため、これを一般に適用することは不可能だ、他の設備については、吸氣率の大な低壓縮率發動機は小型であるから翼に收めることが可能で、從つてかなり抗力を減ずることも出來るわけだ、以下の比較においては壓縮率の變化による抗力の變化は一切無視することとする、燃料消費に關する凡ゆる要素を論ずるわけではないが、比出力の增大の可能性を論ずるためには、使用される壓縮率の曲線を考慮することが必要である、第一回は壓縮率並びに壓縮率の發動機重量に及ぼす影響に相應する燃料量の變化を示す、壓縮率の變化に伴ふ重量の變化は壓縮率が高くなるにつれて排氣量も正味平均有效壓力の低下と共に增大し、結局恒常的な出力を維持するものとして計算された、また七對一の壓縮率においては、發動機の大きさの變化に影響されるこの發動機部分の量は軸出力一千馬力の經濟的低回轉率における巡航出力に對して三千封度であるとされる、この部分の重量は排氣量に正比例するものと仮定する、第二圖は發動機重量の變化と壓縮率の變化に伴ふ燃料量即ち徹料荷重の變化との間の差を示すものである

高壓縮率の代償

稀薄混合氣巡航條件下の高度一萬五千呎における千馬力の經濟飛行による燃料の節約は通常二百七十封度で七對一乃至八對一である、一定量の燃料における發動機の比出力は異常爆發を避けて吸氣壓を低くするために低下する、出力減少を或程度考慮すると送風器における驅動力減少は通常十四パーセントで、最高氣筒壓は大體どんな發動機でも等しく、恐らく高壓縮低吸氣の發動機において幾分高いかといふ程度である、高壁縮發動機の重量は比出力の減少におよそ比例して增大する、發動機が最高出力の半分で運轉してゐると假定すれば、潤滑油容器その他の設備の重量は通常四百三十封度を增す、從つて經濟的な觀點からみれば徹料荷重における損失は燃料節約の額が約三十志なのにたいして、百六十三志に上るとみなければならない、一般的にいへば特に高い壓縮率といふものは十五時間以上の航空でない場合は如何に經濟的に運轉しようとも得であるとは考へられないのである、對潛哨戒のための沿岸警備隊航空機用に特に作られる高壓縮率發動機は餘程前から要求されてゐたが、一般には壓縮率は殆ど現在の狀態を續けるだらうと信ぜられてゐる、以上の假定に基き今後七年間に豫想される比出力の增大を檢討しよう

生産に際して現存精油施設並びに技術を使用しても、戰後直ちに別段鉛含有量を增すことなく正味平均有效壓力を三〇%增大し得る燃料を生産することが可能である、以後五年すれば、現在の百オクタン價ガソリンよりは同一吸氣溫度で少くとも正味平均有效壓力の五〇%は高い新燃料を得る確信がある、だが一定高度において所要吸氣壓を

得るためには吸氣壓率を引上げる必要あり、これなくしては如何なる高度においても五〇パーセントの出力增加は望まれない

第三圖は高度一萬五千呎を保つために吸氣速度を增した場合の出力にたいし、プロペラ尖端速度と燃料が一定なる場合の出力を示したものであるこの場合は氣筒壓縮率が變化しないものと假定する、五〇パーセント燃料をもつてすれば最終冷却裝置の改良一定高度における三五パーセントの出力增加を實現し得ることが認められる、更にこの曲線は改良燃料を使用すれば一定高度における最終冷却の價値が增大することをも示す、第四回は點火時期調整の正調なる場合の正味平均有效壓力と最大氣筒壓の關係を示す、これは現在空冷發動機の最大出力にたいして使用されてゐるやうな極めて濃厚な混合氣を使用してゐるので、若干修正されてゐる、氣筒壓が高いといふことは往復部分の負擔が增すことであり、結局輕荷重における運轉にあつてもベアリングにおける慣性荷重が增すといふことである、高荷重にあつては氣壓の增大が起動荷重を助ける、かくて五年のうちには四二パーセントの出力增加がみられる、今日の摺動辨發動機は第五圖に示される如く素晴しい呼吸性能を有し、プロペラに內部で連絡せる吸氣調整裝置を加へ結局輕荷重と高回轉數との組合せを避けることになる、また論文の筆者は現在の星型發動機における或る程度のピストン速度の增加をも考へることが大切だと信じてゐる、今後七年の間には高速度の結果として五乃至十パーセントの出力增加がみられると思はれるが、大體五パーセントと算定してある

結局戰後五年間に豫想される出力增加の總計は約四二パーセントに達するわけで、現在の發動機が二千馬力出すとすればその頃には三千馬力級にはなる筈である、現在四千馬力を出してゐる發動機は新しい時代において五千乃至六千馬力といふ要求に應ずることが豫想されよう、第一表にみる如く、總て近代の高性能航空發動機は型に關係なくピストン面積一平方吋當り約四・八馬力を出す一平方吋當り五馬力といふ數字は普通の設計で得られる最高であり、四千馬力の發動機は第二表にみられるどの氣筒配列においてもピストン面積八百平方吋を必要とする、この大きさの發動機は七年後には約五千七百馬力を出す、三十二氣筒とか四十八氣筒の他はあらゆる氣筒配列が最近使用されてゐるが、如何なる目的にも現在恐らくこの種の空冷發動機として實際に使用し得る唯一の最適設計といふべきは、十八氣筒から三十二氣筒までである

H型發動機には連結した二本の曲軸が必要である、報告者はX型三十二氣筒四曲軸星型發動機にたいしては中央に減速齒輪二個を配した二本の軸を使用することが好ましいとしてゐる、もしこの方式を採用しないとすれば、三十二氣筒發動機の軸は由しい捩れ振動といふ問題が生ずるものとみられる、四曲軸星型發動機の利點とされるのは出力の半分までメイントン接合を通じて傳導されることであり、主軸を一曲軸當り七氣筒に分けることは不可能であるから複式の軸が必要となつてくるのである

摺動辯發動機の設計

星型配列においては十八氣筒が當然選ばれるであらう、大概の技師は二十八筒を選ぶが、設計技術が同等であるとすれば結果は確かにこれが最もよいやうである、十八氣筒の大直經發動機においても、決して實用に向かないといふわけではない二十一氣筒となると氣筑の內經を十分に減ずることが出來ないので餘計複離になるが、二十二氣筒では近代的單摺效辨設計によつて可能となつた速度で運轉する發動機として主桿大端承裝置に多くの難題がある、また報告者は比出力の增大に關し直面すべき諸問題に關聯して空冷星型指動辨式をよしとしてゐる、氣筒壓の增大による問題は高率の熱並びに速度の消散である、減速齒輪の設計並びに製作を政良すれば、根本的な星型發動機の應力增大に資するであらうが鋼質の改造からは大して得るところはあるまい、中心强度が高く、表面硬度も最大で、しかも切削に强いといふ信賴すべき特殊鋼の要求は餘り緊急の問題とされてゐない英國の會社は六年前さうした鋼鐵の研究を開始したが、これは今問題にしてゐる時代までには實を

結ぶに違ひない、曲軸は如何なる航空發動機においても最も重い部分品の一つであるが、極めて重要なものだから、他の多くの部分と同じやうに設計も重量といふ點を特に考慮してゐる、將來は中心强度が高く、質も改良され、振動が少く、十分出力を吸收し得るやうな材料が使用されて單位應力を引上げるであらう、重量を限界門に止めるためにはフアツト・エンド・ホイツトニーが使用してゐるやうな普通の軸承を使用したヒルト接合といふことが考へられる、鋼の曲軸室は輕合金のものに較べると絶大な强度が得られるが、その根本的な難問題は十分な剛度を得るといふことである、高排氣壓における發動機の運轉を圓滑ならしめるためには曲軸室の剛度といふ問題が重大になるかもしれない、英國の航空機會社は主桿大端部の軸承用として良質の錫臺白色合金を使用し得る點極めて幸福だ、この材料は殆ど軸承の摩察にたいしては抵抗力が完全であり壓埃にたいしても强い、疲勞抵抗力は比較的低い、疲勞應力は摺動辨の軸承部分が曲軸に固定されてゐるため避けられてゐる、この曲軸は非常にしつかりしてゐて、歪曲による應力は殆ど無視することが出來る、もつとも荷重の高い點においても壓力は約二十パーセントの週期的振動である

總ゆる觀點からみて主要問題といふべきはピストンの冷却である、米國では開口式ピストン設計を使用してゐるが、これは換氣が十分なので如何なる注油も容易である、撞木ピンは如何に長い方がよいといつても長いピンとなると荷重に耐へるために外徑が大きくなければならないがある程度輕くする必要があり、同時に內徑も大きいことを必要とする、從つて楕圓運動を缺くこの種のピンはピストンに對する惡影響を別にしても失敗に終るかも知れない、英國の設計者は比較的に直徑の小さな、短くがつちりした撞木ピンを好むやうである、摺動辨ピストンにも若干の小さな不利がある、卽ち二重の油膜と摺動辨のために氣筒を通す冷却が效力を減ずるからである、だがこれは過大視さるべきではなく、實際には摺動辨は蹩くばかり熱を浸透させ易い、だが大體摺動辨發動機おいては側面の熱流が少いから內徑六・五吋乃至七吋となると、冷却問題は可成り困難である、鹽冷式ピストンも提唱されてゐるが、實際には腐蝕侵蝕といふことに問題を生ずる、いづれにしても既に十分熱くなつてゐるピストン・スカートの鑞の溫度を高めるといふ點で根本的に不適當だ、大型ピストン・スカートを通して餘り多量の熱を傳へないから立派な解決といへようが、直接の油冷を必要とする、塡環式は揚辨式程大きな增大をみない噴油裝置はピストン桿に對して大きな役割を演じこれがピストンでも特に應力の加はる部分であるだけに非常に具合がいい、だが內徑が大きいと益益直接の頭部冷却が必要で、內徑が大きすぎるとピストンの中心に對し給油する連絡軸といふものを期待しなければならない、これは摺動辨並びに筒を通じての放射傳導には餘り依存しない直接空冷式の改良に向ふ最近のピストンの傾向と極めて類似した問題である

現在の液冷裝置は極めて冷却抗力が低く、氣象條件によつては却つて幾分驅動力を增す位である、現在の發動機の諸裝置は勿論もつと丈夫なものにならう、そして恐らく液冷發動機の冷却抗力を最も多く減ずるのは冷却溫度の引上げによつてであらうと思はれる、冷却强度を增すこと——恐らくは局部的なフイン裝置または頭部に二次面を設けること——によつて氣筒溫度の增大を出來るだけ小さくして、さうした目的を達するための努力が行はれるに違ひない

星型發動機の抗力

現在の空冷發動機裝置も極めて冷却抗力は低く今日最優秀のものとなると「ICAN（國際航空委員會）」の條件下では冷却抗力零に近い、實際には熱帶における地上冷却にも餘り面倒が多いわけではなく、全機分解檢査をしてみると生命が短い代りに過重容量の大きいことは明かだ、液冷發動機の限定諸條件は遙かに彈性がない上に、放熱器の沸騰は決定的な限界をなす

再び抗力問題へ

空冷發動機は冷却裝置の改良によつても向上が期待されるが、むしろ高溫度の使用によつて得

る所が多いとみられる、しかもフインを改良することによつて非常に大きな向上が可能である、第六圖は一定の氣筒において作用溫度の引上げにより抗力が如何に減するかを示してゐる、抗力の減少は殆ど悉くフインの高溫度により、熱消散による減少は無視して差支へない、フイン溫度を上げ得るのは頭部の中間作用溫度の增大による、その他平均フイン溫度の引上げに資するのは第一に傳導率の高いフインを使用すること、第二に必要以上に冷却力のある場所で冷却フインの深さを減すること、第三にはこの第二條件を無視して頭部の最熱部分の冷却の改良に力を注ぐことである、もしこれに成功しすれば（必ず成功するはずであるが）冷却の週度な部分の溫度は發動機内における氣壓低下の反應によつて引上げられる、發動機の冷却は衆知のごとく貯重な驅動力を生ずるのである、この原理は空氣を吸入し、壓縮し、熱し、ついでそれを膨脹して後方に放出するにある

高速度における空冷裝置の利點

飛行速度は恐らくフアンに助けられて壓縮を生ずる、もし空冷發動機が十分空氣洩れのないやうなフインを備へ、空氣がその仕事をせずに通ることを許さないやうになつてゐるとすれば、氣筒はどの部分も溫度に冷却されることなく空冷發動機でも空氣溫度が高められることになる、更に金屬と氣溫との差が大きくなる結果、不可避的な摩擦は熱の移動と共に減ずる、これらの諸要素は高速度において空冷發動機を理論的に有利ならしめるが、同時に冷却騷動力も決して無視し得ないことになる、設計においては根本的な利點が過度の導管喪失その他によつて相殺されないやうに注意される、導管喪失を最低限度まで引下げるといふことの重要性は發動機の幾何學的設計に影響し、結局前緣導管を使用するといふ從來の方法も棄てさせることになるかもしれない、空冷發動機は金屬と大氣の溫度差が大きいために液冷發動機ほど熱帶溫度に左右されない、同時に高々度における低溫にも餘り利益を得ることなく極端な高度においては空冷發動機の方が樂だといふことも考へられるのである

幸ひにして空冷發動機は空氣が稀薄になつて氣流の量が減じても放熱器ほど影響を受けない、摺動辯式空冷氣筒の溫度差は氣流量に應じて〇・四乃至〇・五馬力である、普通の放熱器裝置では大體〇・七である、結局空冷發動機は三萬五千呎の高度においても地上と殆ど變らないほど冷却されるが、これに反して放熱器裝置ではこの高度において五千馬力の機關機用發動機を冷却するのは大問題である、實用上の利便を一切除外してみても全體的に論じて現在最優秀の空冷裝置は、氣溫條件下における抗力が液冷發動機よりも決して高くなく、熱帶的條件下では却つて低い、更に空冷における改良の前途が有望だといふのは、液冷裝置の方は導管放熱器の效率水準が既に非常に高くなつてゐるといふことによる、將來における發動機は空冷、液冷とも極めて冷却抗力が低く、冷却媒體の選擇においてこれが決定的要素とすることは先づあるまい、特に出力の高い戰闘機においては餘り大きな放熱器を備へる餘地が得難いといふ點で空冷發動機が最も有利であるとされるのである

第一表　ピストン面積一平方吋當り最大軸出力

發動機名（100オクタン價ガソリン使用）	内徑（單位吋）	總ピストン面積（單位平方吋）	軸出力	平方吋當り軸出力
セイバー	五	四七〇	二二〇〇	四・六七
マーリン	五・四	二七五	一四〇〇	五・〇九
グリフォン	六	三四〇	——	——
ライト・トーネイドー	四・五	五九六	二三五〇	三・九四
P&W、R二八〇	五・七五	四六七	二〇〇〇	四・二八
ライトR三三五〇	六・九二五	五三一	二三〇〇	四・三三
ハーキュールズ	五・七五	三六四	一七〇〇	四・六七

第二表　ピストン面積八〇〇平方吋にして現在の燃料をもつて軸出力四〇〇〇馬力、七年後には五五〇〇乃至六〇〇〇馬力を可能とする氣筒配列

氣筒數	氣筒内徑（吋）	氣筒配列
九	一〇・六	星型
一二	九・二	中央に縱列を加へたる、型
一四	八・五	星型
一六	八	H型、V型、X型または二曲軸星型
一八	七・五	二曲軸星型または中央に縱列を加へたるV型
二一	七	三曲軸星型
二二	六・八	二曲軸星型
二四	六・五	H型、X型、W型、または中央に縱列を加へたるV型

第一圖　發動機、燃料重量の壓縮率にたいする變化グラフ（壓縮率七對一を比較の基礎として最大出力の五〇%をもつて巡航する二千馬力發動機を假定）
縱軸　〇より上減量、下增量（單位封度）
橫軸　壓縮率
座標△發動機重量（三〇〇、六・一〇）（〇・七）（三〇〇、七・七〇）（七〇〇、八・五八）
△航空時間十五時間の燃料重量（七〇〇・八・八〇）（三〇〇、七・七五）（〇・七）（二〇〇、六・五〇）
△航空時間十時間の燃料重量（五〇〇・九）（三〇〇、八・一二）（〇・七）（二〇〇、六・三〇）

第二圖　壓縮率にたいする徵料荷重の變化グラフ（壓縮率七對一を比較の基礎として最大出力の五〇%をもつて巡航する二千馬力發動機と假定）
縱軸　〇より上徵料荷重增量、下減量（單位封度）
橫軸　壓縮率
座標△航空時間十時間の徵料荷重（四〇・六）（三〇、六・五〇）（〇・七）（一〇〇、七・七〇）（二五〇、八・四五）（四〇〇、九）
△航時空間十五時間の徵料荷重（まづ下から始まり橫軸を越してから再び下降す）（一〇〇、六）（三〇、六五〇）（〇・七）（一〇、七・三〇）（七〇、八・三〇）（一五〇、九）

第三圖　重量一定なりとして改良燃料により推定出力增加グラフ
縱軸　高度一萬五千呎、吸氣調整、プロペラ尖端速度一定なる場合の出力の%變化
橫軸　誘導溫度一定なる場合の燃料增加の%變化
座標△最終冷却裝置五〇%燃料（一〇三・八、一〇〇）（一一〇、一一〇）（一二〇、一二五）（一三〇、一四〇）（一四〇、一五八）
△最終冷却裝置なき場合（一〇〇、一〇〇）（一〇七・五、一二〇）（一一四、一三九）（一二〇、一六〇）

第四圖　最大氣筒壓の中間氣筒壓にたいする關係グラフ
縱軸　最大氣筒壓（五〇〇を起點とする封度平方吋）
橫軸　正味平均有效壓力（一〇〇封度平方吋を起點とす）
座標△壓縮率八對一の場合（六一〇、一〇〇）（八〇〇、一三七・五）（一〇〇、一三五〇、二五〇）（一五三〇、二八七・五）
△壓縮率七對一の場合（五六〇、一〇〇）（七七五、一五〇）（九五〇、一八七・五）（一一〇〇、二〇〇）
△六對一の場合（五二五、一〇〇）（六五〇、一三七・五）（七〇〇、一五〇）（九〇〇、二〇〇）（一一〇〇、二五〇）（一三〇〇、三〇〇）

第五圖　誘導溫度を攝氏百度に固定し地上において發動機試驗を行ひたる容積效率ハーキユールズ發動機）
縱軸　容積效率（%）
橫軸　回轉數（分）
座標（九〇、一八八〇）（九二、二〇五〇）（九四、二二〇〇）（九六、二三二五）一〇〇、二五九〇）（一〇二、二七三〇）（一〇二・七、二八六〇）（一〇三、三〇〇〇）

第六圖　熱帶曲線とICAN曲線
縱軸　軸出力にたいする冷却力百分比
橫軸　最高氣筒頭溫度（攝氏）
座標△熱帶曲線（九・八、二八五）（八、二九〇）（六、二九七・五）（五、三〇五・八）（四、三一〇）（三・三、三一五）
△ICAN曲線（六、二六二・五）（四、二七二）（三、二七九・五）（二、二八八・五）（一、三〇七・五）（〇・八、三七五）

大正十五年十月廿九日第三種郵便物認可　昭和十九年十二月廿九日(金)　第三二八五號

同盟通信 海外電報

東京麹町區日比谷公園二番　電報發行人　森　恭伊八　電報編輯人　同盟通信社

【目　次】

會談二日未だ妥結に至らず……三二七八
休戰協定の破棄を非難……〃
政治的生命を賭す……三二七九
ベルギー南部で大戰車戰……〃
三千平方粁を占領……〃
マンチェスターにV一號……〃
米洲外相會議開催か……〃
佛政權ルブリンに代表派遣……〃

【米　洲】

前線の要求で軍需生産を擴大……三二八〇
駐伯新大使……〃
國務長官ダ・オ案を自畫自讃……〃
世界民間航空機構案……〃
タイヤ割當減少……〃
十一月中勞働罷業……〃
グアテマラ對西斷交か……〃
陸軍輸送船沈沒……三二八一
ピアーソンの暴露記事に當局困惑……〃
ボールドウインの二論文……〃

【英　帝　國】

經濟戰爭省を存續……三二八二
在印兵の服務期間を短縮……〃
ロンドンのXマス交通罷業……三二八三
フレーザー濠州に歸還……〃

【歐　洲】

ボノミ政權駐米大使……〃
伊勞働組合を解散……〃
政治犯人を釋放か……〃

【ドイツ】

防禦線構築に八十萬を動員……〃
ベルリンの大公共待避所……〃
敵輸送船六隻擊沈……〃

【反樞軸陣營】

ソ佛兩國條約を批准……〃

【特　輯】

フランス木枯抄(下)……三二八四

【資　料】

當の外れたクリスマス……三二八八

世界の焦点

近代軍の機械化が愈々高度となるにつれて器材の量に對する信仰が益々強まり、遂には物量が戰鬪の一切を決定するといふ考へ方が支配的となつてゐる、この考へ方はソ聯における少數精銳軍か大衆軍かの論爭に端を發し歐洲戰勃發當時におけるドイツ軍の電擊戰術の批判を經て强固な根を張り、更に反樞軸軍のノルマンデイ侵攻作戰によつて搖ぎない形をとつた、卽ち決定的瞬間に決定的地點で攻勢に出ることを勝利の要諦としたクラウゼヴイツツの敎理に更に決定的な物量の投入といふ契機が新たに加へられた譯だ、この「時+場所+物量」の方式は完全に正しいが、世界大戰の激化に伴ひ以上の方式はいつの間にか「物量+物量+物量」といふ方式に歪められてしまつた、張本人は米國である、米國の考へ方では戰鬪の一切を決するものは兵力器材の量であり、それ以上のなにものでもない

ドイツ軍のクリスマス攻勢は以上の謬見を徹底に粉碎した、戰車六箇師を含む十六箇師二十二萬五千の總兵力は、今回の攻勢規模としては最少限度のものだ、しかも以上の少兵力をもつて反樞軸陣地を縱橫に蹂躙し、ボールドウインをして「歐洲戰最大の危機」と叫ばせた所以のものは、なによりもまづドイツ軍の旺盛な士氣と卓拔した作戰能力にある、スターリングラードの反擊が成功したのは赤軍の旺盛な士氣と卓拔した作戰能力にあつたことは今日異論のないところだが、戰爭において背水の陣を布く破目となつた軍隊が屢々奇蹟的な力を發揮することは戰史の夙に敎へるところである、もつとも以上の二契機だけでは不十分だ、近代戰鬪の方式は「物量+士氣+作戰能力」でなければならない

會談二日未だ妥結に至らず

―エラス團對案を提出―

（リスボン二十七日發）英國首相チヤーチルの提案に基づき、EAM團並びにエラス兵團の代表を含むギリシヤ各派代表は二十六日午後五時半からアテネ市の英軍司令部グランド・ブルターニユ・ホテルにおいて大主教ダマスキノス師司會の下に圓卓會議を開催、協議實に四時間半に及び、更に二十七日午後會談を繼續したが左右兩翼の意見は依然對立して、首相チヤーチルを初め英國代表躍起の斡旋にも拘らず、前後三週間に亘るギリシヤ内亂は未だ解決の曙光を示すに至らない、會議の席上において英國代表がエラス兵團の代表を非難し、同兵團が二十六日砲撃休戰協定を無視したと指摘したとさへ傳へられる位で、會談の前途は依然困難とみられる

チヤーチル熱辯を振ふ　第一日の會議に續いてその後發表されたところによれば、劈頭英國首相チヤーチルが畢世の熱辯を振つてギリシヤ各代表に對し

一、今回の圓卓會議についてはレバノン會議においてギリシヤ各派の支持を受けたと思はれてゐた首相パパンドレオと協議し贊成を得たばかりでなく、スターリン議長並びにルーズヴエルト大統領の支持を受けてゐること

一、英國政府としては圓卓會議の議事を妨害する意思はなく、君主制をとるか、共和制を採擇するかはギリシヤ國民の決定に待つ、從つて會議もダマスキノス大主教に司會を依頼するが、英國政府としてはギリシヤが聯合國の間に名譽ある地歩を回復することを希望する以外何等物質的な利益を求めないこと

一、但し自由な總選擧によつてギリシヤ國民の總意が確認される第一歩として先づギリシヤ各派が英軍司令スコビー少將の休戰條件を受諾し、ギリシヤ政權の基礎を擴大すること

を強調した、ついで英軍司令サー・ハロルド・アレキサンダー元帥、EAM代表パルテサリデスがあひついで挨拶を述べギリシヤ代表だけ居殘つて協議を遂げた

左翼提案の骨子　右協議の結果に基づき左翼代表は二十七日の會議に次の對案を提出した

一、ギリシヤ國内の警察官並びに一般官吏の肅正並びに憲兵隊の解散

一、國民大多數の信任を受けてゐる人材を首相として新政權を結成し、同政權にはEAM團並びにエラス兵團から四割乃至五割の代表を出すこと、特に内相、法相、外務次官の椅子を要求する

一、他の各派が反對しなければ攝政府を設置すること

一、ドイツ軍との協力その他非愛國的犯罪を犯した分子の處罰

一、内亂後組織された國民警備隊の解散、再組織

海軍の改組特に將校團の肅正

一、君主制を存續するか否かについては國際管理委員會の監督の下に二月の第一日曜日に信任投票を執行すること

右提案に對しパパンドレオ政權は目下檢討を加へてゐると稱してゐるが、元首相プラスチラス將軍の如き會議の席上においてかかる提案が受諾される場合には余は直ちにギリシヤ領土を立去るであらうと言明したと傳へられる

アテネからのロイター電報は確報ではないがと前提し、第二日の圓卓會議の結果攝政府を設置するに決定し、ただ時期については各代表の意見が分れてゐるが、卽時設置説が有力だと多少希望的な觀測を傳へてゐるが、人民黨の外に自由黨も左翼の提案には反對してをりUP電報によればパパンドレオ政權の代表は左翼の提案に憤慨の面持ちだといはれる位だ

休戰協定の破棄を非難　（リスボン二十七日發）アテネからのロイター電報は二十七日次の通り報道してゐる

「英空軍はエラス兵團の申入れに基き二十六日午後三時から三十分間一切の作戰を停止したが、定刻午後三時にピレウス外港の西北丘陵地帶に据え

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

られたエラス兵團の砲座がピレウス港内に二發砲彈を打込んだ、一彈は港内に碇泊してゐる英國軍艦の手前に落下、他の一發は英國海軍司令部の附近に落下したので休戰協定は事實上破棄されるに至つた、戰鬪は爾後隨處に展開されエラス兵團はアテネ郊外五哩の英軍飛行場並びに北郊外の發電所に對して砲撃を加へたが英軍は撃退した

政治的生命を賭す

(ストツクホルム二十七日發)チヤーチルがクリスマス休日を利用老軀を挺し空路一千七百哩、アテネに乘り込んだことは英國政界に深刻な印象を與へてゐるが、ロンドン來電によれば當初外相イーデンが單身乘り込む豫定のところを最後の瞬間に首相が同行することを提案、戰時内閣の決議と英國王の承認とを得てアテネ乘り込みを斷行したと傳へられる、「デーリー・メール」紙の報道によればチヤーチルは國内各派のギリシヤ政策反對に鑑み今回の思ひ切つた手段に出たといはれるが「ダーゲンス・ニヘター」紙その他スエーデン各紙のロンドン特派員はギリシヤ内亂の解決如何にチヤーチル首相の政治的生命がかかつてゐると報道してゐる位だ

ベルギー南部で大戰車戰

(ベルリン二十七日發)總統本營二十七日正午發表

一、ベルギー東南部及びルクセンブルグ中部における大戰鬪は愈々熾烈の度を加へ、ラローシュ北方地區では二十六日大規模の戰車戰が展開されこの戰鬪で米第三、第七戰車師團の戰車七十輛を撃破乃至鹵獲した、ドイツ側の損害は輕微である

一、バストーニュ西南方及び南方から攻撃に出た米軍は同市を固く包圍するドイツ軍の圍を解かうと必死の努力を續けてゐる、ルクセンブルグ中部でも反樞軸軍の新たな攻撃は晝餅に歸し、エヒテルナツハ西方地區で僅かに進出したのみである

一、ドイツ軍は西部戰線全域で二十六日反樞軸戰車百五十八輛を撃破乃至鹵獲したが、このことは戰鬪の熾烈さを物語ると同時にドイツ軍戰車の優位を裏書するものである

一、アルザース・ロレーヌ北部國境ではドイツ軍は數地區で反樞軸軍を後退せしめ、ジークフリート前面のワイセンブルグ東北方ではドイツ軍の掃蕩作戰は順調に進捗多數の據點を奪回した

一、二十六日も終日熾烈な空中戰が展開され、ドイツ戰鬪機隊は反樞軸機三十五機を撃墜した

三千平方粁を占領

(リスボン二十七日發)アイゼンハワー司令部附ロイター特派員の報道によれば、ドイツ軍は今次攻勢開如以來十二日間にベルギー及びルクセンブルグにおいて三千二百平方粁の地域を占領し、九十三粁前進したといはれる

マンチエスターにV一號

(ストツクホルム二十七日發)ロンドンからのAP電報は二十七日マンチエスターがまたしてもV一號流星彈の攻撃を蒙つたとのベルリン放送を傳へ、これはドイツ軍の親子飛行機が北イングランドまで挺身攻撃を敢行したのか、改良型V一號がそれだけの飛距離を有するのか何れかだと報じ暗にベルリン放送の眞實性を認めてゐる

米洲外相會議開催か

(リスボン二十七日發)ワシントン來電=外交消息筋の語るところによれば米洲各國の外相會議が近く開催の運びとなる模様で、その日取も最近のうちに發表されることとならうといはれる、アルゼンチン政府はすでに二ケ月以前に米亞兩國關係の調整をはかるため米洲外相會議の開催を提案してゐるが、今回の外相會議はアルゼンチンの提案に基づくものではなく、却つてアルゼンチン代表のみがこの會議に出席を拒否されることとならうといはれる

佛政權ルブリンに代表派遣

(リスボン二十七日發)パリ來電=ド・ゴール政權は二十七日ルブリンのポーランド國民解放委員會を承認し初代代表としてクリスチヤン・フオーシエを派遣することとなつた旨發表した、フオーシエは一九四〇年ロンドンのド・ゴール派にフランス空軍將校として最初に參加した人物で現在ド・ゴール政權の對ソ軍事使節團付武官としてモスクワに駐劄してゐる

【米　洲】

前線の要求で軍需生産を擴大

（リスボン二十六日發）米國戰時生産局長官クルーグは二十六日フイラデルフイアで記者團に對し次の通り述べた

戰時生産局は目下歐洲戰爭が今後もなほ相當期間繼續するとの想定の下に軍需生産計畫を進めてゐる、前線からは重砲、輕火器、特に迫擊砲の注文が殺到してゐるが、迫擊砲生産のためには新たに工場が設立されねばならない、但しこれら工場の建設にとりかかつたとしても明年八月以前には完成しないだらう

駐伯新米國大使

（リスボン二十六日發）ワシントン來電によれば米國政府は前國務次官補アドルフ・バールをブラジル駐劄米國大使に任命した旨二十六日發表したといはれる

國務長官ダ・オ案を自畫自讃

（リスボン二十六日發）シカゴ來電＝國務長官ステチニアスはシカゴで發行されてゐる「キワニ」誌に一文を寄稿し次の通り述べたダンバートン・オークス會談の提案が何故に重要かといふと、第一にこの提案は平和を維持する上に有效且つ實行力ある組織を設置しない限り、われわれの國を必ず襲ふであらう災害を避けるただ一つの策を示したことである、科學者達の意見によれば今後十年乃至二十年間にロケツト爆彈は信じられないやうな速度で何千哩の距離を飛べる所まで發達し、海洋とか生産力とか人力によつては正確に目標を定めた音より早い速度を持つ新兵器の齎らす大きな災害を防禦することは出來ないといふことである

諸國家の關係が相互依存の域に達した時、各國がそれぞれ繁榮するには共に戰爭の恐怖及び軍備競爭の重荷から解放されるために努力する他はない、われわれが諸國家の間に協同機關を作り出し更にこの協力によつて平和を固め、共榮を促進する國際機構の設立にまで押し進めたこと、これが第二に重要な點である

第三はこの提案が一國家の計畫を代表するものではなく、世界四大强國の一致した意見により提案されたといふ點である、このやうに大規模な意見の一致は戰爭中未だ見たことのないものであつた、余はこの提案が速かに反樞軸全體會議に提出され、規約の起草されることを希望してゐる、これによつてわれわれに平和と繁榮とを齎すやう計畫されたこの國際機構は最終的形式を整へることになつてゐる

世界民間航空機構案

（リスボン二十六日發）ワシントン來電＝過般シカゴで開催された反樞軸國際航空會議終了直後、國際航空に從事してゐる會社の代表が同市で會談し、空路による通商促進を目的とした世界的機構を創設するに決した模様だが、彼らは二十六日反樞軸諸國の航空關係者數百名に對し、新機構に關する試案を送附すると同時に明年四月十六日ハヴアナで會談を開催することを提案した

タイヤ割當減少

（リスボン二十六日發）ワシントン來電＝物價管理局は二十六日次の通り發表した

明年一月の民需用タイヤ割當は前線の要求に應ずるため大巾の縮減が行はれる、乘用車用の割當は百八十萬で十二月に比し二十萬の減少である、小型貨物及び乘合自動車用の割當は二十一萬六千で六萬四千の減少、大型貨物及び乘合自動車用は既に十萬の優先割當が行はれることになつてゐたが、割當は全部で十一萬に縮減され十二月に比し一萬の減少である

十一月中勞働罷業

（リスボン二十六日發）ワシントン來電＝米國勞働省は二十五日次の通り發表した

十一月中の罷業件數は三百七十五件、罷業參加勞働者は二十萬人に上つた、これにより七十一萬時の勞働時間を喪失したが、これは十一月中の米國全勞働時間の〇・一パーセントに當る

グワテマラ對西斷交か

（リスボン二十六日發）メキシコ市來電によればグワテマラ議會は二十六日滿場一致でグワテマラとスペイン政府との外交關係斷絕を決議し、決議案を大統領アレヴアロに提出したといはれる、但し右報道は確報ではない

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

陸軍輸送船沈沒

(リスボン二十一日發)アンカレツシ來電＝アラスカ防衛軍司令部は十二月十五日暴風のため陸軍輸送船(三、七〇〇トン)一隻をアラスカ、コールド灣沖合で拋棄した旨二十一日發表した

ピアーソンの暴露記事に當局困惑

(リスボン二十二日發)ワシントンの通信記者ドル・ピアーソンは取材の廣汎と特異な素破抜き記事で同業者からも第一等の記者だと折紙をつけられてゐるが、ロンドン來電によれば「エコノミスト」誌の最近號は次のやうにピアーソンを論じてゐるといはれる

ピアーソンの人氣と彼の記事の影響は素晴らしいものがあるが、これはピアーソンが特別のニュース源への通路を握つてゐることが大きな原因となつてゐる、ピアーソンが讀者の爲に蒐集した禁斷の木の實は數々あるが中でも印度特使ウイリアム・フイリツプスが印度問題でルーズヴエルトに送つた報告と、チヤーチルがギリシヤの危機に際して、スコビー將軍に送つた訓令の詳細をローマ駐劄米國大使カークがワシントンへ打電したのを素破抜いたのが壓卷だ、最近ではルーズヴエルトの手元へひそかに送られたボノミの英國政府に對する苦情書と稱するものを外交畑からまんまと新聞記事に引込んでゐるワシントンではピアーソンの素破抜きに大いに當惑してゐるが、彼の暴露記事が本當に信ずべき筋から出たものとすれば、丁度引込管が何處かで裂けてゐるやうなものだ、奇妙なことには彼の素破抜き記事は總て反英的であるが、もしこの間に祕密文書の密貿易が介在するとすれば米國政府としては自身の祕密漏洩はともかくも少くとも諸外國政府からの打開け話は暴露しないと安心させてやるため何か有效な手を打つ必要があらう

ボールドウインの二論文

(リスボン二十六日發)「ニューヨーク・タイムズ」紙軍事記者ハンソン・ボールドウインは最近の紙上に戰爭の長期化と西部戰線におけるドイツ軍の反擊によつて實證された反樞軸軍補給の弱點とに關し、次の如き二論文を發表した

降誕節に當つて國民に警告

「ベルギー」におけるドイツ軍の急激な進擊及び比島の水浸しになつた密林地帶の戰鬪は今年のクリスマスに新しい雰圍氣と新しい意味を齎らした、これまで米國人の內多數の者は歐洲戰線に出征してゐる米國兵士が降誕祭までに歸國することを欲し且つ信じてゐた、また多數の者は戰爭が短期で濟むといふ考へを持つて自らを慰めてゐた、多數の者が戰爭の冷酷且つ嚴嚴な事實をまともに凝視めようとはせず、未だに敵の成功を合理化し勝手に解釋しようと努めてゐる、また米國人の內の他の者は降誕祭のテーブルに七面鳥がないことや煙草が少くて値段の高いことを不平にしてブツブツいつてゐる、國內にゐる余りに多くの米國人の間に降誕祭の友愛的精神が見受けられない有樣だ、しかし戰線においてはさうではない、戰爭といふものは人間の內における最も惡いものと最も良いものを引き出して見せる、ベルギー戰線において且つまたフイリピン戰線においてわれわれは最も恐るべきものと最も勝れた犧牲的獻身を見出す、前線における降誕祭は國內で降誕祭を祝ふ米國人に教訓を與へる

戰爭の前途は不測多難

われわれが未だ歐洲及び太平洋において戰史空前の困難な大事業に直面してゐることは明らかであり、戰爭が何時までつづくかといふことを臆測することは無益なことである、前線に出征してゐる米國兵の內若干の者は來年の降誕祭までに歐洲から歸國するかも知れないし或ひは歸國しないかも知れない、戰爭には餘りに多くの計量できない要素があり、これらを豫言することはできない、このことは最近のドイツ軍の攻勢をみても明らかだ、しかしわれわれは最善を望みつつも最惡の事態に對して準備しなければならない、戰時生產局長官クルーグは歐洲戰が一九四五年中繼續し、更に四六年にまでつづくかも知れないと警告したが、われわれはかかる戰爭の長期化に對して準備せねばならない、戰爭がそんなに長く續くといふことも十分にあり得る、われわれは戰爭が一九四六年中繼續され更に長くつづくことも考慮に入れその準備をもしなければならぬ

太平洋戰爭を終らせる爲にわれわれが日本本土を擊破すれば濟むか乃至は滿洲からブーゲンビルに至る地域の一切の日本人を擊破しなければならないかどうかによつて戰爭の繼續期間は大いに左右されよう、歐洲におけると同樣に太平洋においてもわれわれは最善を目指しつつ最惡に備へなければならぬ、降誕祭前のドイツ軍の反攻は大多數の米國人乃至軍隊に對しても激しい動搖を與へたもしわれわれが右反攻から現實主義と團結の敎訓を學びとるならば、ドイツ軍の反攻もわれわれに若干の利益を與へるだらう、戰局の將來に對しては失望するやうな理由はない、しかし決戰は今後にありわれわれは平和を克ち得ねばならない、現在は決意の時期である、われわれは日本軍及びドイツ軍の本據を攻擊してをり、戰爭の最も危險な時期の一つを迎へてゐる、われわれはこの降誕祭を期し戰列を一層鞏固にし、勝利に向つて進まねばならない」

重大化する補給問題

「反樞軸軍の補給問題及び兵員交代問題は既に重大化してゐるが、ドイツ軍の反擊は以上の問題を更に複雜化しなければ止まぬ形勢にある、既にドイツ軍の反擊前兵員の損害と裝備の不足は反樞軸軍の作戰を甚だしく困難ならしめてゐたが、ドイツ軍の反攻開始によりその解決は焦眉の急を告げるに至つた、英國は國中を總ざらひにして陸海空軍の兵力增强に努めて來たが、野戰軍を交代せしめるため涸渇した人的資源の最後の一滴をも搾りとらうとしてゐる、米國では兵員徵集は一月二月に激增したが、その後暫くの間最高度に維持されてゐる、また武器彈藥の缺亡はいまだ潛在的なもので現實の不足とはなつてゐないが、これとてもある種の武器の生產について全面的な考慮が拂はれなかつた結果招來されたものである

もつともタイヤ、彈藥、重火器、トラツクなどの不足は一應克服されようが、補給の困難よりも重大なのは兵員の不足だ、基本的には兵員の問題は他の兵科の威力を增大せしめずに步兵並びに戰車兵力の交代によつて十分に解決出來る、從つて歐洲戰域において米侵攻軍を歸還させることが出來ず、さらにドイツ軍の反攻によつて兵力不足が暴露されたことはさらに多數の戰鬪兵力を歐洲に送り込む必要を完全に裏書きしてゐる、反樞軸軍は決定的な戰力を有してゐるがさればといつてドイツ軍に比較して壓倒的優位を占めてゐるわけでもない、ドイツ軍の反攻は米軍に多大の損害を與へたが、その結果將來ジーグフリード線のライン地區を突破しようと企圖する場合、從來とは比較にならぬほどの大きな損害を覺悟しなければならない、十二月中における西部戰線の反樞軸軍の損害は戰死傷、捕虜、行方不明を合して約十萬と推定されるが、今後は每月平均六萬乃至七萬と見なければならない、これにイタリアにおける損害、太平洋における增大する損害その他各戰線における病氣、事故による損害を合すれば、明年の上半期には每月十萬乃至十二萬に達するであらう、しかもその中大部分は治癒後再び戰線に復歸しなければならぬ實狀にある」

【英帝國】

經濟戰爭省を存續

（ストツクホルム二十六日發）英國の經濟戰爭省（M・E・W）は歐洲戰爭が近く終了を告げるといふ假算用に基き廢止されることになつてをり各局長らが解散式の挨拶まで用意してゐた位だが、ドイツ軍のクリスマス攻勢により歐洲戰爭の相貌が一變するに至つた結果か、首相チヤーチルは二十六日經濟戰爭省を存續するに決定、解散の準備は悉く御破算となつた

在印兵の服務期間を短縮

（リスボン二十六日發）ニユーデリー來電＝印度軍總司令部は二十六日印度及び東南アジア軍管轄地區の英軍部隊の海外服務期間に關する規定を「四ケ年またはそれより數ケ月以下」とし新年より實施する旨發表した、現在までの規定では「四ケ年またはそれより數ケ月以上」となつてゐたものである、右發表はさらにこの新規定が作戰的要求によるもので、これと同樣の權利を將校に對しても直ちに適用することは不可能であるが將校の歸鄕を實現するためあらゆる努力を拂ふ旨附言してゐる

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ロンドンの Xマス交通罷業

(リスボン二十六日發)ロンドンの地下鐵從業員はクリスマスに勤務する代りに二日間の休日を要求、二十五日のクリスマスを期して一齊に罷業を開始したためロンドン市民はすつかり足を奪はれ、街頭にはバスを待つて乘客が蜿蜒たる列を作りタキシーはべら棒な料金でも仲々つかまらぬ有樣であつた、二十六日に入つて漸く地下鐵が動き出したが、ロイター電報は「いまだ曾つて見ない位淋しいクリスマスであつた」と報道してゐる

フレーザー 濠洲に歸還

(リスボン二十六日發)ブリスベーン來電=英國太平洋艦隊司令長官フレーザーはパール・ハーバーを訪問して米國太平洋艦隊司令長官ニミツツと會談中だつたが、二十六日ブリスベーンに歸還、次の通り言明した
太平洋戰域における米英兩國艦隊の共同作戰につき完全な意見の一致を見た、一部では英國海軍が太平洋水域に廻航した艦隊は全く象徴的なものに過ぎない弱少艦隊だとの說が行はれてゐるやうだが、全く事實無根であり、英國太平洋艦隊は相當有力な艦隊勢力を持つてゐる、余は更に近くマツカーサーとも會談の豫定である

【歐 洲】

ボノミ政權 駐米大使

(リスボン二十六日發)ローマ來電=ボノミ政權は二十六日元上院議員ルイジ・エイナウデイをワシントン駐劄大使に任命した旨發表した、エイナウデイは著名な經濟學者で以前スイスに亡命してゐた

伊勞働組合を解散

(リスボン二十二日發)ミラノ來電=「コリエール・デラセラ」紙の報道によれば、ボノミ政權は今回反樞軸軍占領地域内の全勞働組合に對して解散を命じ、その資産を沒收し、組合使用人をすべて解雇することに決定したといはれる勞働組合の使用人は相當多數に上つてゐるので、右解散は困難な勞働問題を惹起することが豫想される

政治犯人を釋放か

(リスボン二十六日發)アテネ來電によればパパンドレオ政權は政治犯の嫌疑として逮捕してゐた左翼分子を悉く釋放し、エラス兵團もアテネ市その他ギリシヤ國内で捕へてゐた人質約一萬を釋放したと傳へられる

【ドイツ】

防禦線構築に八十萬を動員

(ストツクホルム二十一日發)「ダーゲンス・ニヘター」紙のベルリン電報によれば現在ドイツ國境線に沿ひ塹壕堀りに從事してゐる人數は男女合せて四十萬人に上るが、この外に青年團員六萬五千人、軍隊、親衞隊及びトツト工作隊から地區毎に出てゐる人員二萬五千人があり、これが四萬七千人の指導者の下に働いてゐる、更に外國人勞働者を加へると防禦線構築に動員されてゐる人數は總計八十萬に達するといはれる

ベルリンの大公共待避所

(ベルリン二十日發)ベルリン地區副指導者ゲルハルト・シヤハ氏はベルリン市東部地區における收容人員六千名の大公共待避所を十七日一般に公開した、同待避所は工兵隊、工作團、警察及び各地區ナチ黨員の共同作業で完成したものである

敵輸送船六隻撃沈

(ベルリン二十一日發)ドイツ海軍はオランダのシエルト河口において補給品を滿載した反樞軸輸送船六隻を撃沈した、その總トン數は三萬乃至三萬五千トンと推定されてゐる

【反樞軸陣營】

ソ佛兩國條約を批准

(モスクワ二十五日發)ソ聯邦最高會議幹部會は二十五日ソ佛同盟相互援助條約を批准した旨同日發表した

(リスボン二十三日發)パリ來電=フランス諮問會議は二十二日ド・ゴール政權の外交政策につき信任を與へたが、政權はこれに引きつづき新ソ佛同盟を正式に批准した

特輯

フランス木枯抄（下）

——十二月中旬斷片ニュース——

井上勇

血吹雪吹きつづく

フランス新聞記者の受難はなほつづく、「エコ・ド・ノール」といへばリールで出てゐたフランスでは屈指の地方紙であるが、社長のシヤルル・タルデイウは對獨協力の罪で十五日終身刑の宣告を受けた、同時にリオンの「リオン・レピユブリケン」、ニースの「プチ・ニーソア」の持ち主アルベール・ルジユーンは同じ罪でマルセイユで死刑を宣告され、フランス通信社OFIの理事ボンヌフロアは罷免の上年金を取上げられてゐる、カトリツクの機關紙「ラ・クロア」も起訴されて、裁判中であるが、發行はとつくに禁止された、ペタン元帥以下ヴイシー政府要人に對する裁判も十一日からブールボン宮で始まると傳へられたが、以後消息がない、眞つ先に審理されるのは佛印總督ジヤン・ドクウであるといはれてゐる、また元首相カミーユ・ショータン、ピエール・エチエンヌ・フランダンの兩名も今パリで捕へられてゐる關係上、眞先につき出される組に入つてゐる、フランタンはヴイシー政府の初期、外相をつとめ、一九四一年の始め對獨協力問題でダルランと衝突して辭任、米軍が北阿に上陸すると共にアルジエーに脚出し、ド・ゴール政權に參加しようと焦つてゐたが、到頭「肅淸」されてしまつた、ショータンは一九四〇年フランス敗戰の直後、ヴイシー政府の特派使節を名乘つて米國に渡り、そのまま居据はつて、米軍とともにフランスに歸つたところを御用になつたものである、かねて捕へられてゐた七十歳の老海軍批評家ポール・シヤツクは十八日たうとう死刑を宣告された、彼は反ボルシエヴイズム義勇軍の名譽會長をつとめてゐたのが、パリ政府の怒りを買つたわけだ、二十二日には元ヴイシーの警察署長のアンゼロ・キアツペが死刑を宣告されてゐる、フランス解放委員會全國代表會議での報告によれば「オート・サヴオア」だけで「肅淸工作」に引掛かつたものは一千二百六十五件にのぼり、死刑になつたもの百五十六名にのぼるといはれる

今南獨にのがれてゐる元「ウーヴル」紙の主筆セルセル・デアはトランス・オツエアン通信によれば、いまだにヴイシー政府社會相を名乘つてゐるらしいが、同じく南ドイツで開かれた第三次全國新聞人聯合大會の席上で、新社會主義によるフランス再建を强調しつつ十六日

ド・ゴールはフランスに自由を持ちかへる代りに國內戰爭と壓制とを持ち歸つた、フランス人は、若し歐洲にして再建さるべきであるならばそはボルシエヴイスムに對する防衞をおいては他に途はないと演說した、一體フランス國民政府といふものがあるのかどうか疑問だが、これだけは確かに存在する在獨フランス權益擁護委員會委員長フエルナン・ド・ブリノンは十六日、ド・ゴール政府の恐怖政治に抗議して次の聲明を發表した

ド・ゴールによつてフランスに設立された恐怖と讒謗の制度はその無殘正に一七九三年のそれに比すべきである、彼等は一九四〇年の敗衂の後、國民によつて救世者として讃へられた老ペタン元帥をいま裁かんとしてゐるが、その審判の庭に列なる彼等はそも何ものであるか、フランスをして戰ひ敗れしめた當の責任者どもなのである、老元帥が敗殘の國を率ゐて、救國に挺身するや先づ求めたものは何であつたか、彼等敗戰責任者に對する寬怒ではなかつたか

ド・ゴール政府の血醒き手はプラント將軍を殺害し、ダンツ、エステヴア、ラボルド以下の將軍を獄に投じた、余はドイツ政府が決然起つてド・ゴール政府のこの恐怖政治に抗議したことに滿腔の謝意を表する、フランスでいま肅淸の名のもとに行はれてゐる殘虐政治は共產黨の指金による私怨の復讐にほかならない

高和領事、女に救はる

ペルピニヤンで再發見された高知博マルセイユ

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

領事一行がどうして發見されたかの經路が判つたそれは想像したがやうに在スイス帝國公使館の努力ではなくて、單に日本人に使用されてゐたといふだけの一フランス女性の報恩の行爲に基くものだつた、女性の名はドニーズ、二十一歳の少女である、彼女はペルピニヤンにに生れたが、ヴイシーでホテル・リユツクスの女中をしてゐた、わが帝國公使館が同じホテルに設置されると共に、引續き公使館員の世話をしてゐたところ、ヴイシー政府の蒙塵と共に解雇されて國許へ歸つてゐた、そこへ三人の日本人がペルピニヤンの警察に監禁されてゐるとの噂をきき、事實を確めた結果、それが帝國公使館員と判明したので、一面の識もないに拘らず、帝國公使館に働いてゐたといふ緣故のみで、その救出を決心し、わざわざ擾亂の巷をマルセイユに急行し、難をスイス領事館に訴へたものである

ドリオ故國へ進軍

政治が好きでタキシーの運轉手までもひと角の政治屋氣取りのフランス人であつてみれば南ドイツのフランス權益委員會で「政爭」が起るのも別に驚くに當らない、スイス電の傳へるところによれば、それはフランス人民黨々員のジヤツク・ドリオとフエルナン・ド・ブリノンの勢力爭ひだといふ、一方は共產黨轉向組みの野戰の雄、片方はサロン外交官出身で、この喧嘩は手もなくドリオの勝利に終つて、在ドイツのフランス人の政治指導は一切ドリオがやることになつたといはれる、ドリオの地位は、いまワロン人民黨々首を名乘つてゐるベルギーの、これまた亡命組の元レキシスト黨首ドグレルに匹敵するものだと電報はつたへてゐるが、その意味は在獨フランス人二百萬を大同團結せしめて、これを軍隊化し祖國進軍の壯途につかしめるといふのであらう、ドグレルはベルギー反共產義勇軍を率ゐてスターリングラードの悲劇を身を以つて體驗し、脫出に成功するやヒトラー總統から叙勳された歷戰の勇將である、ドリオがどれだけの將器であるかは未知數であるがフランスではダツトサン・ヒトラーを以つて任じ少くも政治部門での闘將だつたことは事實だ、ドイツ政府はドリオの今回の壯擧に全的な支援を與へその本部には公使級の代表を派遣するといふ、これによつてジグマリンゲンのフランス亡命政權は單に在獨フランス人勞働者の事務のみを取扱ふことになり、軍と政との實權はドリオの手に落ちる在獨二百萬の捕虜は働き盛りのフランス人のクリームである、これがドリオの旗の下に蹶起するとなれば「百萬の味方」どころではない、既にダルナン將軍麾下六千のヴイシー派義勇軍はドリオに引渡されることに決定してをり、將軍自身はワロン突擊隊の指揮官としてドグレルの傘下に入ることになつたといふ

フランス經濟企畫

少々舊聞であるが經濟相マンデス・フランスは十一月十九日、フランスの經濟再建「五ケ年計畫」を發表した、それによるとフランス政府は最高企畫會議コイセイユ・シユペリアール・デ・プランを新設し、フランス產業を三段階に分類して新經濟組織をつくるといふ、第一分類の產業は國家が直接監理し、第二分類は國家が統制し、第三分類のものは純粹に個人企業にする、「五ケ年計畫」に期限がないのはおかしいが、ソ聯式心組みでやるといふ位のつもりらしい、同人の言明によれば、北部炭坑、ルノー工場の國家接收に引續いて、他の重要根幹產業の經營を次第に國家の手に移すことを考慮中である

院コットのソ聯謳歌

戰前からソ聯の大の信奉者で、ブルーム內閣に空相をつとめ、ある意味ではフランス敗戰の當の責任者の一人ともみられるピエール・コットはアメリカへの亡命の旅から歸つて以來、佛ソ協會の會長をつとめて大いに赤旗を擔いでゐるが、十一日協會の大會に臨んで「フランスが以つて範とすべきはソ聯のみである」と演說した、同人は同じ演說中でソ聯は今度の戰爭で二千萬の人的損害と二千五百億金留の物的損害を受けたと發表してゐるが、まさかその損害が以つて範とすべきものであるといふのではあるまい

ダンス法度となる

フランス新聞會の聯合決議に基づいてパリ警察は十五日からダンス禁止令を出した、前線の將兵の勞苦を想へといふのが理由である、禁止令はナイト・クラブ、ダンシングホール一齊に適用されただ赤十字その他軍關係のクラブだけが例外になつてゐる、但し、十四日の晩のパリは大變だつたらしく、何萬人のアメリカ兵に突然三十日間の休暇が出て、ポケットを弗札で一杯にふくらませ、天頂から足の先きまで泥まみれになつたG・I(政府御用の意味ださうだ)連がわつとばかりにパリに殺到、キヤバレーといふキヤバレー、バーといふバーは兵隊で大入滿員となり、シヤンパンで虎になつた猿どもが、百法札の札ビラを切つて、すでに餘りにも裸になりすぎてゐるダンサー連を摑へては「もつと裸になれ」「それを取れ、あれを脫げ」で、パリの夜は轉覆せんばかりの騷ぎだつた、その揚句がパリ駐屯の「椅子挺身部隊」と仁義爭ひになる、空瓶がとぶ、コツプがとぶ、フオツクホールならぬボツクスホールの亂鬪となり怪我人まで出して、とんだ西部戰線を展開した

イタリア國境不穩

フランス政府は十六日東南國境サヴオア、バザルプ諸縣に「軍事安全地帶」を宣言したが、これはこの地方が軍事不安全を意味するもので、同地方で頻發する解放委員會員襲擊事件に對處するためであるといはれる、この地方の國內軍の專橫に對しては民衆の反感が著しく、最近は彼らの兵營に爆發事件が踝を接し、さてこそドイツの第五部隊の活躍だ、白色マキの蜂起だと取沙汰がやかましい、その背後にジロー將軍の手が動いてゐるとの說もあるが、ダルナン麾下のヴイシー派義勇軍が相當根を張つてゐるのは事實らしく、いまや國內軍は主客を轉倒したかたちである

婦人記者のみたパリ

ものの見方といふものは不思議なもので、不景氣な話ばかりあるフランスの話に、これはまた全く反對な報告もある、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」のソニア・タマラのパリ描寫が好例だ

フランスは過去三ケ月の間に政治的、經濟的生活に驚くべき進步をとげた、「解放」から三ケ月、フランスは大國の家族に歸つて來た、自由であることの最初の忘我的熱狂もすぎ、今、人人は超人的努力をもつて再建のことに從つてゐる、近代の戰爭は人命を損ふことこそ少ないが物的破壞は想像を絕するものがある、フランスは過去四十年間に三度もかかる戰爭を經驗した今回の戰爭でフランスは九萬戶の家屋を完全に破壞したと推定されてゐる、フランスには機械も不足、原料も輸入されない、鐵道は石炭がなくて走らず石炭は爆藥不足と、南方から木材がこないので掘ることができぬ、車輛は大部分ドイツに持去られてしまつた、そして解放後わづかに三ケ月、戰爭はなほ後庭で荒れすさんでゐる、しかし、フランスには第一にシヤルル・ド・ゴール將軍がゐる、將軍はフランスと、彼と共に働きつつある人々とにとつては絕對の指導者だ、いまでは軍事地域を除いてはどこへでも汽車で旅行ができる、坑夫はいまでは一週六日間働いてゐる、鑛物生產量は倍になつた、電力供給量は三ケ月の內に十倍になり、失業者は工場にかへり始めた、先週パリだけで二萬五千人が復業したといへば略その趨勢は判らう、ただ未だ二つの不足がある、石炭とガソリンがないことだ、フランスが經濟的によくなるにはまだ待たねばなるまい、第一に基本產業を再建することだ、農業は可成りよく行つてゐる、百姓は以前よりも豐かな位だ、工業は破壞され、工場勞働者は仕事を失つた、なにしろ本質的必要なものから充足して行つて、どん底から築き上げなくてはならぬのがフランスだ

タマラのやうな記事の故に「婦人記者は卓の上の一輪の花」といはれるのだ、もつともタマラはリユー・ド・ラ・ペーの流行記者で、社會記者でないのは勿論、政治記者でもない

佛三港の現在能力

數字の手品をお目にかけよう、米國歐洲派遣軍

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

運輸本部長少將ロスの十二日の發表である

ル・アーヴル港の改修工事が着手されて以來二十八日間に同港から三萬二千トンの貨物を陸揚げしルーアンでは最初の十四日間で二萬三千トンを揚げた、現在のルーアンの揚陸能力は、當時の三分の一增で、ルアーヴルの能力も急增してゐる、ルーアン、ル・アーヴル兩港の再開で前線への運輸距離千二百八十粁となり著しく短縮した、セルブールの平和時の揚陸能力は一日千七百トンだつたが十一月中は一日一萬六千トンを扱ひ、月末には二萬トンに上つた、目下荷揚要員として六萬六千人の米國人と十五萬人の英佛人が働いてゐる、これだけの人間でノルマンデイ上陸以來四百萬トンの貨物と百萬以上の米國兵を揚陸した

左翼に大同團結か

フランス共産黨書記長モーリス・トレーズは今フランス大衆の人氣を一人占めにしてゐる形である、ドイツとの戰爭を忌避して國を捨て亡命した男がモスクワで歡迎されてゐたのも變な話であるし、それが今フランスで「國民的英雄」に祭上げられるのも常識では割切れぬはなしである、佛ソ會談でスターリンからどんな話を持込まれたか知らぬがド・ゴールは彼を近く入閣させて內閣を改造するだらうといはれてゐる、十一月の社會黨大會で共産黨との合併が提議されてゐたが、十七日兩黨の有志はパリで會合して合同問題を討議したトレーズが十六日「兩黨はすべからく合同すべくきたるべき選擧には、この合同黨の候補者のみを立候補せしむべきだ」と演說したので、合同問題は急展開をするに至つた、二月に豫定された選擧はどうやら延期になるらしいが「いまに共産黨員以外のものは人に非らず、第五部隊であると極印を打たれる日がくる、他の政黨人諸君は用心が肝要」とマドリードのドイツ通信電が警告した、次第に共産黨の別働隊化しつつあるフランス解放委員會は十六日、パリ市役所で全國代表會議を開き佛ソ同盟の成立と、ギリシヤ解放軍の敢闘を慶祝する決議を行つた、同時にド・ゴールの信任投票を行ひ、フランス青年の動員卽時實施を政府に建議した、トレーズの演說といふのは、この集りでの話らしい

佛印向け放送再開

植民相ボール・ジヤコビは十八日夜のラジオ放送で再び佛印奪還を呼號したが、奪取したものはない筈であるからおかしな話である、この演說をもつて暫く中絕されてゐたパリからの印度支那向け放送が復活したわけだ

北阿の物情騷然たり

米英軍上陸後、臨時政權がアルジエからパリに移轉後の佛領北アフリカの物情騷然は屢々報じられてゐるが、十九日佛領モロツコ總督ピユオはビドー外相に會見してモロツコ事情を報告した、パリラジオが傳へてゐるその內容によれば「過去三ケ年の凶作に引續いて今年も作柄は悪く、狀況は恐慌的である」とのことである、同じやうな報告はアルジエからもつたへられてをり、一番困つてゐるのは衣料の不足だといふが、暑いからといつて裸ではをれぬらしい

米國紙のパリ版

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」のパリ版は二十二日再刊した、一九四〇年六月十二日が終刊日だつたさうである

資料

當の外れたクリスマス

—米國歳末風景—

本田リスボン特派員發

この夏以來歐洲戰線は年末までと獨りぎめにしてきた米國民にとつては、今年のクリスマスは大きな失望のクリスマスになつてしまつた、年末までに終結する筈だつた歐洲戰線にはルントシユテツト攻勢が活潑に開始された、歐洲戰線での勝利を見越してのクリスマスの祝祭準備は、國内戰線の平時切換計畫とともに、一切御破算のやむなきに至つた、戰爭の前途に對する樂觀氣分が横溢し滿三年の戰爭に漸く倦み疲れかけて來た米國民にとつてこのくらゐ大きな失望はまたとあるまい、開戰以來四度目のクリスマスを迎へる米國民は、失望と幻滅との裡に、さなきだに慌しい歳末氣分に包まれてゐる

以下は最近當地に達した新聞、ラジオ報道のうちから拾つた米國歳末風景の一齣である

品物のないショウ・ウインドウ

戰時下四度目のクリスマスを前にして米國民は今年もまたサンタ・クロースの御入來を待ち焦れてゐる、ニューヨーク目抜きの五番街沿ひのショウ・ウインドウには今年も思ひ思ひのクリスマスデコレイションが施されてゐる、中でも「ありとあらゆる人の子の正しきもてなしを受ける世界」と銘打つたクリスマス・ツリーの下に各國の子供達が嬉々として戯れてゐる和かなクリスマス風景を描き出してゐるショウ・ウインドウがニューヨーク兒の人氣を呼んでゐる、だが、どの店のショウ・ウインドウにも申し合はせたやうに商品の姿は全然見受けられない

早まつた再轉換

今年もデパートの玩具部は賑かなクリスマスの裝ひをこらして子供達の人氣を呼んでゐる、これらのデパートの玩具部では、子供達の人氣の中心は依然として飛行機、戰車、軍艦など戰爭關係の玩具だといふ、しかし、玩具製造業者の方ではこの春クリスマス用の玩具を製造するに當つて、クリスマスまでには子供の世界にも戰時から平時への切換が行はれてゐるものとの見透しをつけて製造にとりかかつたのであつた、だから店頭に出てゐる飛行機の玩具は皆鈍濃の「國防色」から派手な平時色に塗り換へられてゐるし、シヤーマン戰車は店頭から姿を消して、トラクターがこれに代つてゐるといつた有樣だ、子供達の失望落膽もさることながら、玩具屋も大きな見込違ひをして今更頭を捻つてゐる、大體玩具の品不足は依然としてひどい、金屬材料の入手難に惱む玩具製造業者にとつて、木材、紙、布の代用はこれまた材料入手難で問題の解決にはならない、木材、紙、布自體がまた入手難ときてゐる上に、玩具製造業も御他聞に洩れず、人手不足に惱まされてゐるのだそこで、窮餘の一策として業者は陸海軍病院に入院中の傷病兵を「動員」した、これら病院の一畫は玩具製造工場に早變りして、ここでトラック、馬、人形、車、寢臺、簞笥等々が造られ、どうやら急場を凌ぐことが出來たのだつた、それでも玩具拂底はなかなか解消されてゐない、現にニューヨーク市だけでもクリスマスを前にしてサンタ・クロース宛に玩具を請求して來る子供達の手紙が引きもきらずニューヨーク中央郵便局に舞ひ込んで來る有樣だ

全米に足の自肅要望

前線勤務の將兵はいざ知らず、國内勤務の兵隊はクリスマスともなれば恒例の休暇を貰はなければ承知しない、當局の計算では今年のクリスマスシーズンに休暇をもらつて兵營から家庭に歸る兵隊の數がザツト七十五萬、當局はこの大量のクリスマス旅行者の輸送に今から少からず頭を惱ましてゐる、さし當りこれらのクリスマス歸休兵士に輸送力をふり向けるため、當局は今や一般の旅行者にクリスマス・シーズンの旅行を出來るだけ差控へるやう、足の自肅を要望するのに大童となつてゐる

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

それにしても今年のクリスマスが全米北部諸州にとつては近年稀に見る寒い雪のクリスマスになりさうだ、とは素人氣象觀測家の一致した意見、北部諸州ですでに雪に埋れてゐるところは少くない、コロラドから大西洋岸一帶の諸州にかけては近く大吹雪の警報が出てゐる、雪害による交通杜絶はすでに各州に頻發し、最近一週間ですでに死者五十八名に上つてゐる

深刻化する衣料不足

「冬將軍」の到來は軍事當局にとつても大きな問題となつてゐる、激增した米國兵士の冬服の調達が端的にこれを物語つてゐる、最近軍當局は耐寒用軍服、外套、毛布、戰鬪衣「無數の」靴下を製造するため、これらの材料繊維の尨大な緊急注文を發した、陸軍當局者の談によれば、軍は過去三ケ年にわたつて莫大な數量に上る衣料を調達したが、今年は毛織物だけでも從來の二倍に上る數量を要するといふ、歐洲戰線の惡天候、險阻な地形によつて米軍將兵の衣料損耗率は當局の豫期した以上の高率を示すに至つた、といふのがその一の說明である、しかし、注文を受けた當業者の談では、陸軍當局の注文納入期は明年七月となつてゐる由、意味深長といふべきだ

この結果、これら衣料品に對する一般民需は事實上「凍結」に等しい制限をうけることとなつたといふのは、米國における毛織物、羅紗製品は來年五月までその殆んど全產額を政府によつて買ひ上げられることになつてゐるからだ、これで一般市民の衣料不足が來年春から秋にかけていよいよひどくなることはもはや動かせぬところとなつた毛織物業者はさし當り自分達の製造部門が凍結されてしまうばかりでなく、ひいては一般衣服製造部門も早晩同樣凍結の運命にあることは必至と見てゐる、政府買上げの毛織物、羅紗はすべて軍服になつてしまふからだ

しかし、戰時生產局筋及び一部の業者筋では、一般市民の絶對必要量を充すだけの衣料には事缺かさないと稱してゐる、戰時生產局も、その民需部が必要と認めた量だけは一般市民の平服の生產を許可する方針になつてゐるからといふのでありこの範疇に入る平服とは子供服、作業衣、それに極めて僅かながら大人用の洋服といふことになるだらう

戰時生產局民需部は長期にわたつて一般市民の緊急衣料における拂底狀態に關する詳細な資料を蒐集してゐた、民需調査の一つとして同部は最近一般市民の衣料に關する統計を發表したが、これによると、女子服は平均一着十ドル三セント、男子服は三十七弗五十七セントとなつてゐることが判明した、高いので一般から非難の的となつてゐる小兒用防雪服が六歲用まで平均一着十ドル、さらにこの統計によると、最近家庭の婦人達からきかれる女子服が高價すぎるといふ非難の聲も無理からぬことが判明した、女子服の品質が最近目立つて低下してゐるからだ

一般消費者は最近の衣料不足難を評して、まるでお天氣のやうだ、といふ、誰も彼も口を開けば衣料不足を云々するくせに、誰一人としてこの不足狀態をどうしようといふものがない、といふ意味である、最近勞働統計局の發表した數字によれば開戰このかた一般生活費は二十六パーセントの上昇を示してゐるが、このうち衣料は四十一パーセントと急騰してゐることが判る、しかし、一般消費者にしてみれば價格の騰貴は一向意に介さない、ただ金で手に入りさへすれば文句はない、といふところに落着くやうだ、いまどき子供服とかワイシヤツとかを買はうと思つても、決しておいそれとは手に入らないのが實狀だ、新產婦に配給されることになつてゐる襁褓の割當量など全くお話にならないと評するより他はない

かうした情勢のもとにあつて、全國の勞働團體は戰時生產局、物價統制局の動きを極めて注意深く見守つてゐる、生活費の上下はただちにかれらの賃金增額要求に關係してくるからだ、現に、產業別組合會議所屬の婦人補助勞働者達は生活費の昂騰を理由に賃金引き上げ運動を活潑にやり出してゐる

と同時に、家庭經濟組合、女子大學聯盟をはじめとして全國の消費者團體も、夫々代表をワシントンに送り込んで下は議員連中から上はルーズヴェルト夫人まで首府のお歴々を動かして、刻々深刻化して來た消費生活問題を何とかしようと躍起の運動に餘念がない、綿製品に對する嚴重な統制が漸く本格化して來た、もう始まつてゐてしかるべき時だ、この結果、贅澤品は勿論のこと普通大人用の必需綿製品の生産は斷然切り下げられることとならう、子供用品作業服の需要をまづ充さなければならないからだ、十一月中には子供服用として四千萬ヤードの綿布が市場に出た、十二月分は子供用下着、寢衣千三百萬着分、同じく防雪服四百萬着分となつてゐる、しかし、大人には決してから潤澤には廻りさうもない、メリヤス製品に對しては今にも完全な凍結令が出される形勢にある

ベーコン製の靴

衣料不足問題のほかに民需關係當局の頭を惱ましてゐるものに靴の不足問題がある、子供用の靴は特に不足が顯著だ、最近當局はこの靴不足緩和の一策として「豚の皮紐」から皮革制限外の小兒用靴の生産を開始する旨を聲明した、大いに喜んだのは全國の漫畫家達だつた、また時事漫畫の好材料が一つ增へたからだ、「豚の皮紐」といへば體裁がいいが、これは何のことはないベーコンの上皮を鞣して靴にしようといふだけのことだ、しかし、發表した當局は大した力の入れ方で、物價統制局の說明によればこのベーコン製の靴はみかけはお粗末だが丈夫な點では請合ひだとのこと、それにしてもこのベーコン製の靴の裏皮はやはり再製ゴムで間に合はせるより他あるまい

益々つまる食生活

歐洲戰局の思はぬ蹉跌で戰時から平時への生産計畫切り換へに支障を來したのは衣料部門ばかりではなかつた、食料品生産業者もまたルントシュテット攻勢のお蔭でその再轉換計畫を根本的に修正しなければならぬ破目に陷つてゐる、この部門でも平時への生産計畫切り換へは少くともむうひと冬、或はそれ以上の延期は必至とみられるに至つた、歐洲の食料情勢に對する米國側の計畫は、歐洲諸國の大部分が來春には廣汎な地域にわたつて再び播種を行ひうるとの見透しに基づいて建てられてゐた、しかし、最近の歐洲戰線の局面轉換でこの見透しは不可能になつた、歐洲の食料難は來年になつても依然解消されまいといふのが米國の食料生産部門關係者間での一致した觀測だ、最近議會で一九四五年に對する食料情勢の見透しに關して農業專門家、政府關係者の公聽會が開催されたが、この席上、政府側の一代表者はローマ、マルセーユ、アテネ等の歐洲大陸の大都會地區に對しては當分反樞軸國側——といつても結局米國といふことにならうが——で大量の食料品を供給しなければなるまいとの意見を表明してゐる

政府當局の發表によれば一九四五年度の農業生産計畫は一九四四年度に比し少しも減つてゐないといふ、しかし、當局は同時に米國內一般市民は來年度もまた食肉、鷄、砂糖、食用油脂等が一層ひどく不足することを覺悟しなければならないとの警告を發することを忘れなかつた、だが、當局者は一般市民の「必要」とする食糧にはこと缺かさせないと附言してゐるが、さてこの「必要」とする食糧が問題といふものだ

ニューヨーク市の食肉小賣業者が十二月二十五日クリスマス當日を期して「肉なし日」を開始しようと提案したことは俄然全米に大きな反響を喚び起す結果となつた、これで全米の市民は今更ながらに戰時統制やら不足問題で惹起された難局に愕然としたわけだ、食肉小賣業者にいはせれば、かれらの取扱つてゐる食肉には最高公定價格の制限が附されてゐる一方他の獸肉にはこの制限がないといふのではとても商賣はやつてゆけない、といふのだ、これに對して、農務省當局は家畜類はその品質、重量、種類が千差萬別なので一樣に價格を制定するわけにはゆかないのだと說明してゐる、しかし、物價統制局の方では食肉小賣業者の窮狀打開のためには家畜にも最高公定價格の制限を附すべきだとの見解を表明してゐる、この情勢にあつて食肉小賣業者の閉店騷ぎは單にニューヨーク市のみにとどまらず全米到るところの都市に蔓延しつつある、この騷ぎが結局どう落着するかは今のところ皆目見當もつかない有樣だ

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

もしこの「肉なし日」が實施された曉には米國東海岸地方の諸都市では畜肉に代る鷄を入手することも覺束ない、鷄肉業者が「とても商賣にならない政府の統制」を理由に續々閉店してゐるばかりでなく、陸軍當局が大量の鷄肉買付けを斷行するために全米著名の鷄肉生産地から一般消費者に閉め出しを食はしてしまつたからだ、最近陸軍當局は前線の將兵ならびに陸軍病院、療養所にある傷病兵の食用として無慮一億一千萬ポンドの鷄肉買ひ上げを決定し、この結果俗にデルマーヴア半島と呼ばれてゐるデラウエア、メリランド、ヴアージニア三州の養鷄地帶では、この買ひ上げが完了するまで一般消費者の買ひ付けを斷乎禁止する擧に出たのである、家庭料理中の御馳走フライド・チキンは前線の米國將兵に銃後の暖い家庭生活を偲ばせるよすがともならうといふもの、してみれば、陸軍當局の考へでは、フライド・チキンこそ米國將兵の士氣昂揚にこの上なく效果顯著なもの、といふのかも知れない

食肉につまつた東部の食通連のなかではすでに本物の西部平原のカウ・ボーイ料理、野牛料理を始めたものもある、最近試驗的にはるばるモンタナの山奥から持つてきた野牛の肉がニューヨークの市場に出た、目下のところ、ニューヨーク兒には頗る好評を博してゐるとのこと

動き出した勞働團體

かうした日常生活の物資不足に甚大な關心をもち、またその影響をうけてゐるのは勞働界だ、勞働團體代表者は最近ワシントンに乘り込んで勞働關係法規の一問題について政府當局と折衝を開始した、この問題に關する勞働團體代表の會合はこれで正に十一回目、今回の會合には全米四十六州から勞働團體關係代表者が出席した、この會合に臨んだ勞働長官フランセス・パーキンスはその演說において警告を發して曰く

州當局は州の權限を主張するとともに、公正な州勞働法を果敢に實施する責任を負ふことをしなければ、聯邦政府は州勞働法の分野においてもまたその統制法規の適用を擴張實施するほかなくなるであらう、戰後においては好ましくないと思考される戰時勞働統制規約、緊急法規に關しては、州當局はその幾部分かを活かすやう卽時その對策を講ぜられたい

會議の主題は左の如きものだつたのである

一、全勞働者に對して最低一時間六十五セントの賃金を確保する

一、保證年給制度の原則を支持する

一、あらゆる勞働關係政府機關は州政府及び聯邦政府の勞働者に統合することを勸告する

一、男女勞働者の平等待遇權の修正には、それが女子勞働者に對する現行補正規約を事實上廢棄せしめる危險あるをもつて、反對する

パーキンス女史は一九三三年ルーズヴエルト第一次內閣以來ただ二人の生き殘り中の一名だ、かうした勞働團體代表者の年次大會をワシントンに開催することになつたのも、彼女就任當時の業績の一つだつた、ルーズヴエルトも今次の會合にメツセージを送つて曰く

この種の會議は、勞働者、資本家、一般社會を稗益する實踐的な諸案を作成するため州及び聯邦兩政府代表者の共同討議を行ふことによつて勞働水準の向上に貢獻するところ少からざるものがあつた

なほパーキンス女史は勞働長官辭職の意をほのめかしてゐるといはれるが、ルーズヴエルトは分裂狀態にある勞働團體の各派いづれにも滿足のゆくやうな後繼者の選衡に目下しきりに手を燒いてゐるのだと噂されてゐる

罷業自粛申合の終焉

勞働團體は開戰後間もなく戰爭繼續中罷業を自粛することを申し合はせてきたが、この申し合はせの破棄が最近初めて勞働團體によつて公然支持されるに至つた、この端緒を作つたのは例の係爭中のモントゴメリー・ワード通信販賣會社事件で同社は過日戰時勞働局によつて卽時同局の命令に服從するやう通告された、同社は十二月十八日夜までの期限付で、戰時勞働局の調停命令を受諾するか、さもなくば、全米七都市における同社所屬の營業施設を政府によつて强制處分に付されるかこの二の一を選ばなければならぬ破目にあつた、

モントゴメリー・ワード社は先月大審院においてその上告を棄却され法廷での闘争にはすでに敗れ去つてゐたのだ、デトロイト市におけるモントゴメリー・ワード社所屬四營業所の從業員は十二月九日を期して罷業を開始した、その直接の原因は、同社が戰時勞働局の指令に基く同社從業員にたいする約四千五百ドルの賃金遡及支拂を拒否したことだつた、吹雪の荒れ狂ふデトロイト市で同社從業員三十名は同營業所のピケツトを開始したここにおいて、產業別組合會議ミシガン州全米代表は直にデトロイト市における同會議所屬勞働團體にたいし、モントゴメリー・ワード罷業從業員を支持し、これに經濟的支援を與へるやう指令を發した、この指令は直に實行に移された、米國最大勞働組合たる產業別組合會議所屬自動車工業勞働組合はそのデトロイト地區組合員五十萬が擧つて右罷業を支持する旨を聲明した、右聲明を發するにあたり同組合副委員長は、モントゴメリーワード會社が愛國主義の煙幕の蔭に隱れることは斷じて許さるべきではなく、同社の營業部門は何一つとして戰爭の遂行に直接緊急缺くべからずといふべきものはない、旨の强硬な言明を行つてゐる

自動車工業勞働組合がこのモントゴメリー・ワード從業員の罷業を支持することは事前からすでに明白なところだつた、といふのは、同組合は當時すでにその組合全員にたいし、戰爭繼續中罷業自肅を申し合はせた勞働團體の誓約を引續き維持すべきか否か、郵便投票によつて表決することを要求するに決してゐたからである、組合幹部はこの表決の結果、罷業自肅申し合はせは依然繼續されるものと期待してゐるが、贊否の票差はきはめて僅少だらうとみてゐる、しかしこの投票の最終結果は來春三月にならなければ判明しない、蓋し同組合員は全米に散在してをり、さらに同組合員中三十萬は現に兵役にあり世界各地にちらばつてゐるので、これら全組合員からの投票が完了するのはなほ三、四ケ月を要するとみられてゐるからである、この投票の結果如何にかかはらず自動車工業勞働組合は、その次期大會においてこの罷業自肅誓約の修正決議を行ひ、結局民需生產部門における工場勞働者の罷業は認めるといふことになるのはまづ動かぬところとみられてゐる、同組合所屬各部門の勞働者の間では「現行團體契約條項は結局團體乞食になることが餘りにも多いのだ」との聲が高い實情にあるのだ

煙草不足で女もパイプ

デトロイト市における自動車工業勞働組合所屬女子勞働者は最近、戰時生產契約が完了した場合女子勞働者が男子勞働者に先き立つて解雇される傾向があるのに對して强硬な抗議を發した、これらの女子勞働者の言ひ分は、男子勞働者と差別待遇を受けて解雇され、前線から歸還する陸海軍兵士の御厄介になるのは眞平だ、男子勞働者と均等の條件で雇傭されるといふ保證が欲しいのだといふにある

この男女勞働者の均等條件雇傭問題はさておき全米の婦人は最近全國的な規模において男子との平等條件を獲得したといふのは他でもない、煙草饑饉の結果、女子喫煙者達がこれまで男子喫煙者に限られてゐたパイプを大眞面目になつて吸ひだしたのだ、これは決して虛報でもなんでもない、商務、財務、陸軍長官最近の言明によれば、ドイツ軍がイタリアで入手した數百魂のパイプ製造用ブライア材が反樞軸軍によつて捕獲され、これがこの程ニューヨークに到着して一般に賣りだされたが、このブライア材は通常男子喫煙者用のパイプよりも小柄で細手のパイプ——つまり女子喫煙者用のパイプ製造に使用されることになつてゐるといふのである、この種女子用パイプが飛ぶやうに賣れることは先づ間違ひないところとみられてゐる、しかし目下女子學生の間に專ら人氣を呼んで愛用されてゐるのは例の典型的なアメリカ製パイプ、コーンコツブ・パイプ（玉蜀黍の穗軸の芯をくりぬいて作つたもの）だ、これなら一個十セントで入手出來るし、これこそ米國建國期における女丈夫達が盛にスパスパやつた・コツブ・パイプやクレイ・パイプ（粘土を素燒きにしたもの）の直流であつて、また米國婦人の傳統に背かぬものといふべきだらう

大正十五年十月二十日第三種郵便物認可
昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號

同盟通信

東京都麹町區日比谷公園二番
發行所 株式會社 同盟通信社
發行編輯印刷人 萩野伊八

海外電報索引

(昭和十九年十二月一日—十五日)

項目	號數	頁
【東亞】		
何、孔の辭職を當局陳辯	二九一〇	二七五
ネルソン經濟顧問就任受諾	二九一七	〃
生産補給戰完遂を強調		〃
軍需生産力を六ケ月で倍加		〃
重慶、新大使を親迎		〃
中共問題の根本條件は不變	二九二七	二七六
グルー、日本撃破を豪語	二九三一	〃
宋美齡、蔣と別居說		〃
重慶カルカッタ間定期空路開設		〃
周恩來蔣介石と會談	二九四三	二七七
東南アジア軍副參謀長着任	二九六五	二七八
米特使重慶の協力を要望	二九九五	二八〇
レド公路打通後も困難絶えず		〃
米紙重慶の破局を論ず	三〇六一	二八四
宋の行政院長代理就任反響		〃
メリル印緬米軍副司令に		〃
日本本土を直接攻撃せよ	三〇八九	二八六
英朝野、太平洋艦隊に期待		〃
大陸の米軍勢力は弱少	三〇九〇	〃
米紙延安を攻撃		〃
重慶軍需生産の困難		〃
重慶の命脈	三一〇七	二八七
英の協力は海空のみ		〃
米效果を期待せず		〃
【米洲】		
米洲議會勞頭一波瀾か	二九一一	二七五
海軍長官徵兵制支持	二九一六	〃
增産運動に前線兵士を動員		〃
最も緊急を要する軍需品		〃
商船修理狀況		〃
眞珠灣調査延期法案		〃
ジョンソン法の廢棄を提案	二九二六	二七六
米軍の死傷五十三萬七千		〃
紙幣流通高激增	二九二八	〃
輸送問題深刻		〃
パレスチナを開放せよ	二九二八	二七六
對獨爆撃を强化		〃
日本人排斥會		〃
「ノルマンデー」對日戰に出動か		〃
伯もグワテマラ新政府を承認		〃
何のために戰つてゐるのか	二九四四	〃
國務省大擴充案	二九四五	二七七
政界と新國務長官		〃
下院國務長官任命を承認		〃
生産能力の增大を誇示		〃
對外融資の必要を說く		〃
更に損害追加發表		〃

項目	號數	頁
駐伊大使にカーク	二九四五	二七七
檢事次長免職		〃
軍需再轉換を停止	二九五八	二七八
海兵隊太平洋司令官		〃
ソーマヴイル軍需增産を要求	二九六三	〃
下院外交委員會石油協定に反對	二九六四	〃
グリーン再選さる		〃
陸海軍兵員損害		〃
V三號の攻撃を恐怖		〃
變つた豫言	二九七三	二七九
グルー、國務次官に	二九七四	〃
ネルソン歸國		〃
太平洋基地を確保せよ	二九七六	〃
戰後繁榮六項目	二九七六	二七九
占領地の工場を動員		〃
對西航空協定締結		〃
ヴエネズエラ油田開發權獲得		〃
條約批准憲法修正案可決	二九九一	二八〇
國務省改革を發表	二九九二	〃
眞珠灣事件に軍法會議不要		〃
世界食糧事情		〃
世界ユダヤ人協會總裁		〃
ボリヴイア革命の眞相	三〇〇七	二八一
超巨人機製作		〃
ロケット兵器の使用を示唆		〃
對日戰に流星彈を用意	三〇〇九	〃
獨紙の國務省改組評		〃
更に國務次官補を新設		〃
世界善隣政策		〃
大統領アンラ報告		〃
社會保險增額案拒否さる		〃
海軍戰時報告	三〇一〇	二八二
國務次官補任命を拒否	三〇二三	〃
國務省首腦任命もめる	三〇二八	〃
新國務長官と國內の反響		〃
外國貿易省新設か		〃
十一月中造船高		〃
ユダヤ人の權利を主張	三〇三七	〃
十一月中飛行機生産高	三〇三九	二八三
米は英國のために戰はず	三〇三九	〃
對日戰費年七百十億弗	三〇四二	〃
米軍の現勢力		〃
開戰以來の兵員の損害		〃
追加豫算案提出		〃
軍需勞働者を更に增員	三〇五六	〃
國務次官補二名增員		二八四
陸軍に元帥創設		〃
大統領拒否權發動か		〃
汎米聯盟新委員長		〃

項目　號數　頁

對ソ輸送にダ海峽を通過せん……二八四　三〇五七
鄉愁につかれた米兵……〃　〃
農業勞働者數……〃　〃
ドミニカ亡命派を支持……〃　三〇五七
サルヴアドル再び不穩……〃　〃
ペルー新首相任命……〃　三〇七一
米軍の尨大な戰費……二八五　三〇七四
肚丁を更に動員……〃　〃
軍需生產遲滯……〃　三〇七五
新豫算九百億弗か……〃　〃
インキーズの新案……〃　三〇八八
外交五原則を闡明……二八六　〃
ソ伯國交修復……〃　三〇九一
パレスチナ法案審議延期……〃　〃
希系市民調停を要望……〃　三〇九二
ソ智國交樹立……〃　〃
海軍損害發表……〃　三一〇三
國務省主腦任命問題紛糾……二八七　三一〇五
日獨擊破で滿足せず……〃　〃
ダイス委員會解消……〃　〃
戰爭三年と市民生活……〃　〃

【英帝國】

重ねて戰局の前途樂觀を戒む……二七五　二九一〇
倫敦造船所罷業……〃　〃
加印相互援助協定締結……〃　二九一一
破產白書の詳報……〃　二九一二
徵兵制に反對カナダ兵暴動……〃　〃
英帝國の陣營に躍起……〃　〃
徵兵反對の示威運動……二七六　二九二六
彈藥庫爆發事件後報……〃　二九二九
アンダーソン藏相訪佛……〃　〃
エールは媾和會議に參加し得ず……〃　〃
カナダ國情依然緊迫……〃　〃
糧秣廠としての濠洲……〃　〃
聯邦放送會議明春開催……〃　〃
愛蘭北部の合併を主張……二七七　二九四八
爆發事件正式發表……〃　〃
英空軍第二航空隊司令……二七九　二九七五
カナダ示威運動彈壓に大童……〃　二九七七
ガンヂー翁「斷業」を開始……〃　〃
兵員不足で歸還不能……〃　〃
南阿と航空取極……〃　〃
勞働罷業近況……〃　〃
印度經濟の要求……二八〇　二九七八
伊の地中海港奪取を圖る……二八一　二九九四
對日戰損害の發表を避く……二八一　三〇〇八
護國軍解體……〃　〃
共產黨議員印度領袖釋放を勸告……〃　〃
印度王侯總督と對立……〃　〃
豪華船三隻沈沒發表……〃　〃
英の超弩級戰艦進水……〃　三〇二〇
政界に旋風……二八二　三〇二二
國務省に捲き込む……〃　〃
カナダ下院愈々信任投票……〃　三〇二三
スフオルツア伯事件の波紋……二八二　三〇二六
イーデン外相に質問蝟集……〃　〃
テイチマンの殺害犯人は米國兵……〃　三〇二七
米軍の俸給消えてなくなる……〃　〃
チヤーチル信任を確保……二八三　三〇三八
カナダ內閣一應危機を脫す……〃　三〇三九
住宅復興費三千五百萬磅……〃　三〇四二
準備管制に入る……〃　三〇四三
米新國務長官の前途……〃　〃
カナダ保守黨の修正案を否決……〃　〃
英國太平洋艦隊司令長官……二八四　三〇五四
英濠定期空輸開設……〃　三〇六二
テイチマン殺害の米兵を起訴……〃　〃
加コルヴエツト艦喪失……〃　〃
英國政界の危機……二八五　三〇七〇
空母三十隻の建造計畫……〃　〃
政府辛うじて危機を免る……二八六　三〇八七
V二號を繞る下院の應酬……〃　〃
二十數時間の報復攻擊……〃　〃
フレーザー豪語……〃　三〇八九
流星彈による損害……〃　三〇九二
濠、英艦隊に補給……〃　〃
對希政策の失敗で黨大會騷然……二八七　三一〇二
日獨兩國民も連帶責任……〃　三一〇四
ギリシヤにおける英軍損害……〃　〃
印度農工業發展計畫……〃　〃

【ソ聯】

「プラウダ」クワビンスキーを非難……二七五　二九一一
ソ瑞物資供給協定成立……二七六　二九三〇
ソ聯、イラク國交再開……二七七　二九四八
重慶の國共和解失敗を攻擊……二八〇　二九九五
石油工業人民委員罷免……〃　〃
「戰爭と勞働階級」誌重慶攻擊……二八一　三〇一二
英國大使急遽歸國……二八三　三〇四三
濠洲駐在公使新任……二八四　三〇六〇
イズヴエスチヤ編輯長を任命……〃　〃
外務次官テヘランを出發……二八六　三〇九二

【ドイツ】

外務省ハルの責任を糾明……二七五　二九一一
駐瑞公使トムゼン歸任……〃　二九一七
遂に報復を決意……二七九　二九七五
米軍の損害甚大……二八〇　二九九五
海軍の戰果……〃　〃
九百七機擊墜……〃　〃
ヒ總統、ハンガリー首班と會見……二八一　三〇〇六
防衞戰爭推進の決定……〃　〃
洪、ス兩國公使信任狀捧呈……〃　三〇一二
敵戰車七千有餘を擊破……二八二　三〇二一
クレムリンの外交攻勢……〃　三〇二四
女子の動員强化……〃　〃
米の盲爆ケルン大伽藍を破壞……二八三　三〇四五
米英の不法攻擊に抗議……二八四　三〇六〇

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

項目	號數	頁
洪將星に勳章贈與	二八四	三〇六〇
英の歐洲外交を評す	二八六	三〇九二
ブルグ劇場燒く	二八七	三一〇一
【歐洲】		
クワピンスキー遂に投げ出す	二七五	二九一一
モラフスキー亡命政權を攻撃	〃	〃
ボノミに再組閣を委囑	〃	〃
ベルギー國內內亂の危機	〃	二九一四
英國の橫槍でボノミ組閣難	〃	〃
反樞軸占領地の混亂	〃	二九一五
チトー、米記者を國外追放	〃	〃
亡命ポーランド新內閣	二七六	二九二七
ベルギー食糧の危機	〃	〃
ユーゴ血の肅清	二七六	二九二九
アルバニア情勢英に不利	〃	二九三〇
芬の「戰爭犯罪者」	〃	〃
ピエルロ彈壓政策を續く	〃	〃
勃の休戰支出額	〃	〃
洪特別攻撃隊編成	〃	〃
佛、北部の炭坑を接收	〃	〃
駐佛スイス公使任命	〃	〃
波國會議長も辭職	二七七	二九四三
伯反對をイーデン言明	〃	〃
イタリア政界の內情	〃	二九四六
ルイニに組閣を委囑	〃	〃
英の干涉は關知せず	〃	〃
ベルギー內閣改造か	〃	二九四七
スエーデン參戰は望み薄	〃	〃
アテネ騷擾の巷と化す	二七八	二九五八
ラデスコ將軍に組閣を委囑	〃	〃
希遊撃隊の武裝解除紛糾	〃	二九六四
傀儡閣僚連袂辭職	〃	二九六五
伊政局の危機愈々深刻	〃	〃
羅政權首相辭職	〃	〃
ピエルロ社會黨と妥協	〃	〃
ギリシャ內亂續報	二七九	二九七四
左翼分子總罷業	〃	〃
反動政權と闘はん	〃	二九七五
パパンドレオ政權動搖	〃	〃
アテネ放送局も停止	〃	〃
ルブリン政權を假政府に	〃	〃
ローマ政界の危機解消せず	〃	二九七九
波政權ルビコンを渡る	〃	〃
舊聯盟員の身の振り方	〃	〃
パパンドレオ辭表提出	二八〇	二九九〇
新內閣組織の形勢	〃	〃
英國海軍司令部を襲撃	〃	〃
英軍の戰車出動	〃	〃
EAM圍要衝を占據か	〃	〃
犧牲者の葬儀を執行	〃	〃
ソヴエト軍事使節に發砲	〃	〃
米國は干涉に反對	二八〇	二九九〇
チャーチル陳辯に努む	〃	二九九一

項目	號數	頁
英國の內政干涉を暴露	〃	〃
スイス下院議長更迭	〃	〃
西媾和會議參加を要求	〃	二九九三
反樞軸のデマを否定	〃	〃
米、對瑞謝罪	〃	〃
スイス、モスクワ放送を否定	〃	〃
勃、チトー政權へ代表派遣	〃	〃
伊紙、敵のデマを反駁	〃	二九九四
波居住ウクライナ人移住開始	〃	〃
ベルギーの復興狀況	〃	〃
希首相辭表撤回か	二八一	三〇〇六
英軍遂に出動	〃	〃
希擾亂漸く鎭定に向ふ	〃	三〇一一
伊の治安益々紊る	〃	〃
羅、露語を必修課目に	〃	〃
佛の戰爭損害	〃	三〇一二
波回復地域の農業改革	〃	〃
フインランド國防相更迭	〃	〃
ルーマニア新內閣誕生	二八二	三〇二三
希內亂に戰車裝甲車で應戰	〃	三〇二五
騷擾全國に擴大か	〃	〃
芬軍の武裝解除完了	〃	〃
ローマ政局の危機解消せず	二八三	三〇四〇
ギリシャ全土に擾亂波及	〃	三〇四一
羅首相第一聲	〃	〃
白非常大權法上院を通過	〃	〃
ボノミ新內閣漸く成立	二八四	三〇五四
エラス兵團抗戰を繼續	〃	三〇五八
內亂俄然激化	〃	〃
パパンドレオ依然强硬	〃	〃
ロー、アテネ乘込みか	〃	三〇五九
エラス司令裏切る	〃	〃
ボノミ四政黨組閣か	〃	〃
組閣難航を續く	〃	〃
法王廳ド・ゴールを承認	〃	〃
ベルギー騷動小康か	〃	〃
共產黨は飽くまで闘爭	〃	〃
フランコ辭職說は眞赤な嘘	〃	〃
羅の抑留所超滿員	〃	〃
波政權の本國歸還許さず	〃	三〇六〇
諸にテロ行動頻發	〃	〃
瑞典の各國避難民	〃	〃
勃共產黨閣僚中將に	〃	〃
和蘭向け救恤品輸送中止	〃	〃
佛西鐵道開通	〃	〃
駐米衛大使歸任	〃	三〇八六
英軍苦戰和協を企圖	〃	三〇九一
芬軍平時編成への切換完了	〃	〃
スフオルツア痛烈に反撃	〃	〃
オランダの食糧欠乏	〃	〃
波巡洋艦沈沒	〃	〃
リトワニア外相	〃	〃
エラス兵團總攻撃	二八七	三一〇三
和協工作の機運動く	〃	三一〇六

【西亞】
イラン新内閣石油問題に觸れず……二七五　二九一六
シリア、レバノン兩國會談……二七六　二九三一
土、對米爲替相場調整……二七七　二九四八
イラン議會石油利權の交渉を禁止…二七九　二九七四
シリヤに集會禁止令……二八四　三〇六一
新駐佛土大使赴任……〃　〃
イラン新外相決定……二八七　三一〇七

【戰局】
アーヘン地區で反擊に轉ず……二七七　二九四二
白熱的激鬪續く……〃　〃
戰車五百臺以上擊破……〃　〃
歐洲戰況概觀……〃　二九四九
歐洲戰況概觀……二八三　三〇四四
アーヘン地區で米軍再び大攻勢…二八六　三〇八八
デューレン半里に迫る……〃　〃
ビールでも市街戰……〃　〃
ケンプ橋頭堡を撤收……〃　〃
歐州戰況概觀……〃　三〇九三

【軍事情報】
ロールス・ロイスの噴射發動機……二七八　二九七二
モスキートの新記錄……〃　〃
V二號は時速三千哩……二八四　三〇六二
新燃料自動車發明……〃　〃
ムスタングの性能……〃　〃
可逆節プロペラ出現……〃　〃

【アフリカ】
ワフド黨總選擧をボイコット……二七七　二九四二
西紙タンジール占領を辯護……二八四　三〇六一

【特輯】
比島侵攻作戰と米國の宣傳戰（中）二七五　二九一八
霜月西班牙話……〃　二九二二
ルーズヴェルト四選の意義（下）…二七六　二九三二
重慶政權の改組（上）……二七七　二九五〇
瀕死の西歐聯合……二七八　二九六六
赤い星バルカンを蔽ふ（上）……二七九　二九八〇
フランス落葉籠……〃　二九八五
チヤーチルの皮算用……二八〇　二九九六
ギリシヤ内亂の狀態……〃　三〇〇一
赤い星バルカンを蔽ふ（下）……二八一　三〇一三
重慶政權の改組（下）……二八二　三〇二九
印度當面の問題……二八三　三〇四六
英國海運界對策に腐心……二八四　三〇六三
飽くまで干涉政策固執……二八六　三〇九四
リスボン便り……二八七　三一〇八

【資料】
歐洲侵攻反樞軸地上軍の編成……二七六　二九三五
ルーズヴエルトの第十七次武器貸與報告……〃　〃
米國市民航空哨戒隊の功績……〃　二九三七
舊聯盟と反樞軸機構案……〃　二九三九

プラスチラス本國に歸る……二八四　三〇六〇
スフオルツア肅正委員長辭任……〃　〃
和蘭の人心亡命政權を離る……〃　〃

【反樞軸陣營】
米英貸與協定一部修正……二七五　二九一〇
米英兩國司令會見……〃　二九一三
反樞軸船舶喪失數……〃　〃
米佛物資供給協定成立……〃　〃
米英新貸與協定……二七六　二九二六
米國政府も發表……〃　〃
航空會議に米最後策……〃　二九三一
ハリマン羅馬に立寄る……〃　〃
ド・ゴールモスクワ到着……二七七　二九四二
ソ聯とも貸與更改交涉……〃　二九四三
對ソ武器供給情況……〃　〃
航空會議決裂の意義……〃　〃
反樞軸航空決裂……二七七　二九四七
國際聯盟を清算……〃　二九四八
駐ソ英國軍事使節團……〃　〃
獨占領地經濟長官……〃　〃
ド・ゴール、スターリンと會談……二七八　二九五八
スターリン議長との會見記……〃　二九五九
對獨爆撃狀況……二七九　二九七八
三國外相會談開催か……〃　〃
佛、チエコ協定成立……〃　〃
米勞働代表着英……〃　〃
海運實行委員會支部設置……二八〇　二九九四
東南アジア軍人事……二八一　三〇一〇
英國の干涉政策を非難……〃　〃
見解の相違は根本的……二八二　三〇二二
佛ソ會談好進捗か……〃　三〇二七
會談の内容と佛今後の地位……〃　〃
國際勞働代表初顏合せ……〃　〃
獨病院船不法擊沈を認む……〃　〃
伊戰線米軍司令決定……〃　〃
米英兩國間に諒解成立……二八三　三〇三八
航空協定骨子……〃　三〇四三
佛ソ會談終る……〃　〃
ソ佛兩國同盟に調印……二八四　三〇五四
チヤーチル聲明の反響……〃　三〇五五
武器貸與更改の背後……〃　〃
反樞軸の四つの弱點……〃　〃
駐佛英大使も歸國……〃　〃
日本の地震に大驚き……〃　三〇五六
太平洋艦隊司令濠洲へ……二八五　三〇七〇
ネルソン濠首相と會談……〃　〃
潜水艦戰に關する共同聲明……二八六　三〇九二
ソ佛條約の内容……二八七　三一〇五
占領地に資源を供給せず……〃　〃
佛武器貸與使節訪米……〃　〃
三國會談の機運……〃　三一〇六
またまた米國將校を放逐……〃　〃

昭和十九年十二月廿九日(金)
第三二八五號

同盟通信（海外電報）

（第三種郵便物認可）

項目　號數　頁

ジアアの戰……二七六　二九三九
國境紛爭に對するソ波兩國の立場……二七七　二九五四
獨米軍用機の性能比較……〃　二九五五
V二號封鎖新戰術……二八〇　三〇〇三
ロケツト・グライダーの實用性……〃　三〇〇四
ポーランドの代價……二八一　三〇一八
物量特むは米軍最大の缺點……〃　三〇一九
貸與協定方針の背景……二八二　三〇三五
歐洲復興用物資供給計畫……二八三　三〇四九
西歐ブロック案の戰略的根據……〃　三〇五一
米紙と西歐聯合……〃　三〇五二
V二號の正體……二八四　三〇六六
V三號は原子爆彈か……〃　〃
産業再轉換期の勞働政策……〃　三〇六七
フランスの戰後運輸對策……〃　〃
米英石油協定問題……〃　三〇六八
西歐聯合の危機……二八六　三〇九九
新西蘭、濠洲、カナダ……二八七　三一一二
飢餓の冬を迎へた歐洲……〃　〃

ベンガル槍騎兵の著者逝く

（ストツクホルム十九日發）ロンドン來電＝映畫「ベンガルの槍騎兵」の原著者フランシス・イエイツ・ブラウンは十九日死去した、享年五十八、イエイツ・ブラウンは陸軍少佐で印度軍服務を振りだしに第一次大戰では第五槍騎兵隊附としてフランスに出征、後英空軍所屬となつてメソポタミアに轉戰したが、その間トルコ軍の捕虜となつたこともあり、以上の經驗を基に數々の戰爭小說を著した、「スペクテーター」誌の編輯にも携り、今次大戰勃發後は印緬戰線を歷訪して題材蒐集に努めてゐた

社告——海外電報版は創刊以來約一年九ケ月になりますが、段々讀者層も殖え「あれを讀んでゐさへすれば大體世界の情勢が分る」といふお褒めの言葉を屢々頂くやうになりました、海外電報版は必ずしも全國民大衆に讀んで頂くためではなく、精選された識者層に世界戰爭の推移と國際政局の動向とを把握して頂く趣旨に出發してをります、每日同盟通信社に入ります外國電報は英文で無慮十數萬語に達し、「タイムズ」紙、「エコノミスト」誌をはじめ英國の新聞雜誌、「ニユーヨーク・タイムズ」紙、週刊「タイム」誌、或ひはウオールター・リツプマンの著書、海運航空關係の論文等、政治、經濟、軍事夫々の分野にわたり、米英兩國で公刊されてゐる各種の資料は略々洩れなく網羅してゐるといつても過言ではないと思ひます、以上の資料を同盟通信社で多年或は本社海外局のデスクにおいて或ひは歐米各國に特派員として在勤したいはばその道の專門家が飜譯して、情編輯しあくまで客觀的に敵情を傳へようといふのが海外電報版の使命であります、桃李言はず下自ら蹊をなすと申しますが、別段廣告もしませんのに段々海外電報版の知己が戰時下帝國の要所要所に据はつてをられる指導人の間に殖えてまゐりますことは、寔に感激に堪へぬところであります、餘りに材料が豐富で每日日刊新聞の四頁に擔當する大量な通信ですから多少讀みにくいといふ缺陷は免れないと存じますが、地圖を挿入致さうと思ひましても仲仲思ふに任せぬやうな現狀ですから、事情御賢察の上今後も引續き御愛讀をお願ひしたいと存じます

（編輯者より）